

# **bizhub 501/421/361**

## ユーザーズガイド コピー機能編



## はじめに

---

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub 501/421/361 の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

はじめに .....	1
もくじ .....	2
こんな機能があります .....	10
ページの見かた .....	16
原稿と用紙の表示について .....	17
マニュアル体系について .....	18
印刷物のユーザーズガイド .....	18
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド .....	18

## 第 1 章 ご使用いただく前に

1.1	各部の名称とはたらき .....	1-2
1.1.1	オプション構成 .....	1-2
1.1.2	本体外部 .....	1-4
1.1.3	本体内部 .....	1-8
1.1.4	給紙キャビネット PC-206 / PC-407 / 専用デスク DK-506 .....	1-10
1.1.5	大容量給紙ユニット LU-203 .....	1-12
1.1.6	フィニッシャー FS-522 / 排紙トレイ OT-602 / パンチユニット PU-501 ....	1-14
1.1.7	中綴じ機 SD-507 / メールピンキット MT-502 .....	1-16
1.1.8	フィニッシャー FS-523 / 中継搬送ユニット RU-507 .....	1-18
1.1.9	操作パネル .....	1-21
1.1.10	基本的な設定をする画面（基本設定画面） .....	1-23
1.1.11	タッチパネル内で表示されるアイコンについて .....	1-25
1.2	操作パネルの角度をかえる .....	1-26
1.2.1	操作パネルの角度のかえかた .....	1-26
1.3	主電源と副電源を入れる .....	1-28
1.3.1	電源の入れかた .....	1-28
1.3.2	ウォームアップ中に読みみする .....	1-29
1.3.3	電源の切りかた .....	1-30
1.3.4	自動的に設定を取消す（オートリセット） .....	1-30
1.3.5	自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット） .....	1-30
1.3.6	自動的に節電状態にする（低電力） .....	1-31
1.3.7	自動的に節電状態にする（スリープ） .....	1-31
1.3.8	手動で節電状態にする .....	1-32
1.3.9	自動的に電源を OFF / ON する（ウィークリータイマー） .....	1-32
1.3.10	ユーザーごとに本機の使用者を制限する（ユーザー認証） .....	1-34
1.3.11	部門ごとに本機の使用者を制限する（部門認証） .....	1-36
1.3.12	認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する .....	1-39
1.3.13	認証装置（IC カード認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する .....	1-41
1.4	トレイ 1/2/3/4 へ用紙をセットする .....	1-43
1.5	トレイ 3 へ用紙をセットする .....	1-46
1.6	LCT へ用紙をセットする .....	1-49
1.7	手差しトレイへ用紙をセットする .....	1-50

## 第 2 章 基本機能

2.1	コピー操作の流れ .....	2-2
2.2	組み合わせできない操作について .....	2-4
2.2.1	あとから設定した機能が優先される場合 .....	2-4
2.2.2	先に設定した機能を優先する場合 .....	2-5

<b>2.3</b>	<b>原稿をセットする</b>	<b>2-6</b>
2.3.1	ADF に原稿をセットする	2-6
2.3.2	原稿ガラス上に原稿をセットする	2-7
2.3.3	原稿を分割して読み込む（連続読み込み設定）	2-9
2.3.4	複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする	2-12
<b>2.4</b>	<b>原稿の設定をする</b>	<b>2-16</b>
2.4.1	原稿のサイズを設定する（原稿サイズ）	2-16
2.4.2	サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）	2-18
2.4.3	折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）	2-19
2.4.4	原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）	2-20
2.4.5	原稿セット方向の設定のしかた	2-21
2.4.6	とじしろを設定する（原稿のとじしろ）	2-22
2.4.7	原稿のとじしろの設定のしかた	2-23
2.4.8	原稿ごとに読み込み設定を変更する	2-24
<b>2.5</b>	<b>用紙を選ぶ</b>	<b>2-27</b>
2.5.1	自動的に用紙を選択する（自動用紙）	2-27
2.5.2	手動で目的の用紙を指定する	2-28
<b>2.6</b>	<b>倍率を選ぶ</b>	<b>2-29</b>
2.6.1	自動的に倍率を設定させる（自動倍率）	2-29
2.6.2	原稿と同じ倍率にする（等倍）	2-30
2.6.3	テンキーで倍率を指定する（ズーム）	2-31
2.6.4	原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）	2-32
2.6.5	「拡大」、「縮小」から倍率を選択する（固定倍率）	2-33
2.6.6	テンキーで倍率を指定する（独立ズーム）	2-34
2.6.7	登録倍率から選択する	2-36
2.6.8	目的の倍率を登録する	2-36
<b>2.7</b>	<b>原稿＞コピー機能を選ぶ</b>	<b>2-38</b>
2.7.1	片面コピーを選択する	2-39
2.7.2	両面コピーを選択する	2-40
<b>2.8</b>	<b>ページ集約を選ぶ</b>	<b>2-42</b>
2.8.1	複数枚の原稿を 1 枚の用紙に収める（集約）	2-44
<b>2.9</b>	<b>原稿の画質を選ぶ</b>	<b>2-46</b>
2.9.1	小さな文字や写真の入った原稿をセットする（原稿画質）	2-46
2.9.2	原稿画質の設定のしかた	2-47
<b>2.10</b>	<b>濃度を選ぶ</b>	<b>2-48</b>
2.10.1	印刷濃度を調整する（濃度）	2-49
2.10.2	下地濃度を調整する（下地調整）	2-50
<b>2.11</b>	<b>仕上り機能を選ぶ</b>	<b>2-51</b>
2.11.1	部数ごとに分けて排紙する（ソート）	2-53
2.11.2	ページごとに分けて排紙する（グループ）	2-54
2.11.3	排紙先を指定して排紙する	2-55
2.11.4	ステープルでとじて排紙する（ステープル）	2-56
2.11.5	パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）	2-58
<b>2.12</b>	<b>紙折り機能を選ぶ</b>	<b>2-60</b>
2.12.1	2 つ折りにして排紙する（中折り）	2-60
2.12.2	用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）	2-62
<b>2.13</b>	<b>回転しないを選ぶ</b>	<b>2-64</b>
<b>2.14</b>	<b>印刷中に次のコピー原稿を読み込む（コピー予約）</b>	<b>2-65</b>
<b>2.15</b>	<b>読み込み・印刷を一時停止する</b>	<b>2-66</b>
<b>2.16</b>	<b>一時停止したジョブを削除する</b>	<b>2-67</b>

## 第3章 コピー補助機能

3.1	コピー条件を確認する（設定内容）	3-2
3.1.1	設定の確認のしかた	3-2
3.1.2	設定の変更のしかた	3-3
3.2	1部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー）	3-4
3.3	プレビュー画像でコピーの仕上りを確認する （仕上りプレビュー）	3-7
3.3.1	プレビュー詳細画面	3-7
3.3.2	仕上りプレビューを確認する	3-9
3.4	割込んでコピーする（割込み）	3-12
3.5	コピー条件を登録する（プログラム登録）	3-13
3.5.1	コピープログラムの削除のしかた	3-15
3.6	登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）	3-16
3.7	機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能）	3-18
3.7.1	ヘルプ基本画面の概要	3-18
3.7.2	ヘルプ基本画面を表示させる	3-20
3.8	操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定）	3-22
3.8.1	ユニバーサル設定画面を表示させる	3-22
3.8.2	タッチパネルの調整をする	3-22
3.8.3	キーリピート開始 / 間隔時間の設定をする	3-23
3.8.4	拡大表示が自動的に解除されるときに確認画面を表示する	3-25
3.8.5	拡大表示中に設定がオートリセットされるときに確認画面を表示する	3-27
3.8.6	拡大表示に切替える時に、設定解除の確認画面を表示する	3-28
3.8.7	メッセージ表示時間の設定をする	3-30
3.8.8	装置の状態を知らせる音の設定をする	3-31

## 第4章 トラブルの処理

4.1	「トラブル」が表示されたら（サービスコール）	4-2
4.2	「紙づまり」ですと表示されたら	4-4
4.2.1	ジャム位置表示とイラスト説明	4-4
4.2.2	ジャム位置表示	4-5
4.2.3	トレイ1での紙づまり処理のしかた	4-7
4.2.4	トレイ2での紙づまり処理のしかた	4-8
4.2.5	トレイ3/4（給紙キャビネット PC-206）での紙づまり処理のしかた	4-10
4.2.6	トレイ3（給紙キャビネット PC-407）での紙づまり処理のしかた	4-11
4.2.7	手差しトレイでの紙づまり処理のしかた	4-13
4.2.8	定着ドラム部での紙づまり処理のしかた	4-13
4.2.9	定着・反転部での紙づまり処理のしかた	4-16
4.2.10	両面ユニットでの紙づまり処理のしかた	4-18
4.2.11	フィニッシャー FS-522 搬送部での紙づまり処理のしかた	4-20
4.2.12	フィニッシャー FS-523 搬送部の紙づまり処理のしかた	4-23
4.2.13	フィニッシャー FS-522 での紙づまり処理のしかた	4-26
4.2.14	フィニッシャー FS-523 での紙づまり処理のしかた	4-29
4.2.15	ADFでの紙づまり処理のしかた	4-34
4.2.16	LCT（大容量給紙ユニット LU-203）での紙づまり処理のしかた	4-35
4.2.17	中綴じ機 SD-507 での紙づまり処理のしかた	4-37
4.2.18	メールピンキット MT-502 での紙づまり処理のしかた	4-39
4.3	簡単なトラブルの処理	4-42
4.4	おもなメッセージと処理のしかた	4-44

## 第5章 仕様・保守サービス

5.1	本体仕様 .....	5-2
5.1.1	本体 .....	5-2
5.1.2	自動両面原稿送り装置 DF-613 .....	5-3
5.2	オプション仕様 .....	5-4
5.2.1	給紙キャビネット PC-206 .....	5-4
5.2.2	給紙キャビネット PC-407 .....	5-4
5.2.3	大容量給紙ユニット LU-203 .....	5-4
5.2.4	専用デスク DK-506 .....	5-5
5.2.5	フィニッシャー FS-522 .....	5-5
5.2.6	排紙トレイキット OT-602 .....	5-6
5.2.7	パンチユニット PU-501 .....	5-6
5.2.8	中綴じ機 SD-507 .....	5-6
5.2.9	メールピンキット MT-502 .....	5-7
5.2.10	フィニッシャー FS-523 .....	5-7
5.2.11	排紙トレイ OT-504 .....	5-8
5.2.12	セパレーター JS-502 .....	5-8
5.2.13	その他 .....	5-8
5.3	保守サービス .....	5-9
5.3.1	補修性能部品の保有期間 .....	5-9
5.3.2	同梱品 .....	5-9

## 第6章 用紙・原稿について

6.1	用紙について .....	6-2
6.1.1	用紙をセット／処理／出力する装置 .....	6-2
6.1.2	使用できる用紙の坪量 .....	6-2
6.1.3	セット／出力可能な用紙枚数 .....	6-3
6.1.4	フィニッシャー FS-522 の積載制限枚数 .....	6-4
6.1.5	セット／処理／出力可能な用紙サイズ .....	6-5
6.1.6	専用紙について .....	6-7
6.1.7	用紙使用上の注意 .....	6-8
6.1.8	用紙の保管 .....	6-8
6.1.9	自動トレイ切替え機能 .....	6-8
6.2	手差しトレイの用紙設定 .....	6-9
6.2.1	用紙サイズを自動で検出させる（自動検出） .....	6-9
6.2.2	不定形紙をセットする（不定形） .....	6-10
6.2.3	目的の用紙サイズを登録する（不定形） .....	6-11
6.2.4	手差しトレイの用紙種類を選択する .....	6-14
6.3	給紙トレイの用紙種類設定 .....	6-15
6.3.1	用紙種類を選択する .....	6-15
6.4	原稿について .....	6-17
6.4.1	ADF にセットする原稿 .....	6-17
6.4.2	ADF にセットする原稿についての注意 .....	6-18
6.4.3	原稿ガラスにセットする原稿 .....	6-18

## 第7章 応用機能

7.1	OHP フィルムの間用紙を差込んでコピーする (OHP 合紙)	7-2
7.2	表紙をつける (カバーシート)	7-4
7.3	別の用紙を挿入してコピーする (インターシート)	7-7
7.4	追加原稿を指定したページに差込む (差込みページ)	7-10
7.5	指定したページを必ずオモテ面に配置する (章分け)	7-12
7.6	原稿ごとに異なる設定で読み込みまとめてコピーする (プログラムジョブ)	7-15
7.7	原稿画像の濃淡を反転させてコピーする (ネガポジ反転)	7-19
7.8	見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする (ブック連写)	7-20
7.9	指定した範囲を繰り返しコピーする (リピート)	7-24
7.10	ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる (ページ連写)	7-28
7.11	とじしろをつくってコピーする (とじしろ)	7-30
7.12	原稿を用紙サイズに合わせてコピーする (画像の収め方)	7-33
7.13	雑誌や週刊誌のようなページレイアウトでコピーする (小冊子)	7-34
7.14	不要部分を消してコピーする (消去)	7-36
7.14.1	周囲 4 辺の不要部分を消してコピーする (枠消し)	7-37
7.14.2	中央の不要部分を消してコピーする (折り目消し)	7-38
7.14.3	原稿外側の影を消してコピーする (原稿外消去)	7-39
7.15	日付 / 時刻やページ数などを重ねてコピーする (スタンプ / ページ印字)	7-40
7.15.1	日付 / 時刻を印字するには (日付 / 時刻)	7-41
7.15.2	ページ数を印字するには (ページ番号)	7-43
7.15.3	あらかじめ登録されたスタンプを印字するには (スタンプ)	7-46
7.15.4	コピープロテクトを印字するには (コピープロテクト)	7-48
7.15.5	繰り返しスタンプを印字するには (繰り返しスタンプ)	7-53
7.15.6	最初に読み込んだ画像を、他の全ての画像と重ね合わせてコピーする (オーバーレイ)	7-57
7.15.7	読み込んだ画像を、登録オーバーレイとして保存する (登録オーバーレイ)	7-58
7.15.8	登録オーバーレイを使用する (登録オーバーレイ)	7-60
7.15.9	ヘッダー / フッターを印字するには (ヘッダー / フッター)	7-61
7.15.10	部数管理番号を印字するには (部数管理者番号)	7-63
7.15.11	ウォーターマークを印字するには (ウォーターマーク)	7-65
7.16	読み込んだ原稿をボックスに保存する (ボックス保存)	7-66

## 第8章 トナーカートリッジ交換 / ステープルカートリッジ交換 / パンチくず処理

8.1	トナーカートリッジを交換する	8-2
8.1.1	トナーカートリッジの交換のしかた	8-3
8.2	ステープルカートリッジを交換する	8-7
8.2.1	フィニッシャー FS-523 のステープルカートリッジ交換のしかた	8-10
8.2.2	フィニッシャー FS-522 のステープルカートリッジ交換のしかた	8-13
8.2.3	中綴じ機 SD-507 のステープルカートリッジ交換のしかた	8-16
8.3	パンチくずを処理する	8-20
8.3.1	フィニッシャー FS-523 のパンチくずを処理する	8-21
8.3.2	パンチユニット PU-501 のパンチくずを処理する	8-23

## 第9章 日頃の管理

9.1	清掃のしかた .....	9-2
9.1.1	原稿読取りガラスの清掃 .....	9-2
9.1.2	原稿ガラスの清掃 .....	9-2
9.1.3	原稿押さえパッドの清掃 .....	9-2
9.1.4	給紙ローラーの清掃 .....	9-3
9.1.5	書込みユニットガラス／帯電ワイヤの清掃 .....	9-3
9.1.6	機械外装の清掃 .....	9-4
9.1.7	操作パネルの清掃 .....	9-4
9.2	カウントを確認する .....	9-5
9.2.1	セールスカウンターを確認する .....	9-5
9.3	「装置の定期点検時期です」と表示されたら .....	9-6

## 第10章 ジョブ確認

10.1	ジョブ表示画面の概要 .....	10-2
10.1.1	ジョブについて .....	10-2
10.1.2	マルチジョブ機能について .....	10-2
10.1.3	ジョブ表示画面について .....	10-3
10.1.4	左エリアジョブリスト .....	10-5
10.2	ジョブ操作をする .....	10-6
10.2.1	ジョブを削除する .....	10-6
10.2.2	ジョブの設定内容を確認する .....	10-7
10.2.3	ジョブの詳細確認をする .....	10-7
10.2.4	実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する .....	10-9
10.2.5	履歴リストを表示する .....	10-9
10.2.6	蓄積ジョブを1部印刷して確認する .....	10-10
10.2.7	蓄積ジョブを印刷する .....	10-11
10.2.8	優先出力の設定をする .....	10-12

## 第11章 設定メニュー

11.1	設定メニューの概要 .....	11-2
11.1.1	登録・設定項目一覧表 .....	11-2
11.2	宛先登録を選択する .....	11-6
11.2.1	ファクス / スキャン宛先登録 .....	11-6
11.2.2	ボックス登録 .....	11-6
11.2.3	参照許可設定 .....	11-6
11.2.4	宛先登録画面を表示させる .....	11-12
11.3	ユーザー設定を選択する .....	11-13
11.3.1	環境設定 .....	11-13
11.3.2	画面カスタマイズ設定 .....	11-15
11.3.3	コピー設定 .....	11-16
11.3.4	ファクス / スキャン設定 .....	11-18
11.3.5	プリンター設定 .....	11-19
11.3.6	パスワード変更 .....	11-19
11.3.7	E-mail アドレス変更 .....	11-19
11.3.8	アイコン変更 .....	11-19
11.3.9	ユーザー設定画面を表示させる .....	11-20

11.4	管理者設定を選択する .....	11-21
11.4.1	環境設定 .....	11-21
11.4.2	管理者 / 本体登録 .....	11-26
11.4.3	宛先 / ボックス登録 .....	11-26
11.4.4	ユーザー認証 / 部門管理 .....	11-27
11.4.5	ネットワーク設定 .....	11-30
11.4.6	コピー設定 .....	11-30
11.4.7	プリンター設定 .....	11-31
11.4.8	ファクス設定 .....	11-31
11.4.9	システム連携 .....	11-32
11.4.10	セキュリティー設定 .....	11-32
11.4.11	ライセンス管理設定 .....	11-35
11.4.12	管理者設定画面を表示させる .....	11-35
11.5	ウィークリータイマーの設定の概要 .....	11-37
11.6	フィニッシャー調整 .....	11-38
11.6.1	中折り位置調整 .....	11-38
11.6.2	センターステーブル位置調整 .....	11-40
11.6.3	パンチ横位置調整 .....	11-42
11.6.4	パンチレジストループ量調整 .....	11-44
11.7	ヘッダー / フッターを設定する .....	11-46
11.7.1	ヘッダー / フッターの設定のしかた .....	11-46
11.7.2	ヘッダー / フッターの編集のしかた .....	11-48
11.8	認証方式 .....	11-49
11.8.1	ユーザー認証と部門管理について .....	11-49
11.8.2	ユーザー認証と部門管理を連動する場合 .....	11-49
11.8.3	ユーザー認証と部門管理でそれぞれ認証する場合 .....	11-50
11.8.4	認証方式の設定のしかた .....	11-50
11.9	ユーザー認証設定 .....	11-54
11.9.1	管理設定－ユーザー名一覧表示 .....	11-54
11.9.2	初期機能制限 .....	11-55
11.9.3	パブリックユーザーの認証 .....	11-56
11.9.4	ユーザー登録 .....	11-56
11.9.5	ユーザーカウンター .....	11-60
11.9.6	ユーザーカウンターの表示のしかた .....	11-61
11.10	部門管理設定 .....	11-62
11.10.1	部門登録 .....	11-62
11.10.2	部門カウンター .....	11-65
11.10.3	部門カウンターの表示のしかた .....	11-66
11.11	パスワード規約 .....	11-67
11.11.1	パスワード規約による制約 .....	11-67
11.12	セキュリティー強化設定 .....	11-68

## 第 12 章 認証装置（指静脈 生体認証タイプ AU-101）

12.1	安全にお使いいただくために .....	12-2
12.1.1	重要事項 .....	12-2
12.1.2	安全にご使用いただくために .....	12-2
12.2	製品の特徴 .....	12-3
12.3	各部の名称とはたらき .....	12-4

12.4	認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の使い方 .....	12-5
12.4.1	複合機の設定 .....	12-5
12.4.2	ユーザー登録のしかた .....	12-8
12.4.3	複合機へのログイン .....	12-19
12.4.4	認証&プリント機能 .....	12-20
12.5	認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 のお手入れ .....	12-31
12.6	仕様 .....	12-32
12.7	トラブルシューティング .....	12-33

## 第 13 章 認証装置（IC カード認証タイプ AU-201）

13.1	安全にお使いいただくために .....	13-2
13.1.1	重要事項 .....	13-2
13.1.2	安全にご使用いただくために .....	13-2
13.1.3	植込み型医用機器に対する影響 .....	13-2
13.2	製品の特徴 .....	13-3
13.3	各部の名称とはたらき .....	13-4
13.4	認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の使い方 .....	13-5
13.4.1	複合機の設定 .....	13-5
13.4.2	ユーザー登録のしかた .....	13-8
13.4.3	複合機へのログイン .....	13-18
13.4.4	認証&プリント機能 .....	13-19
13.5	認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 のお手入れ .....	13-27
13.6	仕様 .....	13-28
13.7	トラブルシューティング .....	13-29

## 第 14 章 付録

14.1	文字を入力するには .....	14-2
14.1.1	キーボードの拡大表示 .....	14-2
14.1.2	英数字を入力する .....	14-3
14.1.3	ひらがなを入力する .....	14-3
14.1.4	カタカナを入力する .....	14-4
14.1.5	漢字を入力する .....	14-4
14.1.6	文字コードで入力する .....	14-6
14.2	入力文字一覧 .....	14-7
14.3	用語集 .....	14-14

## 第 15 章 索引

15.1	使用別索引 .....	15-2
15.2	項目別索引 .....	15-6

## こんな機能があります

### 用紙を自動的に選択する

原稿のサイズと選択した倍率に合わせて、用紙を自動的に選択しコピーできます。



詳しくは、[p. 2-27](#) をごらんください。

### 用紙サイズに合わせてコピーする

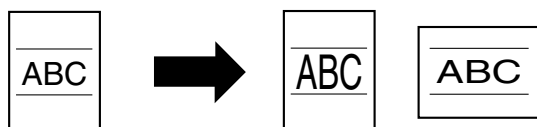
原稿のサイズと選択した用紙のサイズに合わせて、倍率を自動的に選択しコピーできます。



詳しくは、[p. 2-29](#) をごらんください。

### 縦と横の倍率を別々に設定する

縦、横それぞれの倍率を変えることで、原稿の画像を変形させてコピーできます。



詳しくは、[p. 2-34](#) をごらんください。

### 原稿を分割して読込む

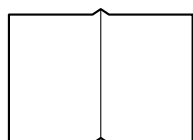
大量の原稿を分割して読込ませることができます。原稿ガラスを使用して両面コピーをとったり、ADF と原稿ガラスを切替えて読込み、1つのジョブとして1度にコピーできます。



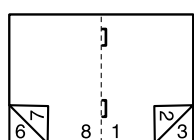
詳しくは、[p. 2-9](#)、[p. 2-12](#) をごらんください。

### 中折り／中とじする

コピーした用紙を中央で折り曲げたり（中折り）、ステープルでとじる（中とじ）ことができます。



中折り



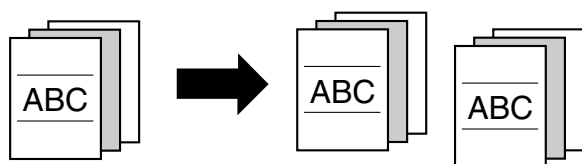
中とじ



詳しくは、[p. 2-60](#) をごらんください。

### 仕分けしてコピーする

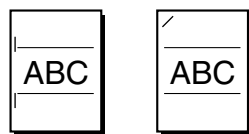
コピーの仕上がり方法を選択できます。



詳しくは、[p. 2-53](#)、[p. 2-54](#) をごらんください。

## ステープルでとじる

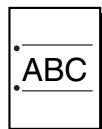
複数枚の原稿をステープルでとじてコピーできます。



詳しくは、[p. 2-56](#) をごらんください。

## パンチ穴をあける

ファイリング用にパンチ穴をあけてコピーできます。



詳しくは、[p. 2-58](#) をごらんください。

## 複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする

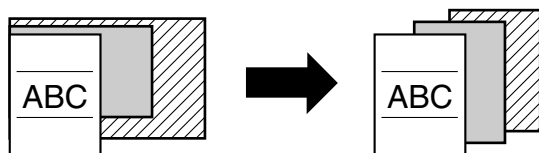
複数枚の原稿を、1 枚の用紙にまとめてコピーできます。



詳しくは、[p. 2-44](#) をごらんください。

## サイズが異なる原稿を一緒にコピーする

サイズが異なる原稿を、1 度に読んでコピーできます。



詳しくは、[p. 2-18](#) をごらんください。

## 原稿の画質に合わせてコピーする

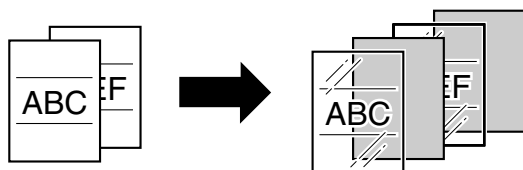
原稿の画質に合った画像でコピーできます。



詳しくは、[p. 2-46](#)、[p. 2-48](#) をごらんください。

## OHP フィルムの間に合紙を差込んでコピーする

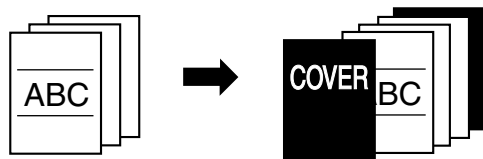
OHP フィルム同士が貼り付くことを防ぐため、OHP フィルム間に用紙（合紙）を挿入してコピーできます。



詳しくは、[p. 7-2](#) をごらんください。

## 表紙をつける

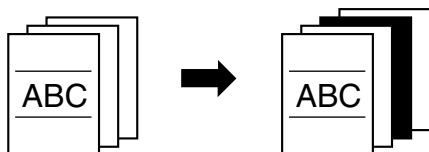
コピーに表紙を挿入したり、表紙のみ別の用紙（色紙等）を使用してコピーできます。



詳しくは、[p. 7-4](#) をごらんください。

## 別の用紙を挿入してコピーする

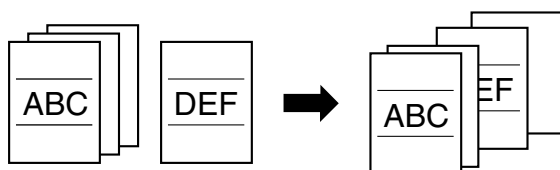
指定のページに別の用紙（色紙等）を挿入してコピーできます。



詳しくは、[p. 7-7](#) をごらんください。

## 追加原稿を指定ページに差込んでコピーする

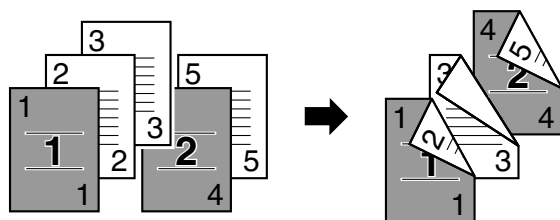
最初に読込んだ原稿の指定ページに、あとから読込んだ原稿を差込んでコピーできます。



詳しくは、[p. 7-10](#) をごらんください。

## 指定のページをオモテ面にして両面コピーする

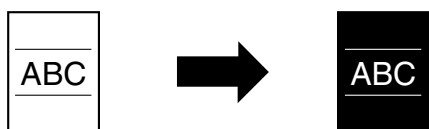
両面コピーする場合、指定のページが必ずオモテ面になるようにコピーできます。



詳しくは、[p. 7-12](#) をごらんください。

## ネガポジ反転してコピーする

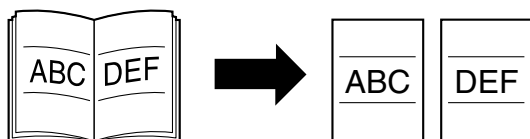
原稿の画像の白黒を反転させてコピーできます。



詳しくは、[p. 7-19](#) をごらんください。

## 見開きを左右別々にコピーする

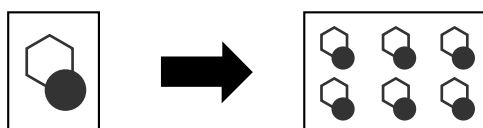
本やカタログなどの見開き原稿を、左右のページごとに分割してコピーできます。



詳しくは、[p. 7-20](#) をごらんください。

## 画像を繰り返してコピーする

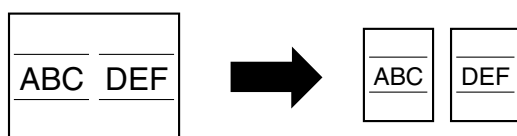
1 枚の原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーできます。



詳しくは、[p. 7-24](#) をごらんください。

## 1 枚の原稿を分割してコピーする

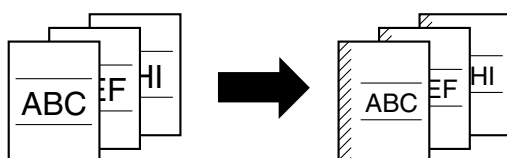
1 枚の原稿画像を 2 分割し、それぞれ別のページとしてコピーできます。



詳しくは、[p. 7-28](#) をごらんください。

## とじしろをつけてコピーする

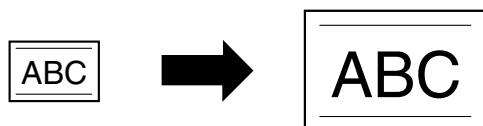
ファイリングしやすいように、用紙にとじしろ（余白）をつくってコピーできます。



詳しくは、[p. 7-30](#) をごらんください。

## 画像を用紙サイズに合わせてコピーする

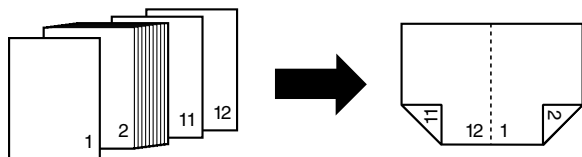
原稿に対して用紙が大きい場合に、原稿の画像を用紙いっぱいにコピーすることができます。



詳しくは、[p. 7-33](#) をごらんください。

## 雑誌のようなページレイアウトでコピーする

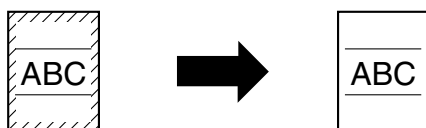
雑誌や週刊誌のような中とし用のレイアウトになるように、ページを入れ替えてコピーできます。



詳しくは、[p. 7-34](#) をごらんください。

## 原稿の一部を消してコピーする

パンチ穴の影や受信したファクスの通信記録、本などの原稿をコピーしたときのとじ部分や周囲部に写る影などを消してコピーできます。



詳しくは、[p. 7-36](#) をごらんください。

## 1部コピーして条件を確認する

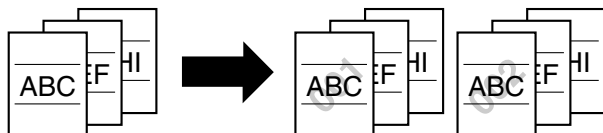
大量部数のコピーをする前に1部のみテスト印刷し、コピーの仕上りを確認できます。



詳しくは、[p. 3-4](#) をごらんください。

## 日付 / 時刻やページ数などを重ねてコピーする

コピーに日付 / 時刻やページ数、コピープロテクト（不正コピー防止用の隠し文字）、コピー1部ごとの部数管理番号などを印字できます。



詳しくは、[p. 7-40](#) をごらんください。

## コピーを管理する

印刷待ち状況の確認をし、管理できます。



詳しくは、[p. 10-2](#) をごらんください。

## コピー条件を登録する

よく使うコピー条件を登録し、必要なときに呼出してコピーできます。



詳しくは、[p. 3-13](#) をごらんください。

## 設定内容を確認する

設定した内容を確認できます。また設定した内容の変更もできます。



詳しくは、[p. 3-2](#) をごらんください。

## タッチパネルの文字サイズを大きくする

タッチパネルの文字やキーを見やすい大きな表示にし、基本的な操作をしやすくします。



詳しくは、「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。

## 機能解説の画面を表示させる

各部の名称、はたらき、機能の詳細をヘルプ画面として表示させます。



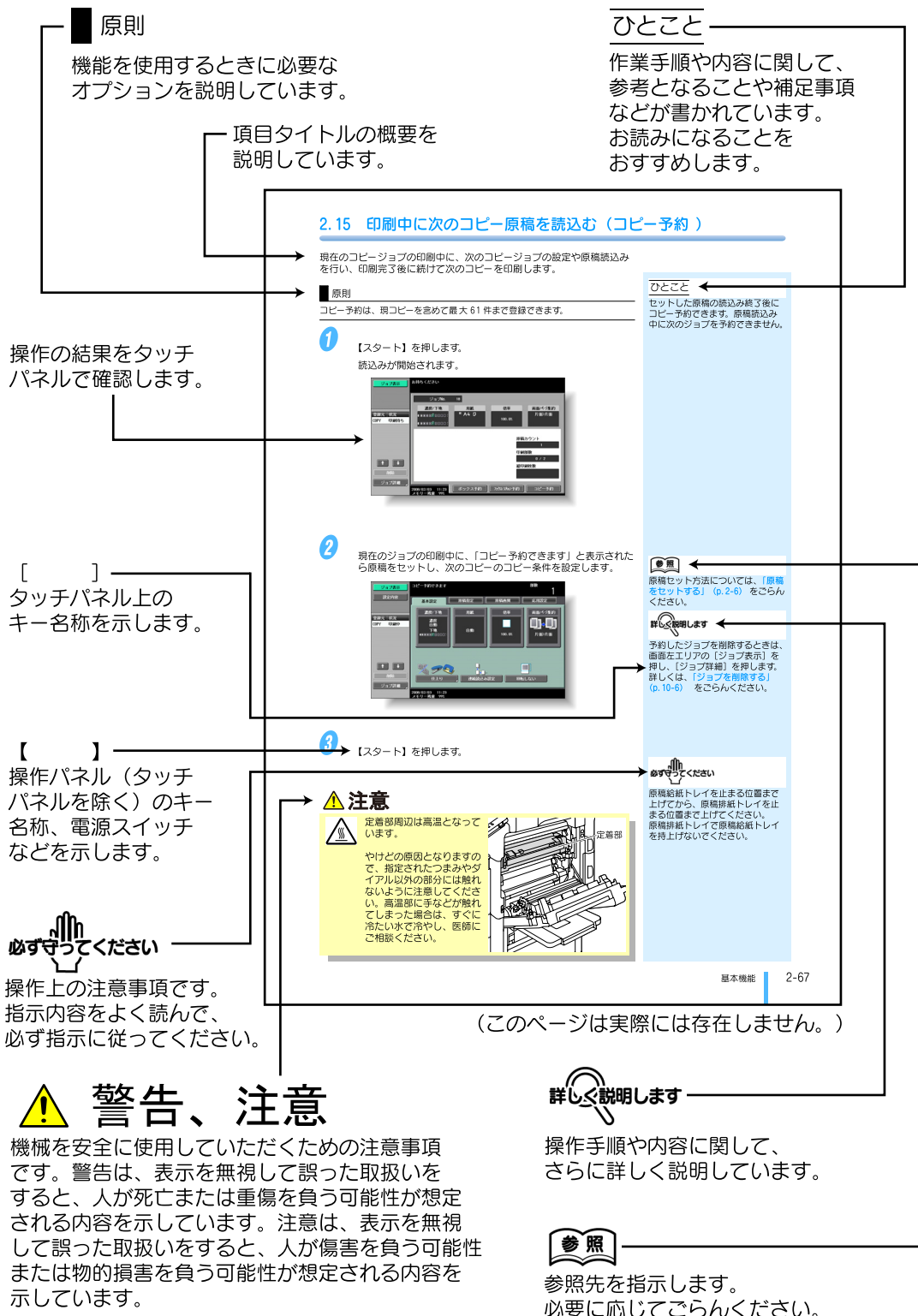
詳しくは、[p. 3-18](#)をごらんください。

## 割込んでコピーする

コピーしているジョブを中断し、割込んでコピーできます。



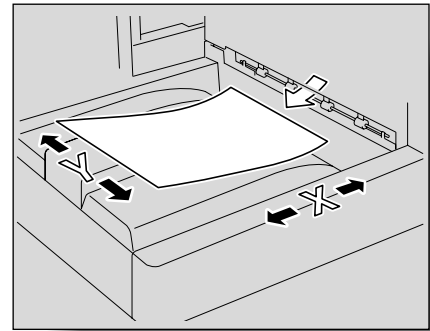
詳しくは、[p. 3-12](#)をごらんください。



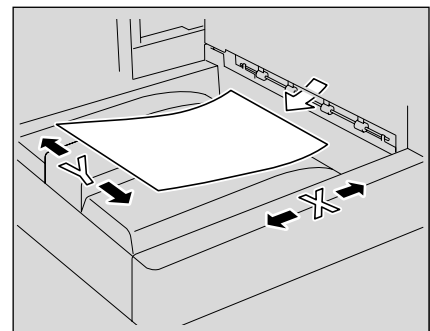
## 原稿と用紙の表示について

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。

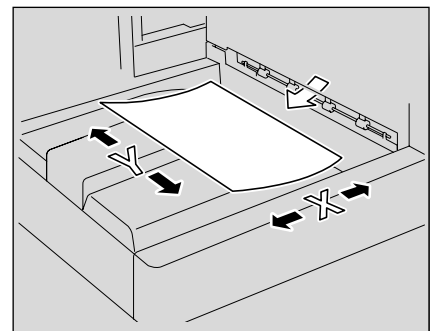
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを □ と表示します。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを ▢ と表示します。



# マニュアル体系について

本製品のユーザーズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザーズガイドと、ユーザーズガイド CD に収められた PDF のユーザーズガイドがあります。

## 印刷物のユーザーズガイド

### ●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

### ●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

## ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド

### ●ユーザーズガイド（コピー機能編）＜本書＞

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。

用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

### ●ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

拡大表示機能の操作について記載しています。

拡大表示画面でのコピー機能、スキャナー機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

### ●ユーザーズガイド（プリンター機能編（IC-207））

オプションのイメージコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。

プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

### ●ユーザーズガイド（ボックス機能編）

オプションのハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。

ボックスへのデータ保存、ボックスからのデータ取出し、データ転送方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

### ●ユーザーズガイド（ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編）

ネットワークスキャン機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能について記載しています。

E メールや FTP などによるネットワークスキャン機能や G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

### ●ユーザーズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

### ●ユーザーズガイド（ネットワーク管理者編）

ネットワークを利用した各機能について、おもに PageScope Web Connection を使用した設定方法を記載しています。

ネットワーク機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（拡張機能編）

オプションのライセンスキットを登録することで有効化して利用できる各機能と、アプリケーションと連携させることで利用できる各機能の概要と使い方について記載しています。

各機能を効果的にご使用いただくために、このユーザーズガイドをごらんください。

拡張機能は以下の機種に対応しています。

bizhub 501/421/361

●商標／ライセンスについて

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。



# 第 1 章

## ご使用いただく前に

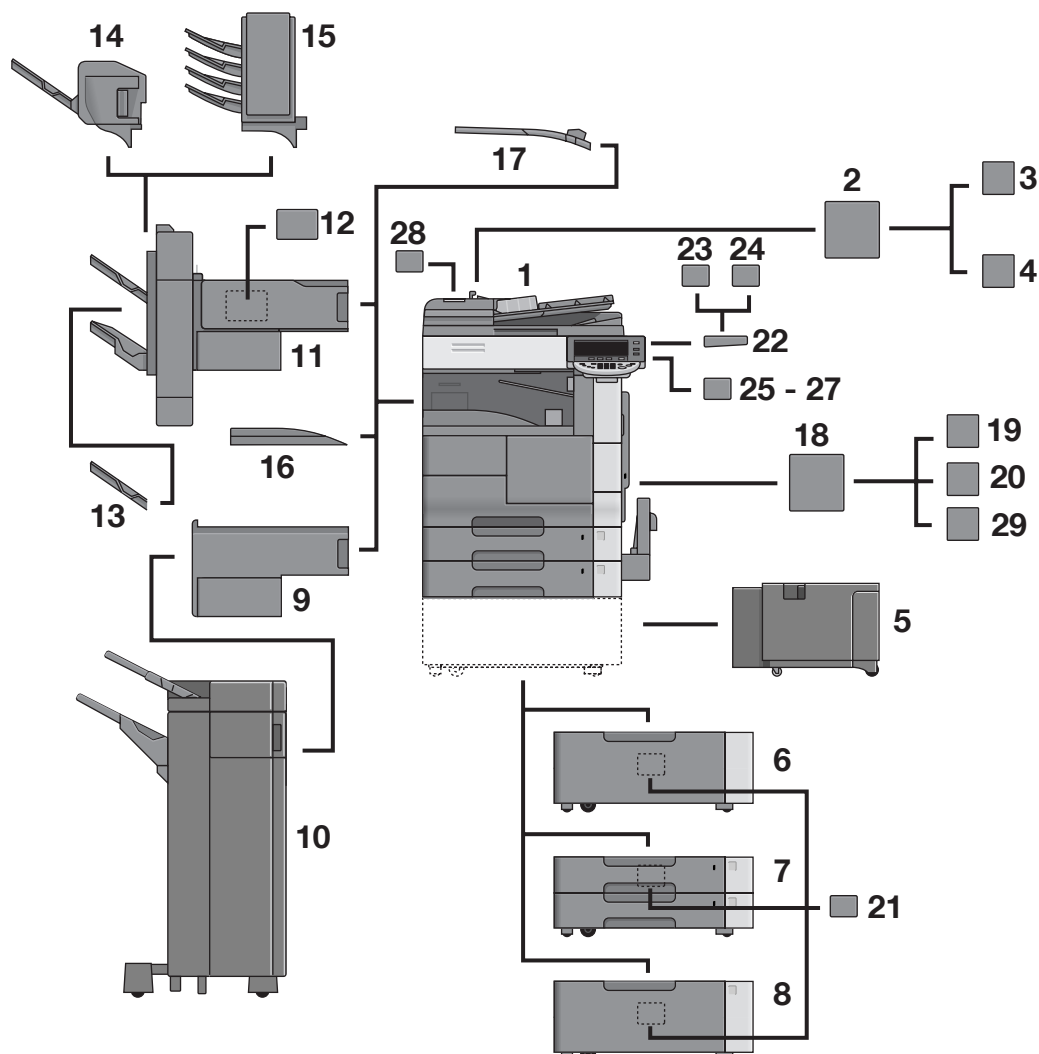
---

ご使用いただく前に知っておきたいことや準備しておくことについて説明します。

1.1	各部の名称とはたらき .....	1-2
1.2	操作パネルの角度をかえる .....	1-26
1.3	主電源と副電源を入れる .....	1-28
1.4	トレイ 1/2/3/4 へ用紙をセットする .....	1-43
1.5	トレイ 3 へ用紙をセットする .....	1-46
1.6	LCT へ用紙をセットする .....	1-49
1.7	手差しトレイへ用紙をセットする .....	1-50

## 1.1 各部の名称とはたらき

### 1.1.1 オプション構成

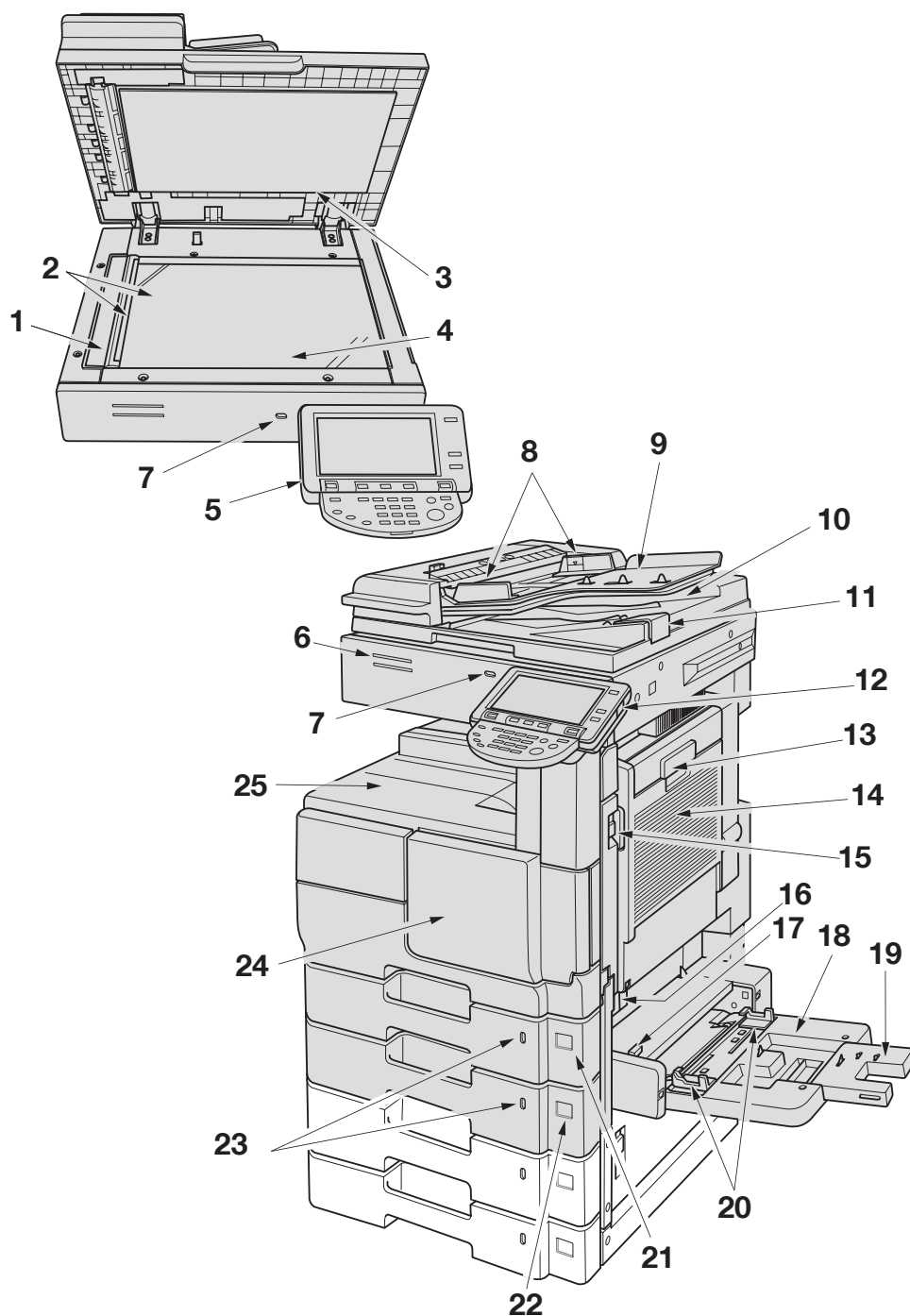


No	名称	説明
1	本体	スキャン部、プリント部、ADF 部、給紙部（トレイ 2 段+手差しトレイ）で構成されています。
2	取り付けキット MK-708	FAX キットを取り付けるときに使用します。
3	回線拡張キット ML-503	ファクス専用の電話回線を増設する場合に取り付けます。
4	FAX キット FK-502	本機をファクス機として使用できます。
5	大容量給紙ユニット LU-203	2,100 枚（64g/m <sup>2</sup> 紙）までの用紙をセットできます。
6	専用デスク DK-506	本機を上のにのせてフロアに設置します。資材などを収納できます。
7	給紙キャビネット PC-206	2 段のトレイで構成され、各 550 枚（64g/m <sup>2</sup> 紙）までの用紙をセットできます。
8	給紙キャビネット PC-407	2,500 枚（80g/m <sup>2</sup> 紙）までの用紙をセットできます。
9	中継搬送ユニット RU-507	本体とフィニッシャー FS-523 の用紙経路を中継します。

No	名称	説明
10	フィニッシャー FS-523	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能としてソート、グループ、オフセットソート、オフセットグループ、ステープル、パンチを選択できます。
11	フィニッシャー FS-522	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能としてソート、グループ、オフセットソート、オフセットグループ、ステープルを選択できます。
12	パンチユニット PU-501	フィニッシャー FS-522 に装着して、パンチ出力ができます。
13	排紙トレイ OT-602	フィニッシャー FS-522 に増設可能な排紙トレイです。
14	中綴じ機 SD-507	フィニッシャー FS-522 に装着して、中折り、中とし出力ができます。
15	メールピンキット MT-502	フィニッシャー FS-522 に装着して、PC プリント出力時に個人やグループごとにピンを割り当てて、出力用紙を仕分けすることができます。
16	排紙トレイ OT-504	フィニッシャーを装着しないとき、本体に取り付ける排紙トレイです。
17	セパレーター JS-502	プリントされた用紙を仕分けすることができます。
18	イメージコントローラー IC-207	本機をプリンターとして使用するとき装着します。
19	ハードディスク HD-509	ボックス機能を使用するとき装着します。
20	ローカル接続キット EK-703	USB 接続でプリントするとき使用します。
21	防湿ヒーター 1C	給紙キャビネットに取り付けて、セットされている用紙の湿気を防止します。(専用デスクにも取付け可)
22	ワーキングテーブル WT-502	原稿などを一時的に置くことができます。
23	認証装置 (指静脈生体認証タイプ) AU-101	身体内部の指静脈パターンを読み取ってユーザー認証を行うことができます。 詳しくは認証装置に同梱されているマニュアルをごらんください。
24	認証装置 (IC カード認証タイプ) AU-201	IC カードに記録された情報を読み取ってユーザー認証を行うことができます。 詳しくは認証装置に同梱されているマニュアルをごらんください。
25	キーカウンター	出力枚数の管理をするときに本機にセットします。
26	キーカウンターキット 4	キーカウンターを使用するために必要なキットです。
27	キーカウンター取り付けキット	キーカウンターキット 4 を取り付けるのに必要なキットです。
28	ファクス済みスタンプユニット SP-501	ADF に取り付けて使用します。ファクス送信時、読取りが完了した原稿にファクス済みスタンプを付けます。
29	セキュリティキット SC-505	ハードディスクに保存されるデータを暗号化し、より安全にハードディスクを使用できます。
30	i-Option LK-101*	操作パネルで Web ブラウザーやイメージパネル機能が使用できます。 詳しくは、「ユーザーズガイド 拡張機能編」をごらんください。
31	i-Option LK-102*	スキャン機能やボックス機能で PDF 形式の文書を配信する場合、PDF の暗号化や電子署名、プロパティの設定が行えます。 詳しくは、「ユーザーズガイド 拡張機能編」をごらんください。
32	i-Option LK-103*	i-Option LK-101/102 の両方の機能が使用できます。
33	アップグレードキット UK-202*	i-Option LK-101/102/103 を使用する場合に必要です。

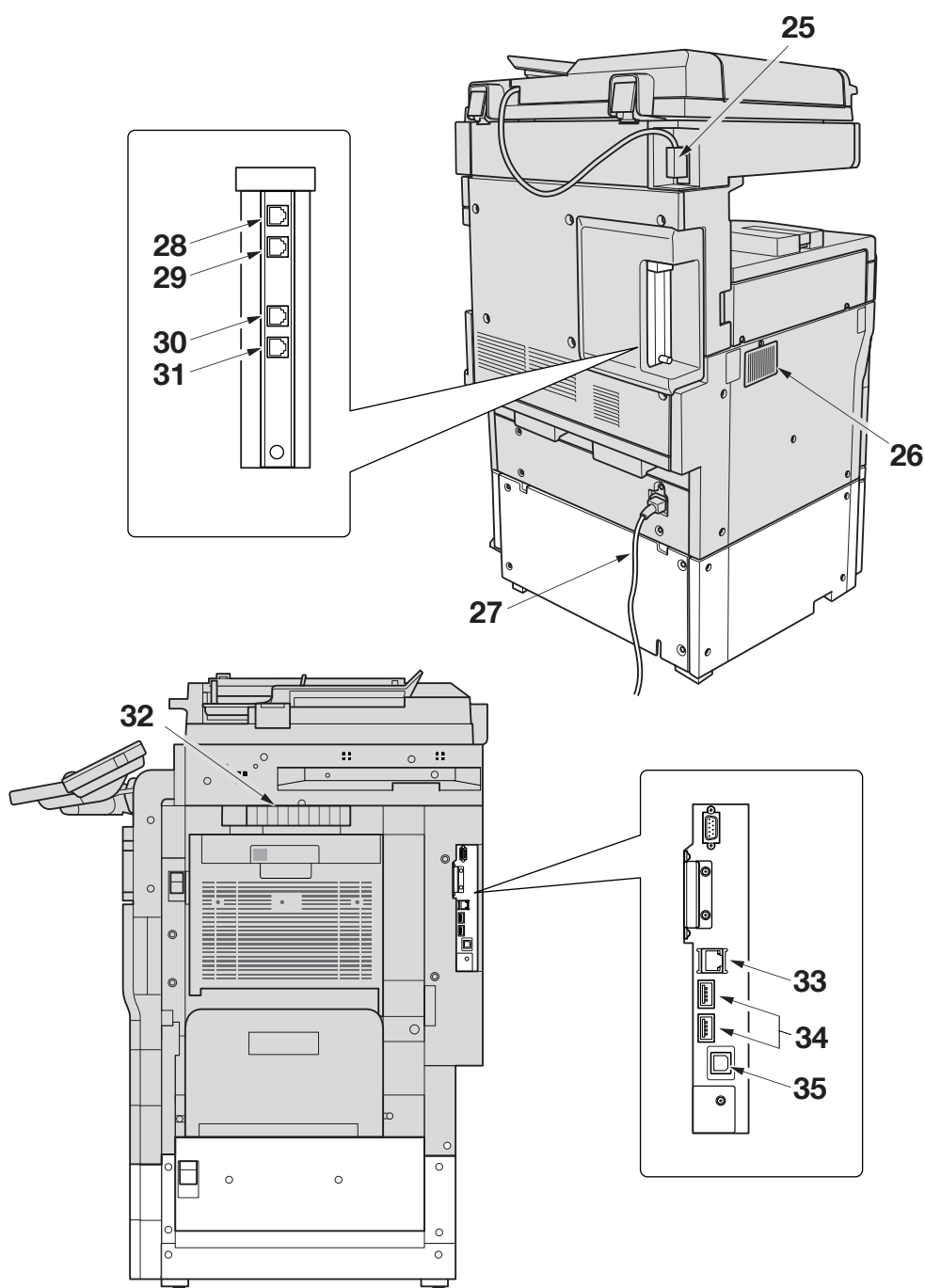
\* 印は図解してありません。

## 1.1.2 本体外部



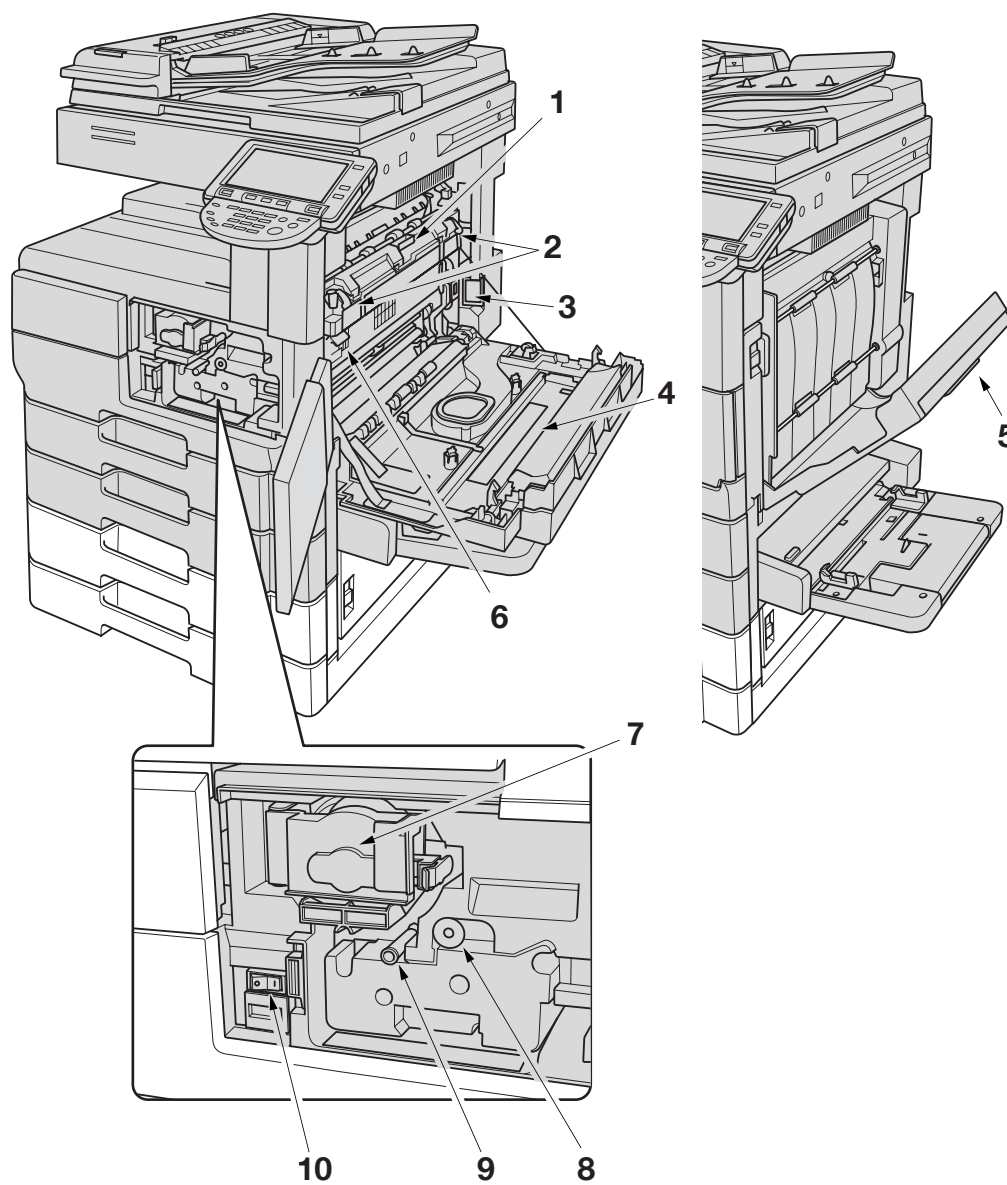
製品の機能、品質を保持するため、床置きする場合には、専用デスクまたは給紙キャビネットを使用してください。操作パネルを持って本機の移動は行わないでください。

No	名称	説明
1	原稿読取りガラス	ADF にセットした原稿を読込みます。
2	原稿スケール	原稿ガラスに原稿をセットするとき、指標として使用します。
3	原稿押さえパッド	原稿ガラス上にセットした原稿を押さえます。
4	原稿ガラス	コピーする面を下にしてセットした原稿を読込みます。
5	操作パネル	本機の各種設定、動作スタートなどの操作をします。(p. 1-21)
6	機械状態表示ランプ	本機の状態を青と赤のランプの点灯、点滅で表示します。 青色に点滅：正常印刷中 オレンジ色に点滅：警告中 オレンジ色に点灯：機械停止中
7	USB ポート (タイプ A) USB2.0/1.1	外部メモリー (USB メモリー) を接続するときに使用します。
8	原稿ガイド	セットした原稿に沿わせます。
9	原稿給紙トレイ	読込む原稿を上向きにセットします。
10	原稿排紙トレイ	読込まれた原稿が排紙されます。
11	原稿ストッパー	大きいサイズ of 原稿が原稿排紙トレイから落ちないように、立てて使用します。
12	副電源スイッチ	コピー、スキャンの機能をオン/オフします。オフにすると、プリント、ファックスのデータ受信、出力機能以外はオフになり、節電状態になります。
13	ADU ドア解除レバー	両面ユニット内の紙づまりのとき、手前に引き出して両面ユニットドアを開きます。
14	ADU ドア	両面ユニット内で紙づまりをした用紙を取り出すときに開きます。
15	右ドア解除レバー	右ドアを開くとき、手前に引き出します。
16	縦搬送ドア解除レバー	紙づまりのとき、右にスライドさせて縦搬送ドアを開きます。
17	手差しスライドカバーレバー	紙づまりのとき、持って手差しスライドカバーを手前に引き出します。
18	手差しトレイ	ほかのトレイにセットされていない用紙や、ほかのトレイにはセットできない用紙 (厚紙、OHP フィルム、郵政はがき、封筒、ラベル用紙など) にプリントするときに開いて使用します。
19	補助トレイ	手差しトレイに大きいサイズの用紙をセットするときに開きます。
20	ガイド板	セットした用紙に沿わせます。
21	第 1 給紙トレイ	A3 ~ A5 の用紙を 550 枚 (64g/m <sup>2</sup> 紙) セットできます。
22	第 2 給紙トレイ	A3 ~ A5 の用紙を 550 枚 (64g/m <sup>2</sup> 紙) セットできます。
23	用紙残量窓	給紙トレイにセットされている用紙の残量を表示します。用紙が減るにつれて赤い表示が増えます。
24	前ドア	トナーカートリッジの交換や書込みユニット/帯電ワイヤを清掃するときに開きます。(p. 8-3, p. 9-3)
25	排紙トレイ	プリントされた用紙が排紙されます。



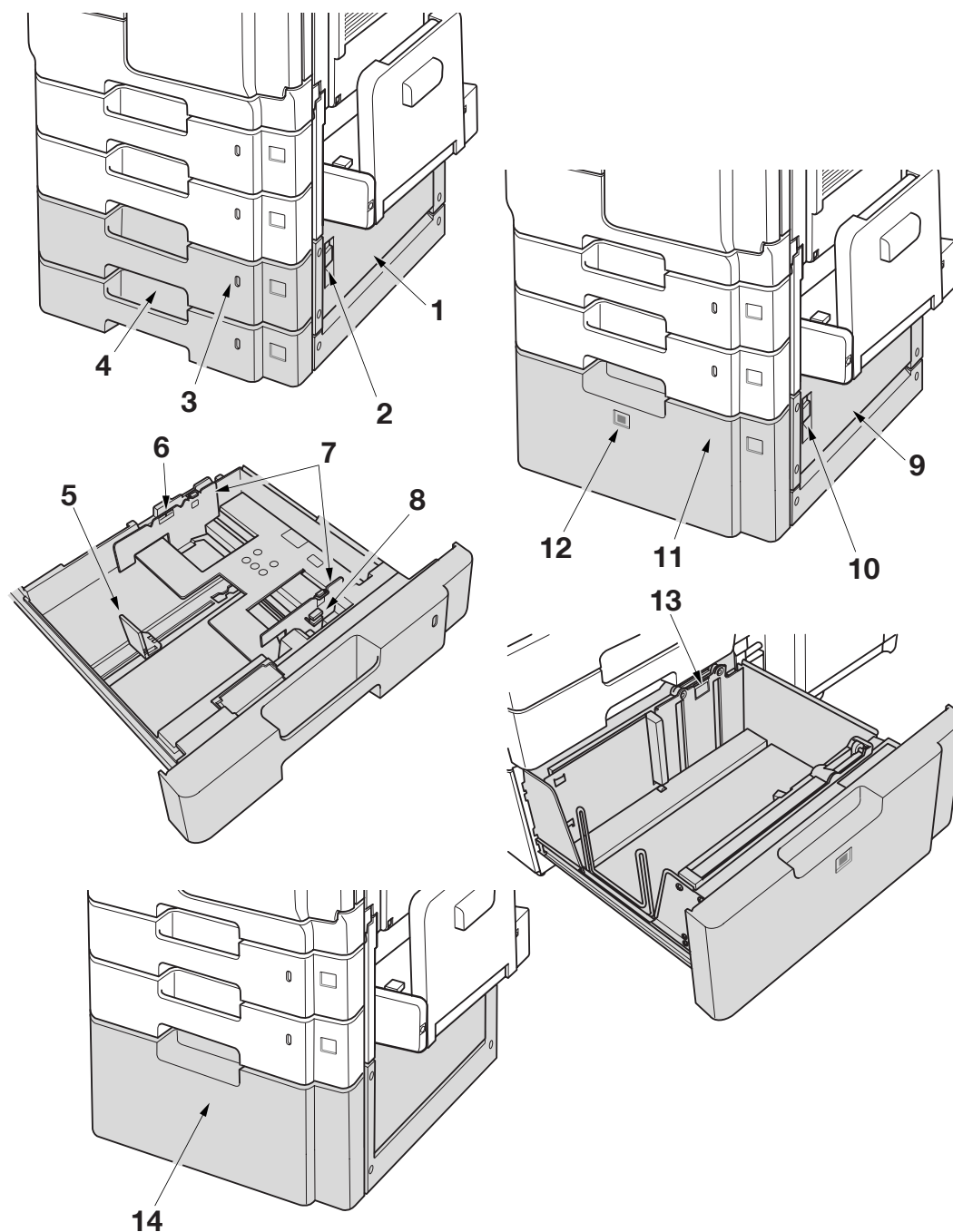
No	名称	説明
25	ADF 用コネクタ	ADF のコードを接続します。
26	トナーフィルタ	機内で発生したトナー粉などを回収します。
27	電源コード	本機に電源を供給します。
28	ポート 1 回線コネクタ (LINE PORT1)	一般加入電話回線を接続するときに使用します。
29	外付け電話機接続用コネクタ (TEL PORT1)	外付け電話機のコードを接続します。
30	ポート 2 回線コネクタ (LINE PORT2)	一般加入電話回線を接続するときに使用します。 オプションの回線拡張キットを装着した場合に使用します。
31	外付け電話機接続用コネクタ (TEL PORT2)	外付け電話機のコードを接続します。
32	排気ダクト	機械の排熱を放出します。
33	ネットワーク用ポート (10Base-T/100Base-TX/ 1000Base-T)	本機をネットワークプリンター、ネットワークスキャナーとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。
34	USB ポート (タイプ A) USB2.0/1.1	USB ケーブルで認証装置 (指静脈 生体認証タイプ)、認証装置 (IC カード認証タイプ)、外部メモリー (USB メモリー) を接続するときに使用します。
35	USB ポート (タイプ B) USB2.0/1.1	USB 接続のプリンターとして使用するときに接続します。オプションになります。

## 1.1.3 本体内部



No	名称	説明
1	定着ガイドレバー	紙づまりのとき、持って定着ガイドを開きます。
2	封筒レバー	封筒にプリントするとき上に上げます。
3	オゾンフィルター	機内で発生したオゾンを回収します。
4	反転ユニット	両面プリントするとき、本機の内部で用紙を反転させます。
5	ADU レバー	紙づまりのとき、持って ADU を開きます。
6	搬送ガイドレバー	紙づまりのとき、持って搬送ガイドを開きます。
7	トナーカートリッジカバー	トナーカートリッジ交換時、トナーカートリッジを引き出すために開きます。
8	帯電ワイヤー清掃レバー	帯電ワイヤーを清掃するときに引き出します。
9	書込みユニットガラス清掃レバー	書込みユニットガラスを清掃するときに引き出します。
10	主電源スイッチ	本機の電源をオン／オフします。

## 1.1.4 給紙キャビネット PC-206 / PC-407 / 専用デスク DK-506



## 給紙キャビネット PC-206

No	名称	説明
1	右下ドア	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
2	右下ドア解除レバー	紙づまりのとき、右に開いてつまった用紙を処理します。
3	第3給紙トレイ	A3～A5の用紙を550枚(64g/m <sup>2</sup> 紙)セットできます。
4	第4給紙トレイ	A3～A5の用紙を550枚(64g/m <sup>2</sup> 紙)セットできます。
5	後端ストッパー	セットした用紙の後端側に沿わせます。
6	用紙積載制限マーク (▼)	用紙の積載制限の高さを表示しています。
7	ガイド板	セットした用紙の両側面に沿わせます。
8	ガイド板ロック解除レバー	ガイド板をスライドさせるとき、奥側に押してロックを解除します。

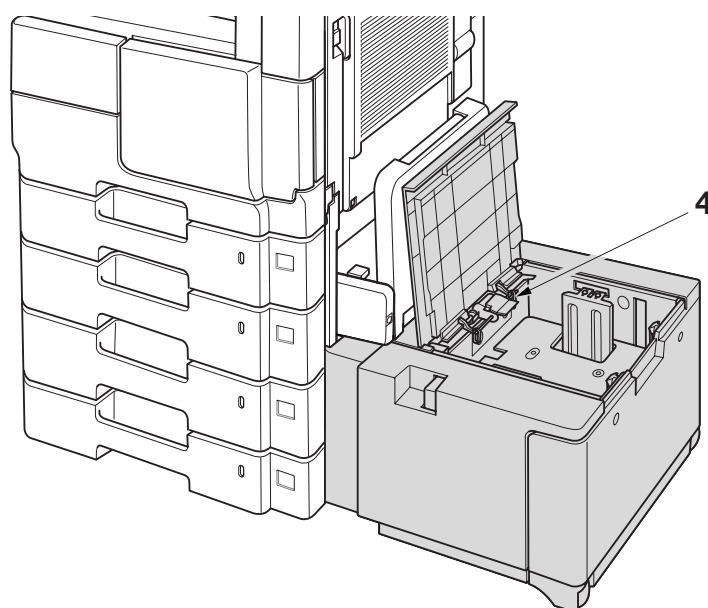
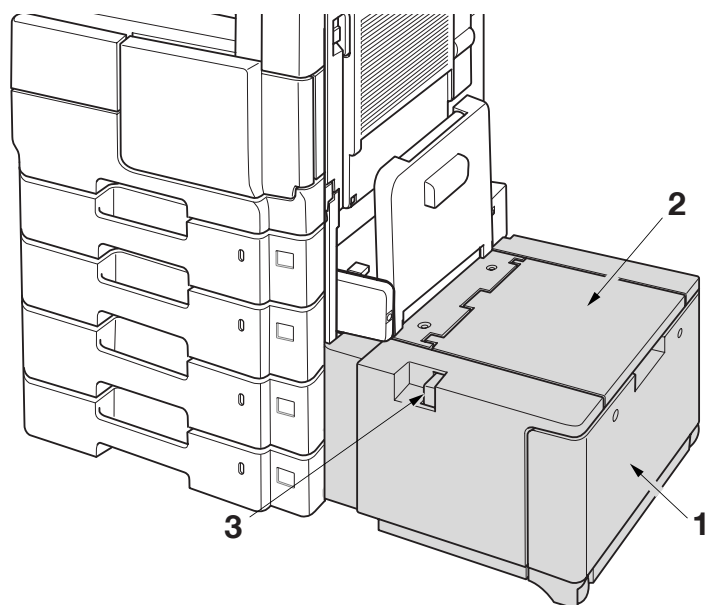
## 給紙キャビネット PC-407

No	名称	説明
9	右下ドア	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
10	右下ドア解除レバー	紙づまりのとき、右に開いてつまった用紙を処理します。
11	大容量給紙トレイ	A4専用の大容量給紙トレイです。用紙を2,500枚(80g/m <sup>2</sup> 紙)セットできます。
12	トレイ引出し解除キー	大容量給紙トレイを引き出すときに押します。
13	用紙積載制限マーク (▼)	用紙の積載制限の高さを表示しています。

## 専用デスク DK-506

No	名称	説明
14	デスクドア	開いて収納物を出し入れします。

## 1.1.5 大容量給紙ユニット LU-203

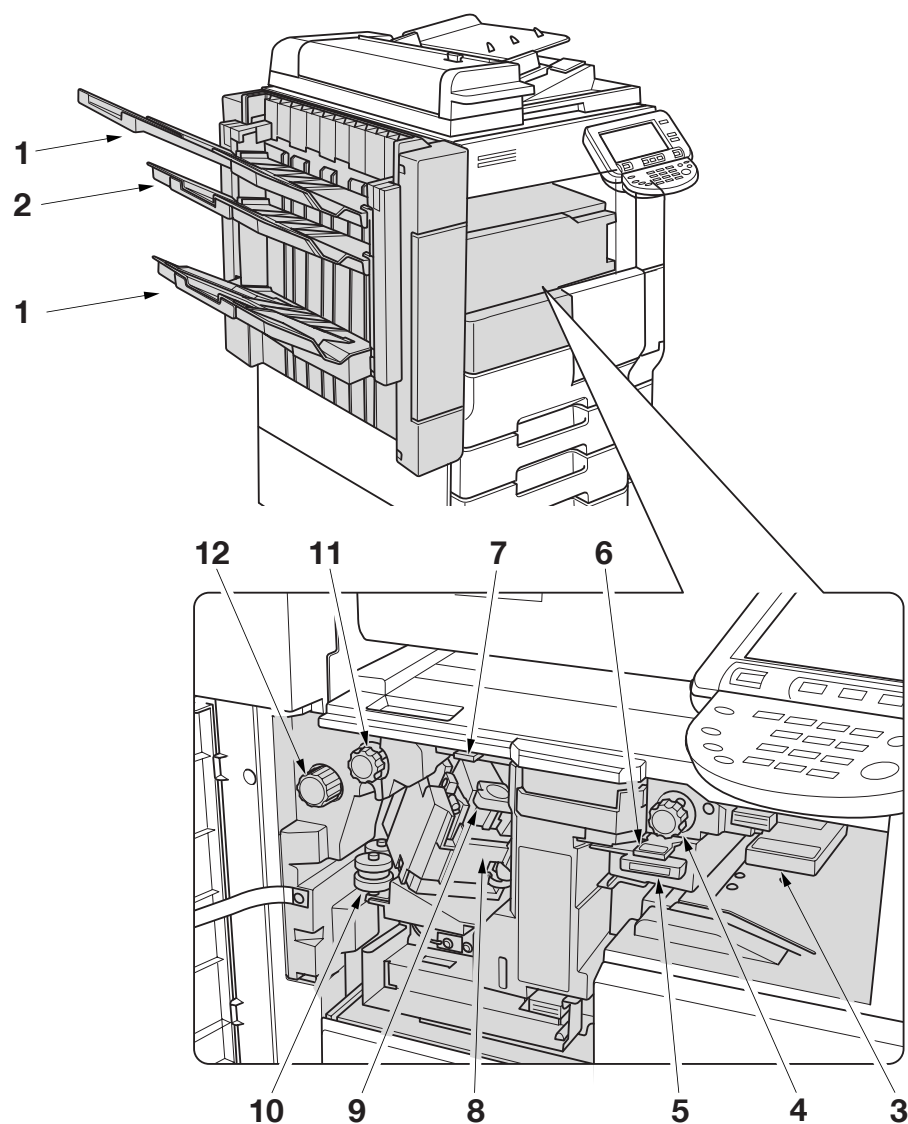


大容量給紙ユニットに足をかけてのったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。

## 大容量給紙ユニット LU-203

No	名称	説明
1	大容量給紙ユニット	A4 専用の大容量給紙ユニットです。用紙を 2,100 枚 (64g/m <sup>2</sup> 紙) セットできます。
2	上ドア	用紙を補給したり、紙づまりのときに開けて処理します。
3	引出し解除レバー	紙づまりのとき、持って大容量給紙ユニットを右側にスライドさせます。
4	給紙ローラー	用紙を 1 枚ずつ本体に送り込みます。

## 1.1.6 フィニッシャー FS-522 / 排紙トレイ OT-602 / パンチユニット PU-501

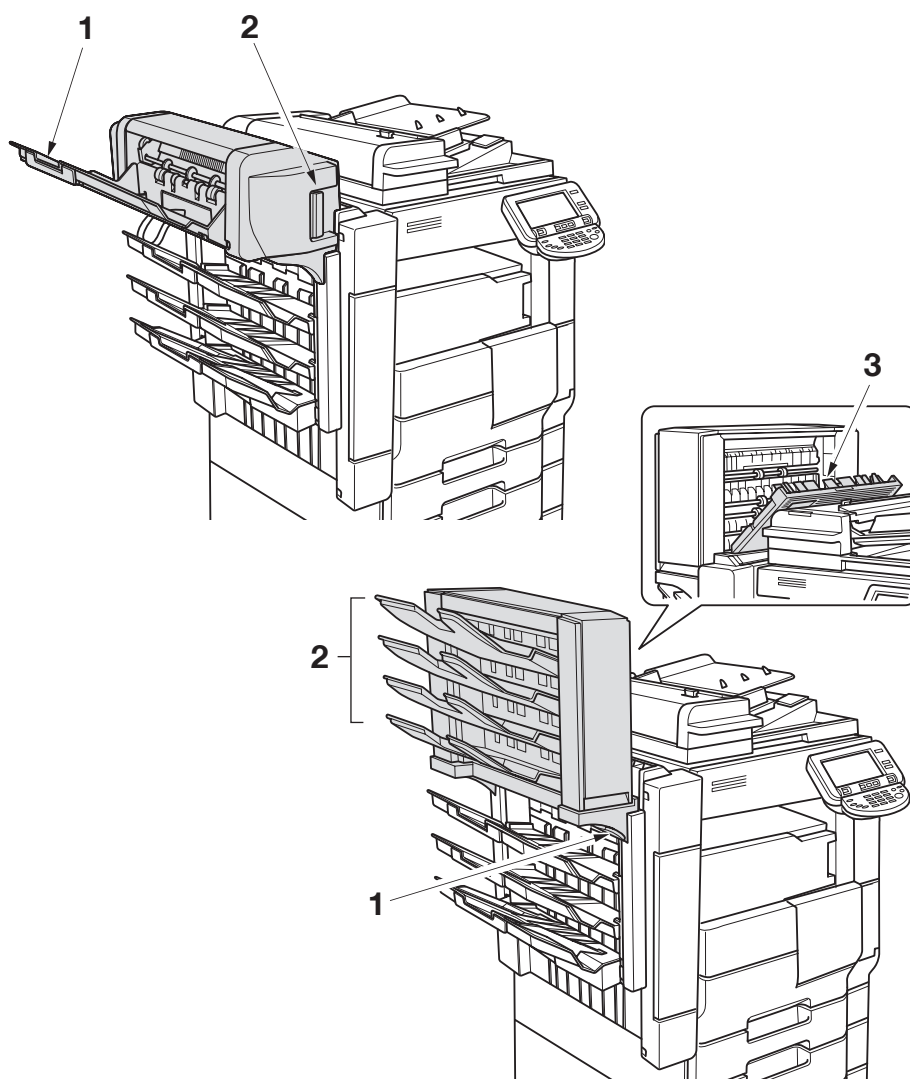


フィニッシャー排紙トレイの下にものを置かないでください。ぶつかるなどして故障の原因になります。

## フィニッシャー FS-522 / 排紙トレイ OT-602 / パンチユニット PU-501

No	名称	説明
1	排紙トレイ	用紙が排紙されます。
2	増設排紙トレイ (排紙トレイ OT-602 オプション)	用紙が排紙されます。
3	ガイド (FN1)	紙づまりのとき、押し下げてつまった用紙を処理します。
4	つまみ (FN2)	紙づまりのとき、回してつまった用紙を処理します。
5	パンチくず箱 (パンチユニット PU-501 オプション)	パンチくずがたまります。引き出してパンチくずを捨てます。
6	ガイド (FN3)	紙づまりのとき、パンチくず箱を引き出したあと、押し下げてつまった用紙を処理します。
7	ガイド (FN4)	紙づまりのとき、押し下げてつまった用紙を処理します。
8	ステープラー	用紙にステープルを打ち込みます。
9	ステープルホルダー	ステープル針を収納しています。ステープル針を補給したり、針づまりのときステープラーから取り出して処理します。
10	ダイヤル	針づまりや針補給のとき、ステープラーを手前に移動させます。
11	つまみ (FN5)	紙づまりのとき、回してつまった用紙を処理します。
12	つまみ (FN6)	紙づまりのとき、回してつまった用紙を処理します。

## 1.1.7 中綴じ機 SD-507 / メールピンキット MT-502

 必ず守ってください

フィニッシャーは排紙されるトレイによってトレイ全体が上下します。  
中綴じ機やメールピンが取り付けられていると上下の動きが大きいので、フィニッシャーの上部や下部に物があると、ぶつかるなどして故障の原因になります。物が無いことを必ず確認してください。  
中綴じ機やメールピンの上に物をのせたり、もたれかかったりしないでください。故障の原因になります。

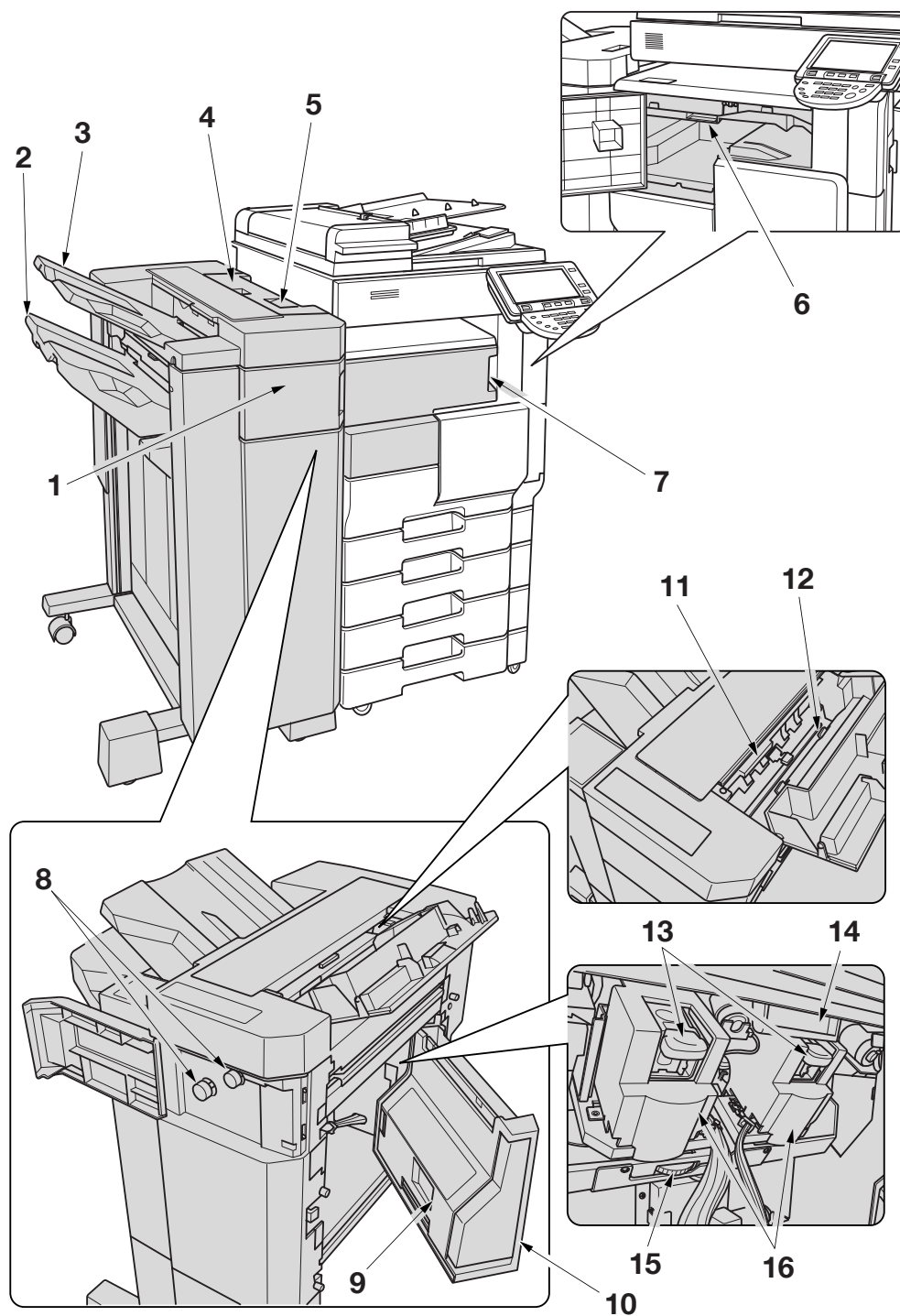
## 中綴じ機 SD-507

No	名称	説明
1	サドルトレイ	用紙が排紙されます。
2	中綴じ機解除レバー	紙づまりのとき、左にスライドさせてつまった用紙を処理します。

## メールピンキット MT-502

No	名称	説明
1	メールピン下レバー (FN7)	紙づまりのとき、下に開いてつまった用紙を処理します。
2	メールピン	プリントされた用紙が仕分けされて排紙されます。
3	メールピン横ドア	紙づまりのとき、右に開いてつまった用紙を処理します。

## 1.1.8 フィニッシャー FS-523 / 中継搬送ユニット RU-507





必ず守ってください

フィニッシャー排紙トレイの下にもものを置かないでください。ぶつかるはたらきなどして故障の原因になります。フィニッシャーを移動させるときは排紙トレイを持たないようにしてください。トレイが壊れたり、機械故障の原因になります。

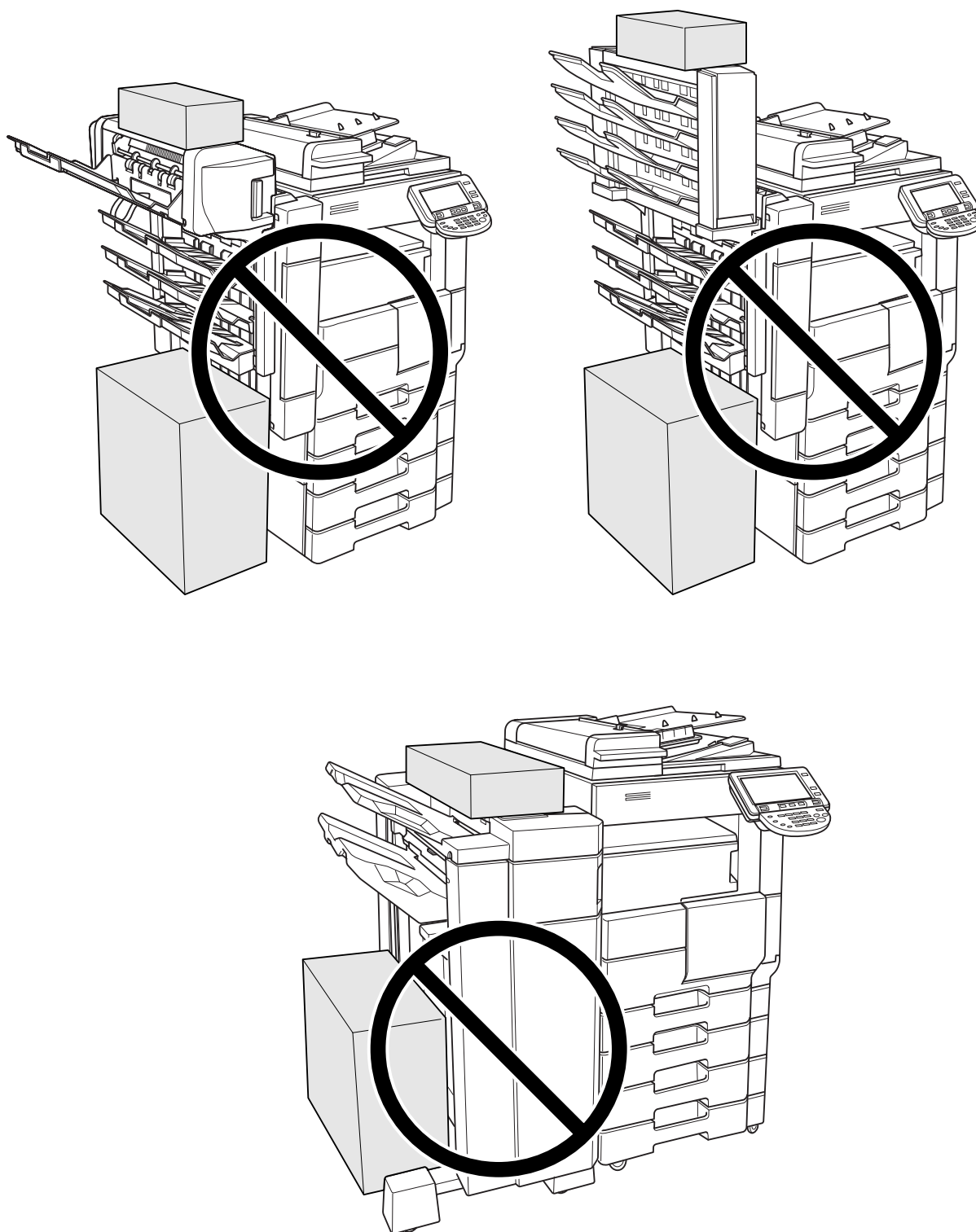
## フィニッシャー FS-523 / 中継搬送ユニット RU-507

No	名称	説明
1	フィニッシャー前ドア (FN4)	紙づまりのとき、開けて処理します。
2	メイン排紙トレイ (トレイ 2)	プリントされた用紙が排紙されます。
3	サブ排紙トレイ (トレイ 1)	プリントされた用紙が排紙されます。
4	フィニッシャー上ドア (FN1)	紙づまりのとき、開けてつまった用紙を処理します。
5	引出し取手	紙づまり、ステープル針の補給、パンチくず処理のときなどフィニッシャーを本体から離すとき、持ってフィニッシャーを左にスライドさせます。
6	中継搬送ユニットレバー	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
7	中継搬送ユニット前ドア	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
8	つまみ (FN5)	紙づまりのとき、回してつまった用紙を処理します。
9	パンチくず箱	パンチくずがたまります。取り出してパンチくずを捨てます。
10	フィニッシャー右ドア (FN7)	パンチくず処理、針づまり処理、ステープル針の補給のときに開きます。
11	ガイド板 (FN3)	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
12	ガイド板 (FN2)	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
13	ステープルホルダー	ステープル針を収納しています。ステープル針を補給したり、針づまりのときステープラーから取り出して処理します。
14	ガイド板 (FN8)	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
15	ダイヤル	針づまりや針補給のとき左に回してステープラーを中央に移動させます。
16	ステープラー	用紙にステープルを打ち込みます。

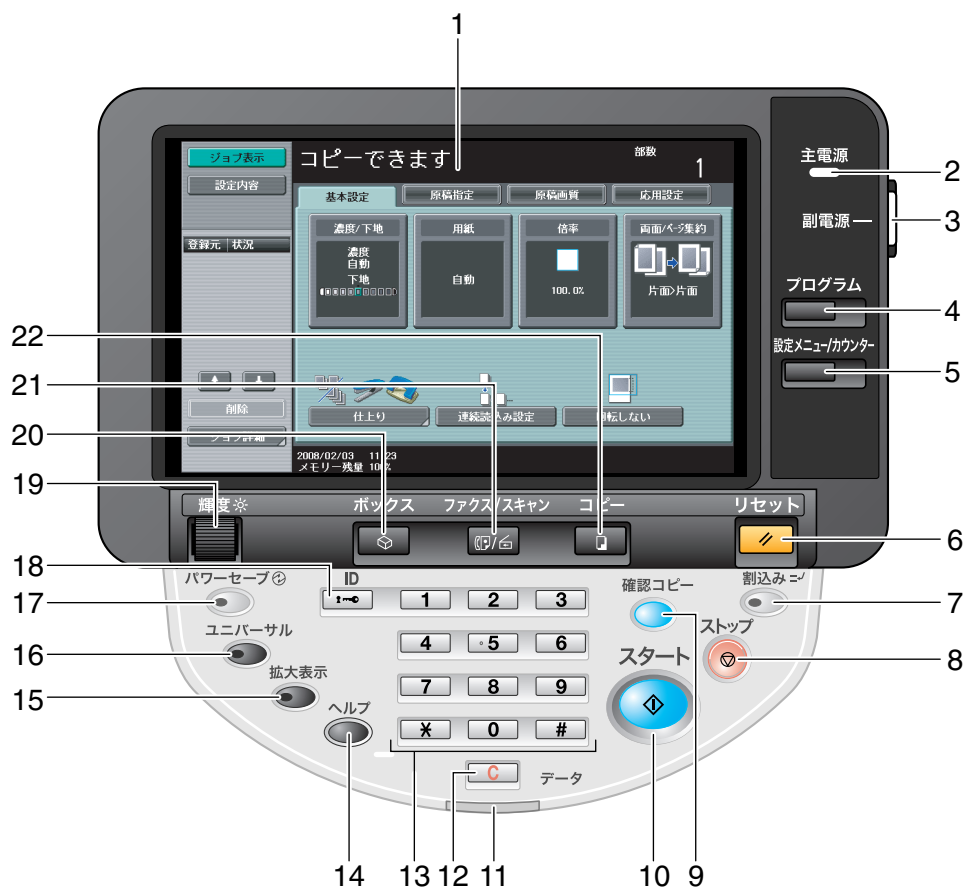
## &lt;フィニッシャー使用時のご注意&gt;

フィニッシャーの上や排紙トレイの下に物を置かないでください。

故障の原因となるおそれがあります。



## 1.1.9 操作パネル



No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行うことができます。
2	主電源ランプ	【主電源スイッチ】がONのときに緑色に点灯します。
3	【副電源スイッチ】	本機の動作をON/OFFします。OFFのときは節電状態となります。
4	【プログラム】キー	目的のコピー / ファクス / スキャン機能の条件を登録（書込み）したり、登録した条件を呼出することができます。（p. 3-16）
5	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンター画面に切替えることができます。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）をリセットできます。
7	【割込み】キー	割込み機能に切り替わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です。」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能を解除できます。
8	【ストップ】キー	コピー、スキャン、プリント中に【ストップ】を押すと、動作を一時停止できます。
9	【確認コピー】キー	複数部数のコピーを行うとき、先に1部のみ印刷して仕上りを確認できます。（p. 3-4） 【スタート】を押す前に、【確認コピー】を押すと、現在設定している内容の仕上りイメージをタッチパネル上に表示できます。（p. 3-7）

No	名称	説明
10	【スタート】キー	コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。一時停止中のジョブが再開します。ジョブについて詳しくは、「 <a href="#">ジョブ表示画面の概要</a> 」(p. 10-2) をごらんください。
11	データランプ	印刷ジョブを受信中は、青色に点滅します。 印刷ジョブが印刷待ち、および印刷中は、青色に点灯します。未出力のファクスデータ、蓄積されたファクスデータがある場合は青色に点灯します。
12	【C】クリアキー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消することができます。
13	テンキー	部数の設定ができます。 倍率の入力ができます。 各種の設定値の入力ができます。
14	【ヘルプ】キー	ヘルプ画面に切替えることができます。 本機機能の解説や操作方法を画面上に表示できます。 (p. 3-18)
15	【拡大表示】キー	拡大表示画面に切替えることができます。PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、拡大表示画面に切り替わりません。
16	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切り替わります。
17	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切り替わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
18	【ID】キー	ユーザー認証または部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
19	【輝度】調整ダイヤル	タッチパネルの輝度の調整ができます。
20	【ボックス】キー	ボックス機能に切り替わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。詳しくは、「 <a href="#">ユーザーズガイド ボックス機能編</a> 」をごらんください。
21	【ファクス/スキャン】キー	ファクス機能、スキャナー機能に切り替わります。 ファクス機能、スキャナー機能中は【ファクス/スキャン】が緑色に点灯します。 詳しくは、「 <a href="#">ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編</a> 」をごらんください。
22	【コピー】キー	コピー機能に切り替わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。

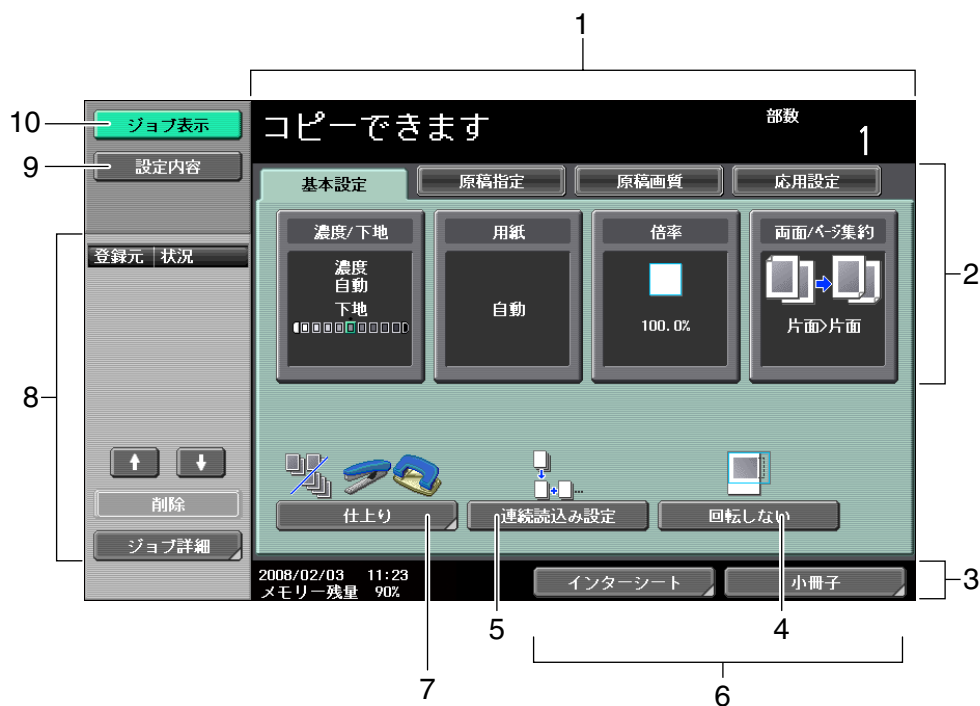


タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。  
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

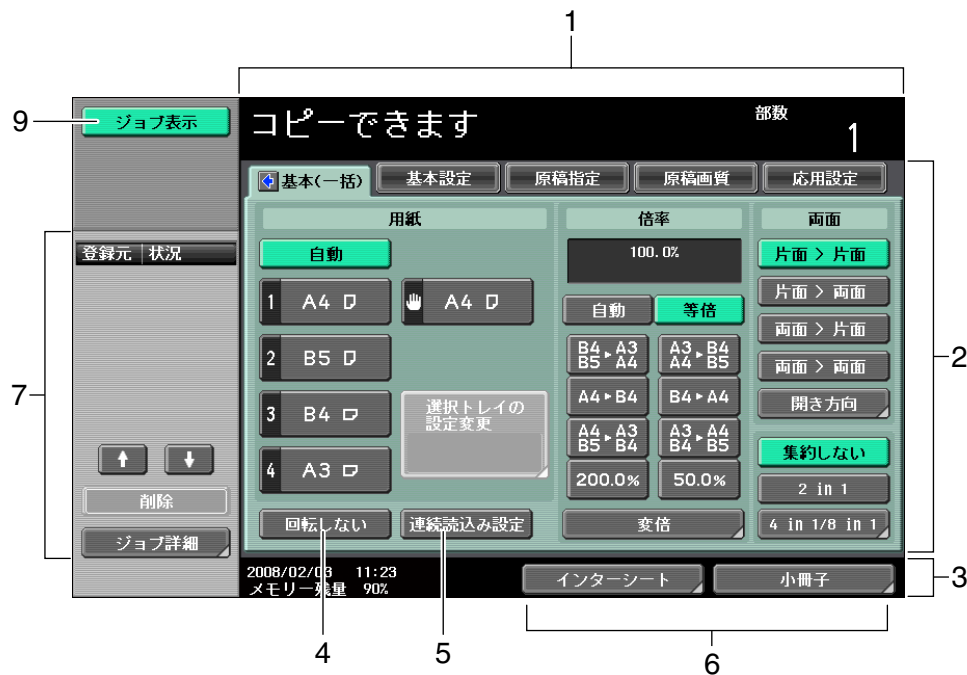
### 1.1.10 基本的な設定をする画面（基本設定画面）

電源を入れてコピー可能な状態になると、基本設定画面が表示されます。  
画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された機能やモードを選択できます。

基本設定画面



基本（一括）画面



キーを押すと左エリアに「濃度」、「下地調整」、「仕上り」キーが表示されます。



No	名称	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。
2	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。 キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切替わります。
3	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。
4	「回転しない」キー	セットされた用紙の向きに合わせて画像を回転させないようにコピーできます。
5	「連続読み込み設定」キー	原稿をいくつかに分けて読みませるときに押します。 いくつかに分けて読み込んだ原稿をひとつのコピージョブとして扱うことができます。
6	ショートカットキー	よく使う応用機能のキーを2つまで表示させ、ワンタッチで設定画面を表示します。
7	「仕上り」キー	ソート、グループ、仕分け、ステープルとじ、パンチ穴などの設定をします。
8	左エリア	「ジョブ表示」キーを押すと現在実行中、および待機中のジョブを表示する画面に切替わります。 「設定内容」キーを押すことにより、設定中の仕上り状態などを表示します。
9	「設定内容」キー	設定中の仕上り状態などを表示します。
10	「ジョブ表示」キー	現在実行中、および待機中のジョブを表示します。 ジョブの確認、ジョブ操作ができます。

### 詳しく説明します

- 基本設定画面には基本設定画面と基本（一括）画面があり、【設定メニュー】－【ユーザー設定】－【画面カスタマイズ設定】－【コピー設定】で設定することができます。基本設定画面と基本（一括）画面では、各機能設定画面の階層やキーの配置などが異なりますが、設定できる機能は同じです。出荷時設定では、【基本設定画面】が設定されています。本書では基本設定画面からの設定方法を説明しています。
- 基本（一括）画面は、基本設定画面の設定項目が一画面に表示されているため、複数の設定をする場合に便利です。










### 参照

- 基本設定画面の切替えの設定については、「<コピー設定>」(p. 11-15) をごらんください。
- ショートカットキーの設定については、「<コピー設定>」(p. 11-15) をごらんください。

### ひとこと

工場出荷時から設定値が変更された場合、変更された設定画面のタブが緑色枠で表示されます。  
緑色枠は【設定メニュー】－【ユーザー設定】－【画面カスタマイズ設定】－【選択色設定】で他の色に変更できます。

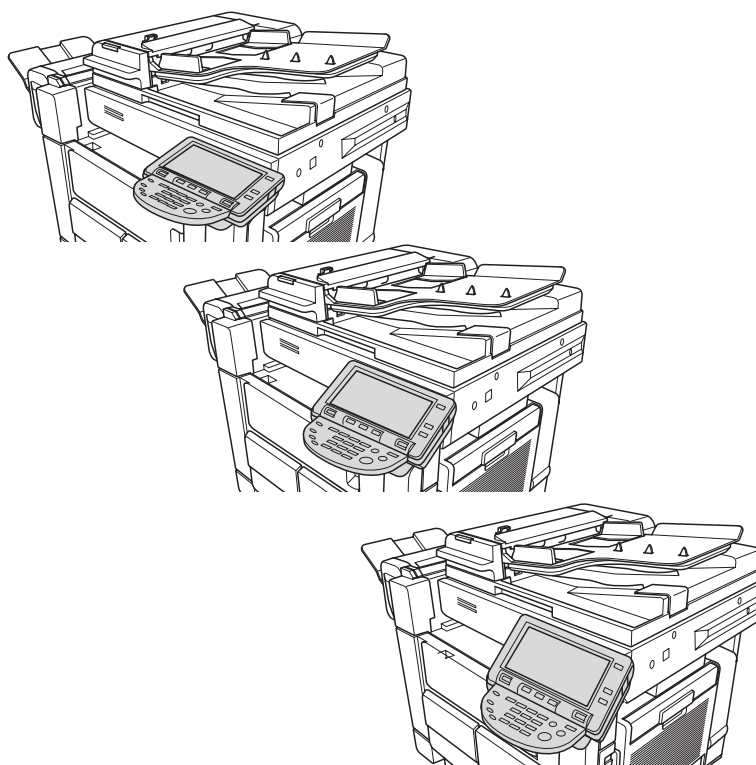
## 1.1.11 タッチパネル内で表示されるアイコンについて

アイコン	説明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	警告発生中に警告表示画面を閉じた場合に、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切替わります。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあるときに表示されます。キーを押してメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。
	POP サーバーへの接続エラー時に表示されます。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。
	給紙トレイにセットされている用紙が残り少ないことを示します。
	セキュリティー強化設定が適用されていることを示します。
	USB メモリーが接続されている場合に表示されます。

## 1.2 操作パネルの角度をかえる

本機の操作パネルは、操作面の角度を3段階に設定できます。また、操作パネルを左に傾けることができます。

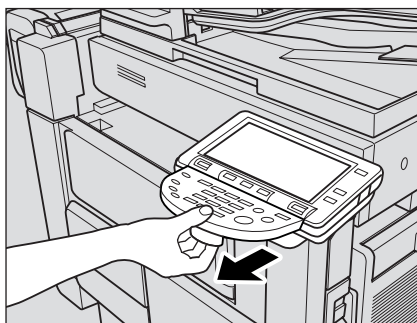
使いやすい角度を選んでご使用ください。



### 1.2.1 操作パネルの角度のかえかた

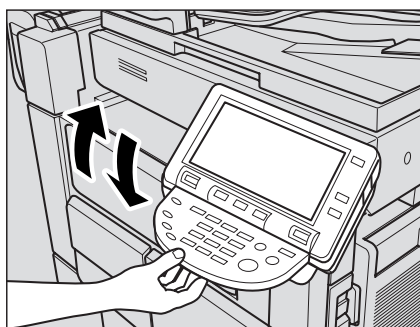
1

操作パネル解除レバーを手前に引き、位置ロックを解除します。



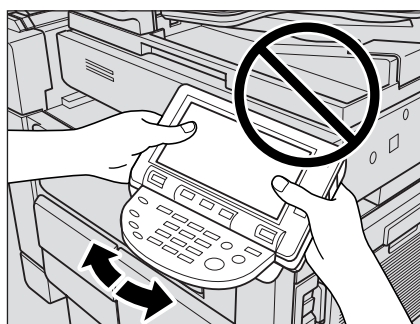
2

任意位置に操作パネルを動かし、操作パネル解除レバーを放します。



3

操作パネルを左に傾ける場合は、操作パネル下部を持って左に傾けます。



必ず守ってください

操作パネルを傾ける場合はタッチパネルを持って行わないでください。

## 1.3 主電源と副電源を入れる

本機には、【主電源スイッチ】と【副電源スイッチ】の2つの電源スイッチがあります。

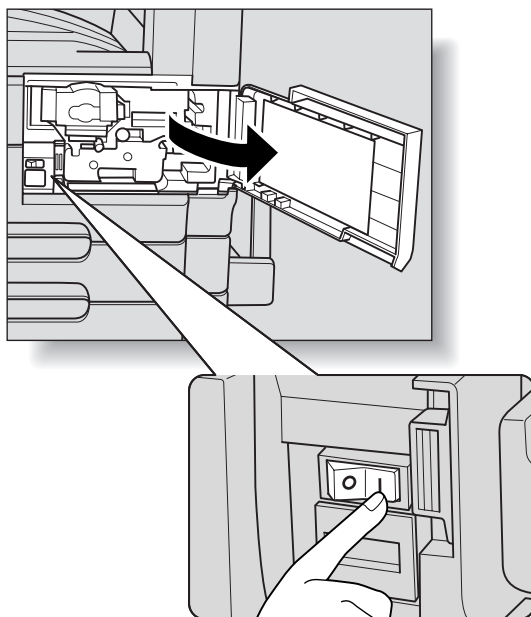
### 1.3.1 電源の入れかた

【主電源スイッチ】は、本機の全ての機能に対して ON/OFF します。通常、【主電源スイッチ】は ON の状態にしておきます。

【副電源スイッチ】では、コピー、印刷、スキャナー機能など本機の動作に対して ON/OFF をします。【副電源スイッチ】を OFF にすると節電状態となります。

1

前ドアを開き、【主電源スイッチ】の【I】を押します。

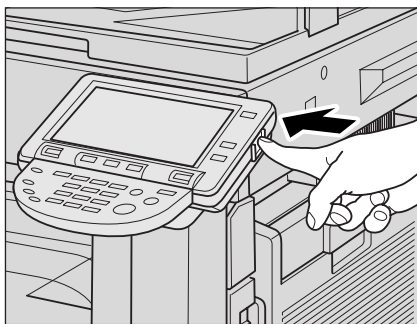


2

前ドアを閉じます。

3

【副電源スイッチ】を押します。



タッチパネルの表示を確認します。

#### 詳しく説明します

【副電源スイッチ】を ON にすると、【スタート】がオレンジ色に点灯し、起動中を表す画面が表示されます。数秒後、メッセージが「ウォームアップ中です。読み込みできます」に切り替わり、【スタート】が青色に点灯すると、ジョブの予約を受け付けることができます。

#### ひとこと

【副電源スイッチ】を ON にしたあとのウォームアップ中でも、ジョブを予約できます。詳しくは、「ウォームアップ中に読み込みする」(p. 1-29) をごらんください。ウォームアップ完了後に、読み込んだ画像が印刷されます。

#### 参照

ウォームアップ時間については、「本体」(p. 5-2) をごらんください。

#### 詳しく説明します

電源を ON にしてから操作パネル、タッチパネルで設定をする前の状態、または【リセット】を押して操作パネル、タッチパネルで入力した設定を取消した状態を初期設定と呼びます。初期設定は変更できます。詳しくは、「コピー設定」(p. 11-16) をごらんください。工場出荷時に設定されている本機の状態を出荷時設定といいます。

## 1.3.2 ウォームアップ中に読み込む

1

【副電源スイッチ】を ON にします。

【スタート】がオレンジ色に点灯します。

ウォームアップ画面が表示されたあと、基本設定画面が表示され、【スタート】が青色に点灯します。

2

タッチパネルの「ウォームアップ中です。読み込みできます」というメッセージを確認します。



3

原稿をセットします。

4

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

5

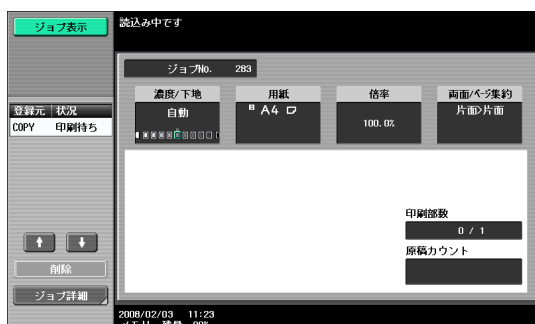
テンキーでコピー部数を設定します。

6

【スタート】を押します。

原稿の読み込みをし、待機中のジョブに追加されます。

- 設定メニューの「印刷中画面表示」を「する」に設定した場合は「コピー予約」を押して、基本設定画面を表示させます。



- ウォームアップが完了したとき、自動的に印刷を開始します。

## 詳しく説明します

【副電源スイッチ】を ON にして出力できるまでのウォームアップ中に、コピー条件を設定し、原稿を読み込むコピー予約ができます。ウォームアップが完了すると自動的に出力できます。

## 参照

電源の入れ方については、「[電源の入れかた](#)」(p. 1-28) をごらんください。

## 参照

原稿のセットについては、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をごらんください。

## 参照

コピー部数設定については、「[コピー操作の流れ](#)」(p. 2-2) をごらんください。

## 詳しく説明します

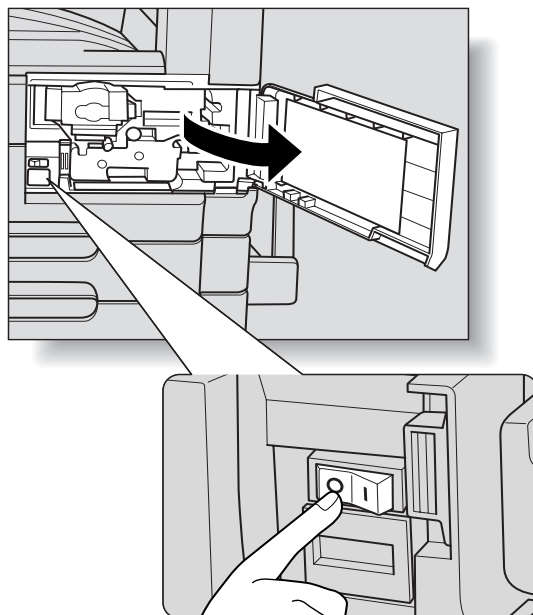
〔ジョブ表示〕－〔ジョブ詳細〕の実行中リストで、印刷の順番を変更したり、ジョブを削除できます。詳しくは、「[ジョブ操作をする](#)」(p. 10-6) をごらんください。

## 参照

印刷中に印刷ジョブを停止したいときは、【ストップ】を押します。詳しくは、「[読み込み・印刷を一時停止する](#)」(p. 2-66) をごらんください。

### 1.3.3 電源の切りかた

- 1 【副電源スイッチ】を押します。  
タッチパネルの表示が消えたことを確認します。
- 2 前ドアを開き、【主電源スイッチ】の【O】を押します。



- 3 前ドアを閉じます。

### 1.3.4 自動的に設定を取消す（オートリセット）

【リセット】を押さなくても、本機を操作しなくなってから一定時間経過したときコピー枚数など登録されていない設定が取消され、初期設定に戻ります。

これをオートリセットといいます。

出荷時設定では 1 分を経過するとオートリセット機能がはたらきます。

### 1.3.5 自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット）

本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に優先機能画面に切替わります。

これをシステムオートリセットといいます。

出荷時設定では、1 分を経過するとコピー機能画面になります。



- ・【主電源スイッチ】を OFF したあとに、すぐに ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・印刷中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。紙づまりをおこします。
- ・画像の読み込み中や、送受信中に【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。読み込み中のデータや、通信中のデータは削除されます。
- ・印刷待機中に【主電源スイッチ】を OFF にしないでください。印刷されていないジョブは削除されます。



- ・【副電源スイッチ】を OFF にすると、以下の項目が削除されます。
    - ・読み込み中のデータ
    - ・通信中のデータ
  - ・【主電源スイッチ】を OFF にすると、【副電源スイッチ】を OFF にして削除される項目に加え、以下の項目が削除されます。
    - ・登録されていない設定
    - ・印刷待機中のジョブ
- 【主電源スイッチ】や【副電源スイッチ】を OFF にしても登録されたジョブや蓄積されたジョブが削除されることはありません。



- ・オートリセット機能がはたらくまでの時間や、オートリセットをするかしないかの設定は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「<リセット設定>」(p. 11-24) をごらんください。
- ・使用者が交代したときのオートリセットをするかしないかの設定は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「<リセット設定>」(p. 11-24) をごらんください。



システムオートリセットの切替えは設定メニューで設定できます。詳しくは、「<リセット設定>」(p. 11-24) をごらんください。

### 1.3.6 自動的に節電状態にする（低電力）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、タッチパネルの表示を消すなど、自動的に節電状態になります。

これを低電力モードといいます。

低電力モードのときでも、本機はジョブを受け付けることができます。出荷時設定では 1 分（オプションなし）／ 15 分（オプションあり）を経過すると低電力モードになります。

＜低電力モードからの復帰のしかた＞

➡ 【パワーセーブ】を押します。



- タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップの完了後に、印刷を開始できるようになります。

### 1.3.7 自動的に節電状態にする（スリープ）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に節電状態になります。

低電力モードよりも節電効果が得られますが、再度コピーを行うためのウォームアップにかかる時間は低電力モードよりもかかります。

出荷時設定では 1 分（オプションなし）／ 60 分（オプションあり）を経過するとスリープモードになります。

＜スリープモードからの復帰のしかた＞

➡ 【パワーセーブ】を押します。



- タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップの完了後に、印刷を開始できるようになります。



低電力モードに切替わる時間を変更できます。

詳しくは、「＜パワーセーブ設定＞」（p. 11-14）、（p. 11-21）を  
ごらんください。

#### ひとこと

出荷時設定では【パワーセーブ】を押したときは、低電力モードになります。管理者設定でスリープモードに設定を変更できます。詳しくは、「＜パワーセーブ設定＞」（p. 11-21）をごらんください。

#### ひとこと

操作パネル上の他のキー、またはタッチパネル面を押しても低電力モードから復帰します。



スリープモードが動作するまでの時間を変更できます。詳しくは、「＜パワーセーブ設定＞」（p. 11-14）、（p. 11-21）をごらんください。

#### ひとこと

操作パネル上の他のキー、またはタッチパネル面を押してもスリープモードから復帰します。



#### 詳しく説明します

出荷時設定では本機を操作しなくなってから 15 分が経過すると、低電力モードになり、20 分が経過するとスリープモードに切替わります。

### 1.3.8 手動で節電状態にする

パワーセーブ（低電力／スリープ）の機能を手動で設定します。



【パワーセーブ】を押します。または、【副電源スイッチ】をOFFにします。

○ 出荷時設定では低電力モードになります。



### 1.3.9 自動的に電源をOFF／ONする（ウィークリータイマー）

本機は、管理者が設定した使用時間スケジュールにしたがって自動的にスリープモードに切替え、使用を制限できます。

これをウィークリータイマーといいます。

ウィークリータイマー機能中に、本機を使用するときは、以下の手順を行ってください。

1

【パワーセーブ】を押します。



【パワーセーブ】の低電力モードとスリープモードの切替えは管理者設定で設定を変更できます。

詳しくは、「<パワーセーブ設定>」(p. 11-21) をごらんください。



出荷時設定はウィークリータイマーは設定されてません。ウィークリータイマーの設定については、「<ウィークリータイマー設定>」(p. 11-22) をごらんください。

#### ひとこと

【副電源スイッチ】をONにしたとき、「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です。使用后、スリープモードに移行する時間をテンキーで指定できます」、「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です。時間外使用パスワードをキーボードまたはテンキーで入力し[OK]を押してください」と表示されることがあります。いずれもウィークリータイマーが機能しています。



- ・ 管理者設定の「時間外パスワード設定」により、時間外パスワード入力画面を表示させないようにできます。
- ・ 時間外パスワードの出荷時設定は「しない」（表示させない）です。



時間外パスワードの設定については、「<ウィークリータイマー設定>」(p. 11-22) をごらんください。

2

最大 8 桁の時間外パスワードを入力します。



3

[OK] を押します。

「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です。使用後、スリープモードに移行する時間をテンキーで指定できます」と表示されます。

4

再度、スリープモードに移行するまでの時間をテンキーで入力します。

○ 5 分～ 9 時間 59 分までの設定ができます。



5

[OK] を押します。

基本設定画面に「コピーできます」と表示されます。

#### ひとこと

1 桁を入力する場合は、最初に「0」を入力します。ただし、5 分未満の値が入力された場合は、[OK] を押しても移行しません。また、分の値に 60 分以上の設定はできません。

#### 詳しく説明します

設定した時間内は通常どおりのコピーができます。

### 1.3.10 ユーザーごとに本機の利用者を制限する（ユーザー認証）

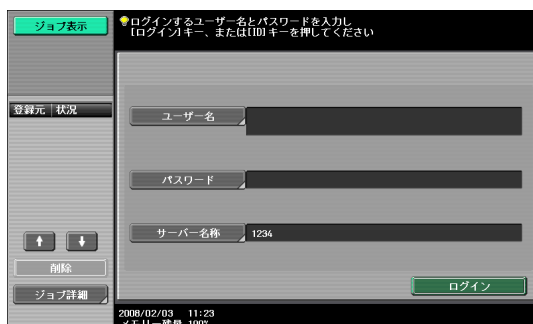
管理者によってユーザー認証設定が行われると、ユーザー登録された特定の方のみ本機を使用できます。また、ユーザーごとに印刷枚数などの管理もできます。

#### 原則

ユーザー認証機能を使用すると、ユーザーに設定されたパスワードを入力した方のみ本機を使用できます。ユーザー名、パスワード、サーバー名が不明な場合は、管理者の方に確認してください。

1

[ユーザー名] を押します。



ユーザー認証の設定手順については、「[ユーザー認証 / 部門管理](#)」(p. 11-27) をご覧ください。

#### ひとこと

- ・ユーザー認証設定は部門管理設定と併用できます。ユーザー認証 / 部門認証の設定を「連動しない」に設定している場合はユーザー認証を行ってから、部門管理画面からログインします。
- ・本体装置認証または外部サーバー認証を設定した場合は、ユーザーと部門を合わせて1,000件まで登録できます。

#### 詳しく説明します

- ・ユーザー認証は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。
- ・ユーザー名の一覧が表示されている場合は、一覧から目的のユーザー名を選択できます。[ユーザー名一覧] を押して目的のユーザー名を選択し、[OK] を押します。
- ・ユーザー名、パスワードを知らない方でも「パブリックユーザー」を押すと本機を使用できます。パブリックユーザーの設定方法については、「[認証方式の設定のしかた](#)」(p. 11-50)、[「パブリックユーザーの認証」](#) (p. 11-56) をご覧ください。
- ・ユーザー認証で外部サーバー認証を設定している場合は、[サーバー名称] が表示され、初期値設定のサーバーが表示されます。[サーバー名称] を押すと登録されたサーバーが表示され、目的のサーバーを選択できます。外部サーバー認証の設定方法については、「[認証方式の設定のしかた](#)」(p. 11-50) をご覧ください。
- ・認証 & プリントボックスに印刷ジョブがある場合は「印刷開始」、[印刷 & ログイン] が表示されます。詳しくは「[ユーザーズガイドボックス機能編](#)」をご覧ください。
- ・セキュリティ強化設定が ON の場合、[パブリックユーザー] と [ユーザー名一覧] は表示されません。
- ・PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者の方にご確認ください。

2

ユーザー名を入力し、[OK] を押します。



3

[パスワード] を押します。



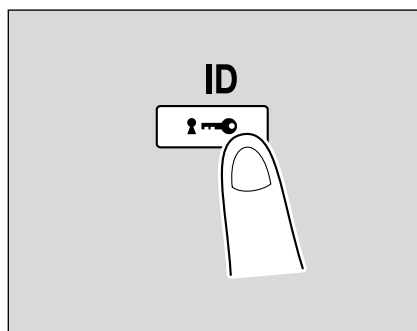
4

パスワードを入力し、[OK] を押します。



5

[ログイン] または、【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

#### ひとこと

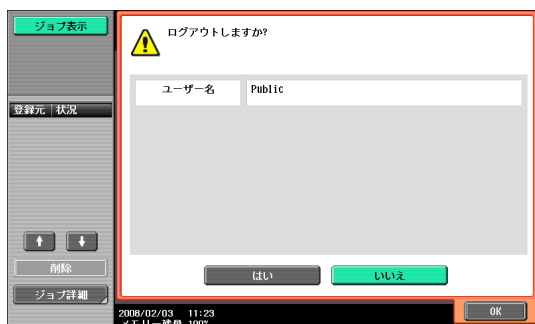
部門管理設定をしている場合は、部門管理画面が表示されます。ただし、[ユーザー認証 / 部門認証の連動] を [連動する] に設定し、ユーザーと部門の関連付けがされている場合は、部門認証画面は表示されません。

6

目的の機能でコピーします。

7

印刷が終了したら、【ID】を押します。  
ログアウト確認画面が表示されます。



8

「はい」を選択して、「OK」を押します。  
ユーザー認証画面が表示されます。

### 1.3.11 部門ごとに本機の利用者を制限する（部門認証）

管理者によって部門管理設定が行われると、部門登録された特定の方だけが本機を使用できます。また部門ごとに印刷枚数などの管理もできます。

これを部門管理といいます。

#### 原則

部門管理機能を使用すると、各部門に設定されたパスワードを入力した方が、本機を使用できます。

部門名、パスワードが不明な場合は、管理者の方にご確認ください。

1

「部門名」を押します。



#### ひとこと

ログアウト確認画面を表示しないように設定することができます。詳しくは、「ユーザー認証 / 部門管理」(p. 11-27) をご覧ください。



部門管理の設定手順については、「認証方式の設定のしかた」(p. 11-50) をご覧ください。



詳しく説明します

- ・ 部門管理は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。詳しくは、「ユーザー認証 / 部門管理」(p. 11-27) をご覧ください。
- ・ ユーザーと部門を合わせて1,000 件まで登録できます。

- 管理者設定によって、「パスワードのみ」が設定されている場合は、「パスワード」を押して手順 4 へ進んでください。



2

部門名を入力し、「OK」を押します。



3

「パスワード」を押します。



4

パスワードを入力し、「OK」を押します。

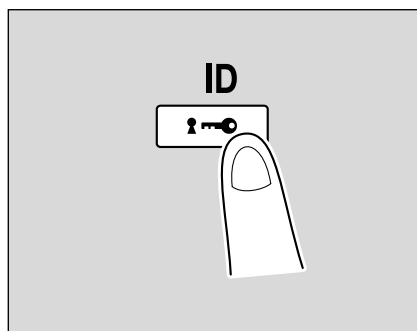


### 詳しく説明します

- ・ 管理者設定の部門管理認証方式で「パスワードのみ」が設定されている場合、認証画面に「パスワード」のみ表示されます。認証画面にテンキーにて直接パスワードを入力できます。パスワードが数字のみの場合、キーボード画面を表示させることなく「ログイン」または「ID」を押すことでログインできます。
- ・ パスワードに英字、数字、記号を組合わせて設定している場合、「パスワード」を押して手順 4 へ進んでください。
- ・ テンキーで数字を入力したあと、「パスワード」を押すと英字、記号を続けて入力できます

5

【ログイン】または、【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

6

印刷が終了したら、【ID】を押します。

7

目的の機能でコピーします。

8

印刷が終了したら、【ID】を押します。

ログアウト確認画面が表示されます。



9

【はい】を選択して、【OK】を押します。

部門認証画面が表示されます。

#### ひとこと

ログアウト確認画面を表示しないように設定することができます。詳しくは、「[ユーザー認証 / 部門管理](#)」(p. 11-27) をご覧ください。

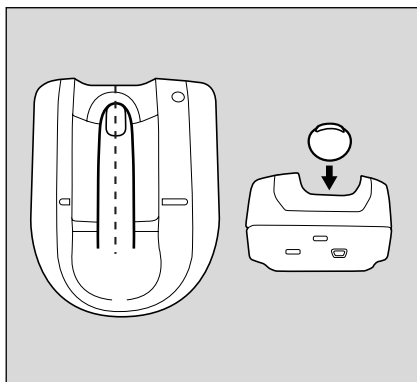
### 1.3.12 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使って本機の使用者を制限する

本機は、認証装置を使っての認証ができます。認証装置で指静脈パターンを読み取り認証を行います。

#### 1 対多認証が設定されている場合



認証装置に指を置きます。



基本設定画面が表示されます。



#### ひとこと

- ・ 1 対多認証：指を置くだけで認証されます。
- ・ 1 対 1 認証：ユーザー名を入力して指を置くことで認証されます。
- ・ 認証装置を使用せず、ユーザー名とパスワードを入力してログインする場合は、[本体認証] を押してください。

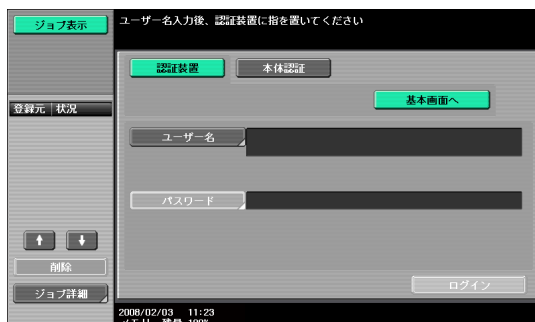


生体認証を行う場合は、あらかじめ指静脈パターンを登録しておいてください。  
認証装置の認証設定、指静脈パターンの登録は、認証装置に同梱されているマニュアルをごらんください。

1 対 1 認証が設定されている場合

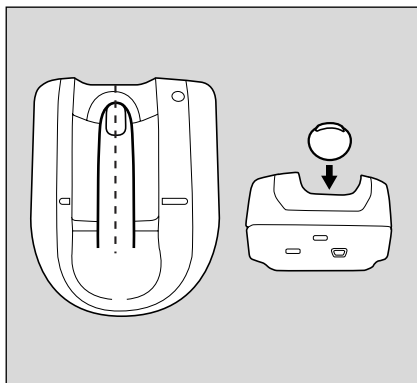
1

ユーザー名を入力します。



2

認証装置に指を置きます。



基本設定画面が表示されます。



#### ひとこと

認証装置を使用せず、ユーザー名とパスワードを入力してログインする場合は、[本体認証]を押してください。

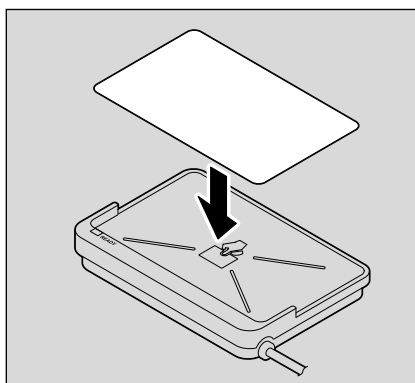
### 1.3.13 認証装置（IC カード認証タイプ）を使って 本機の使用者を制限する

本機は、認証装置を使つての認証ができます。認証装置で IC カードに記録された情報を読み取り認証を行います。

IC カード認証が設定されている場合



認証装置に IC カードを置きます。



基本設定画面が表示されます。



#### ひとこと

- ・ IC カード認証：IC カードを置くだけで認証されます。
- ・ IC カード＋パスワード認証：IC カードを置きパスワードを入力することで認証されます。
- ・ 認証装置を使用せず、ユーザー名とパスワードを入力してログインする場合は、[本体認証] を押してください。



IC カード認証を行う場合は、あらかじめ IC カードの情報を登録しておいてください。  
認証装置の認証設定、IC カード情報の登録は、認証装置に同梱されているマニュアルをごらんください。

IC カード認証 + パスワード認証が設定されている場合

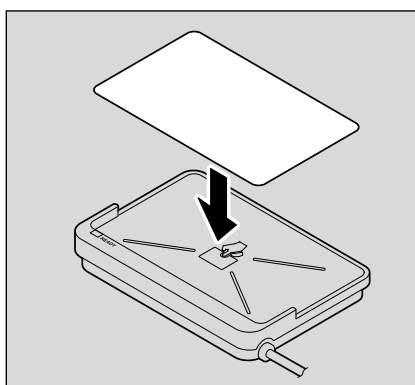


### ひとこと

認証装置を使用せず、ユーザー名とパスワードを入力してログインする場合は、[本体認証] を押してください。

1

認証装置に IC カードを置きます。



2

パスワードを入力して、[ログイン] または【ID】を押します。  
基本設定画面が表示されます。



## 1.4 トレイ 1/2/3/4 へ用紙をセットする

トレイ 1/2 は本体のトレイです。

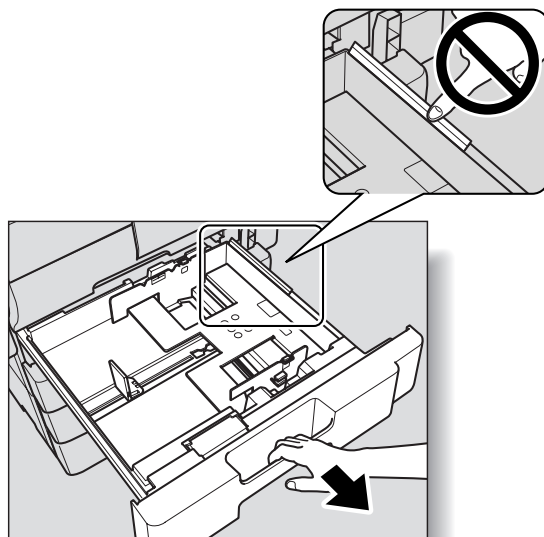
トレイ 3/4 はオプションの給紙キャビネット PC-206 のトレイです。

用紙のセット方法は、トレイ 1/2/3/4 で同じ手順です。

ここではトレイ 1 へ用紙をセットする場合の手順を説明します。

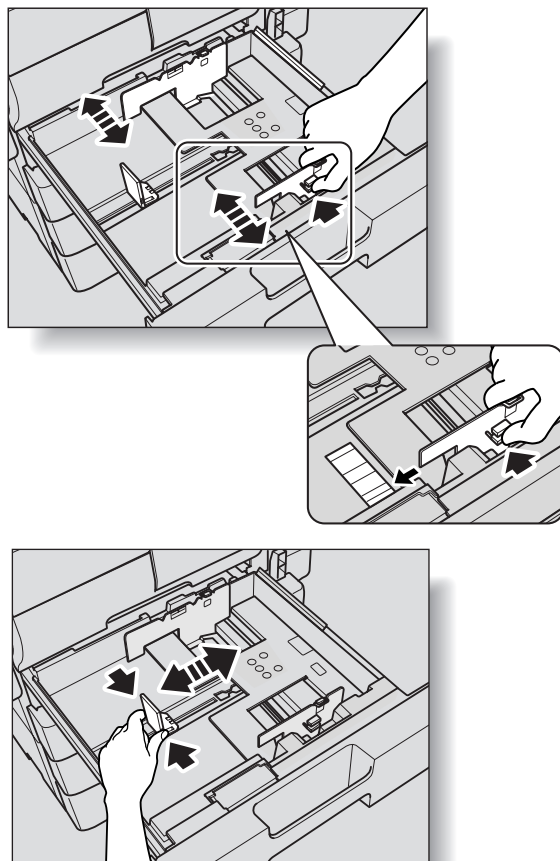
1

トレイ 1 を引出します。



2

ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



トレイ 1/2/3/4 へセットできる用紙サイズ、用紙種類については、「[用紙について](#)」(p. 6-2) をご覧ください。



必ず守ってください

用紙の給送性を低下させ、紙づまりの原因になることがありますので、フィルムには手を触れないように注意してください。



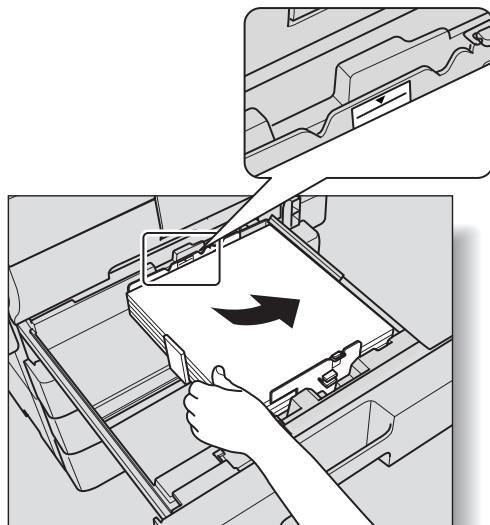
必ず守ってください

セットした用紙に対して、ガイド板の位置が合っていない場合、用紙サイズを正しく検出できません。必ずガイド板は、セットした用紙サイズの位置に合わせてください。

3

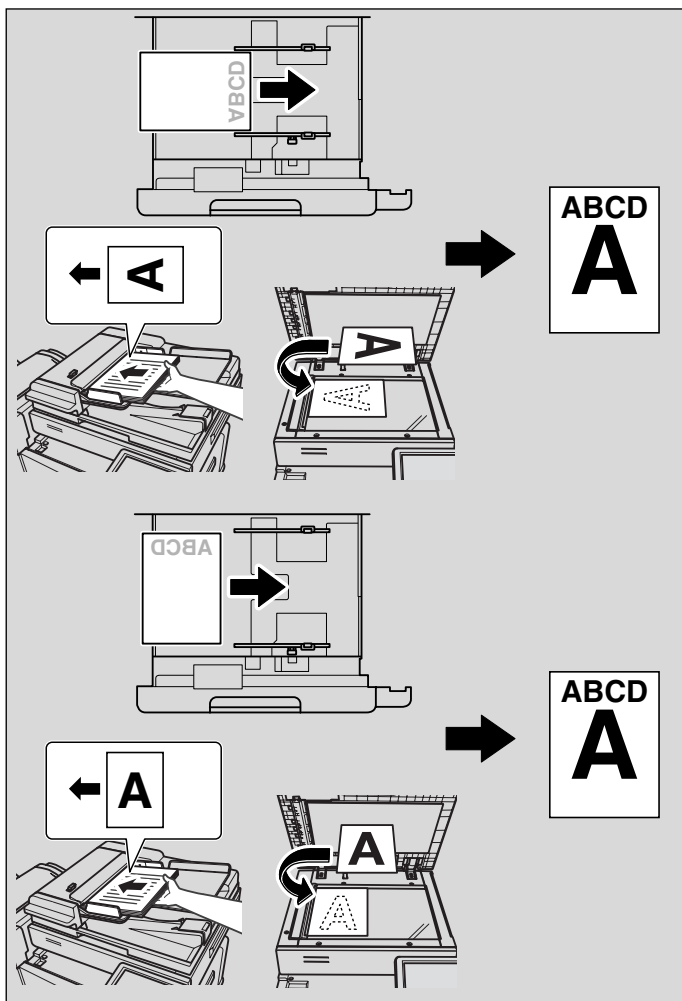
印刷する面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。

<普通紙の場合>



○ レターヘッド紙は、印刷する面を下向きにしてセットします。

<レターヘッド紙の場合>



 必ず守ってください

- ・用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- ・用紙は ▼マークを超えないようにセットしてください。

ひとこと

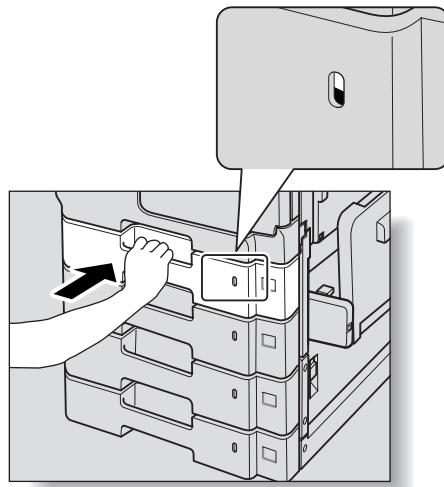
- ・OHP フィルム、厚紙、薄紙、第2原紙、封筒、郵政はがきに印刷したい場合は、手差しトレイを使用してください。
- ・レターヘッド紙とは、あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙を呼びます。

 必ず守ってください

- ・レターヘッド紙をセットする場合は、印刷したい面を下向きにしてセットしてください。
- ・図のようにレターヘッド紙をセットし、片面コピーを行った場合、原稿の画像をあらかじめ印刷されていた面に重ねてコピーします。用紙は下向きで排紙されます。

4

トレイ 1 を閉じます。



トレイ右側にある用紙残量窓の赤色表示がなくなります。



各トレイに設定されている用紙種類と違う用紙をセットした場合は、ユーザー設定で用紙種類を変更します。詳しくは、「[ユーザー設定を選択する](#)」(p. 11-13) をご覧ください。

## 1.5 トレイ 3 へ用紙をセットする

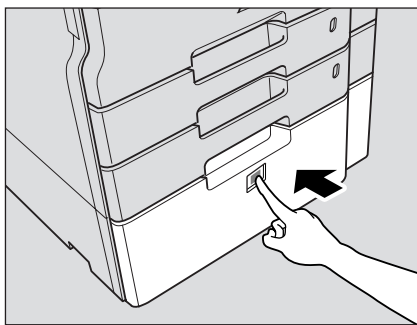
ここでいうトレイ 3 はオプションの給紙キャビネット PC-407 のトレイです。

1

トレイ解除ボタンを押します。

### 原則

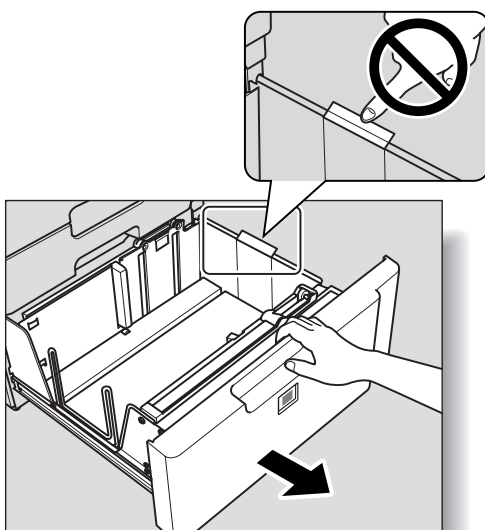
【主電源スイッチ】が ON になっている場合でも、【副電源スイッチ】が OFF になっているときは、トレイ解除ボタンを押してもトレイ 3 を引出すことができません。【副電源スイッチ】も ON にしてください。



トレイ 3 のロックが解除されて、少し前に出てきます。

2

トレイ 3 を引出します。



### ひとこと

低電力モード時やスリープモード時にトレイ解除ボタンを押してもトレイ 3 は引出すことができません。低電力モード、スリープモードから復帰してください。

必ず守ってください

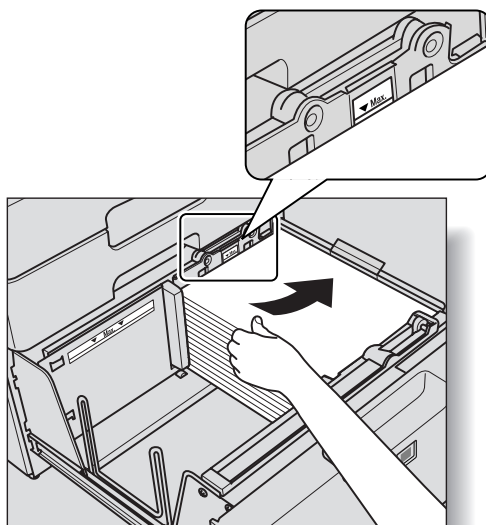
用紙の給送性を低下させ、紙づまりの原因になることがありますので、フィルムには手を触れないように注意してください。

### ひとこと

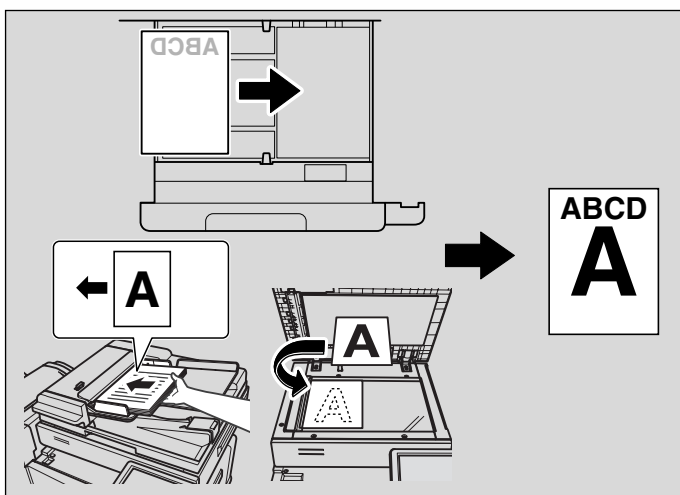
トレイ 3 へセットできる用紙サイズ、用紙種類については、「[用紙について](#)」(p. 6-2) をご覧ください。

3

トレイ 3 の右段に、印刷する面（用紙の開封した面）を上向きにして、用紙をセットします。



- レターヘッド紙は、印刷する面を下向きにしてセットします。



**必ず守ってください**

- ・用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- ・用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

#### ひとこと

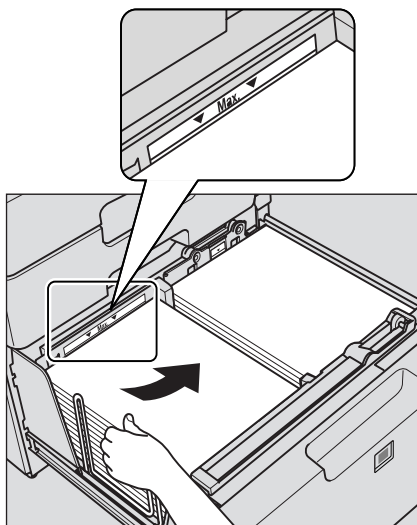
- ・ OHP フィルム、厚紙、薄紙、第 2 原紙、封筒、郵政はがきに印刷したい場合は、手差しトレイを使用してください。
- ・ レターヘッド紙とは、あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙を呼びます。

**必ず守ってください**

- ・ レターヘッド紙をセットする場合は、印刷する面を下向きにセットしてください。
- ・ 図のようにレターヘッド紙をセットし、片面コピーを行った場合、原稿の画像をあらかじめ印刷されていた面に重ねてコピーします。用紙は下向きで排紙されます。

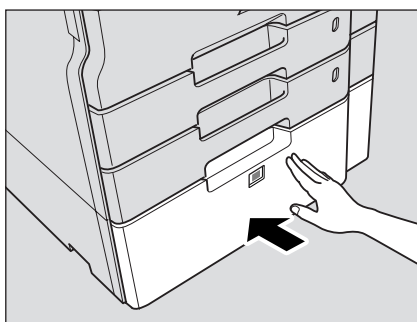
4

トレイ 3 の左段に、印刷する面（用紙の開封した面）を上向きにして、用紙をセットします。



5

トレイ 3 を閉じます。



必ず守ってください

用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

参照

トレイ 3 に設定されている用紙種類と違う用紙をセットした場合は、ユーザー設定で用紙種類を変更します。詳しくは、「[ユーザー設定を選択する](#)」(p. 11-13) をご覧ください。

## 1.6 LCT へ用紙をセットする

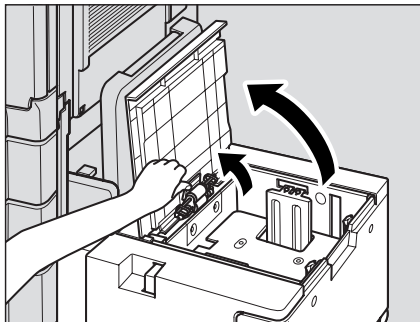
LCT はオプションの大容量給紙ユニット LU-203 です。

### 原則

大容量給紙ユニットにセットできる用紙サイズは A4 のみ、セットできる枚数は最大 2,100 枚 (64g/m<sup>2</sup> 紙) です。

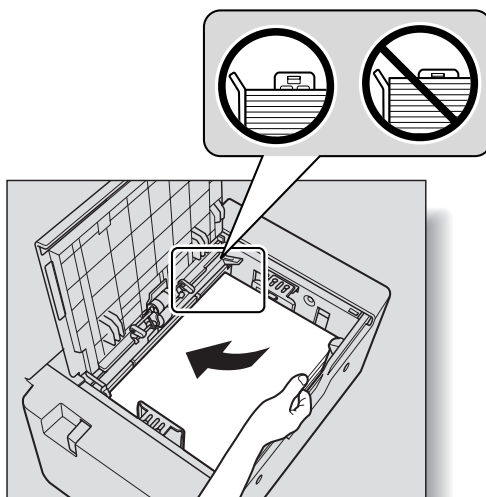
1

大容量給紙ユニットの上ドアを開き、給紙ローラーを開きます。



2

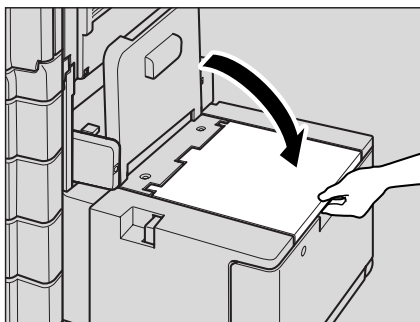
用紙をセットします。



- トレイ左側に用紙をそろえるようにしてセットします。
- レターヘッド紙は、印刷する面を上向きにしてセットします。

3

大容量給紙ユニットの上ドアを閉じます。



### 必ず守ってください

用紙は用紙をそろせる板の曲がり始める部分より上になるまで入れないでください。給紙トラブルの原因になります。  
用紙がカールしている場合は、用紙のカールをのばしてからセットしてください。給紙トラブルの原因になります。

### ひとこと

OHP フィルム、厚紙、薄紙、第 2 原紙、封筒、郵政はがき、ラベル紙に印刷したい場合は、手差しトレイを使用してください。

### 必ず守ってください

大容量給紙ユニット上ドアに足をかけてあがらないでください。機械故障の原因になります。

### ひとこと

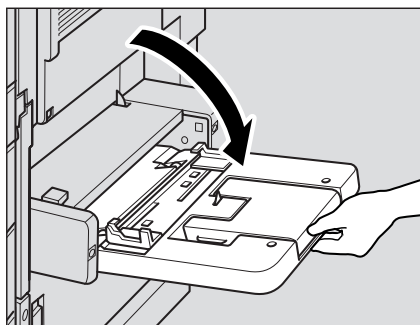
LCT に設定されている用紙種類と違う用紙をセットした場合は、ユーザー設定で用紙種類を変更します。詳しくは、「[ユーザー設定を選択する](#)」(p. 11-13) をご覧ください。

## 1.7 手差しトレイへ用紙をセットする

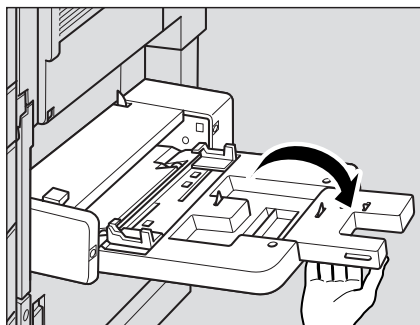
給紙トレイにセットされていないサイズの内紙や、厚紙、薄紙、第2原紙、郵政はがき、封筒、OHPフィルム、ラベル紙に印刷したい場合に手差しトレイを使用します。

1

手差しトレイを開きます。

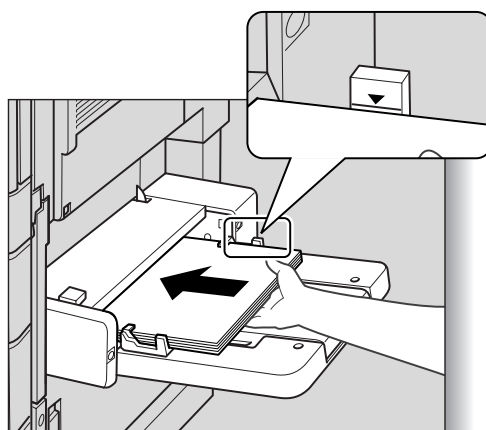


- 大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを開きます。



2

印刷する面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。



手差しトレイの内紙サイズの設定については、「[手差しトレイの内紙設定](#)」(p. 6-9) をご覧ください。

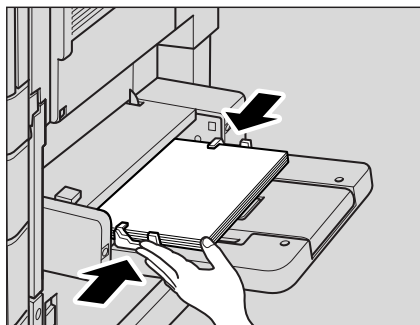


必ず守ってください

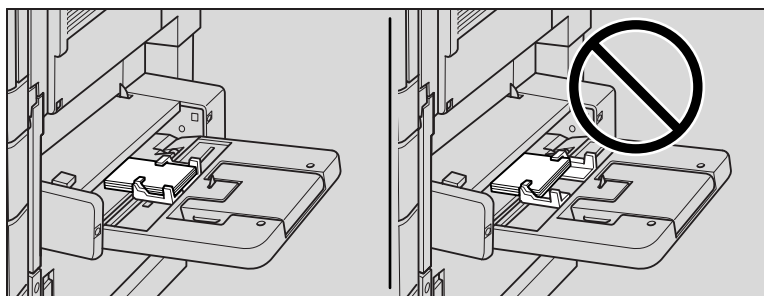
- ・ 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。
- ・ ガイド板を確実に用紙の端面に含わせてください。
- ・ 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。

3

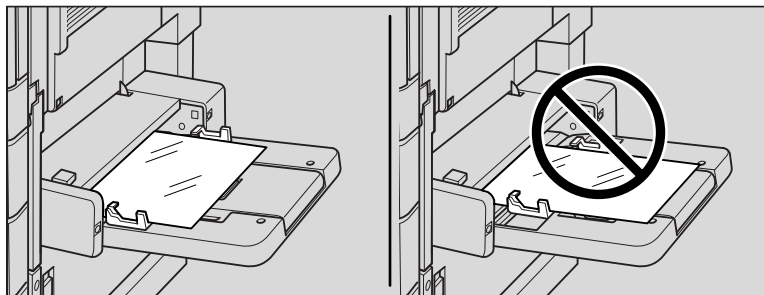
ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



#### < 郵政はがきの場合 >

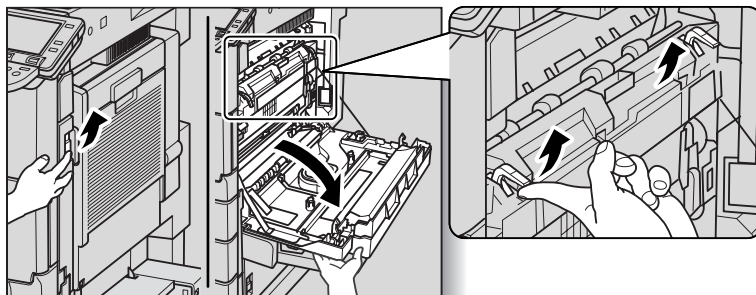


#### < OHP フィルムの場合 >



#### < 封筒の場合 >

封筒にプリントするときは、本体右ドアをひらき、封筒レバーを上にあげます。封筒にプリントしたあとは、必ず封筒レバーを元の位置にもどしてください。



#### 詳しく説明します

- ・セットする用紙の下面に画像が印刷されます。
- ・手差しトレイの用紙設定をレターヘッド紙に設定すると用紙の上面に画像が印刷されます。

#### 詳しく説明します

手差しトレイに郵政はがきをセットしたときは、手差しトレイの用紙種類を「厚紙」にしてください。

#### 必ず守ってください

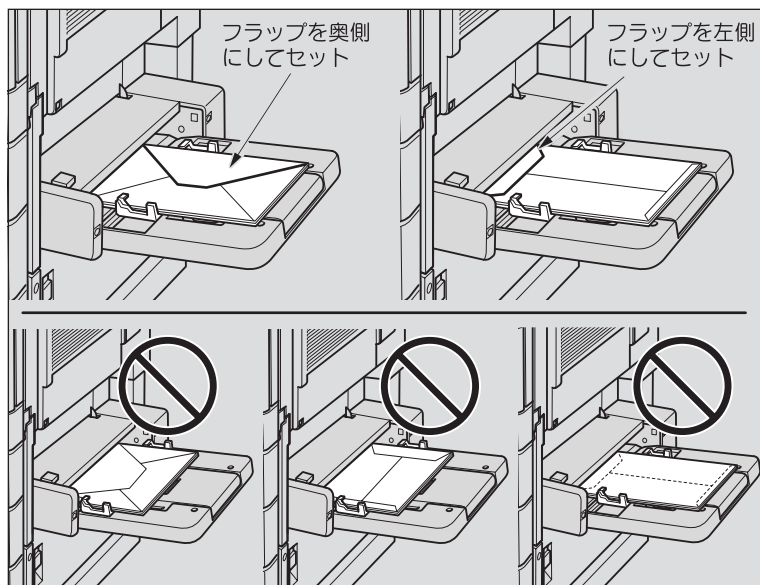
- ・郵政はがきのサイズは 100mm × 148mm です。それ以外のサイズのはがきを使用する場合は、サイズを確認し、不定形サイズ画面でサイズを設定します。
- ・郵政はがきをセットする場合は、図のように □ 方向にセットしてください。▣ 方向にはセットしないでください。
- ・印刷する面を下向きにしてセットしてください。
- ・手差しトレイには最大 50 枚の郵政はがきをセットできます。

#### 必ず守ってください

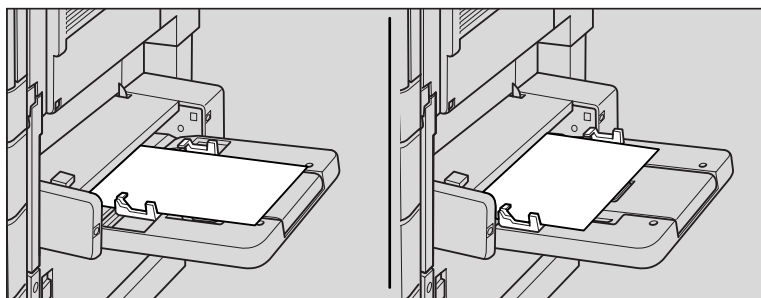
- ・OHP フィルムをセットする場合は、図のように ▣ 方向にセットしてください。□ 方向にはセットしないでください。
- ・手差しトレイには OHP フィルムを 1 枚ずつセットしてください。

#### 必ず守ってください

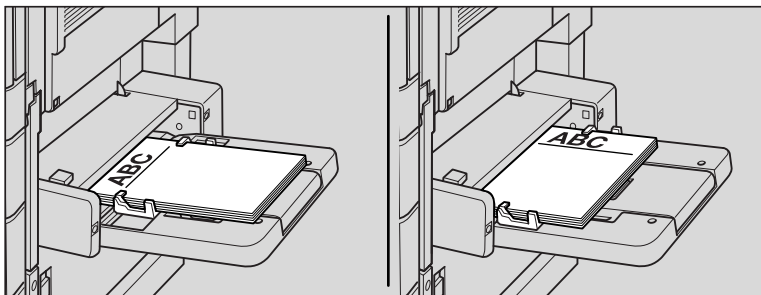
- ・封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折り目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり、折り目がしっかり押さえられていないと、紙にしわがでたり、紙づまりの原因になります。
- ・封筒をセットする場合は、図のように封印部を上側にしてセットしてください。封印部を下側にしてセットすると紙づまりの原因になります。封印部側に印刷はできません。
- ・手差しトレイには最大 10 枚の封筒をセットできます。



#### <ラベル紙の場合>



#### <レターヘッド紙の場合>



 必ず守ってください

- ・ラベル紙のセット方向については、サービス実施店にお問い合わせください。
- ・手差しトレイにはラベル紙を1枚ずつセットしてください。

 必ず守ってください

- ・レターヘッド紙をセットする場合は、印刷する面を上側に向けてセットしてください。
- ・手差しトレイの用紙設定を必ず「レターヘッド紙」に設定してください。

4

用紙種類を選択します。



○ ラベル紙に印刷する場合は、[↓] を押してから選択します。



5


[OK] を 2 回押します。  
基本設定画面に戻ります。

必ず守ってください

- ・ 普通紙以外をセットした場合は、適した用紙種類に変更してください。
- ・ 郵政はがきをセットした場合は、用紙種類を [厚紙] に設定してください。

参照

- ・ 用紙サイズの詳細については、「[用紙について](#)」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 不定形サイズの設定のしかたについては、「[不定形紙をセットする\(不定形\)](#)」(p. 6-10) をご覧ください。



# 第 2 章

## 基本機能

---

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

2.1	コピー操作の流れ .....	2-2
2.2	組合わせできない操作について .....	2-4
2.3	原稿をセットする .....	2-6
2.4	原稿の設定をする .....	2-16
2.5	用紙を選ぶ .....	2-27
2.6	倍率を選ぶ .....	2-29
2.7	原稿＞コピー機能を選ぶ .....	2-38
2.8	ページ集約を選ぶ .....	2-42
2.9	原稿の画質を選ぶ .....	2-46
2.10	濃度を選ぶ .....	2-48
2.11	仕上り機能を選ぶ .....	2-51
2.12	紙折り機能を選ぶ .....	2-60
2.13	回転しないを選ぶ .....	2-64
2.14	印刷中に次のコピー原稿を読み込む（コピー予約） .....	2-65
2.15	読み込み・印刷を一時停止する .....	2-66
2.16	一時停止したジョブを削除する .....	2-67

## 2.1 コピー操作の流れ

コピーをとるときの操作の流れを説明します。

ここでは、片面原稿を基本的な操作でコピーする方法を説明します。

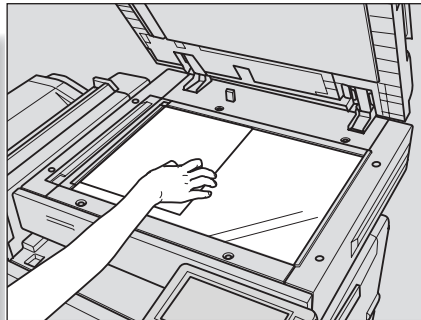
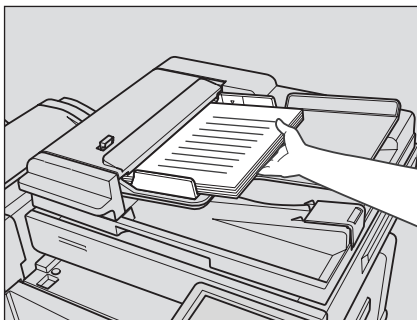
1

【コピー】を押し、コピー機能画面を表示させます。

2

原稿をセットします。

- 原稿のセットのしかたについては、(p. 2-6) をご覧ください。



3

必要に応じて、各機能の設定をします。



- 出荷時設定では、初期設定として以下の設定がされています。
  - [濃度]：自動（自動濃度）
  - [下地調整]：ふつう
  - [用紙]：自動（自動用紙）
  - [倍率]：等倍（100.0%）
  - [両面 / ページ集約]：片面 > 片面
  - [原稿画質]：文字 / 写真
- 原稿設定については、(p. 2-16) をご覧ください。
- 用紙サイズの設定については、(p. 2-27) をご覧ください。
- 倍率の設定については、(p. 2-29) をご覧ください。
- 原稿とコピー機能の設定については、(p. 2-38) をご覧ください。
- 原稿の画質については、(p. 2-46) をご覧ください。
- コピー濃度の設定については、(p. 2-48) をご覧ください。
- 集約コピーの設定については、(p. 2-42) をご覧ください。
- コピーの仕上りについては、(p. 2-51) をご覧ください。

### ひとこと

- ・ オプションのフィニッシャーには、用紙サイズ、仕上りの設定によって排紙トレイの積載数量制限があります。  
連続して印刷ジョブを行っている場合（マルチジョブ）は排紙トレイ上の用紙を取除いても「トレイの容量オーバーです→のトレイの用紙を取除いてください」の警告が発生する可能性があります。  
マルチジョブについて詳しくは、「マルチジョブ機能について」(p. 10-2) をご覧ください。
- ・ 印刷ジョブが途切れたときに、排紙トレイの積載数量はリセットされます。  
排紙トレイの積載枚数制限について詳しくは、「本体仕様」(p. 5-2) をご覧ください。

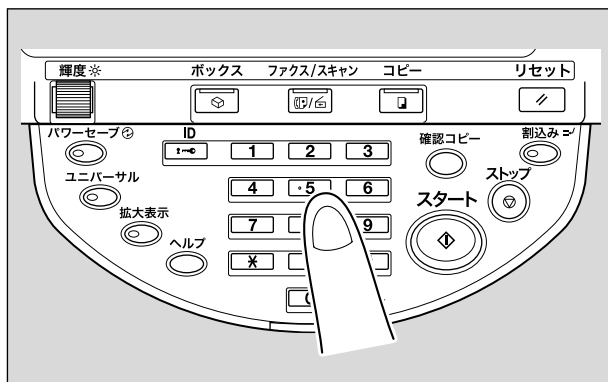
### 参照

各機能には組合わせて設定できないものがあります。  
組合わせて設定できない機能については、「組合わせてできない操作について」(p. 2-4) をご覧ください。

- 中とじ、折りの設定については、(p. 2-60) をごらんください。
- 画像を回転しない設定については、(p. 2-64) をごらんください。
- 応用機能の設定については、(p. 7-1) をごらんください。

4

テンキーでコピー部数を入力します。



- コピー部数を間違えて入力した場合は、【C】を押してもう 1 度入力しなおしてください。

5

【スタート】を押します。



- コピーを中断したい場合は、【ストップ】を押してください。詳しくは、(p. 2-66) をごらんください。
- コピーの途中で次のコピーを予約できます。詳しくは、コピー予約をごらんください。(p. 2-65)

## 2.2 組み合わせできない操作について

各機能には組合わせて設定できないものがあります。

組み合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の2種類があります。

- あとから設定したものが優先される。(先に設定したものは解除される。)
- 先に設定したものが優先される。(警告メッセージが表示される。)

### 2.2.1 あとから設定した機能が優先される場合

ここでは、2点ステープルを設定してから小冊子を設定する場合について説明します。

1

2点ステープルを設定します。



2

小冊子を設定します。



2点ステープルは自動で解除され、小冊子が有効になります。

2点ステープルを有効にする場合は、小冊子を解除し、再度2点ステープルの設定を行います。

### 2.2.2 先に設定した機能を優先する場合

組み合わせ禁止の警告メッセージが表示された場合、それらの機能は組み合わせできません。

ここでは、小冊子を設定してから 2 点ステープルを設定する場合について説明します。

1

小冊子を設定します。



2

2 点ステープルを設定します。



「小冊子とは同時設定できません」と表示され、2 点ステープルは設定できません。

小冊子が有効となり、2 点ステープルは無効となります。

2 点ステープルを有効にする場合は、小冊子を解除し、再度 2 点ステープルの設定を行います。

## 2.3 原稿をセットする

原稿のセット方法には以下の 2 種類の方法があります。原稿の種類に合わせて最適な原稿セットを行ってください。

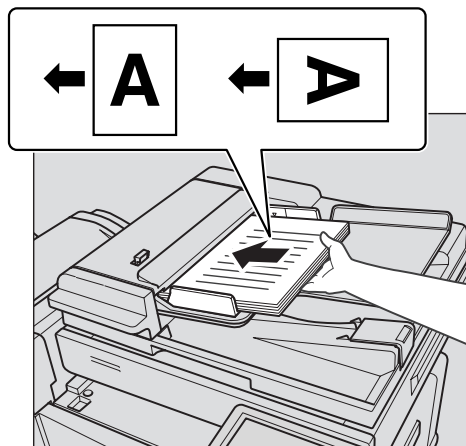
原稿セット方法	特長
ADF の場合	複数枚の原稿の上から自動的に 1 枚ずつ送り出し、読み込みます。両面原稿も自動的に読み込むことができます。
原稿ガラスの場合	原稿を原稿ガラス上に直接セットして原稿を読み込みます。本などの ADF にセットできない原稿を読み込むのに適しています。

### 2.3.1 ADF に原稿をセットする

1

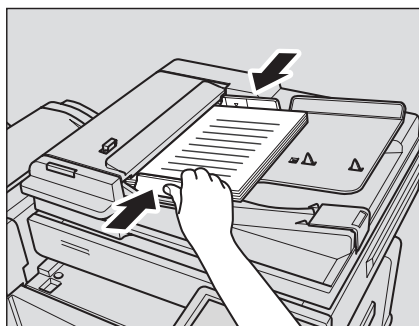
原稿のオモテ面を上にして、原稿を読み込み順に原稿給紙トレイにセットします。

- 原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。



2

ガイド板を原稿に沿わせます。



必ず守ってください

クリップやステーブルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

参照

ADF にセットできる原稿については、「[ADF にセットする原稿](#)」(p. 6-17) をごらんください。

必ず守ってください

- ・ 原稿は 80 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 80 枚を超える場合でも、原稿を分割して読みませることができます。詳しくは、「[原稿を分割して読む（連続読み設定）](#)」(p. 2-9) をごらんください。
- ・ 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。
- ・ 原稿の天部（上側）が奥側以外になる向きでセットした場合は、必ず原稿のセット方向を設定してください。詳しくは、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 2-20) をごらんください。

参照

- ・ サイズの異なる原稿（混載原稿）のセットのしかたについては、「[サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）](#)」(p. 2-18) をごらんください。
- ・ 原稿の向きの指定のしかたについては、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 2-20) をごらんください。
- ・ 原稿のとじしろ位置の指定のしかたについては、「[とじしろを設定する（原稿のとじしろ）](#)」(p. 2-22) をごらんください。

## 2.3.2 原稿ガラス上に原稿をセットする

1

ADF を開きます。

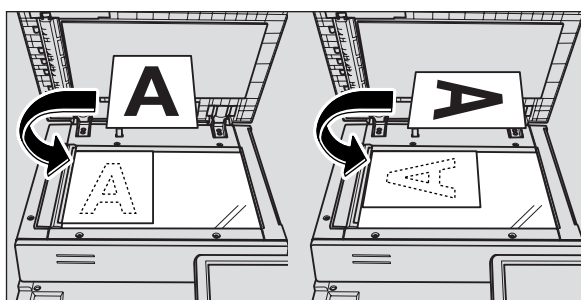
## 原則

原稿をセットするときは、必ず ADF を 20° 以上開いてください。  
20° 以上開けずに原稿をセットすると原稿のサイズを検出できない場合があります。

2

原稿のオモテ面を下にして、原稿を原稿ガラス上にセットします。

- 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。



原稿ガラス上にセットできる原稿については、「[原稿ガラスにセットする原稿](#)」(p. 6-18) をごらんください。

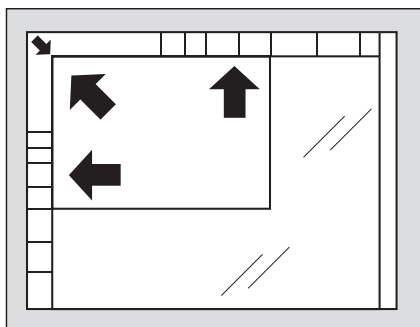


必ず守ってください

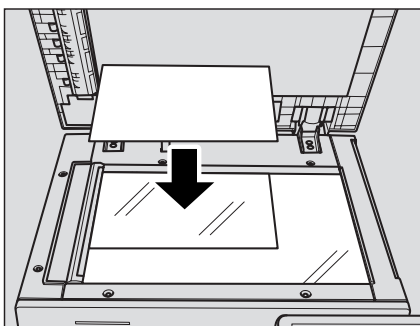
- ・ 原稿ガラス上には 6.8 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。
- ・ 原稿が厚い本や立体物である場合は、ADF を閉じずに読み込みを行ってください。ADF を閉じずに読み込みを行った場合、光が漏れることがありますので、原稿ガラス面を直視しないようにしてください。ただし、漏れ出る光はレーザー光線ではありませんので、レーザーの危険にさらされることはありません。

3

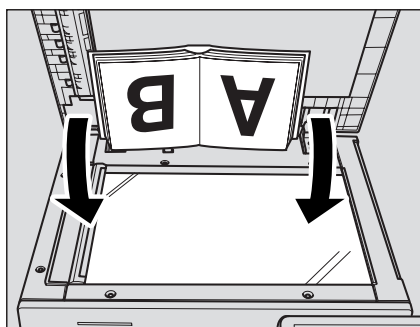
原稿スケール左奥側の ▲ マークに合わせて原稿をセットします。



- 透明度の高い原稿をセットする場合、原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。



- 本や雑誌などのとじてある見開き原稿をセットする場合、図のように原稿の天部（上側）を奥側にして原稿を置き、原稿スケール左奥側の ▲ マークに合わせてます。



4

ADF を閉じます。

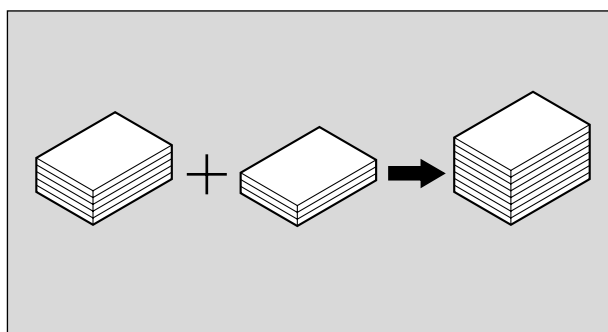


- ・ 原稿の向きを指定したい場合は、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 2-20) をごらんください。
- ・ 原稿のとじしろ位置の指定のしかたについては、「[とじしろを設定する（原稿のとじしろ）](#)」(p. 2-22) をごらんください。

### 2.3.3 原稿を分割して読込む（連続読込み設定）

大量にある原稿を数回に分けて読込ませることができます。

ADF に 1 度にセットできる原稿枚数は最大 80 枚までですが、連続読込み設定を設定することで、80 枚を超える原稿を数回に分けて読込ませ、ひとつのコピージョブとして扱うことができます。また、原稿ガラス上にセットして読込ませたり、途中で ADF に切替えることもできます。



1

原稿をセットします。

2

基本設定画面の「連続読込み設定」を押します。



3

【スタート】を押します。

原稿が読込まれたあと、以下の画面が表示されます。



○ 次の原稿をセットし、【スタート】を押します。



原稿積載量は普通紙（80 g/m<sup>2</sup>）80 枚までです。また、それ以下でも▼マークを超えて原稿をセットしないでください。

#### ひとこと

連続読込み設定には「自動出力」と「一括出力」があり、出荷時設定では「一括出力」が設定されています。



連続読込み設定については、「[コピー設定](#)」(p. 11-16) の「連続読込み方法」をごらんください。



原稿セット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をごらんください。

#### ひとこと

連続読込み設定機能を解除するときは、再度「連続読込み設定」を押します。



- ・画面左下の「メモリー残量」表示で、メモリーの残量が確認できます。
- ・画像データを削除したいときは、【ストップ】を押して、ジョブの削除を行ってください。詳しくは、「[読み込み・印刷を一時停止する](#)」(p. 2-66) をごらんください。

- 連続読み設定で一括出力が設定されている場合は、ADFで原稿読み中、以下の画面で「読み終了」を押すと手順5に進みます。



- ADF にセットできないような原稿は原稿ガラス上にセットしてください。セットできる原稿については、「[原稿ガラスにセットする原稿](#)」(p. 6-18) をごらんください。
- 読み設定を変更する場合は、「設定変更」を押します。読み設定の変更については、「[原稿ごとに読み設定を変更する](#)」(p. 2-24) をごらんください。



#### ひとこと

読み設定の変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。変更できる設定は、以下のとおりです。

片面 / 両面、濃度 / 下地、原稿画質、原稿のとじしろ、倍率、枠消し、折り目消し

#### ひとこと

「中止」を押すと設定は変更されません。

4

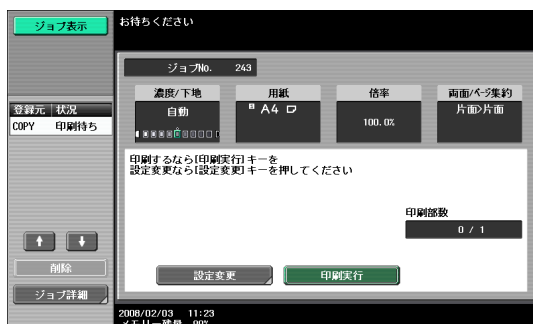
全ての原稿を読み込んだあと、「読み終了」を押します。



5

【スタート】を押します。

- 連続読み込み設定で一括出力が設定されている場合は、[印刷実行] または【スタート】を押します。



- 連続読み込み設定で一括出力が設定されている場合は、コピー設定を変更できます。[設定変更] を押し、コピー設定を変更して [OK] を押します。



### 2.3.4 複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする

両面コピーや集約コピーなどを原稿ガラスを使用してコピーする場合、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットし、読みませます。ここでは、原稿ガラスを使用して片面＞両面コピーをとる場合の手順を説明します。

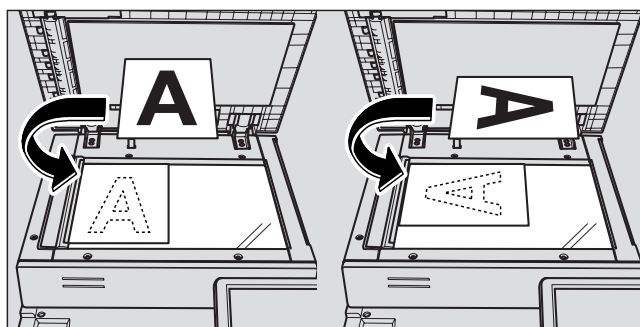
1

ADF を開きます。

2

1 枚目または 1 面目の原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上にセットします。

- 原稿のセットのしかたについては、「**原稿ガラス上に原稿をセットする**」(p. 2-7) をご覧ください。



3

ADF を閉じます。

4

基本設定画面の「両面 / ページ集約」を押します。



両面 / ページ集約画面が表示されます。

5

「片面＞両面」を押します。



#### 詳しく説明します

- ・ 仕上りのグループが設定されている場合、原稿を 1 枚読み込むごとに、設定部数分のコピーが行われます。
- ・ 仕上りのソートが設定されている場合、全ての原稿を読み込み終えたあと、設定部数単位に分けてコピーが行われます。

#### ひとこと

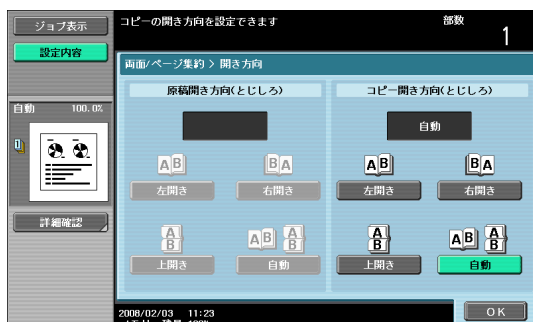
連続読み設定には「自動出力」と「一括出力」があり、出荷時設定では「自動出力」が設定されています。

#### 参照

連続読み設定については、「**コピー設定**」(p. 11-16) をご覧ください。

6

「開き方向」を押し、コピー開き方向を設定して、「OK」を押します。



#### ひとこと

開き方向の設定については、「[両面コピーを選択する](#)」(p. 2-40)を  
ごらんください。

7

「原稿セット方向」を押し、セットした原稿の方向を設定して、「OK」を押します。



#### ひとこと

原稿セット方向については、「[原稿のセット方向を設定する\(原稿セット方向\)](#)」(p. 2-20)を  
ごらんください。

8

「OK」を押します。

9

【スタート】を押します。  
読み込みが開始されます。



10

2 枚目または 2 面目の原稿をセットし、【スタート】を押します。

- 残りの原稿がある場合、手順 10 を繰り返し行います。
- 読み込み設定を変更する場合は、[設定変更]を押します。読み込み設定の変更については、「[原稿ごとに読み込み設定を変更する](#)」(p. 2-24)をごらんください。



### ひとこと

- ・ 読み込み設定の変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。変更できる設定は、以下のとおりです。  
片面 / 両面、原稿のとししろ、倍率、枠消し、折り目消し、原稿サイズ
- ・ [中止] を押すと設定は変更されません。

11

全ての原稿を読み込んだあと、[読み込み終了]を押します。



12

【スタート】を押します。

- 連続読み込み設定で一括出力が設定されている場合は、[印刷実行] または【スタート】を押します。



- 連続読み込み設定で一括出力が設定されている場合は、コピー設定を変更できます。[設定変更] を押し、コピー設定を変更して [OK] を押します。



## 2.4 原稿の設定をする

目的のコピーをとるために、原稿の状態やセットに応じて必要な設定について説明します。

### 2.4.1 原稿のサイズを設定する（原稿サイズ）

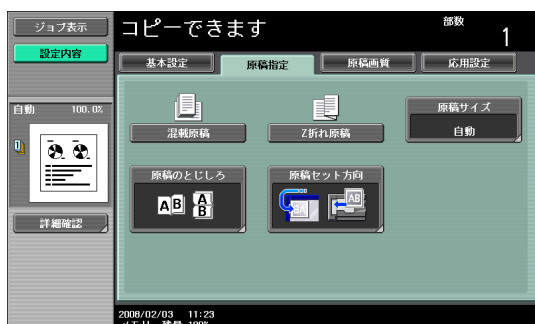
原稿サイズが自動検出されない場合や、原稿サイズを目的に合わせて指定したい場合は、原稿として読取るサイズを設定してコピーできます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 基本設定画面の「原稿指定」を押します。



原稿指定画面が表示されます。

- 3 「原稿サイズ」を押します。



原稿サイズ画面が表示されます。

- 4 原稿サイズを設定し、「OK」を押します。  
<定形サイズ画面>  
○ 定形サイズの場合、設定する原稿サイズを押します。



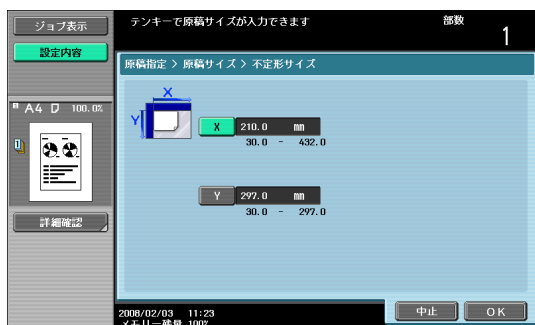
原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。



[↑] または [↓] で、定形サイズの表示を切替えます。

## &lt;不定形サイズ画面&gt;

- 不定形サイズの場合、[不定形サイズ] を押すと不定形サイズ画面が表示されます。  
[X] または [Y] を選択しテンキーで数値を入力し、[OK] を押します。



定形サイズ画面に戻ります。

### 詳しく説明します

不定形サイズ画面で範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または原稿サイズの入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

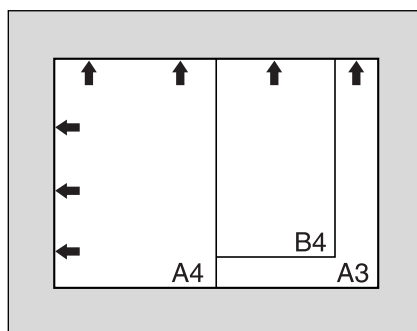
### ひとこと

【中止】を押すと設定は変更されません。

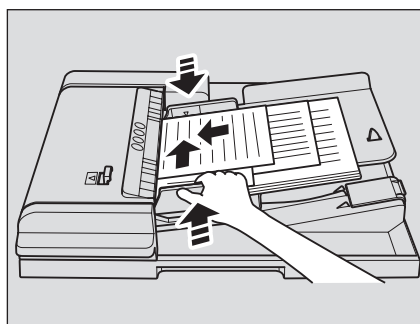
## 2.4.2 サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）

サイズの異なる原稿を ADF に 1 度にセットし、自動的に 1 枚ずつ送り出し、読み込みます。

- 1 ADF のガイド板を最も大きな原稿のサイズに合わせます。
- 2 コピーしたい面を上向きにし、図のように揃えます。



- 3 原稿のオモテ面を上にして、原稿を読み込み順に原稿給紙トレイにセットします。  
ガイド板を原稿に沿わせてください。
- 原稿は、ADF に対して左側と奥側を基準にしてセットします。



- 4 基本設定画面の「原稿指定」を押します。



原稿指定画面が表示されます。

### 詳しく説明します

混載できる原稿サイズの組み合わせは、セットする原稿の最大幅（ガイド板の開き幅）により異なります。

### 参照

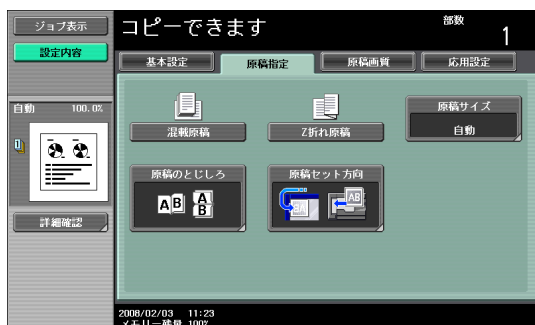
ADF に混載できる原稿サイズの組み合わせについては、「[ADF にセットする原稿](#)」(p. 6-17) をご覧ください。

### 詳しく説明します

- ・ 原稿は 80 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 100 枚を超える場合でも、原稿を分割して読み込ませることができます。詳しくは、「[原稿を分割して読む（連続読み設定）](#)」(p. 2-9) をご覧ください。
- ・ 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

5

「混載原稿」を押します。



詳しく説明します

混載原稿機能を解除するときは、再度「混載原稿」を押します。

### 2.4.3 折りぐせのついた原稿をセットする (Z 折れ原稿)

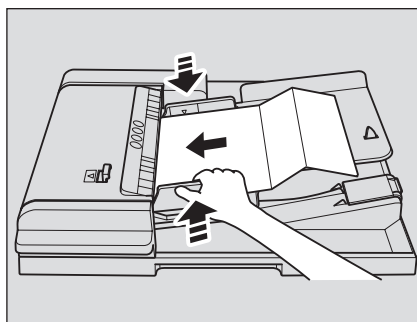
折りぐせのある原稿を ADF にセットしてコピーするとき、原稿サイズを正確に検知できます。

#### 原則

原稿は ADF にセットします。  
1 枚目の原稿のサイズ長を検知し、それよりあとは同じサイズとして読み込みます。

1

原稿をセットします。



必ず守ってください

折りぐせのついた原稿は、ADF にセットする前に伸ばしてください。伸ばさずにコピーをすると、紙ぶまりの原因になります。

参照

原稿のセット方法については、「ADF に原稿をセットする」(p. 2-6) をご覧ください。

2

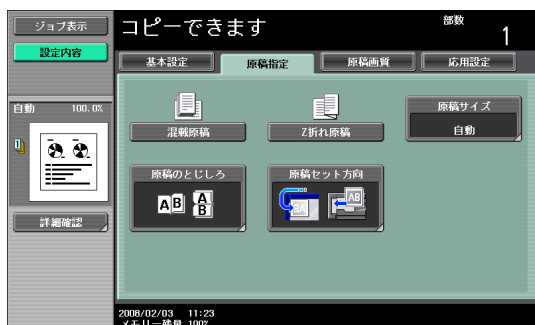
基本設定画面の「原稿指定」を押します。



原稿指定画面が表示されます。

3

〔Z 折れ原稿〕を押します。



### 詳しく説明します

設定を中止する場合は、再度〔Z 折れ原稿〕を押し、反転表示を解除してください。

## 2.4.4 原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）

両面原稿からのコピー、両面コピーや集約コピーなどをする場合、原稿のセット方向を設定してください。原稿のセット方向を設定しないと、ページ順やオモテ面とウラ面の配置が正しくコピーできないことがあります。

原稿のセット方向について

### ひとこと

出荷時設定では、原稿の天部（上側）を奥側にしてセットが選択されています。

ADF を使用	原稿ガラスを使用	アイコン	説明
			原稿の天部（上側）を奥側にしてセットした場合に選択します。
			原稿の天部（上側）を手前側にしてセットした場合に選択します。
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ADF に原稿の天部（上側）を左側にしてセットした場合に選択します。</li> <li>・ 原稿ガラス上に原稿の天部（上側）を右側にセットした場合に選択します。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ADF に原稿の天部（上側）を右側にセットした場合に選択します。</li> <li>・ 原稿ガラス上に原稿の天部（上側）を左側にセットした場合に選択します。</li> </ul>

## 2.4.5 原稿セット方向の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

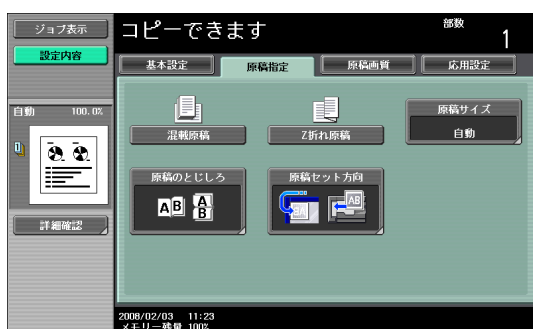
基本設定画面の「原稿指定」を押します。



原稿指定画面が表示されます。

3

「原稿セット方向」を押します。



原稿セット方向画面が表示されます。

4

セットした原稿の方向に合わせて、目的のキーを押し、[OK]を押します。



原稿セット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

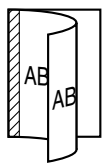

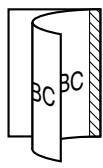

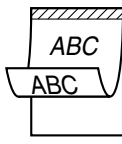

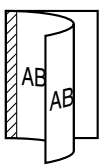
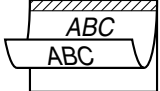
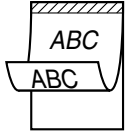
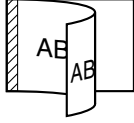

## ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

### 2.4.6 とじしろを設定する（原稿のとじしろ）

ADF に両面原稿をセットする場合、原稿のとじしろ位置を設定することで、原稿ウラ面の天部（上側）を指定します。

原稿のとじしろ位置について

原稿のとじしろ	アイコン	説明
	左開き / とじ 	原稿の左側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
	右開き / とじ 	原稿の右側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
	上開き / とじ 	原稿の上側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
<p>&lt;原稿の長辺が 297 mm 以下の場合&gt;</p>   <p>&lt;原稿の長辺が 297 mm を超える場合&gt;</p>  	<p>自動</p> 	<p>原稿のとじしろが自動で選択されます。</p> <p>原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろが設定されます。</p> <p>原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろが設定されます。</p>

#### ひとこと

出荷時設定では、とじ方向は「自動」が選択されています。

#### ひとこと

「自動」を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。

## 2.4.7 原稿のとじしろの設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

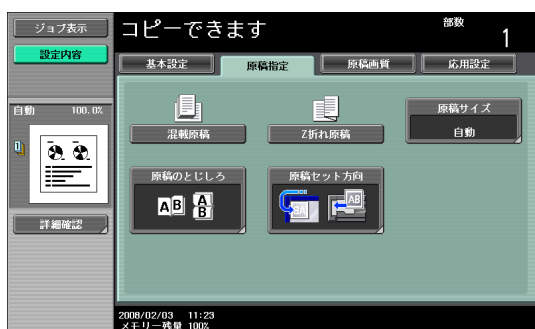
基本設定画面の「原稿指定」を押します。



原稿指定画面が表示されます。

3

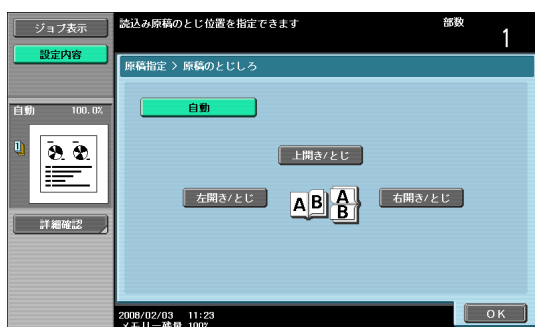
「原稿のとじしろ」を押します。



原稿のとじしろ画面が表示されます。

4

とじ方向を設定し、「OK」を押します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

## ひとこと

とじしろのある原稿をセットする場合は、原稿の天部（上側）を奥側にしてセットしてください。

## ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

## 2.4.8 原稿ごとに読み込み設定を変更する

連続読み込み設定で原稿を読み込む場合や、複数枚の原稿を原稿ガラスで読み込む場合に、原稿ごとに読み込み設定を変更できます。

ここでは連続読み込み設定の場合の手順を説明します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 基本設定画面の「連続読み込み設定」を押します。



- 3 【スタート】を押します。  
読み込みが開始されます。

- 4 【設定変更】を押します。



設定変更画面が表示されます。

- 5 目的のキーを押し、各設定画面で設定を変更して【OK】を押します。



### ひとこと

- 読み込み設定の変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。変更できる設定は、以下のとおりです。  
片面 / 両面、原稿のとししろ、倍率、枠消し、折り目消し、原稿サイズ
- 【中止】を押すと設定は変更されません。



【倍率】については「[倍率を選ぶ](#)」(p. 2-29)、【枠消し】【折り目消し】については「[不要部分を消してコピーする\(消去\)](#)」(p. 7-36)をごらんください。

## &lt;原稿のとじしろ画面&gt;



## &lt;倍率画面&gt;



## &lt;枠消し画面&gt;



## &lt;折り目消し画面&gt;



## &lt;原稿サイズ画面&gt;

**ひとこと**

原稿サイズ画面が表示されるのは、混載原稿がオンになっている場合のみです。

6

[OK] を押します。

## 2.5 用紙を選ぶ

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で用紙を選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。目的のコピー条件に応じ、いずれかの手順にしたがって設定します。出荷時設定では、[自動]が選択されています。

### 原則

- ・ 自動用紙と自動倍率は同時に設定できません。
- ・ 用紙種類がレターヘッド紙に設定されているトレイを選択してコピーする場合、用紙の面合わせ動作を行うため、片面コピーでもコピースピードが遅くなります。

### 2.5.1 自動的に用紙を選択する（自動用紙）

セットされた原稿サイズを検知し、同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が等倍に設定されている場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が、拡大または縮小に設定されている場合は、設定されている倍率に対応したサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。

1

基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

[自動]を押します。



3

[OK]を押します。

基本設定画面に戻ります。

### ひとこと

専用紙設定した給紙トレイは、自動用紙機能で選択されません。特別な用紙を給紙トレイにセットした場合には必ず用紙種類を設定してください。詳しくは、「[専用紙について](#)」(p. 6-7)をごらんください。

### 詳しく説明します

- ・ 自動倍率設定時に自動用紙を選択した場合は、倍率設定画面が表示されますので、目的の倍率を設定してください。
- ・ 給紙トレイの優先順序の設定については、「[< 給紙トレイ設定 >](#)」(p. 11-13)をごらんください。

## 2.5.2 手動で目的の用紙を指定する

1

基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

目的の用紙がセットされた給紙トレイを選択します。



3

「OK」を押します。

基本設定画面に戻ります。

### ひとこと

あらかじめ、目的の用紙を給紙トレイにセットしておきます。

### 詳しく説明します

自動倍率と組合わせて設定することで、原稿サイズと用紙サイズに合った最適なコピー倍率が設定されます。自動倍率については、「[自動的に倍率を設定させる（自動倍率）](#)」(p. 2-29)をごらんください。

## 2.6 倍率を選ぶ

原稿と異なるサイズの用紙にコピーするときや、画像のサイズを変えてコピーするときに倍率を設定できます。出荷時設定では、[等倍]が選択されています。

ここでは、倍率の設定のしかたについて説明します。

### 原則

自動倍率と自動用紙は同時に設定できません。



詳しく説明します

自動倍率を指定し、原稿よりも大きな用紙に拡大コピーしたい場合は、用紙の向きに合わせて原稿をセットします。

### 2.6.1 自動的に倍率を設定させる（自動倍率）

原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

「自動」を押します。



3

「OK」を押します。

基本設定画面に戻ります。



詳しく説明します

自動用紙設定時に自動倍率を選択した場合は、用紙選択画面が表示されますので、目的の用紙を選択してください。

## 2.6.2 原稿と同じ倍率にする（等倍）

原稿の画像を原寸（等倍）でコピーします。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

「等倍」を押します。



詳しく説明します

[+] を押すと拡大側へ、[-] を押すと縮小側へ 0.1% 単位で倍率が設定できます。

3

「OK」を押します。

基本設定画面に戻ります。

### 2.6.3 テンキーで倍率を指定する（ズーム）

テンキーを使用して、縦と横の比率を変えずに 25.0% ～ 400.0% の間でコピー倍率を直接入力できます。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

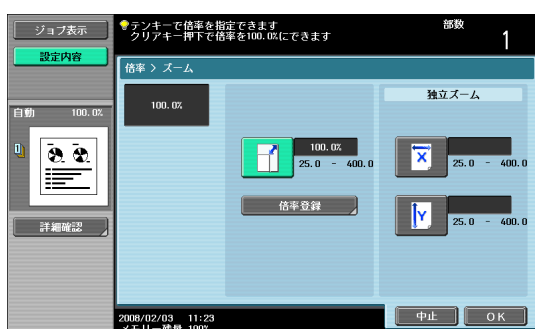
2

「ズーム」を押します。



3

テンキーで目的の倍率を入力します。(25.0% ～ 400.0%)



4

「OK」を2回押します。  
基本設定画面に戻ります。



入力した倍率を登録できます。登録のしかたについては、「[目的の倍率を登録する](#)」(p. 2-36)をご覧ください。



詳しく説明します

- ・設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- ・入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

### 2.6.4 原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）

画像を、原稿サイズよりわずかに縮小（93.0%）し、センタリングしてコピーします。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

「小さめ」を押します。



3

「OK」を押します。



基本設定画面に戻ります。



小さめコピーの倍率は、目的の倍率（90.0%～99.9%）に変更し、登録できます。小さめコピーの倍率変更／登録については、「[目的の倍率を登録する](#)」（p. 2-36）をご覧ください。

### 2.6.5 「拡大」、「縮小」から倍率を選択する（固定倍率）

よく使用する定形サイズ of 原稿から定形サイズ of 用紙にコピーする場合の最適な倍率が、あらかじめ設定されています。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

原稿と用紙サイズから最適な倍率を「拡大」、「縮小」から選択します。



3

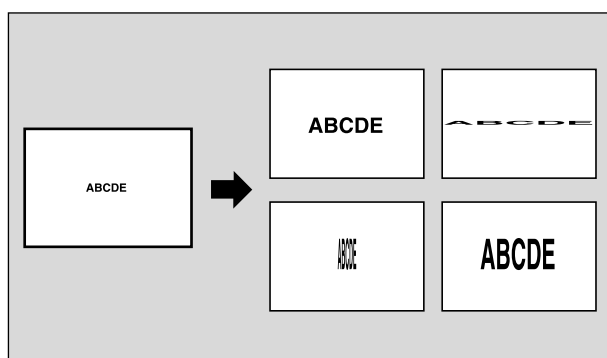
[OK] を押します。

基本設定画面に戻ります。

## 2.6.6 テンキーで倍率を指定する（独立ズーム）

テンキーを使用して、縦（25.0%～400.0%）と横（25.0%～400.0%）の比率を変えてコピー倍率を直接入力できます。

タテ・ヨコ倍率を組み合わせると、下図のような画像が得られます。



1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

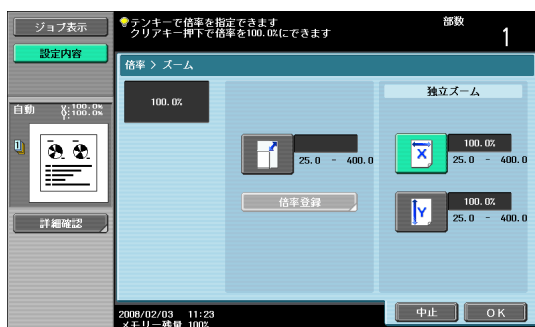
2

「ズーム」を押します。



3

「独立ズーム」の「X」を押し、テンキーでX辺の倍率を設定します。(25.0% ~ 400.0%)

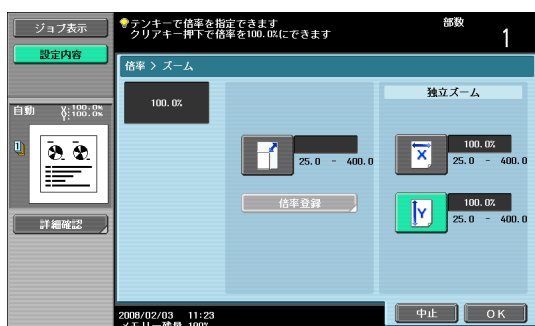


#### 詳しく説明します

- ・ 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- ・ 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

4

「独立ズーム」の「Y」を押し、テンキーでY辺の倍率を設定します。(25.0% ~ 400.0%)



#### 詳しく説明します

- ・ 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- ・ 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

#### ひとこと

「中止」を押すと設定は変更されません。

5

「OK」を2回押します。  
基本設定画面に戻ります。

### 2.6.7 登録倍率から選択する

登録されているコピー倍率を、必要に応じて呼出し設定します。  
また、登録されているコピー倍率を変更することもできます。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

目的の倍率を「登録倍率」から選択します。



3

[OK] を押します。

基本設定画面に戻ります。

### 2.6.8 目的の倍率を登録する

よく使用する倍率を3件と小さめ倍率を登録できます。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。



登録倍率には、目的の倍率を登録することができます。倍率の登録のしかたについては、「[目的の倍率を登録する](#)」(p. 2-36) をご覧ください。



詳しく説明します

- ・出荷時設定では、[等倍] が選択されています。
- ・[+] を押すと拡大側へ、[-] を押すと縮小側へ0.1% 単位で倍率が設定できます。

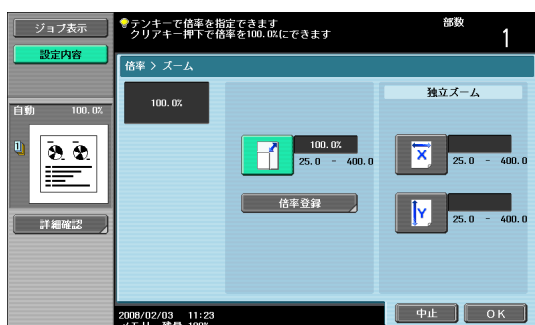
2

「ズーム」を押します。



3

テンキーで目的の倍率を入力します。(25.0% ~ 400.0%)



#### 詳しく説明します

- ・ 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- ・ 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

#### ひとこと

【中止】を押すと設定は変更されません。

4

「倍率登録」を押します。

5

登録するいずれかのキー、または「小さめ」を押します。



入力した倍率が登録されます。

6

【OK】を3回押します。

基本設定画面に戻ります。

#### 詳しく説明します

【小さめ】の倍率を登録する場合は、90.0% ~ 99.9% の範囲の中から目的の倍率を入力してください。

#### ひとこと

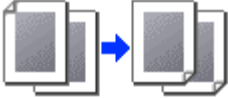
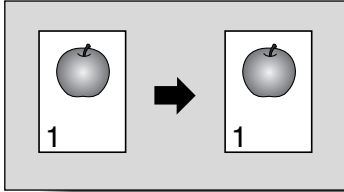
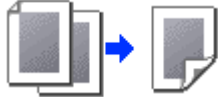
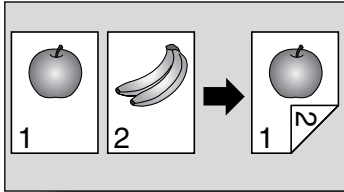

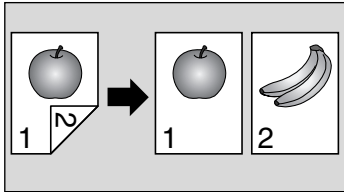

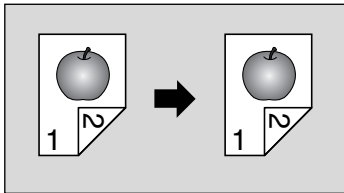
- ・ 登録倍率にはあらかじめ、400.0%、200.0%、50.0% が登録されています。選択されたキーに登録されていた倍率は、新たに入力した倍率に上書きされます。
- ・ いずれの登録倍率のキーも押さずに【OK】を押すと設定は変更されません。

#### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

## 2.7 原稿>コピー機能を選ぶ

原稿>コピー機能には以下の4つの設定があります。

原稿>コピー機能	説明
片面>片面 	片面原稿を用紙の片面にコピーします。 
片面>両面 	2枚の片面原稿を1枚の用紙の両面にコピーします。 
両面>片面 	両面原稿を2枚の用紙の片面にコピーします。 
両面>両面 	両面原稿を用紙の両面にコピーします。 

ここでは、原稿>コピー機能の設定のしかたについて説明します。

## 2.7.1 片面コピーを選択する

1

基本設定画面の「両面 / ページ集約」を押します。



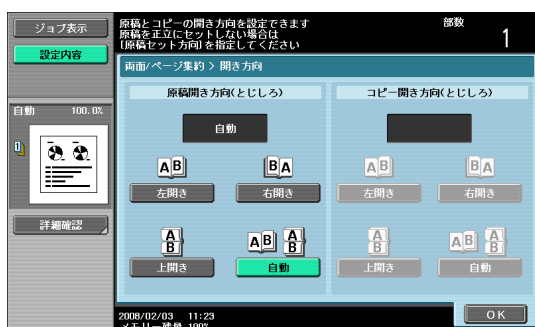
両面 / ページ集約画面が表示されます。

2

「片面>片面」、または「両面>片面」を押します。



- 両面原稿の場合、「開き方向」を押し、原稿開き方向を設定して、「OK」を押します。



3

「原稿セット方向」を押し、セットした原稿の方向を設定して、「OK」を押します。

4

「OK」を押します。

基本設定画面に戻ります。

## ひとこと

出荷時設定では、「片面>片面」が設定されています。



原稿ガラスを使用して複数枚の原稿を読み込む場合は、「**複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする**」(p. 2-12)をごらんください。

## ひとこと

- ・「両面>片面」を選択した場合、開き方向および原稿セット方向を設定してください。開き方向および原稿セット方向を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。
- ・原稿開き方向で「自動」を押すと、原稿のとじしろが自動で選択されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろが設定されます。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろが設定されます。
- ・原稿開き方向で「自動」を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。

## ひとこと

原稿セット方向については、「**原稿のセット方向を設定する(原稿セット方向)**」(p. 2-20)をごらんください。

## 2.7.2 両面コピーを選択する

1

基本設定画面の「両面 / ページ集約」を押します。



両面 / ページ集約画面が表示されます。

2

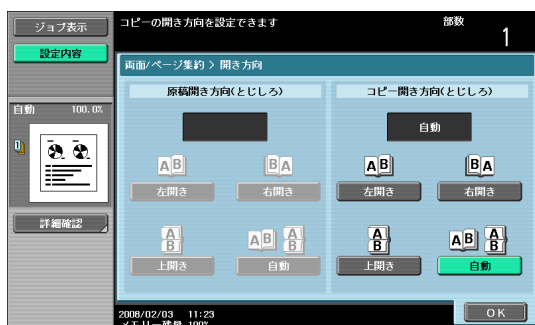
「片面>両面」、または「両面>両面」を押します。



3

「開き方向」を押します。

- 片面原稿の場合、コピー開き方向を設定して、[OK] を押します。



## ひとこと

出荷時設定では、「片面>片面」が設定されています。

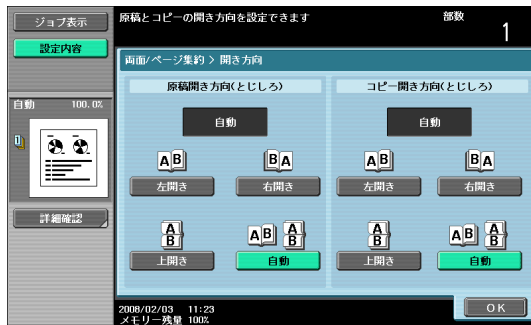


原稿ガラスを使用して複数枚の原稿を読み込む場合は、「**複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする**」(p. 2-12) をご覧ください。

## ひとこと

- ・ 開き方向および原稿セット方向を設定してください。開き方向および原稿セット方向を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。
- ・ 原稿開き方向で「自動」を押すと、原稿のとじしろが自動で選択されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろが設定されます。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろが設定されます。
- ・ 原稿開き方向で「自動」を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。
- ・ コピー開き方向で「自動」を押すと、原稿の方向から用紙へのとじしろ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろ位置を設定します。
- ・ コピー開き方向で「自動」を設定した場合は、上側または左側のとじしろ位置が設定されます。

- 両面原稿の場合、原稿開き方向とコピー開き方向を設定して、[OK] を押します。



4

「原稿セット方向」を押し、セットした原稿の方向を設定して、[OK] を押します。

5

[OK] を押します。

基本設定画面に戻ります。

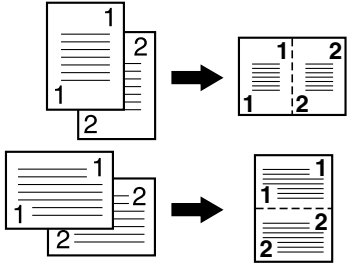
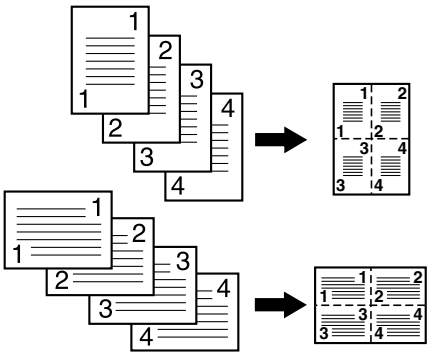
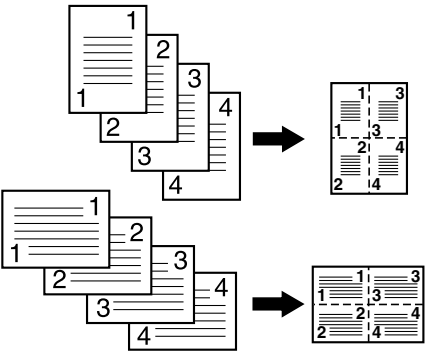
#### ひとこと

原稿セット方向については、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 2-20) をご覧ください。

## 2.8 ページ集約を選ぶ

複数枚（2 枚、4 枚、8 枚）の原稿画像を、1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

ページ集約コピーには以下の 3 つの設定があります。

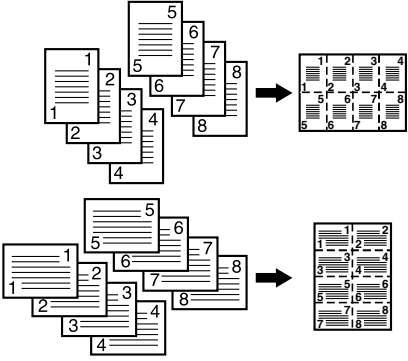
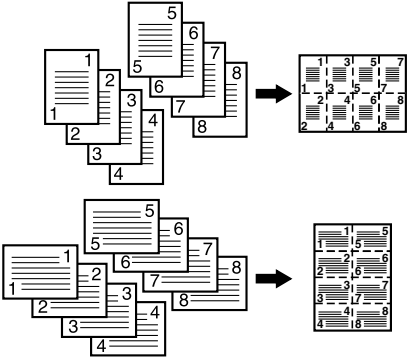
項目	説明
2 in 1	<p>2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に印刷します。</p> 
4 in 1	<p>4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に印刷します。原稿の集約順（ページ並び）を指定できます。</p> <p>&lt;横順&gt;</p>  <p>&lt;縦順&gt;</p> 

### 詳しく説明します

集約機能を選択すると原稿と用紙のサイズに基づいた適切な倍率を設定してコピーします。（お勧め倍率）  
設定された倍率は、手動で変更することができます。

### ひとこと

- ・出荷時設定では、「お勧め倍率」が設定されています。
- ・ユーザー設定の「集約 / 小冊子倍率」でお勧め倍率を使用しないように設定できます。その場合、倍率は手動で設定してください。詳しくは、「[コピー設定](#)」(p. 11-16) をご覧ください。

項目	説明
8 in 1	<p>8 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に印刷します。原稿の集約順 (ページ並び) を指定できます。</p> <p>&lt;横順&gt;</p>  <p>&lt;縦順&gt;</p> 

ここでは、集約コピーの設定のしかたについて説明します。

## 2.8.1 複数枚の原稿を1枚の用紙に収める（集約）

1

基本設定画面の「両面 / ページ集約」を押します。



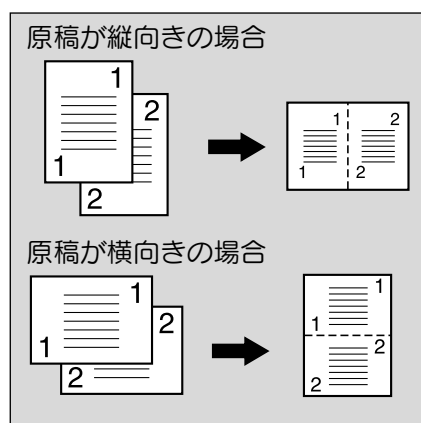
両面 / ページ集約画面が表示されます。

2

目的の集約枚数を選択します。



○ [2 in 1] を選択した場合、集約順は下図のようになります。



## 詳しく説明します

- ・集約する原稿の向きおよび枚数に合わせて、機能と集約順を選択します。  
[4 in 1]、[8 in 1] を選択した場合、[縦順] または [横順] の集約順を画面上で確認できます。ただし設定メニューの左エリア初期表示設定が「設定内容」の場合に限ります。
- ・集約を設定し、[片面 > 両面] を選択したときは、コピーの開き方向と原稿のセット方向を設定します。  
集約を設定し、[両面 > 片面] を選択したときは、原稿の開き方向と原稿のセット方向を設定します。  
集約を設定し、[両面 > 両面] を選択したときは、コピーおよび原稿の開き方向と原稿のセット方向を設定します。  
これらの設定を正しくしていないと希望する集約ができないことがあります。  
原稿のとじしろについては、「[とじしろを設定する（原稿のとじしろ）](#)」(p. 2-22) をご覧ください。
- ・集約の設定を解除するときは、[しない] を押します。

- [4 in 1/8 in 1] を選択した場合、4 in 1/8 in 1 画面が表示されます。[縦順] または [横順] を押し、原稿の集約順を指定します。







## 2.9 原稿の画質を選ぶ

### 2.9.1 小さな文字や写真の入った原稿をセットする（原稿画質）

原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整します。

原稿画質には以下の設定があります。

アイコン	説明
 文字	文字のみで構成された原稿からコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像が得られます。
 文字 / 写真	文字と写真が混在する原稿をコピーするのに適した機能です。
 写真	通常モードでは再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を再現するときに適した機能です。
 薄文字原稿	文字のみで構成された原稿で、原稿の濃度が薄い文字（鉛筆原稿など）からコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字の濃度を濃く再現し、読みやすい文字が得られます。

ここでは、原稿画質の設定のしかたについて説明します。

#### ひとこと

出荷時設定では、[文字 / 写真] が設定されています。

## 2.9.2 原稿画質の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

基本設定画面の「原稿画質」を押します。



原稿画質画面が表示されます。

3

セットした原稿に合った原稿画質機能を選択します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

## 2.10 濃度を選ぶ

コピー濃度や下地濃度の設定をします。原稿の状態に合わせて、よりよい濃度に調整します。

濃度調整には以下の 2 つの設定があります。

機能名	説明
濃度	印刷画像濃度を 9 段階で調整できます。 [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。 [ふつう] を押すと、9 段階の中央に設定されます。 [自動] を押すと、原稿の濃度を自動的に判断し、最適な濃度で印刷します。
下地調整	下地色付原稿の下地色の濃度を 9 段階で調整できます。 [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ下地濃度が増減します。 [ふつう] を押すと、9 段階の中央に設定されます。

ここでは、濃度調整の設定のしかたについて説明します。

## 2.10.1 印刷濃度を調整する（濃度）

1

基本設定画面の「濃度 / 下地」を押します。



濃度 / 下地画面が表示されます。

2

目的の濃度に調整します。



3

[OK] を押します。

### 詳しく説明します

- ・[うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- ・[ふつう] を押すと、中央（標準値）に戻ります。
- ・[自動] を押すと、原稿の濃度を自動的に判断し、最適な濃度で印刷します。

### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

## 2.10.2 下地濃度を調整する（下地調整）

1

基本設定画面の「濃度 / 下地」を押します。



濃度 / 下地画面が表示されます。

2

目的の下地濃度に調整します。



3

[OK] を押します。

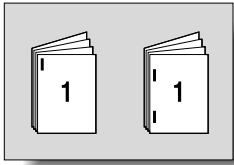
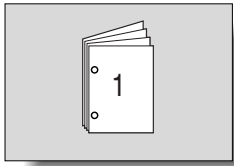
### 詳しく説明します

- ・[うすく]、[こく] を押しごとに、1段階ずつ濃度が増減します。
- ・[ふつう] を押すと、中央（標準値）に戻ります。

### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。



項目	説明
ステープル	<p>コピーの完了した用紙のコーナーまたは2点をステープル（針）でとじます。</p> 
パンチ	<p>コピーの完了した用紙にファイリング用のパンチ穴（2穴）をあけます。</p> 

ここでは、仕上り機能の設定のしかたについて説明します。

### 原則

ステープル機能は、オプションのフィニッシャー FS-522/FS-523 を装着した場合に使用できる機能です。

パンチ機能は、オプションのフィニッシャー FS-522 にパンチユニット PU-501 を装着した場合、またはオプションのフィニッシャー FS-523 を装着した場合に使用できる機能です。

### 仕上り機能一覧

	フィニッシャー FS-522				フィニッシャー FS-523	セパレーター
	フィニッシャー 単体	フィニッシャー + パンチユニット	フィニッシャー + パンチユニット + 中綴じ機	フィニッシャー + パンチユニット + メールビン		
ソート	○	○	○	○	○	○
グループ	○	○	○	○	○	○
仕分け	○ *1	○ *1	○ *1	○ *1	○ *1	○ *2
ステープル	○	○	○	○	○	×
パンチ	×	○	○	○	○	×
中とじ	×	×	○	×	×	×
中折り	×	×	○	×	×	×
排紙トレイ選択	○	○	○	○	○	○

\* 1 交互仕分け不可、シフト可

\* 2 交互仕分け可、シフト不可

## 2.11.1 部数ごとに分けて排紙する（ソート）

1

基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「ソート（1部ごと）」を押します。



○ 部数ごとに仕分けして排紙したい場合は、「仕分け」の「する」を押します。

3

「OK」を押します。

基本設定画面に戻ります。

## ひとこと

出荷時設定では、「グループ（ページごと）」が設定されています。

## 詳しく説明します

フィニッシャーを装着していない状態で「仕分け」を選択した場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を□方向と□方向の交互に仕分けして排紙します。

- ・ A4 または B5 の用紙を使用する
- ・ サイズと種類の同じ用紙を□方向と□方向にセットする
- ・ 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- ・ 混載原稿選択時に自動用紙を設定しない

フィニッシャーを装着している状態で「仕分け」の「する」を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。

## 2.11.2 ページごとに分けて排紙する（グループ）

1

基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「グループ（ページごと）」を押します。



○ ページごとに仕分けして排紙したい場合は、「仕分け」の「する」を押します。

3

「OK」を押します。

基本設定画面に戻ります。

## ひとこと

出荷時設定では、「グループ（ページごと）」が設定されています。

## 詳しく説明します

フィニッシャーを装着していない状態で「仕分け」を選択した場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を□方向と□方向の交互に仕分けして排紙します。

- ・ A4 または B5 の用紙を使用する
- ・ サイズと種類の同じ用紙を□方向と□方向にセットする
- ・ 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- ・ 混載原稿選択時に自動用紙を設定しない

フィニッシャーを装着している状態で「仕分け」の「する」を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。

### 2.11.3 排紙先を指定して排紙する

#### 原則

排紙トレイの指定はフィニッシャーまたはセパレーターを装着した場合に使用できる機能です。

1

基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「排紙トレイ」を押します。



3

排紙先のトレイキーを押します。



基本設定画面に戻ります。

4

「OK」を2回押します。  
基本設定画面に戻ります。

### 2.11.4 ステープルでとじて排紙する（ステープル）

コーナーステープルまたは2点ステープルでとじて出力します。

フィニッシャー FS-522

トレイの種類	用紙坪量	用紙サイズ	積載量
第1排紙トレイ	56 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup>	A3 ☐ ~ A5 ☐	32 mm、200 枚、20 部のいずれかに達した場合
第2排紙トレイ	56 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup>	A3 ☐ ~ A5 ☐	A4 ☐ 以下：132 mm、1000 枚、100 部 B4 ☐ 以上：64.5 mm、500 枚、50 部のいずれかに達した場合
増設排紙トレイ	56 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup>	A3 ☐ ~ A5 ☐	24 mm、200 枚、20 部のいずれかに達した場合

とじ枚数：50 枚（90g/m<sup>2</sup> 紙）

フィニッシャー FS-523

用紙坪量	用紙サイズ	積載量
60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup>	A3 ☐ ~ B5 ☐/☐	A4 ☐ 以下：375 mm、3000 枚 B4 ☐ 以上：187.5 mm、1500 枚のいずれかに達した場合

とじ枚数：50 枚（90g/m<sup>2</sup> 紙）

1

基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

#### ひとこと

フィニッシャー装着時のみ、コーナーステープルまたは2点ステープルでとじて出力ができます。

#### 詳しく説明します

ステープルとじする場合、以下の条件を全て満たす必要があります。

- ・用紙の幅は 182 mm 以上、297 mm 以下
- ・用紙の長さは 139.7 mm 以上、431.8 mm 以下
- ・混載原稿の場合、プリントされる用紙の幅が同じ

#### ひとこと

ステープルとじする場合、原稿をセットする方向およびステープルする用紙の方向を設定してください。原稿セット方向およびステープルする用紙の方向が設定されていない場合、目的の位置にステープルとじされないことがあります。原稿セット方向については、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 2-20) をご覧ください。

2

ステープルの「コーナー」または「2点」を押します。



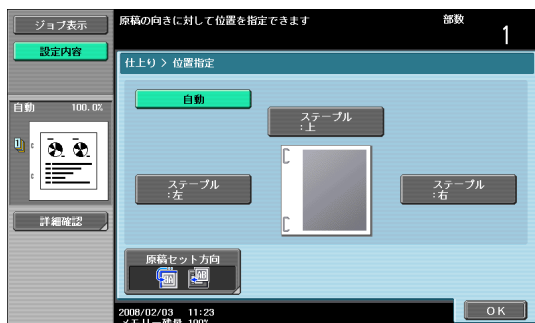
3

「位置指定」を押します。

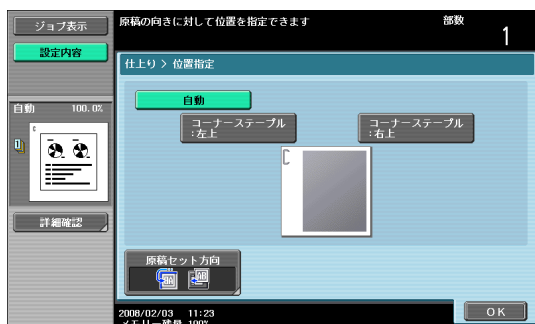


○ 目的の位置を選択し、「OK」を押します。

＜2点ステープルの場合＞



＜コーナーステープルの場合＞



### ひとこと

- ・「ステープル」を選択した場合、自動的に「ソート（1部ごと）」が選択されます。
- ・「ステープル」と「仕分け」は合わせて使用できません。
- ・ステープル機能を解除するときは、「なし」を押します。

### ひとこと

- ・「自動」を押すと、セットした原稿の方向から用紙へのステープル位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にステープル位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にステープル位置を設定します。
- ・「自動」を設定した場合は、上側または左側のステープル位置が設定されます。
- ・「自動」によりステープルの位置を指定する場合は、必ず原稿の天部が奥側になるようにセットしてください。それ以外の向きだと、正しく設定できません。

### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

4

必要に応じて、「[原稿セット方向]」を押し、原稿のセットされている向きを指定します。

5

[OK] を押します。  
基本設定画面に戻ります。

### 2.11.5 パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）

フィニッシャー FS-522

用紙坪量	用紙サイズ
普通紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> ) 厚紙 (91 g/m <sup>2</sup> ~ 163 g/m <sup>2</sup> )	A3 □ ~ B5 □/□

フィニッシャー FS-523

用紙坪量	用紙サイズ
普通紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> )	A3 □ ~ B5 □/□

#### 原則

パンチ機能はオプションのフィニッシャー FS-522 にパンチユニット PU-501 を装着した場合、またはオプションのフィニッシャー FS-523 を装着した場合に使用できる機能です。

1

基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

パンチの「2 穴」を押します。



#### ひとこと

原稿セット方向については、「**原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）**」(p. 2-20) をご覧ください。

#### 詳しく説明します

パンチ穴をあける場合、以下の条件を全て満たす必要があります。

- ・用紙の幅は 182 mm 以上、297 mm 以下
- ・用紙の長さは 182 mm 以上、432 mm 以下

#### ひとこと

パンチ穴をあける場合、原稿をセットする方向を設定してください。原稿セット方向が設定されていない場合、目的のとおりにはパンチされないことがあります。原稿セット方向については、「**原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）**」(p. 2-20) をご覧ください。

#### ひとこと

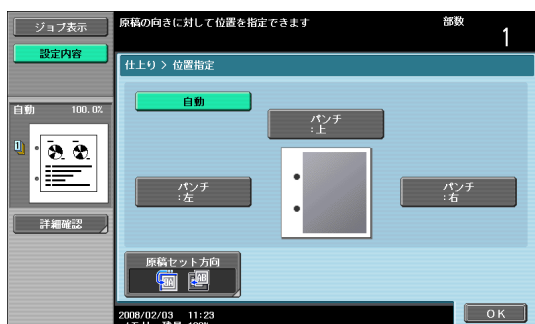
パンチ機能を解除するときは、「なし」を押します。

3

「位置指定」を押します。



○ 目的の位置を選択し、「OK」を押します。



4

必要に応じて、「原稿セット方向」を押し、原稿のセットされている向きを指定します。

5

「OK」を押します。

基本設定画面に戻ります。

#### ひとこと

- ・「自動」を押すと、セットした原稿の方向から用紙へのパンチ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にパンチ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にパンチ位置を設定します。
- ・「自動」を設定した場合は、上側または左側のパンチ位置が設定されます。
- ・「自動」によりパンチの位置を指定する場合は、必ず原稿の天部が奥側になるようにセットしてください。それ以外の向きだと、正しく設定できません。

#### ひとこと

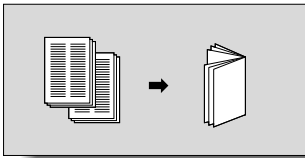
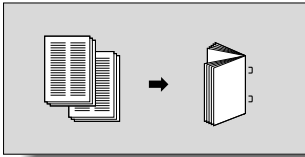
【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

#### ひとこと

原稿セット方向については、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 2-20) をご覧ください。

# 2.12 紙折り機能を選ぶ





フィニッシャー FS-522 に中綴じ機 SD-507 を装着することで、コピーした用紙を折って排紙できます。紙折り出力には以下の種類があります。

項目	説明
中折り	用紙を 2 つ折りにして、排紙します。(p. 2-60) 
中とじ	用紙のセンター 2ヶ所にステープルし、2 つ折りにして排紙します。(p. 2-62) 

## 原則

中折り、中とじ機能はオプションのフィニッシャー FS-522 に中綴じ機 SD-507 を装着した場合に使用できる機能です。

## 2.12.1 2 つ折りにして排紙する (中折り)

用紙坪量	用紙サイズ	積載量 (いずれかで検知)
56 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup>	B5  、A4  、 B4  、A3 	200 枚または 20 部



中とじ / 中折り出力をする場合、以下の条件を全て満たす必要があります。

- ・用紙の幅は 182 mm 以上、297 mm 以下
- ・用紙の長さは 257 mm 以上、431.8 mm 以下

1

基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

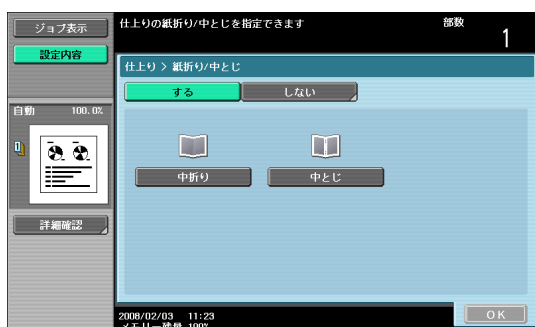
「紙折り / 中とじ」を押します。



紙折り / 中とじ画面が表示されます。

3

「中折り」を押します。



4

「OK」を2回押します。

#### 詳しく説明します

出荷時設定では、中折りを設定すると、小冊子機能が自動的に選択されるように設定されています。

#### ひとこと

中折り機能を解除するときは、「しない」を押すか、他の機能のキーを押します。

## 2.12.2 用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）

用紙坪量	用紙サイズ	積載量 (いずれかで検知)
56 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup>	B5 □、A4 □、 B4 □、A3 □	200 枚または 20 部

とじ枚数：90 g/m<sup>2</sup> 紙 2 ~ 15 枚（最大 60 ページ）

1

基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「紙折り / 中とじ」を押します。



紙折り / 中とじ画面が表示されます。

詳しく説明します

中とじ / 中折り出力をする場合、以下の条件を全て満たす必要があります。

- ・用紙の幅は 182 mm 以上、297 mm 以下
- ・用紙の長さは 257 mm 以上、431.8 mm 以下

詳しく説明します

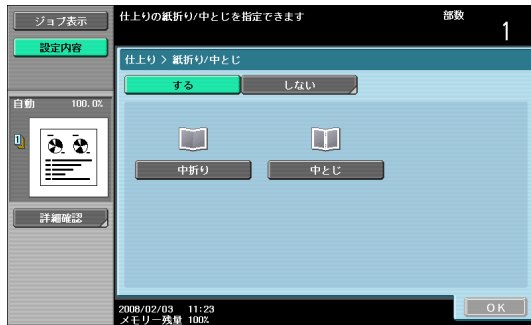
- ・カバーシート機能のカバー紙を選択した場合は、カバー紙 (50 g/m<sup>2</sup> ~ 200 g/m<sup>2</sup>) にステープルすることができます。
- ・出荷時設定では、中とじを設定すると、以下の機能が自動的に設定されます。
  - ・片面 > 両面
  - ・小冊子
  - ・小冊子時のお勧め倍率 (× 70.7%)
- ・中とじを設定すると、仕上りで設定した以下の機能設定が無効になります。
  - ・グループ
  - ・仕分け
  - ・ステープル
  - ・パンチ

#### ひとこと

中とじ機能を解除するときは、「しない」を押すか、他の機能のキーを押します。

3

[中とじ] を押します。

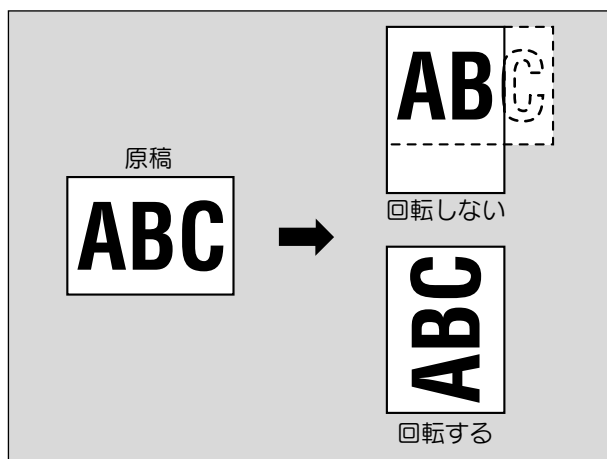


4

[OK] を2回押します。

## 2.13 回転しないを選ぶ

セットされた用紙の向きに合わせて画像を回転させないようにコピーします。



### ひとこと

用紙サイズ、倍率によっては、画像が欠ける場合があります。



基本設定画面の「回転しない」を押します。



## 2.14 印刷中に次のコピー原稿を読み込む（コピー予約）

現在のコピージョブの印刷中に、次のコピージョブの設定や原稿読み込みを行い、印刷完了後に続けて次のコピーを印刷します。

### 原則

コピー予約は、現コピーを含めて最大 95 ジョブまで登録できます。

1

現在のジョブの印刷中に、「コピー予約できます」と表示されたら原稿をセットし、次のコピーのコピー条件を設定します。



- 設定メニューの印刷中画面表示を「する」に設定した場合、印刷中画面の「コピー予約」を押して、基本設定画面を表示します。



2

【スタート】を押します。

3

実行中のコピージョブ終了後、次のコピーを開始します。

### ひとこと

セットした原稿の読み込み終了後にコピー予約できます。原稿読み込み中に次のジョブを予約できません。

### 参照

原稿セット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

### 詳しく説明します

予約したジョブを削除するときは、画面左エリアの「ジョブ表示」を押し、「ジョブ詳細」を押します。詳しくは、「[ジョブを削除する](#)」(p. 10-6) をご覧ください。

### 詳しく説明します

印刷中画面表示の設定については、「[画面カスタマイズ設定](#)」(p. 11-15) をご覧ください。

## 2.15 読み込み・印刷を一時停止する

原稿の読み込みや印刷の動作を一時停止したいときは、以下の手順にしたがってください。

1

ジョブの読み込み・印刷中に【ストップ】を押します。



読み込み・印刷が停止します。



タッチパネルに停止中ジョブ画面が表示されます。

2

【スタート】を押すと、停止していた全てのジョブが再開されます。

### ひとこと

読み込み中ジョブがある場合は、【ストップ】を押すと、読み込みも同時に停止します。



一時停止したジョブの削除のしかたについては、「一時停止したジョブを削除する」(p. 2-67) をご覧ください。

## 2.16 一時停止したジョブを削除する

一時停止したジョブを削除したいときは、以下の手順にしたがってください。

1

ジョブの読み込み・印刷中に【ストップ】を押します。



読み込み・印刷が停止します。  
タッチパネルに停止中ジョブ画面が表示されます。

2

削除したいジョブを選択し、[削除実行] を押します。




選択したジョブが削除されます。



読み込み・印刷中のジョブの一時停止のさせ方について、詳しくは、[「読み込み・印刷を一時停止する」](#) (p. 2-66) をご覧ください。

### ひとこと

- ・ 削除するジョブは1つずつ選択します。
- ・ 一時停止したジョブを再開する場合は【スタート】を押します。



# 第3章

## コピー補助機能

---

コピーするときに手助けになる機能について説明します。

3.1	コピー条件を確認する（設定内容） .....	3-2
3.2	1部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー） .....	3-4
3.3	プレビュー画像でコピーの仕上りを確認する（仕上りプレビュー） .....	3-7
3.4	割込んでコピーする（割込み） .....	3-12
3.5	コピー条件を登録する（プログラム登録） .....	3-13
3.6	登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し） .....	3-16
3.7	機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能） .....	3-18
3.8	操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定） .....	3-22

## 3.1 コピー条件を確認する（設定内容）

設定内容画面で、現在設定されているコピー条件の確認、変更ができます。

### 3.1.1 設定の確認のしかた

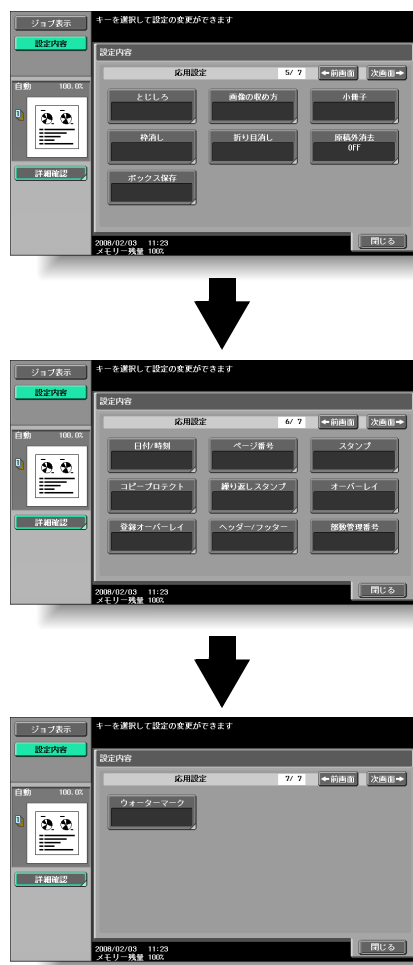
1

画面左エリアの「設定内容」を押し、「詳細確認」を押します。  
設定内容画面が表示されます。



#### 詳しく説明します

- ・ 設定内容画面は 7 画面あります。画面タイトルの右側に現在の画面番号が表示されます。
- ・ [←前画面] を押すと 1 つ前の画面に、[次画面→] を押すと次の画面に切替わります。
- ・ 出荷時設定から設定を変更した機能は、その項目が色付きの枠で囲まれます。



2

設定内容の確認が終了したら、「閉じる」を押します。  
基本設定画面に戻ります。

### 3.1.2 設定の変更のしかた

1

画面左エリアの「設定内容」を押し、「詳細確認」を押します。

2

「←前画面」または「次画面→」を押して変更する機能のある画面を表示します。

3

変更する機能のキーを押します。  
各機能の設定画面が表示されます。

4

各機能の設定方法にしたがい、変更を行ってください。

## 3.2 1部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー）

大量のコピーを行うとき、先に1部だけ印刷して仕上りを確認できます。印刷の失敗を未然に防ぐことができます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 目的のコピー条件を設定します。
- 3 【確認コピー】を押します。



- 4 確認方法で「印刷して確認」を押し、原稿セット方向を選択します。

<原稿ガラスに原稿をセットした場合>



<ADFに原稿をセットした場合>



- 5 【スタート】を押します。



原稿セット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

### ひとこと

確認コピーをするときは、複数部数を設定してください。



オプションのハードディスクを装着していないと、確認コピー方法選択画面は表示されません。

6

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、[読み込み終了] を押し、**【スタート】** を押します。

1部印刷されます。

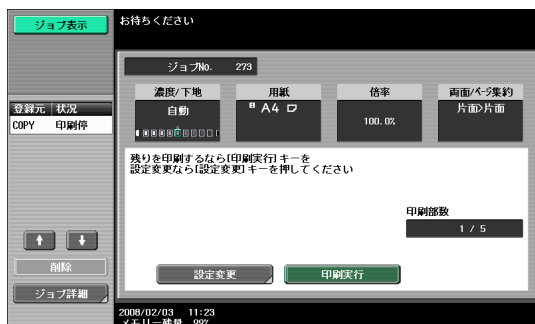
7

コピー結果を確認します。

- コピーを確認して問題なければ、手順 11 へ進みます。
- コピー条件の設定を変更するときは、手順 8 へ進みます。

8

確認コピー画面の「設定変更」を押します。



- この画面が表示された状態で一定時間操作しないでいると、確認コピーを行ったジョブが蓄積ジョブに登録され、基本設定画面に戻ります。  
蓄積ジョブへの登録は、以下のタイミングで行われます。
  - ・ システムオートリセットが動作した時
  - ・ 1分後（システムオートリセットを「使用しない」に設定している場合）

### ひとこと

ADF に原稿をセットした場合は、原稿の読み込み終了を確認する画面は表示されず、仕上り確認用の印刷が開始されます。

### 詳しく説明します

- ・ 確認コピー画面表示中にコピーを中断する場合は**【リセット】**または**【C】**を押します。または、左エリアのジョブ表示リストから中断する確認コピージョブを選んで、**【削除】**を押します。削除確認画面が表示されたら、**【はい】** を押し、**【OK】** を押します。
- ・ 蓄積ジョブについては、[p. 10-10](#) をご覧ください。システムオートリセットを「使用しない」に設定している場合は、操作をしなくなってから1分で蓄積ジョブに登録されます。ただし、確認コピー時リセットを「しない」に設定しているとジョブは蓄積されません。リセット設定については、[「<リセット設定>」\(p. 11-24\)](#) をご覧ください。
- ・ システムオートリセットについては、[「自動的に設定を取消す（オートリセット）」\(p. 1-30\)](#) をご覧ください。
- ・ 確認コピー画面の「印刷部数」は、「確認コピー済み印刷部数 / 設定総部数」を示しています。
- ・ 確認コピー画面の「総印刷枚数」は、「確認コピー済み印刷枚数 / 確認コピー印刷枚数」を示しています。

設定変更画面でコピー条件を変更して、[OK] を押します。



9

【確認コピー】を押して、確認コピーを繰り返します。

10

[印刷実行] を押します。

残り部数がジョブとして登録されます。

#### 詳しく説明します

- ・元の設定に戻す場合は[中止]を押します。
- ・コピー条件が変更できないときは、確認コピーを中断してください。次に【リセット】を押してコピー条件を取消してから、設定をしておしてください。
- ・設定変更画面表示中にコピーを中断する場合は、左エリアのジョブ確認リストから中断する確認コピージョブを選んで、[削除]を押します。削除確認画面が表示されたら、[はい] を押し、[OK] を押します。
- ・設定変更画面表示中に【リセット】を押すと、設定変更画面で変更した設定がリセットされ、手順2で設定した内容に戻ります。
- ・設定変更画面の「部数」は[印刷実行]を押したときに印刷される部数です。



読込み中または印刷中の確認コピーを中断する場合は、「[読込み・印刷を一時停止する](#)」(p. 2-66)をごらんください。

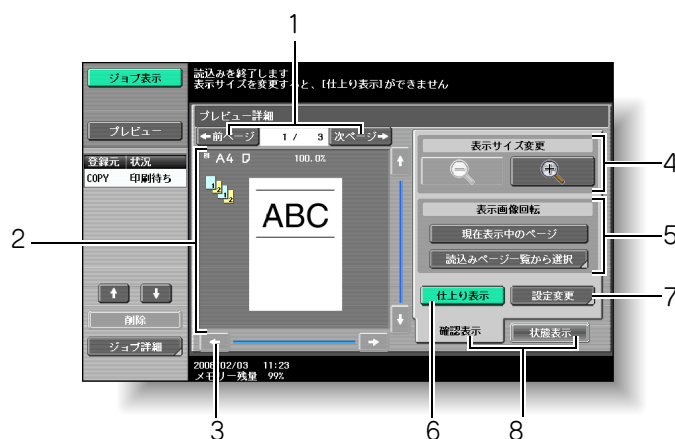
## 3.3 プレビュー画像でコピーの仕上りを確認する (仕上りプレビュー)

印刷する前に、仕上り状態をプレビュー画像で確認することができます。  
印刷の失敗を未然に防ぐことができます。

### 3.3.1 プレビュー詳細画面

プレビュー詳細画面では、向きを誤って読込んだ原稿を回転させたり、  
読み込む前に行った設定を変更したりすることができます。

<画面構成>



#### 詳しく説明します

オプションのハードディスクを装着していないと、プレビュー詳細画面を使用してコピーの仕上がりを確認することはできません。

No	名称	説明
1	[←前ページ] / [次ページ→]	表示中のページの前ページおよび次ページへ表示を切替えます。
2	—	プレビュー画像が表示されます。 [仕上り表示] を押すと、プレビュー画像に仕上り状態が反映されます。
3	スクロールバー	プレビュー画像が拡大表示の場合、画像を上下左右にスクロールします。
4	表示サイズ変更	プレビュー画像を拡大／縮小します。 詳しくは、「<表示サイズ変更>」(p. 3-8) をご覧ください。
5	表示画像回転	プレビュー画像を 180 度回転します。 詳しくは、「<表示画像回転>」(p. 3-8) をご覧ください。
6	[仕上り表示]	仕上り状態をプレビュー画像に反映します。もう一度押すと、プレビュー画像の仕上り表示が解除されます。 詳しくは、「<仕上り表示>」(p. 3-9) をご覧ください。
7	[設定変更]	読込んだ原稿の設定を変更できます。 詳しくは、「<設定変更>」(p. 3-9) をご覧ください。
8	[状態表示] / [確認表示]	プレビュー詳細画面の状態表示と確認表示の切替えを行います。 画像の回転や設定変更は[確認表示]で行います。 [状態表示]で読みみを終了します。

### ＜表示サイズ変更＞

表示サイズ変更では、プレビュー画像を拡大して表示し、細部の確認ができます。[+] / [-] を押すことで、全体表示／2倍／4倍／8倍の大きさに倍率を変更できます。拡大した画像は、画像の右側と下側のスクロールバーで表示箇所を移動させて確認します。



### ひとこと

表示サイズを変更すると、仕上り状態を表示できません。

### ＜表示画像回転＞

表示画像回転では、プレビュー画像を 180 度回転して、原稿の向きの誤りを補正できます。

「現在表示中のページ」を押すと、表示されているページを 180 度回転します。



「読み込みページ一覧から選択」を押すと、読み込みページ一覧画面が表示されます。読み込みページは最大 8 ページまで表示され、[↑] / [↓] を押すとページを切替えることができます。

「奇数ページ」を押すと、読み込みページ中の奇数ページを回転します。

「偶数ページ」を押すと、読み込みページ中の偶数ページを回転します。

「全ページ」を押すと、読み込みページの全ページを回転します。読み込みページを直接選択すると、選択した読み込みページが回転します。



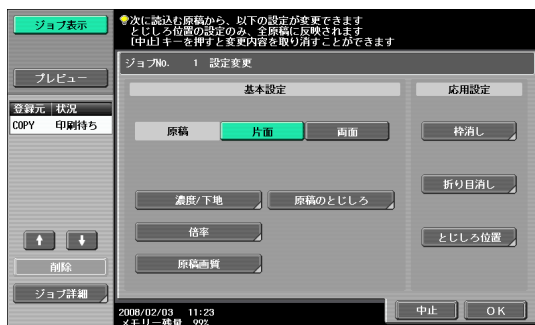
### <仕上り表示>

「仕上り表示」を押すと、仕上り設定内容をプレビュー画像にアイコンや文字列で表示し、仕上りの状態を確認できます。「仕上り表示」をもう一度押すと、プレビュー画像の仕上り表示が解除されます。



### <設定変更>

設定変更では、次に読み込む原稿の設定を変更することができます。



### ひとこと

- ・各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。
- ・左エリアの「プレビュー」を押すとプレビュー画像が表示されます。プレビュー画像には、全原稿に反映される設定のみが表示されます。

## 3.3.2 仕上りプレビューを確認する

仕上りプレビューでコピーの仕上りを確認して印刷します。

- 1
- 2
- 3

原稿ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

目的のコピー条件を設定します。

【確認コピー】を押します。



確認コピー方法選択画面が表示されます。

### 詳しく説明します

- ・プログラムジョブで原稿を読み込む場合は、全ての原稿を読み込み、「読み込み終了」を押したあとに仕上りプレビューを確認できます。プログラムジョブについて詳しくは、「[原稿ごと異なる設定で読み込みまとめてコピーする（プログラムジョブ）](#)」(p. 7-15)をごらんください。
- ・差し込みページを指定して原稿を読み込む場合は、最初に原稿を読み込んだあとと、差し込み原稿を読み込んだあとに仕上りプレビューを確認できます。差し込みページについて詳しくは、「[追加原稿を指定したページに差し込む（差し込みページ）](#)」(p. 7-10)をごらんください。
- ・ブック連写、小冊子を設定する場合は、仕上り状態を確認できません。印刷をして仕上りを確認してください。

4

確認方法で「プレビュー画像で確認」を押し、原稿セット方向を選択します。

＜原稿ガラスにセットした場合＞



＜ADF にセットした場合＞



5

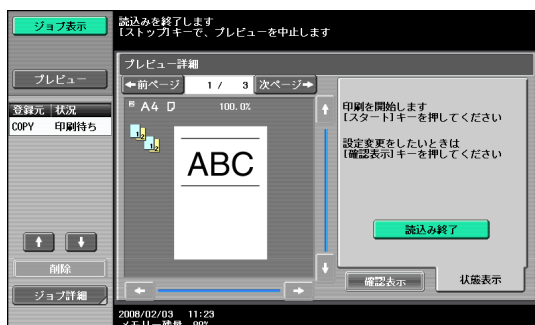
【スタート】を押します。

原稿の読み込みを開始し、プレビュー詳細画面（状態表示）が表示されます。

6

プレビュー画像を確認します。

- 設定を変更する場合は、「確認表示」を押します。手順 7 へ進みます。
- 印刷を開始する場合は、【スタート】を押します。
- さらに原稿を読み込む場合は、「読み込み終了」を押したあと、原稿をセットし、【スタート】を押します。



#### ひとこと

【ストップ】を押すと、プレビュー表示を中止します。

7

設定を変更して、[状態表示] を押します。



#### ひとこと

確認表示画面について詳しくは、  
「[プレビュー詳細画面](#)」(p. 3-7)  
をごらんください。

8

【スタート】を押します。

印刷を開始します。

## 3.4 割込んでコピーする（割込み）

他のジョブの進行を中断し、一時的に異なるコピー条件でコピーできます。

急いでコピーをしたいときなどに便利です。

1

原稿をセットします。

2

【割込み】を押します。

- 現在のジョブが印刷中の場合は、「もうすぐ止まります」と表示されます。



割込みランプが緑色に点灯し、印刷中のジョブは中断されます。

3

目的のコピー条件を設定します。

4

【スタート】を押します。

割込みコピーを開始します。

5

割込みジョブの印刷が終了したら、【割込み】を押します。

割込みランプが消灯し、割込みコピー設定が解除されます。  
割込みコピー前のコピー条件が復帰します。



印刷が終了した時点で割込みコピーを行う場合は、「優先出力の設定をする」(p. 10-12) をご覧ください。



詳しく説明します

- ・原稿読み込み中は【割込み】を押すことができません。
- ・【割込み】を押すと、コピー条件は初期設定に戻ります。



原稿セット方法については、「ADFに原稿をセットする」(p. 2-6) をご覧ください。

### ひとこと

割込みコピーを解除すると、割込み前に中断したジョブの印刷が自動的に再開されます。

## 3.5 コピー条件を登録する（プログラム登録）

よく使う各種コピー設定条件の組合わせを、プログラムとして最大 30 件まで本機に登録し、簡単に呼出すことができます。

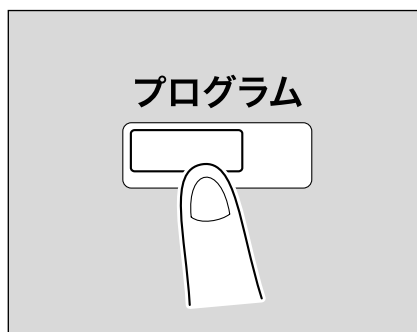
登録するコピープログラムは、全角で最大 8 文字まで、半角で最大 16 文字までの登録名称を付けることができます。

1

タッチパネルのキーおよび操作パネルのキーを使って、プログラムに登録するコピー条件を設定します。

2

【プログラム】を押します。



コピープログラム呼出し画面が表示されます。

3

画面に表示されているコピープログラムキーの中から、コピー条件を登録したいキーを押し、[プログラム登録]を押します。



登録名称入力画面が表示されます。

4

キーボードおよびテンキーで登録名称を入力します。

- 登録名称は全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字で登録できます。



### ひとこと

左エリアの「設定内容」を押し、「詳細確認」を押すと、現在設定されているコピー条件を確認できます。詳しくは、「[コピー条件を確認する（設定内容）](#)」(p. 3-2) をご覧ください。

### 詳しく説明します

以降の操作途中に登録を中断する場合は、【リセット】または【プログラム】を押します。いずれの画面が表示されていても、登録操作は中断されます。または、基本設定画面に戻るまで「中止」を押します。

### 詳しく説明します

- ・ コピープログラム呼出し画面は 3 画面に分かれています。[↑] または [↓] で切替えて表示します。
- ・ コピープログラムが 30 件登録されている場合は、不要なコピープログラムを削除してから登録してください。コピープログラムの削除については、「[コピープログラムの削除のしかた](#)」(p. 3-15) をご覧ください。

### 参照

文字の入力のしかたは「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2) をご覧ください。

### 詳しく説明します

- ・ 既存のコピープログラムキーと同じ登録名称をつけることができます。
- ・ 登録名称の入力を中断する場合は、「中止」を押します。

5

入力が完了したら、[OK] を押します。



コピープログラム呼出し画面に戻ります。登録が完了し、入力した登録名称のキーが表示されます。



6

[OK] または、[中止] を押します。

○【プログラム】を押しても基本設定画面に戻ります。

#### 詳しく説明します

- ・入力した登録名称を変更する場合は、変更するコピープログラムキーを押し、[名称変更] を押します。名称変更画面が表示されます。手順 4 からの操作をし、登録名称を変更します。
- ・コピープログラムキーを押し、[設定内容] を押すと、登録したコピープログラムを確認できます。詳しくは、「登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）」(p. 3-16) をご覧ください。
- ・コピープログラムの内容は、変更できません。
- ・コピープログラムロック設定を行ったコピープログラムを選択すると、[名称変更]、[削除] は表示されません。詳しくは、「環境設定」(p. 11-21) をご覧ください。

## 3.5.1 コピープログラムの削除のしかた

1

コピープログラム呼出し画面で、削除したいコピープログラムキーを押します。

2

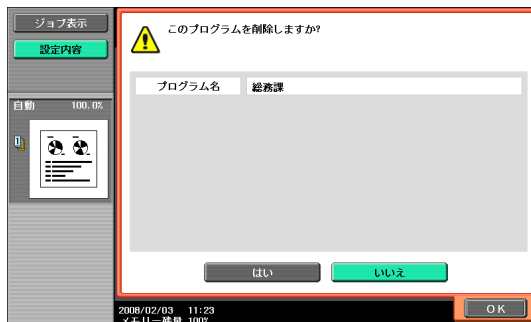
〔削除〕を押します。



削除確認画面が表示されます。

3

〔はい〕を押し、〔OK〕を押します。



プログラム呼出し画面に戻ります。キーと登録されていたコピー条件は削除されます。

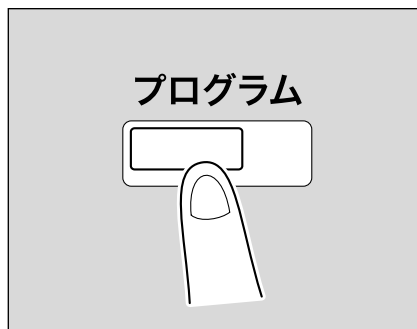
詳しく説明します

呼出したいコピープログラムが表示されていないときは、〔↑〕または〔↓〕で、表示を切替えます。

## 3.6 登録したコピー条件でコピーする (コピープログラム呼出し)

登録したコピー条件を呼出しコピーします。

- 1 原稿をセットします。
- 2 【プログラム】を押します。



コピープログラム呼出し画面が表示されます。

- 3 呼出したいコピー条件が登録されているコピープログラムキーを押します。



- 選択したコピープログラムキーに登録されているコピー条件を確認しない場合は、手順 8 へ進みます。

- 4 [設定内容] を押します。



設定内容画面が表示されます。



原稿セット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。



詳しく説明します

- ・ コピープログラムの呼出しを中断する場合は、【リセット】、【プログラム】、[中止] いずれかを押します。
- ・ 呼出したいコピープログラムが表示されていないときは、[↑] または [↓] で、表示を切替えます。

5

選択したコピープログラムキーに登録されているコピー条件を確認します。



#### 詳しく説明します

- ・設定内容画面は4画面あります。画面タイトルの右側に現在の画面番号が表示されます。
- ・[←前画面]を押すと1つ前の画面に、[次画面→]を押すと次の画面に切替わります。
- ・設定内容画面では、設定変更できません。

6

[閉じる]を押します。  
コピープログラム呼出し画面に戻ります。

7

もう1度呼出したいコピー条件が登録されているコピープログラムキーを押します。

8

[OK]を押します。  
登録されていたコピー条件を呼出して設定し、基本設定画面に戻ります。

9

【スタート】を押します。  
呼出されたコピー条件でコピーを開始します。

#### 詳しく説明します

コピープログラムキーを選択しないで[OK]を押すと、コピープログラムを呼出さずに基本設定画面に戻ります。

## 3.7 機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能）

各機能の説明や操作方法を画面上に表示して、確認できます。

ヘルプ画面の表示方法は 2 つあります。

- ヘルプ基本画面（基本設定画面から）
- 設定手順のヘルプ画面（基本設定画面以外の画面から）

### 3.7.1 ヘルプ基本画面の概要

ヘルプは、以下のメニューで構成されています。

- 第 1 階層 ヘルプメインメニュー



項目	説明
[機能から探す]	機能の種類と名称で分類されたヘルプメニューから説明を確認できます。
[目的から探す]	行いたい操作の種類で分類されたヘルプメニューから説明を確認できます。
[機能マップ]	機能マップ画面へ進みます。機能や設定項目が階層表示されます。
[その他便利な機能]	便利な機能で分類されたヘルプメニューから説明を確認できます。
[各部の名称と働き]	各部の名称と働きのヘルプメニューへ進みます。本体とオプションについての説明を確認できます。
[サービス / 管理者情報]	管理者名、内線番号、E-Mail アドレスを確認できます。
[消耗品交換 / 処理手順]	トナーカートリッジの交換、ステープル針の交換等の手順の説明が表示されます。

- 第 2 階層以下のヘルプメニュー（例：機能から探す）



項目	説明
[コピー]、[ファクス/スキャン]、[ボックス]、[ジョブリスト]、[印刷]、[カスタマイズ]、[イメージパネル]、[Web ブラウザ]	各キーのヘルプ画面の 1 画面目へ進みます。

#### 詳しく説明します

以下の状態のときはヘルプ機能を使用できません。

- ・ スキャン中、確認コピー中、仕上りプレビュー時、拡大表示時、ユニバーサル設定中

ヘルプ機能使用中は、以下の操作パネルのキーは無効となります。

- ・ 【スタート】、【ストップ】、【C】、【割込み】、【確認コピー】、【ID】、【プログラム】、【拡大表示】

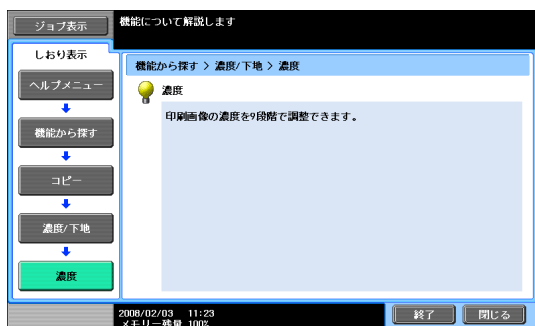
#### 詳しく説明します

- ・ メインメニュー画面とヘルプメニュー画面では、画面のキーを押すか、キーの番号をテンキーで押して項目を選択します。
- ・ [閉じる] を押すと、1 つ上の階層が表示されます。
- ・ [終了] を押すと、ヘルプ機能を終了し、【ヘルプ】を押す前の画面に戻ります。

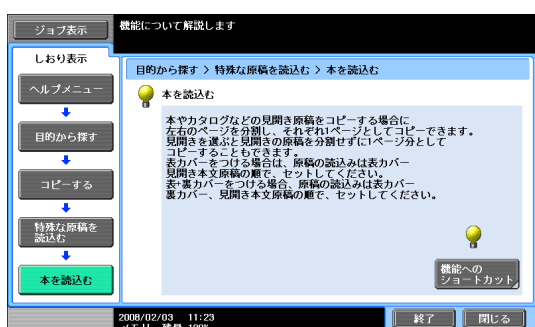
#### 詳しく説明します

各部の名称と働きのヘルプメニューは、装着されているオプションの構成によって表示される項目が異なります。

- 最終階層 ヘルプ画面（例：機能から探す→コピー→濃度 / 下地→濃度）

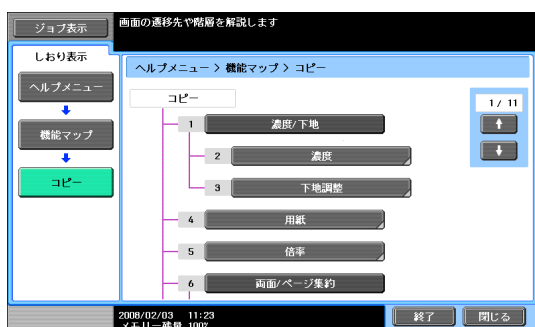


- 最終階層 ヘルプ画面（例：目的から探す→コピーする→特殊な原稿を読み込む→本を読み込む）



- 「機能へのショートカット」を押すと、選択した目的の機能を設定することができます。

- 機能マップについて（例：コピー）



- 機能マップ画面では、機能や設定項目が階層表示されます。一覧から見たいヘルプ画面を選択できます。

### 詳しく説明します

選択している機能と異なる機能のヘルプをご覧の場合、[機能へのショートカット]を選択することはできません。  
たとえば、ファクス/スキャン機能を使用している場合に、別機能であるコピー機能のヘルプ画面に表示される「機能へのショートカット」を選択することはできません。

### 詳しく説明します

- ・ コピーの機能マップ画面は、全部で11画面あります。数字の分子が11画面のうちの現在表示されている画面番号を示しています。
- ・ [↑]を押すと1つ前の画面に、[↓]を押すと次の画面に切り替わります。
- ・ 機能マップ画面では、テンキーで番号を押して選択します。
- ・ 機能マップ画面で選択して表示したヘルプ画面で、[閉じる]を押すと表示した項目を含む「機能から探す」のメニュー階層が表示されます。

### 3.7.2 ヘルプ基本画面を表示させる

ここでは、[機能から探す] でコピーに関するヘルプ画面を表示させる場合を例として説明します。

1

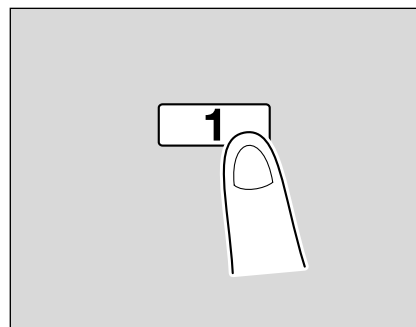
基本設定画面で、【ヘルプ】を押します。



ヘルプメインメニューが表示されます。

2

[機能から探す] またはテンキーの【1】を押します。



[機能から探す] のメインメニューが表示されます。

詳しく説明します

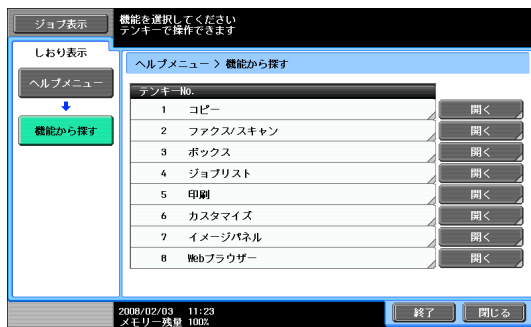
ヘルプ機能を終了する場合は、【ヘルプ】または【終了】を押します。

参照

ヘルプ画面のキーについては、「ヘルプ基本画面の概要」(p. 3-18) をごらんください。

3

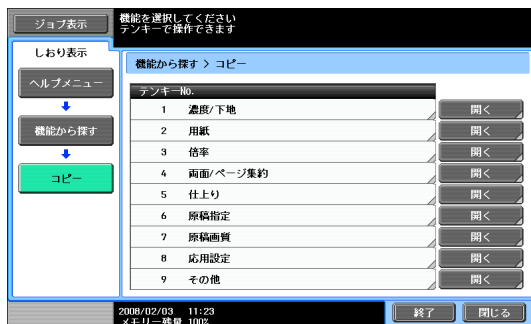
〔コピー〕、〔開く〕またはテンキーの【1】を押します。



コピーに関するヘルプメニューが表示されます。

4

知りたい項目または〔開く〕を押すか、項目左の番号をテンキーで押し、目的のヘルプ画面を表示させます。



5

ヘルプ内容の確認が終了したら、〔終了〕または【ヘルプ】を押します。

基本設定画面に戻ります。

## 3.8 操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定）

操作パネルに関する設定を変更する方法と、タッチパネルの調整について説明します。

### 3.8.1 ユニバーサル設定画面を表示させる

→ 【ユニバーサル】を押します。



ユニバーサル設定画面が表示されます。

詳しく説明します

ユニバーサル設定画面から基本設定画面に戻りたい場合は、【ユニバーサル】または【リセット】、【閉じる】を押します。

#### ひとこと

拡大表示にしていた場合、[拡大表示初期設定]が表示され、コピー機能、ファクス/スキャン機能での拡大表示時の初期設定値を設定できます。

### 3.8.2 タッチパネルの調整をする

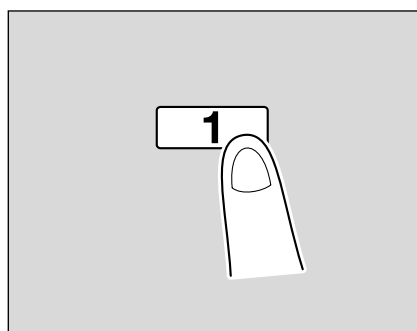
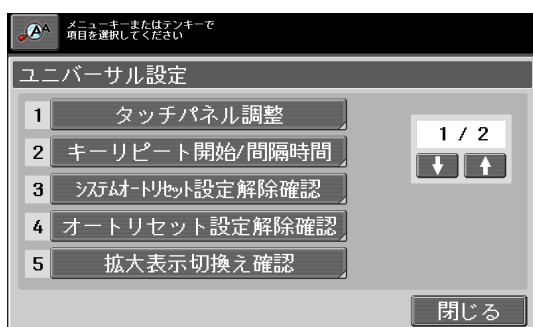
タッチパネルのキーを押しても正常に反応しないときは、パネル内のキー表示位置と実際のタッチセンサの位置がずれている可能性があるため、タッチパネルの表示位置を調整します。

1

ユニバーサル設定画面を表示させます。

2

[タッチパネル調整] またはテンキーの【1】を押します。



タッチパネル調整画面が表示されます。

参照

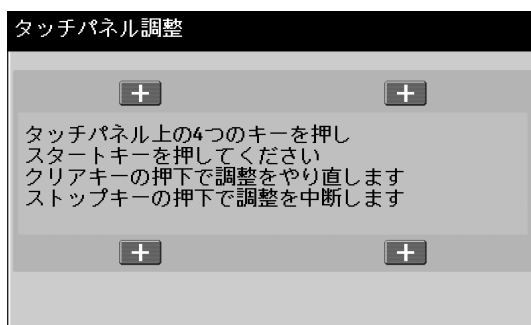
ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル設定画面を表示させる](#)」(p. 3-22)をごらんください。

#### ひとこと

[タッチパネル調整] を押しても反応しない場合は、タッチセンサと画面が合っていない場合があります。テンキーの【1】を押してください。

3

4つのチェックキー「+」を、ブザー音を確認しながら押します。



正しく押されると、【スタート】のランプが青色に点灯します。

4

【スタート】を押します。

タッチパネルの調整が行われ、ユニバーサル設定画面に戻ります。

5

【閉じる】または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。

### 3.8.3 キーリピート開始 / 間隔時間の設定をする

タッチパネル内の数値設定のキーを押してから数値が変わり始めるまでの時間と、次の数値に変わるまでの時間を設定できます。

#### 原則

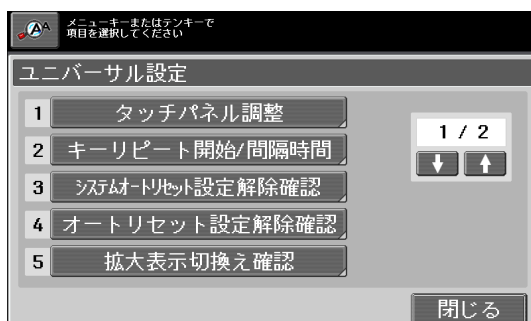
設定したキーリピート時間は拡大表示時にのみ反映されます。

1

ユニバーサル設定画面を表示させます。

2

【キーリピート開始 / 間隔時間】またはテンキーの【2】を押します。



#### 詳しく説明します

- ・チェックキー「+」を押す順番は、任意でかまいません。
- ・調整をやりなおすときは【C】を押し、4つのチェックキー「+」を押しなおしてください。
- ・タッチパネルの調整を中断する場合は、【ストップ】または【リセット】を押します。

#### ひとこと

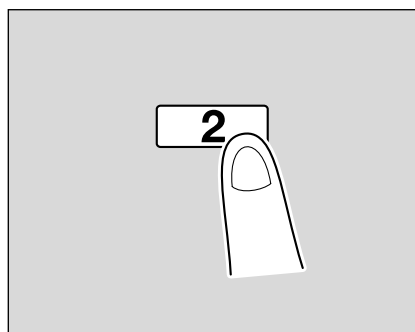
調整できないときは、サービス実施店にご連絡ください。

#### ひとこと

- ・拡大表示画面は、コピー、スキャナー、ファックスの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。詳しくは、「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- ・出荷時設定では、キーリピート開始は「0.8 秒」、間隔時間は「0.3 秒」に設定されています。

#### 参照

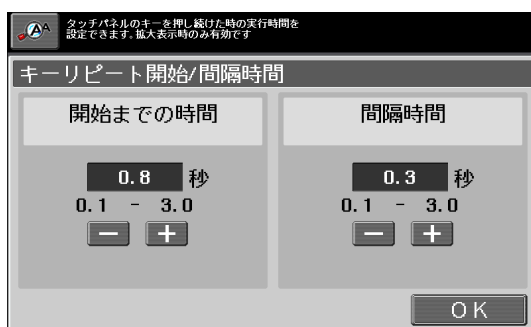
ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル設定画面を表示させる](#)」(p. 3-22)をごらんください。



キーリピート開始 / 間隔時間設定画面が表示されます。

3

[+]、[-] を押して、キーリピート開始までの時間と間隔時間を設定します。



4

[OK] を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

5

[閉じる] または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。

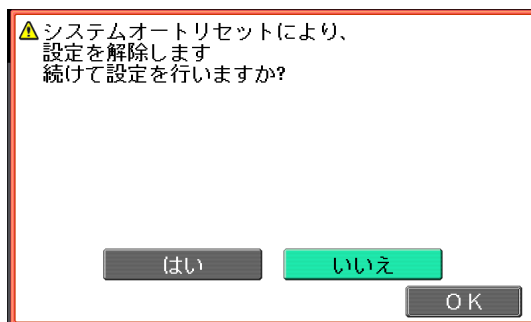
#### 詳しく説明します

- ・ [+] を押すごとに時間が長くなります。
- ・ [-] を押すごとに時間が短くなります。
- ・ キーリピート開始、間隔時間はともに、0.1 秒～3.0 秒の範囲を0.1 秒単位で設定できます。
- ・ 設定を中止する場合は、【リセット】を押します。

### 3.8.4 拡大表示が自動的に解除されるときに確認画面を表示する

拡大表示中にシステムオートリセット機能が動作し、拡大表示が解除されるときに、拡大表示を解除せずそのまま作業を続けるか、拡大表示を解除して基本設定画面に戻るか確認する画面を表示できます。

また、確認画面が表示される時間を設定できます。



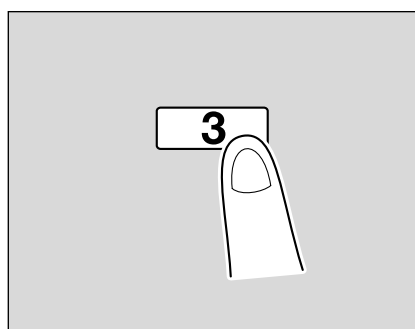
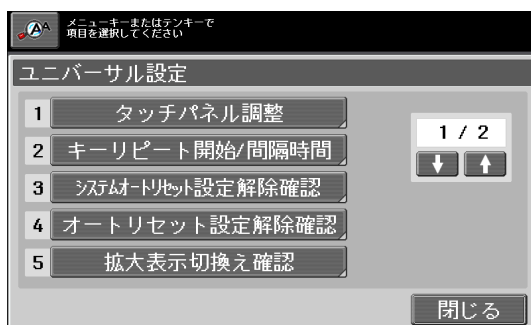
- はい：拡大表示を解除しません。
- いいえ：拡大表示を解除し、基本設定画面に戻ります。

1

ユニバーサル設定画面を表示させます。

2

【3 システムオートリセット設定解除確認】またはテンキーの【3】を押します。



システムオートリセット設定解除確認が表示されます。

#### ひとこと

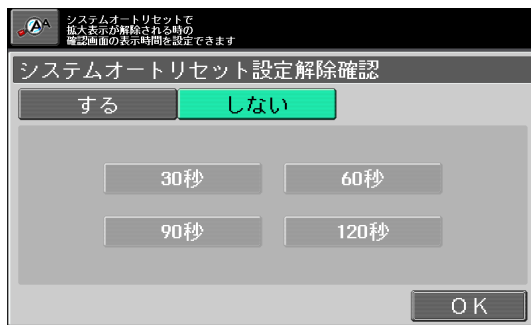
- ・ 拡大表示画面は、コピー、スキャナー、ファックスの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。詳しくは、「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- ・ 出荷時設定では、「しない」に設定されています。



- ・ ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル設定画面を表示させる](#)」(p. 3-22)をごらんください。
- ・ システムオートリセットについては、「[自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット）](#)」(p. 1-30)をごらんください。

3

目的の表示方法を選択します。



#### 詳しく説明します

- ・システムオートリセット設定解除確認画面を表示しない場合は、[しない] を押します。
- ・拡大表示解除確認画面を表示する場合は、目的の時間キーを押します。時間は、[30 秒]、[60 秒]、[90 秒]、[120 秒] から選択できます。
- ・設定を中止する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

4

[OK] を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

5

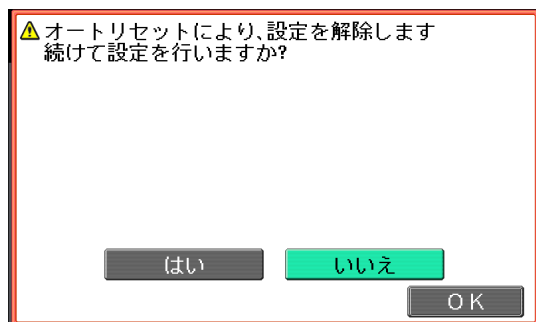
[閉じる] または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。

### 3.8.5 拡大表示中に設定がオートリセットされる ときに確認画面を表示する

拡大表示中にオートリセット機能が動作し、コピーの設定が初期状態に戻されるときに、現在の設定をリセットせずそのまま作業を続けるか、設定をリセットするか確認する画面を表示できます。

また、確認画面が表示される時間を設定できます。



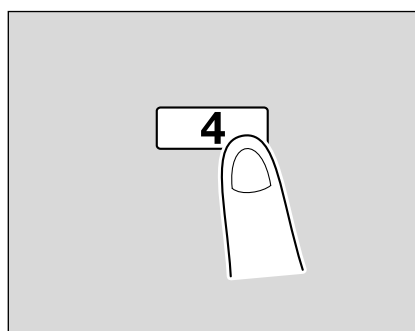
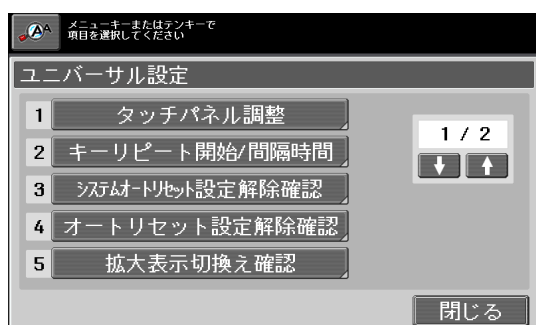
- はい：現在の設定をリセットしません。
- いいえ：現在の設定をリセットし、初期状態に戻します。

1

ユニバーサル設定画面を表示させます。

2

「オートリセット設定解除確認」またはテンキーの【4】を押します。



オートリセット設定解除確認画面が表示されます。

#### ひとこと

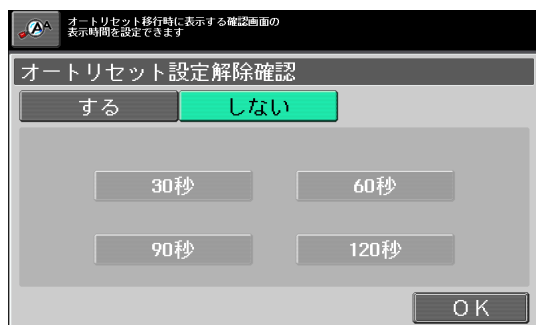
- ・ 拡大表示画面は、コピー、スキャナー、ファックスの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。拡大表示については、別冊の「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- ・ 出荷時設定では、「しない」に設定されています。
- ・ オートリセットの時間設定とシステムオートリセットの時間設定が同じ場合は、拡大表示解除確認画面の表示が優先され、拡大表示設定解除確認は表示されません。



- ・ ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル設定画面を表示させる](#)」(p. 3-22)をごらんください。
- ・ オートリセットについては、「[自動的に設定を取消す（オートリセット）](#)」(p. 1-30)をごらんください。

3

目的の表示方法を選択します。



4

[OK] を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

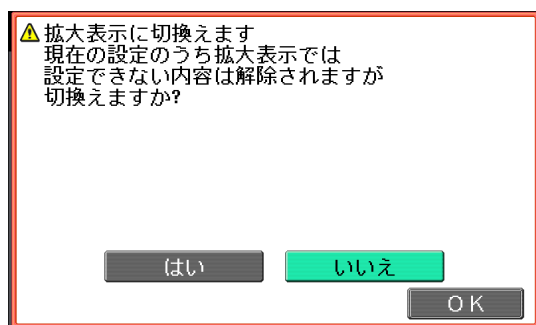
5

[閉じる] または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。

### 3.8.6 拡大表示に切替える時に、設定解除の確認画面を表示する

【拡大表示】を押して画面表示を切替えるときに、拡大表示中は設定できない一部の内容が解除される画面を表示できます。



- はい：設定できない内容を解除し、拡大表示に切替えます。
- いいえ：拡大表示への切替えを中止します。

#### 詳しく説明します

- ・オートリセット設定解除確認画面を表示しない場合は、「しない」を押します。
- ・オートリセット設定解除確認画面を表示する場合は、目的の時間キーを押します。時間は、「30秒」、「60秒」、「90秒」、「120秒」から選択できます。
- ・設定を中止する場合は【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

#### ひとこと

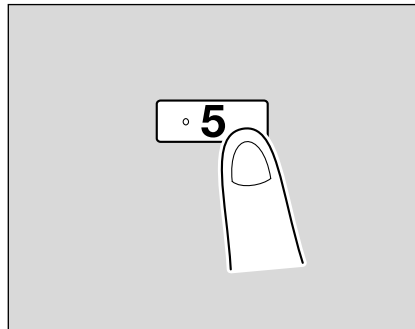
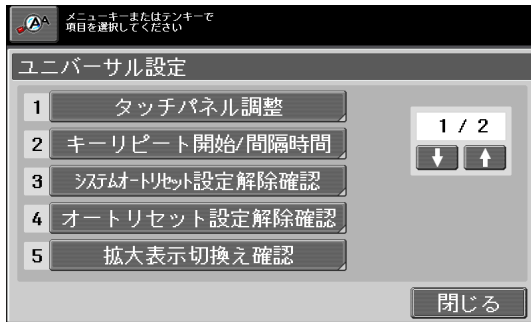
- ・拡大表示画面は、コピー、スキャナー、ファックスの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。拡大表示については、別冊の「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- ・出荷時設定では、「表示しない」に設定されています。
- ・拡大表示切換え確認画面で「いいえ」を押すと、画面表示は切替わりません。

1

ユニバーサル設定画面を表示させます。

2

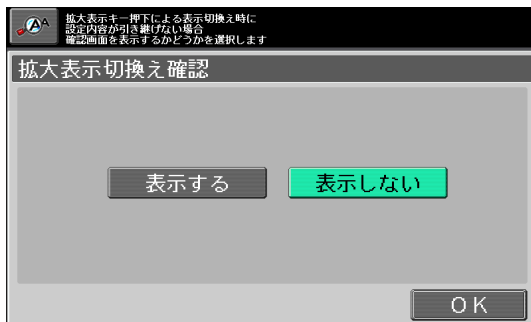
〔拡大表示切換え確認〕またはテンキーの【5】を押します。



拡大表示切換え確認画面が表示されます。

3

表示方法を選択します。



4

〔OK〕を押します。

ユニバーサル設定画面に戻ります。

5

〔閉じる〕または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面に戻ります。



ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル設定画面を表示させる](#)」(p. 3-22)をごらんください。

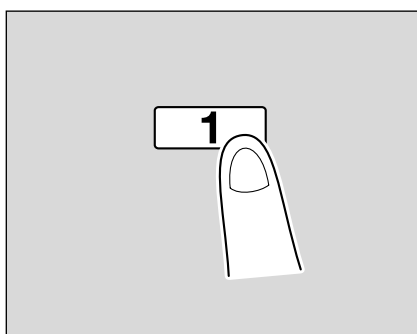
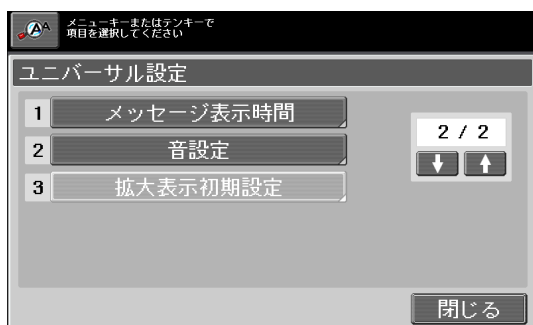


設定を中止する場合は【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

### 3.8.7 メッセージ表示時間の設定をする

誤った操作を行ったときなどに表示される警告メッセージの表示時間を設定できます。

- 1 ユニバーサル設定画面を表示させ、[↓] を押して表示を切替えます。
- 2 [メッセージ表示時間] またはテンキーの【1】を押します。



メッセージ表示時間設定画面が表示されます。

- 3 メッセージ表示時間を選択します。



- 4 [OK] を押します。  
ユニバーサル設定画面に戻ります。
- 5 [閉じる] または【ユニバーサル】を押します。  
基本設定画面に戻ります。

#### ひとこと

出荷時設定では、「3 秒」に設定されています。

#### 参照

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル設定画面を表示させる](#)」(p. 3-22)をごらんください。

#### 詳しく説明します

- ・メッセージ表示時間は、「3 秒」、「5 秒」から選択できます。
- ・設定を中止する場合は【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

### 3.8.8 装置の状態を知らせる音の設定をする

〔音設定〕では、キー操作などに呼応して音を鳴らすときの音量を 16 段階で調整します。また、ここで調整した音を鳴らすかどうかの設定ができます。

設定の詳細は下表をごらんください。

		音が鳴る状況
音出力設定	一括出力	音設定の音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
	操作確認音出力	操作確認音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
	正常終了音出力	正常終了音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
	準備完了音出力	準備完了音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
	注意音出力	注意音を全て鳴らすか鳴らさないかを設定します。
操作確認音	入力確認音	操作パネルのキーやタッチパネルのキーを押して入力を行ったときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	入力無効音	操作パネルのキーやタッチパネルのキーを押したが無効な入力だったときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	基点音	切替えがローテーションする選択項目で、初期値となる項目が選ばれたときの音量（0 ～ 16）を調整します。
正常終了音	操作終了音	操作が正常に終了したときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	通信終了音	通信関連の操作が正常に終了したときの音量（0 ～ 16）を調整します。
準備完了音		装置の準備が完了したときの音量（0 ～ 16）を調整します。
注意音	弱注意音（Level 1）	各消耗品および交換部品が交換時期に近づき、タッチパネルにメッセージが表示されたときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	弱注意音（Level 2）	ユーザーが誤操作を行ったときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	弱注意音（Level 3）	画面メッセージおよびマニュアルの参照等によりユーザーが対処可能なエラーが発生したときの音量（0 ～ 16）を調整します。
	強注意音	ユーザーでは復帰不可能な、サービス技術者対応レベルのエラーが発生したときの音量（0 ～ 16）を調整します。

#### ひとこと

出荷時設定では、すべての操作音は「8」に設定されています。



ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル設定画面を表示させる](#)」(p. 3-22)をごらんください。



#### 詳しく説明します

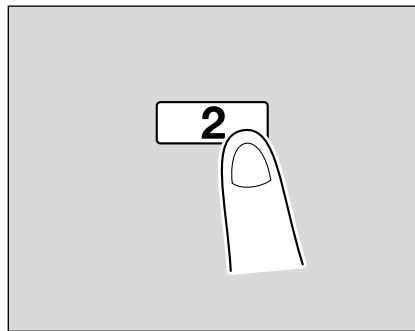
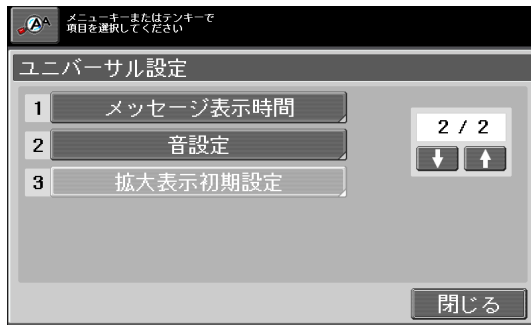
一括出力を「しない」に設定した場合は、個々の音設定はすべて解除されます。

1

ユニバーサル設定画面を表示させ、[↓]を押して表示を切替えます。

2

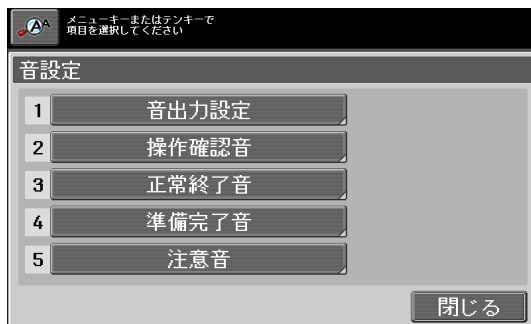
〔音設定〕またはテンキーの【2】を押します。



音設定項目画面が表示されます。

3

目的の音設定（2 ～ 5）のキーまたは該当するテンキーの数字を押します。



音設定画面が表示されます。

4

任意の音設定キーを押します。



音量設定画面が表示されます。

5

音量を調整します。

- 鳴らす場合は「する」を押します。音量を 16 段階で調整できます。「小さく」、「大きく」を押すごとに、1 段階ずつ音量が増減します。鳴らさない場合は「しない」を押します。



詳しく説明します

設定を中止する場合は【リセット】を押します。初期設定から変更された設定はすべて解除されます。

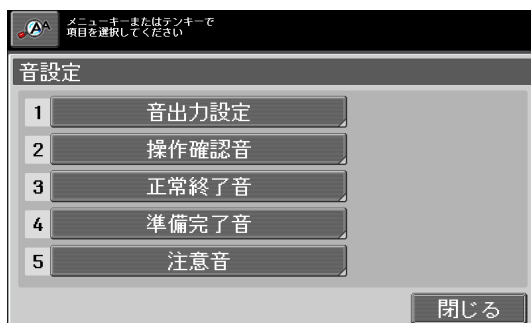
6

「OK」を押して、「閉じる」を押します。

音設定項目画面に戻ります。

7

2～5の音を一括で鳴らすがどうかを設定するときは、「1 音出力設定」またはテンキーの【1】を押します。



8

任意の音設定項目の[する]、[しない]を選択します。



#### 詳しく説明します

一括出力を「しない」に設定した場合は、以降の音設定はすべて解除されます。

9

[OK] を押します。  
音設定項目画面に戻ります。

10

[閉じる] を押します。  
ユニバーサル設定画面に戻ります。

11

[閉じる] を押すか、または【ユニバーサル】を押します。  
基本設定画面に戻ります。



# 第 4 章

## トラブルの処理

---

トラブルの処理方法について説明します。

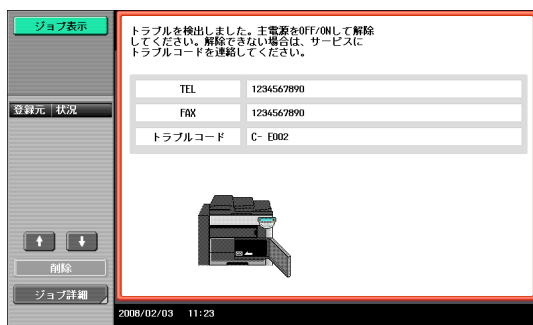
4.1	「トラブル」が表示されたら（サービスコール） .....	4-2
4.2	「紙づまり」ですと表示されたら .....	4-4
4.3	簡単なトラブルの処理 .....	4-42
4.4	おもなメッセージと処理のしかた .....	4-44

## 4.1 「トラブル」が表示されたら（サービスコール）

トラブルの種類には、電源を OFF/ON して処理するトラブル、処理できないトラブルがあります。画面のメッセージにしたがって、トラブル処理をしてください。処理または解除できない場合は、トラブルコードをサービス実施店に連絡してください。

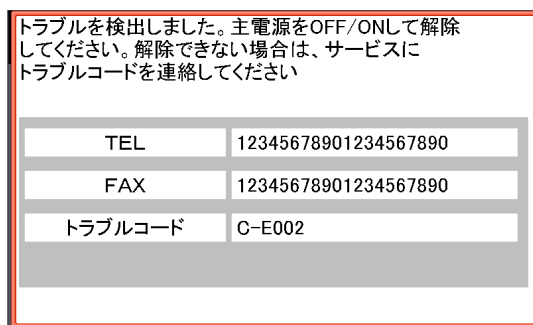
画面の中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

例：電源を OFF/ON して処理するトラブル（C-E002）



＜拡大表示機能時の表示＞

トラブルが発生すると下図が表示されます。

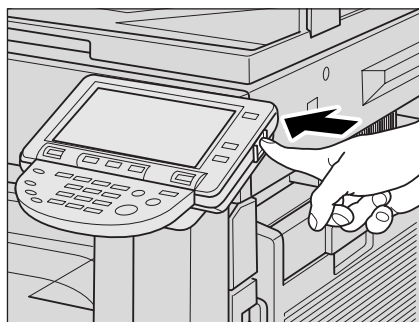


1

サービスコール画面のトラブルコード（例：C-E002）を書留めてください。

2

【副電源スイッチ】と【主電源スイッチ】を OFF にします。

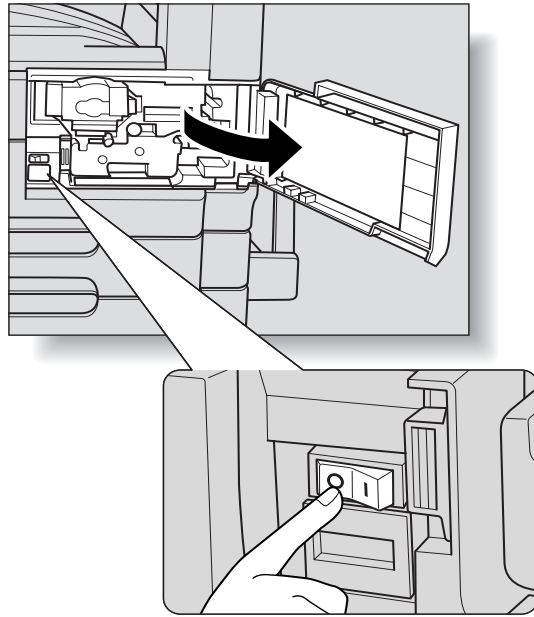


必ず守ってください

- ・故障の原因になるおそれがありますので、サービスコール画面が表示されたら、速やかに左記の手順にしたがってサービス実施店にご連絡ください。
- ・CS Remote Care による管理が行われている機械の場合は、「すでに自動通報により サービスに通知しました お急ぎの方は担当営業所へ連絡願います」の表示後に【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】を OFF にして、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ひとこと

サービス実施店による CS Remote Care が行われている機械の場合は、自動でサービス実施店にトラブルコードが連絡されます。



3

本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

4

サービス実施店に連絡し、書留めたトラブルコードをお知らせください。

## 4.2 「紙づまり」ですと表示されたら

印刷中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです ガイドに従って紙を取り除いてください」というメッセージが表示され、紙づまり箇所が番号で、紙づまりの処理方法が文章で表示されます。

ジャム位置表示画面

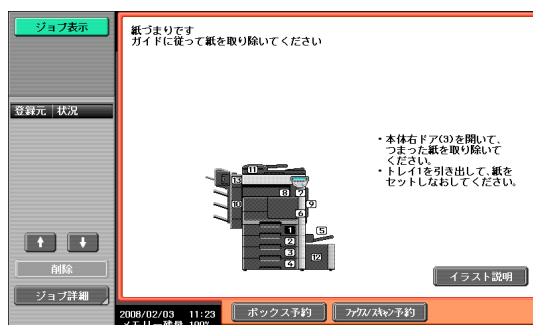


### ひとこと

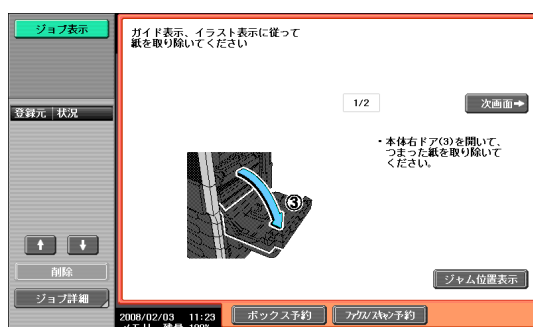
紙づまり処理が適切に行われるまでは、印刷はできません。

### 4.2.1 ジャム位置表示とイラスト説明

紙づまりが複数箇所で見つかる場合、複数の番号が点滅または点灯します。点滅している番号は最優先に処理する位置をあらわしています。



ジャム位置表示画面の[イラスト説明]を押すと「ガイド表示、イラスト表示に従って紙を取り除いてください」というメッセージが表示され、紙づまり処理方法が図解と文章で表示されます。

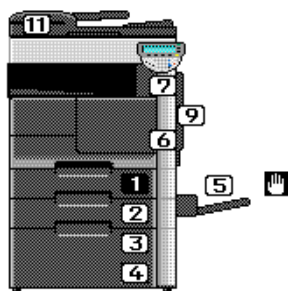


表示が複数ある場合は[次画面]が表示されます。

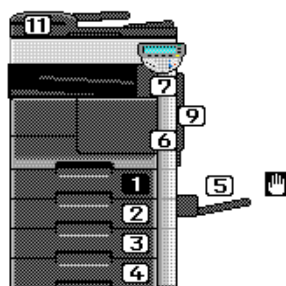
押して表示させます。

[ジャム位置表示]を押すと、ジャム位置表示画面にもどります。

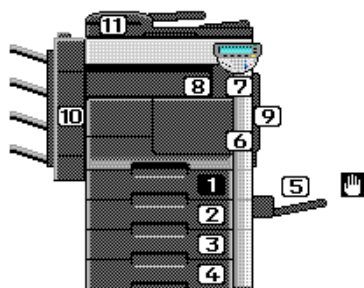
## 4.2.2 ジャム位置表示



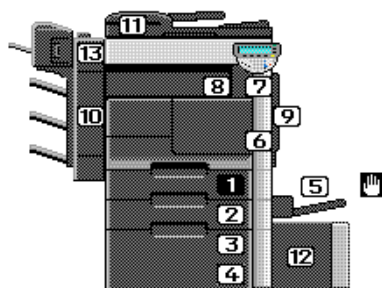
本図はオプションの専用デスク DK-506 を装着しています。



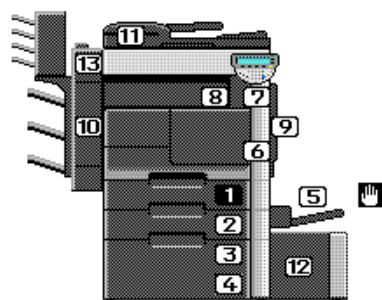
本図はオプションの給紙キャビネット PC-206、セパレーター JS-502 を装着しています。



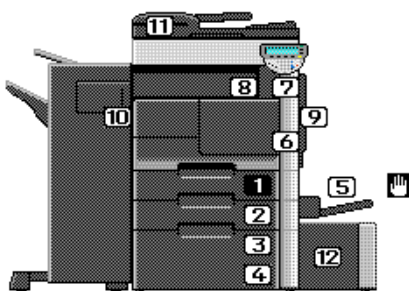
本図はオプションの給紙キャビネット PC-206、フィニッシャー FS-522 を装着しています。



本図はオプションの給紙キャビネット PC-407、フィニッシャー FS-522、中綴じ機 SD-507、大容量給紙ユニット LU-203 を装着しています。



本図はオプションの給紙キャビネット PC-407、フィニッシャー FS-522、メールピンキット MT-502、大容量給紙ユニット LU-203 を装着しています。



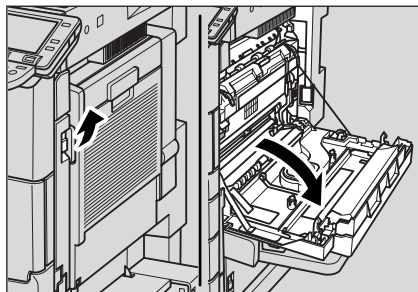
本図はオプションの給紙キャビネット PC-407、フィニッシャー FS-523、大容量給紙ユニット LU-203 を装着しています。

No	ジャム位置
1	トレイ 1 での紙づまり
2	トレイ 2 での紙づまり
3	トレイ 3 (給紙キャビネット PC-206) での紙づまり トレイ 3 (給紙キャビネット PC-407) での紙づまり
4	トレイ 4 (給紙キャビネット PC-206) での紙づまり
5	手差しトレイでの紙づまり
6、9	ドラム部での紙づまり
7	定着・反転部での紙づまり
8	フィニッシャー FS-522 搬送部での紙づまり フィニッシャー FS-523 搬送部での紙づまり
9	両面ユニットでの紙づまり
10	フィニッシャー FS-522 での紙づまり フィニッシャー FS-523 の紙づまり
11	ADF での紙づまり
12	LCT (大容量給紙ユニット LU-203) での紙づまり
13	中綴じ機 SD-507 での紙づまり メールビンキット MT-502 での紙づまり

## 4.2.3 トレイ 1 での紙づまり処理のしかた

1

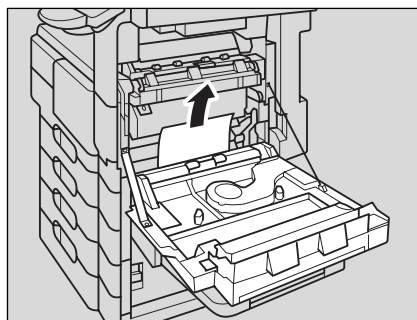
右ドア解除レバーを引き、右ドアを開きます。



ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

2

つまった用紙をゆっくり取り除きます。



必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

### ⚠ 警告

感電事故に注意！

本体右ドア内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。

→ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

### ⚠ 注意

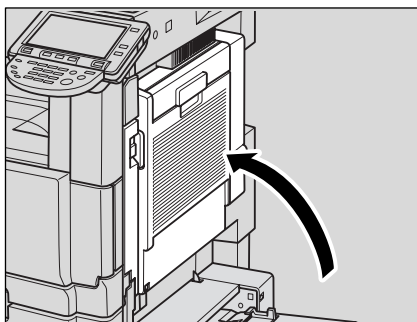
やけどに注意！

本体右ドア内部の定着部は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

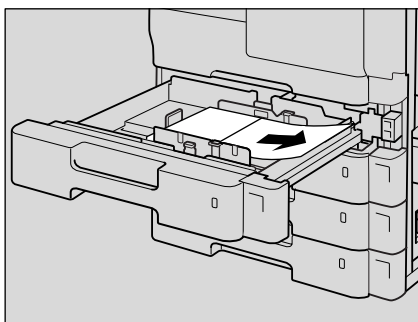
3

右ドアを閉じます。



4

トレイ 1 を引き出し、用紙をセットしなおします。



必ず守ってください

トレイ右側にあるフィルムには手を触れないように注意してください。

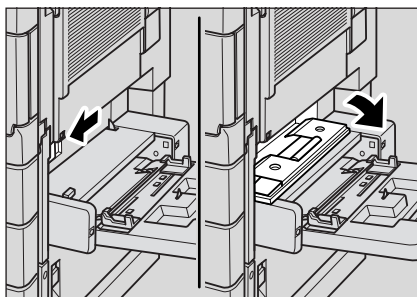
5

トレイ 1 を元に戻します。

#### 4.2.4 トレイ 2 での紙づまり処理のしかた

1

縦搬送ドア解除レバーを手前に引き、縦搬送ドアを開きます。

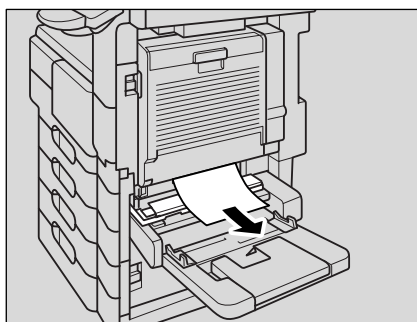


参照

ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

2

つまった用紙をゆっくり取り除きます。

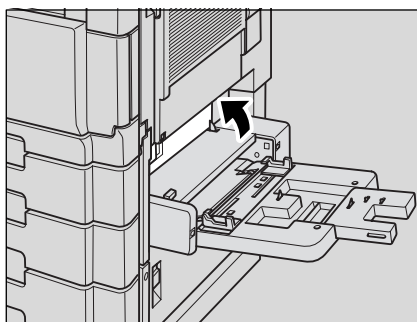


**必ず守ってください**

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

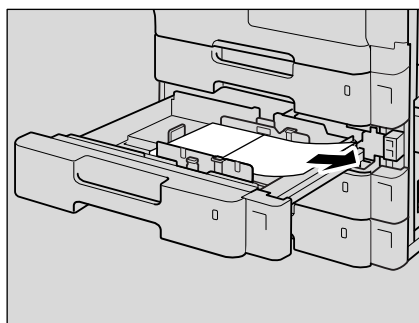
3

縦搬送ドアを閉じます。



4

トレイ 2 を引き出し、用紙をセットしなおします。



**必ず守ってください**

トレイ右側にあるフィルムには手を触れないように注意してください。

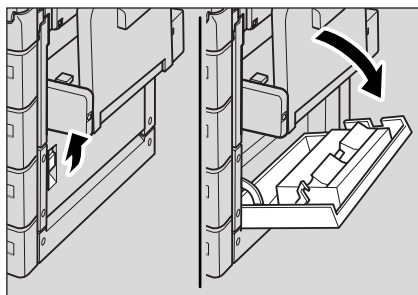
5

トレイ 2 を元の位置に戻します。

### 4.2.5 トレイ 3/4（給紙キャビネット PC-206）での紙づまり処理のしかた

1

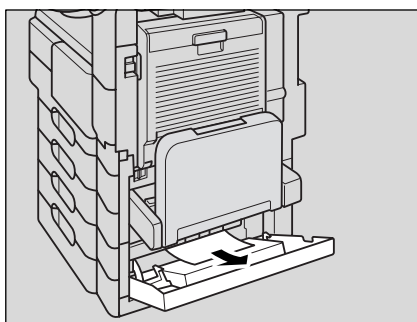
右下ドア解除レバーを引き、右下ドアを開きます。



参照  
ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

2

つまった用紙をゆっくり取り除きます。

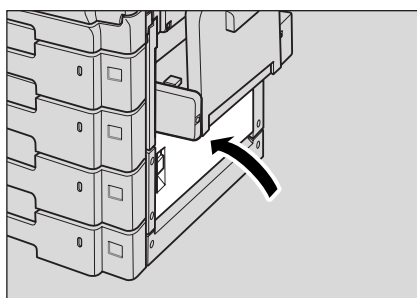


必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

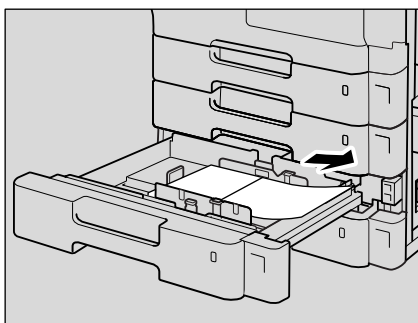
3

右下ドアを閉じます。



4

トレイ 3 または 4 を引き出し、用紙をセットしなおします。



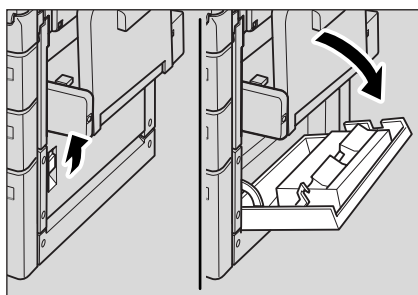
5

トレイを元に戻します。

#### 4.2.6 トレイ 3（給紙キャビネット PC-407）での紙づまり処理のしかた

1

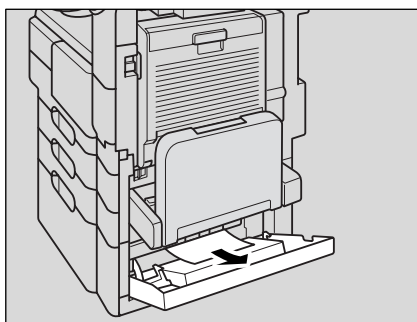
右下ドア解除レバーを引き、右下ドアを開きます。



ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5) をごらんください。

2

つまった用紙をゆっくり取り除きます。

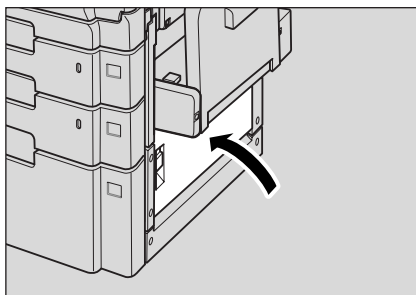


必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

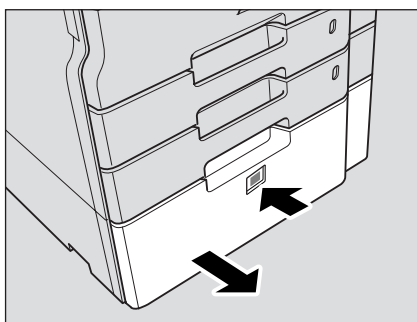
3

右下ドアを閉じます。



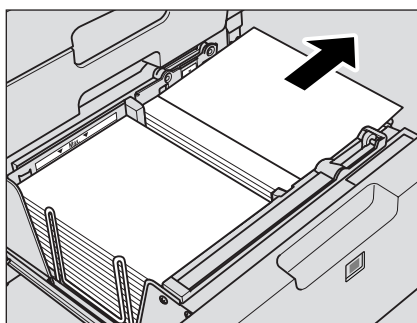
4

トレイ解除ボタンを押してロックを解除し、トレイ 3 を引き出します。



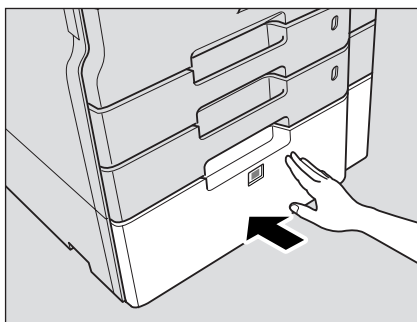
5

用紙をセットしなおします。



6

トレイ 3 を元に戻します。

**ひとこと**

スリープモード時にトレイ解除ボタンを押してもトレイ 3 を引き出すことはできません。  
スリープモードから復帰してください。

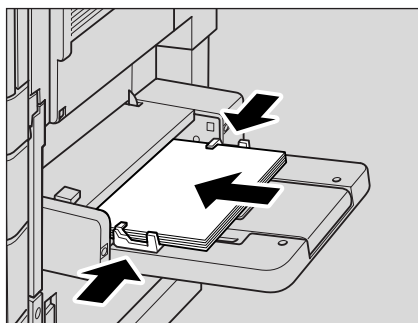
**必ず守ってください**

トレイ右側にあるフィルムには手を触れないように注意してください。

## 4.2.7 手差しトレイでの紙づまり処理のしかた

1

手差しトレイの用紙をセットしなおします。

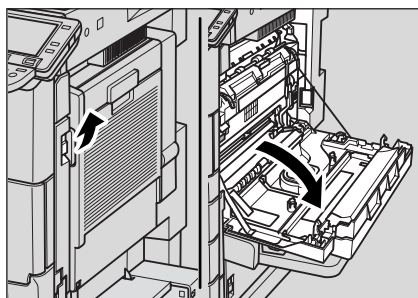


ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

## 4.2.8 定着ドラム部での紙づまり処理のしかた

1

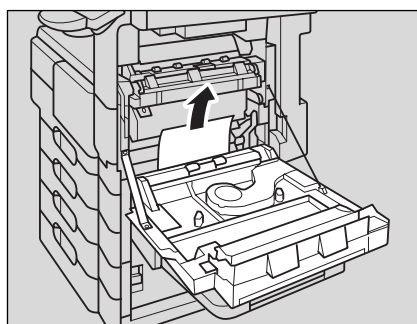
右ドア解除レバーを引き、右ドアを開きます。



ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

2

つまった用紙をゆっくり取り除きます。

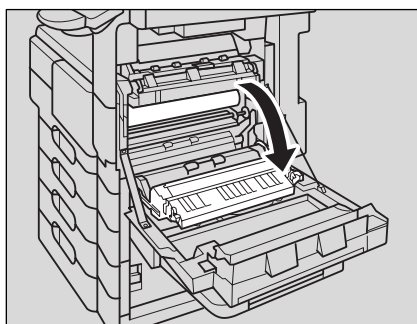


必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

3

搬送ガイド 4 を開きます。



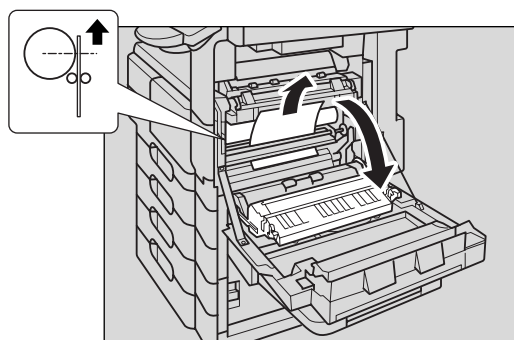
**必ず守ってください**

搬送ガイドを長時間開いたままにしないでください。ドラムに長時間光を当てると劣化の原因になります。

4

つまった用紙をゆっくり取り除きます。

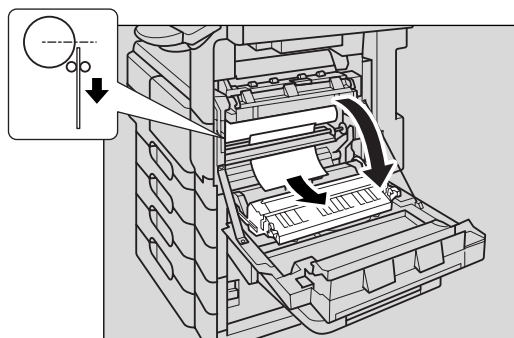
- つまった用紙がドラムより上に出ている場合は、上からゆっくり取り除きます。



**必ず守ってください**

- ・ドラム面に手を触れたり、傷をつけたりしないようにしてください。
- ・つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

- つまった用紙がドラムより上に出ていない場合は、下からゆっくり取り除きます。



## ⚠ 警告

感電事故に注意！

本体右ドア内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。

→ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

## ⚠ 注意

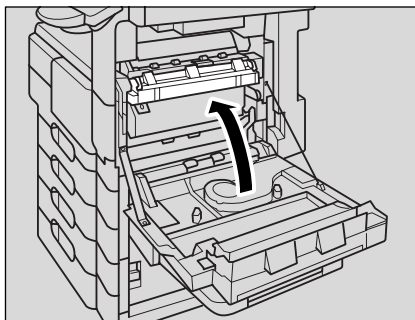
やけどに注意！

本体右ドア内部の定着部は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

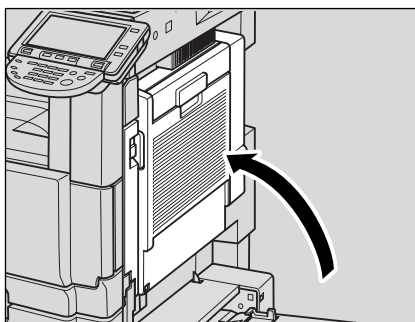
5

搬送ガイド 4 を閉じます。



6

右上ドアを閉じます。



7

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

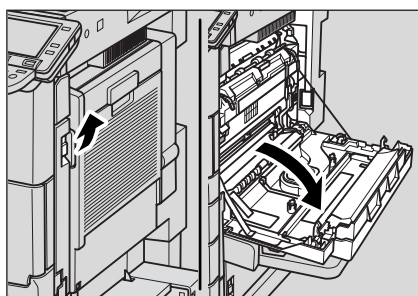
8

トレイを元に戻します。

## 4.2.9 定着・反転部での紙づまり処理のしかた

1

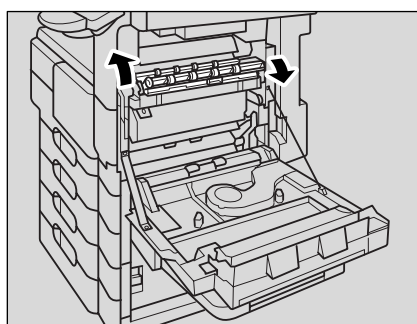
右ドア解除レバーを引き、右ドアを開きます。



ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

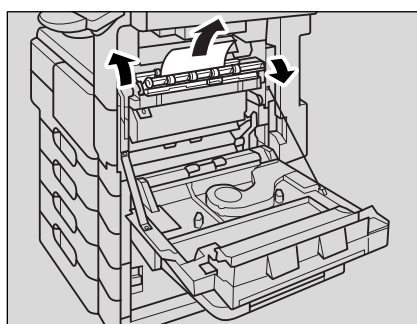
2

定着ガイド 5 または反転ガイド 6 を開きます。



3

つまった用紙をゆっくり取り除きます。



つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

## ⚠ 警告

感電事故に注意！

本体右ドア内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。

→ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

## ⚠ 注意

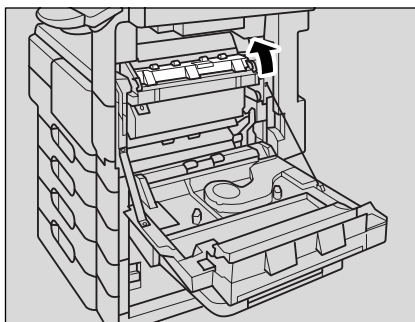
やけどに注意！

本体右ドア内部の定着部は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

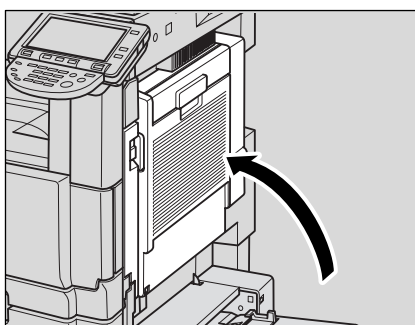
4

定着ガイド 5 を元に戻します。



5

右上ドアを閉じます。



6

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

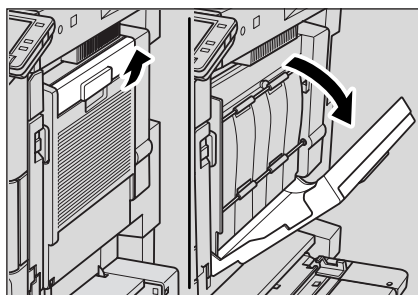
7

トレイを元に戻します。

## 4.2.10 両面ユニットでの紙づまり処理のしかた

1

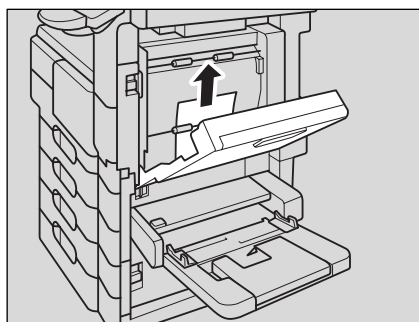
ADU 解除レバーを引き、ADU ドアを開きます。



ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

2

両面ユニットにつまっている用紙をゆっくり取り除きます。

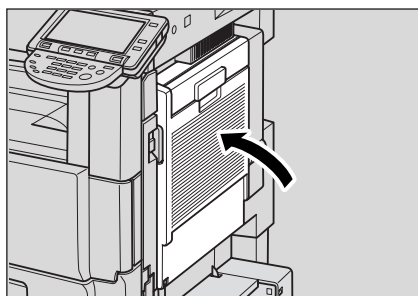


必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

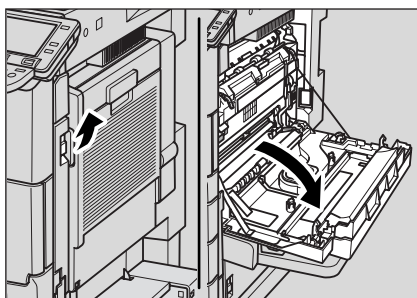
3

ADU ドアを元に戻します。



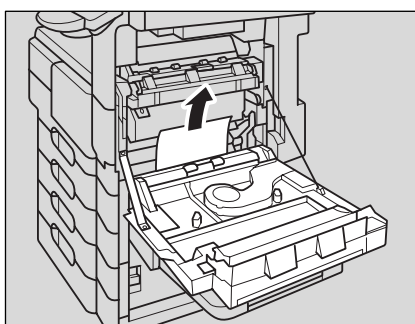
4

右ドア解除レバーを引き、右ドアを開きます。



5

つまった用紙をゆっくり取り除きます。



必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

## ⚠ 警告

感電事故に注意！

本体右ドア内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。

→ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

## ⚠ 注意

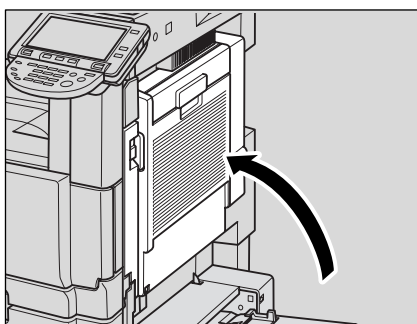
やけどに注意！

本体右ドア内部の定着部は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

6

右上ドアを閉じます。



7

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

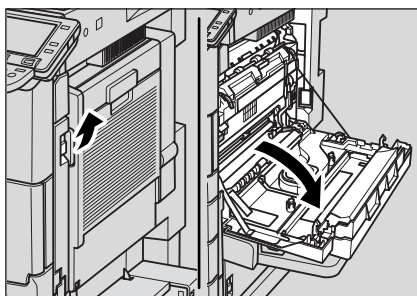
8

トレイを元に戻します。

#### 4.2.11 フィニッシャー FS-522 搬送部での紙づまり処理のしかた

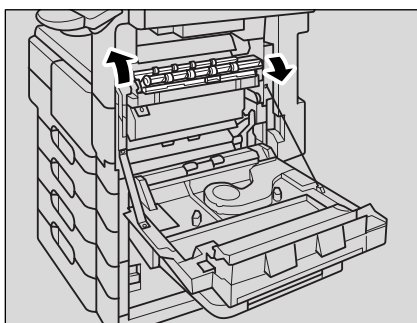
1

右ドア解除レバーを引き、右ドアを開きます。



2

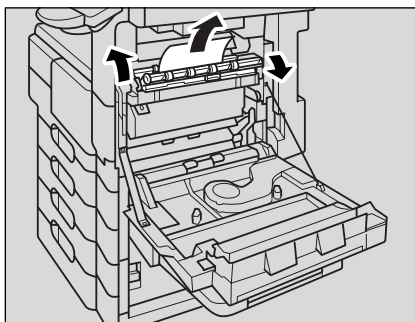
定着ガイド 5 または反転ガイド 6 を開きます。



参照  
ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

3

つまった用紙をゆっくり取り除きます。



**必ず守ってください**

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

## ⚠ 警告

感電事故に注意！

本体右ドア内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。

→ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

## ⚠ 注意

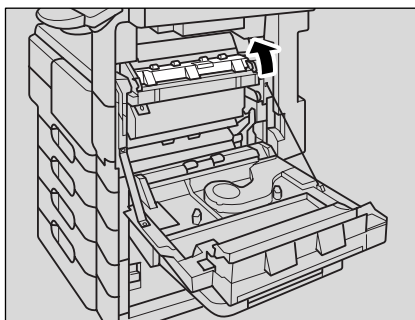
やけどに注意！

本体右ドア内部の定着部は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

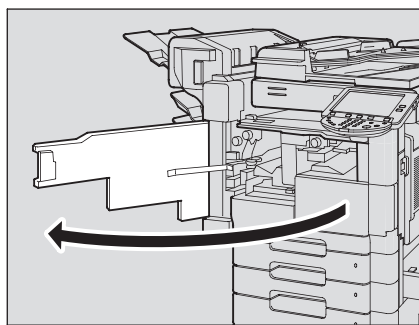
4

定着ガイド 5 を元に戻します。



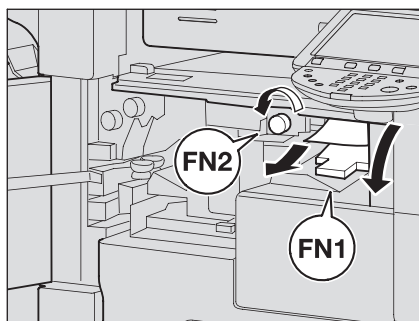
5

フィニッシャー前ドアを開きます。



6

ガイド板 FN1 を下げ、ツマミ FN2 を左に回してつまった用紙をゆっくり取り除きます。



 必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

## 注意

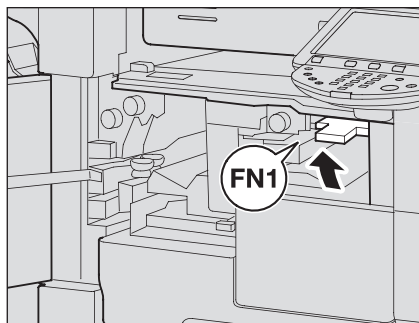
やけどに注意！

フィニッシャー FS-522 のステープラー稼働レール付近奥側は、高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

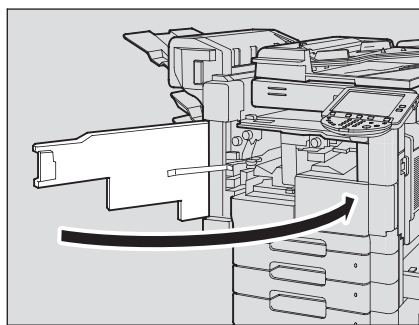
7

ガイド板 FN1 を元に戻します。



8

フィニッシャー前ドアを閉じます。



9

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

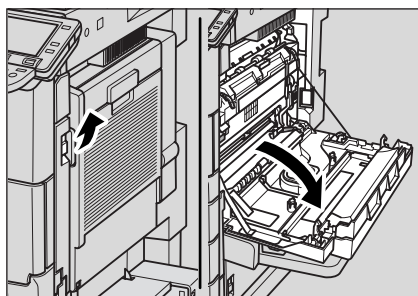
10

トレイを元に戻します。

#### 4.2.12 フィニッシャー FS-523 搬送部の紙づまり 処理のしかた

1

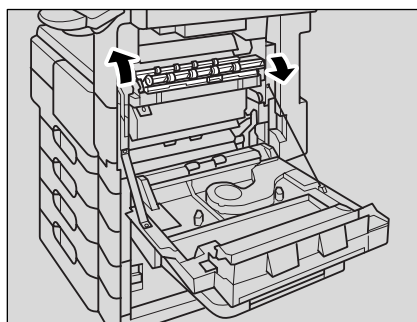
右ドア解除レバーを引き、右ドアを開きます。



ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

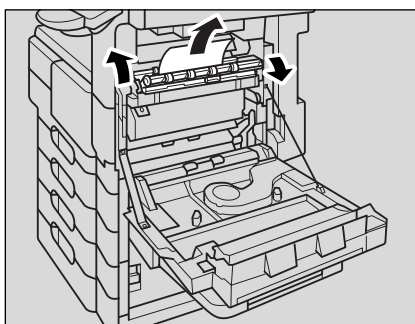
2

定着ガイド 5 または反転ガイド 6 を開きます。



3

つまった用紙をゆっくり取り除きます。



**必ず守ってください**

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

## ⚠ 警告

感電事故に注意！

本体右ドア内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。

→ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

## ⚠ 注意

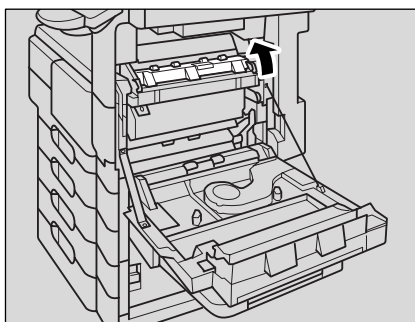
やけどに注意！

本体右ドア内部の定着部は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

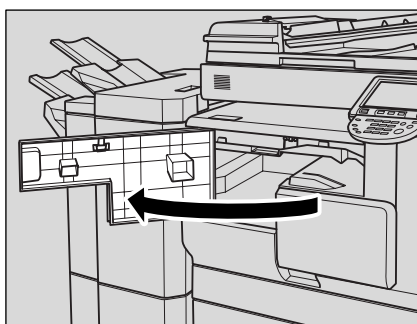
4

定着ガイド 5 を元に戻します。



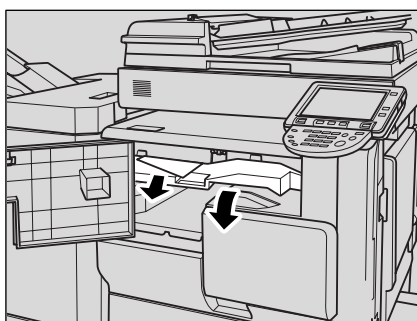
5

中継搬送ユニット前ドアを開きます。



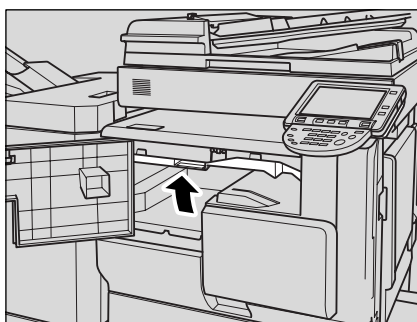
6

中継搬送ユニットレバーを下げ、つまった用紙をゆっくり取り除きます。



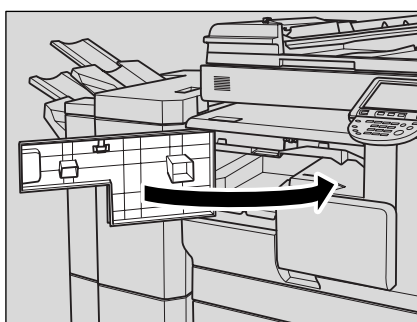
7

中継搬送ユニットレバーを元に戻します。



8

中継搬送ユニット前ドアを閉じます。



必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

9

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

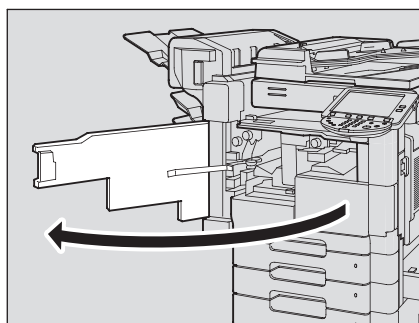
10

トレイを元に戻します。

### 4.2.13 フィニッシャー FS-522 での紙づまり処理のしかた

1

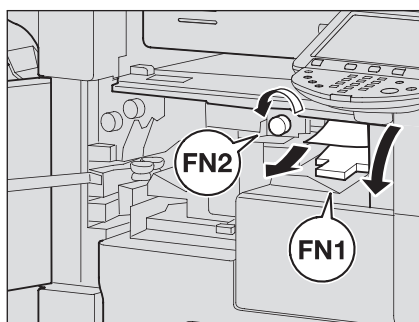
フィニッシャー前ドアを開きます。



参照  
ジャム位置については「**ジャム位置表示**」(p. 4-5)をごらんください。

2

ガイド板 FN1 を下げ、ツマミ FN2 を左に回してつまった用紙をゆっくり取り除きます。

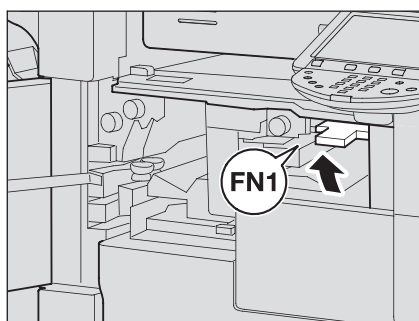


必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

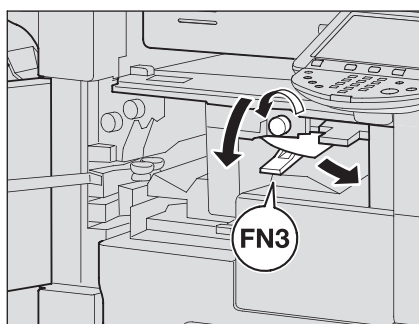
3

ガイド板 FN1 を元に戻します。

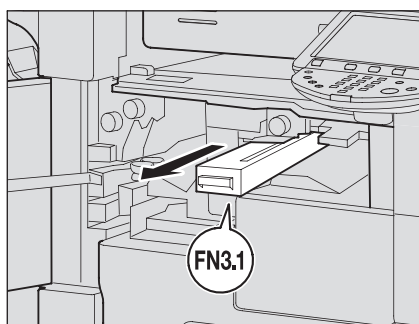


4

ガイド板 FN3 を下げ、つまった用紙をゆっくり取り除きます。



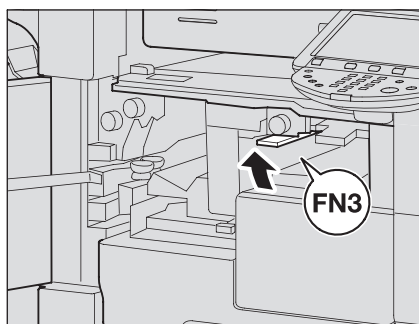
- パンチユニット装着時は、パンチくず箱 FN3.1 を引き出してから行います。



5

ガイド板 FN3 を元に戻します。

- パンチユニット装着時は、パンチくず箱 FN3.1 を元に戻します。

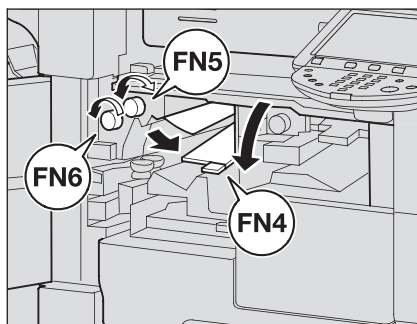


**必ず守ってください**

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

6

ガイド板 FN4 を下げ、ツマミ FN5、ツマミ FN6 を回してつまった用紙をゆっくり取り除きます。



必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

## ⚠ 注意

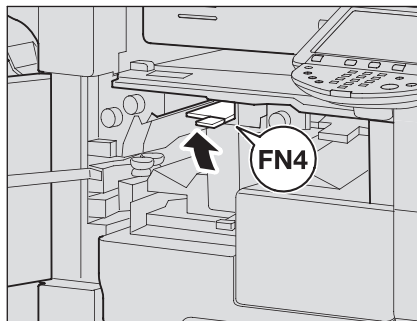
やけどに注意！

フィニッシャー FS-522 のステープラー稼働レール付近奥側は、高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

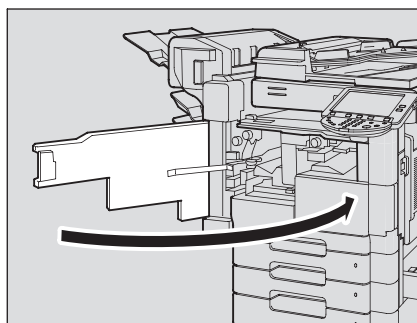
7

ガイド板 FN4 を元に戻します。



8

フィニッシャー前ドアを閉じます。



9

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

10

トレイを元に戻します。

#### 4.2.14 フィニッシャー FS-523 での紙づまり処理のしかた

1

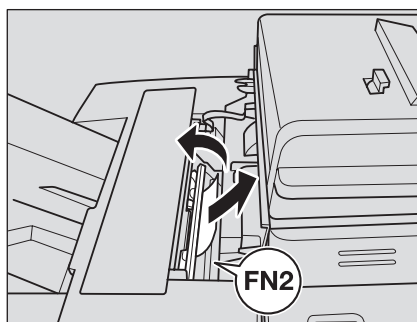
フィニッシャー上ドア FN1 を開きます。



ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

2

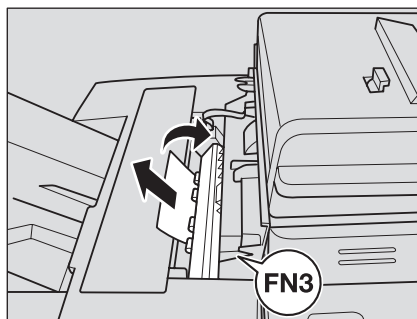
レバー FN2 を開いて、つまった用紙をゆっくり取り除きます。



つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

3

レバー FN3 を開いて、つまった用紙をゆっくり取り除きます。



## ⚠ 注意

やけどに注意！

フィニッシャー上ドア FN1 の内側は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

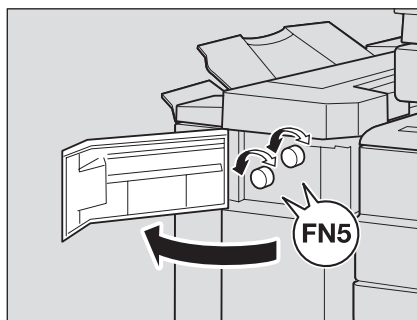
4

フィニッシャー上ドアを閉じます。



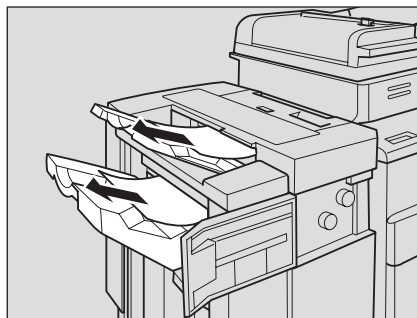
5

フィニッシャー前ドア FN4 を開き、ツマミ FN5 (2 個) を回します。



6

フィニッシャー排紙口 (2 個) からつままった用紙をゆっくり取り除きます。

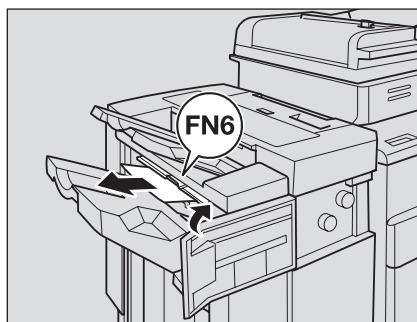


 必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

7

レバー FN6 を手前に開いて、つまった用紙をゆっくり取り除きます。

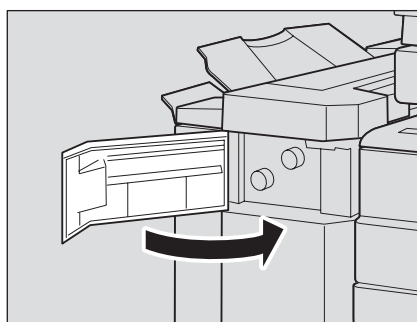


**必ず守ってください**

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

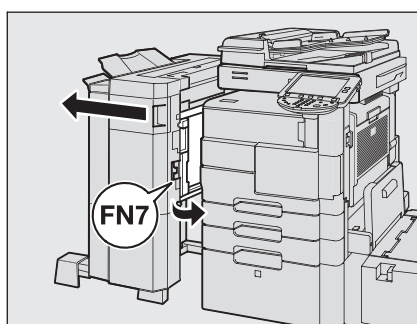
8

フィニッシャー前ドア FN4 を閉じます。



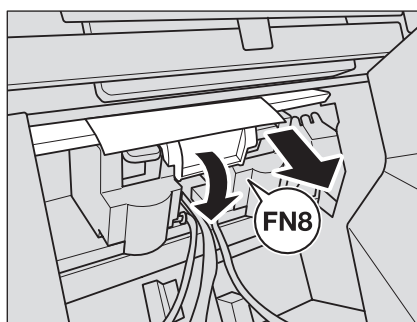
9

フィニッシャーを左にスライドさせ、フィニッシャー右ドア FN7 を開きます。



10

レバー FN8 を下げ、つまった用紙をゆっくり取り除きます。

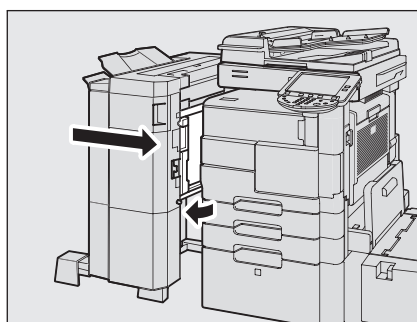


必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

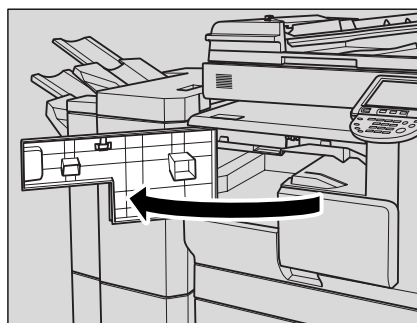
11

フィニッシャー右ドア FN7 を閉じ、フィニッシャーを右にスライドさせて元に戻します。



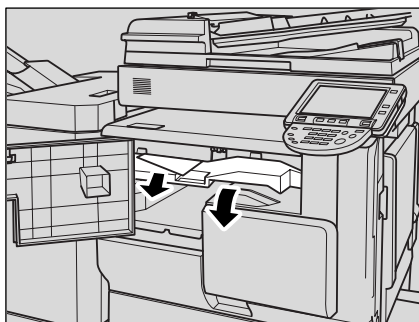
12

中継搬送ユニット前ドアを開きます。



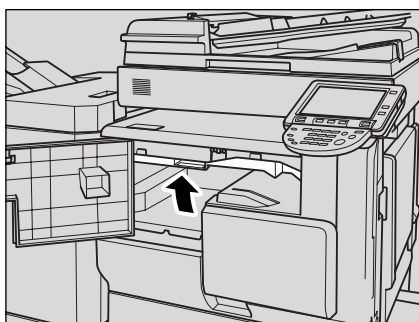
13

中継搬送ユニットレバーを下げ、つまった用紙をゆっくり取り除きます。



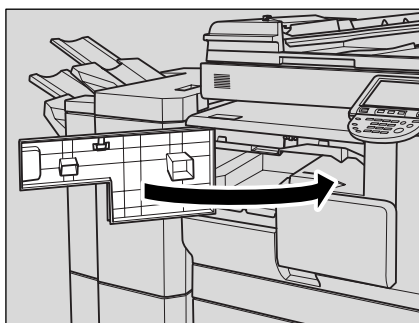
14

中継搬送ユニットレバーを元に戻します。



15

中継搬送ユニット前ドアを閉じます。



16

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

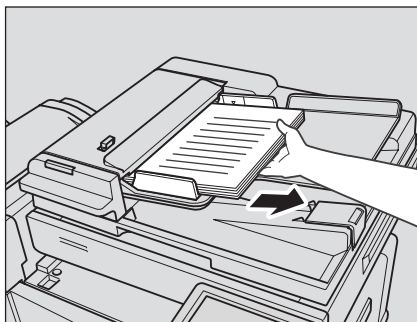
17

トレイを元に戻します。

## 4.2.15 ADF での紙づまり処理のしかた

1

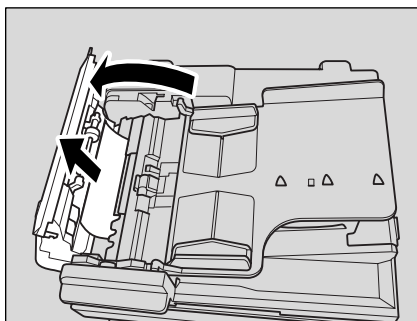
原稿給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

2

ADF 左カバーを開いて、つまった原稿をゆっくり取り除きます。

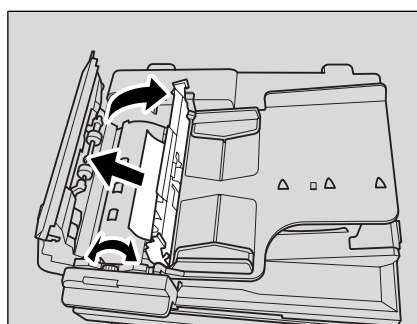


必ず守ってください

つまった原稿を取り除くときは、破ったり、紙片を ADF 内に残さないようにしてください。

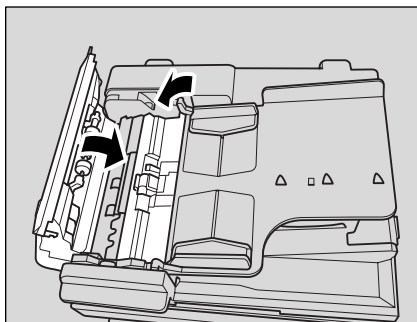
3

反転ガイドを開き、ツマミを回して、つまった原稿をゆっくり取り除きます。



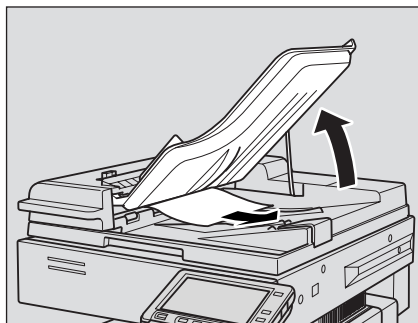
4

反転ガイドを元に戻し、ADF 左カバーを閉じます。



5

原稿給紙トレイを上げて、つまった原稿をゆっくり取り除きます。



**必ず守ってください**

つまった原稿を取り除くときは、破ったり、紙片を ADF 内に残さないようにしてください。

6

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

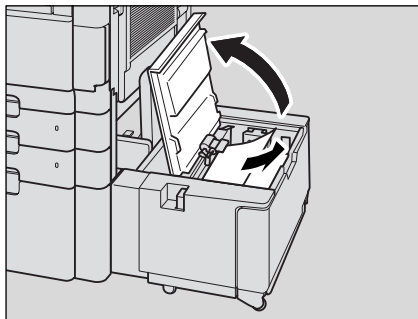
7

トレイを元に戻します。

#### 4.2.16 LCT（大容量給紙ユニット LU-203）での紙づまり処理のしかた

1

LCT 上ドアを開き、つまった用紙をゆっくり取り除きます。



**参照**

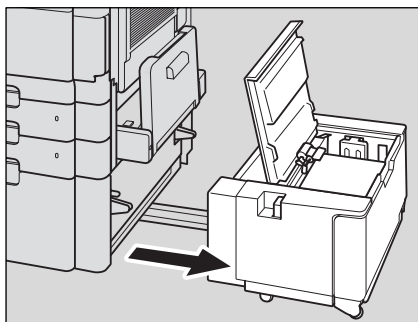
ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5) をご覧ください。

**必ず守ってください**

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

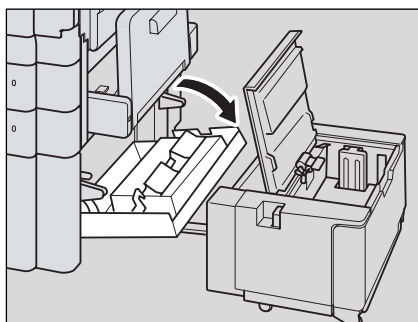
2

LCT を右へスライドさせます。



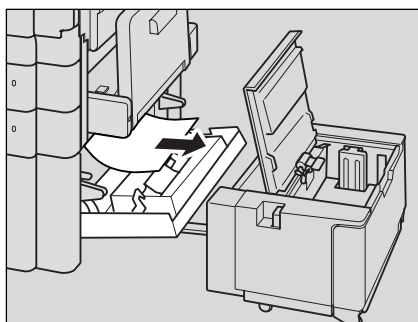
3

右下解除レバーを引き、右下ドアを開きます。



4

つまった用紙をゆっくり取り除きます。

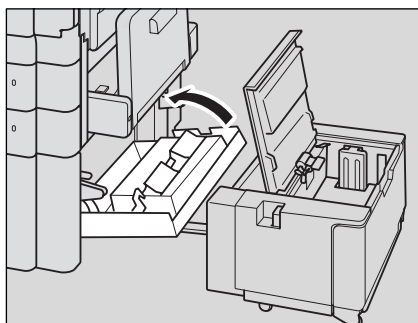


必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

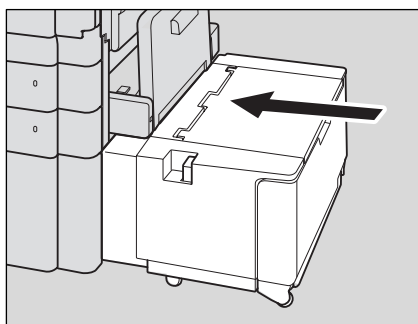
5

右下ドアを閉じます



6

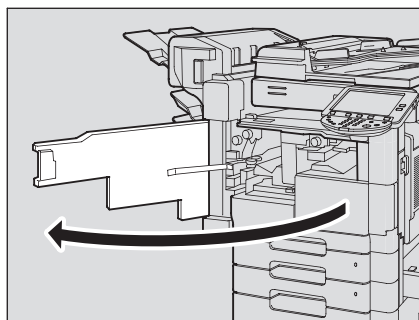
LCT 上ドアを閉じ、LCT を左へスライドさせ、元に戻します。



#### 4.2.17 中綴じ機 SD-507 での紙づまり処理のしかた

1

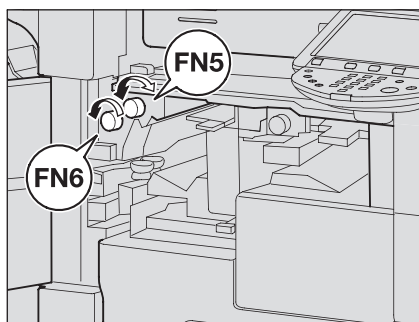
フィニッシャー前ドアを開きます。



ジャム位置については「**ジャム位置表示**」(p. 4-5)をごらんください。

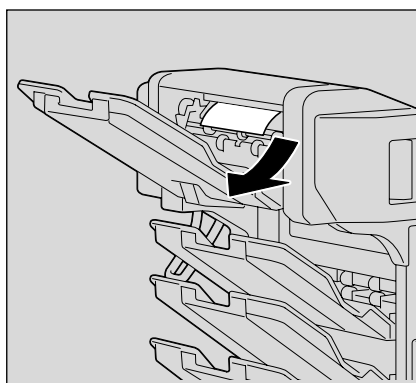
2

ツマミ FN5、ツマミ FN6 を回して、用紙を送り出します。



3

排紙トレイの用紙をゆっくり取り除きます。

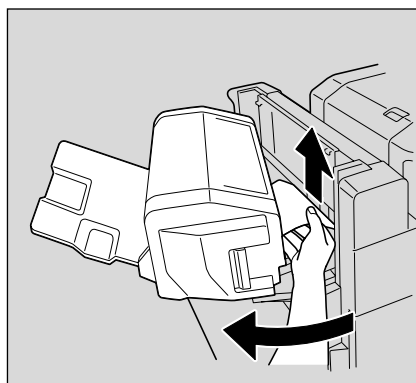


必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

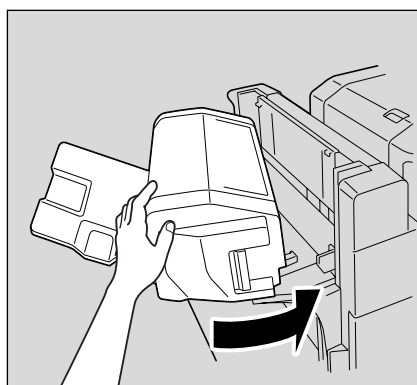
4

中綴じ機解除レバーを引き、中綴じ機を左へスライドさせて、つまった用紙をゆっくり引き出します。



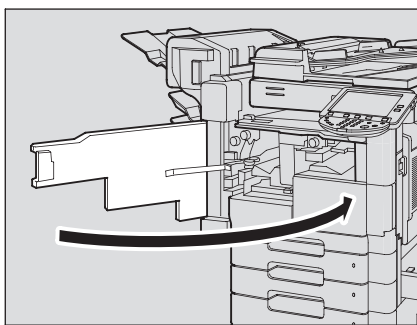
5

中綴じ機を右へスライドさせ、元に戻します。



6

フィニッシャー前ドアを閉じます。



7

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

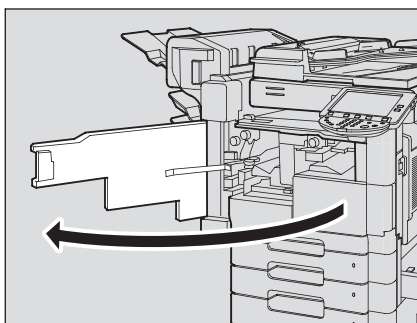
8

トレイを元に戻します。

#### 4.2.18 メールビンキット MT-502 での紙づまり処理のしかた

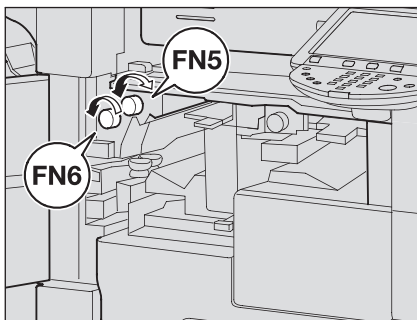
1

フィニッシャー前ドアを開きます。



2

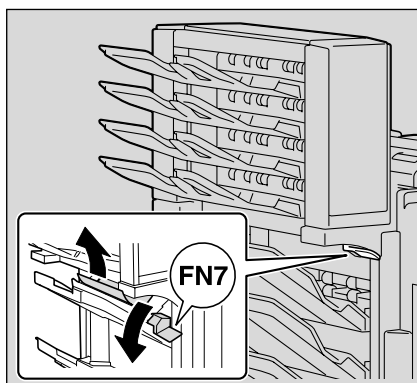
つまみ FN5、つまみ FN6 を回して、用紙を送り出します。



参照  
ジャム位置については「[ジャム位置表示](#)」(p. 4-5)をごらんください。

3

レバー FN7 を押し下げながらつまった用紙をゆっくり取り除きます。

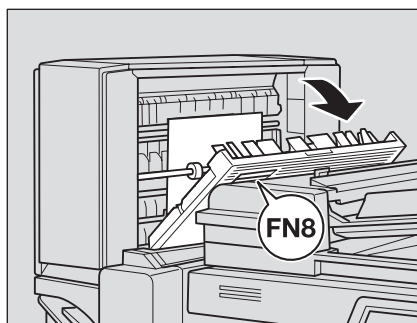


**必ず守ってください**

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

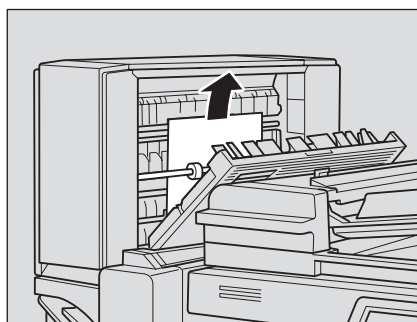
4

レバー FN8 を引き、メールビン横ドアを開きます。



5

メールビン内のつまった用紙をゆっくり取り除きます。

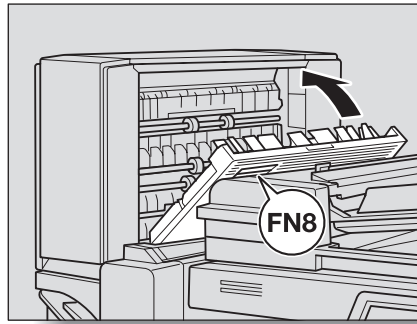


**必ず守ってください**

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

6

メールビン横ドアを閉じます。



7

フィニッシャー前ドアを閉じます。

8

使用していたトレイを引き出し、用紙をセットしなおします。

9

トレイを元に戻します。

## 4.3 簡単なトラブルの処理

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
本体	【主電源スイッチ】を入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか？	電源プラグを正しくコンセントに接続してください。
		【副電源スイッチ】は ON になっていますか？	【副電源スイッチ】を ON にしてください。
	コピーがスタートしない	本体右上ドアを確実に閉じていますか？	本体右上ドアを確実に閉じてください。
		原稿に見合った適正な用紙が入っていますか？	適正なサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
	画像がうすい／色がうすい	濃度の設定が、[うすく] になっていますか？	濃度画面で [こく] を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。 (p. 2-49)
		用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。 (p. 1-43)、(p. 1-50)
	画像がこい／色がこい	濃度の設定が、[こく] になっていますか？	濃度画面で [うすく] を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。 (p. 2-49)
		原稿が原稿ガラス上から浮上がっていますか？	原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。(p. 2-7)
	画像がにじむまたはボケる	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。 (p. 1-43)、(p. 1-50)
		原稿が原稿ガラス上から浮上がっていますか？	原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。(p. 2-7)
	印刷の全体が汚れる 印刷にスジが表れる	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 9-2)
		スリットガラスが汚れていませんか？	スリットガラスをスリットガラス清掃具で清掃してください。(p. 9-2)
		原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押えパッドを清掃してください。 (p. 9-2)
		第 2 原紙、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていますか？	原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。(p. 2-7)
		両面原稿を使っていますか？	うすい紙の両面原稿の場合、裏面の原稿内容が透けて、おもて面の原稿に写ってしまうことがあります。下地調整画面で下地レベルをうすくしてください。 (p. 2-50)
		帯電チャージャーワイヤーが汚れていませんか？	チャージャー清掃具で帯電チャージャーワイヤーの汚れを取除いてください。 (p. 9-3)
	印刷の画像が傾いている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに合わせて、正しくセットしてください。(p. 2-7) 原稿を ADF にセットし、ガイド板を原稿サイズに正しく合わせてください。 (p. 2-6)
		ADF に適した原稿がセットされていますか？	ADF に適していない原稿の場合は、原稿ガラスを使用してコピーしてください。 (p. 2-7)
		スリットガラスに異物が付着していますか？(ADF 使用時)	スリットガラスをスリットガラス清掃具で清掃してください。(p. 9-3)
		給紙トレイのガイド板がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんとガイド板を合わせてください。
		カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手でなおして給紙トレイにセットしなおしてください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
	印刷された用紙が反っている	お使いになる用紙（再生紙など）によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。 吸湿していない、新しい用紙に交換してください。 (p. 1-43)、(p. 1-50)
	画像の周りが汚れる	原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押えパッドを清掃してください。 (p. 9-2)
		原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ (等倍 100.0% コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、拡大コピーをしてください。 (p. 2-29)
		原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ (等倍 100.0% コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
		用紙サイズに合った縮小コピー倍率が選択されていますか？ (縮小コピー倍率手動入力時)	用紙サイズにあった倍率を選択してください。(p. 2-31) または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、縮小コピーをしてください。 (p. 2-31)
	紙づまり処理してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか？	紙づまり位置表示などを見て、他の場所につまっている用紙を取除いてください。 (p. 4-5)
	両面＞片面、両面＞両面機能にならない	組み合わせできない設定を選んでいませんか？	選んでいる設定の組み合わせをご確認ください。
A D F	部門管理設定をしている機械でパスワードを入力してもコピーできない	「部門別カウンターが上限値です」が表示されていませんか？	管理責任者にご確認ください。
	原稿が送られない	ADF が浮いていませんか？	ADF を確実に閉じてください。
		仕様以外の原稿を使用していませんか？	ADF にセットできる原稿の仕様を確認してください。(p. 6-17)
		正しく原稿をセットしていますか？	原稿を正しくセットしてください。 (p. 2-6)
フ イ ニ ッ シャ ー	フィニッシャーが作動しない	コネクターへの接続は確実ですか？	コードをコネクターへ確実に接続してください。
	ステープルができない	ステープル針がなくなっていないですか？	ステープル針を補給してください。 (p. 8-7)
	ステープルの位置が90°ずれる	ステープルの位置指定は合っていますか？	ステープルの位置を目的の位置に指定してください。(p. 2-56)
	排紙される用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置がずれる	用紙が大きくカールしていませんか？	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
		用紙をセットしている給紙トレイのガイド板と用紙の間に隙間がありませんか？	給紙トレイのガイド板を用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	パンチを設定してもパンチされない（パンチユニットが装着されたフィニッシャー）	「パンチユニットのくずを廃棄してください」が表示されていませんか？	パンチくず箱からパンチくずをすててください。(p. 8-20)

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。

上記処置を行ってもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

## 4.4 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
原稿ガラス上に原稿が残っています	原稿ガラス上に原稿を置き忘れていました。	原稿ガラス上の原稿を取除いてください。
最適用紙がありません 用紙を選択してください	適合するサイズ用の紙が給紙トレイにセットされていません。	他のサイズの用紙を選択するか、適合するサイズの用紙をセットしてください。
手差しに用紙をセットしてください	適合するサイズ用の紙が手差しトレイにセットされていません。	適合するサイズ用の紙を手差しトレイにセットしてください。
原稿サイズが検出できません 用紙を選択してください	① 原稿が正しくセットされていない。 ② 不定形サイズまたは、検出できない小サイズの原稿を使用している。	① 原稿を正しくセットしてください。 ② 用紙を選択して、コピーしてください。
用紙に画像が収まりません 原稿の方向を変えてセットしなおしてください	画像が用紙に収まらない場合に 표시됩니다。	原稿を 90° 回転させ、セットしなおしてください。
○○○とは同時設定できません	同時に設定できない機能を選択しています。	どちらか一方の機能でコピーしてください。
トレイの容量オーバーです →のトレイの用紙を取り除いてください	表示されているフィニッシャーの排紙トレイの容量が最大積載量に達したため、コピーができません。	表示されているトレイ上の用紙を全て取除いてください。
ログインするユーザー名とパスワードを入力し [ログイン] キー、または [ID] キーを押してください	ユーザー認証されています。ユーザー名と正しいパスワードを入力しない限りコピーはできません。	ユーザー名と正しいパスワードを入力してください。 (p. 1-34)
ログインする部門名とパスワードを入力し [ログイン] キー、または [ID] キーを押してください	部門管理されています。部門名と正しいパスワードを入力しない限りコピーはできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。(p. 1-36)
部門別カウンタが上限値です	印刷できる枚数が制限されており、その上限に達しました。	本機の管理者に連絡してください。
→部が開いています 確実に閉めてください	本体のドアやカバーが開いているかオプションが確実にセットされていないため、コピーができません。	本体のドアやカバー、オプションを確実にセットしてください。
トナーカートリッジをセットしてください	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。またはサービス実施店に連絡してください。
用紙を補給してください	表示されているトレイに用紙がありません。	用紙を補給してください。 (p. 1-43)、(p. 1-50)
ステーブル針がありません ステーブルカートリッジを交換するか、ステーブルを解除してください	ステーブル針がなくなりました。	ステーブルカートリッジを交換してください。(p. 8-7)
紙づまりです	紙づまりが発生し、コピーができません。	つまっている用紙を取除いてください。(p. 4-4)
以下の原稿枚数を戻してください ○○	紙づまり処理が終わったあと、ADFから排紙された原稿を戻す必要があるときに表示されます。	表示枚数の原稿を ADF にセットしなおしてください。
トラブルを検出しました 主電源を OFF/ON してください	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面のメッセージにしたがってトラブル処理をしてください。処理または解除できない場合は、画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。
トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。
Now Downloading Program Data from the Firmware server.	① サービス実施店による CS Remote Care が行われています。 ② Internet ISW のダウンロード実行中です。	メッセージが表示されている間は、副電源スイッチを OFF しないでください。 副電源スイッチを OFF にした場合は、主電源スイッチを OFF にし、サービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	処理のしかた
不正アクセスのため、入力した認証情報は無効です 管理者に連絡してください	認証に指定回数連続失敗したため、認証情報が無効となっています。	本機の管理者に連絡してください。
不正アクセスのため、現在管理者パスワードは無効となっています	認証に指定回数連続失敗したため、管理者パスワードが無効となっています。	本機の電源を OFF/ON します。 主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。
ログが上限に達しています 管理者に連絡してください	監査ログの書き込み領域が上限に達し、認証やジョブの操作ができません。	本機の管理者設定で「TCP Socket」を「使用する」に設定してください。 さらに Log Management Utility で監査ログの取得を行ってください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。



# 第 5 章

## 仕様・保守サービス

---

本体およびオプションの仕様・保守サービスについて説明します。

5.1	本体仕様 .....	5-2
5.2	オプション仕様 .....	5-4
5.3	保守サービス .....	5-9

## 5.1 本体仕様

### 5.1.1 本体

項 目	説 明
名称	bizhub 501/421/361
形式	デスクトップ
原稿台方式	ミラー走査型縮小光学系
感光体	OPC
光源	希ガス放電蛍光ランプ
複写方式	レーザー露光静電複写方式
現像方式	乾式 2 成分反転磁気ブラシ現象
定着方式	ヒートローラー定着
解像度	読取り：600 dpi × 600 dpi、出力：2400 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック（見開き）、立体物 サイズ：最大 A3/11x17 厚み：最大 30 mm、重量：6.8 kg 原稿ガラスの自動検出サイズ： A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、郵政はがき □、11 x 17 □、 8-1/2 x 11 □/□ ADF の自動検出サイズ： A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
複写紙種類	普通紙：60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> 、 薄紙：50 g/m <sup>2</sup> ~ 59 g/m <sup>2</sup> 、 厚紙：91 g/m <sup>2</sup> ~ 210 g/m <sup>2</sup> 、 OHP フィルム*、封筒*、ラベル紙*、第 2 原紙*、郵政はがき*、上質紙、ユーザ 紙、再生紙、色紙、レターヘッド紙 * は手差しトレイのみ使用可
複写紙サイズ	トレイ 1/2 A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □、5-1/2 x 8-1/2 □ 手差しトレイ 定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、B6 □、8-1/2 x 11 □、 郵政はがき □ 不定形サイズ：92mm x 148mm ~ 297mm x 431.8mm
画像欠け幅	先端・手前・奥側：1.5 mm ± 1.5 mm 以内 後端：3.0 mm ± 3.0 mm 以内
用紙収納枚数	トレイ 1/2：550 枚（普通紙 64 g/m <sup>2</sup> ） 手差しトレイ： 150 枚（普通紙 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> 、色紙 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> 、レターヘッド紙 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> 、再生紙） 20 枚（厚紙 91 ~ 200 g/m <sup>2</sup> 、薄紙 50 ~ 59 g/m <sup>2</sup> ） 50 枚（郵政はがき）、10 枚（封筒） 1 枚（OHP フィルム、ラベル用紙、第 2 原紙）
ウォームアップタイム	30 秒以下（室温 20 °C）
ファーストコピータイム	bizhub 501：3.2 秒以下、bizhub 421/361：約 3.6 秒以下
連続複写速度	bizhub 501：50 枚 / 分（A4□）、27 枚 / 分（A3□）、 31 枚 / 分（B4□）、35 枚 / 分（A4□）、39 枚 / 分（B5□）、 57 枚 / 分（B5□）、51 枚 / 分（A5□） bizhub 421：42 枚 / 分（A4□）、23 枚 / 分（A3□）、 26 枚 / 分（B4□）、30 枚 / 分（A4□）、33 枚 / 分（B5□）、 48 枚 / 分（B5□）、43 枚 / 分（A5□） bizhub 361：36 枚 / 分（A4□）、23 枚 / 分（A3□）、 26 枚 / 分（B4□）、30 枚 / 分（A4□）、33 枚 / 分（B5□）、 48 枚 / 分（B5□）、43 枚 / 分（A5□）

項 目	説 明
複写倍率	等倍：x 1.000 ± 1.0% 以下 拡大（固定倍率）：x 1.154、x 1.224、x 1.414、x 2.000 縮小（固定倍率）：x 0.866、x 0.816、x 0.707、x 0.500 小さめ：0.930 連動ズーム：x 0.250 ~ 4.000 0.001 刻み 独立ズーム： タテ x 0.250 ~ 4.000、ヨコ x 0.250 ~ 4.000、タテ／ヨコ 0.001 刻み 倍率登録：3
連続複写枚数／部数	1 ~ 999 枚／1 ~ 999 部
濃度調整	コピー濃度：自動および手動調整（9 段階） 下地調整：手動調整（9 段階）
電源	AC 100 V、15 A、50/60 Hz
騒音	bizhub 501：75 dB 以下（作動時） bizhub 421：73.7 dB 以下（作動時） bizhub 361：71.6 dB 以下（作動時）
消費電力	最大 1500 W 以下（含オプション）
エネルギー消費効率	bizhub 501：41 wh/h bizhub 421：44 wh/h bizhub 361：32 wh/h
大きさ	677 (W) x 708 (D) x 895 (H) mm（本体 + ADF）
機械占有寸法 *1	978 (W) x 708 (D)（本体 + ADF）
メモリー	192 MB（最大 320 MB まで増設可能）
質量	約 97.3 kg（本体 + ADF）

\*1 機械占有寸法は、手差しトレイを最大に開いた状態の寸法です。  
この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

### 5.1.2 自動両面原稿送り装置 DF-613

項 目	説 明
名称	DF-613
原稿通紙機能	標準機能：片面原稿、両面原稿 混載原稿機能：片面原稿、両面原稿
原稿種類	片面原稿：35 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup> 両面原稿：50 g/m <sup>2</sup> ~ 128 g/m <sup>2</sup>
原稿サイズ	128 mm x 139.7 mm ~ 297 mm x 431.8 mm 自動検出サイズ： A3□、B4□、A4 □/ □、B5 □/ □、A5 □/ □、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/ □
原稿積載量	最大 80 枚（80 g/m <sup>2</sup> ）または高さ 11 mm 以下
電源	本体から供給
大きさ	582 (W) x 145 (D) x 558 (H) mm
質量	約 10 kg

## 5.2 オプション仕様

### 5.2.1 給紙キャビネット PC-206

項 目	説 明
名称	PC-206
用紙種類	普通紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 105g/m <sup>2</sup> )
用紙サイズ	A3 □、B4 □、A4 □/ □、B5 □/ □、A5 □、11 x 17 □、8-1/2 x 14 □、8-1/2 x 11 □/ □、8 x 10-1/2 □、Foolscap*、8K □、16K □
収納枚数	トレイ 3 : 550 枚 (64 g/m <sup>2</sup> ) トレイ 4 : 550 枚 (64 g/m <sup>2</sup> )
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	570 (W) x 548 (D) x 263 (H) mm
質量	約 26 kg
ユニット構成	給紙トレイ 2 段

\* Foolscap には、220mm x 330mm、8-1/4 x 13 □、8-1/2 x 13 □、8 x 13 □ の 4 種類があります。いずれか 1 つが選択可能です。詳しくはサービス実施店におたずねください。

### 5.2.2 給紙キャビネット PC-407

項 目	説 明
名称	PC-407
用紙種類	普通紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 105g/m <sup>2</sup> )
用紙サイズ	A4 □、8-1/2 x 11 □
収納枚数	2,500 枚 (80 g/m <sup>2</sup> )
電源	本体から供給
最大消費電力	45 W 以下
大きさ	570 (W) x 577 (D) x 300.2(H) mm
質量	約 26 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段 (左右 2 段置きに収納)

### 5.2.3 大容量給紙ユニット LU-203

項 目	説 明
名称	LU-203
用紙種類	普通紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 105 g/m <sup>2</sup> )
用紙サイズ	A4 □、8-1/2 x 11 □
収納枚数	2,100 枚 (64 g/m <sup>2</sup> )
電源	本体から供給
最大消費電力	30 W 以下
大きさ	424 (W) x 515 (D) x 295 (H) mm
質量	約 16 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段

## 5.2.4 専用デスク DK-506

項 目	説 明
名称	DK-506
機能	コピー資材収納
ユニット構成	収納棚

## 5.2.5 フィニッシャー FS-522

項 目	説 明
名称	FS-522
機能	ストレートスタック（ソート、グループ） 仕分けスタック（ソート+仕分け、グループ+仕分け）
ソートステープル	オプションを装着して下記機能を追加できます。 パンチユニット PU-501：ファイリング用パンチ穴穿孔 中綴じ機 SD-507：中折り／中とじ（折りスジ） メールピンキット MT-502：排紙トレイ追加（4 段） 排紙トレイ OT-602：排紙トレイの追加（1 段）
排紙トレイ	トレイ 1、トレイ 2
仕分けシフト量	30 mm
用紙種類	ソート、グループ：普通紙（60 g/m <sup>2</sup> ～ 90 g/m <sup>2</sup> ）、 厚紙（91g/m <sup>2</sup> ～ 210g/m <sup>2</sup> ）、薄紙（50g/m <sup>2</sup> ～ 59g/m <sup>2</sup> ）、 OHP フィルム、郵政はがき、封筒、ラベル紙他 ステープル：普通紙（60 g/m <sup>2</sup> ～ 90 g/m <sup>2</sup> 紙）、 薄紙（56 g/m <sup>2</sup> ～ 59 g/m <sup>2</sup> 紙） パンチ：普通紙（60 g/m <sup>2</sup> ～ 90 g/m <sup>2</sup> 紙）、 厚紙（91 g/m <sup>2</sup> ～ 130 g/m <sup>2</sup> 紙） （オプションのパンチユニット PU-501 装着時）
用紙サイズ	ソート、グループ 定形サイズ：A3 □ ～ A5 □/□、B6 □、郵政はがき □ 不定形サイズ： 100 mm x 139.7 mm □ ～ 297 mm x 431.8 mm □ ソート+仕分け、グループ+仕分け 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□ 不定形サイズ： 182 mm x 139.7 mm □ ～ 297 mm x 431.8 mm □ ステープル 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□、A5 □ 不定形サイズ： 182 mm x 139.7 mm □ ～ 297 mm x 431.8 mm □ パンチ（オプションのパンチユニット PU-501 装着時） 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□
収納枚数	p. 6-4 をごらんください。
電源	本体から供給
最大消費電力	66 W 以下
大きさ	319 (435) (W) x 558 (D) x 573 (H) mm ( ) はトレイ引出し時
質量	約 21.4 kg
消耗品	ステープル針 MS-5D（50 枚とじ用 5,000 針入り）x 2

## 5.2.6 排紙トレイキット OT-602

項 目	説 明
名称	OT-602
機能	フィニッシャー FS-522 用増設排紙トレイ
大きさ	282 (W) x 368 (D) x 57 (H) mm
質量	約 0.7 kg
ユニット構成	トレイ 1 ピン

## 5.2.7 パンチユニット PU-501

項 目	説 明
名称	PU-501
機能	ファイリング用パンチ穴穿孔
パンチ穴数	2 穴
パンチ穴径	6.5 mm ± 0.5 mm
パンチ穴ピッチ	2 穴 : 80 mm ± 0.5 mm
用紙種類	60 g/m <sup>2</sup> ~ 130 g/m <sup>2</sup> 紙
用紙サイズ	定形サイズ : A3 □ ~ B5 □/□
電源	フィニッシャーから供給
大きさ	114 (W) x 461 (D) x 136 (H) mm
質量	約 1.9 kg

## 5.2.8 中綴じ機 SD-507

項 目	説 明
名称	SD-507
機能	中折り／中とじ（折りスジ）
綴じピッチ	120 mm ± 4 mm（針幅 11 mm）
綴じ枚数	2 ~ 15 枚（最大 60 ページ）／ 1 部
用紙種類	56 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> 紙
用紙サイズ	定形サイズ : A3 □、B4 □、A4 □、B5 □、 不定形サイズ : 182 mm x 257 mm □ ~ 297 mm x 431.8 mm □
収納枚数	200 枚または 20 部
電源	フィニッシャーから供給
最大消費電力	66 W 以下
大きさ	445 (576) (W) x 203 (281) (D) x 478 (H) mm ( ) はトレイ引出し時
質量	約 9.3 kg
消耗品	ステーブル針 MS-2C（15 枚とじ用 2,000 針入り）x 2
ユニット構成	中とじ部、折り部、排紙トレイ 1 段

## 5.2.9 メールビンキット MT-502

項 目	説 明
名称	MT-502
機能	用紙仕分け
用紙種類	56 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> 紙
用紙サイズ	定形サイズ：A4 w、B5 □、A5 □ 不定形サイズ：139.7 mm x 182 mm □ ~ 216 mm x 297 mm □
収納枚数	125 枚/ビン（合計 500 枚）
電源	フィニッシャーから供給
大きさ	340 (W) x 509 (D) x 387 (H) mm
質量	約 8.0 kg（製品質量）

## 5.2.10 フィニッシャー FS-523

項 目	説 明
名称	FS-523
機能	ストレートスタック（ソート、グループ） 仕分けスタック（ソート+仕分け、グループ+仕分け）
ソートステープル	ファイリング用パンチ穴穿孔
排紙トレイ	トレイ 1、トレイ 2
用紙種類	トレイ 1 ソート、グループ：普通紙（60g/m <sup>2</sup> ~ 90g/m <sup>2</sup> ）、厚紙（91g/m <sup>2</sup> ~ 210g/m <sup>2</sup> ）、薄紙（50 g/m <sup>2</sup> ~ 59 g/m <sup>2</sup> ）、OHP フィルム、郵政はがき、封筒、ラベル紙他 トレイ 2 ソート、グループ：普通紙（60g/m <sup>2</sup> ~ 90g/m <sup>2</sup> ）、厚紙（91g/m <sup>2</sup> ~ 130g/m <sup>2</sup> ）、薄紙（50 g/m <sup>2</sup> ~ 59 g/m <sup>2</sup> ） ステープル：60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> 紙 パンチ：60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> 紙
仕分けシフト量	30 mm
用紙サイズ	ソート、グループ 定形サイズ：A3 □ ~ B5 □/□、A5 □、B6 □、郵政はがき □ 不定形サイズ：100 mm x 139.7 mm □ ~ 314 mm x 457.2 mm □ ソート+仕分け、グループ+仕分け 定形サイズ：A3 □ ~ B5 □/□ 不定形サイズ：182 mm x 182 mm ~ 314 mm x 457.2 mm □ ステープル 定形サイズ：A3 □ ~ B5 □/□ 不定形サイズ：182 mm x 182 mm ~ 297 mm x 431.8 mm □ パンチ 定形サイズ：A3 □ ~ B5 □/□
収納枚数	トレイ 1 普通紙、再生紙：250 枚（60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> 紙）または高さ 36 mm 以内 厚紙、薄紙、OHP フィルム、封筒、第 2 原紙、ラベル用紙など：20 枚または高さ 36 mm 以内 トレイ 2 B4 / 8-1/2 x 14 以上の用紙サイズ：1,500 枚（80 g/m <sup>2</sup> 紙）または高さ 187.5 mm 以内 A4 / 8-1/2 x 11 以下の用紙サイズ：3,000 枚（80 g/m <sup>2</sup> 紙）または高さ 375 mm 以内
ステープル枚数	50 枚（80 g/m <sup>2</sup> 紙）または厚み 5 mm 以下

項 目	説 明
パンチ機能	パンチ穴数：2 穴、6.5 mm ± 0.5 mm パンチ穴ピッチ：2 穴：80 mm ± 0.5 mm
電源	本体から供給
最大消費電力	63 W 以下
大きさ	538 (669) (W) x 637 (D) x 978 (1,055) (H) mm ( ) はトレイ引出し時
質量	約 39.2 kg
消耗品	ステープル針 MS-5D (50 枚とじ用 5,000 針入り) x 2

### 5.2.11 排紙トレイ OT-504

項 目	説 明
名称	OT-504
機能	本体排紙トレイ
用紙種類	普通紙 (60g/m <sup>2</sup> ~ 90g/m <sup>2</sup> )、厚紙 (91g/m <sup>2</sup> ~ 210g/m <sup>2</sup> )、 薄紙 (50 g/m <sup>2</sup> ~ 59 g/m <sup>2</sup> )、OHP フィルム、郵政はがき、封筒、ラベル紙他
収納枚数	最大 100 枚
大きさ	437 (W) x 511 (D) x 183 (H) mm
質量	約 1.3 kg

### 5.2.12 セパレーター JS-502

項 目	説 明
名称	JS-502
機能	排出先振分け
用紙種類	普通紙 (60g/m <sup>2</sup> ~ 90g/m <sup>2</sup> )、厚紙 (91g/m <sup>2</sup> ~ 210g/m <sup>2</sup> )、 薄紙 (50 g/m <sup>2</sup> ~ 59 g/m <sup>2</sup> )、OHP フィルム、郵政はがき、封筒、ラベル紙他
収納枚数	最大 100 枚
大きさ	450 (W) x 511 (D) x 183 (H) mm
質量	約 1.7 kg

### 5.2.13 その他

中継搬送ユニット RU-507	i-Option LK-101
イメージコントローラー IC-207	i-Option LK-102
取り付けキット MK-708	i-Option LK-103
回線拡張キット ML-503	アップグレードキット UK-202
ハードディスク HD-509	
ファクス済みスタンプユニット SP-501	
ステープル MS-2C	
ステープル MS-5D	
キーカウンター	
キーカウンターキット 4	
キーカウンター取り付けキット	
防湿ヒーター IC	
FAX キット FK-502	
セキュリティキット SC-505	

## 5.3 保守サービス

このチャージシステムを契約していただきますと、本機を常に安定した状態でご使用いただくための保守サービス（定期点検、調整、修理、感光体、現像剤交換等）を提供いたします。

保守サービス提供の対価として、カウンター数値により算出されますコピー料金を申し受けます。コピー料金には、用紙の代金は含まれませんので、別途ご購入いただきます。

### 5.3.1 補修用性能部品の保有期間

複写機の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、機械本体製造打切り後 7 年間です。

### 5.3.2 同梱品

ユーザーズガイドホルダー	1
現像剤	各 1
ユーザーズガイド（すぐにお使いいただく操作ガイド）	1
ユーザーズガイド（安全にお使いいただくために）	1
CD-ROM（3 枚）	各 1
User Software	
Page Scope Utilities CD	
マニュアル CD	
QA シート	1
チャージシステムお申込書	1
インストールマニュアル	1
ネットワークファクスインストールマニュアル	1
その他	



# 第 6 章

## 用紙・原稿について

---

本機で使用する用紙と原稿の条件について説明します。

6.1	用紙について .....	6-2
6.2	手差しトレイの用紙設定 .....	6-9
6.3	給紙トレイの用紙種類設定 .....	6-15
6.4	原稿について .....	6-17

## 6.1 用紙について

各装置によって、扱える用紙に制限があります。

### 6.1.1 用紙をセット／処理／出力する装置

用紙をセットする装置には下記のものがあります。

- 本体給紙トレイ：トレイ 1/2
- 本体手差しトレイ
- 給紙キャビネット PC-206：トレイ 3/4
- 給紙キャビネット PC-407：トレイ 3
- 大容量給紙ユニット LU-203

用紙にパンチ／ステープルなどの処理をし、出力積載する装置には下記のものがあります。

- 自動両面コピーユニット（本体内置）
- フィニッシャー FS-522（ステープルユニット内置）
- フィニッシャー FS-523（ステープル／パンチユニット内置）
- パンチユニット PU-501（フィニッシャー FS-522 に装着）
- 中綴じ機 SD-507（フィニッシャー FS-522 に装着）
- メールピンキット MT-502（フィニッシャー FS-522 に装着）
- 排紙トレイ OT-602（フィニッシャー FS-522 に装着）
- 排紙トレイ OT-504（フィニッシャー未装着機の本体に装着）
- セパレーター JS-502（フィニッシャー未装着機の本体に装着）

### 6.1.2 使用できる用紙の坪量

用紙をセットする装置	坪 量
本体給紙トレイ（トレイ 1/2）	60 ～ 90 g/m <sup>2</sup> 91 ～ 210 g/m <sup>2</sup> の用紙をセットしたときは、トレイを「厚紙」に設定 50 ～ 59 g/m <sup>2</sup> の用紙をセットしたときは、トレイを「薄紙」に設定
給紙キャビネット PC-206 （トレイ 3/4）	
給紙キャビネット PC-407 （トレイ 3）	
大容量給紙ユニット LU-201	
手差しトレイ	ソート、グループ：50 ～ 210 g/m <sup>2</sup> ソート+仕分け、グループ+仕分け：56 ～ 90 g/m <sup>2</sup> ステープル：56 ～ 90 g/m <sup>2</sup>

用紙を処理／排出する装置	坪 量
自動両面コピーユニット	60 ～ 90 g/m <sup>2</sup>
フィニッシャー FS-522	ソート、グループ：50 ～ 210 g/m <sup>2</sup> ソート+仕分け、グループ+仕分け：56 ～ 90 g/m <sup>2</sup> ステープル：56 ～ 90 g/m <sup>2</sup>
フィニッシャー FS-522 + 中綴じ機 SD-507	中折り、中とじ：56 ～ 90 g/m <sup>2</sup>
フィニッシャー FS-522 + パンチユニット PU-501	パンチ：60 ～ 130 g/m <sup>2</sup>
フィニッシャー FS-522 + 排紙トレイ OT-602	50 ～ 210 g/m <sup>2</sup>
メールピンキット MT-502	56 ～ 90 g/m <sup>2</sup>

用紙を処理／排出する装置	坪 量
フィニッシャー FS-523	ソート、グループ：50 ～ 130 g/m <sup>2</sup> ソート+仕分け、グループ+仕分け：50 ～ 130 g/m <sup>2</sup> ステーブル：60 ～ 90 g/m <sup>2</sup> パンチ：60 ～ 90 g/m <sup>2</sup>
排紙トレイ OT-504	50 ～ 210 g/m <sup>2</sup>
セパレーター JS-502	56 ～ 90 g/m <sup>2</sup>

### 6.1.3 セット／出力可能な用紙枚数

用紙をセットする装置	セット可能枚数
本体給紙トレイ（トレイ 1/2）	550 枚（64 g/m <sup>2</sup> 紙）
給紙キャビネット PC-206（トレイ 3/4）	
給紙キャビネット PC-407（トレイ 3）	2,500 枚（80 g/m <sup>2</sup> 紙）
大容量給紙ユニット LU-203	2,100 枚（64 g/m <sup>2</sup> 紙）
手差しトレイ	普通紙、再生紙、レターヘッド紙：150 枚 厚紙：50 枚 OHP フィルム、郵政はがき、ラベル紙、第 2 原紙：1 枚 封筒：10 枚

用紙を搬送／出力する装置	搬送／出力可能枚数
自動両面コピーユニット	搬送枚数に制限なし
フィニッシャー FS-522	詳細は、 <a href="#">p. 6-6</a> をごらんください。
メールピンキット MT-502	各ピン 125 枚（80 g/m <sup>2</sup> 紙）
フィニッシャー FS-523	トレイ 1 普通紙、再生紙：250 枚（60 ～ 90 g/m <sup>2</sup> 紙）または高さ 36 mm 以内 厚紙、薄紙、OHP フィルム、封筒、第 2 原紙、ラベル用紙など：20 枚または高さ 36 mm 以内 トレイ 2 B4 / 8-1/2 x 14 以上の用紙サイズ：1,500 枚（80 g/m <sup>2</sup> 紙） または高さ 187.5 mm 以内 A4 / 8-1/2 x 11 以下の用紙サイズ：3,000 枚（80 g/m <sup>2</sup> 紙） または高さ 375 mm 以内
排紙トレイ OT-504	100 枚（60 ～ 90 g/m <sup>2</sup> 紙）
セパレーター JS-502	100 枚（60 ～ 90 g/m <sup>2</sup> 紙）

### 6.1.4 フィニッシャー FS-522 の積載制限枚数

フィニッシャー FS-522 にはオプション構成によって下記の 6 つのタイプがあります。

- 単体：排紙トレイ 2 つ
- 排紙トレイ OT-602 付き：排紙トレイ 3 つ
- 中綴じ機 SD-507 付き：中綴じ機トレイ+排紙トレイ 2 つ
- 排紙トレイ OT-602 +中綴じ機 SD-507 付き：中綴じ機トレイ+排紙トレイ 3 つ
- メールピンキット MT-502 付き：メールピン+排紙トレイ 2 つ
- 排紙トレイ OT-602 +メールピンキット MT-502 付き：メールピン+排紙トレイ 3 つ

それぞれのタイプによって積載制限枚数が違います。下表をごらんください。表中の「枚数／枚数」は、「A4 または 8-1/2 × 11 以下の用紙サイズ／ B4 または 8-1/2 × 14 以上の用紙サイズ」の積載制限枚数を表しています。

ステープル綴じ枚数は、最大 50 枚、中綴じステープルは最大 15 枚です (80 g/m<sup>2</sup> 紙)。

ステープル綴じでの積載制限枚数は、ノンステープルの積載枚数を超えないようにしてください。

単体：排紙トレイ 2 つ

	トレイ 1	トレイ 2
ソート、グループ	200 枚	1000/500 枚
ソート+仕分け、 グループ+仕分け		
ステープル	200 枚または 20 部	1000/500 枚 または 100 部 /50 部

排紙トレイ OT-602 付き：排紙トレイ 3 つ

	トレイ 1	トレイ 3	トレイ 2 (増設トレイ)
ソート、グループ	200 枚	500/250 枚	200 枚
ソート+仕分け、 グループ+仕分け			
ステープル	200 枚または 20 部	500/250 枚 または 50 部 /25 部	200 枚または 20 部

中綴じ機 SD-507 付き：中綴じ機トレイ+ 排紙トレイ 2 つ

	トレイ 1	トレイ 2	中綴じ機トレイ
ソート、グループ	200 枚	500/250 枚	
ソート+仕分け、 グループ+仕分け			
ステープル	200 枚または 20 部	500/250 枚 または 50 部 /25 部	
中とじ			200 枚 (20 部)

排紙トレイ OT-602 + 中綴じ機 SD-507 付き：中綴じ機トレイ + 排紙トレイ 3 つ

	トレイ 1	トレイ 3	トレイ 2 (増設トレイ)	中綴じ機トレイ
ソート、グループ	200 枚	200/100 枚	200 枚	
ソート+仕分け、 グループ+仕分け				
ステープル	200 枚または 20 部	200/100 枚 または 20 部 / 10 部	200 枚または 20 部	
中とじ				200 枚 (20 部)

メールピンキット MT-502 付き：メールピン + 排紙トレイ 2 つ

	トレイ 1	トレイ 2	メールピン
ソート、グループ	200 枚	500/250 枚	500 枚
ソート+仕分け、 グループ+仕分け			
中とじ	200 枚または 20 部	500/250 枚 または 50 部 / 25 部	

排紙トレイ OT-602 + メールピンキット MT-502 付き：メールピン + 排紙トレイ 3 つ

	トレイ 1	トレイ 3	トレイ 2 (増設トレイ)	メールピン
ソート、グループ	200 枚	200/100 枚	200 枚	500 枚
ソート+仕分け、 グループ+仕分け				
ステープル	200 枚または 20 部	200/100 枚 または 20 部 / 10 部	200 枚または 20 部	

### 6.1.5 セット／処理／出力可能な用紙サイズ

用紙をセットする装置	セット可能サイズ
本体給紙トレイ (トレイ 1/2)	A3 □、B4 □、A4 □/ □、B5 □/ □、A5 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □
給紙キャビネット PC-206 (トレイ 3/4)	
給紙キャビネット PC-407 (トレイ 3)	A4 □
大容量給紙ユニット LU-203	A4 □
手差しトレイ	定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □/ □、B5 □/ □、A5 □、B6 □、 8-1/2 x 11 □、郵政はがき □ 不定形サイズ：92 mm x 148 mm □ ~ 297 mm x 431.8 mm □

用紙を処理／排出する装置	処理／排出可能サイズ
自動両面コピーユニット	定形サイズ：A3 ☐ ～ A5 ☐、11 x 17 ☐ ～ 5-1/2 x 8-1/2 ☐ 不定形サイズ：139.7 mm x 176.0 mm ☐ ～ 311.1 mm x 457.2 mm ☐
フィニッシャー FS-522 (排紙トレイ OT-602 も同じ)	ソート、グループ： 定形サイズ：A3 ☐ ～ A5 ☐、B6 ☐、11 x 17 ☐、8-1/2 x 11 ☐/ ☐、 郵政はがき ☐ 不定形サイズ：100 mm x 139.7 mm ☐ ～ 297 mm x 431.8 mm ☐ ソート+仕分け、グループ+仕分け： 定形サイズ：A3 ☐ ～ B5 ☐/ ☐、11 x 17 ☐、8-1/2 x 11 ☐/ ☐ 不定形サイズ：182 mm x 139.7 mm ☐ ～ 297 mm x 431.8 mm ☐ ステーブル： 定形サイズ：A3 ☐ ～ B5 ☐/ ☐、11 x 17 ☐、8-1/2 x 11 ☐/ ☐ 不定形サイズ：182 mm x 139.7 mm ☐ ～ 297 mm x 431.8 mm ☐
フィニッシャー FS-522 + 中綴じ機 SD-507	中折り／中とし： 定形サイズ：A3 ☐、B4 ☐、A4 ☐、B5 ☐、11 x 17 ☐、8-1/2 x 11 ☐/ ☐ 不定形サイズ：182 mm x 257 mm ☐ ～ 297 mm x 431.8 mm ☐
フィニッシャー FS-522 パンチユニット PU-501	パンチ： 定形サイズ：A3 ☐ ～ B5 ☐/ ☐、A5 ☐、B6 ☐、11 x 17 ☐、8-1/2 x 11 ☐/ ☐
メールピンキット MT-502	定形サイズ：A4 ☐、B5 ☐、A5 ☐、 不定形サイズ：139.7 mm x 182 mm ☐ ～ 297 mm x 216 mm ☐
フィニッシャー FS-523	ソート、グループ： 定形サイズ：A3 ☐ ～ B5 ☐/ ☐、A5 ☐、B6 ☐、11 x 17 ☐、 8-1/2 x 11 ☐/ ☐、郵政はがき ☐ (トレイ 1 のみ) 不定形サイズ：100 mm x 139.7 mm ☐ ～ 314 mm x 457.2 mm ☐ ソート+仕分け、グループ+仕分け： 定形サイズ：A3 ☐ ～ B5 ☐/ ☐、11 x 17 ☐、8-1/2 x 11 ☐/ ☐ 不定形サイズ：182 mm x 182 mm ☐ ～ 314 mm x 457.2 mm ☐ ステーブル： 定形サイズ：A3 ☐ ～ B5 ☐/ ☐、11 x 17 ☐、8-1/2 x 11 ☐/ ☐ 不定形サイズ：182 mm x 182 mm ☐ ～ 297 mm x 431.8 mm ☐ パンチ： 定形サイズ：A3 ☐ ～ B5 ☐/ ☐、11 x 17 ☐、8-1/2 x 11 ☐/ ☐
排紙トレイ OT-504	100 mm x 148 mm ☐ ～ 314 mm x 457.2 mm ☐
セパレーター JS-502	













給紙キャビネット PC-407 と大容量給紙ユニット LU-203 にセットする用紙サイズを、A4 ☐ から 8.5 x 11 ☐ 変更することができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

### 6.1.6 専用紙について

OHP フィルム、厚紙、色紙など普通紙以外の用紙を給紙トレイにセットするとき、その給紙トレイに 10 種類の専用紙から任意の用紙種類を設定します。専用紙をセットした給紙トレイとして設定されると、自動用紙または自動トレイ切替え機能が働いても、その給紙トレイから用紙を自動的に給紙しなくなります。

手差しトレイの用紙設定に関しては、「[手差しトレイの用紙種類を選択する](#)」(p. 6-14) をごらんください。

各給紙トレイの用紙設定に関しては、「[給紙トレイの用紙種類設定](#)」(p. 6-15) をごらんください。

用紙種類	アイコン	説 明
厚紙		坪量 91 g/m <sup>2</sup> ~ 200 g/m <sup>2</sup> の厚手の用紙をセットするとき に選択します。
薄紙		坪量 50 g/m <sup>2</sup> ~ 59 g/m <sup>2</sup> の薄手の用紙をセットするとき に選択します。
OHP		OHP フィルムをセットするときを選択します。
封筒		封筒をセットするときを選択します。
ラベル紙		ラベル紙をセットするときを選択します。
第 2 原紙		第 2 原紙をセットするときを選択します。
ユーザー紙		ユーザ紙本機で設定できる用紙種類以外の坪量 60g/m <sup>2</sup> ~ 90g/m <sup>2</sup> の用紙をセットするときを選択します。サービス実 施店にお問い合わせください。
再生紙		再生紙をセットするときを選択します。
色紙		坪量 60g/m <sup>2</sup> ~ 90g/m <sup>2</sup> の色紙をセットするときを選択し ます。
レターヘッド紙		坪量 60g/m <sup>2</sup> ~ 90g/m <sup>2</sup> のあらかじめ社名や定型文がプリ ントされた用紙をセットするときを選択します。

### 6.1.7 用紙使用上の注意

以下の用紙は使用しないでください。

印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 1 度通紙した OHP フィルム（白紙状態で排紙された OHP フィルムでも再使用できません。）
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙

### 6.1.8 用紙の保管

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保存してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。  
トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、または包装紙から取出した用紙はポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てて置かず水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

### 6.1.9 自動トレイ切替え機能

連続プリント中、選択した給紙トレイの用紙が無くなった場合、以下の動作条件を満たした給紙トレイがあれば、自動的に給紙トレイを切替えてプリントを続けます。オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合、最大 5,850 枚の連続プリントが可能になります。

ユーザ設定の「1 環境設定 > 3 給紙トレイ設定」で下記の設定をします。

- 「給紙トレイ自動選択」で自動用紙機能が働いたとき自動選択の対象になるトレイを設定  
このとき、切替順位を設定できます。
- 「ATS 許可」で「許可する」を設定
- 「用紙種類設定」で同じ用紙種類を設定

給紙トレイに下記の用紙をセットします。

- 同じサイズ of 用紙を同じ向きにセット
- 同じ種類の用紙をセット

## 6.2 手差しトレイの用紙設定

ここでは、手差しトレイにセットした用紙サイズおよび用紙種類の設定方法について説明します。

### 6.2.1 用紙サイズを自動で検出させる（自動検出）

手差しトレイの用紙サイズを自動的に検出します。

1

基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

手差しトレイキーを押します。

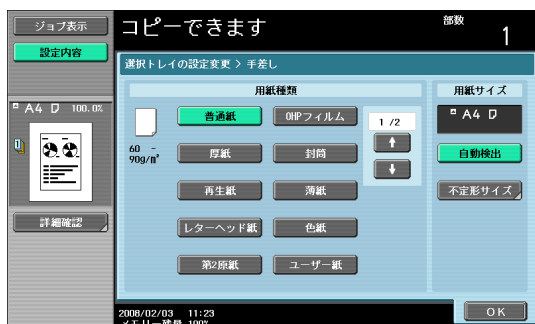


3

「選択トレイの設定変更」を押します。

4

「自動検出」を押します。



出荷時設定では「自動検出」が選択されています。

5

「OK」を2回押します。  
基本設定画面に戻ります。



・手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-50)をごらんください。

### 6.2.2 不定形紙をセットする（不定形）

不定形紙は、手差しトレイにセットできます。

不定形紙を使用する場合は、用紙サイズを入力する必要があります。

1

基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

手差しトレイのキーを押します。

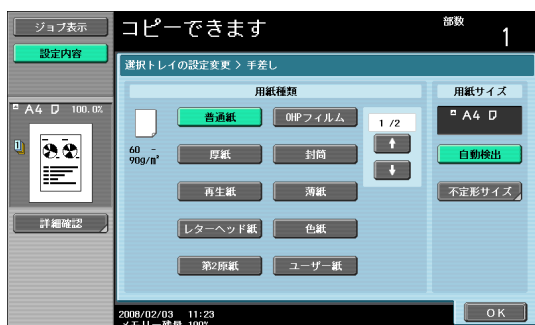


3

「選択トレイの設定変更」を押します。

4

「不定形サイズ」を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。



手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-50) をご覧ください。

5

用紙の長さ [X] / 幅 [Y] を入力します。

- [X] が反転していることを確認し、テンキーで X 辺の長さを設定します。(148.0 mm ~ 431.8 mm)
- [Y] を押して反転させ、テンキーで Y 辺の長さを設定します。(92.0 mm ~ 297.0 mm)



6

[OK] を 3 回押します。

基本設定画面に戻ります。

### 6.2.3 目的の用紙サイズを登録する (不定形)

5 つの不定形紙を登録できます。

よく使用する用紙サイズを登録しておけば、次回使用するとき用紙サイズを入力する必要がなくなります。

1

基本設定画面の [用紙] を押します。



用紙画面が表示されます。

2

手差しトレイのキーを押します。



- ・ 5 つの用紙サイズを登録できます。
- ・ 登録した用紙サイズは、メモリーキーを押して呼出します。
- ・ 「memory1」 ~ 「memory5」の名称は変更できます。変更のしかたについては、「[目的の用紙サイズを登録する \(不定形\)](#)」(p. 6-11) の手順 5 をごらんください。
- ・ 用紙サイズの登録については、「[目的の用紙サイズを登録する \(不定形\)](#)」(p. 6-11) をごらんください。



詳しく説明します

- ・ 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- ・ 入力を間違えたときは、[C] を押し、正しい数値を入力します。

#### ひとこと

[中止] を押すと設定は変更されません。



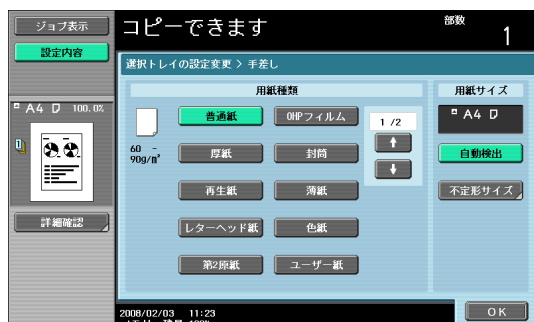
手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-50) をごらんください。

3

「選択トレイの設定変更」を押します。

4

「不定形サイズ」を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。

5

X 辺サイズ／Y 辺サイズを設定し、「メモリー登録」を押します。

- [X] が反転していることを確認し、テンキーで、X 辺の長さを設定します。(148.0 mm ～ 431.8 mm)
- [Y] を押して反転させ、テンキーで、Y 辺の長さを設定します。(92.0 mm ～ 297.0 mm)



#### 詳しく説明します

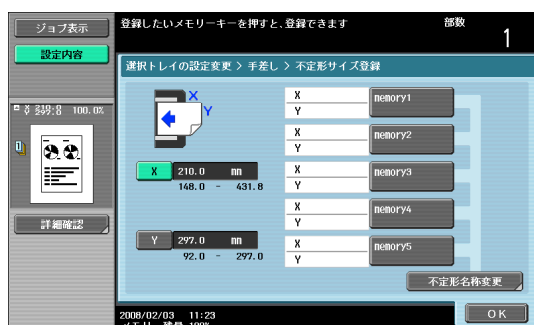
- ・ X 辺、Y 辺は、画面のイラストで確認してください。
- ・ 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- ・ 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

#### ひとこと

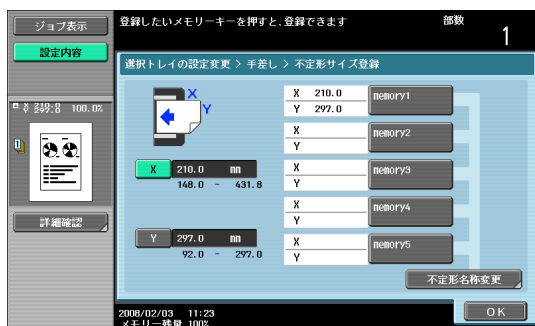
「中止」を押すと設定は変更されません。

6

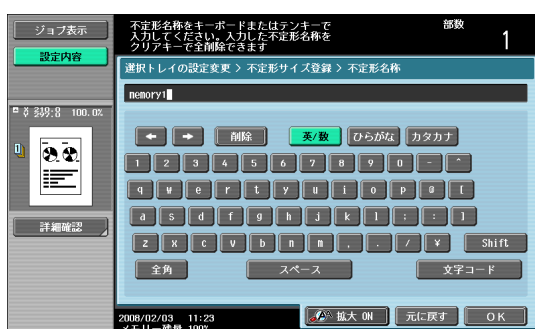
登録するメモリーキーを押します。



- メモリーキーの名称を変更する場合は、[不定形名称変更] を押し、変更するキーを押します。



表示されるキーボードで登録名称を入力し、[OK] を押し、[閉じる] を押します。



7

[OK] を 4 回押します。  
基本設定画面に戻ります。

### 詳しく説明します

画面に表示されるキーボードを押して入力します。文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2) をご覧ください。

### 6.2.4 手差しトレイの用紙種類を選択する

普通紙以外の OHP フィルムや特殊紙などを手差しトレイにセットする場合には、トレイの用紙種類の設定を変更してください。

1

基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

トレイ 1 のキーを押します。



3

「選択トレイの設定変更」を押します。

4

専用紙の種類を選択します。

○ 目的の用紙種類のキーを押します。



5

「OK」を2回押します。

基本設定画面に戻ります。

必ず守ってください

特殊紙をセットした場合は、必ず該当する用紙種類に設定してください。誤った設定を行うと紙づまりの原因となります。

参照

手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-50) をご覧ください。

詳しく説明します

- ・専用紙として設定した手差しトレイは、自動用紙機能による選択の対象になりません。
- ・自動トレイ切替え機能は同一の用紙種類を設定したトレイ間に限り動作します。

詳しく説明します

はがきをセットしたときは、自動的に「厚紙」が選択されます。

## 6.3 給紙トレイの用紙種類設定

ここでは、各給紙トレイの用紙種類の設定方法について説明します。  
手差しトレイ以外の給紙トレイは、坪量 60g/m<sup>2</sup> ~ 90g/m<sup>2</sup> 以外の用紙はセットできません。設定できる用紙種類は、この坪量の普通紙以外の専用紙、レターヘッド紙、色紙、再生紙、ユーザー紙です。

### 6.3.1 用紙種類を選択する

1

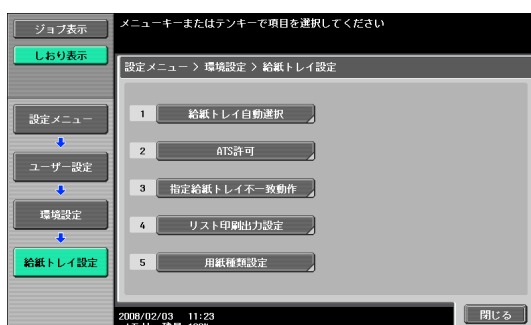
〔設定メニュー / カウンター〕 を押します。



設定メニュー / カウンター画面が表示されます。

2

[2ユーザー設定]-[1環境設定]-[3給紙トレイ設定]-[5用紙種類設定] を順に押します。



用紙種類設定画面が表示されます。

3

左側の「給紙トレイ」下の任意のトレイキーを押して反転させ、右側の〔用紙種類〕を押します。



#### 詳しく説明します

特殊紙をセットしたトレイを該当する用紙種類に設定すると下記のようになります。

- ・レターヘッド紙に設定した場合、印刷面が逆になります。
- ・専用紙として設定した給紙トレイは、自動用紙機能による選択の対象になりません。
- ・自動トレイ切替え機能は同一の用紙種類を設定したトレイ間に限り動作します。

4

任意の用紙種類キーを押して反転させます。



5

変更内容を確定させるため [OK] を押します。

## 6.4 原稿について

コピーするときは、原稿を ADF または原稿ガラスにセットします。  
ADF にセットできない原稿は、原稿ガラスにセットしてコピーしてください。

### 6.4.1 ADF にセットする原稿

ADF を使用する場合、原稿の形状によって下記のいずれかの設定でコピーします。ADF に原稿をセットすると、セットした時点で原稿サイズを自動検出し、自動検出可能なサイズのときは、自動用紙の機能によって自動的に用紙を選択します。

各設定によって原稿の厚み、サイズなどに制限があります。

- 通常設定
- 混載原稿設定
- Z 折れ原稿設定

#### 通常設定

項 目	説 明
原稿坪量	片面原稿：35 g/m <sup>2</sup> ～ 128 g/m <sup>2</sup> 両面原稿：50 g/m <sup>2</sup> ～ 128 g/m <sup>2</sup>
セット可能原稿サイズ	128 mm x 139.7 mm ～ 297 mm x 431.8 mm
自動検出サイズ	A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	80 枚以内（80 g/m <sup>2</sup> 紙）または積載高さ 11 mm 以内

#### 混載原稿設定

サイズの異なる定形サイズの原稿を自動検出してコピーすることができます。

項 目	説 明
原稿坪量	片面原稿：35 g/m <sup>2</sup> ～ 128 g/m <sup>2</sup> 両面原稿：50 g/m <sup>2</sup> ～ 128 g/m <sup>2</sup>
自動検出サイズ	混載可能な原稿サイズの組み合わせは、ADF ガイド板の開き幅で決まります。 A3□ / A4 □ の開き幅：A3□、B4□、A4 □/□、B5 □ B4□ / B5 □ の開き幅：B4□、A4 □、B5 □/□、A5 □ B5□ の開き幅：B5 □、A5 □ A4□ / A5 □ の開き幅：A4 □、B5 □、A5 □ A5□ の開き幅：A5 □、B6 □
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	80 枚以内（80 g/m <sup>2</sup> 紙）または積載高さ 11 mm 以内

#### Z 折れ原稿設定

項 目	説 明
原稿坪量	片面原稿：35 g/m <sup>2</sup> ～ 128 g/m <sup>2</sup> 両面原稿：50 g/m <sup>2</sup> ～ 128 g/m <sup>2</sup>
セット可能原稿サイズ	128 mm x 139.7 mm ～ 297 mm x 431.8 mm
自動検出サイズ	A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	80 枚以内（80 g/m <sup>2</sup> 紙）または積載高さ 11 mm 以内

### 6.4.2 ADF にセットする原稿についての注意

下記のような原稿を ADF にセットしないでください。このような原稿を ADF にセットしてコピーすると、原稿づまりを起こして原稿を傷めることがあります。また、ADF の故障の原因になります。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第 2 原紙などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理されている原稿
- 129 g/m<sup>2</sup> 以上の厚紙原稿
- 35g/m<sup>2</sup> 未満の薄紙原稿
- 両面コピー時の 50 g/m<sup>2</sup> 未満の薄紙原稿
- クリップ、ステープルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせている原稿
- 切り取りや切り抜きのある原稿
- ラベル紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿
- 本機でプリントした直後の原稿

### 6.4.3 原稿ガラスにセットする原稿

ADF にセットできない原稿をコピーするときや、ADF を使用してコピーできない設定をしたとき、原稿を原稿ガラスにセットします。

原稿ガラスに原稿をセットし ADF を閉じると、原稿サイズを自動検出し、自動検出可能なサイズのときは、自動用紙の機能によって自動的に用紙を選択します。

項 目	説 明
原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
セット可能原稿サイズ	128 mm x 139.7 mm ~ 297 mm x 431.8 mm
自動検出サイズ	A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、B6 □、郵政はがき □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□、5-1/2 x 8-1/2 □
最大原稿質量	6.8 kg
最大原稿厚み	30 mm

原稿ガラスにセットする原稿についての注意事項を下記に説明します。

- インチサイズの原稿（11 x 17、8-1/2 x 14、8-1/2 x 11 など）は、サイズを自動検出しません。サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- 自動検出できない不定形の原稿をセットしたときは、自動用紙や自動倍率の機能を使用できません。給紙トレイを選択して、コピーする用紙を手動で選択してください。
- OHP フィルムや第 2 紙などの透明度の高い原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できないことがあります。原稿を同じサイズの白紙を上重ねてセットしてください。
- 質量が 6.8 kg を超える重い原稿は、原稿ガラス上に置かないでください。原稿ガラスを破損するなど機械故障の原因になります。
- 厚手の本などをセットした場合、強い力で押さえつけないでください。原稿ガラスを破損するなど機械故障の原因になります。

# 第 7 章

## 応用機能

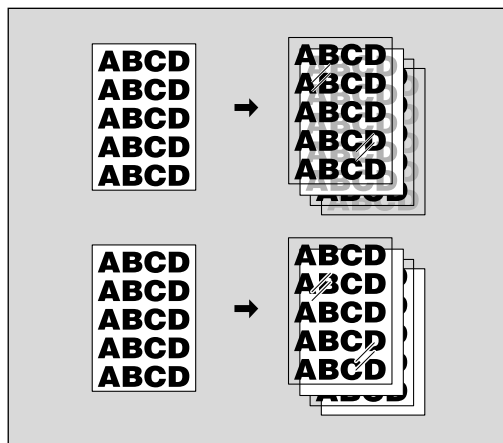
便利な応用機能を使ってコピーする方法について説明します。

7.1	OHP フィルムの間用紙を差込んでコピーする (OHP 合紙)	7-2
7.2	表紙をつける (カバーシート)	7-4
7.3	別の用紙を挿入してコピーする (インターシート)	7-7
7.4	追加原稿を指定したページに差込む (差込みページ)	7-10
7.5	指定したページを必ずオモテ面に配置する (章分け)	7-12
7.6	原稿ごとに異なる設定で読みまとめてコピーする (プログラムジョブ)	7-15
7.7	原稿画像の濃淡を反転させてコピーする (ネガポジ反転)	7-19
7.8	見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする (ブック連写)	7-20
7.9	指定した範囲を繰り返しコピーする (リピート)	7-24
7.10	ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる (ページ連写)	7-28
7.11	とじしろをつくってコピーする (とじしろ)	7-30
7.12	原稿を用紙サイズに合わせてコピーする (画像の収め方)	7-33
7.13	雑誌や週刊誌のようなページレイアウトでコピーする (小冊子)	7-34
7.14	不要部分を消してコピーする (消去)	7-36
7.15	日付 / 時刻やページ数などを重ねてコピーする (スタンプ / ページ印字)	7-40
7.16	読み込んだ原稿をボックスに保存する (ボックス保存)	7-66

## 7.1 OHP フィルムの間に用紙を差込んでコピーする (OHP 合紙)

OHP フィルムにコピーする場合に、コピー後の熱で OHP フィルム同士が貼り付くのを防ぐために、間に用紙（合紙）を挿入します。

合紙は白紙のままで、OHP フィルムと同じ画像をコピーして挿入することもできます。



### 原則

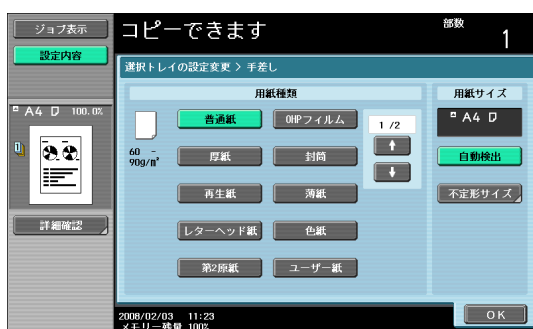
フィニッシャー機能は使用できません。

1  
2  
3

原稿をセットします。

OHP フィルムを手差しトレイにセットします。合紙用の用紙を目的の給紙トレイにセットします。

手差しトレイの用紙種類を [OHP フィルム] に設定し、[OK] を押します。



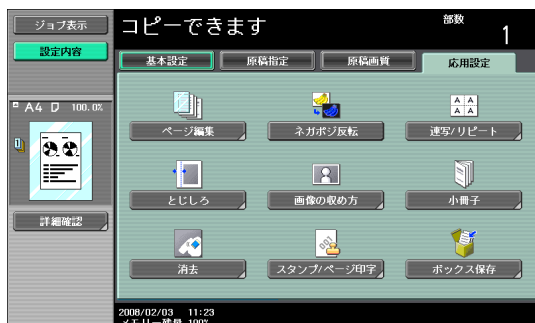
- ・ 原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をごらんください。
- ・ OHP フィルムの補給方法については、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-50) をごらんください。
- ・ 用紙種類の設定方法については、「[用紙種類を選択する](#)」(p. 6-15) をごらんください。

### ひとこと

合紙用の用紙は OHP フィルムと同じサイズの用紙を使用してください。

4

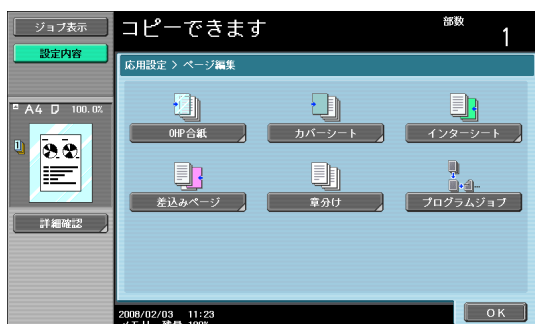
「[応用設定]」を押し、[ページ編集] を押します。



ページ編集画面が表示されます。

5

「[OHP 合紙]」を押します。



OHP 合紙画面が表示されます。

6

合紙用の用紙をセットした給紙トレイを選択します。



7

「合紙にコピー」で、[コピーする] または [コピーしない] を押します。

8

[OK] を押します。

9

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10

【スタート】を押します。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

### ひとこと

- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- ・OHP 合紙機能を解除するときは【しない】を押します。

### 詳しく説明します

コピー部数は 1 です。設定変更できません。

### 詳しく説明します

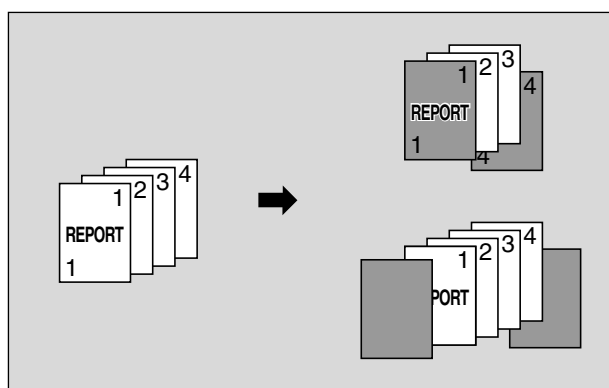
[コピーする] を選択した場合、合紙に OHP フィルムと同じ画像をコピーして挿入します。[コピーしない] を選択した場合、白紙のまま挿入します。

## 7.2 表紙をつける（カバーシート）

表紙と表紙を除く本文原稿で異なる用紙を使ってコピーしたり、コピーに異なる用紙の表紙をつけたりします。

カバーシートには以下の種類があり、表カバー、裏カバーの設定ができます。

機能名		説明
表カバー	[表コピー]	原稿の 1 枚目が表カバー用の用紙にコピーされます。 両面コピーの場合、原稿の 2 枚目は表カバー用の用紙の裏面にコピーされます。
	[表白紙]	コピーの 1 枚目に表カバー用の用紙が挿入されます。 両面コピーの場合も同様の結果となります。
裏カバー	[裏コピー]	原稿の最終ページが裏カバー用の用紙にコピーされます。 両面コピーの場合、原稿枚数が偶数のときは、原稿の最後 2 ページが裏カバー用の用紙に両面コピーされます。
	[裏白紙]	コピーの最終ページに裏カバー用の用紙が挿入されます。 両面コピーの場合も同様の結果となります。



1

原稿をセットします。



- ・原稿のセット方法については、[「原稿をセットする」](#) (p. 2-6) をご覧ください。
- ・原稿枚数が 80 枚を超える場合は、[「原稿を分割して読み込む（連続読み込み設定）」](#) (p. 2-9) をご覧ください。

2

表紙用の用紙と本文用の用紙をそれぞれ目的の給紙トレイにセットします。

3

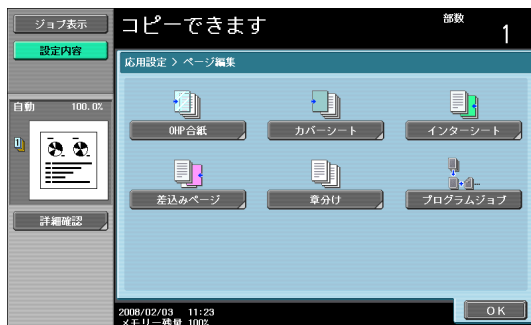
〔応用設定〕を押し、〔ページ編集〕を押しします。



ページ編集画面が表示されます。

4

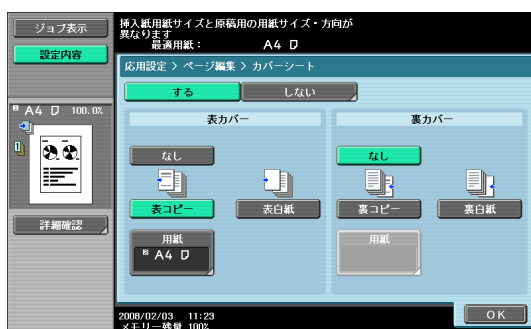
〔カバーシート〕を押しします。



カバーシート画面が表示されます。

5

表紙の設定を選択します。



6

設定に応じて、表カバーおよび裏カバーの〔用紙〕を押しします。それぞれのカバー用紙画面が表示されます。

### ひとこと

表紙用の用紙と本文用の用紙は同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。

### 参照

表紙に厚紙を使用する場合は、用紙の補給方法について「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-50) をごらんください。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押しします。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

### ひとこと

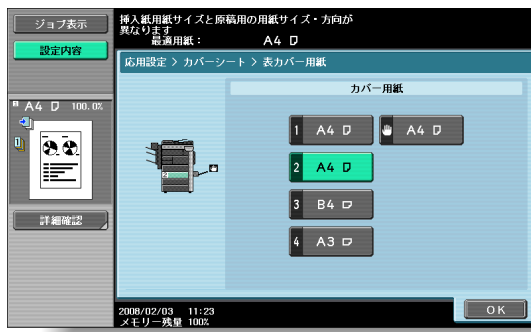
- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- ・カバーシート機能を解除するときは「しない」を押します。

### 詳しく説明します

表紙用の給紙トレイの初期設定は設定メニューで変更することができます。詳しくは、「[コピー設定](#)」(p. 11-30) の「インターシートトレイ選択」をごらんください。

7

表紙用の用紙をセットした給紙トレイを選択します。



8

[OK] を 3 回押します。

9

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10

テンキーでコピー部数を入力します。

11

【スタート】を押します。

## 7.3 別の用紙を挿入してコピーする（インターシート）

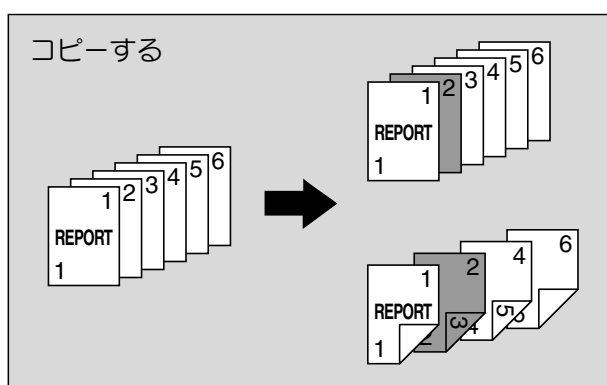
指定のページに別の用紙（色紙等）を挿入してコピーできます。

用紙の挿入方法には「コピーする」と「コピーしない」の2種類があり、挿入紙にコピーするかしないかを選択できます。片面コピーや両面コピーと組み合わせると、以下のような仕上りになります。

「コピーする」を設定した場合、指定ページに指定用紙が挿入され、原稿がコピーされます。

指定ページを「2」に設定したとき

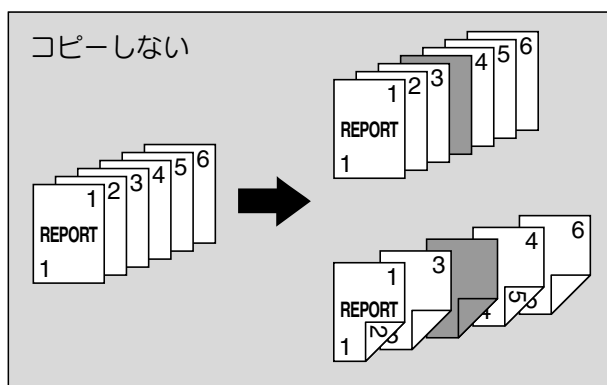
仕上り	説明
片面コピー	コピーの2枚目に指定用紙が挿入され、原稿2ページ目がコピーされます。
両面コピー	コピーの1枚目ウラ面が白紙でコピーされ、コピーの2枚目に指定用紙が挿入され、原稿2ページ目と3ページ目が両面コピーされます。



「コピーしない」を設定した場合、指定ページの後ろに指定用紙が挿入されます。

指定ページを「3」に設定したとき

仕上り	説明
片面コピー	コピーの4枚目に指定用紙が挿入されます。
両面コピー	コピーの2枚目ウラ面が白紙でコピーされ、コピーの3枚目に指定用紙が挿入されます。



- ・最大 999 ページまでの原稿に、最大 30 箇所まで指定用紙を挿入することができます。
- ・両面原稿の場合、両面原稿 1 枚は表裏 2 ページ分とみなして設定します。

1

原稿をセットします。

2

挿入用紙と本文用紙を、それぞれ目的の給紙トレイにセットします。

3

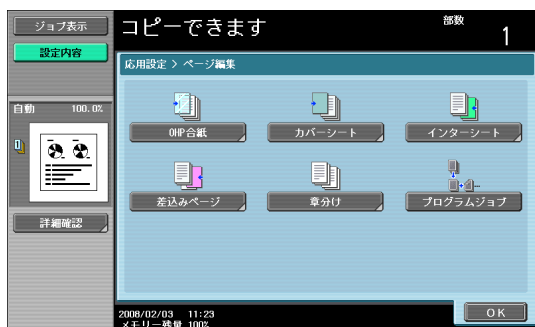
〔応用設定〕を押し、〔ページ編集〕を押しします。



ページ編集画面が表示されます。

4

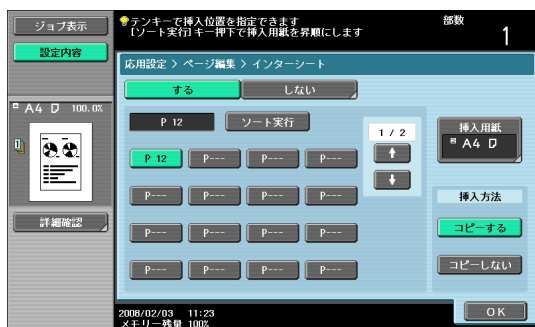
〔インターシート〕を押しします。



インターシート画面が表示されます。

5

ページを入力するキーを押してから、テンキーで用紙を挿入するページを指定します。



6

〔挿入用紙〕を押しします。

挿入用紙画面が表示されます。



- ・原稿のセット方法については「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6)をごらんください。
- ・原稿枚数が 80 枚を超える場合は、「[原稿を分割して読み込む（連続読み設定）](#)」(p. 2-9)をごらんください。

#### ひとこと

- ・挿入紙と原稿用の用紙は同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。
- ・全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。



挿入紙に厚紙を使用する場合は、用紙の補給方法について、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-50)をごらんください。

#### ひとこと

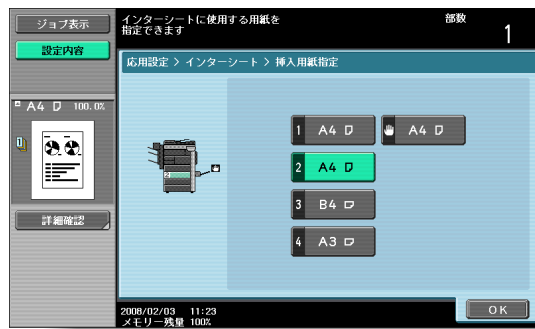
- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- ・インターシート機能を解除するときは「しない」を押します。



- ・インターシート画面は 2 画面に分かれています。〔↑〕または〔↓〕で切替えて表示します。
- ・〔ソート実行〕を押すと、ページ順が小さい順に並びかわります。
- ・入力したページを削除する場合は、削除するページを押し、【C】で削除します。
- ・入力したページが原稿総ページ数より大きい場合、用紙は挿入されません。

7

挿入用紙をセットした給紙トレイを選択し、[OK] を押します。



8

「挿入方法」で、[コピーする] または [コピーしない] を押します。

9

[OK] を 2 回押します。

10

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11

テンキーでコピー部数を入力します。

12

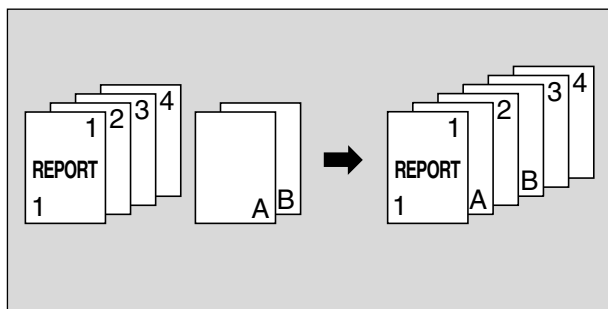
【スタート】を押します。

#### 詳しく説明します

[コピーする] を設定した場合、指定ページに指定用紙が挿入され原稿がコピーされます。[コピーしない] を設定した場合、指定ページの後ろに指定用紙が挿入されます。

## 7.4 追加原稿を指定したページに差し込む（差し込みページ）

最初に ADF で読込んだ原稿に、あとから原稿ガラスで読込んだ複数の原稿を、指定の位置に差し込みます。差し込みページでは、指定したページの後ろに差し込み原稿が挿入されます。



1

原稿を ADF にセットします。

2

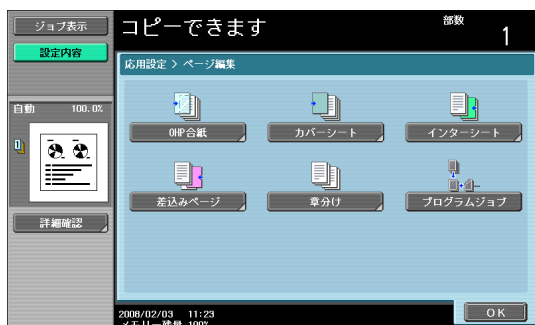
〔応用設定〕を押し、〔ページ編集〕を押しします。



ページ編集画面が表示されます。

3

〔差し込みページ〕を押しします。



差し込みページ画面が表示されます。

### 詳しく説明します

- ・最大 999 ページまでの原稿に、最大 30 箇所まで別の原稿を差し込むことができます。
- ・両面原稿の場合、両面原稿 1 枚は表裏 2 ページ分とみなして設定します。

### 参照

- ・原稿のセット方法については「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6)をごらんください。
- ・原稿枚数が 80 枚を超える場合は、「[原稿を分割して読込む（連続読込み設定）](#)」(p. 2-9)をごらんください。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

### ひとこと

- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- ・差し込みページ機能を解除するときは【しない】を押します。

4

テンキーで差し込みページを指定します。



5

【OK】を押します。

6

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

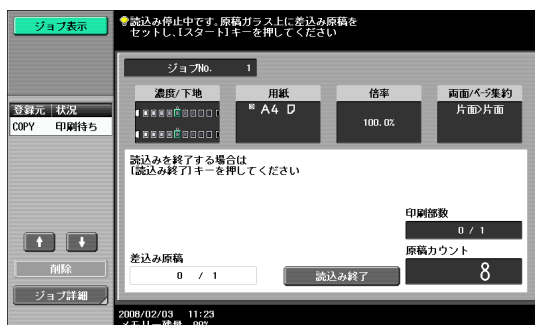
7

テンキーでコピー部数を入力します。

8

【スタート】を押します。

読み込みが開始されます。



9

差し込み原稿を、原稿ガラス上にセットします。

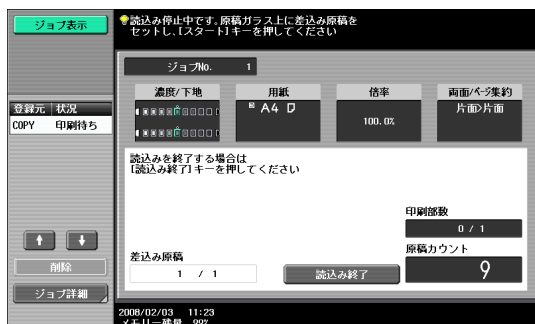
10

【スタート】を押します。

読み込みが開始されます。

11

【読み込み終了】を押します。



12

【スタート】を押します。

### 詳しく説明します

- ・差し込みページ画面は2画面に分かれています。[↑] または [↓] で切替えて表示します。
- ・指定したページの後ろにあとから読み込んだ原稿が差し込まれます。
- ・[ソート実行] を押し、ページ順が小さい順に並びかわります。
- ・入力したページを削除する場合は、削除するページを押し、【C】で削除します。
- ・差し込みページ画面で指定したページ数よりも多い原稿を、原稿ガラスで読み込んだ場合、残りの差し込み原稿は最終ページのあとに続けて印刷されます。
- ・差し込みページ画面で指定したページ数よりも少ない原稿を、原稿ガラスで読み込んだ場合、原稿が不足している差し込みページは印刷されません。
- ・同じページを2度入力しても、該当箇所に差し込み原稿1枚分が差し込まれます。
- ・入力したページが差し込まれる原稿の総ページ数より大きい場合、該当の差し込み原稿は最終ページの後ろに差し込まれます。

### 参照

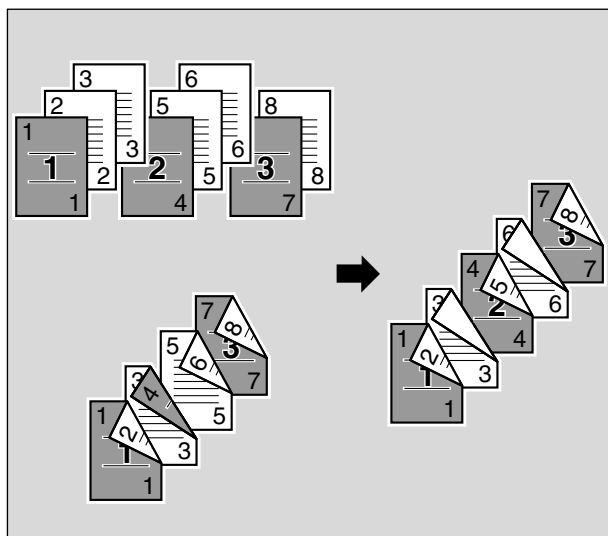
原稿のセット方法については「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

### 詳しく説明します

複数枚の原稿を差し込む場合は、手順9と10を繰り返して、全ての差し込み原稿を差し込む順に読み込みます。

## 7.5 指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け）

両面コピーする場合に、章の先頭ページを指定するとそのページが必ずオモテ面になるようにコピーします。指定ページがコピーのウラ面になる場合には白紙ページが挿入され、指定ページは次のページのオモテ面にコピーされます。また指定ページを別の用紙でコピーできます。



### 原則

章分け紙と原稿用のコピー用紙が異なる場合は、用紙サイズと向きを合わせてセットします。

1

原稿をセットします。

2

〔応用設定〕を押し、〔ページ編集〕を押しします。



ページ編集画面が表示されます。

### 詳しく説明します

- ・最大 999 ページまでの原稿で、最大 30 箇所までオモテ面にしたいページを指定できます。
- ・両面原稿の場合、両面原稿 1 枚は表裏 2 ページ分とみなして設定します。

### 参照

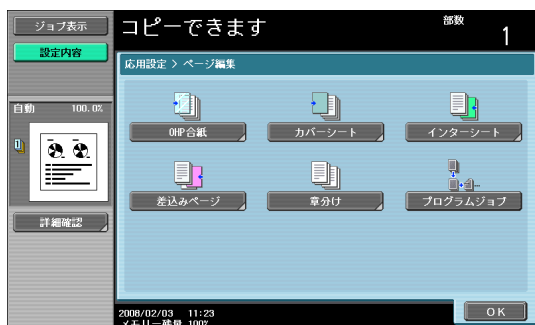
- ・原稿のセット方法については「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6)をごらんください。
- ・原稿枚数が 80 枚を超える場合は、「[原稿を分割して読み込む \(連続読み込み設定\)](#)」(p. 2-9)をごらんください。

### 詳しく説明します

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

3

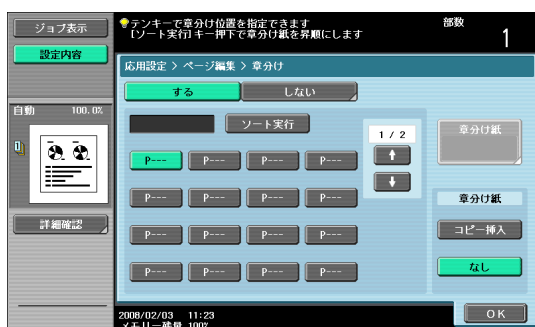
「[章分け]」を押します。



章分け（編集）画面が表示されます。

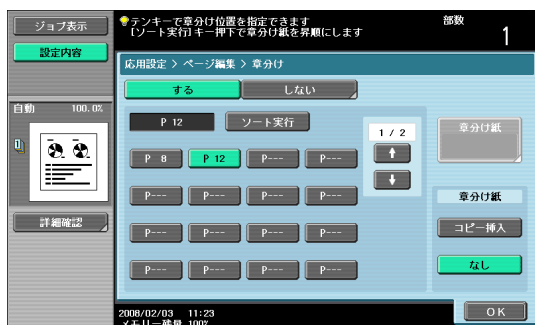
4

テンキーで章の先頭ページを指定します。



5

「章分け紙」で「[コピー挿入]」または「[なし]」を押します。



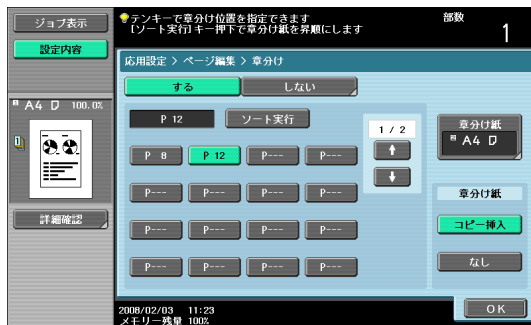
#### 詳しく説明します

- ・章分け画面は2画面に分かれています。[↑] または [↓] で切替えて表示します。
- ・[ソート実行] を押すと、ページ順が昇順に並びかわります。
- ・入力したページを削除する場合は、削除するページを押し、【C】で削除します。
- ・原稿＞コピー機能は片面＞両面に設定されます。
- ・入力したページが原稿総ページ数より大きい場合、無効になります。

#### ひとこと

- ・「[なし]」を選択すると全て同じ用紙でコピーされます。
- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- ・章分け機能を解除するときは「[しない]」を押します。

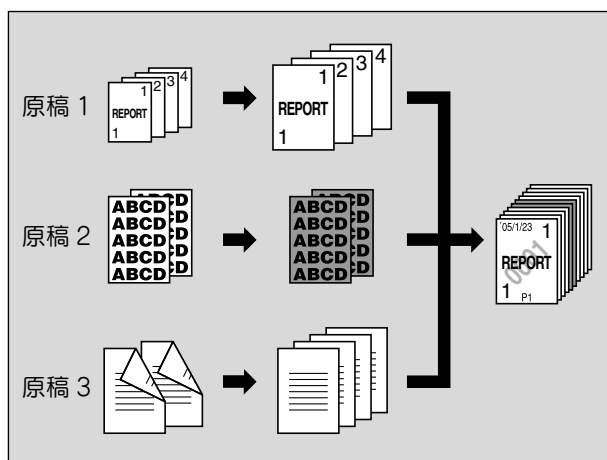
- [コピー挿入] を選択すると [章分け紙] が表示されます。  
[章分け紙] を押し、章分け紙画面で章の先頭ページに使用する用紙を選択して [OK] を押します。



- 6 [OK] を押します。
- 7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 8 テンキーでコピー部数を入力します。
- 9 【スタート】を押します。

## 7.6 原稿ごとに異なる設定で読み込みまとめてコピーする (プログラムジョブ)

セットする原稿ごとに異なる設定で読み込み、1 度にまとめてコピーします。1 部の原稿のみ倍率や用紙を変更したり、全ての原稿を読み込んだあとで仕上り機能やナンバリングを設定してコピーすることができます。



### 原則

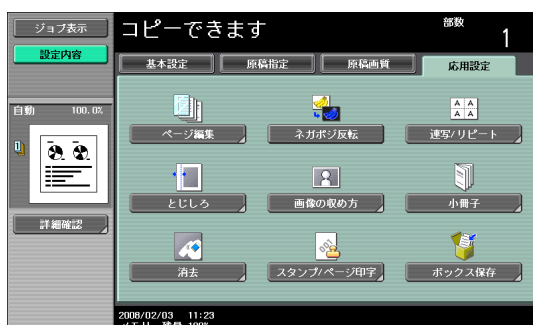
原稿は 10 束まで設定できます。

1

原稿をセットします。

2

〔応用設定〕を押し、〔ページ編集〕を押しします。



ページ編集画面が表示されます。

### ひとこと

プログラムジョブを設定する場合、仕上りの〔グループ (ページごと)〕を選択することはできません。〔ソート (1 部ごと)〕を選択してください。



原稿のセット方法については「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。



詳しく説明します

読み込んだ原稿のデータをボックスに保存するとき、ボックス内のページ数が 10,000 ページを超えた場合、読み込んだデータが破棄されます。

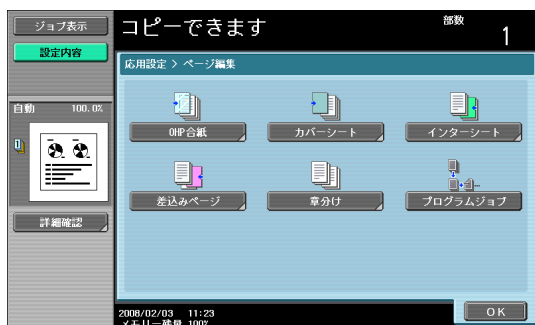


詳しく説明します

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

3

「プログラムジョブ」を押し、[OK] を押します。



4

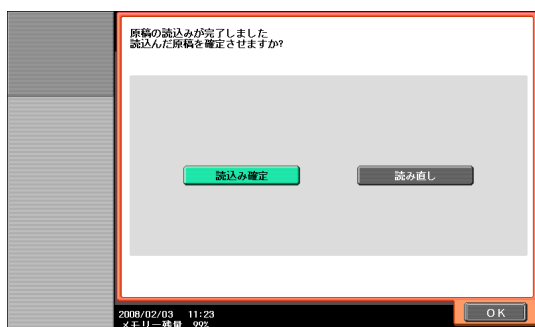
目的のコピー条件を設定して、【スタート】を押します。

○【確認コピー】を押すとプレビュー画像または1部だけの印刷で、仕上りを確認できます。

読み込みが開始されます。

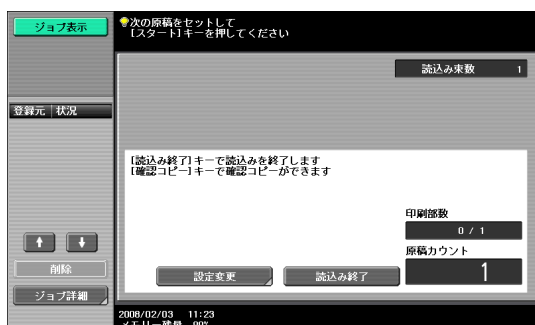
5

「読み込み確認」を選択して[OK]を押します。



6

次の原稿をセットして「設定変更」を押します。



#### ひとこと

- ・原稿を原稿ガラス上にセットした場合は、表示される原稿読み込み終了の確認画面で「読み込み終了」を押します。
- ・「読み直し」を選択した場合、「設定変更」を押してコピー条件を変更できます。

7

目的のコピー条件を設定して、【スタート】を押します。



○【確認コピー】を押すと1部のみ印刷され、仕上りを確認できます。

読み込みが開始されます。読み込んだあと、「読み込み確定」を選択して【OK】を押します。

8

全ての原稿を読み込んだあと、「読み込み終了」を押します。

読み込み終了の確認画面が表示されます。

9

【はい】を選択して【OK】を押します。



10

必要に応じて、仕上りのコピー条件を設定します。



### 詳しく説明します

- ・手順5～7を繰り返して、全ての原稿を読み込みます。画面左下部の「メモリ残量」表示で、メモリーの残量が確認できます。また「読み込み束数」で原稿束数が確認できます。
- ・メモリー不足の場合、メッセージが表示されます。最後の原稿データを破棄して読みみなおす、または最後の原稿データを破棄して印刷する、または全ての原稿データを破棄するのいずれかを選択します。

### 参照

各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

### ひとこと

【中止】を押すと設定は変更されません。

### ひとこと

【いいえ】を選択した場合、「設定変更」を押してコピー条件を変更できます。

### 参照

各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

- [印刷] を押すと、読み込んだ全ての原稿に対して印刷方法を設定できます。



#### ひとこと

[中止] を押すとデータ破棄の確認画面が表示されます。印刷を中止する場合は、[はい] を選択して [OK] を押します。

11

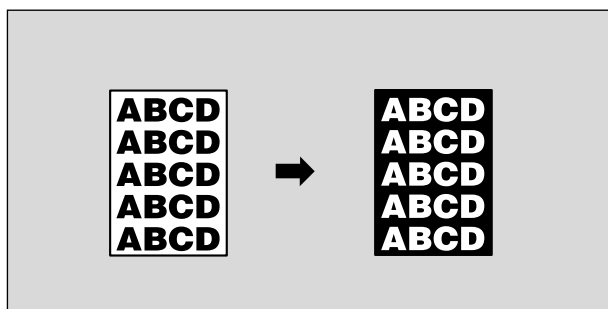
テンキーでコピー部数を入力します。

12

[実行] または【スタート】を押します。

## 7.7 原稿画像の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転）

原稿の濃淡および色（階調）を反転させてコピーします。



1

原稿をセットします。

2

【ネガポジ反転】を押し、【OK】を押します。



3

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

4

テンキーでコピー部数を入力します。

5

【スタート】を押します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

### ひとこと

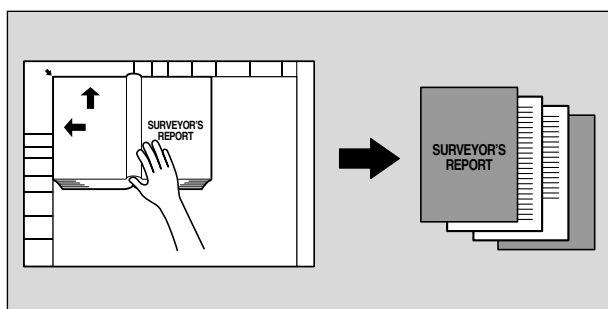
ネガポジ反転機能を解除するときは再度【ネガポジ反転】を押します。

## 7.8 見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）

本やカタログなどをコピーする場合に、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとしてコピーできます。

ブック連写には以下の種類があり、設定を変えずに本の表力バー、裏力バーのコピーをつけることもできます。

機能名	説明
[見開き]	見開き原稿が 1 ページ分の原稿としてコピーされます。
[分割]	見開き原稿がページ順に左右 1 ページずつ分割してコピーされます。使用する用紙サイズに合わせて原稿を読み込みます。
[表力バー]	表力バー + ページ順の分割コピーの順でコピーされます。
[表 + 裏力バー]	表力バー + ページ順の分割コピー + 裏力バーの順でコピーされます。



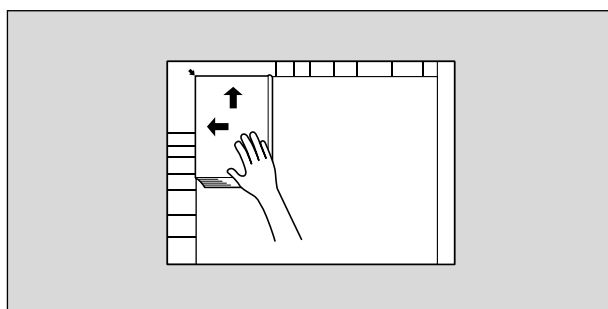
### 原則

原稿は原稿ガラス上にセットし、ADF を開けたままにします。

1

原稿ガラス上に最初のページからセットします。

- 表紙のコピーをつける場合は、最初に表力バーをセットします。



2

使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。



参照  
原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。



必ず守ってください

「表 + 裏力バー」を選択する場合、原稿の読み込みは、表力バー、裏力バー、見開き本文原稿の順に行ってください。

3

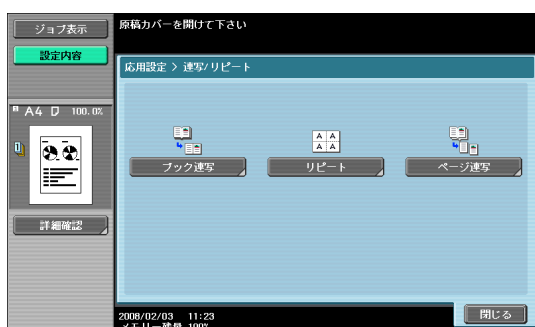
「[応用設定]」を押し、「[連写 / リピート]」を押します。



連写 / リピート画面が表示されます。

4

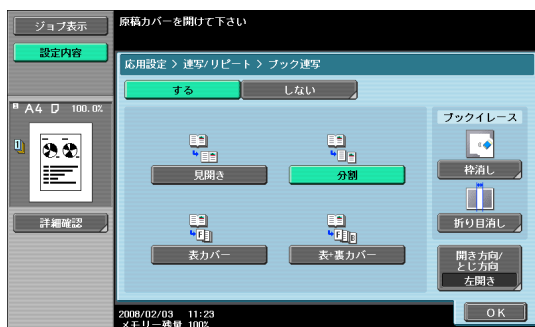
「[ブック連写]」を押します。



ブック連写画面が表示されます。

5

目的の仕上り設定を選択します。



#### ひとこと

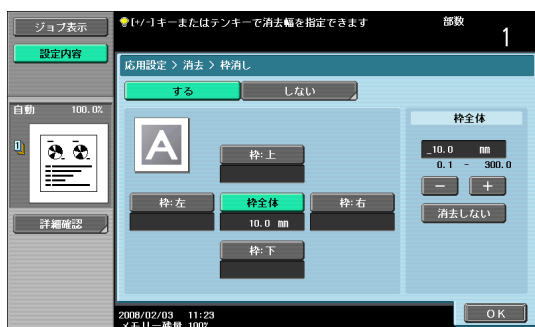
全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

#### ひとこと

ブック連写機能を解除するときは【しない】を押します。

- [分割] [表力バー] [表 + 裏力バー] を選択すると、「開き方向 / とじ方向」が表示されます。原稿のと同じ方向に合わせて選択します。
- 必要に応じて、「ブックイレース」を設定します。イレース方法を選択し、任意の設定をして、[OK] を押します。

< 枠消し画面 >



< 折り目消し画面 >



#### 詳しく説明します

「ブックイレース」を設定すると、周囲や中央部にできる黒い影を消すことができます。「ブックイレース」は組合わせて使用できます。

#### 参照

[枠消し]、[折り目消し] については、「不要部分を消してコピーする（消去）」(p. 7-36) をごらんください。

#### ひとこと

応用設定画面で枠消し、または折り目消し機能を設定している場合は、「ブックイレース」の[枠消し]または[折り目消し]が反転されます。

#### 詳しく説明します

- ・ テンキーで設定する場合は、【C】を押して入力します。
- ・ 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または消去幅の入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

6

[OK] を押し、[閉じる] を押します。

7

基本設定画面で [用紙] を押し、用紙をセットした給紙トレイを選択します。



8

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9

テンキーでコピー部数を入力します。

#### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

10

【スタート】を押します。

読み込みが開始されます。

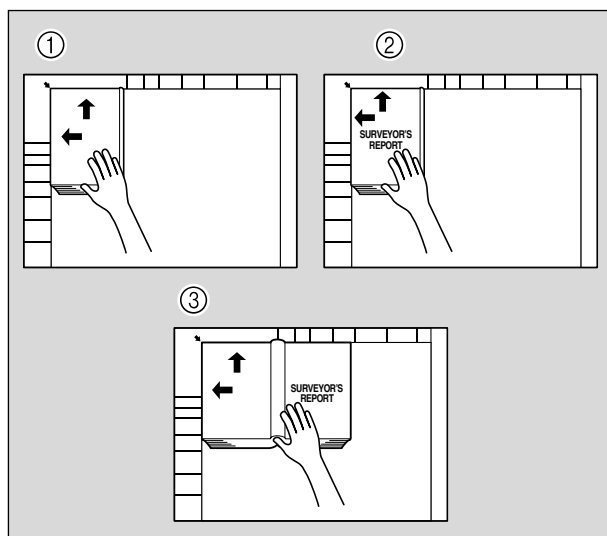
〔見開き〕または〔分割〕を選択している場合は、出力が開始されます。

〔表力バー〕または〔表 + 裏力バー〕を選択している場合は、手順 11 へ進みます。

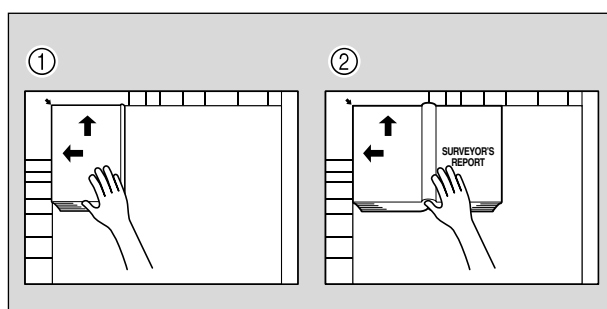
11

全ての原稿を読み込み、〔読み込み終了〕を押します。

- 〔表 + 裏力バー〕を選択した場合は、表力バーを読み込んだあと、裏力バーを読み込み、最後に見開き本文原稿をページ順に読み込みます。



- 〔表力バー〕を選択した場合は、表力バーを読み込んだあと、見開き本文原稿をページ順に読み込みます。



12

【スタート】を押します。



原稿の読み込みについては、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」(p. 2-12) をご覧ください。



詳しく説明します

原稿をセットしたあと、手順 10 の操作を繰り返し、全ての原稿を読み込みます。

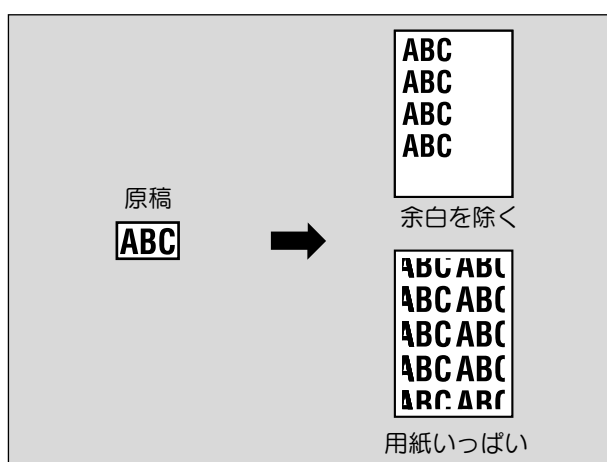
## 7.9 指定した範囲を繰り返しコピーする（リピート）

1 枚の原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返しコピーできます。

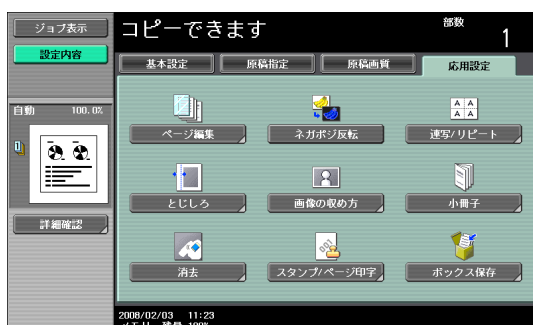
原稿と用紙のサイズまたは倍率により、繰り返し可能な画像の数を自動的に検出してコピーします。

リピートには以下の種類があり、仕上りを設定できます。

機能名	説明
[余白を除く]	画像の選択範囲が全て収まるように複数コピーされます。選択範囲が収まりきらない部分は余白として残されます。
[用紙いっぱい]	画像の選択範囲が用紙サイズいっぱいまで複数コピーされます。ただし、画像の欠ける部分があります。
[定型リピート]	画像の選択範囲を一定の回数用紙に繰り返しコピーします。繰り返し回数は 2、4、8 回から選べます。ただし、用紙の分割範囲に収まりきらない画像は欠けた状態になります。



- 1 原稿をセットします。
- 2 使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。
- 3 [応用設定] を押し、[連写 / リピート] を押します。



連写 / リピート画面が表示されます。



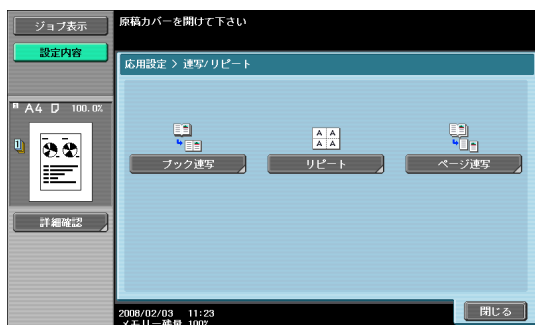
原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

4

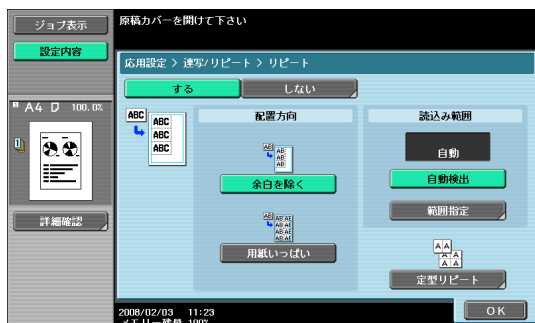
「[リピート]」を押します。



リピート画面が表示されます。

5

「配置方向」の「余白を除く」または「用紙いっぱい」を押すか、「定型リピート」を押します。



- 「[定型リピート]」を押した場合は、表示される定型リピート画面でリピート回数を設定します。  
「[2 リピート]」を選択した場合、「[リピート間隔指定]」を押すとリピート間隔を指定できます。



#### ひとこと

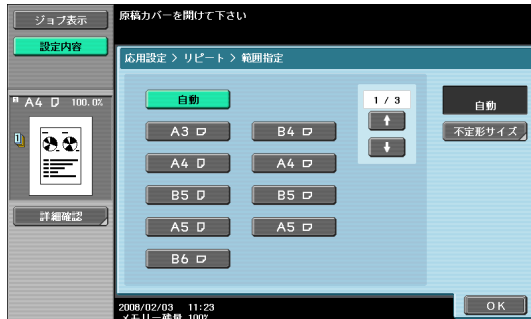
リピート機能を解除するときは「[しない]」を押します。

6

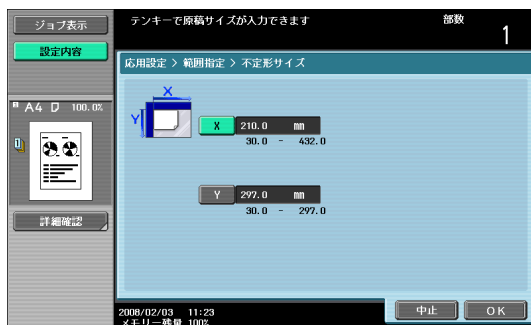
「読み込み範囲」を確認し、[OK] を押し、[閉じる] を押します。

- 「読み込み範囲」に原稿サイズが自動検出されなかったり、読み込み範囲を指定する場合は、[範囲指定] を押し、いずれかの画面で読み込み範囲を指定します。

<範囲指定画面>



<不定形サイズ画面>



#### 詳しく説明します

- ・[↑] または [↓] で、定形サイズの表示を切替えます。
- ・[不定形サイズ] を押すと、不定形画面が表示されます。[X] または [Y] を選択しテンキーで数値を入力します。（数値が入っている場合は、【C】を押してからテンキーで入力します。）
- ・範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または原稿サイズの入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

#### ひとこと

[中止] を押すと設定は変更されません。

7

基本設定画面で「用紙」を押し、用紙をセットした給紙トレイを選択します。



- [定型リピート] を選択した場合は、基本設定画面で [倍率] を押して倍率設定をします。



8

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9

テンキーでコピー部数を入力します。

10

【スタート】を押します。

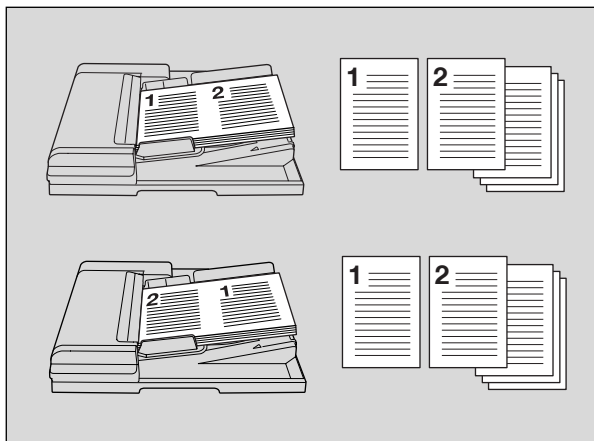
#### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

## 7.10 ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる (ページ連写)

ADF にセットできる見開き原稿を ADF にセットし、左右ページを 1 ページずつ分割してコピーします。

1 枚の原稿を左右に分割し、コピーします。片面コピーの場合は左右で 2 枚、両面コピーの場合は表裏で 1 枚コピーされます。



1

原稿を ADF にセットします。

2

A4 □、B5 □、または 8-1/2x11□ の用紙を任意の給紙トレイにセットします。

3

[用紙] を押します。



4

A4 □、B5 □、または 8-1/2x11□ の用紙サイズを選択します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

5

「[応用設定]」を押し、「[連写 / リピート]」を押します。



連写 / リピート画面が表示されます。

6

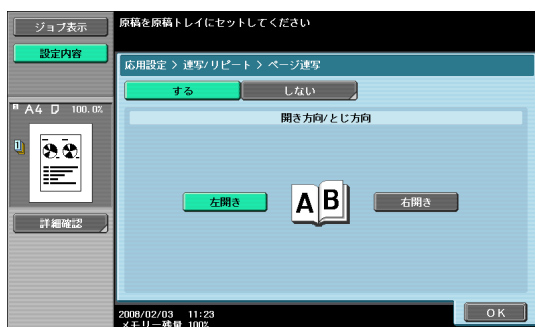
「[ページ連写]」を押します。



ページ連写画面が表示されます。

7

原稿に合わせて「開き方向 / とじ方向」を選択します。



8

「[OK]」を押し、「[閉じる]」を押します。

9

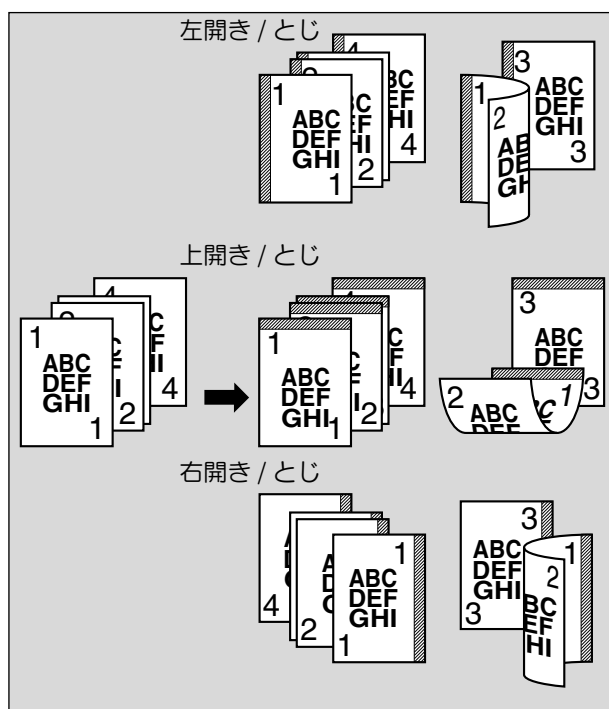
必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10

「[スタート]」を押します。

## 7.11 とじしろをつかってコピーする（とじしろ）

原稿の画像をファイリングしやすいように、用紙にとじしろ（余白）をつかってコピーします。両面コピーする場合、とじしろ位置を指定することにより画像の向きを補正できます。また、とじしろはつくらずに画像の向きのみを補正することもできます。



### 詳しく説明します

ステープルやパンチの位置指定ととじしろの位置が異なる場合、ステープルやパンチ位置の設定が優先されます。

1

原稿をセットします。

2

〔応用設定〕を押し、〔とじしろ〕を押します。



とじしろ画面が表示されます。

### 参照

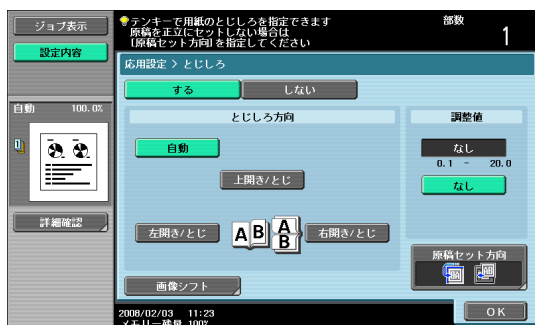
原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

3

とじしろ方向を選択します。



4

テンキーでとじしろ幅を入力します。

- [なし] が設定されている場合、とじしろ幅が 0 mm に設定されます。両面コピーする場合に、とじしろはつくらずに画像の向きのみを補正することができます。

5

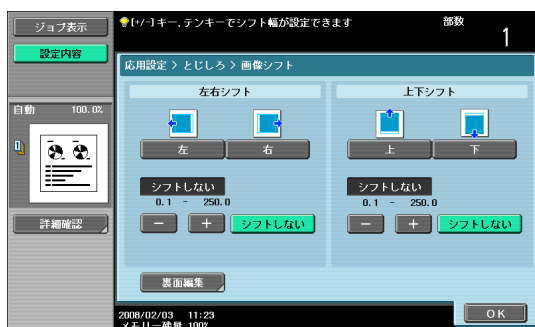
必要に応じて、[画像シフト] を押します。

画像シフト画面が表示されます。

6

画像の位置を調整して、[OK] を押します。

- [左] [右] [上] [下] から調整する方向を押し、テンキーでシフト幅を入力するか、[+] [-] を押してシフト幅を設定します。
- シフトを解除するには、[シフトしない] を押します。



- [裏面編集] を押すと、両面コピー時のウラ面の画像位置を調整できます。



### ひとこと

- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- ・とじしろ機能を解除するときは[しない]を押します。
- ・出荷時設定では[自動]が設定されています。
- ・[自動]を押すと、原稿の方向から用紙へのとじしろ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろ位置を設定します。
- ・[自動]を設定した場合は、上側または左側のとじしろ位置が設定されます。
- ・[自動]によりとじしろの位置を指定する場合は、必ず原稿の天部が奥側になるようにセットしてください。それ以外の向きだと、正しく設定できません。

### 詳しく説明します

- ・範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、またはとじしろ幅の入力を間違えた場合は、[なし]または【C】を押して入力しなおします。
- ・とじしろ幅の数値を保持したまま、とじ位置を変更できます。

### 参照

原稿セット方向については、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 2-20) をご覧ください。

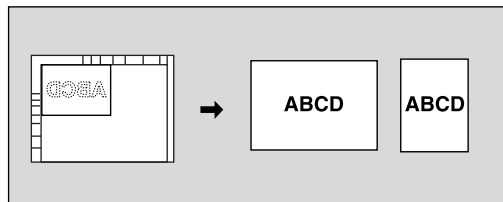
- 7 必要に応じて、[原稿セット方向] を押し、原稿のセットされている向きを指定します。
- 8 [OK] を押します。
- 9 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 10 テンキーでコピー部数を入力します。
- 11 【スタート】を押します。

## 7.12 原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方）

画像位置を調整してコピーします。

〔センタリング〕は原稿画像を用紙の中央に配置してコピーします。

機能名	説明
〔センタリング〕	画像が拡大されずに、用紙の中央にコピーされます。



1

原稿をセットします。

2

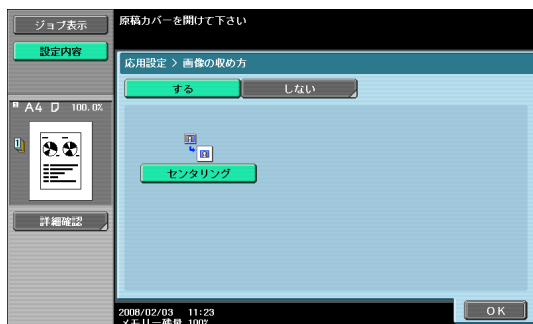
〔応用設定〕を押し、〔画像の収め方〕を押しします。



画像の収め方画面が表示されます。

3

〔センタリング〕の反転を確認し〔OK〕を押しします。



4

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

5

テンキーでコピー部数を入力します。

6

〔スタート〕を押しします。

### 参照

原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押しします。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

### ひとこと

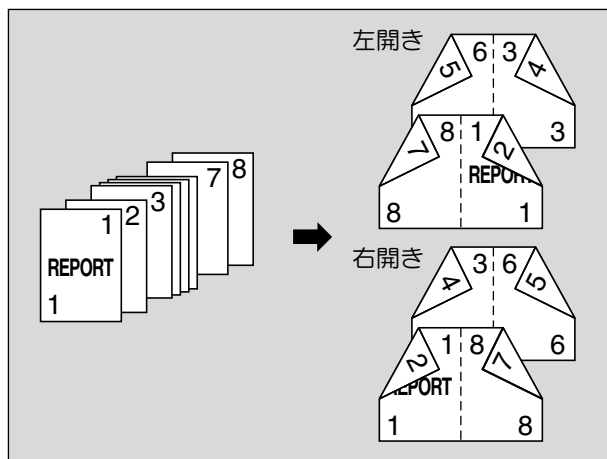
センタリング機能を解除するときは〔しない〕を押しします。

### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

## 7.13 雑誌や週刊誌のようなページレイアウトでコピーする (小冊子)

雑誌や週刊誌のように中とじ用のページレイアウトになるよう、読込んだ原稿のページ順を自動的に入れ替えて両面コピーします。オプションのフィニッシャーに中綴じ機が装着されている場合、ステープルでとじることができます。



1

原稿をセットします。

2

〔応用設定〕を押し、〔小冊子〕を押します。



3

〔左開き〕または〔右開き〕を押します。



### 詳しく説明します

原稿枚数は片面原稿の場合は4の倍数、両面原稿の場合は2の倍数が基本です。足りない場合は、自動的に白紙画像を末尾に挿入します。

### 参照

ステープルとじについては、「[用紙の中央をとじて排紙する\(中とじ\)](#)」(p. 2-62)をごらんください。

### 参照

- ・原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6)をごらんください。
- ・原稿枚数が80枚を超える場合は、「[原稿を分割して読込む\(連続読込み設定\)](#)」(p. 2-9)をごらんください。

### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

### ひとこと

- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- ・小冊子機能を解除するときは【しない】を押します。

### 詳しく説明します

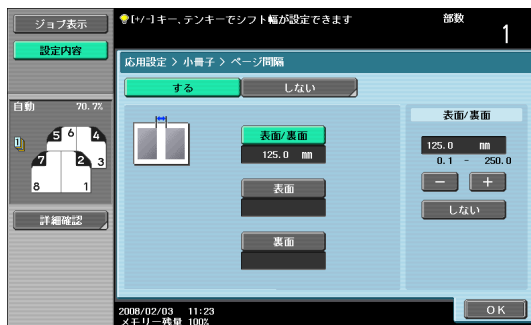
- ・とじしろ幅は自動的に設定されます。
- ・原稿がランドスケープ原稿の場合、どちらを選択しても上とじになります。

- 画像位置を上下左右に任意に調整したいときは、[画像シフト] を押し、シフト幅を設定して [OK] を押します。



画像シフトの設定については「[とじしろをつくってコピーする \(とじしろ\)](#)」(p. 7-30) をごらんください。

- 左右に配置される画像間隔を調整したいときは、[ページ間隔] を押します。表面、裏面を同じ幅に調整するときは [表面 / 裏面]、表面、裏面を個別に調整するときは [表面]、[裏面] をそれぞれ選択し、テンキーまたは [-]、[+] で調整値を入力して、[OK] を押します。



4

[OK] を押します。

5

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

6

テンキーでコピー部数を入力します。

7

【スタート】を押します。

## 7.14 不要部分を消してコピーする（消去）

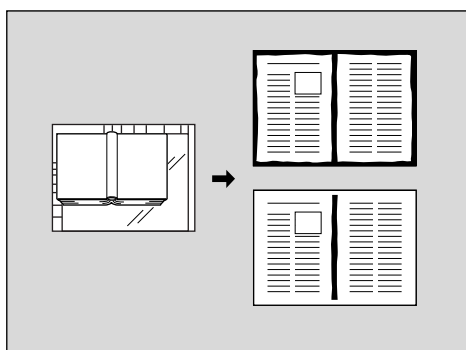
原稿を読み込むときに、コピーの周囲や中央部、パンチ穴などに黒い影ができることがあります。この機能を設定することで、それらの黒い影を消してコピーし、トナーの消費をおさえることができます。

機能名	説明
[ 枠消し ]	本など、厚みのある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーするとできるコピー画像の周囲の影を消去してコピーします。 周囲に影ができてしまった原稿から影を消去したコピーができます。
[ 折り目消し ]	本など、厚みのある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーするとできるコピー画像中央の折り目やとじ部分の影を消去してコピーします。 中央に影ができてしまった原稿から影を消去したコピーができます。
[ 原稿外消去 ]	原稿ガラスにセットした原稿の大きさを検知して、原稿外側の部分を消去してコピーします。

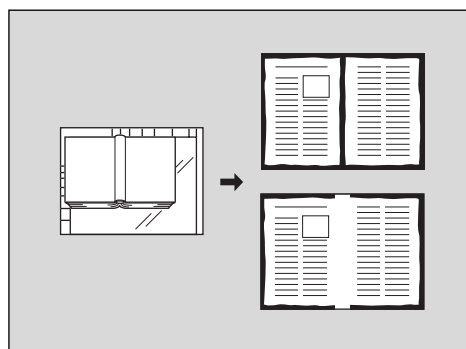


- ・ 枠消しに関しては、[p. 7-37](#) をごらんください。
- ・ 折り目消しに関しては、[p. 7-38](#) をごらんください。
- ・ 原稿外消去に関しては、[p. 7-39](#) をごらんください。

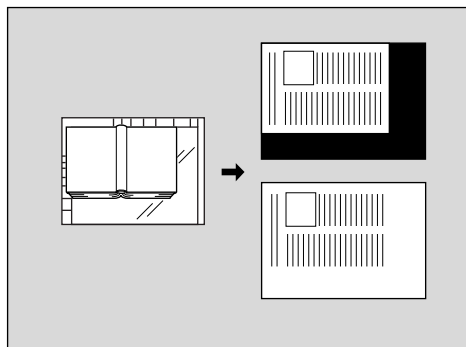
[ 枠消し ]



[ 折り目消し ]



[ 原稿外消去 ]



### 7.14.1 周囲 4 辺の不要部分を消してコピーする（枠消し）

1

原稿をセットします。

2

〔応用設定〕を押し、〔消去〕を押しします。



3

消去画面が表示されます。

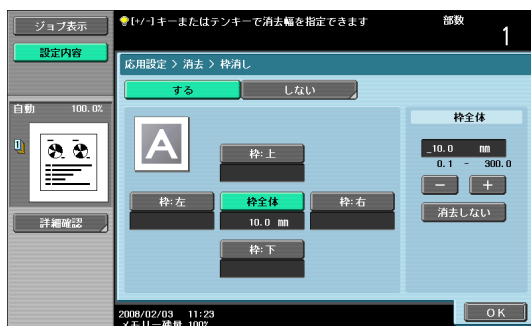
〔枠消し〕を押しします。



4

枠消し画面が表示されます。

枠消しの消去位置を選択します。



5

[-], [+] または [消去しない] で消去幅を設定します。

- 消去位置によって異なる消去幅を設定する場合、〔枠：上〕、〔枠：左〕、〔枠：右〕、〔枠：下〕の全てをそれぞれ設定します。

6

〔OK〕を押しします。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

#### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押しします。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

#### ひとこと

- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。
- ・枠消し機能を解除するときは [しない] を押しします。
- ・出荷時設定では「枠全体」が設定されています。
- ・〔枠全体〕は、原稿の周囲 4 辺が同じ幅で消去されます。
- ・〔枠全体〕はその他のキー（〔枠：上〕、〔枠：左〕、〔枠：右〕、〔枠：下〕）と同時設定できません。

#### ひとこと

枠消し機能を解除するには [しない] を押しします。

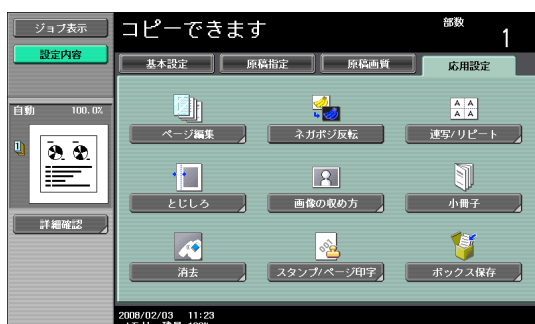


- ・テンキーで設定する場合は、【C】を押して入力します。
- ・範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または消去幅の入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおします。

- 7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 8 テンキーでコピー部数を入力します。
- 9 【スタート】を押します。

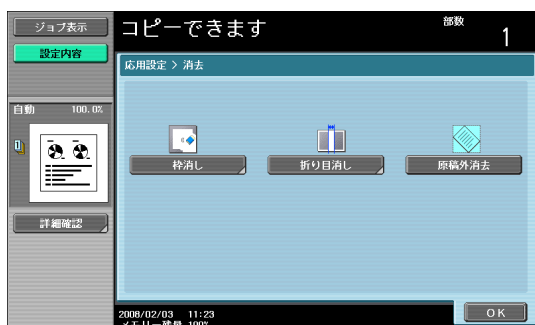
### 7.14.2 中央の不要部分を消してコピーする（折り目消し）

- 1 原稿をセットします。
- 2 [応用設定] を押し、[消去] を押します。



消去画面が表示されます。

- 3 [折り目消し] を押します。



折り目消し画面が表示されます。

- 4 [－]、[＋] またはテンキーで消去幅を設定します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

#### ひとこと

折り目消し機能を解除するときは[しない]を押します。

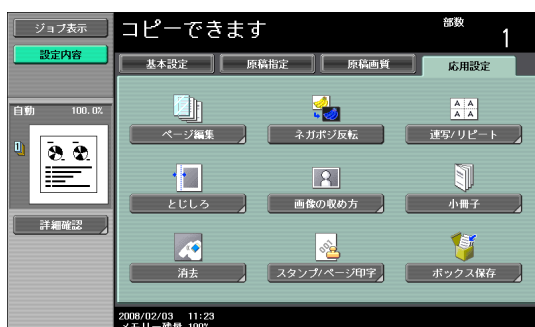
#### 詳しく説明します

- ・テンキーで設定する場合は、【C】を押して入力します。
- ・範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合は、【C】を押して入力しなおします。

- 5 [OK] を押します。
- 6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 7 テンキーでコピー部数を入力します。
- 8 [スタート] を押します。

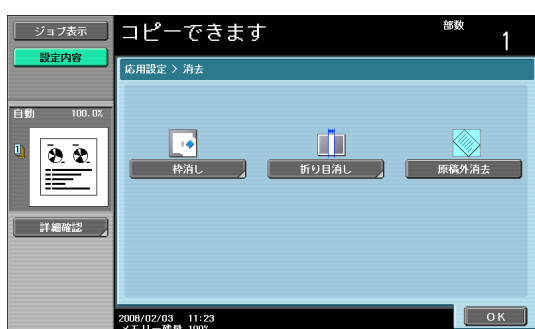
### 7.14.3 原稿外側の影を消してコピーする（原稿外消去）

- 1 原稿をセットします。
- 2 [応用設定] を押し、[消去] を押します。



消去画面が表示されます。

- 3 [原稿外消去] を押し、[OK] を押します。



- 4 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 5 テンキーでコピー部数を入力します。
- 6 [スタート] を押します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

#### ひとこと

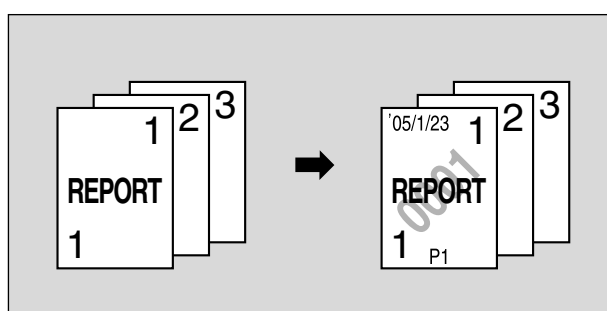
原稿外消去機能を解除するときは再度 [原稿外消去] を押します。

## 7.15 日付 / 時刻やページ数などを重ねてコピーする (スタンプ / ページ印字)

印字位置を指定して日付 / 時刻やページ番号を入れたり、複数部コピーする場合に管理番号を入れてコピーします。

下記の種類があり、組合わせて使用できる機能もあります。

機能名	説明
[日付 / 時刻]	表記形式を選択し、指定したページに日付や時刻を印字します。
[ページ番号]	表記形式を選択し、指定した番号からページ数を印字します。
[スタンプ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定型スタンプ あらかじめ登録された定型スタンプをページに重ねて印字します。</li> <li>・ 登録スタンプ Copy Protection Utility で登録したスタンプをページに重ねて印字します。</li> </ul>
[コピープロテクト]	定型スタンプや日付などのコピープロテクト（不正コピー防止用の隠し文字）を印字します。
[繰り返しスタンプ]	登録スタンプ、定型スタンプ、日付などをページ上に繰り返し印字します。
[オーバーレイ]	原稿の 1 枚目の内容をオーバーレイ画像として、2 枚目以降の内容と重ね合わせて印字します。
[登録オーバーレイ]	あらかじめ読込んだ画像を HDD に保存（オーバーレイ画像登録）しておき、必要に応じて保存した画面を呼び出し、重ねて印字（登録オーバーレイ出力）します。
[ヘッダー / フッター]	ページごとに日付・時刻や配布番号を印字します。管理者設定で設定したときに使用できます。
[部数管理番号]	コピー部数ごとにコピー画像の背景いっぱいに 4 桁の管理番号を印字します。
[ウォーターマーク]	コピー画像の真ん中の背景に定型パターンの文字を印字します。



- ・ 日付や時刻の印字設定については、[p. 7-41](#) をご覧ください。
- ・ ページ番号の印字設定については、[p. 7-43](#) をご覧ください。
- ・ スタンプの印字設定については、[p. 7-46](#) をご覧ください。
- ・ コピープロテクトの印字設定については、[p. 7-48](#) をご覧ください。
- ・ 繰り返しスタンプの印字設定については、[p. 7-53](#) をご覧ください。
- ・ オーバーレイの印字設定については、[p. 7-57](#) をご覧ください。
- ・ ヘッダー / フッターの印字設定については、[p. 7-61](#) をご覧ください。



- ・ 部番管理番号の印字設定については、[p. 7-63](#) をご覧ください。
- ・ ウォーターマークの印字設定については、[p. 7-65](#) をご覧ください。



詳しく説明します

- ・ 登録オーバーレイは、HDD が装着されているときに表示されます。登録オーバーレイの印字方法については、[p. 7-60](#) をご覧ください。
- ・ ヘッダー / フッターを使用するには、あらかじめ管理者設定でヘッダー / フッターを登録しておく必要があります。登録の方法については「[ヘッダー / フッターを設定する](#)」([p. 11-46](#)) をご覧ください。

## 7.15.1 日付 / 時刻を印字するには (日付 / 時刻)

1

原稿をセットします。

2

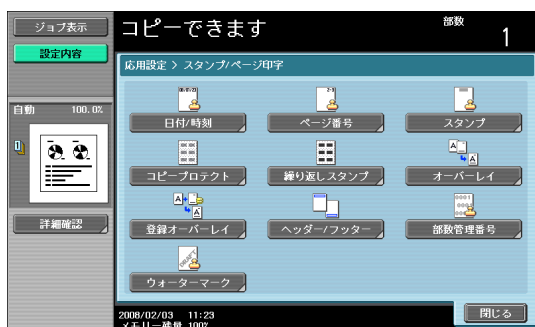
〔応用設定〕を押し、〔スタンプ / ページ印字〕を押しします。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3

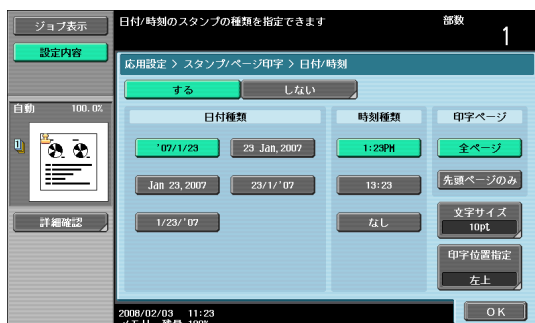
〔日付 / 時刻〕を押しします。



日付・時刻画面が表示されます。

4

「日付種類」、「時刻種類」、「印字ページ」をそれぞれ選択します。



5

〔印字位置指定〕を押しします。  
印字位置指定画面が表示されます。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6)をごらんください。

## ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押しします。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

## ひとこと

- ・日付 / 時刻機能を解除するときは「しない」を押しします。
- ・「時刻種類」で「なし」を設定すると、時刻が印字されません。



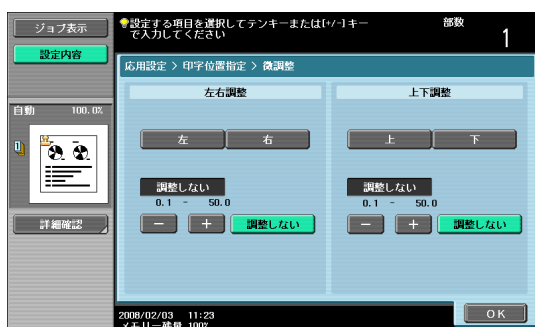
- ・「先頭ページのみ」を選択した場合、先頭ページのみ印字されます。
- ・カバーシート機能、インターシート機能、草分け機能の同時設定によって挿入される白紙ページには、印字されません。

6

印字位置を選択し、[OK] を押します。

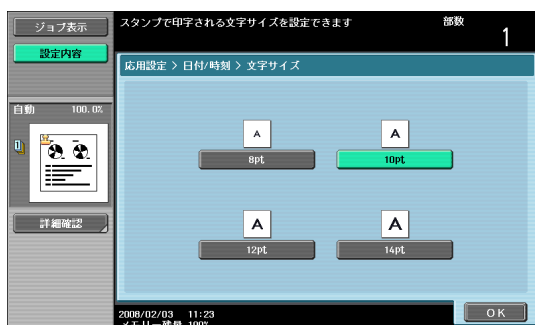


- 印字位置を微調整する場合は「位置調整」を押します。「左右調整」および「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは [-]、[+] で調整値を入力して、[OK] を押します。



7

必要に応じて、その他の設定をします。  
文字サイズを設定する場合には、[文字サイズ] を押し、サイズを選択します。



8

[OK] を押し、[閉じる] を押します。

9

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10

テンキーでコピー部数を入力します。

11

【スタート】を押します。

### ひとこと

- ・ 印字位置の微調整は 0.1 mm 単位で設定します。
- ・ 「調整しない」を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
- ・ 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、「調整しない」または【C】を押して入力しなおします。
- ・ 出荷時設定では、「左上」に設定されています。

### 詳しく説明します

出荷時設定では、以下のように選択されています。  
[文字サイズ]: 10pt

### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

## 7.15.2 ページ数を印字するには (ページ番号)

1

原稿をセットします。

2

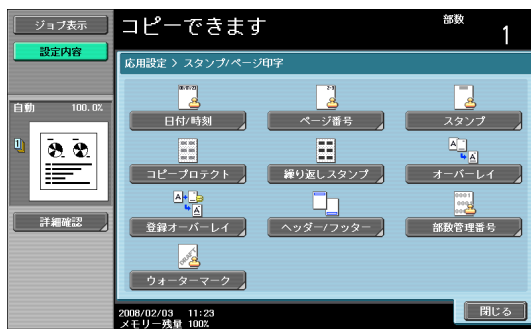
〔応用設定〕 を押し、〔スタンプ / ページ印字〕 を押します。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3

〔ページ番号〕 を押します。



ページ番号画面が表示されます。



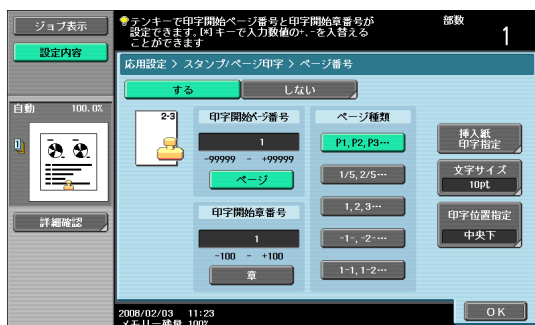
原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

## ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

4

テンキーで印字を開始するページ番号を入力します。



- 必要に応じて「章」を押し、テンキーで章番号を入力します。入力した章番号は、ページ種類で「1-1, 1-2...」を選択した場合に印字されます。

5

「ページ種類」を選択します。

6

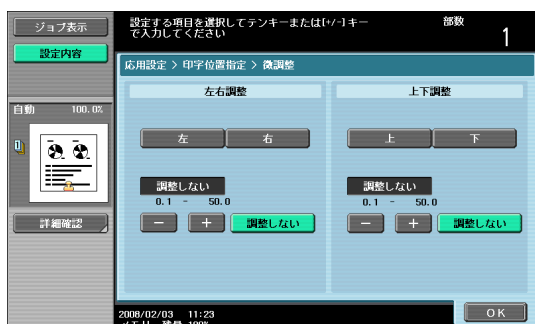
「印字位置指定」を押します。  
印字位置指定画面が表示されます。

7

印字位置を選択し、「OK」を押します



- 印字位置を微調整する場合は「位置調整」を押します。「左右調整」および「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは「[-]」、「[+]」で調整値を入力して、「OK」を押します。



### ひとこと

ページ番号機能を解除するときは「しない」を押します。

### 詳しく説明します

- 開始ナンバーの「ページ」は -99999 ~ 99999 の範囲で、「章」は -100 ~ 100 の範囲で設定します。
- 「開始ナンバー」の設定では【\*】で設定値の正負を入れ替えることができます。
- 一の値を設定すると、1 になるまで印字されません。例えば「-1」を設定した場合、コピー 3 ページ目の「1」から印字されます。
- 複数の章を印刷する場合は、あらかじめ章分け機能で章の先頭ページを指定しておきます。詳しくは、「指定したページを必ずオモて面に配置する (章分け)」(p. 7-12) をご覧ください。

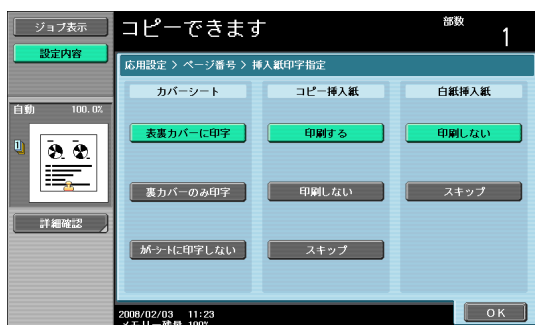
### ひとこと

- 印字位置の微調整は 0.1 mm 単位で設定します。
- 「調整しない」を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
- 範囲外の数値を入力した場合は、「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、「調整しない」または「[C]」を押して入力しなおします。
- 出荷時設定では、「中央下」に設定されています。

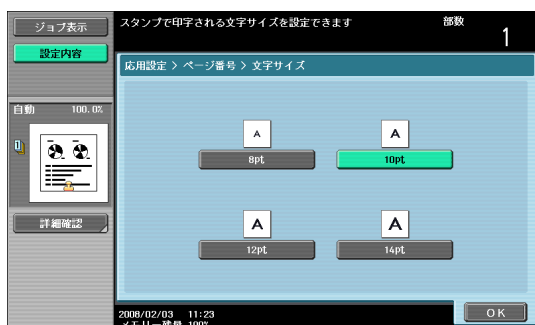
8

必要に応じて、その他の設定をします。

- 応用機能の [カバーシート] や [インターシート]、[章分け] を同時設定する場合は、[挿入紙印字指定] を押し、印字ページを選択します。



- 文字サイズを設定する場合には、[文字サイズ] を押し、サイズを選択します。



9

[OK] を押し、[閉じる] を押します。

10

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11

テンキーでコピー部数を入力します。

12

【スタート】を押します。

#### 詳しく説明します

- ・カバーシート機能、インターシート機能、章分け機能の同時設定によって挿入される白紙ページは、カウントされるのみで印字されません。
- ・カバーシートで [裏カバーのみ印字] または [カバーシートに印字しない] を選択した場合、片面コピーは「2」から、両面コピーは「3」からページが印字されます。
- ・[印刷しない] を選択した場合、挿入ページはカウントされるのみで印字されません。[スキップ] を選択した場合、挿入ページはカウントも印字もされません。

#### 詳しく説明します

出荷時設定では、以下のように選択されています。  
[文字サイズ]: 10pt

#### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

### 7.15.3 あらかじめ登録されたスタンプを印字するには (スタンプ)

1

原稿をセットします。

2

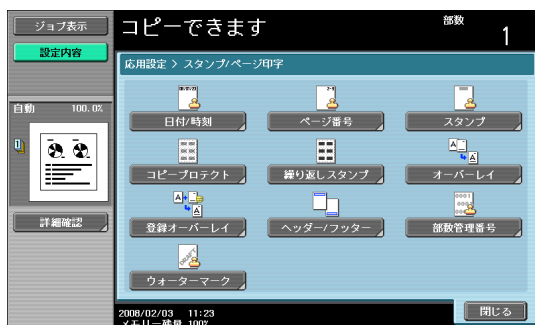
「[応用設定]」を押し、「スタンプ / ページ印字」を押しします。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3

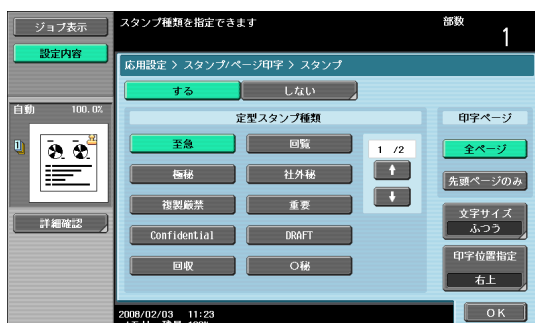
「[スタンプ]」を押しします。



スタンプ画面が表示されます。

4

「定型スタンプ種類」または「登録スタンプ種類」から、目的のスタンプを選択します。



- ・登録スタンプを登録するには、Copy Protection Utility を使用します。スタンプの登録方法については、Copy Protection Utility ユーザーズガイドをご覧ください。
- ・原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6)をご覧ください。

#### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押しします。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

#### ひとこと

スタンプ機能を解除するときは「[しない]」を押しします。



- ・「[↑]」または「[↓]」で、定型スタンプと登録スタンプの表示を切替えます。
- ・「登録スタンプ種類」のスタンプは、Copy Protection Utility で登録した場合のみ表示されます。
- ・スタンプの複数選択はできません。

5

「印字ページ」を選択します。

6

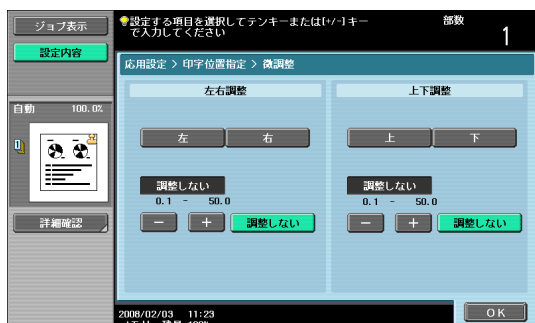
「印字位置指定」を押します。  
印字位置指定画面が表示されます。

7

印字位置を選択し、「OK」を押します。



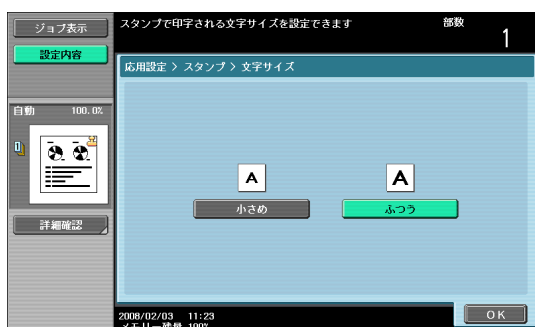
- 印字位置を微調整する場合は「位置調整」を押します。「左右調整」および「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは「[-]」、「[+]」で調整値を入力して、「OK」を押します。



8

「文字サイズ」を選択します。

<文字サイズ画面>



#### 詳しく説明します

- ・「先頭ページのみ」を選択した場合、表カバーのみ印字されます。
- ・カバーシート機能、インターシート機能、草分け機能の同時設定によって挿入される白紙ページには、印刷されません。

#### ひとこと

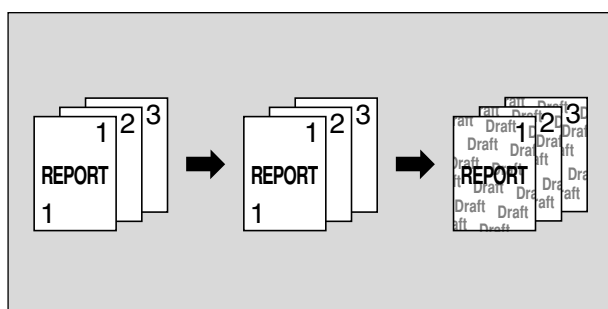
- ・ 印字位置の微調整は 0.1mm 単位で設定します。
- ・ 「調整しない」を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
- ・ 範囲外の数値を入力した場合は、「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、「調整しない」または「[C]」を押して入力しなおします。
- ・ 出荷時設定では、「右上」に設定されています。

#### 詳しく説明します

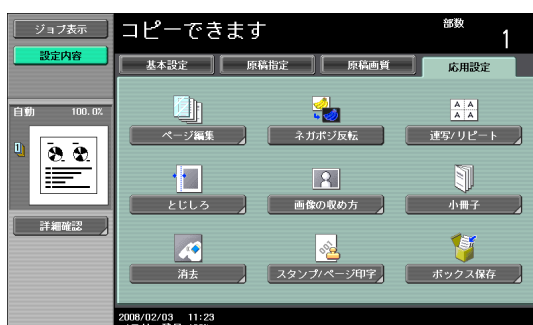
出荷時設定では、以下のように選択されています。  
[文字サイズ]：ふつう

- 9 [OK] を押し、[閉じる] を押します。
- 10 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 11 テンキーでコピー部数を入力します。
- 12 【スタート】を押します。

#### 7.15.4 コピープロテクトを印字するには (コピープロテクト)

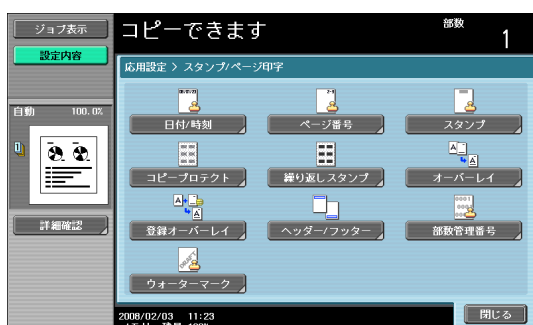


- 1 原稿をセットします。
- 2 [応用設定] を押し、[スタンプ / ページ印字] を押します。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

- 3 [コピープロテクト] を押します。



コピープロテクト画面が表示されます。



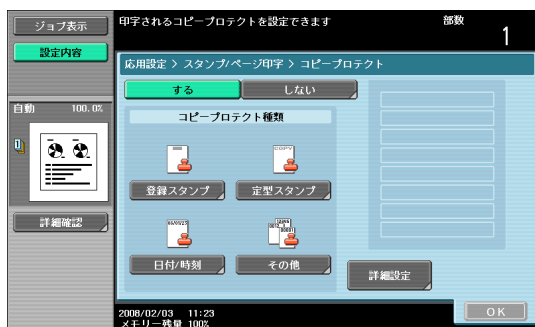
原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

#### ひとこと

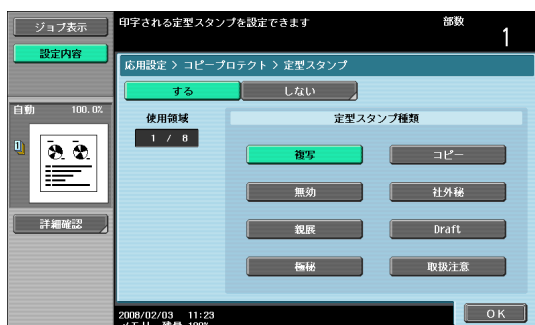
全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

## 4

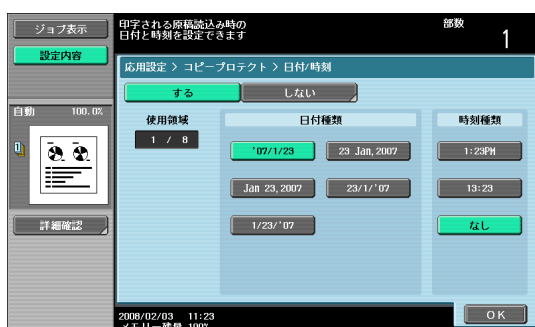
コピープロテクト種類を選択します。



- [登録スタンプ] または [定型スタンプ] を押すと、スタンプキーの画面が表示されます。目的のキーを選択して [OK] を押します。



- [日付 / 時刻] を押すとコピープロテクトの日付 / 時刻画面が表示されます。「日付種類」と「時刻種類」を選択して [OK] を押します。



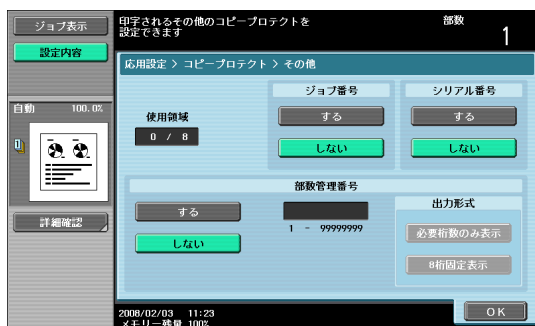
## ひとこと

コピープロテクト機能を解除するときは [しない] を押します。

## 詳しく説明します

- ・登録スタンプには、Copy Protection Utility で登録したスタンプが表示されます。スタンプの登録については、Copy Protection Utility ユーザーズガイドをごらんください。
- ・選択したコピープロテクトは中央に配列順が表示され、8 行分まで組合わせて使用できます。
- ・登録スタンプまたは定型スタンプでの複数選択はできません。
- ・コピープロテクトの日付や時刻は、読み込み時のものが印字されます。

- [その他] を押すと、その他のスタンプの設定画面が表示されます。目的のキーを選択して [OK] を押します。



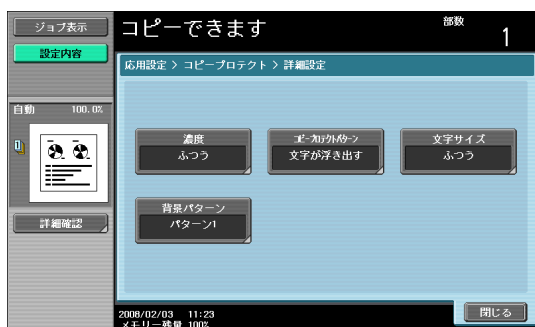
5

[詳細設定] を押します。

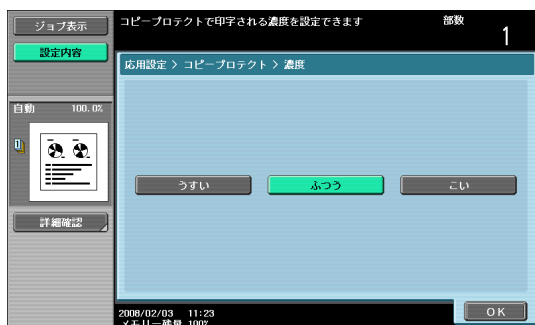
詳細設定画面が表示されます。

6

目的のキーを押して、各設定画面で設定値を変更し [閉じる] を押します。



<濃度画面>



### ひとこと

コピープロテクト種類の各設定画面で、[しない] を押すと各画面での設定のみが解除されます。

### 詳しく説明します

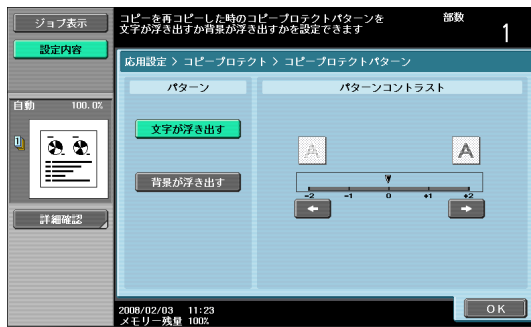
- ・「ジョブ番号」の [する] を押すと、コピーのジョブ番号が印刷されます。
- ・「シリアル番号」の [する] を押すと、本機のシリアル番号が印刷されます。シリアル番号の設定については、サービス実施店にお問い合わせください。
- ・「部数管理番号」の [する] を押すと、コピーの部数管理番号が印刷されます。部数管理番号は 1 ~ 99999999 の範囲で設定します。

### ひとこと

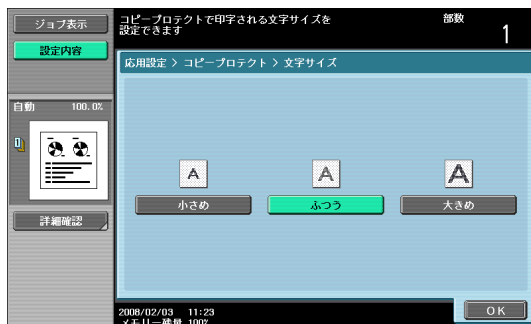
出荷時設定では、以下のように選択されています。

- ・ [濃度] : ふつう、[コピープロテクトパターン] : 文字が浮き出す、[文字サイズ] : ふつう、[背景パターン] : パターン 1
- ・ コピープロテクトパターン画面のパターンコントラスト設定は、-2 ~ +2 の範囲を 1 ステップで設定します。

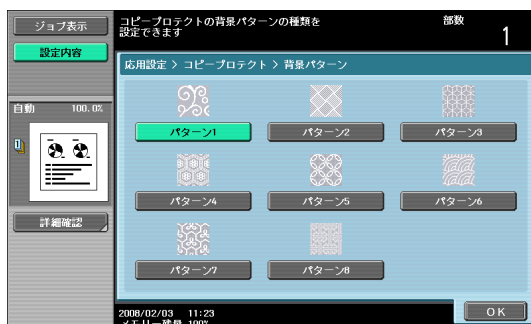
## &lt;コピープロテクトパターン画面&gt;



## &lt;文字サイズ画面&gt;



## &lt;背景パターン画面&gt;



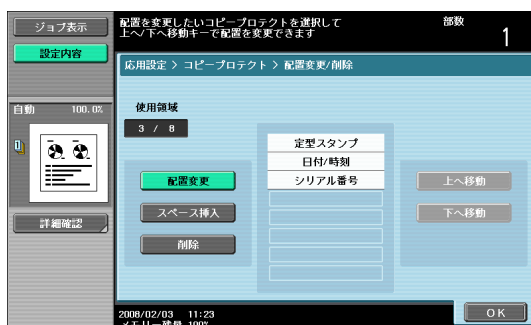
7

「配置変更 / 削除」を押します。  
配置変更 / 削除画面が表示されます。

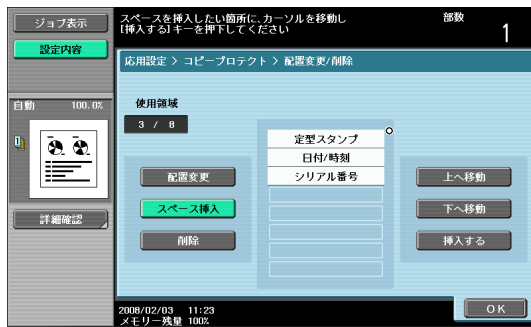
8

「配置変更 / 削除」を押し、配置順などを設定します。

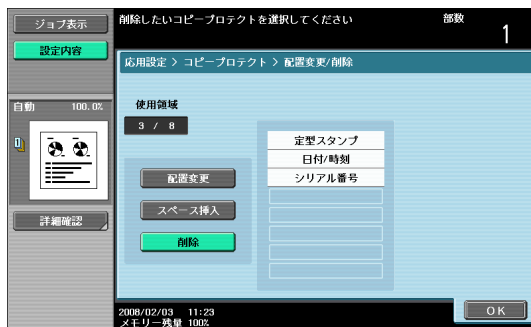
## &lt;配置変更画面&gt;



## &lt;スペース挿入画面&gt;



## &lt;削除画面&gt;



9

【OK】 を押し、【閉じる】 を押します。

10

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11

テンキーでコピー部数を入力します。

12

【スタート】 を押します。

## ひとこと

- ・ 配置順を変更する場合は、【配置変更】 を押し、目的のコピープロテクトを選択して、【上へ移動】 または 【下へ移動】 を押します。
- ・ コピープロテクトにスペースを入れる場合は、【スペース挿入】 を選択します。設定したコピープロテクト種類の横に表示された○を【上へ移動】 または 【下へ移動】 で移動させ、【挿入する】 を押します。
- ・ コピープロテクトを削除する場合は、【削除】 を押して目的のコピープロテクトを押します。

## ひとこと

【リセット】 を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

### 7.15.5 繰り返しスタンプを印字するには (繰り返しスタンプ)

1

原稿をセットします。

2

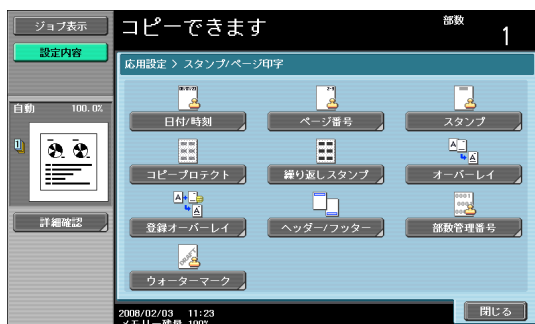
〔応用設定〕を押し、〔スタンプ / ページ印字〕を押しします。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3

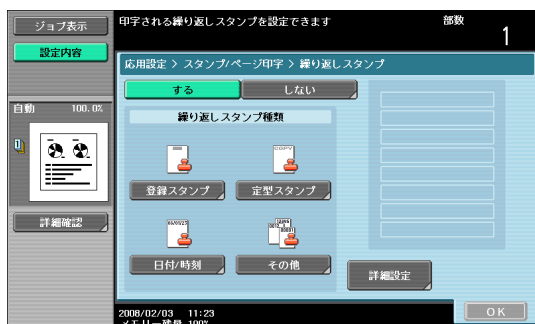
〔繰り返しスタンプ〕を押しします。



繰り返しスタンプ画面が表示されます。

4

繰り返しスタンプ種類を選択します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

#### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押しします。

#### ひとこと

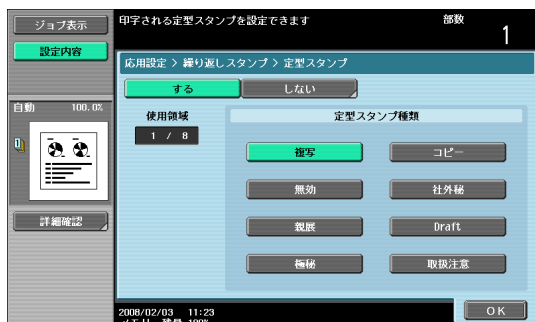
繰り返しスタンプ機能を解除するときは、[しない] を押しします。



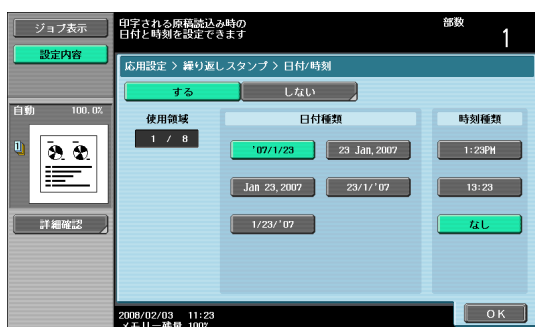
#### 詳しく説明します

- ・登録スタンプには、Copy Protection Utility で登録したスタンプが表示されます。スタンプの登録については、Copy Protection Utility ユーザーズガイドをご覧ください。
- ・選択した繰り返しスタンプは中央に配列順が表示され、8 行分まで組合わせて使用できます。
- ・登録スタンプまたは定型スタンプでの複数選択はできません。
- ・繰り返し印刷の日付や時刻は、読み込み時のものが印字されます。

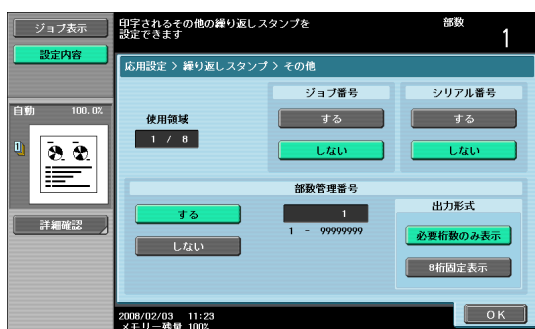
- [登録スタンプ] または [定型スタンプ] を押すと、スタンプキーの画面が表示されます。目的のキーを選択して [OK] を押します。



- [日付 / 時刻] を押すと繰り返しスタンプの日付 / 時刻画面が表示されます。「日付種類」と「時刻種類」を選択して [OK] を押します。



- [その他] を押すと、その他のスタンプの設定画面が表示されます。目的のキーを選択して [OK] を押します。



### ひとこと

繰り返しスタンプの各設定画面で、[しない] を押すと各画面での設定のみが解除されます。

### 詳しく説明します

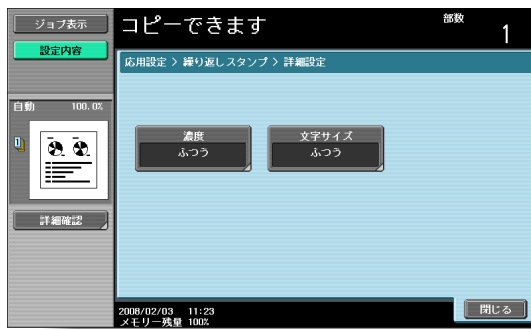
- ・「ジョブ番号」の [する] を押すと、コピーのジョブ番号が印刷されます。
- ・「シリアル番号」の [する] を押すと、本機のシリアル番号が印刷されます。シリアル番号の設定については、サービス実施店にお問い合わせください。
- ・「部数管理番号」の [する] を押すと、コピーの部数管理番号が印刷されます。部数管理番号は 1 ～ 99999999 の範囲で設定します。

5

[詳細設定] を押します。  
詳細設定画面が表示されます。

6

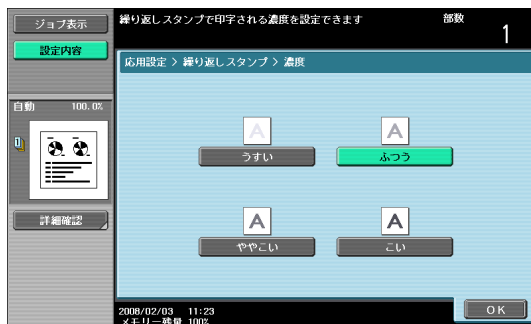
目的のキーを押して、各設定画面で設定値を変更し、[閉じる]を押します。



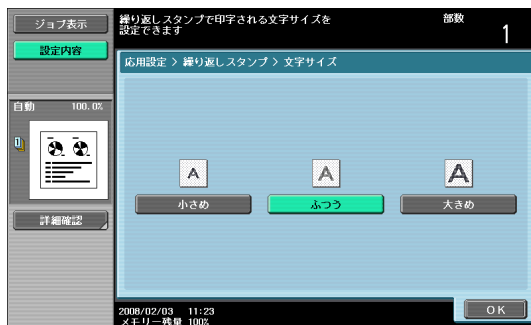
詳しく説明します

出荷時設定では、以下のように選択されています。  
[濃度]: ふつつ、[文字サイズ]: ふつつ

<濃度画面>



<文字サイズ画面>



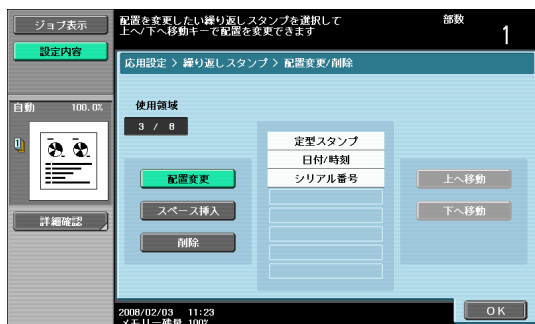
7

[配置変更 / 削除] を押します。  
配置変更 / 削除画面が表示されます。

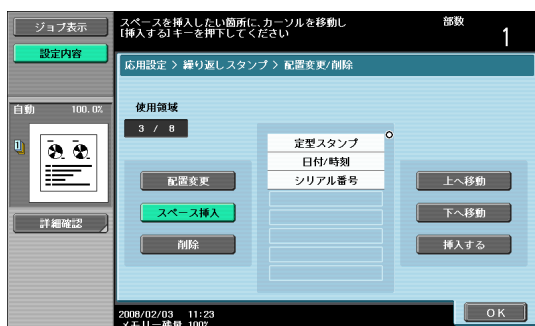
8

配置順などを設定します。

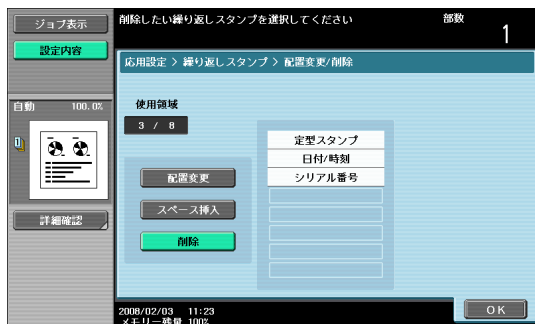
< 配置変更画面 >



< スペース挿入画面 >



< 削除画面 >



詳しく説明します

- ・ 配置順を変更する場合は、[配置変更] を押し、目的の繰り返しスタンプを選択して、[上へ移動] または [下へ移動] を押します。
- ・ 繰り返しスタンプにスペースを入れる場合は、[スペース挿入] を選択します。設定した繰り返しスタンプ種類の横に表示された○を [上へ移動] または [下へ移動] で移動させ、[挿入する] を押します。
- ・ 繰り返しスタンプを削除する場合は、[削除] を押して目的の繰り返しスタンプを押します。

9

[OK] を押し、[閉じる] を押します。

10

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11

テンキーでコピー部数を入力します。

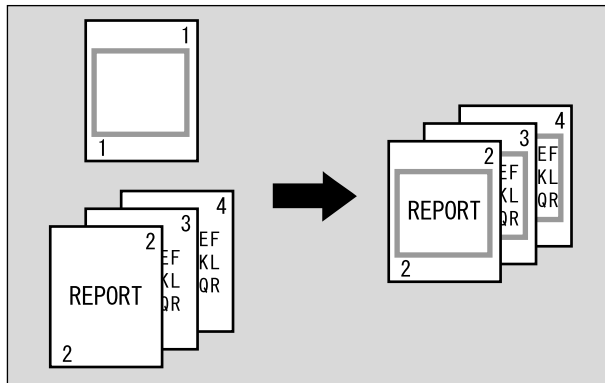
12

【スタート】を押します。

### 7.15.6 最初に読み込んだ画像を、他の全ての画像と重ね合わせてコピーする (オーバーレイ)

1 枚目に読み込んだ原稿の画像を、2 枚目以降の原稿と重ね合わせてコピーします。

また、読み込んだ原稿を登録オーバーレイとして保存しておき、あとで呼出して使用することもできます。



1

重ね合わせたい原稿をセットします。

2

〔応用設定〕 を押し、〔スタンプ / ページ印字〕 を押します。



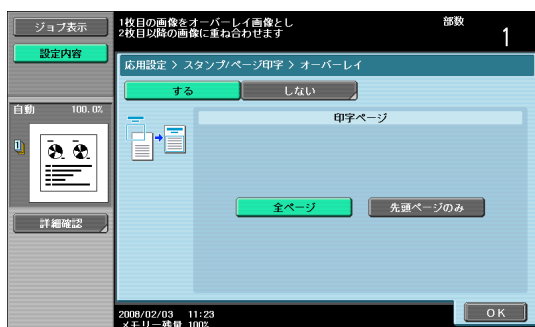
スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3

〔オーバーレイ〕 を押します。  
オーバーレイ画面が表示されます。

4

「印字ページ」で印字するページを選択します。



「先頭ページのみ」を選択すると、コピーされる先頭ページのみオーバーレイ画像が印字されます。  
「全ページ」を選択すると、全ページにオーバーレイ画像が印字されます。

5

「閉じる」を押します。

6

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7

テンキーでコピー部数を入力します。

8

【スタート】を押します。

### 7.15.7 読み込んだ画像を、登録オーバーレイとして保存する (登録オーバーレイ)

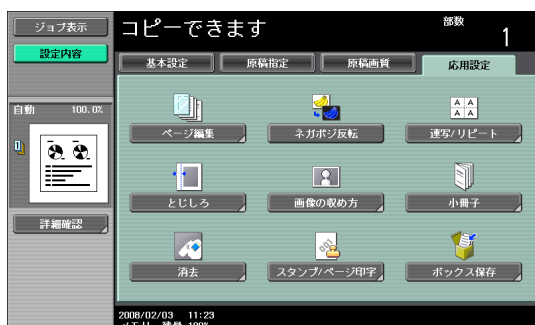
繰り返しオーバーレイとして使用する画像は、登録オーバーレイとして保存しておくことにより、一覧から呼出だけで使用できるようになります。

1

重ね合わせたい原稿をセットします。

2

「応用設定」を押し、[スタンプ / ページ印字]を押します。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3

「登録オーバーレイ」を押します。

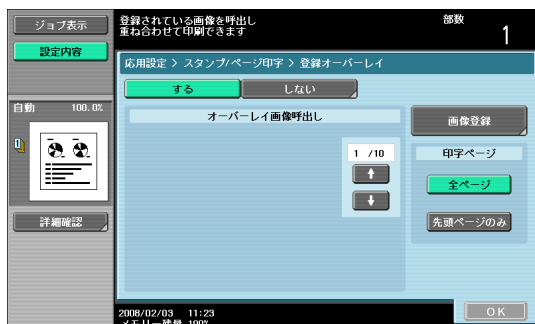
登録オーバーレイ画面が表示されます。

#### ひとこと

オーバーレイ機能を解除するときは、「しない」を押します。

4

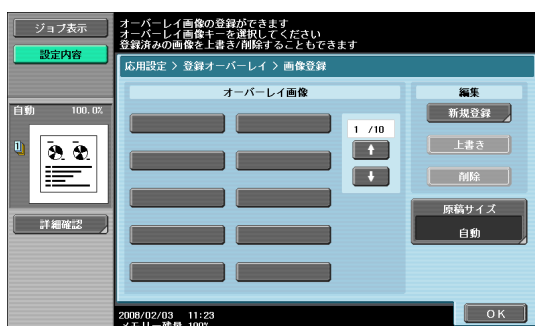
[画像登録] を押します。



画像登録画面が表示されます。

5

[新規登録] を押します。



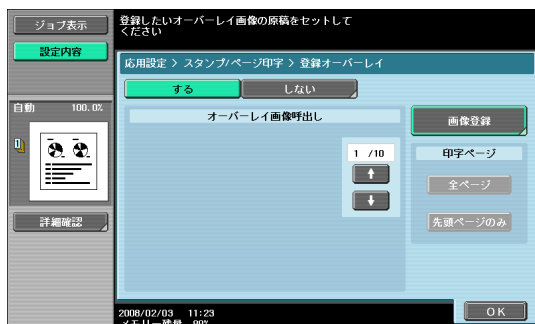
6

画像名称を入力して、[OK] を押します。



7

[OK] を押し、[閉じる] を押します。



8

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

### 詳しく説明します

画像名称登録画面が表示されます。

- ・既存の登録オーバーレイを選択して[上書き]を押すと、登録された内容を新しく登録する画像で上書きします。
- ・既存の登録オーバーレイを選択して[削除]を押すと、登録された内容を削除します。

### 詳しく説明します

管理者設定の[ユーザー操作禁止設定]により、管理者の許可なく登録オーバーレイを変更することを禁止できます。

### ひとこと

登録オーバーレイのキーを押すと、オーバーレイの登録日が表示されます。

### 詳しく説明します

画面に表示されるキーボードを押して入力します。文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2) をごらんください。

9

【スタート】を押します。

10

原稿が読み込まれ、登録オーバーレイとして保存されます。



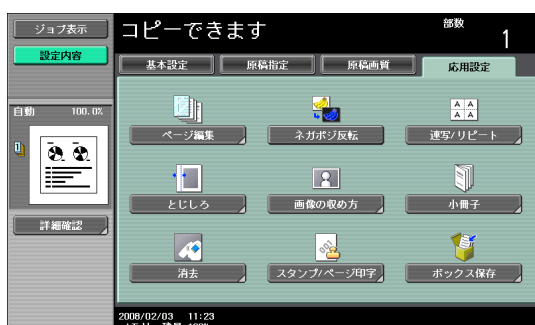
### 7.15.8 登録オーバーレイを使用する（登録オーバーレイ）

1

重ね合わせたい原稿をセットします。

2

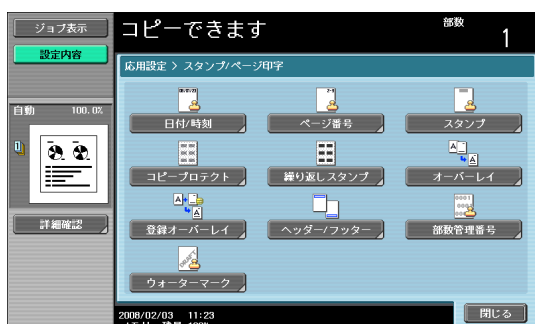
[ 応用設定 ] を押し、[ スタンプ / ページ印字 ] を押します。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

3

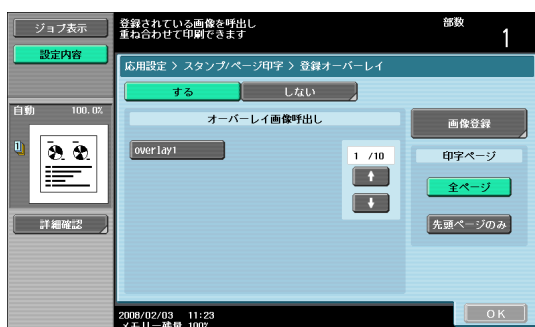
[ 登録オーバーレイ ] を押します。



登録オーバーレイ画面が表示されます。

4

使用する登録オーバーレイのキーを押し、[OK] を押します。



[先頭ページのみ] を選択すると、先頭ページのみオーバーレイ画像が印字されます。

[全ページ] を選択すると、全ページにオーバーレイ画像が印字されます。

5

[OK] を押し、[閉じる] を押します。

6

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7

テンキーでコピー部数を入力します。

8

【スタート】を押します。

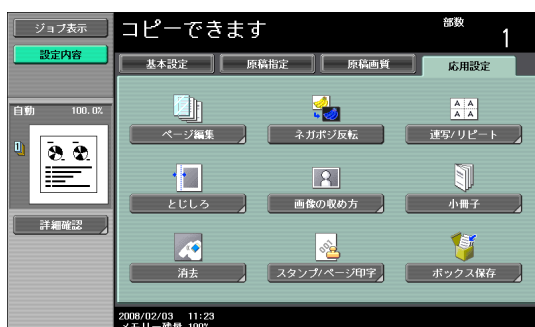
### 7.15.9 ヘッダー / フッターを印字するには (ヘッダー / フッター)

1

原稿をセットします。

2

[応用設定] を押し、[スタンプ / ページ印字] を押します。



#### ひとこと

- ・登録オーバーレイ機能を解除するときは、[しない] を押します。
- ・登録オーバーレイのキーを押すと、オーバーレイの登録日が表示されます。

#### 詳しく説明します

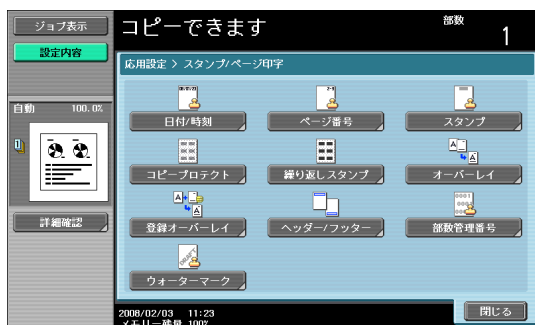
ヘッダー / フッターを使用するには、あらかじめ管理者設定でヘッダー / フッターを登録しておく必要があります。登録の方法については、「[ヘッダー / フッターを設定する](#)」(p. 11-46) をご覧ください。

#### 参照

原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

3

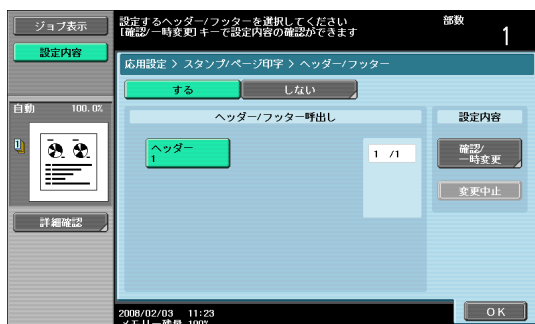
「[ヘッダー / フッター]」を押します。



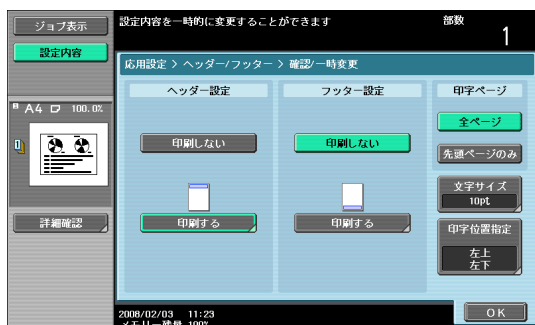
ヘッダー / フッター画面が表示されます。

4

「[ヘッダー / フッター呼出し]」から使用するヘッダー / フッターを押し、[OK] を押します。



○ ヘッダー / フッターの設定を確認または一時的に変更する場合は、「確認 / 一時変更」を押します。



5

[OK] を押し、[閉じる] を押します。

6

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7

テンキーでコピー部数を入力します。

8

【スタート】を押します。

### ひとこと

- ・ 全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。
- ・ 管理者設定でヘッダー / フッターが登録されていない場合、[ヘッダー / フッター] は表示されません。

### 詳しく説明します

- ・ [先頭ページのみ] を選択した場合、先頭ページのみ印字されます。
- ・ カバーシート機能、インターシート機能、章分け機能の同時設定によって挿入される白紙ページには、印字されません。

### 7.15.10 部数管理番号を印字するには (部数管理者番号)

1

原稿をセットします。

2

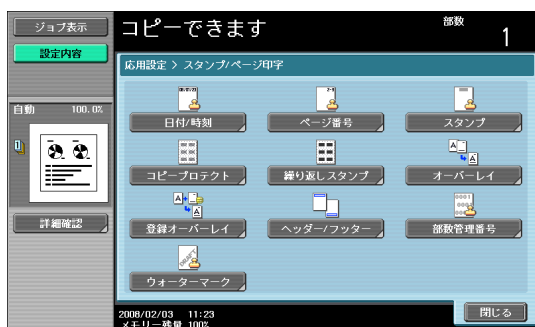
[ 応用設定 ] を押し、[ スタンプ / ページ印刷 ] を押します。



スタンプ / ページ印字画面が表示されます。

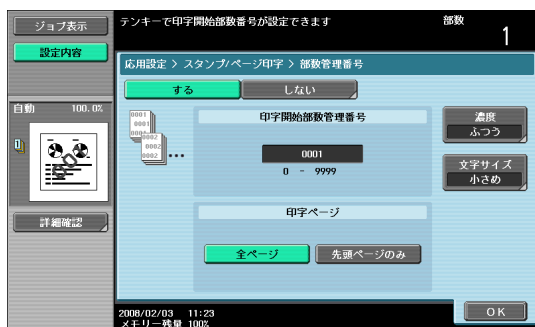
3

[ 部数管理番号 ] を押します。



4

部数管理番号画面が表示されます。  
テンキーで印字を開始する部数管理番号を入力します。



5

印字ページを選択します。

#### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

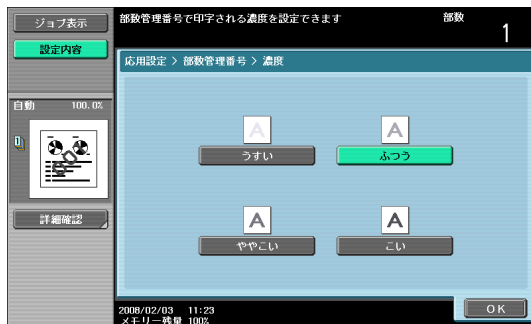
#### ひとこと

部数管理番号機能を解除するときは、[ しない ] を押します。

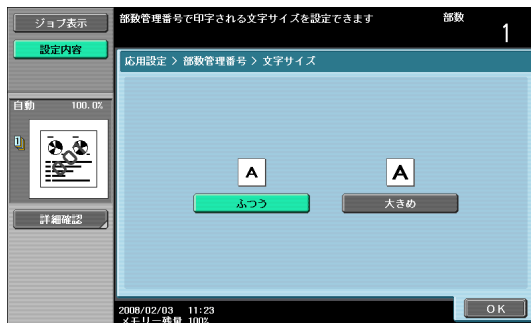
6

必要に応じてその他の設定をします。

- 濃度を設定する場合は、[ 濃度 ] を押し、濃度を選択します。



- 文字サイズを設定する場合は、[ 文字サイズ ] を押し、サイズを選択します。



7

[OK] を押し、[ 閉じる ] を押します。

8

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9

テンキーでコピー部数を入力します。

10

【スタート】を押します。

#### ひとこと

出荷時設定で以下のように選択されています。  
[ 濃度 ] : ふつう、[ 文字サイズ ] : ふつう

### 7.15.11 ウォーターマークを印字するには (ウォーターマーク)

1

原稿をセットします。

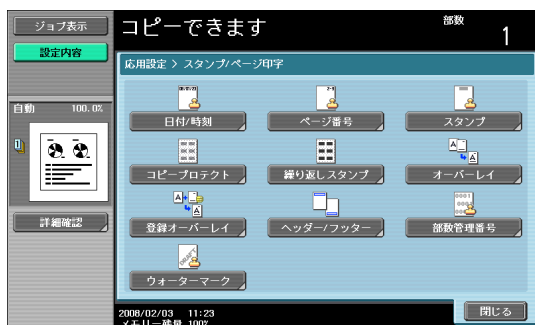
2

[ 応用設定 ] を押し、[ スタンプ / ページ印刷 ] を押します。



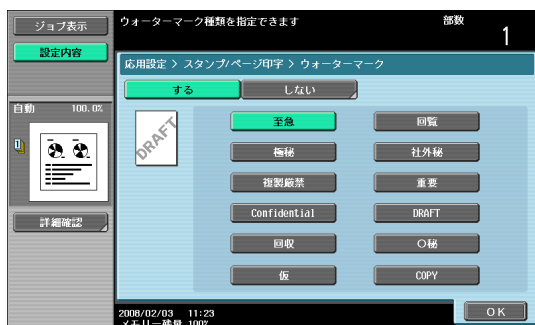
3

[ ウォーターマーク ] を押します。



4

ウォーターマーク画面が表示されます。  
目的のキーを押して [OK] を押します。



#### ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

#### ひとこと

ウォーターマーク機能を解除するときは、[ しない ] を押します。

## 7.16 読込んだ原稿をボックスに保存する（ボックス保存）

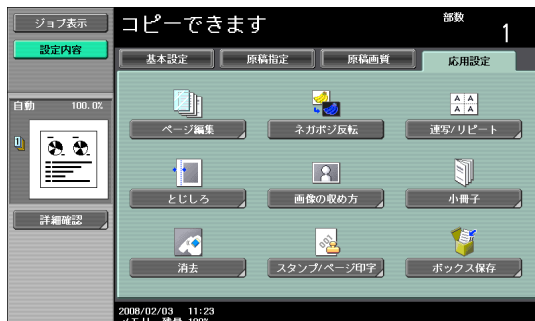
読込んだ原稿をボックスに保存できます。ボックスに保存された文章は、必要に応じて印刷できます。

1

原稿をセットします。

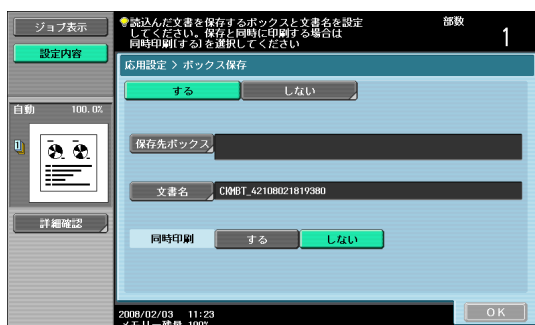
2

〔応用設定〕を押し、〔ボックス保存〕を押します。



3

〔保存先ボックス〕を押します。

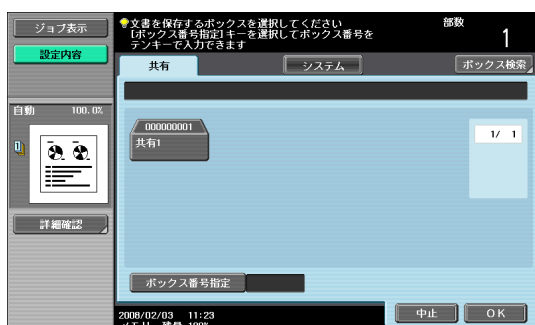


ボックスの選択画面が表示されます。

4

保存するボックスを選択します。

- 保存するボックスのタブを押して選択し、ボックスキーを押して指定します。

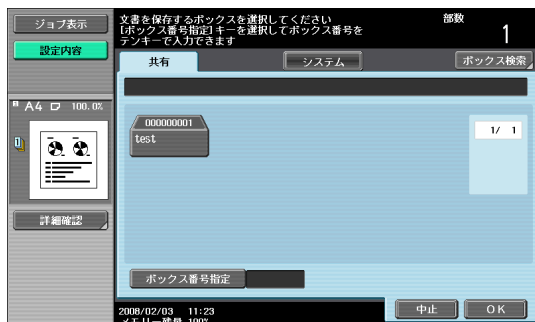


ボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

### ひとこと

- ・〔ボックス番号〕を押してボックス番号を入力しても指定できます。
- ・ボックスにパスワードが設定されている場合でも、保存するときにパスワードの入力は必要ありません。

- [ボックス検索] タブを押すと、ボックス検索画面が表示されます。  
ボックス名の先頭文字による検索ができます。  
かな（[あ]～[らわ]）または英字（[ABC]～[etc]）を押すと、その文字から始まるボックスが一覧表示されます。  
この画面からボックスを選択できます。



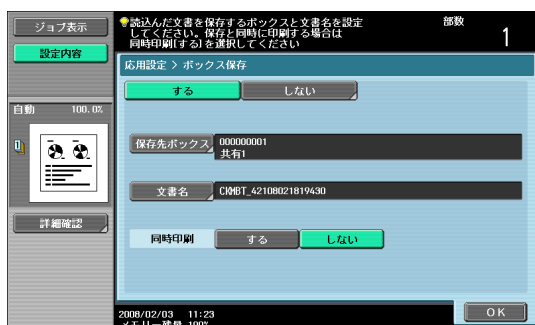
先頭文字のキーは「かなに切替」  
「英字に切替」で切替えて表示します。

5

[OK] を押します。

6

保存する文書の名称を確認します。自動的につけられる名称を変更する場合は、[文書名] を押します。



7

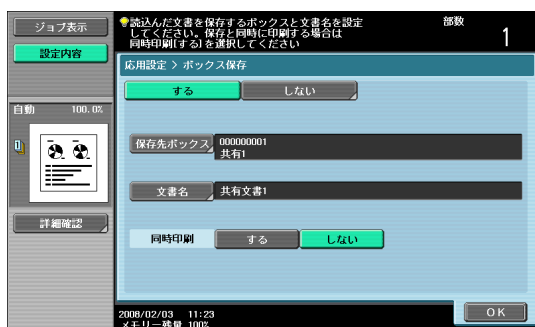
名称を入力したら [OK] を押します。



文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2) をご覧ください。

8

保存するときにコピーも出力するかしないかを選択します。コピーを出力するときは、「同時印刷」で「する」を選択します。



9

「OK」を押します。  
応用設定画面に戻ります。

10

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11

【スタート】を押します。

「同時印刷」を「する」と選択したときは、読込まれた原稿がコピーされ、文書データが指定したボックスに保存されます。

「同時印刷」を「しない」と選択したときは、読込まれた原稿のデータが指定したボックスに保存されます。

#### ひとこと

ボックス保存機能を解除するときは、「しない」を押します。

#### ひとこと

ボックスに保存した文書の使用については、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。



## 第 8 章

# トナーカートリッジ交換／ステープル カートリッジ交換／パンチくず処理

---

トナーカートリッジの交換やステープルカートリッジの交換、処理などについて説明します。

8.1	トナーカートリッジを交換する .....	8-2
8.2	ステープルカートリッジを交換する .....	8-7
8.3	パンチくずを処理する .....	8-20

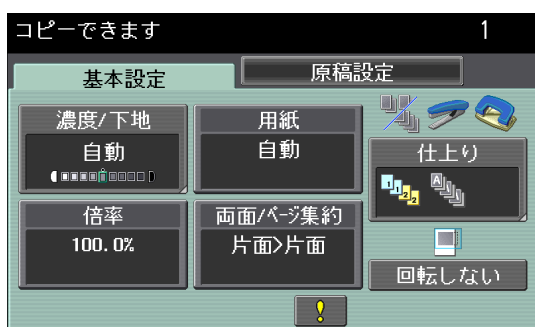
## 8.1 トナーカートリッジを交換する

トナーが残り少なくなると、下図のような事前通知メッセージが表示されます。

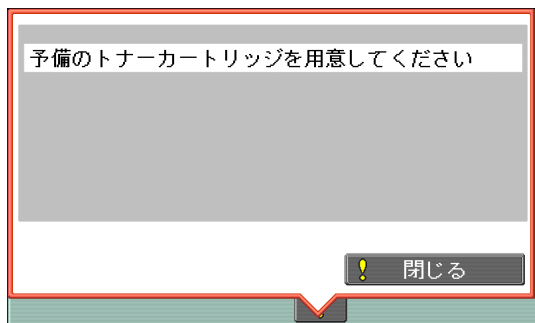


＜拡大表示機能時の表示＞

トナーが残り少なくなると、[!]が表示されます。



[!]を押すと下図が表示されます。



### ひとこと

メッセージが表示されたら、保守契約にしたがってトナーカートリッジの交換の準備を行ってください。

### ひとこと

メッセージ表示後に本機は停止します。保守契約にしたがってトナーカートリッジの交換を行ってください。



トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換のしかた」(p. 8-3)をごらんください。

## ⚠ 警告

トナーおよびトナーカートリッジを絶対に火中に投げないでください！

トナーやトナーカートリッジは、使用済みのトナーカートリッジも含めて、火中に投げるとトナーが飛び散り、やけどをする恐れがあり、とても危険です。

→ 使用済みのトナーカートリッジの扱いについては、サービス実施店にお問い合わせください。

## ⚠ 注意

トナーカートリッジの保管や取扱いに注意！

トナーを大量に吸ったり、目に入ったりすると、健康を害します。

→ トナーカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。

→ トナーで本体内部、衣服や手を汚さないように注意して取り扱ってください。

→ トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤で洗い流してください。

→ 目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けるようにしてください。

### 8.1.1 トナーカートリッジの交換のしかた

#### 原則

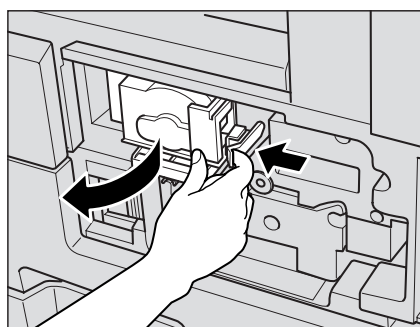
トナーカートリッジカバーにトナーカートリッジ番号が記載されたラベルが貼られています。その番号と同じ番号のトナーカートリッジをご使用ください。異なる番号のトナーカートリッジを使用すると、故障の原因になります。

使用済みのトナーカートリッジは、新しいトナーカートリッジについていたキャップをし、梱包箱に入れてください。その後の取り扱いについては、サービス実施店にお問い合わせください。

1

本体前ドアを開き、トナーカートリッジカバーを開きます。

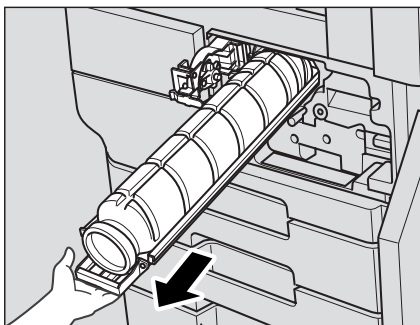
- トナーカートリッジカバーを開けるときは、トナーカートリッジカバーのロックを外します。



2

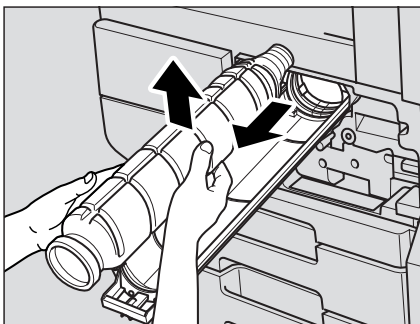
トナーカートリッジホルダーを引き出します。

- トナーカートリッジホルダーの取手を持って、トナーカートリッジホルダーが止まるまで手前に引き出します。



3

使用済みのトナーカートリッジを手前に持ち上げて取り出します。



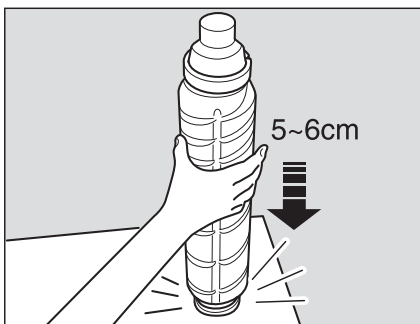
4

新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。

- トナーが新しいトナーカートリッジ内で固まっていることがあります。必ず手順 5 ～ 8 の作業を行い、トナーをほぐしてからトナーカートリッジを交換してください。

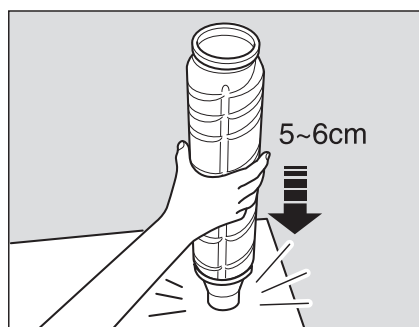
5

新しいトナーカートリッジの底面を、約 5 ～ 6cm の高さから固い面に落とします。



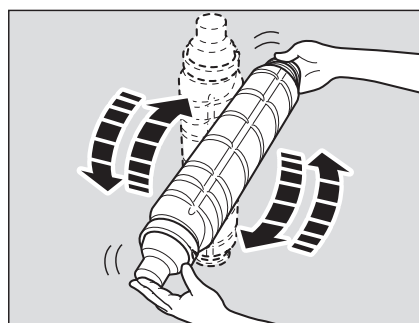
6

新しいトナーカートリッジホルダーの上面を、約 5 ～ 6 cm の高さから固い面に落とします。



7

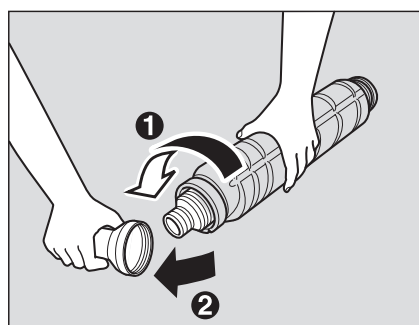
新しいトナーカートリッジホルダーを、5 回ほど天地が逆になるように振ります。



8

新しいトナーカートリッジのキャップを取り外します。

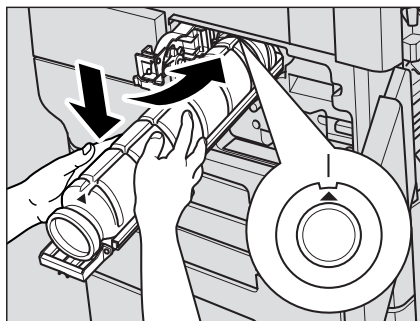
○ 取り外したキャップは使用済みのトナーカートリッジに取り付け、梱包箱に入れます。



9

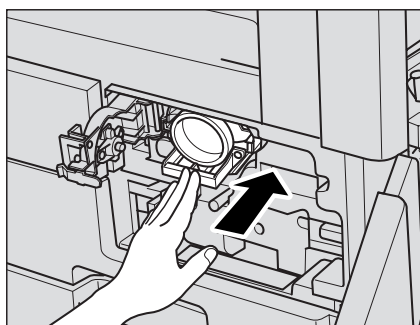
向きに注意して新しいトナーカートリッジの奥側を先にトナーカートリッジホルダーにセットします。

- トナーカートリッジの▼マークを上に向けてセットします。  
▼マークを上に向けてセットしないと、トナーカートリッジホルダーが完全に押し込められません。



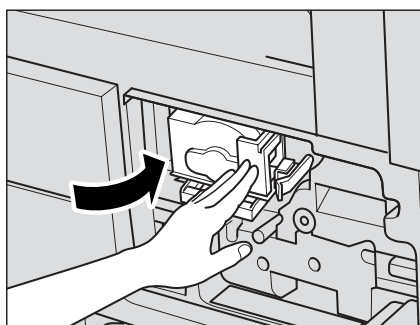
10

トナーカートリッジホルダーを元の位置に押し込みます。



11

トナーカートリッジカバーを閉じ、本体前ドアを閉じます。



## 8.2 ステープルカートリッジを交換する

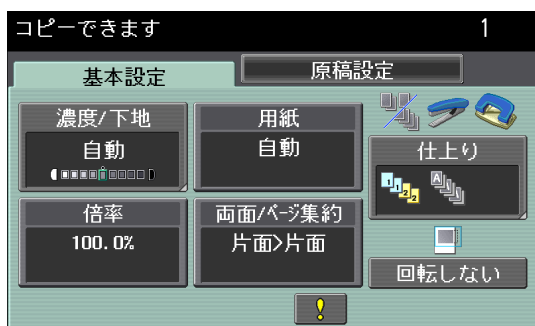
フィニッシャー FS-523 を装着している場合、ステープル針がなくなると、下図のメッセージが表示されます。

フィニッシャー FS-523 のステープルカートリッジの交換方法は、[p. 8-10](#) をご覧ください。

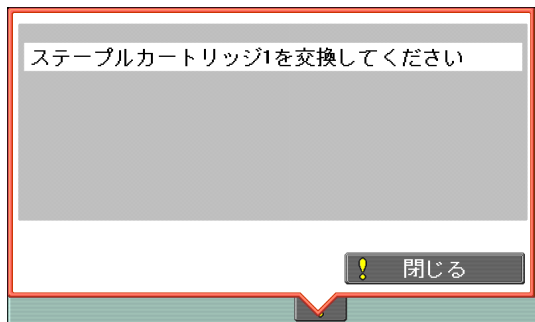


＜拡大表示機能時の表示＞

ステープル針がなくなると、[!]が表示されます。



[!]を押すと下図が表示されます。



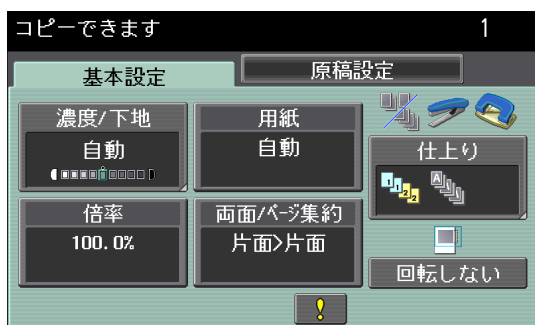
フィニッシャー FS-522 を装着している場合、ステープル針がなくなると、下図のメッセージが表示されます。

フィニッシャー FS-522 のステープルカートリッジの交換方法は、[p. 8-13](#) をごらんください。

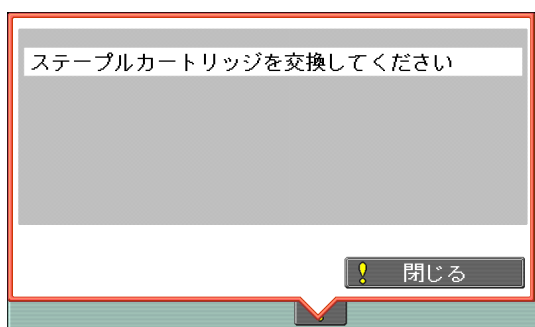


＜拡大表示機能時の表示＞

ステープル針がなくなると、[!] が表示されます。



[!] を押すと下図が表示されます。



フィニッシャーFS-522 に装着している中綴じ機 SD-507 のステープル針がなくなると、下図のメッセージが表示されます。

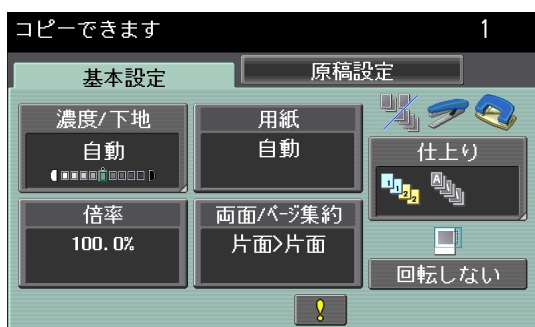
中綴じ機 SD-507 のステープルカートリッジの交換方法は、[p. 8-16](#) をご覧ください。



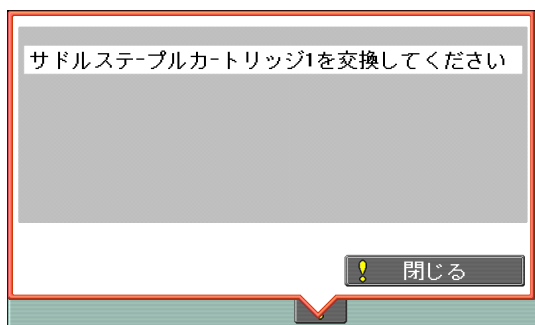
ステープルカートリッジの交換は、必ず交換のメッセージが表示されてから行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取り外すと故障の原因になります。

＜拡大表示機能時の表示＞

ステープル針がなくなると、[!]が表示されます。



[!]を押すと下図が表示されます。

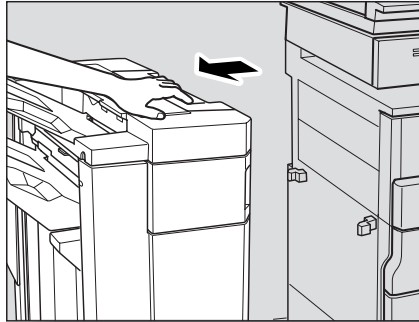


### 8.2.1 フィニッシャー FS-523 のステープルカートリッジ交換のしかた

1

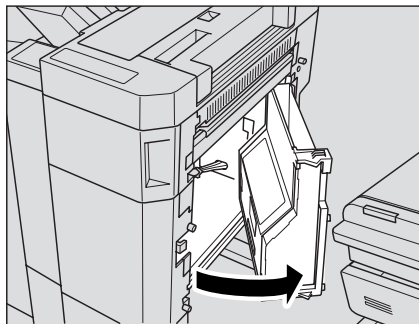
フィニッシャー本体を左へスライドさせます。

- フィニッシャー上面の引出し取手を持って左へゆっくり止まるまでスライドさせます。



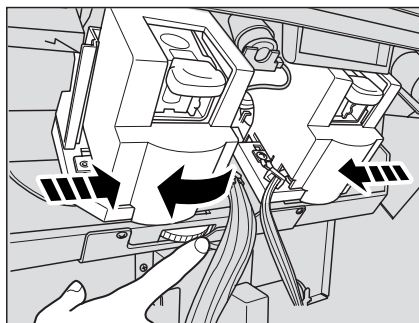
2

フィニッシャー右ドア FN7 を開きます。



3

ダイヤルを左側に回し、2つのステープラーを中央に移動させます。



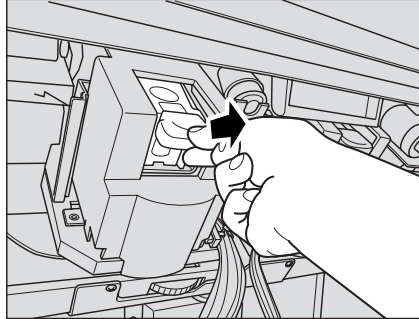
**必ず守ってください**

ステープルカートリッジの交換は必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取り外すと、故障の原因になります。

4

ステープラー 1 またはステープラー 2 からステープルホルダーを手前に引き出します。

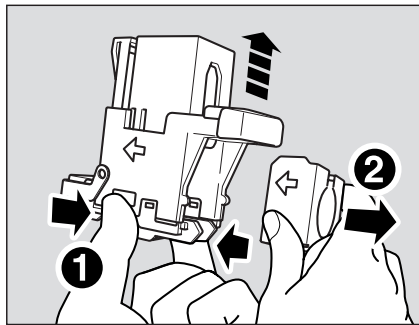
- どちらのステープルホルダーを引き出すかは、メッセージでご確認ください。  
ステープルカートリッジ 1: 奥側、ステープルカートリッジ 2: 手前側



5

空になったステープルカートリッジを取り出します。

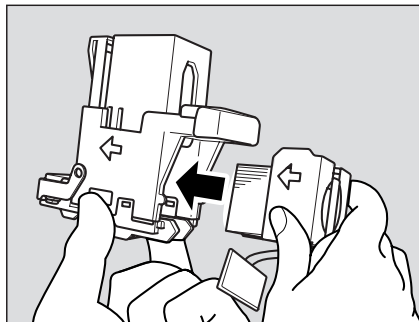
- ステープルホルダーの「PUSH」(2 カ所)を押して、ステープルケースを引き上げ、ステープルホルダー内のステープルカートリッジを取り出します。



6

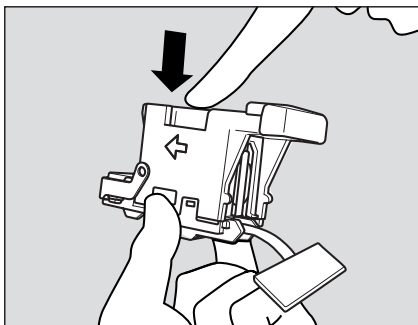
新しいステープルカートリッジをステープラーホルダーにセットします。

- ステープルカートリッジは、ステープルホルダーの奥まで確実に押し込みます。



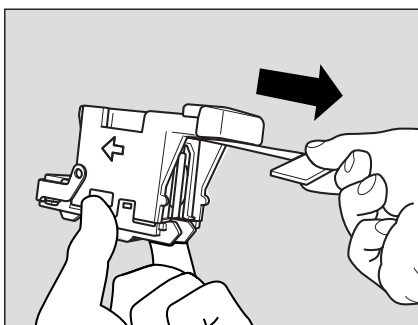
7

ステープルケースを元の位置に押しもどします。



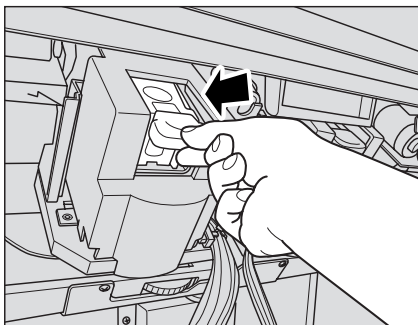
8

ステープルカートリッジのロックテープを取り除きます。



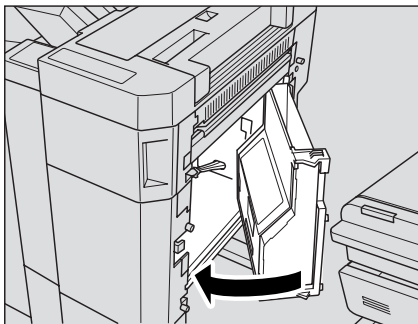
9

ステープルホルダーをステープラーに“カチッ”と音がするまで押し込みます。



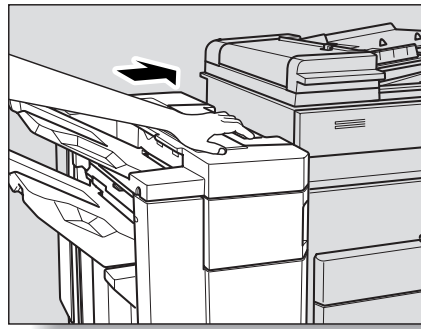
10

フィニッシャー右ドア FN7 を閉じます。



11

フィニッシャーをゆっくり右にスライドさせ、元の位置にもどします。



## 8.2.2 フィニッシャー FS-522 のステープルカートリッジ交換のしかた

1

基本設定画面の〔仕上り〕を押します。



○〔ステープル針交換〕が表示された仕上り画面が表示されます。

2

〔ステープル針交換〕を押します。



通常、フィニッシャー奥側にあるステープラーが手前側に移動します。

ステープラー移動中は「ステープラー移動中です しばらくお待ちください」というメッセージが表示されます。

必ず守ってください

ステープルカートリッジの交換は必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取り外すと、故障の原因になります。

必ず守ってください

ステープルカートリッジを交換するときは、ステープラーを手前側に自動的に移動させるため、〔ステープル針交換〕を押します。

必ず守ってください

ステープラー移動中のメッセージが表示されているときに、フィニッシャー前ドアを開かないでください。

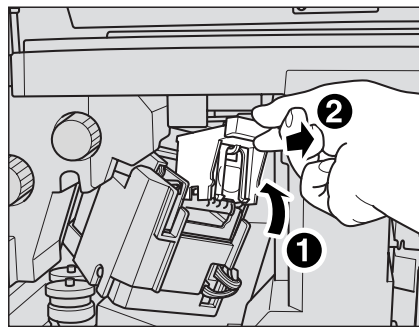
3

ステープラー移動中のメッセージが消えたことを確認し、フィニッシャー前ドアを開きます。



4

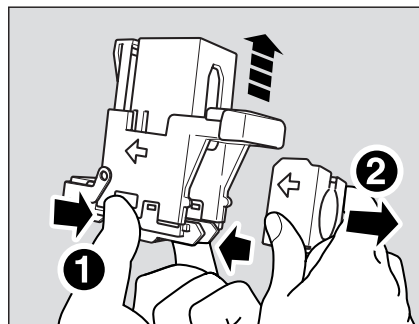
ステープラーからステープルホルダーを手前に引き出します。



5

空になったステープルカートリッジを取り出します。

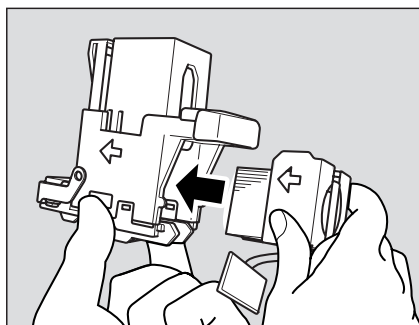
- ステープルホルダーの「PUSH」(2カ所)を押して、ステープルケースを引き上げ、ステープルホルダー内のステープルカートリッジを取り出します。



6

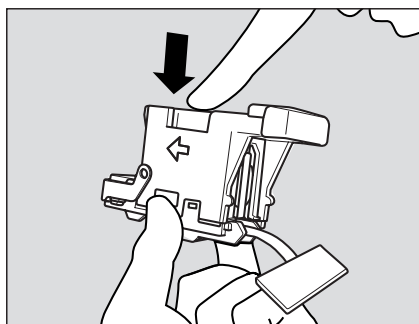
新しいステープルカートリッジをステープルホルダーにセットします。

- ステープルカートリッジは、ステープルホルダーの奥まで確実に押し込みます。



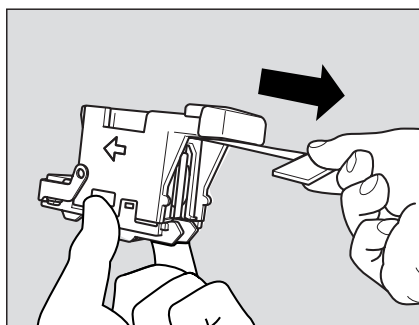
7

ステープルケースを元の位置に押しもどします。



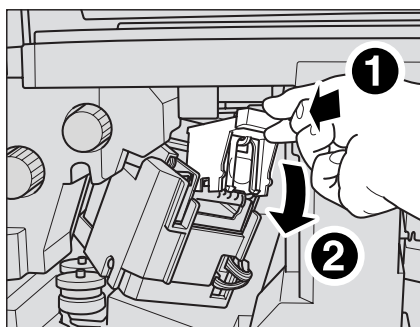
8

ステープルカートリッジのロックテープを取り除きます。



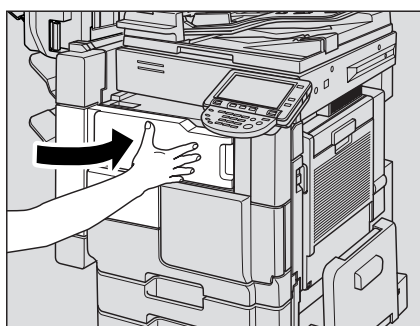
9

ステープルホルダーをステープラーに“カチッ”と音がするまで押し込みます。



10

フィニッシャー前ドアを閉じます。



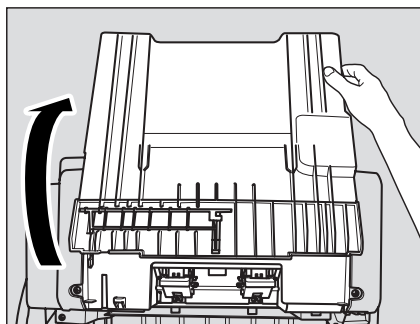
- ステープラーが元の位置にもどり、基本設定画面にもどります。

### 8.2.3 中綴じ機 SD-507 のステープルカートリッジ交換のしかた

1

中綴じ機の排紙トレイを上方に開き、保持します。

中綴じ機の排紙トレイは、上に開いた状態のままにできません。手を放すと勢いよく閉じられて思わぬ事故になることがあります。ご注意ください。



**必ず守ってください**

中綴じ機の下側にある排紙トレイ1の補助トレイが引き出されている場合、以後の作業の妨げになったり、機械故障の原因になりますので、押し込んでください。

**詳しく説明します**

ステープルカートリッジの交換は必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取り外すと、故障の原因になります。

2

ステープルホルダーを取り出します。

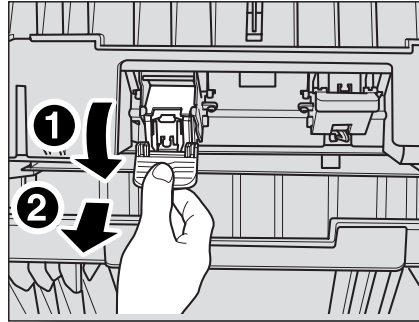
空になったステープルホルダーを下に押し込み、手前に引き出します。

どちらのステープルホルダーを引き出すかは、メッセージでご確認ください。

サドルステープルカートリッジ 1: 奥側

サドルステープルカートリッジ 2: 手前側

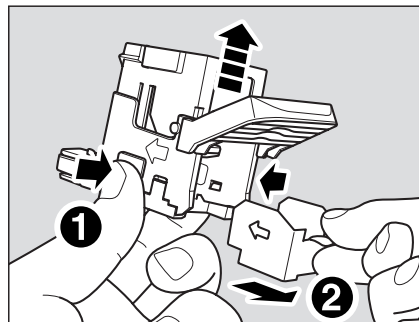
保持していた中綴じ機の排紙トレイを静かに元の位置にもどします。



3

空になったサドルステープルカートリッジを取り出します。

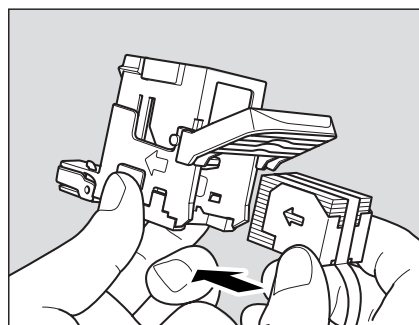
サドルステープルホルダーの「PUSH」(2カ所)を押して、ステープルケースを引き上げ、ステープルホルダー内のサドルステープルカートリッジを取り出します。



4

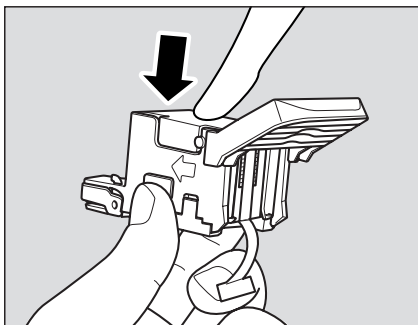
新しいサドルステープルカートリッジをステープルホルダーにセットします。

- サドルステープルカートリッジは、ステープルホルダーの奥まで確実に押し込みます。



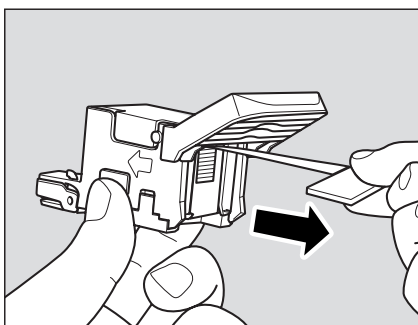
5

ステープルケースを元の位置に押しもどします。



6

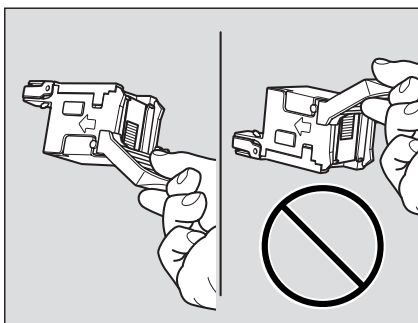
サドルステープルカートリッジのロックテープを取り除きます。



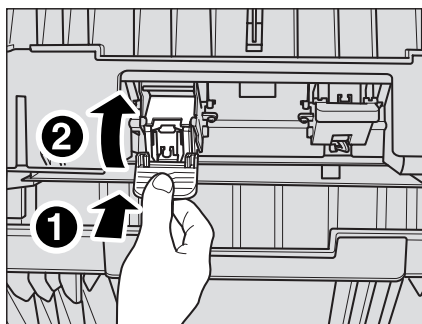
7

ステープルホルダーを元の位置に取り付けます。

○ ステープルホルダーを図のように持ちます。

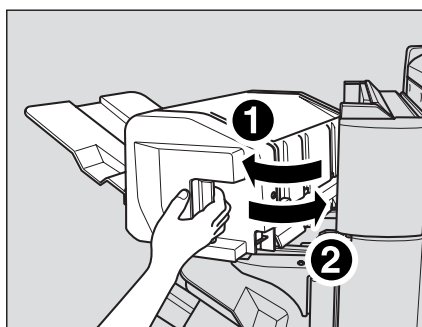


中綴じ機の排紙トレイを上方に開いて保持しながら、ステープルホルダーを元の位置に押し込み、“カチッ”と音がするまで上に上げます。  
保持していた中綴じ機の排紙トレイを静かに元の位置にもどします。



8

中綴じ機を開閉します。



中綴じ機の開閉により、リセットされ、再び中とじステープルができるようになります。

## 8.3 パンチくずを処理する

フィニッシャー FS-523 は、パンチくずがいっぱいになっても通知メッセージは表示されません。パンチを行う前にパンチくず量を確認し、必要な場合は、パンチくずを捨ててください。パンチくずの処理方法は、[p. 8-21](#) をごらんください。

フィニッシャー FS-522 に装着されたオプションのパンチユニット PU-501 のパンチくず箱にパンチくずがいっぱいになると、下記のメッセージが表示されてパンチできなくなります。パンチくずを捨ててください。パンチくずの処理方法は、[p. 8-23](#) をごらんください。

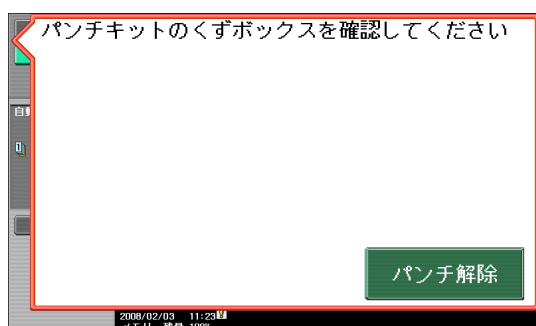
### <パンチ設定時の表示>



### <ジョブ実行中の表示>



### <拡大表示機能時の表示>



### 8.3.1 フィニッシャー FS-523 のパンチくずを処理する

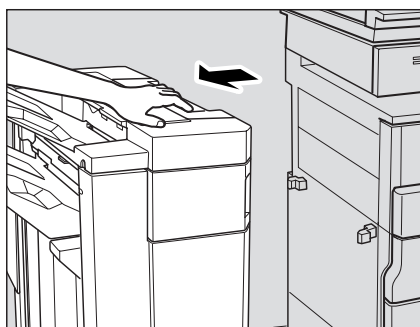
#### 原則

パンチくずがいっぱいになっても通知メッセージは表示されません。パンチを行う前にパンチくず量を確認し、必要な場合は、パンチくずを捨ててください。

1

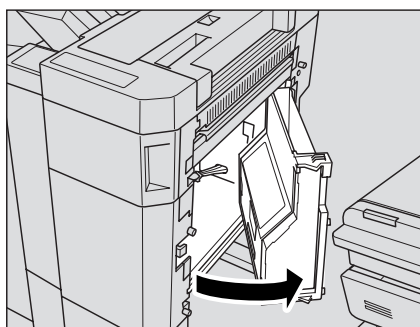
フィニッシャー本体を左へスライドさせます。

フィニッシャー上面の引出し取手を持って左へゆっくり止まるまでスライドさせます。



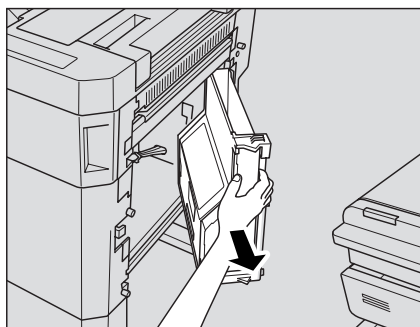
2

フィニッシャー右ドア FN7 を開きます。



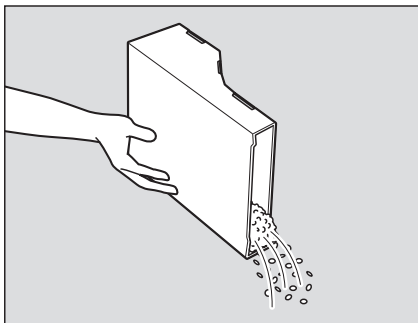
3

パンチくず箱を引き出します。



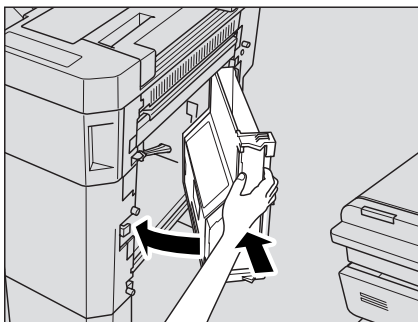
4

パンチくずを捨てます。



5

パンチくず箱を元に位置にもどし、フィニッシャー右ドア FN7 を閉じます。



6

フィニッシャーをゆっくり右にスライドさせ、元の位置にもどします。



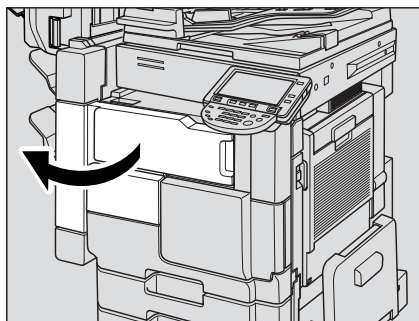
必ず守ってください

パンチくず箱は使い捨てではありません。パンチくずを捨てたあとは、元の位置にもどしてください。

### 8.3.2 パンチユニット PU-501 のパンチくずを処理する

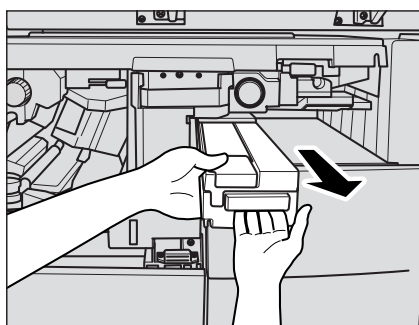
1

フィニッシャー前ドアを開きます。



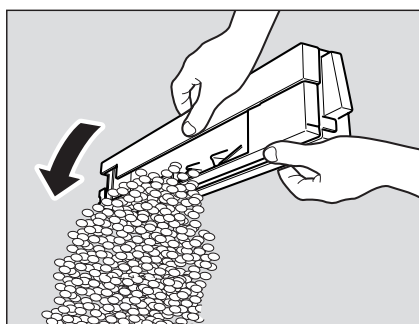
2

パンチくず箱を引き出します。



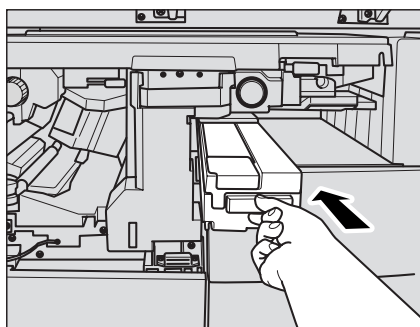
3

パンチくずを捨てます。



4

パンチくず箱を元の位置に戻し、奥までしっかり押し込んでください。



5

フィニッシャー前ドアを閉じます。



# 第 9 章

## 日頃の管理

---

本機の日頃の管理について説明します。

9.1	清掃のしかた .....	9-2
9.2	カウントを確認する .....	9-5
9.3	「装置の定期点検時期です」と表示されたら .....	9-6

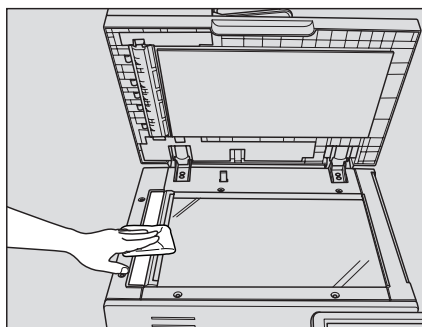
## 9.1 清掃のしかた

ここでは、機械各部の清掃のしかたを説明します。  
清掃時は必ず本体の種電源スイッチをオフにしてください。

### 9.1.1 原稿読取りガラスの清掃

原稿読取りガラスが汚れていると、ADF 使用時のコピー画像にタテスジができることがあります。

柔らかい布で原稿読取りガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



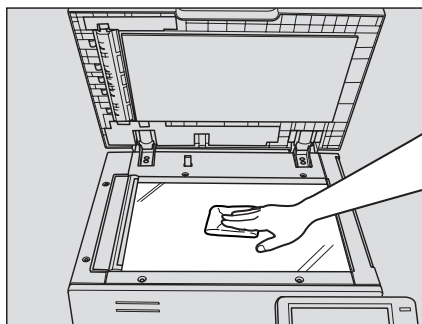
必ず守ってください

原稿読取りガラスの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

### 9.1.2 原稿ガラスの清掃

原稿ガラスが汚れていると、原稿ガラスでコピーした画像に汚れができることがあります。

柔らかい布で原稿ガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



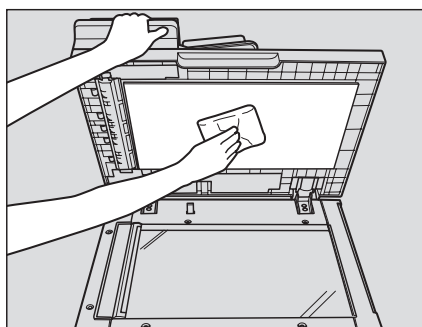
必ず守ってください

原稿ガラスの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

### 9.1.3 原稿押さえパッドの清掃

原稿押さえパッドが汚れていると、原稿ガラスでコピーした画像に汚れができることがあります。

柔らかい布で原稿押さえパッドの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



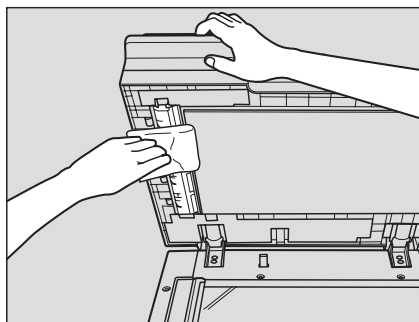
必ず守ってください

原稿押さえパッドの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

### 9.1.4 給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、コピーした画像に汚れができることがあります。

柔らかい布で給紙ローラーを乾拭きし、汚れを拭き取ります。



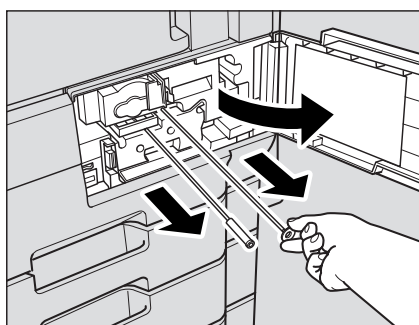
必ず守ってください

給紙ローラーの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

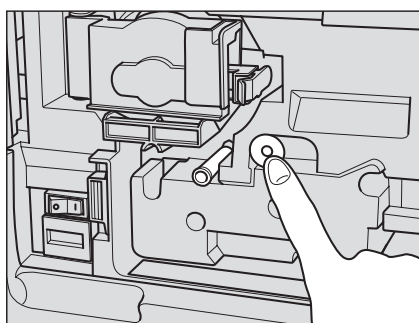
### 9.1.5 書込みユニットガラス／帯電ワイヤの清掃

書込みユニットガラスや帯電ワイヤが汚れると、コピー画像にスジのような汚れができることがあります。

前ドアを開き、書込みユニットガラス清掃レバーと帯電ワイヤ清掃レバーを引出し、押し込みを数回繰り返します。

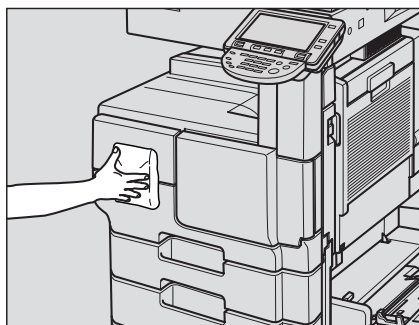


2つのレバーを確実に押し込み、前ドアを閉じます。



### 9.1.6 機械外装の清掃

柔らかい布に家庭用中性洗剤を含ませ、機械外装の汚れを拭き取ります。

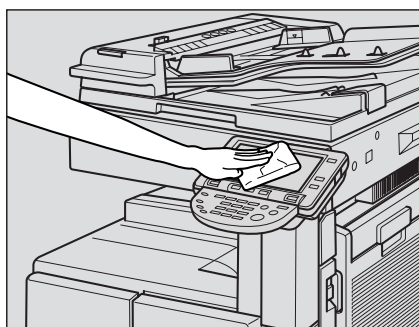


必ず守ってください

機械外装の清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

### 9.1.7 操作パネルの清掃

柔らかい布で操作パネルの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



必ず守ってください

清掃時、操作のパネルのキーやタッチパネルを強く押さえないでください。また、機械外装の清掃に中性洗剤、ガラスクリーナーやベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

## 9.2 カウントを確認する

### 9.2.1 セールスカウンターを確認する

セールスカウンター表示画面を表示させて、カウント開始日からのトータルカウントを確認できます。

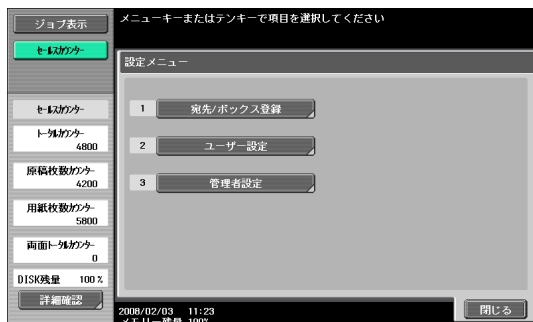
また、カウンターリストを印刷できます。

1

【設定メニュー / カウンター】を押します。

2

左エリアの「セールスカウンター」を押し、「詳細確認」を押します。



カウンターリスト表示画面が表示されます。



○ カウンターリストを印刷する場合は、「印刷」を押し、用紙を選択して【スタート】を押します。

3

「閉じる」を2回押します。

基本設定画面に戻ります。

#### ひとこと

コピー／印刷中でもカウンターリスト表示画面を表示させることができます。

## 9.3 「装置の定期点検時期です」と表示されたら

bizhub 501/421 の定期点検は 250,000 コピーごと、bizhub 361 の定期点検は 225,000 コピーごとに実施します。

「装置の定期点検時期です」と表示されたら、サービス実施店にご連絡し、定期点検を受けてください。





# 第 10 章

## ジョブ確認

---

本機に登録されたジョブの確認、操作について説明します。

10.1	ジョブ表示画面の概要 .....	10-2
10.2	ジョブ操作をする .....	10-6

## 10.1 ジョブ表示画面の概要

### 10.1.1 ジョブについて

コピーの準備をし、【スタート】を押すと、1 件のコピー動作が本機に登録されます。登録された動作をジョブと呼びます。同様に、読み込み動作やスキャナー、コンピューターからの印刷指示もジョブとして登録されます。

- ジョブ表示画面で、実行中のジョブやジョブ履歴を確認できます。
- 実行中リストの一番上にあるジョブから印刷されます。
- ジョブは、登録された順にジョブ番号が付けられ印刷など動作実行の順番を待ちます。

### 10.1.2 マルチジョブ機能について

- 1 つのジョブの印刷中でも、別のジョブを登録できます。全てのジョブを合わせて最大 250 件まで登録できます。
  - 機能によるジョブ件数の詳細については下表をごらんください。

機能名	ジョブ件数
コピー	5
割込みコピー	1
スキャン	5
印刷	10
ファクス（オフフック送信）	1
ファクス（メモリー送信）	50
ファクス（タイマー送信）	20
ファクス受信	100
ファクス（ポーリング受信）	1
ファクス（ポーリング送信）	1
共用	56
合計	250

※ 上記数値はあくまでも参考値であり、各設定条件により実際の値とは異なる場合があります。

- 1 つのジョブの印刷が完了すると、次に登録された印刷ジョブを自動的に開始します。

#### ひとこと

- ・ ジョブ番号は識別番号です。印刷順を示す番号ではありません。またジョブ番号はジョブが削除されるまで変更されません。
- ・ 優先出力機能を使うと、指定したジョブを先に印刷できます。

#### ひとこと

印刷ジョブ、スキャン送信ジョブ、ファクス送信ジョブ、受信／保存ジョブ全てを含めて 250 件まで登録できます。

### 10.1.3 ジョブ表示画面について

ジョブ表示画面では、本機の実行中ジョブおよび実行済みジョブを一覧表示し、内容の確認や設定の変更を行うことができます。

- ジョブ表示画面は以下の機能ごとに表示されます。
  - 印刷  
コピー、コンピューターからの印刷、受信ファクスの印刷のジョブリストです。
  - 送信  
スキャナー、ファクス送信のジョブリストです。
  - ファクス受信  
受信ファクスのジョブリストです。
  - 保存  
ボックスへ文書を保存したジョブリストです。

各機能切替えは、どのジョブ表示画面でも行えます。ただし、設定変更中に切替えたときは、その設定は取消されます。

- 各機能のジョブリストは、それぞれ実行中リストと履歴リストがあります。
  - 実行中リスト：  
登録済みジョブ、現在実行中のジョブのリストです。現在の状況を確認できます。
  - 履歴リスト：  
動作終了ジョブのリストです。エラーなどで実行できなかったジョブも含まれます。ジョブ履歴、実行結果を確認できます。
- 実行中リストと履歴リストは、表示するジョブの種類を選択できます。たとえば、印刷画面の実行中リストの場合は蓄積ジョブまたは動作中ジョブから、履歴リストの場合は消去ジョブ、終了ジョブ、全ジョブから選択できます。画面によって選択できるジョブの種類は異なります。
- ジョブ表示画面の各キーの機能は、以下のとおりです。



#### 詳しく説明します

ジョブ表示画面は、画面左エリアの「ジョブ表示」を押し、表示される「ジョブ詳細」を押すと表示されます。

#### ひとこと

出荷時設定では、ジョブ表示画面の初期表示は「印刷」の実行中リストが設定されています。

名称	説明
[印刷]	ジョブ確認の印刷画面に切替わります。
[送信]	ジョブ確認のファクス / スキャン送信画面に切替わります。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能編」をごらんください。

名称		説明
[ファクス受信]		ジョブ確認の受信画面に切替わります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
[保存]		ジョブ確認の保存画面に切替わります。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
[実行中リスト]	反転表示されているキーが、現在表示されているジョブリストの条件を示しています。	履歴リストから実行中リストに切替わります。現在実行中のジョブと印刷待ち（待機中）ジョブが表示されます。
[履歴リスト]		実行中リストから履歴リストに切替わります。実行済みジョブが表示されます。
[削除] *1		実行中リストのジョブを削除できます。詳しくは、「 <a href="#">ジョブを削除する</a> 」(p. 10-6)をごらんください。
[優先出力]（印刷画面実行中リストの場合に表示）		印刷中ジョブの次に印刷するジョブを変更できます。詳しくは、「 <a href="#">優先出力の設定をする</a> 」(p. 10-12)をごらんください。 ここに表示されるキーは、画面や実行中／履歴リストによって異なります。
[蓄積解除] (印刷機能実行中リスト画面の場合に表示)		蓄積されたジョブのリストに切替わります。蓄積ジョブの設定変更、印刷、削除ができます。
[設定内容] *1		実行中リストのジョブの設定を確認できます。詳しくは、「 <a href="#">ジョブの設定内容を確認する</a> 」(p. 10-7)、をごらんください。
[消去ジョブ] [終了ジョブ] [全ジョブ] (印刷機能履歴リスト画面の場合に表示)		ジョブリストに表示するジョブの種類を指定できます。キーを押すと表示が切替わります。
[詳細]		実行中／履歴リストのジョブの状態、実行結果、エラー詳細、ユーザー名、登録時間、終了時間、原稿枚数、部数などを確認できます。詳しくは、「 <a href="#">ジョブの詳細確認をする</a> 」(p. 10-7)をごらんください。
[↑] [↓]		ジョブの件数が、1 度に表示できる件数（7 件）を超えた場合にキーを押すと、現在表示されているジョブより印刷順位の高いジョブ、または印刷順位の低いジョブが表示されます。
[閉じる]		ジョブ確認機能は解除され、[ジョブ確認] を押す前の画面に戻ります。

\*1 実行中リストを表示しているときに表示されます。

印刷画面の内容は以下のとおりです。

名称	説明
No.	ジョブの登録時につけられる、ジョブの識別番号を表示します。
登録元	ジョブの種類を表示します。コピージョブは“COPY”と表示されます。

名称	説明
状態（実行中リストのみ）	ジョブの状態を表示します。
文書名	PC 印刷ジョブ時にファイル名を表示します。 ユーザー認証時は、他のユーザーには文書名を表示しません。 セキュリティ文書の場合、文書名は表示しません。
登録時間	ジョブの登録時間を表示します。
原稿	原稿枚数を表示します。
部数	印刷部数を表示します。 実行中リストでは、ジョブが「印刷中」になると印刷部数をカウント表示します。
実行結果（履歴リストのみ）	ジョブの実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去、モード解除）を表示します。

### 10.1.4 左エリアジョブリスト

基本設定画面の左エリアに、ジョブ一覧またはジョブの状態に関する情報を表示できます。

- ➔ 左エリアの「ジョブ表示」を押します。  
左エリアがジョブ一覧の表示に切り替わります。



- ユーザー設定でジョブ表示設定を「状態表示」にしている場合、左エリアにはジョブの状態が表示されます。



- 「ジョブ詳細」を押すと、ジョブ表示画面が表示されます。
- ジョブ一覧のジョブを選択し、「削除」を押すと、そのジョブを削除できます。
- ジョブの件数が、一覧に表示できる件数（7 件）を超えた場合は、「↑」「↓」キーを押して表示するジョブを切替えます。

#### ひとこと

- ・ 出荷時設定では、左エリアの初期表示は「ジョブ表示」の「リスト表示」が設定されています。
- ・ 左エリアの初期表示や左エリアジョブリストの表示方法の設定については、「[画面カスタマイズ設定](#)」(p. 11-15) をご覧ください。

## 10.2 ジョブ操作をする

### 10.2.1 ジョブを削除する

登録されたジョブや印刷中のジョブ（動作中リストのジョブ）を削除できます。

1

画面左エリアの「ジョブ表示」を押し、「ジョブ詳細」を押します。



ジョブ表示画面が表示されます。

2

印刷タブを選択し、削除したいジョブを表示させます。

3

削除したいジョブを選択し、「削除」を押します。



削除確認画面が表示されます。

4

内容を確認し、該当ジョブであれば、「はい」を押し、「OK」を押します。



「削除」を押す前の画面に戻り、実行中リストからジョブが削除されます。

#### ひとこと

- ・ユーザー認証を行っている場合に、他のユーザーがジョブを削除できない設定をしていると、削除できません。
- ・実行中のジョブについては、左エリアでジョブを選択し、「削除」を押しても削除できます。

#### ひとこと

履歴リストのジョブは削除できません。

#### 詳しく説明します

- ・削除したいジョブが表示されていないときは、「↑」または「↓」で、表示を切替えます。
- ・ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、回転されたキーをもう1度押すと選択は取消されます。

#### 詳しく説明します

削除を中断する場合は、「いいえ」を押し、「OK」を押します。

5

「閉じる」または【リセット】を押します。  
基本設定画面に戻ります。

## 10.2.2 ジョブの設定内容を確認する

登録されたジョブや印刷中のジョブ、印刷待ち、蓄積ジョブなどの設定内容を確認できます。

1

画面左エリアの「ジョブ表示」を押し、「ジョブ詳細」を押します。  
ジョブ表示画面が表示されます。

2

設定内容を確認したいジョブを表示させます。

3

確認したいジョブを選択し、「設定内容」を押します。  
設定内容画面が表示されます。



4

設定内容の確認が終了したら、「閉じる」、「【リセット】」のいずれかを押します。  
○「閉じる」を押すと、「設定内容」を押す前の画面に戻ります。  
○【リセット】を押すと、基本設定画面に戻ります。

## 10.2.3 ジョブの詳細確認をする

ジョブ表示画面で、以下の内容を確認できます。

- 印刷画面  
状態（受信中、印刷待ち、印刷中、印刷停止、印刷エラー、蓄積中）<sup>\*1</sup>、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去、一部のモード解除）<sup>\*2</sup>、エラー詳細<sup>\*2</sup>、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、時間（登録、終了<sup>\*2</sup>）、枚数、部数
- 送信画面  
状態（送信中、送信待ち、ダイアル中、リダイアル待ち）<sup>\*1</sup>、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去）<sup>\*2</sup>、エラー詳細（エラー内容）<sup>\*2</sup>、登録元 / ユーザー名、文書名、宛先種類（E-Mail、ファイルFTP、ファイルSMB、TWAIN、ファクス、その他）、宛先（詳細<sup>\*3</sup>）、時間（登録時間、通信時間）、原稿枚数、外部サーバー情報<sup>\*4</sup>

### 詳しく説明します

ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、反転されたキーをもう1度押すと選択は取消されます。

### 詳しく説明します

- ・ 設定内容画面の内容、画面数は、ジョブによって異なります。
- ・ 「←前画面」の左の数字の分子が現在表示されている画面番号、分母が総画面数を示しています。
- ・ 「←前画面」を押すと1つ前の画面に、「次画面→」を押すと次の画面に切替わります。

- ファクス受信画面  
状態（受信中、ダイアル中（ポーリング受信時のみ）、印刷待ち、印刷中、印刷停止、印刷エラー、メモリー保存中）<sup>\*1</sup>、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去、モード解除）<sup>\*2</sup>、エラー詳細（エラー内容）<sup>\*2</sup>、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、時間（登録時間、通信時間）、原稿枚数
- 保存画面  
状態（受信中、メモリー保存中）<sup>\*1</sup>、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザー消去、モード解除、書込みエラー）<sup>\*2</sup>、文書名、登録元 / ユーザー名、登録時間、原稿枚数

\*1 実行中リストのジョブのみ表示

\*2 履歴リストのジョブのみ表示

\*3 実行中リストの複数宛先へ送信ジョブのみ表示

\*4 外部サーバー認証時のみ表示

1

画面左エリアの「ジョブ表示」を押し、「ジョブ詳細」を押します。

ジョブ表示画面が表示されます。

2

詳細確認をしたいジョブを表示させます。

3

詳細確認をしたいジョブを選択し、「詳細」を押します。

詳細確認画面が表示されます。

The screenshot shows a software interface for job management. On the left, there is a sidebar with a 'ジョブ表示' (Job Display) button at the top and a 'ジョブ詳細' (Job Details) button at the bottom. The main area displays job information for 'ジョブNo. 20 詳細表示'. The information is organized into fields: '状態' (Status) is '印刷中' (Printing); '登録元/ユーザー名' (Registration Source/User Name) is 'COPY'; '文書名' (Document Name) is blank; '排出先' (Output Destination) is 'トレイ1' (Tray 1); '時間' (Time) shows '登録' (Registration) at '2008/02/03 17:45'; '枚数' (Count) shows '原稿' (Original) as 1 and '部数' (Copies) as 7. At the bottom, there are buttons for '削除' (Delete) and '閉じる' (Close). The status bar at the very bottom shows '2008/02/03 17:46'.

4

確認が終了したら、「閉じる」、「リセット」のいずれかを押します。

○「閉じる」を押すと、「詳細」を押す前の画面に戻ります。

○「リセット」を押すと、基本設定画面に戻ります。

#### 詳しく説明します

ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、反転されたキーをもう1度押すと選択は取消されます。

#### 詳しく説明します

- ・ 詳細確認画面で、「削除」を押すとジョブを削除できます。
- ・ 送信画面の詳細確認画面で「詳細」が表示されたら、同報宛先で送信した複数の宛先詳細情報があります。「詳細」を押すと確認できます。

### 10.2.4 実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する

コピー機能、PC 印刷機能、ファクス機能の受信印刷の実行中リストが表示されます。

- 1 画面左エリアの「ジョブ表示」を押し、「ジョブ詳細」を押します。  
ジョブ表示画面が表示されます。
- 2 目的のリストのキーを押します。



- 蓄積ジョブを確認する場合は、「蓄積解除」を押し、蓄積解除画面を表示します。



「中止」を押すと、ジョブ表示画面に戻ります。

### 10.2.5 履歴リストを表示する

- 1 画面左エリアの「ジョブ表示」を押し、「ジョブ詳細」を押します。  
ジョブ表示画面が表示されます。
- 2 「履歴リスト」を押します。  
印刷の履歴リスト画面が表示されます。



各キーのはたらきについては、「[ジョブ表示画面について](#)」(p. 10-3) をごらんください。



- ・蓄積解除画面では、蓄積ジョブを1部印刷して確認できます。詳しくは、「[蓄積ジョブを1部印刷して確認する](#)」(p. 10-10) をごらんください。
- ・蓄積解除画面では、蓄積ジョブを印刷できます。詳しくは、「[蓄積ジョブを印刷する](#)」(p. 10-11) をごらんください。
- ・実行中リスト画面で「優先出力」を押すと、目的のジョブを優先出力できます。詳しくは、「[優先出力の設定をする](#)」(p. 10-12) をごらんください。

3

目的のリストのキーを押します。



- 消去ジョブ：終了前に消去したジョブだけを表示
- 終了ジョブ：正常終了したジョブだけを表示
- 全ジョブ：全てのジョブを表示

### 10.2.6 蓄積ジョブを1部印刷して確認する

確認のために蓄積ジョブを1部印刷できます。

蓄積ジョブリストには、確認コピー中にシステムオートリセットが機能したジョブなどが表示されます。

1

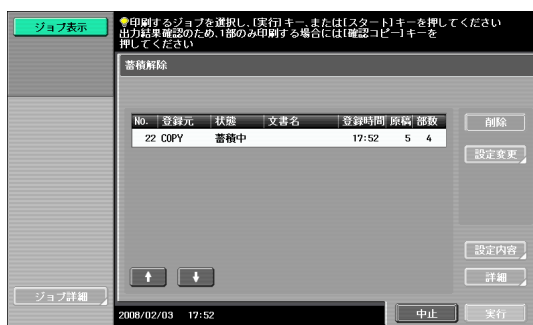
印刷の実行中リストで「蓄積解除」を押します。



蓄積解除画面が表示されます。

2

ジョブリストから確認印刷をするジョブを選択し、【確認コピー】を押します。



- 1部印刷されますので、印刷結果を確認します。



表示のしかたは、「**実行中リスト** (蓄積ジョブまたは動作中ジョブ) を表示する」(p. 10-9) をご覧ください。



- ・蓄積解除をしたいジョブが表示されていないときは、[↑] または [↓] で、表示を切替えます。
- ・ジョブを間違えて選択したときは、選択したジョブをもう1度押すと選択は取消されます。
- ・確認印刷を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- ・設定を変更したい場合は、蓄積解除画面で「設定変更」を押します。詳しくは、「**蓄積ジョブを印刷する**」(p. 10-11) をご覧ください。

### 10.2.7 蓄積ジョブを印刷する

蓄積を解除し、ジョブを印刷します。

- 印刷の実行中リストで「蓄積解除」を押します。



蓄積解除画面が表示されます。

- ジョブリストから蓄積解除をするジョブを選びます。



- 設定されているコピー条件を変更しない場合は、手順 5 へ進みます。

- 「設定変更」を押します。

設定変更画面が表示されます。

- 設定変更画面でコピー条件を変更して、「OK」を押します。



表示のしかたは、「**実行中リスト** (蓄積ジョブまたは動作中ジョブ) を表示する」(p. 10-9) をご覧ください。



#### 詳しく説明します

- ・蓄積解除をしたいジョブが表示されていないときは、[↑] または [↓] で、表示を切替えます。
- ・ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、選択したジョブをもう 1 度押すと選択は取消されます。



各設定方法については、各設定の説明ページをご覧ください。

5

蓄積解除画面で「実行」または【スタート】を押します。  
蓄積ジョブは動作中ジョブリストに表示され、印刷されます。

## 10.2.8 優先出力の設定をする

印刷中のジョブの次に印刷するジョブを変更できます。

### 原則

管理者設定のジョブ優先順位変更を禁止に設定している場合は、「優先出力」は表示されず、優先出力は設定できません。

1

印刷の実行中リスト画面を表示します。

2

「優先出力」を押します。



優先出力画面が表示されます。

3

ジョブリストの優先出力をしたいジョブを押して反転させてから、「実行」を押します。



選択したジョブがリストの一番上に移動し、印刷を開始します。

### 詳しく説明します

- ・確認印刷をしたい場合は、[p. 10-10](#) をご覧ください。
- ・蓄積解除を中止する場合は、「中止」を押します。

### 詳しく説明します

- ・印刷中のジョブが割り込み可能な設定の場合は、印刷を中断して優先出力ジョブを印刷します。中断されたジョブは、割り込んだジョブの印刷が完了すると自動的に印刷を再開します。
- ・印刷中のジョブが割り込み不可な設定の場合（割り込みコピー中、および優先出力中）は、現在の印刷の完了後に割り込み印刷を開始します。

### 参照

表示のしかたは、「[実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する](#)」([p. 10-9](#)) をご覧ください。

### 詳しく説明します

- ・優先出力をしたいジョブが表示されていないときは、「↑」または「↓」で、表示を切替えます。
- ・ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを選択しなおすか、選択したジョブをもう1度押すと選択は取消されます。
- ・優先出力を中止する場合は、「中止」を押します。



# 第 11 章

## 設定メニュー

---

日頃の使い方に合わせて、本機の設定を変更、管理する方法について説明します。

11.1	設定メニューの概要 .....	11-2
11.2	宛先登録を選択する .....	11-6
11.3	ユーザー設定を選択する .....	11-13
11.4	管理者設定を選択する .....	11-21
11.5	ウィークリータイマーの設定の概要 .....	11-37
11.6	フィニッシャー調整 .....	11-38
11.7	ヘッダー / フッターを設定する .....	11-46
11.8	認証方式 .....	11-49
11.9	ユーザー認証設定 .....	11-54
11.10	部門管理設定 .....	11-62
11.11	パスワード規約 .....	11-67
11.12	セキュリティー強化設定 .....	11-68

## 11.1 設定メニューの概要

### 11.1.1 登録・設定項目一覧表

【設定メニュー / カウンター】を押したときに表示されるキーを記載します。

#### ひとこと

設定メニューに表示されるキーは設定により異なります。

#### 設定メニュー一覧

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
[1] 宛先 / ボックス登録	[1] ファクス / スキャン宛先登録	[1] 短縮宛先	「 <a href="#">ファクス / スキャン宛先登録</a> 」(p. 11-6) をごらんください。
		[3] グループ宛先	
		[4] E-mail	
		[5] 着信拒否宛先	
	[2] ボックス登録	[1] 共有 / 個人ボックス	「 <a href="#">ボックス登録</a> 」(p. 11-6) をごらんください。
		[2] 掲示板ボックス	
[2] ユーザー設定	[3] 参照許可設定	[3] 中継ボックス	「 <a href="#">参照許可設定</a> 」(p. 11-6) をごらんください。
		[1] 宛先レベル設定	
	[1] 環境設定	[1] 言語選択	「 <a href="#">環境設定</a> 」(p. 11-13) をごらんください。
		[2] 単位系設定	
		[3] 給紙トレイ設定	
		[4] パワーセーブ設定	
		[5] 出力設定	
		[6] 白紙ページ印字設定	
		[7] 原稿画質の濃度シフト	
		[8] ページ番号の印字位置設定	
	[2] 画面カスタマイズ設定	[1] コピー設定	「 <a href="#">画面カスタマイズ設定</a> 」(p. 11-15) をごらんください。
		[2] ファクス / スキャン設定	
		[3] コピー動作中画面	
		[4] ファクス動作中画面	
		[5] 選択色設定	
		[6] 左エリア初期表示設定	
		[7] 検索オプション設定	
	[3] コピー設定	中とし時小冊子選択	「 <a href="#">コピー設定</a> 」(p. 11-16) をごらんください。
		集約 / 小冊子倍率	
		ソート / グループ自動切替え	
		コピー初期設定	
		拡大表示初期設定	
		AMS 方向不可時動作	
		連続読み込み方法	
		拡大ローテーション	
		原稿ガラス自動倍率	
		ADF 自動倍率	
		APS 解除時のトレイ指定	
		インターシートトレイ選択	
		コピー操作時の印刷受付	
		自動画像回転	

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
	[4] ファクス / スキャン設定	白黒 2 値圧縮方法	「 <a href="#">ファクス / スキャン設定</a> 」(p. 11-18) をごらんください。
		ファクス / スキャン初期設定	
		拡大表示初期設定	
	[5] プリンター設定	[1] 基本設定	「 <a href="#">プリンター設定</a> 」(p. 11-19) をごらんください。
		[2] 用紙設定	
		[3] PCL 設定	
		[4] PS 設定	
		[5] XPS 設定	
		[6] TIFF/PDF 画像用紙設定	
		[7] レポート出力	
		[8] 画像シフト設定	
		[9] スタンプ設定	
	[6] パスワード変更		現在ログイン中のユーザーのパスワードを変更します。
	[7] E-mail アドレス変更	E-mail アドレス	現在ログイン中のユーザーの E-mail アドレスを変更します。
	[8] アイコン変更		現在ログイン中のユーザーのアイコンを変更します。
[3] 管理者設定	[1] 環境設定	[1] パワーセーブ設定	「 <a href="#">環境設定</a> 」(p. 11-21) をごらんください。
		[2] 出力設定	
		[3] 日時設定	
		[4] サマータイム設定	
		[5] ウィークリータイマー設定	
		[6] ユーザー操作禁止設定	
		[7] エキスパート調整	
		[8] リスト / カウンター	
		[9] リセット設定	
		[0] ボックス設定	
		(次画面)	
		[1] サイズ設定	[1] サイズ設定の詳細については、サービス実施店にお問い合わせください。
		[2] スタンプ設定	
		[3] 白紙ページ印字設定	
		[4] ページ番号の印字位置設定	
		[5] ジョブ飛越し動作設定	
		[6] アプリケーションキー設定	
	[2] 管理者 / 本体登録	[1] 管理者登録	「 <a href="#">管理者 / 本体登録</a> 」(p. 11-26) をごらんください。
		[2] 本体アドレス登録	
	[3] 宛先 / ボックス登録	[1] ファクス / スキャン宛先登録	「 <a href="#">宛先 / ボックス登録</a> 」(p. 11-26) をごらんください。
		[2] ボックス登録	
		[3] 宛先登録リスト	
		[4] 最大ボックス数設定	

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
	[4] ユーザー認証 / 部門管理	[1] 認証方式 [2] ユーザー認証設定 [3] 部門管理設定 [4] 認証指定なし印刷 [5] 使用管理カウンターリスト [6] 外部サーバー設定 [7] 参照許可設定 [8] 認証装置設定 [9] ユーザー認証 / 部門共通設定	「 <a href="#">ユーザー認証 / 部門管理</a> 」(p. 11-27) をごらんください。
	[5] ネットワーク設定	[1] ネットワーク使用設定 [2] TCP/IP 設定 [3] NetWare 設定 [4] http サーバー設定 [5] FTP 設定 [6] SMB 設定 [7] LDAP 設定 [8] E-mail 設定 [9] SNMP 設定 [0] AppleTalk 設定 (次画面) [1] Bonjour 設定 [2] TCP Socket 設定 [3] ネットワークファクス設定 [4] WebDAV 設定 [5] Web サービス設定 [6] BMLinkS 設定 [7] SSDP 設定 [8] 詳細設定 [9] IEEE802.1X 認証設定	「 <a href="#">ネットワーク設定</a> 」(p. 11-30) をごらんください。
	[6] コピー設定	原稿ガラス自動倍率 ADF 自動倍率 APS 解除時のトレイ指定 インターシートトレイ選択 コピー操作時の印刷受付 自動画像回転	「 <a href="#">コピー設定</a> 」(p. 11-30) をごらんください。
	[7] プリンター設定	USB タイムアウト ネットワークタイムアウト XPS エラー印刷	「 <a href="#">プリンター設定</a> 」(p. 11-31) をごらんください。

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
	[8] ファクス設定	[1] 発信元 / ファクス ID 登録	「 <a href="#">ファクス設定</a> 」(p. 11-31) をごらんください。
		[2] 発信元 / 受信情報	
		[3] 回線パラメーター設定	
		[4] 送信 / 受信設定	
		[5] 機能設定	
		[6] PBX 接続設定	
		[7] レポート出力設定	
		[8] 設定値リスト	
		[9] 増設回線設定	
		[0] ネットワークファクス設定	
	[9] システム連携	[1] OpenAPI 設定	「 <a href="#">システム連携</a> 」(p. 11-32) をごらんください。
		[2] 管理者発信	
	[0] セキュリティー設定	[1] 管理者パスワード	「 <a href="#">セキュリティー設定</a> 」(p. 11-32) をごらんください。  [4] セキュリティー詳細では[監査ログ設定]ができます。詳細は、サービス実施店にお問い合わせください。
		[2] ボックス管理者設定	
		[3] ユーザー開放レベル	
		[4] セキュリティー詳細	
		[5] セキュリティー強化設定	
		[6] HDD 管理設定	
		[7] 管理機能設定	
		[8] スタンプ設定	
		[0] ドライバーパスワード暗号化設定	
		(次画面)	
		[1] フラッシュメモリーロックパスワード	
	(次画面)		
	[1] ライセンス管理設定	[1] リクエストコード発行	「 <a href="#">ライセンス管理設定</a> 」(p. 11-00) をごらんください。
		[2] 機能有効化	
		[3] 有効機能一覧	

## 11.2 宛先登録を選択する

ここでは【設定メニュー / カウンター】を押し、[宛先 / ボックス登録]で設定できる主な登録および機能について紹介します。

### 11.2.1 ファクス / スキャン宛先登録

設定項目	機能説明
短縮宛先	ファクスおよびスキャナーに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
グループ宛先	
E-Mail	
着信拒否宛先	

### 11.2.2 ボックス登録

設定項目	機能説明
共有 / 個人ボックス	ボックスに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
掲示板ボックス	
中継ボックス	

### 11.2.3 参照許可設定

#### <参照許可レベル>

本機では、「参照許可レベル」を使用し、登録された宛先のそれぞれに対して、内容の閲覧やファクス送信時の使用などを許可・不許可して、セキュリティを管理することができます。

参照許可レベルには、レベル 0 ～レベル 5 までの 6 段階があり、数字が高いほどセキュリティレベルも高くなります。

#### <レベル設定>

すべてのユーザーおよび宛先に、参照許可レベルを設定することができます。

ユーザーの参照許可レベルと宛先の参照許可レベルの大小を比較することによって、ユーザーの参照できる宛先を制限できます。

たとえば、レベル 2 のユーザーであれば、レベル 0 ～レベル 2 までの宛先を参照でき、レベル 3 ～レベル 5 の宛先については参照できません。レベル 5 のユーザーは、レベル 0 ～レベル 5 までのすべての宛先を参照できます。

#### ひとこと

- ・ユーザー認証を行う設定にした場合、ユーザーがログアウト状態のとき [1 宛先 / ボックス登録] は選択できません。ただし、ユーザー認証によりログインしているとき [1 宛先 / ボックス登録] は表示されます。
- ・ファクスに関連する登録項目は、FAX キットを装着している場合、またはインターネットファクス機能が使用可能な場合に表示されます。

#### ひとこと

FAX キットを装着している場合、またはインターネットファクス機能が使用可能な場合に、[2 掲示板ボックス] [3 中継ボックス] は表示されます。

#### ひとこと

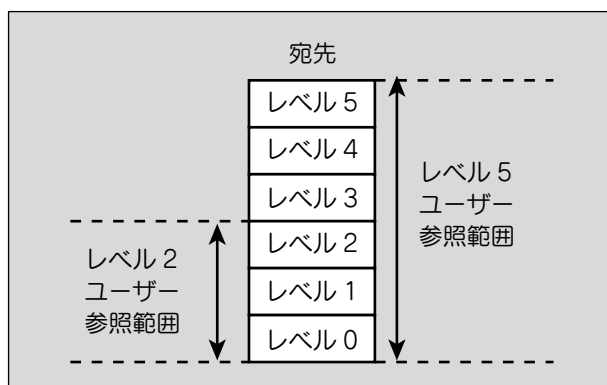
参照許可設定で設定したユーザー、宛先、グループのレベルは、ユーザー認証時に利用することができます。



ユーザーの参照許可レベルの設定については、「<参照許可設定>」(p. 11-29) をごらんください。

#### ひとこと

初期状態では、パブリックユーザーに対してレベル 0 の参照許可レベルが設定されています。



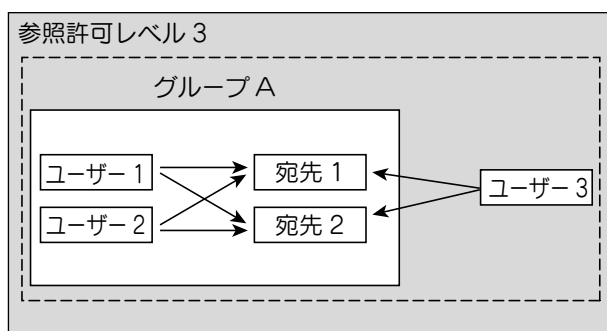
### <グループ>

個別のユーザーおよび宛先のほかに、任意の名称で参照許可のためのグループを作成できます。

このグループには複数のユーザーおよび宛先を登録することができ、グループに登録された宛先は、同じようにグループに登録されたユーザーから参照できるようになります。

また、グループそのものにも参照許可レベルがあり、グループに登録されていないユーザーであっても、レベル条件による参照許可が可能になります。

1つの宛先は、1つのグループのみ登録できます。また、1人のユーザーは、複数のグループに登録することができます。



### <グループの設定のしかた>

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
- 3 [7 参照許可設定] を押します。  
参照許可設定画面が表示されます。



管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をご覧ください。

4

「1 グループ登録」を押します。  
グループ登録画面が表示されます。

5

目的のグループキーを押し、[編集] を押します。



各グループの編集画面が表示されます。

6

「グループ名」を押します。



グループ名画面が表示されます。

7

グループ名を入力し（入力文字制限：最大 24 文字）、[OK] を押します。

グループ名が設定されます。



8

目的の参照可能レベルを押します。  
グループの参照可能レベルが設定されます。

9

[OK] を押します。

### 詳しく説明します

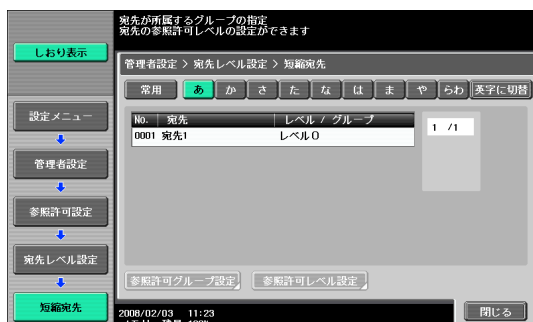
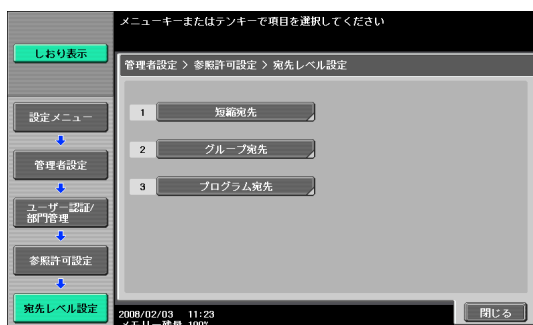
- ・グループは合計 20 件まで登録できます。
- ・グループ登録画面でグループキーを押し [詳細] を押すと、そのグループに所属するユーザー名および宛先の確認ができます。

### 参照

文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2) をご覧ください。

## &lt;宛先レベルの設定のしかた&gt;

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
- 3 [7 参照許可設定] を押します。  
参照許可設定画面が表示されます。
- 4 [2 宛先レベル設定] を押します。  
宛先レベル設定画面が表示されます。
- 5 目的の宛先項目を押します。



管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をご覧ください。



## 詳しく説明します

短縮宛先の場合、宛先の頭文字の  
検索キーを押し、宛先を検索しま  
す。

6

目的の項目のキーを押します。

- 宛先のグループを設定する場合は、[参照許可グループ設定]を押します。目的のグループを選択し、[OK]を押します。



- 宛先のレベルを設定する場合は、[参照許可レベル設定]を押します。目的のレベルを選択し、[OK]を押します。



#### <ユーザーレベルの設定のしかた>

1

管理者設定画面を表示させます。

2

[4 ユーザー認証 / 部門管理]を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。

3

[7 参照許可設定]を押します。  
参照許可設定画面が表示されます。

4

[3 ユーザーレベル設定]を押します。  
ユーザーレベル設定画面が表示されます。

#### 詳しく説明します

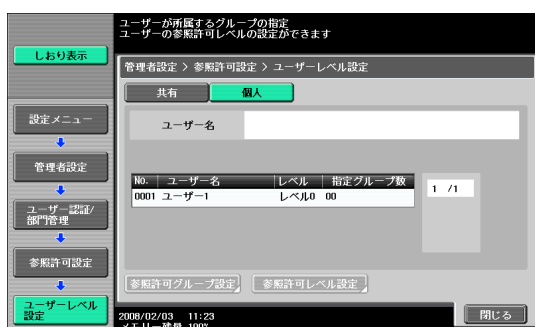
- ・ 1つの宛先には、参照許可レベルと参照許可グループのどちらか一方のみ設定できます。
- ・ 1つの宛先に設定できる参照許可グループは1つのみです。
- ・ グループキーを押し[詳細]を押すと、そのグループに所属するユーザー名および宛先の確認ができます。

#### 参照

管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35)をごらんください。

5

ユーザーの種類を「共有」「個人」から選択し、目的の宛先項目を押します。

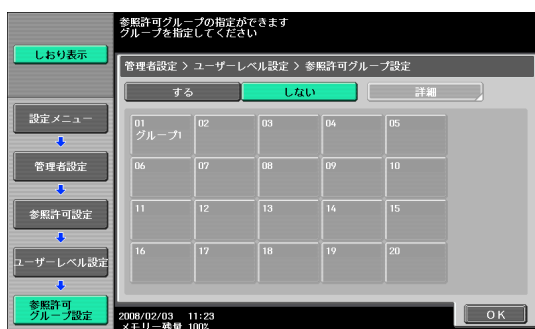


- ・「共有」「個人」の選択項目が表示されるのは、パブリックユーザーを許可している場合のみです。
- ・パブリックユーザーの使用を許可している場合、共有ユーザー項目に「Public」という名称で表示されます。初期状態ではレベル0に設定されています。

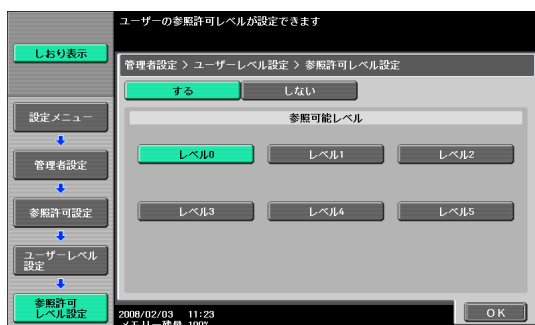
6

目的の項目のキーを押します。

- ユーザーのグループを設定する場合は、「参照許可グループ設定」を押します。「する」を押して目的のグループを選択し、「OK」を押します。



- ユーザーのレベルを設定する場合は、「参照許可レベル設定」を押します。「する」を押して目的のレベルを選択し、「OK」を押します。



#### 詳しく説明します

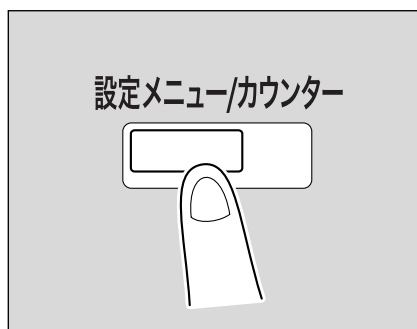
- ・1人のユーザーに、参照許可レベルと参照許可グループの両方を設定できます。
- ・1人のユーザーには、複数の参照許可グループを設定できます。
- ・グループキーを押し「詳細」を押すと、そのグループに所属するユーザー名および宛先の確認ができます。

### 11.2.4 宛先登録画面を表示させる

【設定メニュー / カウンター】を押し、[宛先登録]を表示させるまでの手順を説明します。

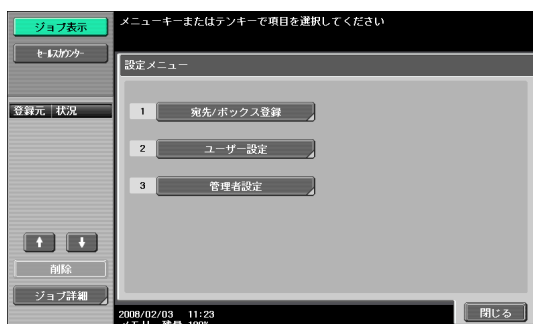
1

【設定メニュー / カウンター】を押します。

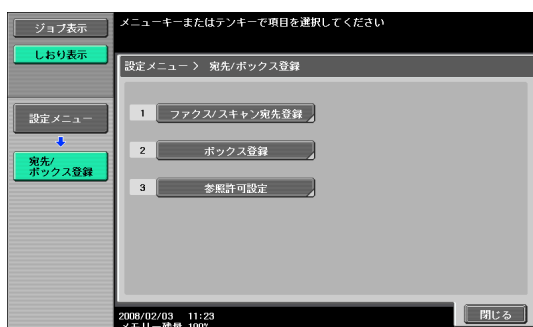


2

[1 宛先 / ボックス登録]を押します。



宛先 / ボックス登録画面が表示されます。



#### ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。  
[1 宛先 / ボックス登録] の場合は、テンキーの【1】を押します。

#### ひとこと

設定メニューを終了するときには、【設定メニュー / カウンター】を押します。コピー、ファクス / スキャン、ボックスのいずれかの画面になるまで「閉じる」を押しても終了できます。

## 11.3 ユーザー設定を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンター】を押し、[ユーザー設定] で設定できる主な登録および機能について紹介します。

### 11.3.1 環境設定

< 言語選択 >

機能説明	出荷時設定
タッチパネルに表示される言語を以下の中から設定できます。 日本語、英語	日本語

< 単位系設定 >

機能説明	出荷時設定
タッチパネルに表示される数値の単位を以下の中から設定できます。 mm（数値）、インチ（数値）、インチ（分数）	mm（数値）

< 給紙トレイ設定 >

設定項目	機能説明	出荷時設定
給紙トレイ自動選択	自動用紙機能がはたらいたとき、自動選択の対象となるトレイを設定できます。また、自動トレイ切替え機能がはたらいたとき、トレイを切替える優先順位を設定できます。	トレイの優先順： トレイ 1 →トレイ 2 →トレイ 3 <sup>*1*2</sup> →トレイ 4 <sup>*1</sup> →手差し→LCT <sup>*3</sup>
ATS 許可	給紙トレイを手動で選択し、コピー中にそのトレイの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切替えるかを設定できます。	許可しない
指定給紙トレイ不一致動作	指定した給紙トレイに該当する用紙がない場合の動作を設定できます。 ・ [指定給紙トレイ固定]： 動作を停止します。 ・ [指定給紙トレイ優先]： 指定された給紙トレイに対して該当の用紙サイズおよび用紙種類がセットされていなかった場合に、他の給紙トレイに該当の用紙があればその給紙トレイを選択します。	指定給紙トレイ固定
リスト印刷出力設定	セールスカウンター、ユニットチェックなどのリストを出力するときの給紙トレイを設定できます。	トレイ 1、片面
用紙種類設定	各給紙トレイで使用する用紙の種類をトレイごとに選択します。	各トレイ、普通紙

\*1 オプションの給紙キャビネット PC-206 装着時に表示されます。

\*2 オプションの給紙キャビネット PC-407 装着時に表示されます。

\*3 オプションの大容量給紙ユニット LU-203 装着時に表示されます。

## &lt;パワーセーブ設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
低電力設定	低電力モードがはたらくまでの時間を1分～240分から設定できます。	1分：オプションなし 15分：オプションあり
スリープ設定	スリープモードがはたらくまでの時間を1分～240分から設定できます。	1分：オプションなし 60分：オプションあり

## &lt;出力設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
受信印刷出力設定	ファクス機能、プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。	
排紙トレイ設定	コピー、プリンター、レポート出力、ファクスのそれぞれのジョブに、優先出力される排紙トレイを設定できます。	コピー：トレイ1 <sup>*1</sup> プリンター：トレイ1 <sup>*1</sup> レポート出力：トレイ2 <sup>*2*3</sup> ファクス：トレイ2 <sup>*2*3</sup>
ピン割当て	トレイ1をピン5に、増設排紙トレイをピン6に指定できます。	指定しない

\*1 セパレーター装着時は出荷時設定でトレイ2が設定されています。

\*2 セパレーター装着時は出荷時設定でトレイ1が設定されています。

\*3 フィニッシャー FS-522 にオプションの増設トレイを装着している場合、出荷時設定でトレイ3が設定されています。

## &lt;白紙ページ印字設定&gt;

機能説明	出荷時設定
白紙ページにスタンプ/ページ印字の印字を行うか設定できます。	印字しない

## &lt;原稿画質の濃度シフト&gt;

機能説明	出荷時設定
基本設定画面のマニュアル濃度設定では、9つの濃度レベルが選択できますが、その濃度レベルを6段階シフトすることができます。	

## &lt;ページ番号の印字位置設定&gt;

機能説明	出荷時設定
両面印刷、小冊子を設定した場合に同時設定されたページの裏面印字位置を設定できます。	

## ひとこと

管理者設定のユーザー開放レベルが[レベル1]、[レベル2]に設定されている場合にのみ、[パワーセーブ設定]は表示されます。



ユーザー開放レベルについては、「[セキュリティ設定](#)」(p. 11-32)をごらんください。

## ひとこと

- ・ 管理者設定のユーザー開放レベルが[レベル2]に設定されている場合にのみ、[出力設定]、[原稿画質の濃度シフト]、[ページ番号の印字位置設定]、[白紙ページ印字調整]が表示されます。
- ・ 排紙トレイ設定は、オプションのフィニッシャーまたはセパレーターを装着している場合にのみ有効になります。
- ・ フィニッシャー FS-522 にオプションの増設排紙トレイを装着した場合、[排紙トレイ設定]で増設排紙トレイはトレイ2に、トレイ2はトレイ3に割当てられます。
- ・ オプションのメールピンを装着している場合のみ、[ピン割当て]は表示されます。

### 11.3.2 画面カスタマイズ設定

#### <コピー設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
基本画面表示	コピー機能の基本設定画面の表示を設定できます。 ・[基本設定]： 通常の基本表示です。 ・[基本（一括）]： 用紙、倍率、両面 / ページ集約の各機能について、選択可能な項目が一括表示されます。通常の[基本設定]画面も、別のタブとして表示されます。	基本設定
ショートカットキー 1	よく使用するコピー応用機能のショートカットキーをコピーの基本設定画面に配置できます。	使用しない
ショートカットキー 2		

#### <ファクス / スキャン設定>

設定項目	機能説明
基本画面表示	ファクスおよびスキャン機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
プログラム初期表示	
アドレス帳初期表示	
ショートカットキー 1	
ショートカットキー 2	
「登録宛先から」初期表示	
宛先種類初期設定	

#### <コピー動作中画面>

設定項目	機能説明	出荷時設定
印刷中画面表示	印刷動作中の画面表示を設定できます。 ・[する]：印刷動作中に印刷中画面が表示され[次ジョブ予約]を押すとジョブの予約ができます。 ・[しない]：コピー機能の基本設定画面が表示され、コピー予約ができます。	しない

#### <ファクス動作中画面>

設定項目	機能説明
送信中画面表示	ファクス機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
受信中画面表示	

#### <選択色設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
選択色	キーの選択状態を示す色を指定できます。	グリーン

## &lt;左エリア初期表示設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
左エリア初期表示	左エリアで初期表示される内容を設定できます。 ・ジョブ表示： 実行中および待ち状態のジョブの一覧が表示されます。 ・設定内容： 現在のコピー設定の内容が表示されます。	ジョブ表示
ジョブ表示設定	左エリアのジョブ表示の内容を設定できます。 ・リスト表示： 実行中および待ち状態のジョブを一覧で表示します。 ・状態表示： 実行中のジョブの進行状況を表示します。	リスト表示

## &lt;検索オプション設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
英大文字と英小文字	宛先検索で大文字、小文字を区別するかしないか設定できます。	区別する
検索オプション画面	[英大文字と英小文字] の設定を宛先検索の詳細検索で表示するかしないか設定できます。	表示しない

## 11.3.3 コピー設定

設定項目	機能説明	出荷時設定
中とじ時小冊子選択	中とじを選択したとき自動で小冊子の設定をするかしないかの設定ができます。オプションのフィニッシャーが装着されている場合に有効です。	自動選択する
集約 / 小冊子倍率	自動用紙設定時に集約または小冊子を選択すると、自動で適した倍率を選択するかしないかを設定できます。 ・[お勧め倍率]： 以下のように倍率が設定されます。 2in1、小冊子・・・70.7% 4in1・・・50.0% 8in1・・・35.3% ・[設定しない]： 倍率は自動で設定されません。	お勧め倍率
ソート / グループ自動切替え	1 ジョブで印刷する用紙枚数が 2 枚以上ある場合、ソートする／しないの自動切替えをするかしないかを設定できます。 ・[する]： ADF に原稿をセットし、【スタート】を押したときに、原稿枚数が 1 枚の場合は自動的にソートしないを選択し、原稿枚数が 2 枚以上の場合は自動的にソートするを選択します。 ・[しない]： ソートする／しないの自動切替えは行いません。	する

## ひとこと

- ・管理者設定のユーザー開放レベルが設定されている場合にのみ、[原稿ガラス自動倍率]、[ADF 自動倍率]、[APS 解除時のトレイ指定]、[インターシートトレイ選択]、[自動画像回転] は表示されます。
- ・管理者設定のユーザー開放レベルが [レベル 2] に設定されている場合にのみ、[コピー操作時の印刷受付] は表示されます。
- ・拡大表示にしていた場合、[拡大表示初期設定] が表示され、拡大表示におけるコピー、ファクス / スキャンのデフォルト値を設定できます。



ユーザー開放レベルについては、[「セキュリティ設定」\(p. 11-32\)](#) をご覧ください。

設定項目	機能説明	出荷時設定
コピー初期設定	<p>コピー機能の初期設定値を設定できます。 電源スイッチを ON【I】にしたとき、または【リセット】を押したときに選択されるコピー条件を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [現在の設定値] : 設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がコピー機能の初期設定として登録されます。</li> <li>・ [出荷時の設定値] : 出荷時の設定値がコピー機能の初期設定に登録されます。</li> </ul>	出荷時の設定値
拡大表示初期設定	<p>コピー機能での拡大表示時の初期設定値を設定します。 コピー機能であらかじめ拡大表示にしていた場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [現在の設定値] : 設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がコピー機能の初期設定として登録されます。</li> <li>・ [出荷時の設定値] : 出荷時の設定値が拡大表示画面の初期設定に登録されます。</li> </ul>	出荷時の設定値
AMS 方向不可時動作	<p>自動倍率を設定しているときに、原稿と用紙の方向が適さない場合に印刷するかしないかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [プリントする] : 設定したサイズの用紙に、設定した方向のまま自動的に倍率設定してコピーされます。</li> <li>・ [ジョブ破棄] : ジョブが破棄され、コピーされません。</li> </ul>	プリントする
連続読み込み方法	<p>原稿を分割して読込んだり、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットするときに、原稿読み込み中でも印刷するか、原稿読み込み終了後に印刷するかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [自動出力] : 原稿読み込み中でも出力可能な印刷が開始されます。</li> <li>・ [一括出力] : 全ての原稿読み込み終了後に印刷が開始されます。</li> </ul>	自動出力
拡大ローテーション	<p>主走査方向（ADF または原稿ガラスの左右方向）が 297 mm を越える画像を回転してコピーを行うかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 許可 : 拡大ローテーションを行います。</li> <li>・ 禁止 : 拡大ローテーションを禁止します。</li> </ul>	禁止
原稿ガラス自動倍率	<p>原稿ガラス上に原稿がセットされている状態で給紙トレイを選択したとき（自動用紙選択時は除く）に、自動倍率に自動的に切替えるか切替えないかを設定できます。</p>	OFF
ADF 自動倍率	<p>ADF に原稿がセットされている状態で給紙トレイを選択したとき（自動用紙選択時は除く）に、自動倍率に自動的に切替えるか切替えないかを設定できます。</p>	ON



初期設定、出荷時設定については、[p. 1-28](#) をご覧ください。



#### 詳しく説明します

スキャン機能やファクス機能の初期設定を変更する場合、【ファクス / スキャン】を押し、設定メニュー画面を表示してからこれらの設定を行います。

設定項目	機能説明	出荷時設定
APS 解除時のトレイ指定	自動用紙（APS）が解除されたときに、どのトレイを使用するかを設定できます。 ・ [APS 選択前トレイ]： APS を選択する前に設定したトレイを使用します。 ・ [初期設定トレイ]： トレイ 1 を使用します。	APS 選択前トレイ
インターシートトレイ選択	カバーシート（表紙）インターシート、章分け紙用の用紙をセットするトレイの初期値を選択できます。	トレイ 2
コピー操作時の印刷受付	コピーを操作をしているときに印刷データやファクスデータの印刷受付をするかしないかを設定できます。 ・ [印刷する]： 印刷データやファクスデータを受け、印刷します。 ・ [印刷抑制]： 印刷データやファクスデータは、コピー操作が終わると印刷されます。	印刷する
自動画像回転	原稿と用紙の方向が適さない場合に、どのような設定のとき画像を回転して印刷するかどうかを設定できます。 ・ [自動用紙 / 自動倍率 / 縮小設定時]： 自動用紙（APS）、自動倍率（AMS）、縮小が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・ [自動用紙 / 自動倍率設定時]： 自動用紙（APS）、自動倍率（AMS）が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・ [自動倍率 / 縮小設定時]： 自動倍率（AMS）、縮小が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・ [自動倍率設定時]： 自動倍率（AMS）が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。	自動用紙 / 自動倍率設定時

### 11.3.4 ファクス / スキャン設定

設定項目	機能説明
白黒 2 値圧縮方法	スキャナー機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス / ネットワークファクス機能編」をごらんください。
ファクス / スキャン初期設定	
拡大表示初期設定	

#### ひとこと

〔拡大表示初期設定〕は、ファクス / スキャン機能での拡大表示時の初期設定値を設定できます。ファクス / スキャン機能であらかじめ拡大表示にしていた場合に表示されます。

### 11.3.5 プリンター設定

設定項目	機能説明
基本設定	プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編 (IC-207)」をごらんください。
用紙設定	
PCL 設定	
PS 設定	
XPS 設定	
TIFF/PDF 画像用紙設定	
レポート出力	プリンター機能に関する設定内容をレポートとして印刷できます。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編 (IC-207)」をごらんください。
画像シフト設定	プリンター機能での画像シフトの調整を行います。詳しくは「ユーザーズガイド プリンター機能編 (IC-207)」をごらんください。
スタンプ設定	プリンター機能でのスタンプ設定を行います。詳しくは「ユーザーズガイド プリンター機能編 (IC-207)」をごらんください。

### 11.3.6 パスワード変更

機能説明
現在ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。 現在のパスワードを入力したあと、新しいパスワードを入力してください。 この項目は、ユーザー認証が「本体装置認証」に設定されている場合に使用できます。

### 11.3.7 E-mail アドレス変更

機能説明
現在ログインしているユーザー自身により、E-mail アドレスを変更できます。 この項目は、パブリックユーザー以外のユーザーとしてログインしている場合にのみ表示されます。

#### ひとこと

管理者設定のユーザー開放レベルが「レベル 2」に設定されている場合にのみ、「E-mail アドレス変更」は表示されます。

### 11.3.8 アイコン変更

機能説明
現在ログインしているユーザー自身により、ユーザー登録されているアイコンを変更できます。 この項目は、パブリックユーザー以外のユーザーとしてログインしている場合にのみ表示されます。

### 11.3.9 ユーザー設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンター】を押し、[ユーザー設定] を表示させるまでの手順を説明します。

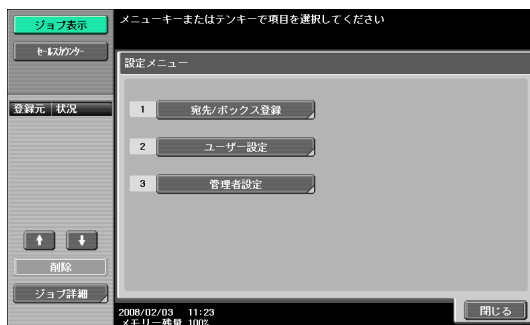
1

【設定メニュー / カウンター】を押します。

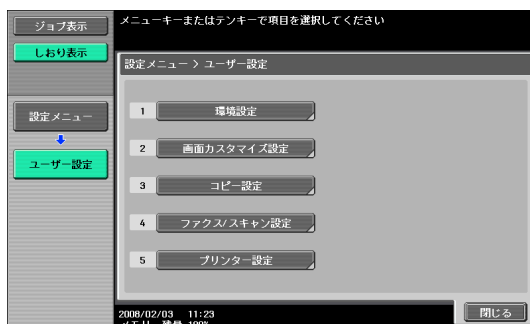


2

[2 ユーザー設定] を押します。



ユーザー設定画面が表示されます。



#### ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。  
[2 ユーザー設定] の場合は、テンキーの【2】と入力します。

#### ひとこと

設定メニューを終了するときは、【設定メニュー / カウンター】を押します。コピー、ファクス/スキャン、ボックスのいずれかの画面になるまで[閉じる]を押しても終了できます。

## 11.4 管理者設定を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンター】を押し、[管理者設定] で設定できる主な登録および機能について紹介します。

### 11.4.1 環境設定

<パワーセーブ設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
低電力設定	低電力モードがはたらくまでの時間を 1 分～240 分から設定できます。	1 分：オプションなし 15 分：オプションあり
スリープ設定	スリープモードがはたらくまでの時間を 1 分～240 分から設定できます。	1 分：オプションなし 60 分：オプションあり
パワーセーブキー節電切替	【パワーセーブ】を押したときに開始されるパワーセーブ機能の種類を設定できます。 ・ [低電力]： タッチパネルの表示を消し、節電状態となります。 ・ [スリープ]： 低電力モードよりも節電効果が得られます。しかし、再操作時にウォームアップを必要とするため、準備時間は低電力モードよりもかかります。	低電力
パワーセーブ移行	ファクス機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。	即時

<出力設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
受信印刷出力設定	ファクス機能、プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」、「ユーザズガイド プリンター機能編」をごらんください。	
排紙トレイ設定	コピー、プリンター、レポート出力、ファクスのそれぞれのジョブに、優先出力される排紙トレイを設定できます。	コピー：トレイ 1*1 プリンター：トレイ 1*1 レポート出力：トレイ 2*2*3 ファクス：トレイ 2*2*3
ジョブ毎の仕分け設定	フィニッシャー装着時に仕分け機能を設定した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排出するかしないかを設定できます。 ・ [する]：用紙がシフト排出されます。 ・ [しない]：用紙がシフトせずに排出されます。	する

詳しく説明します

- ・ 排紙トレイ設定は、オプションのフィニッシャーまたはセパレーターを装着している場合にのみ有効になります。
- ・ フィニッシャー FS-522 にオプションの増設排紙トレイを装着した場合、[排紙トレイ設定] で増設排紙トレイはトレイ 2 に、トレイ 2 はトレイ 3 に割当てられます。
- ・ オプションのメールピンを装着している場合のみ、[ピン割当て] は表示されます。

\*1 セパレーター装着時は出荷時設定でトレイ 2 が設定されています。

\*2 セパレーター装着時は出荷時設定でトレイ 1 が設定されています。

\*3 フィニッシャー FS-522 にオプションの増設トレイを装着している場合、出荷時設定でトレイ 3 が設定されています。

## &lt;日時設定&gt;

機能説明	出荷時設定
現在の日付、時刻を設定できます。また、タイムゾーンを-12:00～13:00 から 30 分単位で設定ができます。日本国内のタイムゾーンは +9:00 が標準です。	タイムゾーン： +00:00

## &lt;サマータイム設定&gt;

機能説明	出荷時設定
本機の時刻表示にサマータイムを適用するかしないかを設定できます。ON に設定した場合、現在の時刻に指定した時間分進めた時刻を表示します。サマータイムとして適用できる時間は、1 分～150 分から 1 分単位で設定できます。	しない

## &lt;ウィークリータイマー設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
ウィークリータイマー使用設定	ウィークリータイマー機能を使用するかしないかを設定できます。	しない
タイマー予約時刻設定	本体電源の ON/OFF 時刻を曜日ごとに設定できます。	-
動作日設定	本体電源の ON/OFF を 1 日ずつ個別に、または曜日ごとに設定できます。	-
昼休み OFF 機能設定	昼の休憩中などの一定時間に本機の電源を OFF する場合、電源の OFF/ON する時刻を設定できます。	しない
時間外パスワード設定	ウィークリータイマー機能で電源が OFF 状態のときに、本機を使用する場合、パスワードによって使用者を制限するかしないかを設定できます。また、この機能を [する] にした場合、入力するパスワードを英数字 9 文字までで設定します。	しない



詳しく説明します

- ・ウィークリータイマーを設定すると、指定した日時に電源を ON/OFF できます。また、タイマーで電源を OFF したとき、ON するためのパスワードを設定できます。
- ・ウィークリータイマーの設定は、ウィークリータイマー設定画面に表示されるそれぞれの機能を組合わせて行います。設定の概要は、「[ウィークリータイマーの設定の概要](#)」(p. 11-37) をご覧ください。

## &lt;ユーザー操作禁止設定&gt;

設定項目		機能説明	出荷時設定
コピープログラムロック設定		登録されたコピープログラムの変更や削除を禁止する設定ができます。	-
コピープログラム削除		登録されたコピープログラムを削除できます。	-
変更禁止設定	ジョブ優先順位変更	ジョブの印刷優先順位の変更を許可／禁止します。	許可
	他ユーザージョブ削除	ユーザー認証されている場合に、他のユーザーがジョブを削除することを許可／禁止します。	禁止
	登録宛先変更	登録されている宛先の変更を許可／禁止します。	許可
	登録倍率変更	登録されている倍率の変更を許可／禁止します。	許可
	From アドレス変更	設定されている From アドレスの変更を許可／禁止します。	許可
	登録オーバーレイ変更	登録されているオーバーレイの変更を許可／禁止します。	許可

設定項目	機能説明	出荷時設定
操作禁止設定	複数宛先禁止 ファクスジョブの送信で、複数の宛先設定を禁止する設定ができます。	しない

## &lt;エキスパート調整&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
原稿画質の濃度シフト	原稿の濃度と画質を設定します。	機能：コピー 原稿画質： 文字 / 写真 濃度シフト 文字 / 写真 0 (うすく) ~ 6 (こく) : 4 文字 0 (うすく) ~ 6 (こく) : 4 写真 0 (うすく) ~ 6 (こく) : 4 薄文字原稿 0 (うすく) ~ 6 (こく) : 4
消去補正	原稿外消去機能	原稿外消去を機能させる条件を設定します。
	原稿外消去動作設定	原稿外消去の動作、消去方法、原稿濃度を設定します。
	ADF 枠消し	ADF 枠消し幅を設定します。
フィニッシャー調整	中折り位置調整 <sup>*1</sup>	中と同じ機能で印刷するときの中折り位置を -5 ~ 5 の間で調整できます。
	センターステープル位置調整 <sup>*1</sup>	中と同じ機能で印刷するときのステープル位置を -5 ~ 5 の間で調整できます。
	パンチ横位置調整 <sup>*2</sup>	パンチ穴の横方向の位置を -5 ~ 5 の間で調整できます。
	パンチレジストループ量調整 <sup>*2</sup>	両面出力やカバーシート出力時のパンチの位置ずれを -4 ~ 4 の間で調整できます。
コピープロテクト濃度調整	コピープロテクトの隠し文字の濃度を調整します	64 ~ 255 : 64

\*1 フィニッシャー FS-522 に中綴じ機 SD-507 装着時のみ表示

\*2 フィニッシャー FS-522 にパンチユニット PU-501 装着時またはフィニッシャー FS-523 装着時表示

**ひとこと**

〔フィニッシャー調整〕は、オプションのフィニッシャーを装着している場合に表示されます。

## &lt;リスト / カウンター&gt;

設定項目		機能説明
マシン管理リスト印刷	設定値リスト	本機の各設定値を印刷できます。
用紙サイズ / 種類カウンター		特定の用紙サイズと用紙種類を組合わせて登録し、カウントする設定ができます。
セールスカウンターリスト		コピー、プリンター、ファックススキャンプリント、ファックス / スキャン読み取り、ファックス送信枚数、ファックス受信枚数を印刷できます。

## &lt;リセット設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
システムオートリセット	システムオートリセット機能がはたらくまでの時間を設定できます。 ・「優先機能」： システムオートリセット時などに表示する機能を [ボックス]、[ファックス / スキャン]、[コピー] から設定できます。 ・「システムオートリセット時間」： システムオートリセット機能がはたらくまでの時間を 1 分～9 分または [使用しない] から設定できます。	優先機能： コピー システムオートリセット時間：1 分
オートリセット	[コピー]、[ファックス / スキャン]、[ボックス] の各機能でのオートリセット機能がはたらくまでの時間を 1 分～9 分または [使用しない] から設定できます。	コピー：1 分 ファックス / スキャン：1 分 ボックス：1 分
モードリセット	使用者変更	初期化する
	ADF 原稿セット	リセットしない
	次ジョブ	解除しない
		解除しない
		全て解除
確認コピー時リセット	確認コピー中の動作停止中にシステムオートリセットさせるかどうかを選択します。	しない

 詳しく説明します

- ・システムオートリセット時間を [使用しない] に設定しても、ユーザー認証 / 部門管理中に本機を使用しない状態が 1 分経過すると、システムオートリセット機能がはたらきます。しかし拡大表示機能は、システムオートリセット機能がはたらきません。
- ・ユーザー認証またはセキュリティ強化設定が有効な場合、システムオートリセット時間の設定により、管理者設定モードおよびユーザー認証モードをログアウトします。

 詳しく説明します

「宛先 2 度入力機能 (送信)」が ON になっている場合、「ユーザーに確認」は使用できなくなります。

## &lt;ボックス設定&gt;

設定項目		機能説明	出荷時設定
不要ボックス削除		ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。	
セキュリティ文書削除			
セキュリティ文書削除時間設定		ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。	1 日
暗号化 PDF 削除時間設定			1 日
認証 & プリント削除時間設定			1 日
文書保持設定			する
外部メモリー機能設定	文書保存		OFF
	文書印刷		ON
認証 & プリント印字後削除設定			ユーザーに確認
文書削除時間設定			1 日

## &lt;スタンプ設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
ヘッダー / フッター設定	ヘッダーおよびフッターに印字する日付や時刻などを登録します。ヘッダー / フッター機能を使用する場合、あらかじめヘッダー / フッターの登録を行ってください。	-
ファクス送信設定	スタンプの設定をファクス送信時に解除するかしないかを設定できます。	解除する

## &lt;白紙ページ印字設定&gt;

機能説明	出荷時設定
白紙ページにスタンプ / ページ印字を印字するかしないかを設定できます。	印字しない

## &lt;ページ番号の印字位置設定&gt;

機能説明	出荷時設定
両面印刷、小冊子を設定したときに設定したスタンプの裏面印字位置を設定できます。	同位置

## &lt;ジョブ飛越し動作設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
ファクス	ファクスにジョブ飛越しの動作をさせるかどうかの設定をします。	しない
ファクス以外	ファクス以外の機能にジョブ飛越しの動作をさせるかどうかの設定をします。	しない

## &lt;アプリケーションキー設定&gt;

機能説明	出荷時設定
キー 1 とキー 2 に機能を割付けることができます。	キー 1 : ファクス / スキャン キー 2 : コピー

### 11.4.2 管理者 / 本体登録

設定項目	機能説明
管理者登録	ヘルプのサービス / 管理者情報画面で表示する管理者情報や、本機からの E-Mail 送信の From アドレスを登録できます。
本体アドレス登録	本機の装置名と E-Mail アドレスを登録できます。登録した装置名は送信ファイルのファイル名や、ボックスに登録する文書の名称を自動生成する場合に付加します。出荷時設定では、KMBT_501/401/361 が設定されています。登録した E-Mail アドレスは、インターネットファクスを利用する場合に使用します。

#### ひとこと

本体アドレス登録の装置名を登録するときは、OS によって扱えない文字を使用しないでください。

### 11.4.3 宛先 / ボックス登録

設定項目	機能説明
ファクス / スキャン宛先登録	ファクス機能、スキャン機能、ボックス機能に関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
ボックス登録	
宛先登録リスト	短縮宛先リスト、グループ宛先リスト、プログラム宛先リスト、件名 / 本文リストを印刷し、確認できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
最大ボックス数設定	ユーザーごとにボックスの最大数を設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

## 11.4.4 ユーザー認証 / 部門管理

## &lt;認証方式&gt;

機能説明	出荷時設定
<p>本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ユーザー認証」: [外部サーバー認証]、[本体装置認証] からユーザー認証の方法を選択します。ユーザー認証をしない場合は、[認証しない] を押します。</li> <li>・「パブリックユーザー」: 認証されているユーザー以外が本機を使用することを許可するかしないかを設定します。「ユーザー認証」が [認証しない] を選択しているときは選択できません。 [許可後ログイン] を押すと、パブリックユーザーとしてログインする場合、認証なしで本機を使用できます。 認証されているユーザーとしてログインするときは、はじめに【ID】を押し、認証画面を表示する必要があります。</li> <li>・「部門管理」: 部門管理をするかしないかを設定します。</li> <li>・「部門管理認証方式」: 部門名とパスワードで認証する場合は、[部門名 + パスワード] を押します。パスワードのみで認証する場合は、[パスワードのみ] を押します。「部門管理」が [管理しない] を選択しているときには、設定できません。 ユーザー認証と部門管理の両方を設定した場合、[部門名 + パスワード] しか設定できません。</li> <li>・「ユーザー認証 / 部門認証の連動」: ユーザー認証と部門認証を連動するかしないかを設定します。「ユーザー認証 / 部門認証の連動」は、「ユーザー認証」が [外部サーバー認証] または [本体装置認証] を選択して「部門管理」が [管理する] を選択しているときに、表示されます。</li> <li>・「上限値到達時の動作」: 部門管理またはユーザー認証で設定した上限値に到達したときに印刷中のジョブを停止させ次のジョブの印刷を開始させる場合は、[ジョブ飛越し] を押します。上限値に到達したときに全てのジョブを停止する場合は、[ジョブ停止] を押します。</li> <li>・「ユーザーカウンター割当て数」: 「ユーザーカウンター割当て数」の数値により、ユーザー登録可能件数と部門登録可能件数を調整できます。 例: 「ユーザーカウンター割当て数」の数値を 50 個にした場合、部門登録可能件数は 950 個となります。</li> <li>・「チケット保持時間設定」: Kerberos 認定チケットの保持時間を 1 分～60 分から設定できます。認証サーバータイプが Active Directory を選択したときに適用されます。</li> </ul>	<p>ユーザー認証: 認証しない パブリックユーザー: 許可しない 部門管理: 管理しない 部門管理認証方式: 部門名 + パスワード ユーザー認証 / 部門認証の連動: 連動する 上限値到達時の動作: ジョブ飛越し ユーザーカウンター割当て数: 500 チケット保持時間設定: 60 分</p>

## &lt;ユーザー認証設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
管理設定		
ユーザー名一覧	ユーザー認証画面でユーザー名の一覧キーを表示させるかどうか設定ができます。	表示しない
初期機能制限設定	外部サーバーとの認証時、本機での操作を制限することができます。	コピー操作： 許可する スキャン操作： 許可する ファクス操作： 許可する プリンター印字： 許可する 蓄積文書操作： 許可する 送信文書印字： 許可する 外部メモリー保存： 許可する 手動宛先入力： 許可する
認証 & プリント設定	認証 & プリントを使用するかしないかを設定できます。また認証されていないジョブやパブリックユーザージョブを即時印刷するか、認証 & プリントボックスに蓄積するかを設定します。	認証 & プリント： 使用しない 認証 / パブリックユーザージョブ： 即時印刷
認証 & プリント動作設定	認証 & プリントを使用するときの印刷方法を設定できます。 ・全ジョブ印刷： 1回の認証で全てのジョブが印刷されます。 ・1ジョブ印刷： 蓄積されたジョブが1ジョブずつ印刷されます。	全ジョブ印刷
ユーザー登録	本機を使用するユーザーを登録できます。ユーザーごとに、パスワード、出力許可、印刷枚数の上限値、認証情報、使用できる機能を設定できます。	-
ユーザーカウンター	ユーザーごとにコピー、プリンター、ファクス / スキャンの使用状況を確認できます。	-

## &lt;部門管理設定&gt;

設定項目	機能説明
部門登録	本機を使用する部門を登録できます。部門ごとに、パスワード、出力許可、印刷枚数の上限値を設定できます。
部門カウンター	部門ごとにコピー、プリンター、ファクス / スキャンの使用状況を確認できます。

## &lt;認証指定なし印刷&gt;

機能説明	出荷時設定
ユーザー、部門が特定できない印刷を許可するか禁止するかの設定ができます。許可した場合印刷枚数は、パブリックユーザーとしてカウントされます。	禁止

## ひとこと

- ・ユーザー認証設定の各設定項目は、[認証方式]で「ユーザー認証」が「認証しない」以外に設定されている場合に表示されます。
- ・部門管理設定の各設定項目は、[認証方式]で「部門管理」が「管理する」に設定されている場合に表示されます。
- ・「外部メモリー保存」は、[環境設定]の[ボックス設定]で「文書保存」を「ON」にした場合に表示されます。

## 詳しく説明します

オプションの認証装置でユーザー認証を行っている場合は、指またはICカードを置くことにより、認証 & プリントボックスに蓄積されたジョブを印刷することができます。

## ひとこと

PageScope Authentication Managerで認証を行っている場合は、[ユーザー登録]は表示されません。

## ひとこと

PageScope Authentication Managerで認証を行っている場合は、[部門管理設定]は表示されません。

## &lt;使用管理カウンターリスト&gt;

機能説明	出荷時設定
本機にユーザー認証または部門管理をすると、表示されます。ユーザーまたは部門ごとに使用状況を確認できます。	給紙トレイ：トレイ 1 片面 / 両面：片面 印刷項目：全ての情報

## &lt;外部サーバー設定&gt;

機能説明
ユーザー認証を行う外部サーバーを設定できます。

## &lt;参照許可設定&gt;

設定項目	機能説明
グループ登録	宛先の参照許可のためのグループを登録・編集をすることができます。
宛先レベル設定	宛先ごとに参照許可レベルまたは参照許可グループを設定できます。
ユーザーレベル設定	ユーザーごとに参照許可レベルおよび参照許可グループを設定できます。

## &lt;認証装置設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
認証方式	装着されている認証装置の設定キーのみが表示されます。 ・ [IC カード認証] : IC カードタイプと動作設定を設定できます。 ・ [生体認証] : 報知音と動作設定を設定できます。	認証装置 (IC カード認証タイプ) を装着している場合 IC カードタイプ : Felica 動作設定 : IC カード認証 認証装置 (指静脈 生体認証タイプ) を装着している場合 報知音 : ON 動作設定 : 1 対多認証
ログアウト設定	スキャン送信やファクス送信、コピーで原稿読み込み終了時にログアウトするかどうか設定できます。	ログアウトしない

 詳しく説明します

- ・ 認証装置設定は、オプションの認証装置を装着している場合にのみ有効になります。
- ・ 認証装置 (IC カード認証タイプ) と認証装置 (指静脈 生体認証タイプ) は同時に装着することができません。

**ひとこと**

IC カードタイプで [SSEC] を選択した場合は、会社コードや会社識別コードなどを設定します。詳しくは認証装置に同梱されているマニュアルをごらんください。

## &lt;ユーザー認証 / 部門共通設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
ログアウト確認画面表示設定	【ID】を押したあと、ログアウト確認画面を表示するかしないか設定できます。	表示する

### 11.4.5 ネットワーク設定

設定項目	機能説明
ネットワーク使用設定	ネットワークに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
TCP/IP 設定	
NetWare 設定	
http サーバー設定	
FTP 設定	
SMB 設定	
LDAP 設定	
E-mail 設定	
SNMP 設定	
AppleTalk 設定	
Bonjour 設定	
TCP Socket 設定	
WebDAV 設定	
Web サービス設定	
BMLinkS 設定	
SSDP 設定	
詳細設定	
IEEE802.1X 認証設定	
ネットワークファクス設定	ネットワークファクスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

### 11.4.6 コピー設定

設定項目	機能説明	出荷時設定
原稿ガラス自動倍率	原稿ガラス上に原稿がセットされている状態で給紙トレイを選択したとき（自動用紙選択時は除く）に、自動倍率に自動的に切替えるかどうかを設定できます。	OFF
ADF 自動倍率	ADF に原稿がセットされている状態で給紙トレイを選択したとき（自動用紙選択時は除く）に、自動倍率に自動的に切替えるか切替えないかを設定できます。	ON
APS 解除時のトレイ指定	自動用紙（APS）が解除されたときに、どのトレイを使用するかを設定します。 ・ [APS 選択前トレイ] : APS を選択する前に設定したトレイを使用します。 ・ [初期設定トレイ] : トレイ 1 を使用します。	APS 選択前トレイ
インターシートトレイ選択	カバーシート（表紙）インターシート、章分け紙用の用紙をセットするトレイの初期値を選択できます。	トレイ 2

設定項目	機能説明	出荷時設定
コピー操作時の印刷受付	コピーを操作しているときに印刷データやファクスデータの印刷受付をするかしないかを設定できます。 ・ [印刷する] : 印刷データやファクスデータを受け、印刷します。 ・ [印刷抑制] : 印刷データやファクスデータは、コピー操作が終わると印刷されます。	印刷する
自動画像回転	原稿と用紙の方向が適さない場合に、どのような設定のとき画像を自動的に回転するかを設定できます。 ・ [自動用紙 / 自動倍率 / 縮小設定時] : 自動用紙 (APS)、自動倍率 (AMS)、縮小が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・ [自動用紙 / 自動倍率設定時] : 自動用紙 (APS)、自動倍率 (AMS) が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・ [自動倍率 / 縮小設定時] : 自動倍率 (AMS)、縮小が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。 ・ [自動倍率設定時] : 自動倍率 (AMS) が設定されている場合に用紙の向きに合わせて画像が自動的に回転します。	自動用紙 / 自動倍率設定時

### 11.4.7 プリンター設定

設定項目	機能説明
USB タイムアウト	プリンターに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザズガイド プリンター機能編」をごらんください。
ネットワークタイムアウト	
XPS エラー印刷	

### 11.4.8 ファクス設定

設定項目	機能説明
発信元 / ファクス ID 登録	ファクスに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
発信元 / 受信情報	
回線パラメーター設定	
送信 / 受信設定	
機能設定	
PBX 接続設定	
レポート出力設定	
設定値リスト	
増設回線設定	
ネットワークファクス設定	

#### ひとこと

FAX キットを装着している場合、またはインターネットファクス機能が使用可能な場合に、[8 ファクス設定] は表示されます。

### 11.4.9 システム連携

設定項目	機能説明
OpenAPI 設定	ネットワークに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

### 11.4.10 セキュリティ設定

#### <管理者パスワード>

機能説明	出荷時設定
管理者設定での認証時に必要な管理者パスワードの設定、変更ができます。管理者パスワードは、0～8 桁から設定できます。ただし、パスワード規約を「ON」に設定する場合、8 桁以外の管理者パスワードは設定できません。	12345678

#### <ボックス管理者設定>

機能説明
ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

#### <ユーザー開放レベル>

機能説明	出荷時設定
<p>ユーザーに許可する管理者機能の範囲を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [レベル 1] : パワーセーブ設定、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ指定、インターシートトレイ選択、自動画像回転をユーザーに許可します。</li> <li>・ [レベル 2] : パワーセーブ設定、出力設定、原稿画質の濃度シフト、ページ番号の印字位置設定、白紙ページ印字設定、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ指定、インターシートトレイ選択、自動画像回転、コピー操作時の印刷受付、E-mail アドレス変更をユーザーに許可します。</li> <li>・ [開放しない] : ユーザーにレベル 1、レベル 2 の設定のどちらも許可しません。</li> </ul>	開放しない

## &lt;セキュリティ詳細&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
パスワード規約	パスワード規約を適用するかしないかを設定できます。	無効
認証操作禁止機能	<p>ユーザーが認証に失敗した場合に、本機操作の禁止を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[モード 1]：一定時間、操作ができません。</li> <li>・[モード 2]：認証失敗を繰り返すと操作パネルの操作ができません。認証失敗回数は 1 ～ 5 回から設定できます。パネル操作禁止になった場合は、[操作禁止解除] を押して、操作禁止を解除する項目を選択します。</li> <li>・[ユーザー + 部門]：ユーザー 認証、部門管理に対する操作</li> <li>・[セキュリティ文書]：セキュリティ文書に対する操作</li> <li>・[ボックス]：パスワード付きボックスに対する操作</li> <li>・[SNMP]：SNMP v3 Write ユーザーの認証に対する操作</li> <li>・[WebDAV サーバー]：WebDAV サーバーに対する操作</li> <li>・[操作禁止解除時間設定]：操作禁止の状態から自動的に解除するまでの時間を設定します。1 分～ 60 分の間で調整できます。</li> </ul>	モード 1、操作禁止解除時間 5 分
セキュリティ文書アクセス方式	<p>セキュリティ文書に対する操作方式を確認できます。認証操作禁止機能が [モード 1] の場合、[モード 1] が設定されます。認証操作禁止機能が [モード 2] の場合、[モード 2] が設定されます。</p> <p>[モード 1]：セキュリティ文書 ID とパスワードを入力し、文書を選択します。</p> <p>[モード 2]：セキュリティ文書 ID を入力し、文書を選択したあとパスワードにより認証します。</p>	モード 1
手動宛先入力	宛先入力画面で、手動宛先入力を許可するか禁止するかを設定できます。	許可
プリントデータキャプチャー	印刷ジョブデータのキャプチャーを許可するかしないかを設定します。詳しくは、「ユーザズガイド プリンター機能編」をごらんください。	
FAX 送信禁止	FAX 送信を禁止するかしないかを設定できます。	OFF
個人情報非表示	ジョブ履歴のファイル名や宛先を非表示にします。	OFF
通信履歴表示	通信の履歴を表示します。	ON
ジョブ履歴削除	全てのジョブ履歴を削除します。	-
セキュリティ印刷のみ許可	セキュリティ印刷ジョブのみを許可するかしないかの設定をします。	しない

## &lt;セキュリティ強化設定&gt;

機能説明
セキュリティ強化設定を適用するために必要な設定が表示されます。必要な設定がされている場合は、セキュリティ強化設定を適用するかしないかを設定できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



- 詳しく説明します
- ・認証操作禁止機能の対象になるのは、以下のパスワードです。ユーザーパスワード、部門パスワード、ボックスのパスワード、セキュリティ文書のパスワード、管理者パスワード
  - ・認証操作禁止機能の「操作禁止解除」で解除を設定しても操作パネルが操作できない場合や、管理者パスワードの認証失敗で操作できない場合は、本機を再起動してください。再起動後、[操作禁止解除時間設定] で設定されている時間が経過したあと管理者認証を行ってください。



必ず守ってください

【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。



詳しく説明します

手動宛先入力を禁止にすると、LDAP 検索ができなくなるように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください

## &lt; HDD 管理設定 &gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
HDD 容量確認	ハードディスクの容量に関する情報を表示します。	
一時データ上書き削除	コピー、スキャン、ファクス、PC 印刷時の全ての機能において、ハードディスクに一時的に画像データを書込みするかしないかを設定します。設定モードについては、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。一時データ上書き削除の設定を行うと、印刷やデータ送信後に画像データが保存されたハードディスクエリアに上書き処理を行い、完全にデータを削除します。この処理によりハードディスク内の画像データの漏洩を防ぎます。	しない
全データ上書き削除	本機をリース返却または廃棄する場合に、ハードディスク内の全領域に対してモード 1 からモード 8 の指定したパターンでデータを上書き削除し、データ漏洩を防ぎます。設定モードについては、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。この機能を実行する前に、サービス実施店へお問い合わせください。	モード 1
HDD ロックパスワード	ハードディスクのデータを守るためのパスワードを設定します。詳しくは、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。	
HDD フォーマット	ハードディスクのフォーマットを行います。詳しくは、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。	
HDD 暗号化設定	オプションのセキュリティーキット装着時に表示されます。ハードディスク内のデータを暗号化するために暗号化ワードを設定します。詳しくは、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。この設定を行うとハードディスクに書き込むデータが全て暗号化され、ハードディスク内のデータを守ることができます。なお暗号化の設定を変更した場合には、ハードディスクの再フォーマットが必要です。	

## &lt;管理機能設定&gt;

設定項目	機能説明	出荷時設定
ネットワーク機能使用設定	管理機能使用時に、カウント管理が困難なネットワーク機能の設定ができます。	使用する

## &lt;スタンプ設定&gt;

設定項目	機能説明
スタンプ付加設定	印字および送信時に、スタンプを付加するかどうかを設定できます。
登録スタンプ削除	コピープロテクトの登録スタンプを削除するかどうかを設定できます。

## &lt;ドライバーパスワード暗号化設定&gt;

機能説明	出荷時設定
プリンタードライバーの暗号化ワードを変更できます。詳しくは「ユーザズガイド プリンター機能編」をごらんください。	出荷時を使用

## &lt;フラッシュメモリーロックパスワード&gt;

機能説明	出荷時設定
フラッシュメモリーのロックパスワードを変更または解除できます。	



「ネットワーク機能使用設定」を「使用しない」に変更した場合、以下の機能が使用できません。

- ・ PC FAX 送信
- ・ HDD Twain ドライバーによるボックス内の文書の参照／取り出し
- ・ PageScope Box Operator によるボックス内の文書の参照／取り出し
- ・ PageScope Scan Direct によるボックス内の文書の取り出し
- ・ PageScope Web Connection によるボックス操作機能（ボックスタブが表示されません。）

## ひとこと

「スタンプ付加設定」で付加する印字を設定すると、「応用設定」の「スタンプ／ページ印字」で印字の設定を変更できません。

## 11.4.11 ライセンス管理設定

設定項目	機能説明
リクエストコード発行	ライセンス管理サーバー（LMS）に登録する、本機のリクエストコードを発行します。
機能有効化	有効化する機能を選択し、ライセンス管理サーバー（LMS）から取得したライセンスコードを入力します。
有効機能一覧	有効機能を確認することができます。



機能有効化についての詳細は「すぐに使える操作ガイド」をごらんください。

## 11.4.12 管理者設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンター】を押し、[管理者設定] を表示させるまでの手順を説明します。

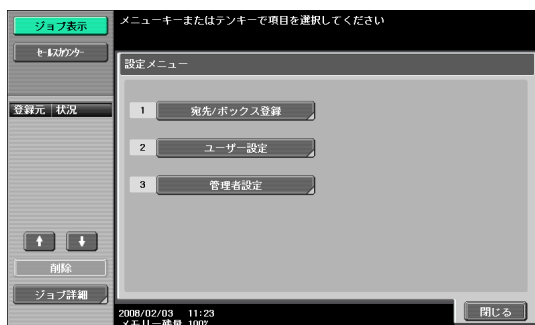
1

【設定メニュー / カウンター】を押します。



2

「[3 管理者設定]」を押します。

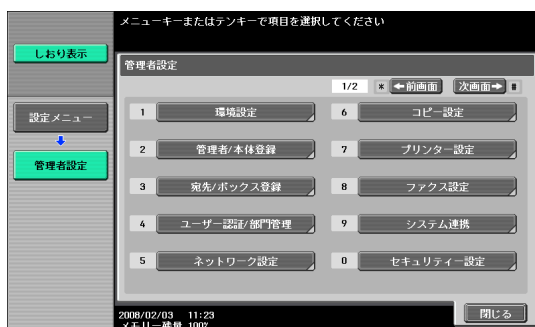


3

管理者パスワードを入力し、「OK」を押します。



管理者設定画面が表示されます。



### ひとこと

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーでも選択できます。「[3 管理者設定]」の場合は、テンキーの【3】を入力します。

### 詳しく説明します

- ・管理者パスワードは出荷時設定の“12345678”が設定されています。本機を管理される方は、必ず管理者パスワードを変更してください。
- ・管理者パスワードは絶対に忘れないでください。管理者パスワードを忘れた場合、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

### 参照

文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2)をごらんください。

### ひとこと

設定メニューを終了するときは、【設定メニュー/カウンター】を押します。目的の画面になるまで「[閉じる]」を押しても終了できます。

## 11.5 ウィークリータイマーの設定の概要

ウィークリータイマーの設定はそれぞれの機能を組合わせて行います。  
概要は以下のとおりです。

### 原則

ウィークリータイマーが設定されているときは、電源が OFF のときでも本機の電源プラグをコンセントに接続したままにしてください。  
設定メニュー／管理者設定／環境設定／日時設定を正確に設定してください。

- 1 ウィークリータイマー使用設定を「する」にします。
- 2 タイマー予約時刻設定をします。
- 3 動作日の設定をします。
- 4 昼休み OFF 機能、時間外パスワードの必要な機能を設定します。  
ウィークリータイマーが設定されます。

## 11.6 フィニッシャー調整

### 11.6.1 中折り位置調整

中折り機能で印刷するときの中折り位置を用紙サイズ別、用紙種類別に調整できます。

#### 原則

調整を始める前に、中折り機能を使い、1冊のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

1

管理者設定画面を表示させます。

2

[1 環境設定] を押します。

環境設定画面が表示されます。

3

[7 エキスパート調整] を押します。

エキスパート調整画面が表示されます。

4

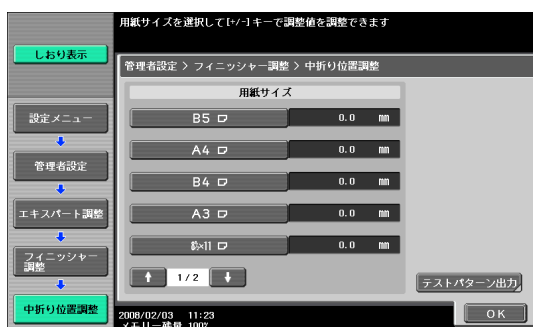
[3 フィニッシャー調整] を押します。

フィニッシャー調整画面が表示されます。

5

[1 中折り位置調整] を押します。

中折り位置調整画面が表示されます。



6

調整する用紙サイズキーを押します。

#### 詳しく説明します

オプションのフィニッシャーに中綴じ機が装着されていない場合、[中折り位置調整] は表示されません。

#### ひとこと

中折り位置の傾き調整は、サービス実施店にご連絡ください。

#### 参照

中折り機能については、「[用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）](#)」(p. 2-62) をごらんください。

#### 参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させる](#)」(p. 11-35) をごらんください。

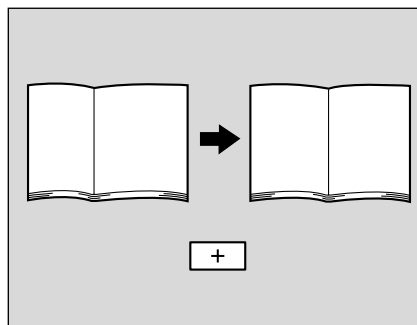
#### 詳しく説明します

調整したい用紙サイズが表示されていないときは、[↑] または [↓] で、表示を切替えます。

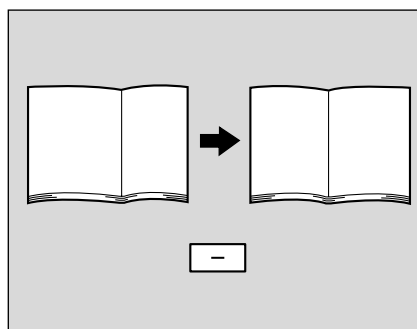
7

サンプルの左側のページと、右側のページの幅を比較し、用紙の中央を確認します。

- 用紙の中央に対して左側に折り位置がずれている場合は、  
[+] を押して補正値を増やします。  
(- 5.0 ~ + 5.0)



- 用紙の中央に対して右側に折り位置がずれている場合は、  
[-] を押して補正値を減らします。  
(- 5.0 ~ + 5.0)



8

[OK] を押します。

中折り位置が調整されます。

手順 7 で用紙の中央に折り位置がある場合は、ここで終了です。

9

再度、中折り機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10

サンプルで印刷結果を確認します。

- 折り位置が用紙の中央に補正されたことを確認します。
- 調整が必要な場合は、手順 6 ~ 9 を繰り返します。

#### ひとこと

[+] または [-] を押しつづけると、数値が連続で変化します。

#### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

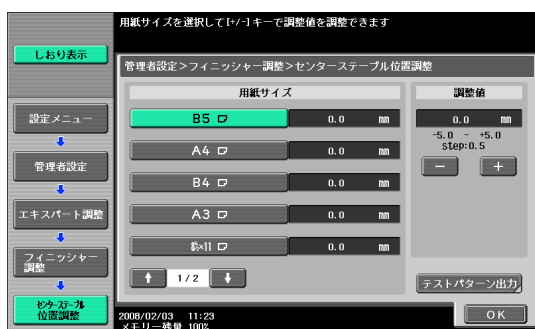
## 11.6.2 センターステープル位置調整

センターステープル機能で印刷するときのステープル位置を用紙サイズ別に調整できます。

### 原則

中折り位置調整後に、センターステープル位置を調整してください。  
調整を始める前に、センターステープル機能を使い、1冊のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定] を押します。  
環境設定画面が表示されます。
- 3 [7 エキスパート調整] を押します。  
エキスパート調整画面が表示されます。
- 4 [3 フィニッシャー調整] を押します。  
フィニッシャー調整画面が表示されます。
- 5 [1 センターステープル位置調整] を押します。  
センターステープル位置調整画面が表示されます。



- 6 調整する用紙サイズキーを押します。

### 詳しく説明します

オプションのフィニッシャーに中綴じ機が装着されていない場合、[センターステープル位置調整] は表示されません。

### ひとこと

ステープルの傾き調整は、サービス実施店にご連絡ください。

### 参照

- ・センターステープル機能については、「用紙の中央をとじて排紙する(中とじ)」(p. 2-62) をご覧ください。
- ・中折り位置調整については、「中折り位置調整」(p. 11-38) をご覧ください。

### 参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」(p. 11-35) をご覧ください。

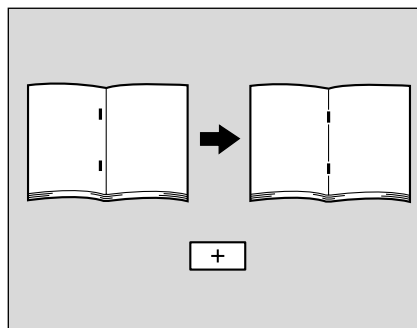
### 詳しく説明します

調整したい用紙サイズが表示されていないときは、[↑] または [↓] で、表示を切替えます。

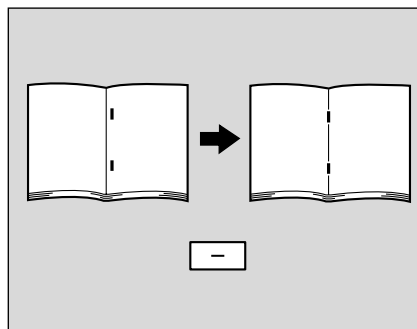
7

サンプルの左側のページと、右側のページの幅を比較し、用紙の中央を確認します。

- 用紙の中央に対して左側にステープル位置がずれている場合は、[+] を押して補正値を増やします。  
(- 5.0 ~ + 5.0)



- 用紙の中央に対して右側にステープル位置がずれている場合は、[-] を押して補正値を減らします。  
(- 5.0 ~ + 5.0)



8

[OK] を押します。

中とし位置が調整されます。

手順 7 で用紙の中央にステープル位置がある場合は、ここで終了です。

9

再度、センタースタープル機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

10

サンプルで印刷結果を確認します。

- ステープル位置が用紙の中央に補正されたことを確認します。
- 調整が必要な場合は、手順 6 ~ 9 を繰り返します。

#### ひとこと

[+] または [-] を押しつづけると、数値が連続で変化します。

#### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

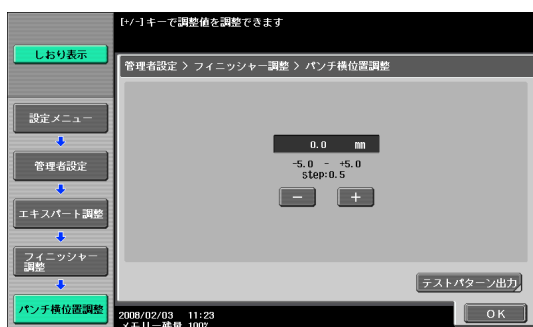
### 11.6.3 パンチ横位置調整

パンチ機能で印刷するときのパンチ穴の横位置を用紙サイズ別に調整できます。

#### 原則

調整を始める前に、パンチ機能を使い、1枚のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定] を押します。  
環境設定画面が表示されます。
- 3 [7 エキスパート調整] を押します。  
エキスパート調整画面が表示されます。
- 4 [3 フィニッシャー調整] を押します。  
フィニッシャー調整画面が表示されます。
- 5 [3 パンチ横位置調整] を押します。  
パンチ横位置調整画面が表示されます。



#### 詳しく説明します

オプションのフィニッシャーにパンチユニットが装着されていない場合、[パンチ横位置調整] は表示されません。

#### 参照

パンチ機能については、「[パンチ穴をあけて排紙する \(パンチ\)](#)」(p. 2-58) をごらんください。

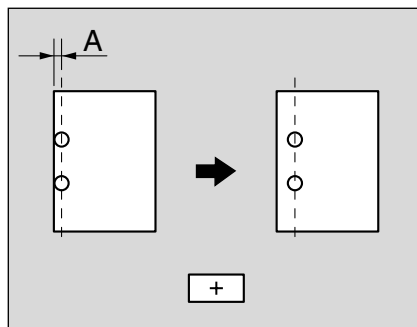
#### 参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させる](#)」(p. 11-35) をごらんください。

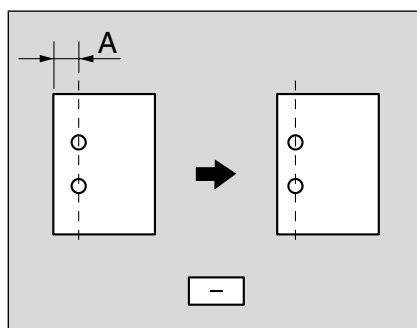
6

パンチ穴の横位置を確認します。

- A 幅を広くする場合は、[+] を押して調整値を増やします。  
(- 5.0 ~ + 5.0)



- A 幅を狭くする場合は、[-] を押して調整値を減らします。  
(- 5.0 ~ + 5.0)



7

[OK] を押します。

パンチ穴の横位置が調整されます。

手順 6 でパンチ穴の横位置調整が不要な場合は、ここで終了です。

8

再度、パンチ機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

9

サンプルで印刷結果を確認します。

- パンチ穴の横位置が補正されたことを確認します。
- 調整が必要な場合は、手順 6 ~ 9 を繰り返します。

#### ひとこと

[+] または [-] を押しつづけると、数値が連続で変化します。

#### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

### 11.6.4 パンチレジストループ量調整

パンチ機能で印刷するときの、用紙の辺に対するパンチ穴位置の傾きを調整できます。

#### 原則

調整を始める前に、パンチ機能を使い、1 枚のコピーサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定] を押します。  
環境設定画面が表示されます。
- 3 [7 エキスパート調整] を押します。  
エキスパート調整画面が表示されます。
- 4 [3 フィニッシャー調整] を押します。  
フィニッシャー調整画面が表示されます。
- 5 [4 パンチレジストループ量調整] を押します。  
パンチレジストループ量調整画面が表示されます。



- 6 調整する用紙サイズキーを押します。  
パンチ穴位置の傾きを確認します。  
○ パンチ穴位置が傾いている場合は、[+] を押して調整値を変更します。[+] 調整で傾きが補正できない場合、および用紙にしわ等が発生する場合は、[-] を押して調整値を変更します。
- 7 [OK] を押します。  
パンチ穴位置の傾きが調整されます。  
手順 6 でパンチ穴位置の傾き調整が不要な場合は、ここで終了です。
- 8 再度、パンチ機能を使用し、コピーサンプルを作成します。

#### 詳しく説明します

オプションのフィニッシャーにパンチユニットが装着されていない場合、[パンチレジストループ量調整] は表示されません。

#### 参照

パンチ機能については、「[パンチ穴をあけて排紙する \(パンチ\)](#)」(p. 2-58) をご覧ください。

#### 参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させる](#)」(p. 11-35) をご覧ください。

#### ひとこと

[+] または [-] を押しつづけると、数値が連続で変化します。

#### ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

9

サンプルで印刷結果を確認します。

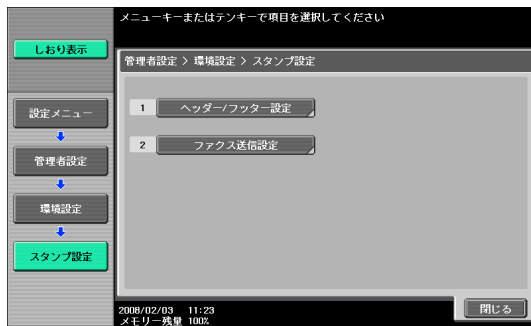
- パンチ穴位置の傾きが補正されたことを確認します。
- 調整が必要な場合は、手順 6 ～ 7 を繰り返します。

## 11.7 ヘッダー / フッターを設定する

応用設定の「スタンプ / ページ印字」で使用するヘッダー / フッターを設定する手順を説明します。

### 11.7.1 ヘッダー / フッターの設定のしかた

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定] を押します。  
環境設定画面が表示されます。
- 3 [次画面→] を押し、[2 スタンプ設定] を押します。  
スタンプ設定画面が表示されます。
- 4 [1 ヘッダー / フッター設定] を押します。



ヘッダー / フッター設定画面が表示されます。

- 5 [登録] を押します。



ヘッダー / フッター登録画面が表示されます。



管理者設定画面の表示のしかたは「[管理者設定画面を表示させる](#)」(p. 11-35) をご覧ください。

6

「登録名」を押します。



ヘッダー / フッター名の登録画面が表示されます。

7

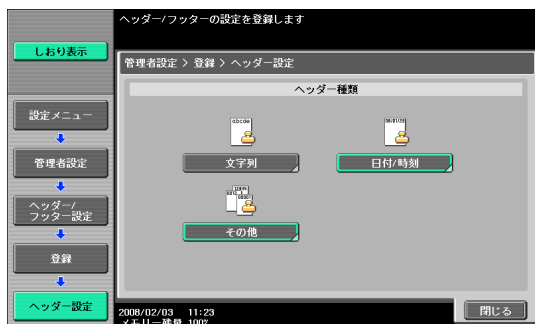
ヘッダー / フッター名を入力し(全角で 8 文字まで、半角で 16 文字まで)、[OK] を押します。



ヘッダー / フッター名が設定されます。

8

ヘッダー設定またはフッター設定の「印刷する」を押し、印刷するヘッダー / フッターの種類を選択します。



「閉じる」を押します。

9

「印字ページ」「文字サイズ」「印字位置指定」をそれぞれ設定します。

10

「OK」を押します。



文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2) をご覧ください。



「先頭ページのみ」を選択した場合、先頭ページのみヘッダー / フッターが印字されます。

## 11.7.2 ヘッダー / フッターの編集のしかた

1

ヘッダー / フッター設定画面で、編集したいヘッダー / フッターキーを押します。

2

[確認 / 変更] を押します。



確認 / 変更画面が表示されます。

○ ヘッダー / フッターを削除する場合は、[削除] を押します。

3

[OK] を押します。

## 11.8 認証方式

本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。

ユーザー認証は個人を管理するとき、部門管理はグループや複数のユーザーを管理するときに設定するのが適しています。

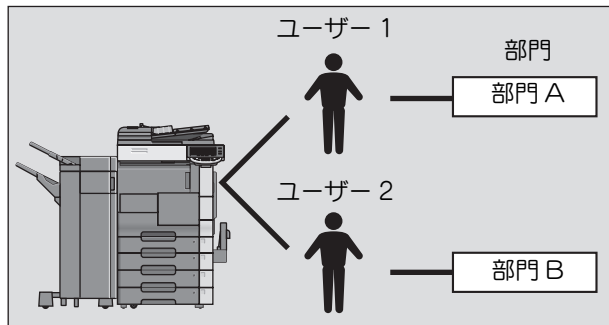
ユーザー認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザー別に各部門のカウント管理ができます。

### 11.8.1 ユーザー認証と部門管理について

ユーザー認証と部門管理は、それぞれ以下の機能があります。

- ユーザー認証
  - 操作可能な機能を制限する（コピー操作／スキャン操作／ファクス操作／プリンター印字／蓄積文書操作／送信文書印字／外部メモリー保存／手動宛先入力）
  - ユーザーごとに出力／読み込みのカウントを行う
  - 各ユーザー所有の個人ボックス、グループボックスの操作をする
  - 各ユーザーの参照できる宛先の参照許可グループ／レベルの操作をする
  - 他のユーザーのジョブを削除禁止する
- 部門管理
  - 部門ごとに出力／読み込みのカウントを行う
  - グループボックスの操作をする

### 11.8.2 ユーザー認証と部門管理を連動する場合



本機を複数の部署で使用する場合に、各社員を部署ごとに管理して利用するときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に集計をとったり、部署ごと（部門ごと）に集計をとることができます。このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	[外部サーバー認証]、[本体装置認証] のどちらかを選択します。
部門管理	[管理する] を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証 / 部門認証の連動	[連動する] を選択します。
ユーザー登録 / 所属部門	本体装置認証選択時は、所属部門を設定します。

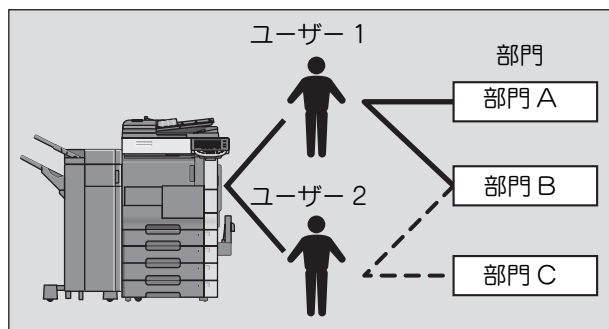
#### ひとこと

- ・ 本機では、ユーザー認証と部門管理は合計 1,000 件まで登録できます。1,000 件以上登録した場合は、PageScope Authentication Manager を利用してください。PageScope Authentication Manager を利用すると 3,000 件まで登録することができます。
- ・ 認証方式が設定されていると、本機の待機中に認証画面が表示されます。ユーザー認証 / 部門認証して本機を使用するには、ユーザー名、パスワードなどを入力する必要があります。詳しくは、「ユーザーごとに本機の使用を制限する（ユーザー認証）」(p. 1-34) をごらんください。
- ・ ユーザー認証と部門管理は連動しないで設定することができます。



外部サーバー認証については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

### 11.8.3 ユーザー認証と部門管理でそれぞれ認証する場合



本機を複数の社員で使用する場合に、それぞれの社員が複数の業務を行い、業務単位の集計をとるときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に統計をとったり、業務別（部門別）に集計をとることができます。また社員 1、社員 2 で同じ業務をする場合も、社員別（ユーザー別）、業務別（部門別）に集計がとれます。

このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	〔外部サーバー認証〕、〔本体装置認証〕のどちらかを選択します。
部門管理	〔管理する〕を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証 / 部門認証の連動	〔連動しない〕を選択します。

### 11.8.4 認証方式の設定のしかた

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
- 3 [1 認証方式] を押します。  
認証方式画面が表示されます。
- 4 「ユーザー認証」を設定します。
  - ユーザー認証をしない場合は、〔認証しない〕を押します。
  - 外部サーバーを使用してユーザー認証を行う場合は、〔外部サーバー認証〕を押し、サーバーの種類を選択します。
  - 本機の認証システムを使用してユーザー認証を行う場合は、〔本体装置認証〕を押します。



管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をごらんください。

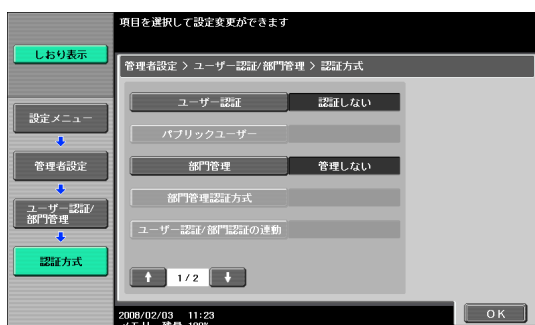


詳しく説明します

外部サーバーを使用するには、あらかじめ外部サーバーを登録しておく必要があります。



外部サーバー認証については、  
「[ユーザーズガイド ネットワーク  
管理者編](#)」をごらんください。



## 原則

外部サーバーのユーザー名には同一文字で大文字と小文字が入る名称は使用しないでください。501/421/361 では大文字小文字の区別ができないため、正しく処理できないことがあります。

### 5

「パブリックユーザー」を設定します。

- [許可しない] は本機に登録されていないユーザーは使用できない設定です。
- [許可する] はユーザー認証設定をしている場合でも、認証画面で [パブリックユーザー] を押すと、ユーザー名やパスワードを入力しないで使用できる設定です。
- [許可後ログイン] は、パブリックユーザーとしてログインするときは認証なしで本機を使用できる設定です。認証されているユーザーとしてログインするときは、はじめに【ID】を押し、認証画面を表示する必要があります。

### 6

「部門管理」を設定します。

- 部門管理をしない場合は [管理しない] を押します。
- 部門管理を行う場合は [管理する] を押します。

### 7

「部門管理認証方式」を設定します。

- [部門名 + パスワード] は、部門認証画面で部門名とパスワードを入力してから本機を使用できる設定です。
- [パスワードのみ] は、部門認証画面でパスワードを入力すると本機を使用できる設定です。

## ひとこと

- ・「ユーザー認証 / 部門認証の連動」は、「ユーザー認証」が〔外部サーバー認証〕または〔本体装置認証〕を選択して「部門管理」が〔管理する〕を選択しているときに、設定できます。
- ・パブリックユーザーの使用を [許可する] に設定した場合でも、「ユーザー認証 / 部門認証の連動」を [連動しない] に設定すると、パブリックユーザーの使用は [許可しない] が設定されます。

## 詳しく説明します

- ・ユーザー認証 / 部門認証の連動で [連動しない] を選択した場合、パブリックユーザーの使用を許可することはできません。
- ・ユーザー認証と部門管理の両方を設定した場合、部門管理認証方式は、「部門名 + パスワード」が設定されます。
- ・「パブリックユーザー」は、本機を一時的に使用するユーザーの設定です。使用を許可する場合は機能制限設定することをおすすめします。詳しくは、「[ユーザー登録](#)」(p. 11-56) をご覧ください。
- ・〔本体装置認証〕〔外部サーバー認証〕を選択している場合に、部門管理を行うと、ユーザー認証画面でユーザー名とパスワードを入力し、次に部門認証画面で部門名とパスワードを入力します。
- ・PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合は、〔部門管理〕を設定することはできません。

8

「ユーザー認証 / 部門認証の連動」を設定します。

○ [連動する]

「本体装置認証」と部門管理を「管理する」に設定した場合、ユーザー登録時に所属部門を設定しておくことで、1度目の認証からユーザー認証のみで本機を使用できる設定です。  
「外部サーバー認証」と部門管理を「管理する」に設定した場合、1度ユーザー認証と部門認証にて本機を使用すると、次回使用するときから認証された部門に連動されユーザー認証のみで、本機を使用できる設定です。

○ [連動しない]

本機を使用するたびにユーザー認証と部門認証を行う設定です。

9

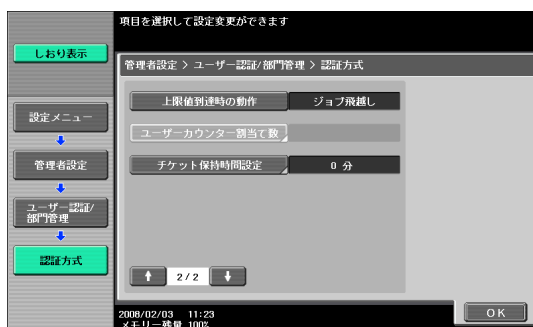
[↓] を押します。

2 ページ目が表示されます。

10

「上限値到達時の動作」を設定します。

- ユーザー認証または部門管理で設定した上限値に到達したときにジョブを飛越す場合は、[ジョブ飛越し] を押します。
- ユーザー認証または部門管理で設定した上限値に到達したときに全てのジョブを停止する場合は、[ジョブ停止] を押します。



11

「ユーザーカウンター割当て数」を設定します。

- 【C】 を押しテンキーで数値を入力します。(1 個～999 個)
- ユーザー認証と部門管理を有効にしている場合は、カウンターを部門用とユーザー用の両方に割振ることができ、両方のカウント値も集計できます。

12

「チケット保持時間設定」を設定します。

- テンキーで時間を入力します。(1 分～60 分)

### 詳しく説明します

- ・「本体装置認証」と部門管理を「管理する」に設定した場合、1度ユーザー認証と部門認証にて本機を使用すると、認証した部門が所属部門に登録されます。次回からはユーザー認証のみで使用できます。
- ・ユーザー認証 / 部門認証の連動で「連動しない」を選択した場合、パブリックユーザーの使用を許可することはできません。

### ひとこと

- ・「ユーザーカウンター割当て数」は、「ユーザー認証」が「外部サーバー認証」または「本体装置認証」を選択して「部門管理」が「管理する」を選択しているときに、設定できます。
- ・ユーザーカウンター割当て数を50個にした場合、部門数は950個まで登録できます。

### 詳しく説明します

Kerberos 認証チケットの保持時間を設定します。認証サーバータイプが Active Directory 選択時に適用されます。

13

[OK] を押します。

- 「ユーザー認証」や「部門管理」、「ユーザーカウンター割当て数」の設定を変更すると、「すべての使用管理データをクリアしますか？」というメッセージが表示されます。

14

[はい] を押し、[OK] を押します。

認証方式が設定されます。

続けてユーザー認証の設定や部門管理の設定をします。

#### ひとこと

- ・ [いいえ] を押した場合は、使用管理データはクリアされませんが、設定を変更できません。
- ・ 以下の設定を変更したときは、データクリアされません。「パブリックユーザー」、「上限値到達時の動作」、「ユーザー認証 / 部門認証の連動」、「チケット保持時間設定」
- ・ 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

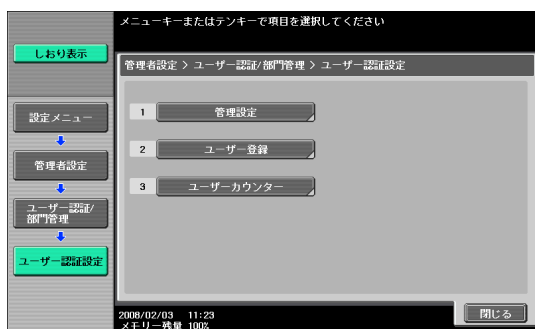
## 11.9 ユーザー認証設定

ユーザー認証に関する設定ができます。

### 11.9.1 管理設定－ユーザー名一覧表示

ユーザー認証設定をしているときに、ユーザー認証画面やユーザー名入力欄に「ユーザー名一覧」を表示することができます。「ユーザー名一覧」を押すと、本機に登録されているユーザー名が表示されるため、一覧から選択するだけでユーザー名を設定できます。（初期値：表示しない）

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
- 3 [2 ユーザー認証設定] を押します。  
ユーザー認証設定画面が表示されます。
- 4 [1 管理設定] を押します。



- 5 [ユーザー名一覧] を押します。  
設定値選択キーが表示されます。
- 6 目的の設定値選択キーを押します。  
ユーザー名の一覧キーの表示が設定されます。



管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をご覧ください。

#### ひとこと

[2 ユーザー認証設定] は、認証方式でユーザー認証が「認証しない」に設定されていると選択できません。

## 11.9.2 初期機能制限

外部サーバー認証を設定している場合、認証したユーザーが本機で利用できる機能を制限できます。(初期値：許可する)

制限できるのは、以下の機能です。

- コピー操作
- スキャン操作
- ファクス操作
- プリンターからの印字
- ハードディスクに蓄積されている文書の操作
- 送信文書の印字
- 外部メモリー保存
- 手動宛先入力

1

管理者設定画面を表示させます。

2

[4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。

3

[2 ユーザー認証設定] を押します。  
ユーザー認証設定画面が表示されます。

4

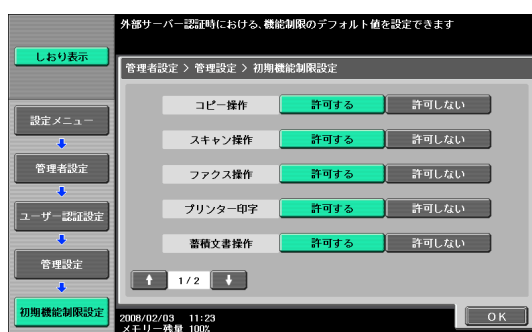
[1 管理設定] を押します。

5

[初期機能制限設定] を押します。  
初期機能制限設定画面が表示されます。

6

目的のキーを押します。



7

[OK] を押します。  
初期機能制限が設定されます。

### ひとこと

- ・登録済みのユーザーに使用制限をかけたい場合は、[ユーザー登録] で設定します。
- ・送信文書印字設定では、ボックスに保存した文書をスキャン送信やファクス送信する場合に、印字を禁止することができます。



管理者設定画面の表示のしかたは、[「管理者設定画面を表示させる」](#) (p. 11-35) をご覧ください。

### ひとこと

[2 ユーザー認証設定] は、認証方式でユーザー認証が「認証しない」に設定されていると選択できません。

### 11.9.3 パブリックユーザーの認証

ユーザー認証を設定し、パブリックユーザーの使用を許可している場合、パブリックユーザーの認証には2種類の方法があります。

【許可する】：認証画面に表示される【パブリックユーザー】を押すと、基本設定画面が表示され、本機の操作ができる状態になります。

【許可後ログイン】：パブリックユーザーとしてログインするときは、認証なしで本機を使用できる設定です。認証されているユーザーとしてログインするときは、はじめに【ID】を押し、認証画面を表示する必要があります。

(初期値：許可しない)

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
- 3 [1 認証方式] を押します。
- 4 [パブリックユーザー] を押します。  
設定値選択キーが表示されます。
- 5 目的の設定値選択キーを押します。  
パブリックユーザーの認証方法が設定されます。



管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をご覧ください。

#### ひとこと

- ・【パブリックユーザー】は、ユーザー認証が「認証しない」に設定されていると選択できません。
- ・パブリックユーザーの認証方法を【許可後ログイン】に設定した場合、一般ユーザーとしてログインするには、【ID】を押して認証画面を表示させます。

### 11.9.4 ユーザー登録

本機を使用するユーザーごとに、パスワード、印刷許可、印刷枚数の上限値、使用できる機能を設定できます。

また、本機に認証装置を装着した場合は、ユーザーの静脈パターンまたはICカードの情報も登録できます。

ここでは本体装置認証時のユーザー登録を例に説明します。

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
- 3 [2 ユーザー認証設定] を押します。  
ユーザー認証設定画面が表示されます。
- 4 [2 ユーザー登録] を押します。



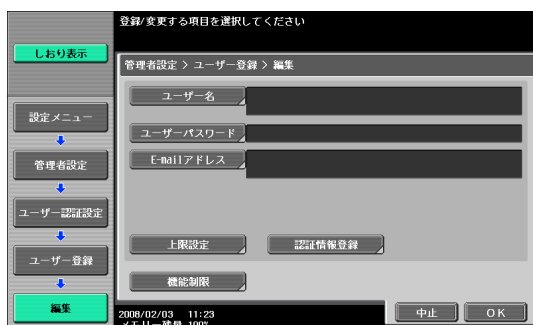
管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をご覧ください。

5

目的のユーザーキーを押し、[編集] を押します。  
各ユーザーの編集画面が表示されます。

6

[ユーザー名] を押します。



ユーザー名画面が表示されます。

7

ユーザー名を入力し（全角 32 文字まで、半角 64 文字まで）、  
[OK] を押します。



ユーザー名が設定されます。

8

[ユーザーパスワード] を押します。  
パスワード画面が表示されます。

9

パスワードを入力し（64 文字まで）、[OK] を押します。  
確認のため、パスワード画面が再び表示されますので、同じパ  
スワードをもう 1 度入力し、[OK] を押します。  
ユーザーパスワードが設定されます。

10

[E-mail アドレス] を押します。  
E-mail アドレス画面が表示されます。

11

E-mail アドレスを入力し（半角 320 文字まで）、[OK] を押し  
ます。  
E-mail アドレスが設定されます。

### 詳しく説明します

- ・本機では、ユーザー認証と部門管理は合計 1000 件まで登録できます。
- ・認証方式でパブリックユーザーが [許可する] に設定されている場合は、Public が 1 件追加されます。パブリックユーザーの機能制限ができます。
- ・認証方式で部門管理を [管理する] に設定されている場合は、カウンター割当てで設定された件数まで登録できます。

### 参照

文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2) をご覧ください。

### ひとこと

- ・ユーザー名は 1 度登録すると変更できません。
- ・すでに登録されているユーザー名は、登録できません。

### ひとこと

[ユーザーパスワード] は、認証方式でユーザー認証が [外部サーバー認証] に設定されていると表示されません。

### ひとこと

E-Mail アドレスが 69 文字以上になると、ユーザー登録画面に [詳細] が表示されます。[詳細] を押すと E-Mail アドレス詳細画面が表示され、E-Mail アドレスが表示されます。

12

部門管理を行う場合は、[所属部門] を押します。  
所属部門画面が表示されます。

13

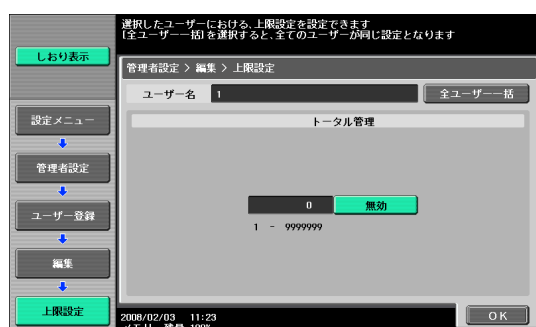
目的の所属部門キーを押し、[OK] を押します。  
所属部門が設定されます。

14

[上限設定] を押します。  
上限設定画面が表示されます。

15

上限枚数を設定する場合は、テンキーで上限枚数を入力します。  
上限枚数を設定しない場合は、[無効] を選択します。



16

[OK] を押します。  
上限枚数が設定されます。

17

生体認証または IC カード認証を行う場合は、[認証情報登録] を押します。  
認証情報登録画面が表示されます。

18

[編集] を押します。  
○ 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を利用する場合は、認証装置に指を置いて静脈パターンを登録します。  
○ 認証装置（IC カード認証タイプ）を利用する場合は、認証装置に IC カードを置きカードの情報を登録します。

19

[機能制限] を押します。  
機能制限画面が表示されます。

#### ひとこと

[所属部門] は、認証方式で部門管理が [管理する] に設定されている場合にのみ表示されます。



所属部門を選択する前に部門登録が必要です。  
部門の登録のしかたは、「[部門登録](#)」(p. 11-62) をご覧ください。

#### ひとこと

[全ユーザー一括] を押すと、現在の画面の設定が、他のユーザー登録にも反映されます。[全ユーザー一括] を押して [OK] を 2 回押すと一括処理が行われます。



認証装置の使い方については、認証装置に付属のマニュアルをご覧ください。

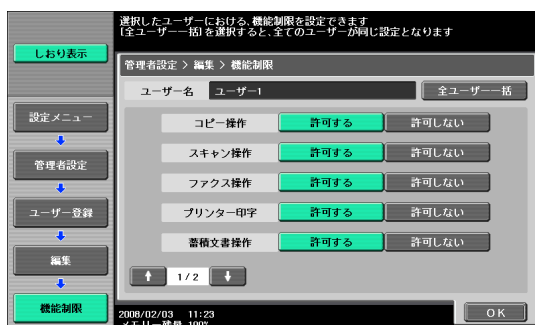
#### ひとこと

[認証情報登録] は、本機に認証装置が装着されている場合にのみ表示されます。

20

それぞれの項目の目的のキーを押します。

- 操作を許可する場合は、[許可する] を押します。
- 操作を許可しない場合は、[許可しない] を押します。



21

[OK] を押します。

22

機能制限が設定されます。  
[OK] を押します。

### ひとこと

- ・ [全ユーザー一括] を押すと、現在の画面の設定が、他のユーザー登録にも反映されます。[全ユーザー一括] を押して [OK] を 2 回押すと一括処理が行われます。
- ・ 送信文書印字設定では、ボックスに保存した文書をスキャン送信やファクス送信する場合に、印字を禁止することができます。
- ・ 機能制限の設定によって、ログイン時の基本設定画面が切替わります。基本設定画面切替の優先順位は、コピー→スキャナー→ファクス→ボックスです。
- ・ どの機能も許可されていない場合は、ユーザー認証されません。

### ひとこと

- ・ [中止] を押すと、現在の画面の設定が、取消されます。
- ・ ユーザー登録画面で [削除] を押すと、選択中のユーザー情報が削除されます。

### 11.9.5 ユーザーカウンター

ユーザーごとに以下の項目を確認できます。

#### <全プリント>

コピー、プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総印刷枚数
- 上限値：ユーザー登録で設定した印刷枚数の上限設定値
- 大サイズ：大サイズ用紙での総印刷枚数

#### <コピー>

コピーの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総コピー印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総コピー印刷枚数

#### <プリンター>

プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総プリンター印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総プリンター印刷枚数

#### <ファクス / スキャン>

- トータル：ファクス、スキャンでの、総読取り枚数／総印刷枚数
- 大サイズ：ファクス、スキャンの大サイズ用紙での、総読取り枚数／総印刷枚数

#### <原稿枚数>

- 読込んだ原稿枚数が表示されます。

#### <用紙枚数>

- 印刷時に使用した用紙枚数が表示されます。

#### <ファクス送信枚数>

- ファクス送信枚数：ファクスでの総送信枚数

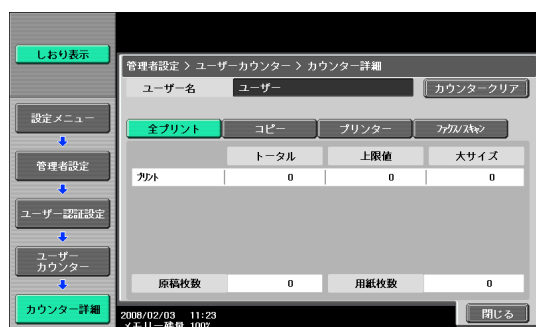


詳しく説明します

- ・ 外部サーバー認証時のユーザーカウンターは、自動的にカウント処理されます。
- ・ パブリックユーザーはカウンターの「public」にカウントされます。
- ・ ボックス管理者はカウンターの「BoxAdmin」にカウントされます。

## 11.9.6 ユーザーカウンターの表示のしかた

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
- 3 [2 ユーザー認証設定] を押します。  
ユーザー認証設定画面が表示されます。
- 4 [3 ユーザーカウンター] を押します。
- 5 目的のユーザーキーを押し、[カウンター詳細] を押します。  
各ユーザーのカウンター詳細画面が表示されます。
- 6 確認する項目のキーを押し、カウンターを確認します。



- 7 [閉じる] を押します。



管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をごらんください。



- ・各ユーザーカウンター画面で表示されている[カウンタークリア]を押すと、表示しているユーザーのカウンターをクリアします。[カウンタークリア]を押すと、カウンタークリアの確認画面が表示されます。確認画面で[はい]を押し、[OK]を押すと、表示しているユーザーのカウンターがクリアされます。上限値はクリアされません。
- ・ユーザーカウンター画面で表示されている[一括カウンタークリア]を押すと、全てのユーザーのカウンターをクリアします。[一括カウンタークリア]を押すと、カウンタークリアの確認画面が表示されます。確認画面で[はい]を押し、[OK]を押すと、全てのユーザーのカウンターがクリアされます。上限値はクリアされません。

## 11.10 部門管理設定

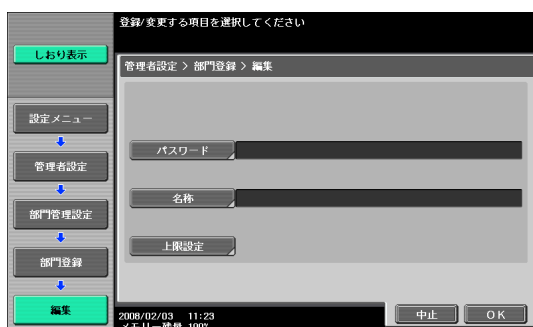
### 11.10.1 部門登録

本機を使用する部門ごとに、パスワード、印刷許可、印刷枚数の上限値を設定できます。

- 1 管理者設定画面を表示させます。
  - 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
  - 3 [3 部門管理設定] を押します。  
部門管理設定画面が表示されます。
  - 4 [1 部門登録] を押します。
  - 5 目的の部門キーを押し、[編集] を押します。  
各部門の編集画面が表示されます。
- <部門名 + パスワードの場合>



<パスワードのみの場合>



- 6 [部門名] を押します。  
部門名画面が表示されます。



管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をご覧ください。

#### ひとこと

- ・ 本機では、ユーザー認証と部門管理は合計 1,000 件まで登録できます。
- ・ 部門管理の認証方式の設定により表示される画面が異なります。



部門名 + パスワードの場合、同じ  
部門名は使用できません。

7

部門名を入力し（英数字 8 文字まで）、[OK] を押します。



部門名が設定されます。

8

[パスワード] を押します。

パスワード画面が表示されます。

9

パスワードを入力し（半角 8 文字まで）、[OK] を押します。  
確認のため、パスワード画面が再び表示されますので、同じパスワードをもう 1 度入力し、[OK] を押します。

ユーザーパスワードが設定されます。

10

[上限設定] を押します。

上限設定画面が表示されます。

11

上限枚数を設定する場合は、テンキーで上限枚数を入力します。  
上限枚数を設定しない場合は、[無効] を選択します。



12

[OK] を押します。

上限枚数が設定されます。



文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 14-2) をご覧ください。

#### ひとこと

- ・[名称] が表示されている場合は、部門名称を入力し、(全角 10 文字、半角 20 文字まで) [OK] を押します。
- ・認証方式が [部門名 + パスワード] に設定されている場合、同じ部門名は登録できません。

#### ひとこと

認証方式が [パスワードのみ] に設定されている場合、同じパスワードを登録できません。



[全部門一括] を押すと、現在の画面の設定が、現在登録されている全ての部門に反映されます。[全部門一括] を押して [OK] を 2 回押すとデータ処理中のメッセージが表示され、一括処理が行われます。このとき、主電源スイッチは絶対に“OFF”しないでください。

13

[OK] を押します。

#### ひとこと

「削除」を押すと、選択中の部門情報が削除されます。

## 11.10.2 部門カウンター

部門ごとに以下の項目を確認できます。

### <全プリント>

コピー、プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総印刷枚数
- 上限値：部門登録で設定した印刷枚数の上限設定値
- 大サイズ：大サイズ用紙での総印刷枚数

### <コピー>

コピーの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総コピー印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総コピー印刷枚数

### <プリンター>

プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：総プリンター印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総プリンター印刷枚数

### <ファクス / スキャン>

- トータル：ファクス、スキャンでの、総読取り枚数／総印刷枚数
- 大サイズ：ファクス、スキャンの大サイズ用紙での、総読取り枚数／総印刷枚数

### <原稿枚数>

- 読込んだ原稿枚数が表示されます。

### <用紙枚数>

- 印刷時に使用した用紙枚数が表示されます。

### <ファクス送信枚数>

- ファクス送信枚数：ファクスでの総送信枚数



詳しく説明します

パブリックユーザーはカウンターの「public」にカウントされます。

## 11.10.3 部門カウンターの表示のしかた

- 1 管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。  
ユーザー認証 / 部門管理画面が表示されます。
- 3 [3 部門管理設定] を押します。  
部門管理設定画面が表示されます。
- 4 [2 部門カウンター] を押します。
- 5 目的の部門キーを押し、[カウンター詳細] を押します。  
各部門のカウンター詳細画面が表示されます。
- 6 確認する項目のキーを押し、カウンターを確認します。



- 7 [閉じる] を押します。



管理者設定画面の表示のしかたは、  
「[管理者設定画面を表示させる](#)」  
(p. 11-35) をご覧ください。



## 詳しく説明します

- ・ 各部門カウンター画面で表示されている[カウンタークリア]を押すと、表示している部門のカウンターをクリアします。[カウンタークリア]を押すと、カウンタークリアの確認画面が表示されます。確認画面で[はい]を押し、[OK]を押すと、表示している部門のカウンターがクリアされます。上限値はクリアされません。
- ・ 部門カウンター画面で表示されている[一括カウンタークリア]を押すと、全ての部門のカウンターをクリアします。[一括カウンタークリア]を押すと、カウンタークリアの確認画面が表示されます。確認画面で[はい]を押し、[OK]を押すと、全ての部門のカウンターがクリアされます。上限値はクリアされません。

## 11.11 パスワード規約

パスワード規約を適用すると、パスワードに対して以下のような制約がかかり、セキュリティを強化することができます。

パスワード規約を適用したときに、すでに設定してあるパスワードがパスワード規約に合わない場合、そのパスワードを入力しても受け付けなくなります。その場合は、管理者に依頼して、以下の条件をみたすパスワードに設定しなおしてもらってください。

### 11.11.1 パスワード規約による制約

#### <管理者パスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字および記号	・ 同一文字のみのパスワードは登録できません。 ・ 変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

#### <ユーザーパスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字以上の半角英数字および記号	・ 同一文字のみのパスワードは登録できません。 ・ 変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

#### <部門パスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字および記号	・ 同一文字のみのパスワードは登録できません。 ・ 変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

#### <ボックスのパスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字および記号	・ 同一文字のみのパスワードは登録できません。 ・ 変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

#### <セキュリティ文書パスワード>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字および記号	・ 同一文字のみのパスワードは登録できません。

#### 詳しく説明します

パスワードに使用される文字には、以下の条件があります。

- ・ 英字の大文字と小文字は区別されます。
- ・ 使用できる記号は、半角記号です。[\*] [+][スペース] は一部設定が制御されています。

#### ひとこと

管理者設定を行う場合に使用します。

#### ひとこと

ユーザー認証を行う場合に使用します。

#### ひとこと

部門認証を行う場合に使用します。

#### ひとこと

ボックスのファクス通信パスワードは、半角数字、\*、# で 8 文字のパスワードを登録します。

#### ひとこと

パスワード規約に合わないパスワードを設定するとセキュリティ文書を印刷することができません。

## 11.12 セキュリティー強化設定

本機にセキュリティー強化設定を適用すると、さまざまなセキュリティー機能設定が連動して切替えられ、スキャンされたデータの管理において安全性をより高めることができます。ユーザーの操作には制限がかかり、パブリックユーザーの使用を禁止したり、ボックス操作が制限されたりします。

セキュリティー強化設定を ON にするには、あらかじめ必要な機能設定や強制的に切替えられる機能設定があります。セキュリティー強化設定を ON にする前に、各セキュリティー機能の設定を確認しておく必要があります。

### <必要な設定>

セキュリティー強化設定を ON にするには、あらかじめ以下の設定が必要です。

管理者設定の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証 / 部門管理 / 認証方式 / ユーザー認証	[外部サーバー認証]、[本体装置認証] のどちらかを選択します。
システム連携 / OpenAPI 設定 / SSL 使用	キーが表示された状態にします。
セキュリティー設定 / 管理者パスワード	パスワード規約を満たすパスワードに設定します。
セキュリティー設定 / HDD 管理設定 / HDD ロックパスワード ※または、オプションのセキュリティーキットを装着し、暗号ワードを設定します。	HDD ロックパスワードを設定します。
フラッシュメモリーロックパスワード	20 桁のフラッシュメモリーロックパスワードを設定します。

### 必ず守ってください

セキュリティー強化設定に適合しない機能設定がある場合、セキュリティー強化設定を [ON] にすることができません。

### 詳しく説明します

- ・セキュリティー強化設定を適用するには、必要な条件があります。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- ・セキュリティー強化設定を [ON] にすると、必要な設定や強制的に切替えられた設定は変更できません。

### 詳しく説明します

- ・認証方式で部門管理を設定する場合は、部門管理認証方式で [部門名 + パスワード] を選択します。
- ・SSL 使用は PageScope Web Connection で証明書が登録済の場合に表示されます

### ＜変更される設定＞

セキュリティー強化設定を ON にすると、セキュリティーを強化するため連動して以下のように設定変更されます。

管理者設定の設定メニュー	変更される設定
環境設定／ユーザー操作禁止設定／変更禁止設定／宛先登録変更	〔禁止〕に設定されます。
ユーザー認証／部門管理／認証方式／パブリックユーザー	〔許可しない〕に設定されます。
ユーザー認証／部門管理／ユーザー認証設定／管理設定／ユーザー名一覧表示	〔表示しない〕に設定されます。
ユーザー認証／部門管理／認証指定なし印刷	〔禁止〕に設定されます。
セキュリティー設定／ボックス管理者設定	〔認めない〕に設定されます。
セキュリティー設定／セキュリティー詳細／パスワード規約	〔有効〕に設定されます。
セキュリティー設定／セキュリティー詳細／認証操作禁止機能	〔モード2〕、チェック回数3回に設定されます。
セキュリティー設定／セキュリティー詳細／セキュリティー文書アクセス方式	〔モード2〕に設定されます。
セキュリティー設定／HDD管理設定／一時データ上書き削除	〔モード1〕に設定されます。

### ＜ユーザーの操作制限＞

セキュリティー強化設定を ON にすると、タッチパネルにアイコンが表示され、ユーザーに対して以下のように操作が制限されます。

- パブリックユーザーは本機を使用できません。
- ユーザー認証画面でユーザー一覧が表示されません。
- ユーザーが認証に指定回数連続失敗した場合、操作パネルの操作ができなくなります。パネル操作禁止になった場合は、〔操作禁止解除〕を押して、操作禁止を解除する項目を選択します。
- ユーザーによる、宛先の変更ができません。
- PageScope Net Care、PageScope VISUALCOUNT-MASTER で、本機内のカウンターデータの取出しができません。
- SNMP v1/v2c で write を行うアプリケーションは、接続できません。
- SNMP v3 で、Write ユーザーは認証が必要になります。

#### ひとこと

- ・ 認証操作禁止機能の設定で、チェック回数は1回～3回から変更することができます。
- ・ 変更された設定は、セキュリティー強化設定を OFF に戻した場合、変更されません。
- ・ パスワード規約が ON に設定されると、規約を満たしていないパスワードは認証時に認証失敗になります。パスワード規約については、「[パスワード規約](#)」(p. 11-67) をご覧ください。



変更されるネットワーク設定については、「[ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編](#)」をご覧ください。

#### ひとこと

一時データ上書き削除で〔モード2〕に設定していた場合は、変更されません。



- ・ ユーザーに対するボックス操作の制限については、「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をご覧ください。
- ・ ユーザーに対する印刷方法の制限については、「[ユーザーズガイド プリンター機能編](#)」をご覧ください。
- ・ 認証失敗による操作禁止の解除方法について、詳しくは「[セキュリティー設定](#)」(p. 11-32) をご覧ください。

# 第 12 章

## 認証装置

### (指静脈 生体認証タイプ AU-101)

---

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）について説明します。

12.1	安全にお使いいただくために .....	12-2
12.2	製品の特徴 .....	12-3
12.3	各部の名称とはたらき .....	12-4
12.4	認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の使い方 .....	12-5
12.5	認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 のお手入れ .....	12-31
12.6	仕様 .....	12-32
12.7	トラブルシューティング .....	12-33

## 12.1 安全にお使いいただくために

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）をご使用になる場合は、「安全にお使いいただくために」と併せて以下の注意事項をお守りください。

### 12.1.1 重要事項

- 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）は、オプション製品です。全て現状のままで販売、または利用許諾されるものです。
- 弊社は、本ユーザーズガイドに従わない使用はもとより、製品または製品の使用から生じたいかなる損害（逸失利益、その他の間接損害を含む）についても責任を負いません。
- 本製品は一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途に使用しないでください。（高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など）
- 他の認証装置との使用については動作保証していません。
- 本製品の仕様は改良のため変更することがあります。

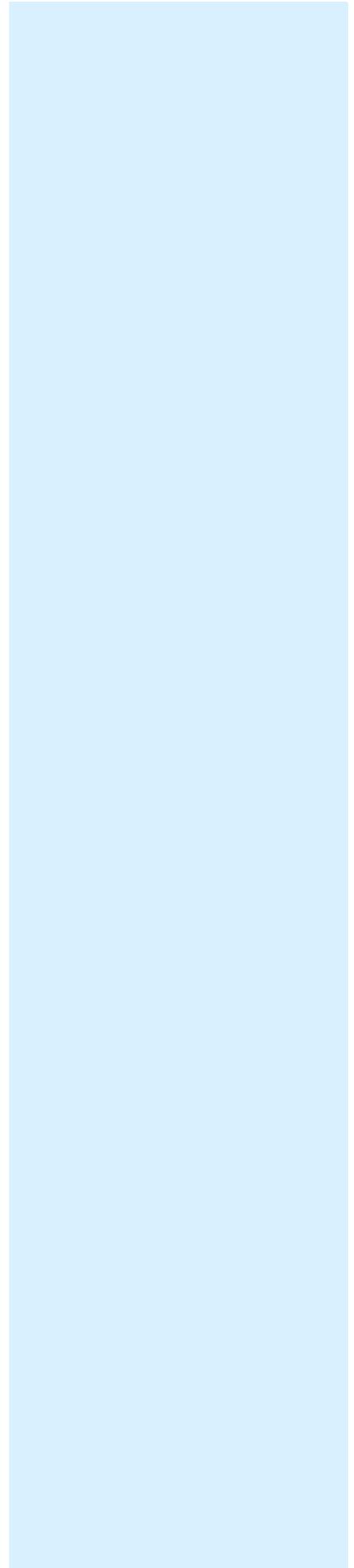
### 12.1.2 安全にご使用いただくために

- 本製品を水の近くで使用しないでください。故障の原因となります。
- USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたりしないでください。USB ケーブルが傷つき、断線による誤作動の原因となることがあります。
- 本製品を開けたりしないでください。故障の原因になります。

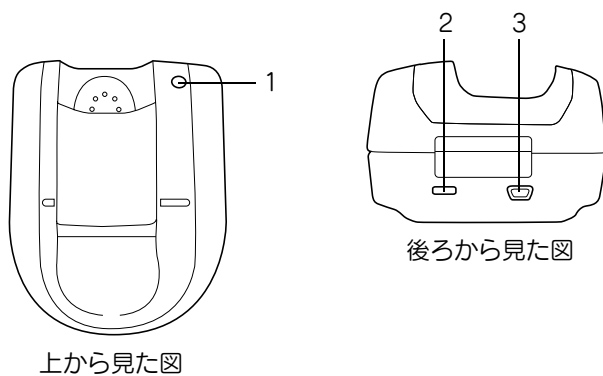
## 12.2 製品の特徴

---

本装置は、指の静脈パターンを撮影することにより個人認証を行う「バイオメトリクス（生体認証）」のシステムです。ユーザー認証が設定されているプリンターで、印刷ジョブの出力を指静脈による認証で行うことができます。



# 12.3 各部の名称とはたらき



No	名称	説明
1	状態表示 LED	本装置の状態を表します。
2	盗難防止用ロック穴	盗難防止用セキュリティーケーブルを接続します。 (ケンジントン社製セキュリティーケーブル規格に準拠)
3	USB ポート (Mini-B タイプ)	USB ケーブル (Mini-B プラグ) を接続します。

状態表示 LED と報知音により、本装置の状態を表します。

状態表示 LED	本装置の状態
点灯 (緑)	待機中・認証完了
点滅 (緑)	認証中・撮影中
点灯 (赤)	認証失敗・撮影失敗
消灯	本装置を認識していない状態

報知音	本装置の状態
短く 1 度 (ピッ)	撮影開始
短く 1 度 (ピッ)	認証失敗リトライ中
短く 1 度 (ピッ)	認証完了
短く 2 度 (ピピッ)	認証失敗

## 12.4 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の使い方

本装置を使用するためには、最初にユーザーの指静脈パターンを複合機に登録します。登録されたユーザーは、指静脈パターンによる認証で、複合機へのログインやプリントジョブの印刷をすることができます。ここでは複合機に必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかた、認証によるログインや認証＆プリントでの印刷方法を説明します。

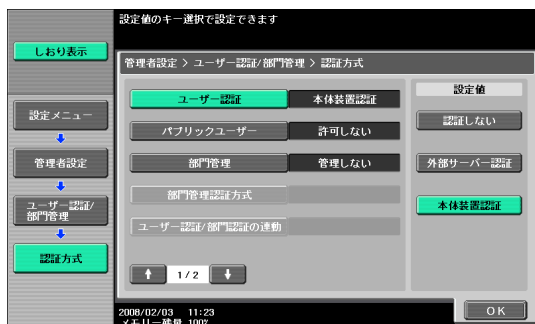
### 12.4.1 複合機の設定

1

複合機の操作パネルで管理者設定画面を表示させます。[ユーザー認証 / 部門管理] を押し [認証方式] を押します。

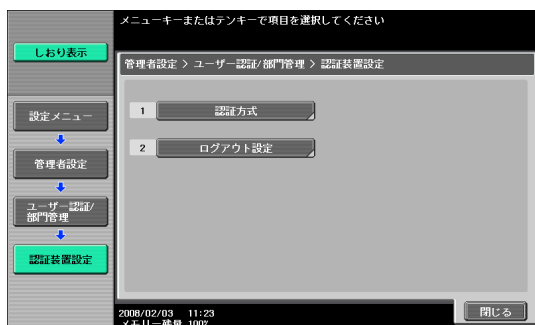
2

[ユーザー認証] を「本体装置認証」に設定し、[OK] を押します。



3

[ログアウト設定] を押します。



#### ひとこと

人差し指は読取り部分の窪みと突起部分を目標にして、人差し指の指先の腹で軽く触れるようにまっすぐにした状態で置いてください。中指と親指を本装置の両側に固定し、認証に使用する人差し指の回転を防ぎます。本装置への指の置き方については、「すぐに使える操作ガイド 認証装置（指静脈 生体認証タイプ AU-101）」をごらんください。

#### 必ず守ってください

- ・撮影中は本装置の読取り部分に指以外のものを置かないでください。誤動作の原因となる場合があります。
- ・撮影中に本装置やコンピューターから USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。

#### 詳しく説明します

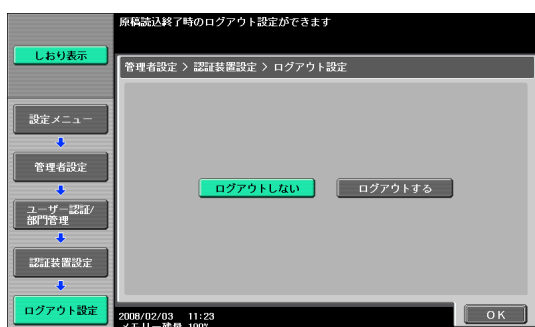
複合機には本体装置認証の形式でユーザー認証を設定する必要があります。

#### ひとこと

外部サーバー認証はサポートされません。部門管理の設定を組み合わせる場合は、ユーザー認証 / 部門認証の連動は、「連動する」を指定します。「連動しない」を指定した場合は、認証＆プリント機能が使用できません。

4

本装置でのログイン後、原稿読込終了時にログアウトするかどうかを設定します。



5

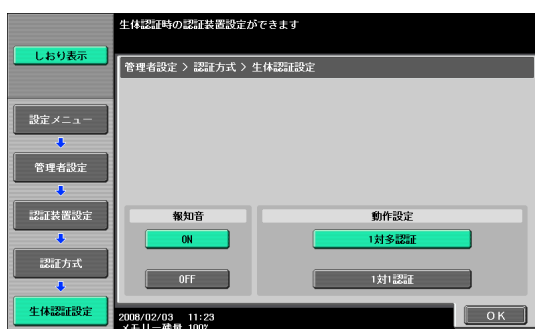
[OK] を押します。

6

[認証方式] を押し [生体認証] を押します。

7

「報知音」と「動作設定」の設定を選択します。



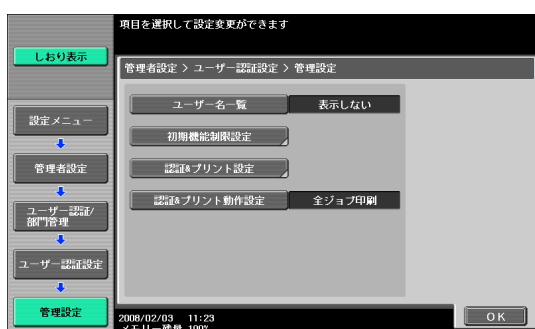
- 「報知音」は、指静脈パターンの読取りに成功したときに「ピッ」という音をならすかどうかを指定します。
- 「動作設定」は、登録後のログインのしかたを指定します。
  - 1 対多認証：指を置くだけでログインできます。
  - 1 対 1 認証：ユーザー名を入力して指を置くことでログインできます。1 対 1 認証でユーザー登録した場合は、認証 & プリント機能が使用できません。

8

[OK] を 2 回押します。

9

[ユーザー認証設定] を押し、[管理設定] を押し、[認証 & プリント設定] を押します。



#### ひとこと

ログインのしかたについては、「[複合機へのログイン](#)」(p. 12-19)をごらんください。

10

「認証 & プリント」の設定をします。



- 「認証 & プリント」で、[使用する] または [使用しない] を選択します。
- 「認証なし/パブリックユーザージョブ」で、[即時印刷] または [蓄積] を選択します。

11

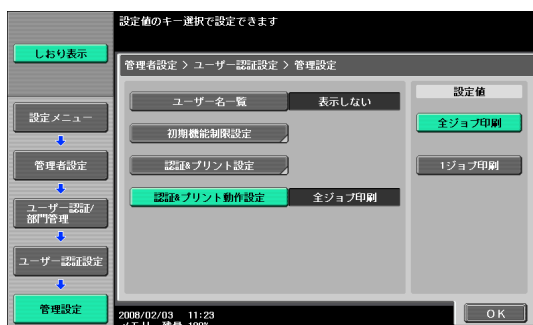
[OK] を押します。

12

[認証 & プリント動作設定] を押します。

13

認証 & プリント機能での印刷方法を設定します。



#### ひとこと

認証 & プリント機能については、[「認証 & プリント機能」](#) (p. 13-19) をごらんください。

- [全ジョブ印刷]：認証 & プリントボックスに複数の文書が保存されている場合に、1 回の認証で認証されたすべての文書が印刷されます。
- [1 ジョブ印刷]：認証 & プリントボックスに保存されている文書が、1 回の認証で 1 文書ずつ印刷されます。

14

[OK] を 2 回押します。

15

[閉じる] を 2 回押します。

## 12.4.2 ユーザー登録のしかた

ユーザー登録には2つの方法があります。

- 本装置を複合機に接続し、直接複合機に登録する
- 本装置をコンピューターに接続し、Data Administrator を使用して登録する



詳しく説明します

登録されたユーザーデータは、複合機のHDDに保存されます。複合機のユーザー認証形式を変更した場合やHDDフォーマットを行った場合は、登録されたユーザーデータが消去されます。

### ■ 複合機の操作パネルで登録する

1

複合機の操作パネルで管理者設定画面を表示させます。[ユーザー認証 / 部門管理] を押し [ユーザー認証設定] を押し [ユーザー登録] を押します。

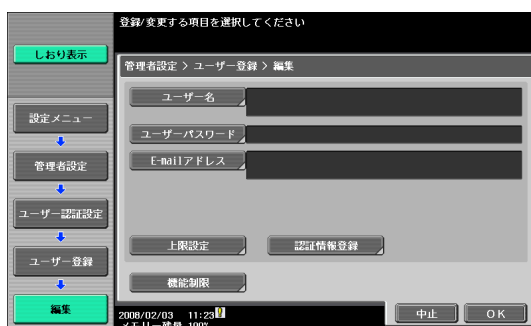
2

登録番号を選択し、[編集] を押します。



3

[認証情報登録] を押します。



4

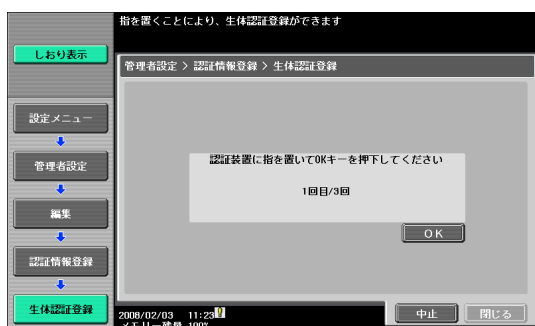
「編集」を押します。



5

本装置に指を置いて指静脈パターンの読取りを行います。

- 指静脈パターンの読取りは3回行い、同じ指を1回ごとに置きなおし「OK」を押します。



6

「閉じる」を2回押します。

7

ユーザー名、パスワードを入力します。

8

必要に応じて、機能制限などを設定します。

9

「OK」を押します。

10

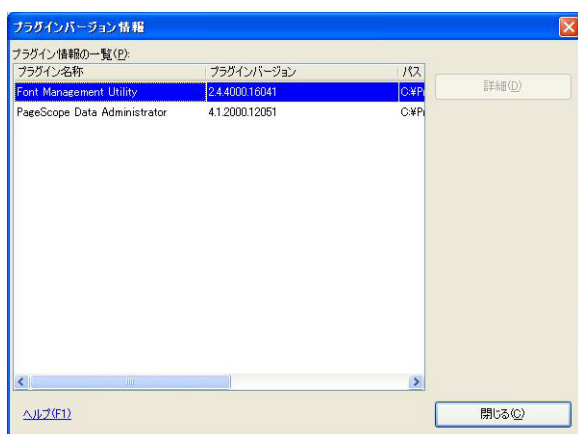
「閉じる」を押します。

## ■ Data Administrator で登録する

Data Administrator を使用するには、複合機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、本装置の BioDriver（USB-Driver）をインストールし、次に Data Administrator Bio Plugin をインストールするという手順を行います。

## ■ インストールバージョンの確認

- 1 Data Administrator の「ヘルプ」メニューから「バージョン情報」を選択します。
- 2 [プラグインバージョン情報] をクリックします。
- 3 「プラグイン情報の一覧」で、Data Administrator のプラグインバージョンを確認します。



## ■ セットアップ

- 1 複合機の主電源を OFF にし、複合機から本装置を取外します。
- 2 BioDriver（USB-Driver）をインストールします。  
本装置をコンピューターの USB ポートに接続します。  
新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。



あらかじめコンピューターに Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。Data Administrator の動作環境やインストール手順については、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

### ひとこと

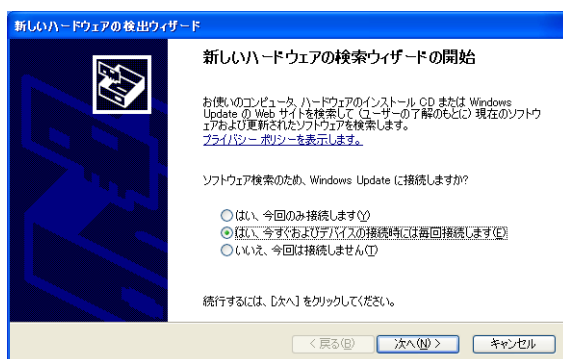
- ・バージョンが「3.x」の場合、このソフトは使用できません。「4.x」をインストールしてください。
- ・Data Administrator V3.x がインストールされている場合は、V4.x のインストール時に削除されます。

### ひとこと

プラグインバージョンが「4.x」の場合、このソフトを使用できます。

3

「はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します」を選択し、[次へ] をクリックします。

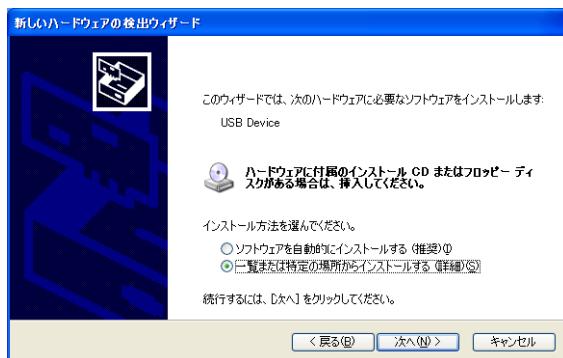


4

本装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

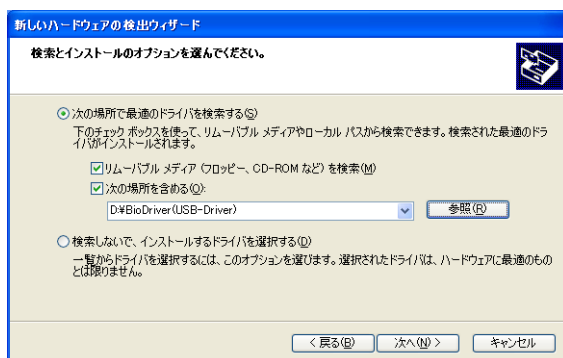
5

「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」を選択し、[次へ] をクリックします。

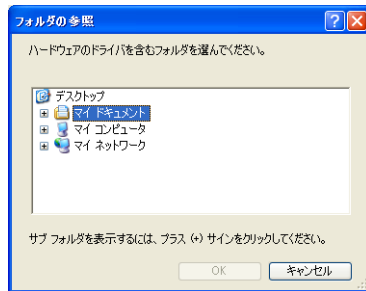


6

「次の場所を含める」にチェックを付け、ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM であることを確認して [次へ] をクリックします。



- ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM になっていない場合は、[参照] をクリックし、CD-ROM 内の BioDriver (USB-Driver) フォルダを選択して [OK] をクリックします。

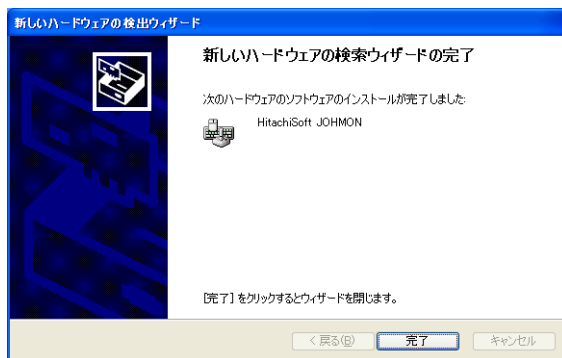


インストールが開始されます。



7

[完了] をクリックします。



8

再度、手順 5 ～ 7 を繰り返します。

BioDriver (USB-Driver) のインストールが完了します。

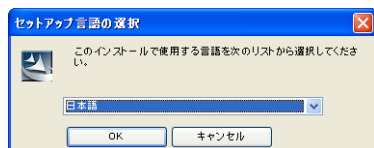
9

Data Administrator Bio Plugin をインストールします。

アプリケーション CD-ROM 内の DA\_Bio\_Plugin フォルダを開き、setup.exe をクリックします。

10

言語を選択し、[OK] をクリックします。



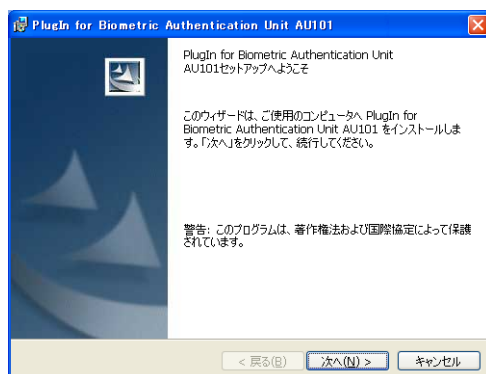
インストールプログラムが起動します。

11

画面の指示にしたがってインストールを行います。

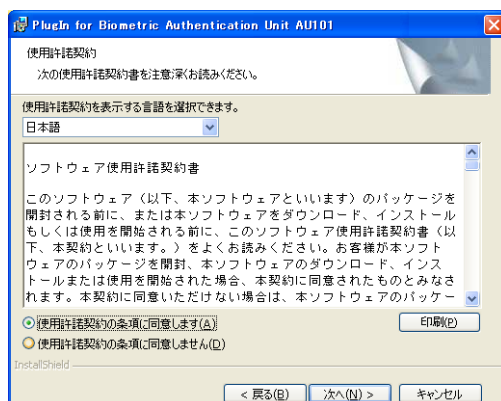
12

[次へ] をクリックします。



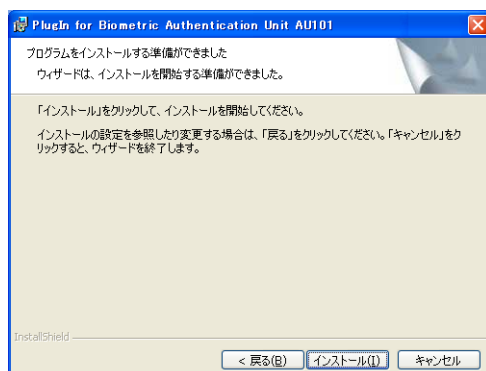
13

「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、[次へ] をクリックします。



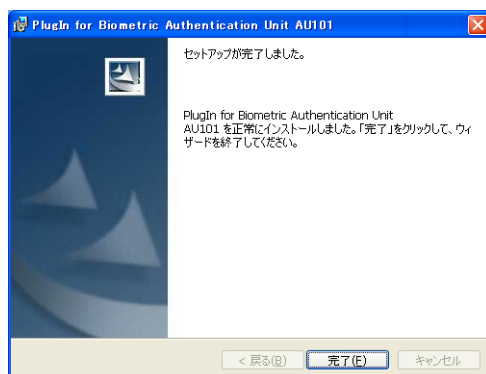
14

[インストール] をクリックします。



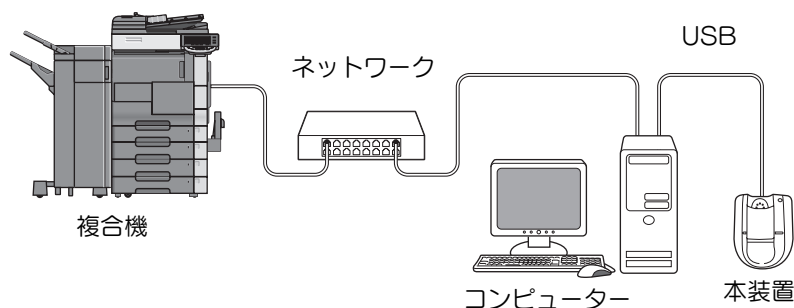
15

「完了」をクリックします。



Data Administrator Bio Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

## ■ ユーザー登録



### 詳しく説明します

Data Administrator でユーザー登録するには、本装置がコンピューターの USB ポートに接続され、コンピューターと複合機がネットワークで接続されている必要があります。

1

本装置が複合機に接続されている場合は、複合機の主電源を OFF にして本装置を取外します。

- 本装置がコンピューターに接続されている場合は、手順 4 に進みます。

2

複合機の主電源を ON にします。

3

Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、本装置を接続します。

### ひとこと

- ・ 複合機の主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・ USB ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

### 必ず守ってください

- ・ 本装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。
- ・ USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。
- ・ 本装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

- 装置情報の読み込みについては、Data Administrator のユーザズガイドをごらんください。

Data Administrator - [装置情報 - Default Group:192.168.1.2 - 装置情報]

ファイル(F) 編集(E) 装置(U) 一括処理(O) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

機能選択(U)

- 装置情報(sample)
- 認証設定
- 宛先設定
- ボックス

装置情報

項目	値
登録名	sample
グループ名	Default Group
モデル名	
装置アドレス	192.168.1.2

最終アクセス日時

機能	最終アクセス日時
管理者設定	未アクセス
認証設定	2007/02/26 18:44:39
宛先設定	2007/02/26 18:44:39

現在のステータス(2007/02/26 18:44:39)

種類	ステータス

ヘルプ(F1)

装置から再読み込み(R)

装置に書き込み(O)

5

Data Administrator - [装置情報 - Default Group:sample:192.168.1.2 - ユーザ設定]

ファイル(F) 編集(E) 装置(D) 一括処理(Q) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

機能選択(U): ユーザー一覧(U): 0 / 800 件

登録状態 ユーザ名 E-Mailアドレス 機能制限 トータルクワン

装置情報(sample)

認識設定

部門管理設定

外部サーバ

優先設定

ボックス

追加(A)...

編集(P)...

削除(Q)...

表示オプション(O)...

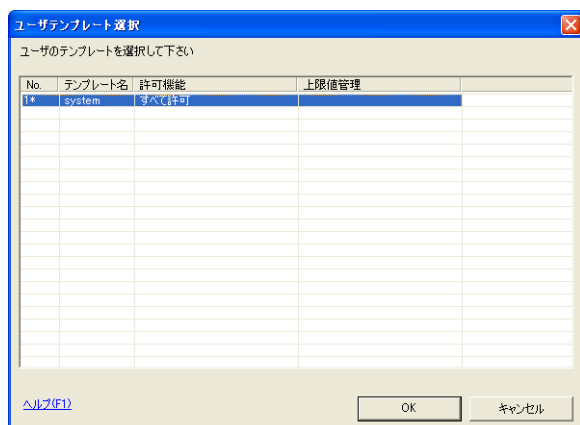
ヘルプ(F1)

装置から再読み込み(R)...

装置に書き込み(S)

6

テンプレートを選択し、[OK] をクリックします。

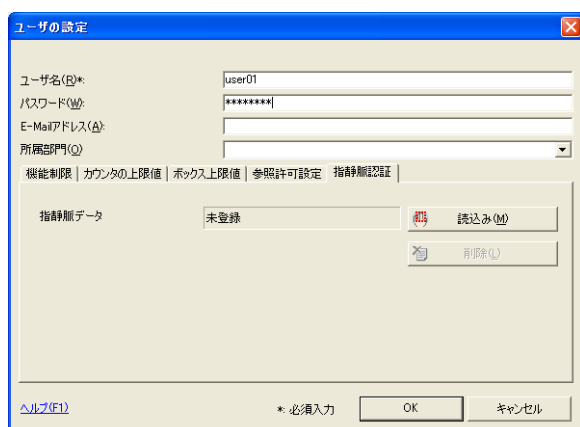


ユーザーの登録画面が表示されます。

7

ユーザ名、パスワードを入力し、「指静脈認証」タブを選択して「読み込み」をクリックします。

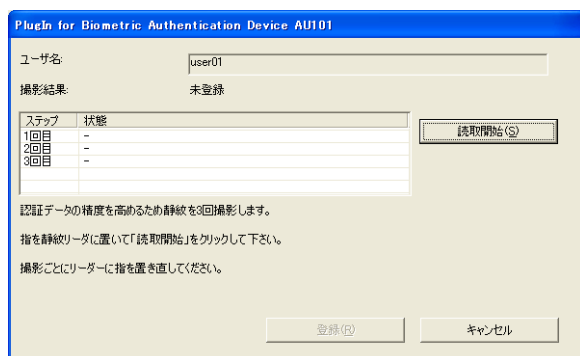
○ 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。



8

本装置に指を置いて、「読取開始」をクリックします。

○ 指静脈パターンの読取りは 3 回行い、同じ指を 1 回ごとに置きなおします。



9

[登録] をクリックします。

10

[OK] をクリックします。

○ 手順 5 ～ 10 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。

11

[装置に書き込み] をクリックします。

○ ユーザ名を選択して [編集] をクリックすると、登録したデータを変更できます。

12

「書き込み」をクリックします。



登録したユーザーデータが複合機に設定されます。

13

「OK」をクリックします。



14

コンピューターの USB ポートから本装置を取外します。

15

複合機の主電源を OFF にして本装置を接続し、複合機の主電源を ON にします。

#### 詳しく説明します

Data Administrator には一括コピー機能があり、本装置の使用が設定された複数の複合機に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

#### ひとこと

- ・複合機の主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・USB ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

### 12.4.3 複合機へのログイン

指静脈パターンによる認証で、複合機にログインする方法を説明します。

#### ■ 1 対多認証が設定されている場合

➡ 本装置に登録した指を置きます。



ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。



## ■ 1 対 1 認証が設定されている場合

1

「ユーザー名」を入力します。



2

本装置に登録した指を置きます。  
ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。



### ひとこと

認証失敗が多く発生する場合は、認証用データがうまく登録されていない可能性がありますので、ユーザー登録をなおしてください。

## 12.4.4 認証 & プリント機能

認証 & プリント機能は、認証が成功したあと、複合機の認証 & プリントボックスに保存された該当ユーザーの印刷データを自動的に印刷する機能です。

また、複合機の操作パネルで認証 & プリントボックスに保存された文書を確認し、文書を指定して印刷することもできます。

### 詳しく説明します

複合機の「認証 & プリント」設定を「使用する」に設定した場合に、認証 & プリント機能を使用できます。

### ひとこと

プリンタードライバーの設定やボックス機能については、複合機に付属のユーザースガイドをご覧ください。

## ■ 認証 & プリント（Windows の場合）

### 装置情報タブの設定

1

Windows 2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。  
Windows Vista の場合は、[スタート] をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

2

インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3

「装置情報」タブをクリックします。



4

「装置オプション」で「ユーザー認証」を選択します。

5

「設定値の変更」のドロップダウンリストで「本体装置認証」を選択します。

6

「装置オプション」で「認証 & プリント」を選択します。

7

「設定値の変更」のドロップリストで「許可」を選択します。

8

[適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

### ひとこと

Windows XP/Server 2003 で [スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

Windows Vista で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

## プリントジョブの印刷

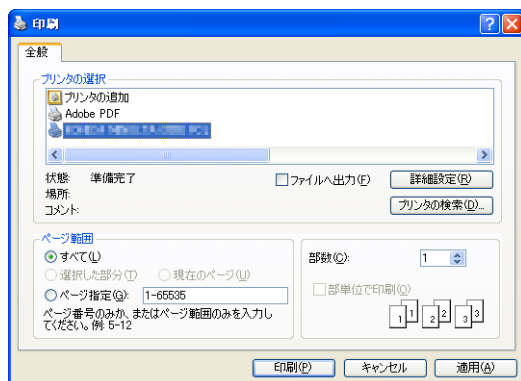
1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」（または「プリント」）をクリックします。

2

「プリンタ名」（または「プリンタの選択」）でプリントしたいプリンター名が選択されているか確認します。

目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。

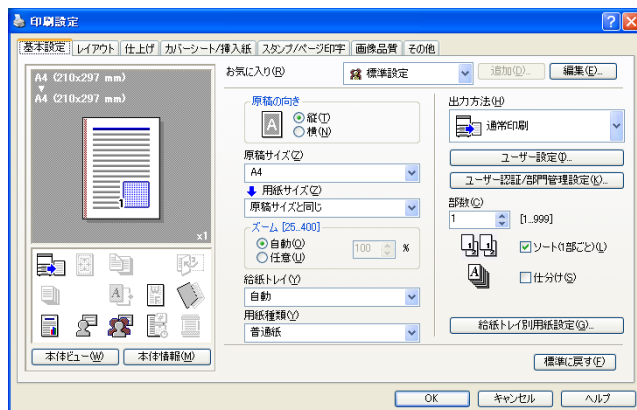


3

[プロパティ]（または [詳細設定]）をクリックします。

4

「基本設定」タブをクリックします。



5

[ユーザー認証 / 部門管理設定] をクリックします。

## ひとこと

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

6

「登録ユーザー」を ON にし、ユーザー名とパスワードを入力します。



7

「検証」をクリックし、ユーザー ID を確認します。

8

「OK」をクリックします。

- ユーザー名やパスワードが正しくない場合は、入力しなおします。

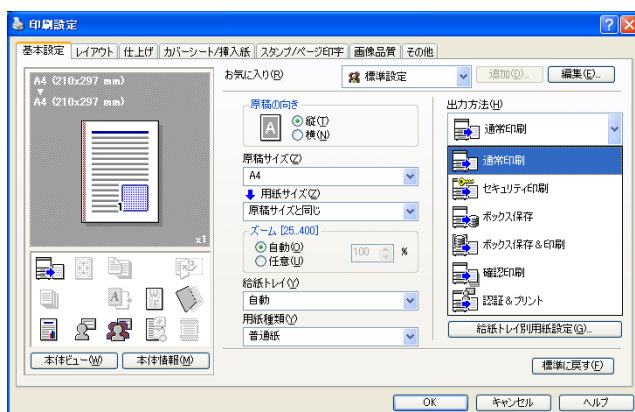


9

「OK」をクリックします。

10

「出力方法」のドロップダウンリストで、「認証&プリント」を選択します。



11

必要に応じて設定し、「OK」をクリックします。

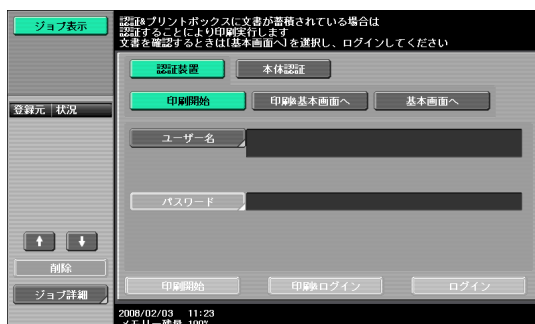
12

「適用」をクリックし、「印刷」をクリックします。

13

プリントジョブが送信されます。  
プリントジョブを印刷します。

<1 対多認証が設定されている場合>



- 「印刷開始」：プリントジョブが出力されます。  
「印刷 & 基本画面へ」：プリントジョブが出力され、基本設定画面にログインします。  
「基本画面へ」：プリントジョブは出力されずに、基本設定画面にログインします。
- 1 対多認証が設定されている場合は、本装置に登録した指を置きます。
- 1 対 1 認証が設定されている場合は、ユーザー名を入力し、本装置に登録した指を置きます。

ユーザー認証が行われ、プリントジョブが印刷されます。

## ■ 認証 & プリント（Macintosh の場合）

### プリンター情報の設定

1

「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内の「プリンター設定ユーティリティ」（または「プリントセンター」）を開き、複合機を選択します。

2

「プリンター」メニューの「情報を見る」を選択します。  
「プリンター情報」画面が表示されます。

3

「インストール可能なオプション」を選択します。

### ひとこと

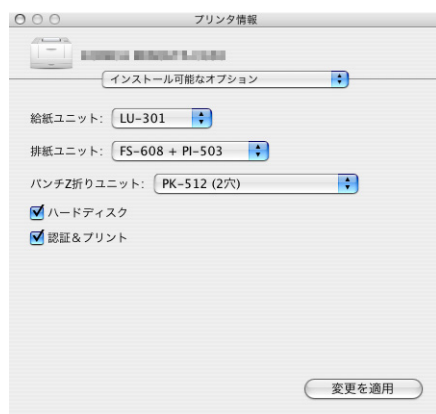
「印刷開始」または「印刷 & 基本画面へ」が選択されていることを確認してください。

### 詳しく説明します

「基本画面へ」を選択し、プリントジョブを選択して印刷することもできます。「[操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する](#)」(p. 12-27)「をらんください」。

4

「認証&プリント」のチェックボックスを ON にします。



5

「変更を適用」をクリックし、「プリンター情報」画面を終了します。

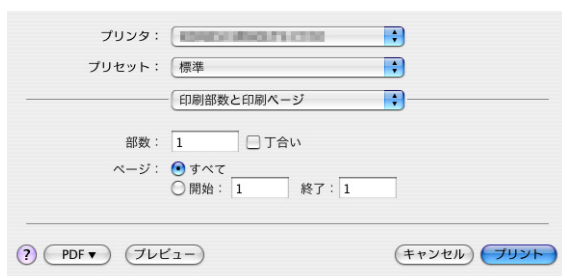
## プリントジョブの印刷

1

アプリケーションでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「プリント」（または「印刷」）をクリックします。

2

「プリンタ」でプリントしたいプリンター名が選択されているか確認します。



3

メニューのドロップダウンリストで、「出力方法」を選択します。



### ひとこと

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

4

「ユーザー認証」のチェックボックスを ON にします。  
「ユーザー認証」ダイアログが表示されます。

5

「登録ユーザー」を ON にし、ユーザー名とパスワードを入力します。

6

[OK] をクリックします。

7

「出力方法」のドロップダウンリストで、「認証&プリント」を選択します。

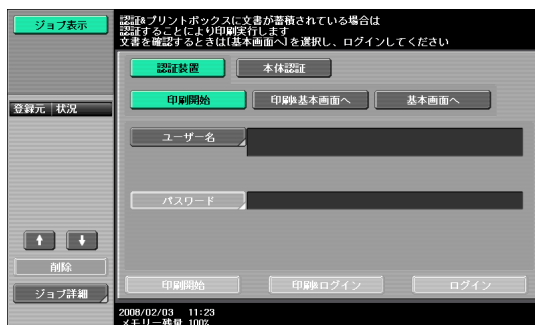
8

必要に応じて設定し、[プリント] をクリックします。  
プリントジョブが送信されます。

9

プリントジョブを印刷します。

< 1 対多認証が設定されている場合 >



- [印刷開始]：プリントジョブが出力されます。
  - [印刷＆基本画面へ]：プリントジョブが出力され、基本設定画面にログインします。
  - [基本画面へ]：プリントジョブは出力されずに、基本設定画面にログインします。
  - 1 対多認証が設定されている場合は、本装置に登録した指を置きます。
  - 1 対 1 認証が設定されている場合は、ユーザー名を入力し、本装置に登録した指を置きます。
- ユーザー認証が行われ、プリントジョブが印刷されます。

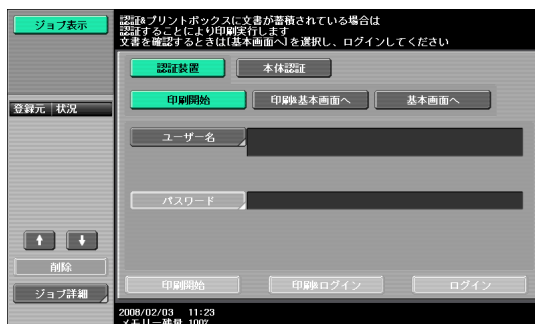
## ■ 操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する

認証＆プリントボックスに保存された文書を指定して印刷する方法を説明します。

1

[基本画面へ] を押します。

< 1 対多認証が設定されている場合 >



### ひとこと

[印刷開始] または [印刷＆基本画面へ] が選択されていることを確認してください。

### 詳しく説明します

[基本画面へ] を選択し、プリントジョブを選択して印刷することもできます。**「操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する」**(p. 12-27) をごらんください。

2

複合機にログインします。

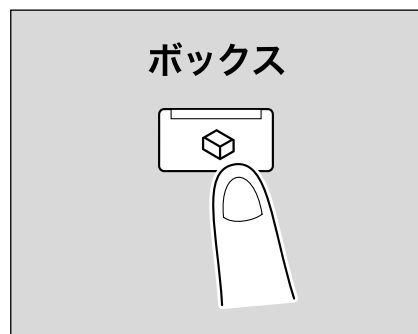
- 1 対多認証が設定されている場合は、本装置に登録した指を置きます。
- 1 対 1 認証が設定されている場合は、ユーザー名を入力し、本装置に登録した指を置きます。

ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。



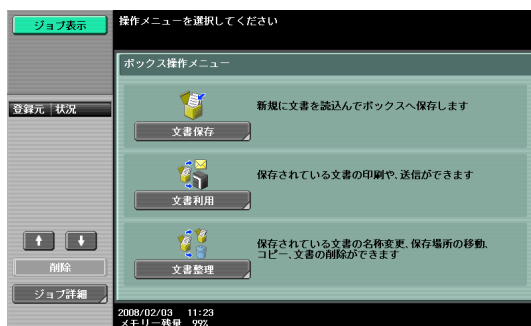
3

操作パネルの【ボックス】を押します。



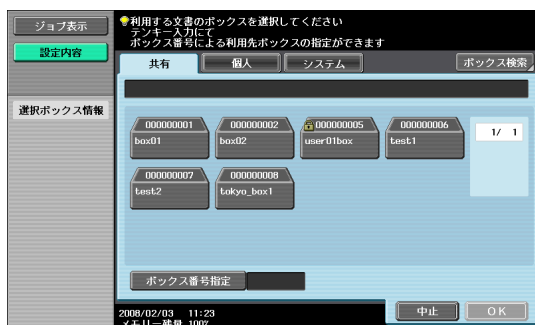
4

【文書利用】を押します。



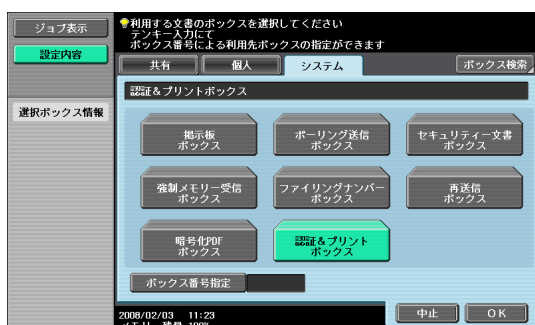
5

「システム」を押します。



6

「認証&プリントボックス」を選択し、「OK」を押します。

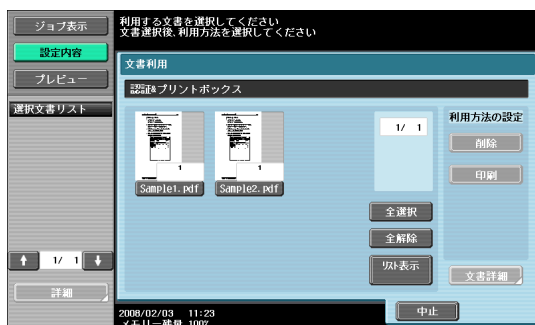


ログインしたユーザーが送信した文書の一覧が表示されます。

7

印刷する文書を選択します。

- 複数の文書を選択することができます。
- すべての文書を選択する場合は「全選択」を押します。
- すべての文書の選択を解除する場合は「全解除」を押します。
- 登録時刻や文書名などを確認する場合は「リスト表示」を押します。



8

「利用方法の設定」から「印刷」を押します。

- 文書を削除する場合は「削除」を選択します。
- 文書の詳細を確認する場合は、「文書詳細」を押します。
- 操作を中止する場合は、「中止」を押します。

指定した文書が印刷されます。



#### ひとこと

認証失敗が多く発生する場合は、認証用データがうまく登録されていない可能性がありますので、ユーザー登録をなおしてください。

## 12.5 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 のお手入れ

### ■ 外観のお手入れ

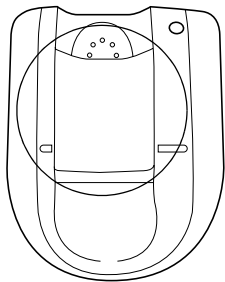
頻度：1ヶ月に1回程度、もしくは汚れ具合により随時

外観は柔らかい布で乾拭きをしてください。乾拭きしても汚れが落ちない場合は、中性洗剤をしみこませ、固く絞った布で拭いてください。汚れが落ちたら、水に浸して固く絞った布で中性洗剤を拭き取ってください。

### ■ 読取り部のお手入れ

頻度：1ヶ月に1回程度、もしくは指紋の跡や汚れが目立った時

読取り部分を眼鏡のレンズ拭きに使用するような柔らかい布で清掃します。大きな汚れが目立つ場合には、眼鏡用のレンズクリーナーなどで掃除します。



- ・お手入れの前に本装置を複合機から取外してください。USBポートに負荷がかかると故障の原因になります。
- ・本装置のお手入れの際、本装置内部に水が入らないようにしてください。本装置内部に水が入ると、システムの故障の原因となります。
- ・ベンゼン・アルコールなど有機溶剤を使用して清掃を行わないでください。故障の原因となります。

#### ひとこと

- ・本装置の取外しおよび接続は、複合機の主電源を OFF にしてから行い、10 秒以上経過してから複合機の主電源を ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・USB ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

## 12.6 仕様

製品名		認証装置（指静脈 生体認証タイプ） AU-101
適応指幅		10 mm 以上～ 25 mm 未満
インターフェース		USB 2.0
寸法（mm）		約 78（W）× 95（D）× 55（H）
質量（g）		約 150（USB ケーブル含まず）
最大消費電力（mA）		DC 5 V 500 mA
環境条件 （動作時）	周辺温度（℃）	10 ～ 35
	湿度（％）	10 ～ 80（ただし結露しないこと）
環境条件 （非動作時）	周辺温度（℃）	-10 ～ 60
	湿度（％）	10 ～ 80（ただし結露しないこと）
対応 コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、 16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0 （SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional （SP4） Windows XP Professional Edition（SP2） Windows Vista Business/ Enterprise

## 12.7 トラブルシューティング

システムの運用中に何らかのトラブルが発生した場合には、下記をごらんください。

状態	チェックポイント	処理のしかた
本装置と複合機を USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	複合機の USB ポートの誤作動が考えられます。	複合機の主電源を OFF にし、複合機または本装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから複合機の主電源を ON にしてください。
本装置とコンピューターを USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	コンピューターの USB ポートの誤作動が考えられます。	お使いのコンピューターを再起動してください。
	本装置のドライバーは正しく組み込まれていますか？	「Data Administrator で登録する」を参照して、お使いのコンピューターに正しくドライバーが組み込まれているかを確認してください。 (p. 12-10)
複合機での撮影開始時や認証完了時に報知音が鳴らない	複合機の報知音の設定が OFF になっていませんか？	「ユーザー登録のしかた」を参照して、複合機の報知音の設定を ON にしてください。(p. 12-8)
登録に失敗する 複合機に「登録に失敗しました。」のメッセージが表示される場合	本装置での撮影時間は 1 回の撮影につき時間が制限されています。制限時間内に撮影できなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。撮影時間については、サービス技術者にお問い合わせください。	制限時間内に撮影が終わるように、すぐに使える操作ガイド 認証装置 (指静脈 生体認証タイプ AU-101) を参照し、認証や撮影時の指の置き方を確認してください。 撮影中は撮影部位を読み取り部分に正しく置き、撮影結果が得られるまで動かさないでください。 撮影部位が土ぼこりなどで汚れていたり、手荒れした状態で認証を行おうとした場合は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない可能性があります。手をきれいにしてから再度撮影を行うか、手荒れをできるだけ改善してください。 撮影部位が太すぎたり細すぎたりする場合 (指の幅が 10 mm 以上 25 mm 未満の範囲外の場合) は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない場合があります。「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」などの指の置き方を試してください。
ログインに失敗する 複合機に「認証に失敗しました。」のメッセージが表示される場合		
登録に失敗する コンピューターに「失敗しました。もう一度指を置き直してから、「読取開始」をクリックして ...」のメッセージが表示される場合		

状態	チェックポイント	処理のしかた
撮影が開始されない	本装置に指を正しく置いていますか？	<p>すぐに使える操作ガイド 認証装置（指静脈 生体認証タイプ AU-101）を参照し、認証や撮影時の指の置き方を確認してください。</p> <p>撮影中は撮影部位を読取り部分に正しく置き、撮影結果が得られるまで動かさないでください。</p> <p>撮影部位が土ぼこりなどで汚れていたり、手荒れした状態で認証を行おうとした場合は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない可能性があります。手をきれいにしてから再度撮影を行うか、手荒れをできるだけ改善してください。</p> <p>撮影部位が太すぎたり細すぎたりする場合（指の幅が 10 mm 以上 25 mm 未満の範囲外の場合）は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない場合があります。「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」などの指の置き方を試してください。</p>
	本装置を複合機に接続後、複合機を再起動しましたか？	複合機の主電源を OFF にし、複合機または本装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから複合機の主電源を ON にしてください。
本装置をコンピューターに接続するとハードウェアインストールウィザードが起動する	本装置を接続した USB ポートは、ドライバインストール時と同じものですか？	ドライバをインストールしたときと異なる USB ポートに本装置を接続した場合は、ハードウェアインストールウィザードが起動することがあります。ドライバをインストールしたときと同じ USB ポートを使用してください。

上記処置を行ってもトラブルがなおらない場合は、サービス技術者にご連絡ください。

# 第 13 章

## 認証装置

### (IC カード認証タイプ AU-201)

---

認証装置（IC カード認証タイプ）について説明します。

13.1	安全にお使いいただくために .....	13-2
13.2	製品の特徴 .....	13-3
13.3	各部の名称とはたらき .....	13-4
13.4	認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の使い方 .....	13-5
13.5	認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 のお手入れ .....	13-27
13.6	仕様 .....	13-28
13.7	トラブルシューティング .....	13-29

## 13.1 安全にお使いいただくために

認証装置（IC カード認証タイプ）をご使用になる場合は、「安全におつかいいただくために」と併せて以下の注意事項をお守りください。

### 13.1.1 重要事項

- 認証装置（IC カード認証タイプ）は、オプション製品です。全て現状のままで販売、または利用許諾されるものです。
- 弊社は、本ユーザーズガイドに従わない使用はもとより、製品または製品の使用から生じたいかなる損害（逸失利益、その他の間接損害を含む）についても責任を負いません。
- 本製品は一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途に使用しないでください。（高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など）
- 他の認証装置との使用については動作保証していません。
- 本製品の仕様は改良のため変更することがあります。
- IC カードは、カード読取部から 40 mm 以内に近づけたまま放置しないでください。

### 13.1.2 安全にご使用いただくために

- 本製品を水の近くで使用しないでください。故障の原因となります。
- USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたりしないでください。USB ケーブルが傷つき、断線による誤作動の原因となることがあります。
- 本製品を開けたりしないでください。故障の原因になります。

### 13.1.3 植込み型医用機器に対する影響

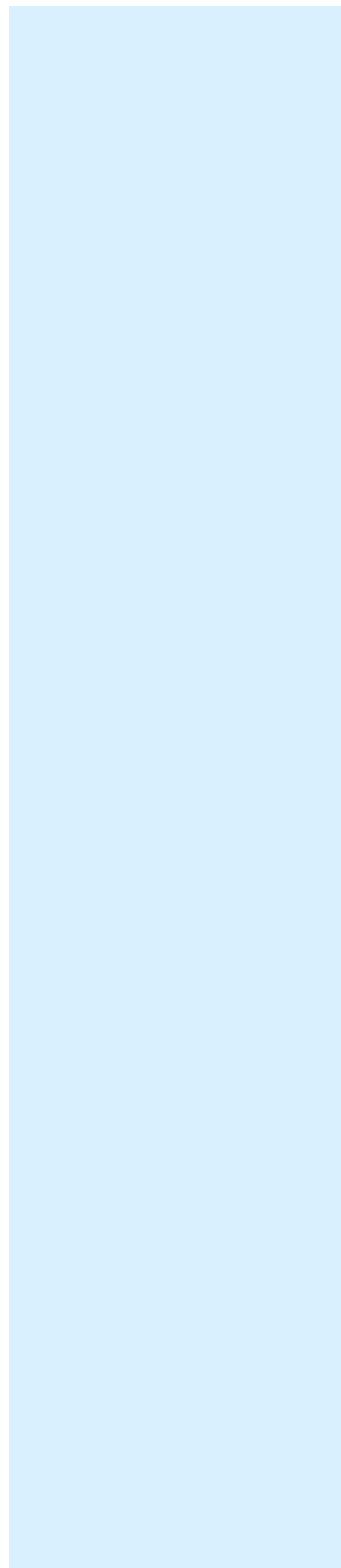
植込み型医用機器（心臓ペースメーカーなど）の装着者は、その装着部位から 22 cm 程度以上離してこの装置をご使用ください。（一般的にワイヤレスカード「非接触 IC カード」システムおよび RFID 「電子タグ」機器は、植込み型医用機器に対して影響を与えうるとの調査結果が報告されています。）

詳細は総務省のホームページをご覧ください。

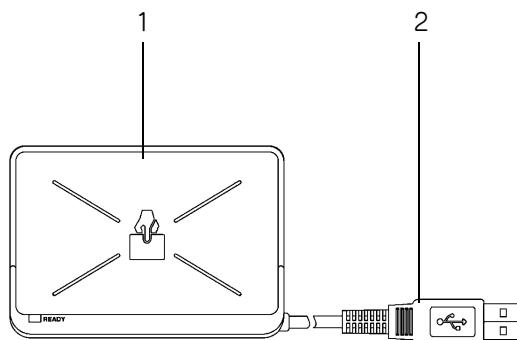
## 13.2 製品の特徴

---

本装置は、IC カードの読取りにより個人認証を行う「IC カード認証」のシステムです。ユーザー認証が設定されているプリンターで、印刷ジョブの出力を IC カードによる認証で行うことができます。



## 13.3 各部の名称とはたらき



No	名称	説明
1	カード読取部	IC カードを置きます。
2	USB ケーブル	複合機と接続します。

## 13.4 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の使い方

本装置を使用するためには、最初にユーザーのカード ID を複合機に登録します。登録されたユーザーは、カード ID による認証で、複合機へのログインやプリントジョブの印刷をすることができます。ここでは複合機に必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかた、認証によるログインや認証 & プリントでの印刷方法を説明します。

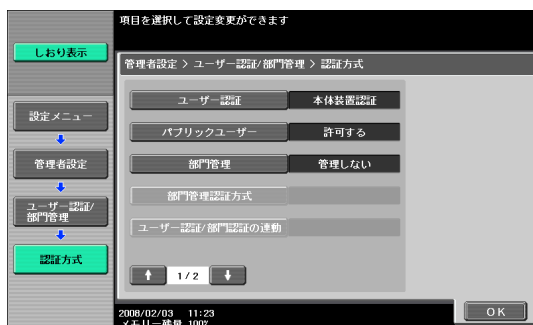
### 13.4.1 複合機の設定

1

複合機の操作パネルで管理者設定画面を表示させます。[ユーザー認証 / 部門管理] を押し [認証方式] を押します。

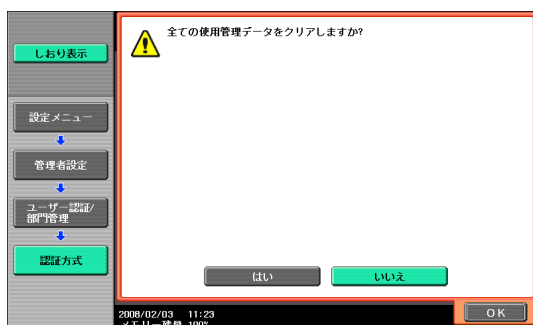
2

[ユーザー認証] を「本体装置認証」に設定し、[OK] を押します。



3

[はい] を押し [OK] を押します。



4

[認証装置設定] を押し [認証方式] を押し [IC カード認証] を押します。

#### ひとこと

本装置への IC カードの置き方については、「すぐに使える操作ガイド 認証装置（IC カード認証タイプ AU-201）」をごらんください。

#### 必ず守ってください

- ・ 本装置を使用中に USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。
- ・ IC カードは、カード読取部から 40mm 以内に近づけたまま放置しないでください

#### 詳しく説明します

複合機には本体装置認証の形式でユーザー認証を設定する必要があります。

#### ひとこと

外部サーバー認証はサポートされません。  
[パブリックユーザー] や [部門管理] の設定については、複合機に付属のユーザーズガイド（コピー機能編）をごらんください。  
部門管理の設定を組み合わせる場合は、ユーザー認証 / 部門認証の連動は、「連動する」を指定します。「連動しない」を指定した場合は、認証 & プリント機能が使用できません。

5

「ICカードタイプ」と「動作設定」の設定を選択します。



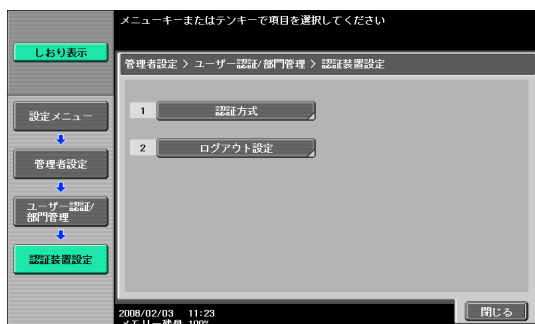
- 「ICカードタイプ」は使用するICカードの種類を指定します。
- 「動作設定」は、登録後のログインのしかたを指定します。  
 ICカード認証：ICカードを置くだけでログインできます。  
 ICカード認証 + パスワード認証：ICカードを置き、パスワードを入力することでログインできます。ICカード認証 + パスワード認証でユーザー登録した場合、認証&プリント機能が使用できません。

6

[OK] を 2 回押します。

7

[ログアウト設定] を押します。



8

本装置でのログイン後、原稿読み込み時にログアウトするかどうかを設定します。



9

[OK] を押します。

10

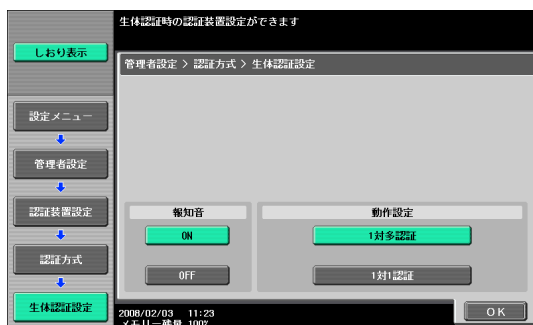
[認証方式] を押し [生体認証] を押します。

#### ひとこと

ログインのしかたについては、「[複合機へのログイン](#)」(p. 12-19)をご覧ください。

11

「報知音」と「動作設定」の設定を選択します。



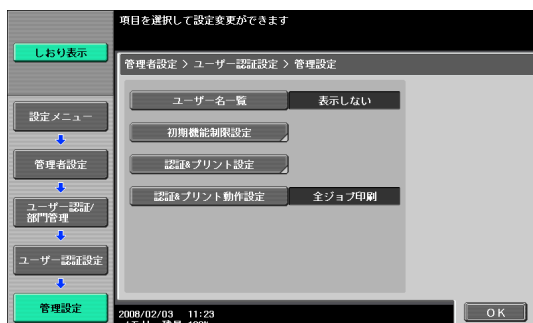
- 「報知音」は、指静脈パターンの読取りに成功したときに「ピッ」という音をならすかどうかを指定します。
- 「動作設定」は、登録後のログインのしかたを指定します。
  - 1 対多認証：指を置くだけでログインできます。
  - 1 対 1 認証：ユーザー名を入力して指を置くことでログインできます。1 対 1 認証でユーザー登録した場合は、認証 & プリント機能が使用できません。

12

[OK] を 2 回押します。

13

[ユーザー認証設定] を押し、[管理設定] を押し、[認証 & プリント設定] を押します。



14

「認証 & プリント」の設定をします。



- 「認証 & プリント」で、[使用する] または [使用しない] を選択します。
- 「認証なし/パブリックユーザージョブ」で、[即時印刷] または [蓄積] を選択します。

#### ひとこと

ログインのしかたについては、「[複数機へのログイン](#)」(p. 12-19) をご覧ください。

15

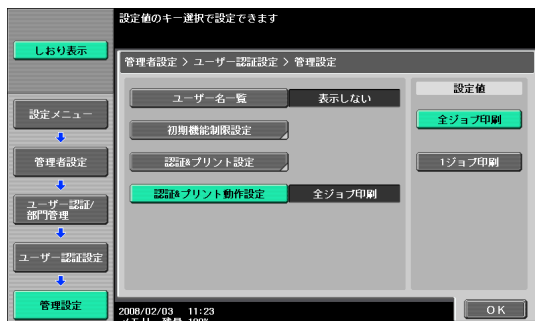
[OK] を押します。

16

[認証 &amp; プリント動作設定] を押します。

17

認証 &amp; プリント機能での印刷方法を設定します。



- [全ジョブ印刷]：認証 & プリントボックスに複数の文書が保存されている場合に、1 回の認証で認証されたすべての文書が印刷されます。
- [1 ジョブ印刷]：認証 & プリントボックスに保存されている文書が、1 回の認証で 1 文書ずつ印刷されます。

18

[OK] を 2 回押します。

19

[閉じる] を 2 回押します。

### 13.4.2 ユーザー登録のしかた

ユーザー登録には 2 つの方法があります。

- 本装置を複合機に接続し、直接複合機に登録する
- 本装置をコンピューターに接続し、Data Administrator を使用して登録する

#### ■ 複合機の操作パネルで登録する

1

複合機の操作パネルで管理者設定画面を表示させます。[ユーザー認証 / 部門管理] を押し [ユーザー認証設定] を押し [ユーザー登録] を押します。

2

登録番号を選択し、[編集] を押します。



#### ひとこと

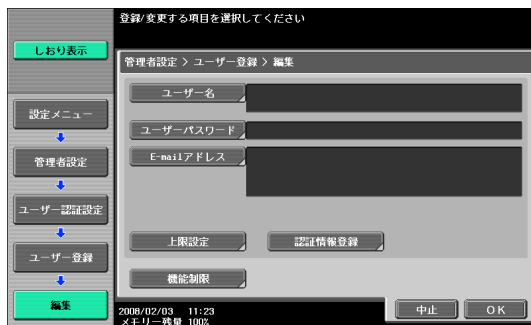
認証 & プリント機能については、「**認証 & プリント機能**」(p. 13-19) をご覧ください。

#### 詳しく説明します

登録されたユーザーデータは、複合機の HDD に保存されます。複合機のユーザー認証形式を変更した場合や HDD フォーマットを行った場合は、登録されたユーザーデータが消去されます。

3

「認証情報登録」を押します。



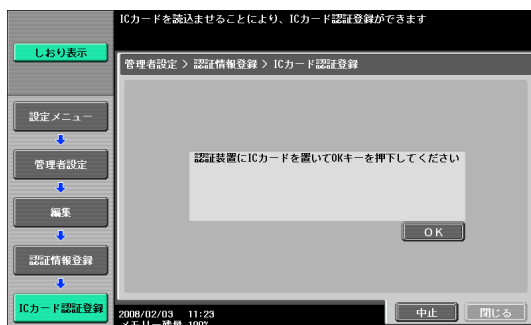
4

「編集」を押します。



5

本装置に IC カードを置き、「OK」を押します。



6

「登録完了」とメッセージが表示されたら、「閉じる」を 2 回押します。

7

ユーザー名、パスワードを入力します。

8

必要に応じて、機能制限などを設定します。

9

「OK」を押します。

10

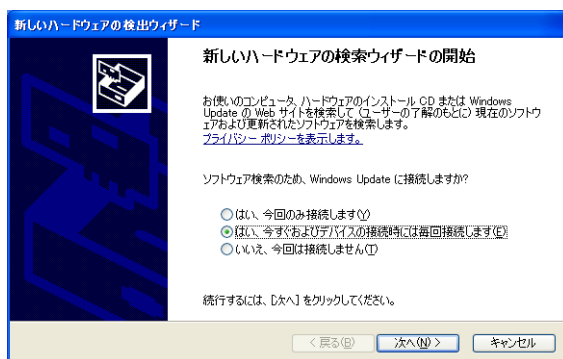
「閉じる」を押します。

## ■ Data Administrator で登録する

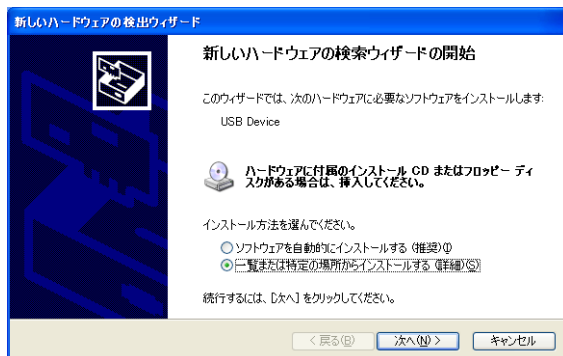
Data Administrator を使用するには、複合機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、本装置の IC Card Driver（USB-Driver）をインストールし、次に Data Administrator IC Card Plugin をインストールするという手順を行います。

### セットアップ

- 1 複合機の主電源を OFF にし、複合機から本装置を取外します。
- 2 IC Card Driver（USB-Driver）をインストールします。  
本装置をコンピュータの USB ポートに接続します。  
新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。
- 3 「はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します」を選択し、[次へ] をクリックします。



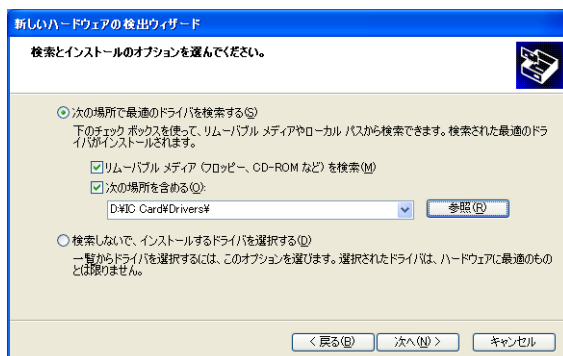
- 4 本装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。
- 5 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、[次へ] をクリックします。



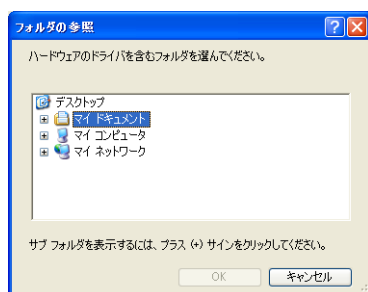
あらかじめコンピュータに Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。Data Administrator の動作環境やインストール手順については、Data Administrator のユーザズガイドをごらんください。

6

「次の場所を含める」にチェックを付け、ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM であることを確認して「次へ」をクリックします。



- ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM になっていない場合は、「参照」をクリックし、CD-ROM 内の IC Card Driver (USB-Driver) フォルダを選択して「OK」をクリックします。

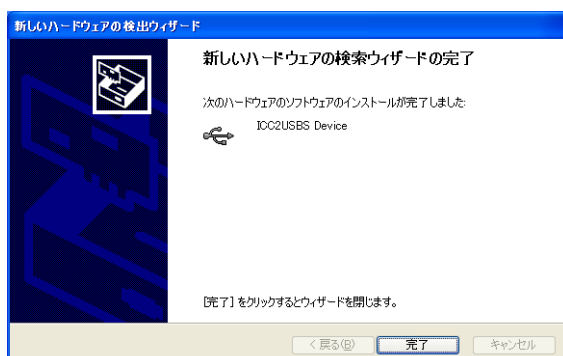


インストールが開始されます。



7

「完了」をクリックします。



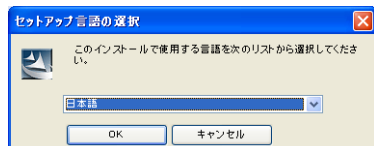
IC Card Driver (USB-Driver) のインストールが完了します。

8

Data Administrator IC Card Plugin をインストールします。  
アプリケーション CD-ROM 内の IC\_Card\_Plugin フォルダ  
を開き、setup.exe をクリックします。

9

言語を選択し、[OK] をクリックします。



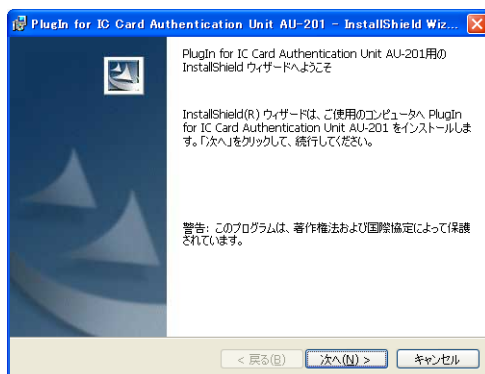
インストールプログラムが起動します。

10

画面の指示にしたがってインストールを行います。

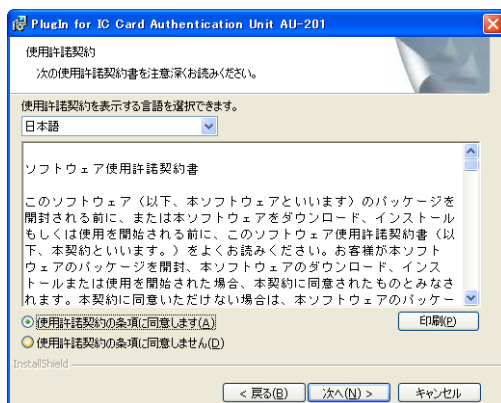
11

[次へ] をクリックします。



12

「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、[次へ] をクリックします。



13

「インストール」をクリックします。



14

セットアップタイプを選んでください。

15

「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。

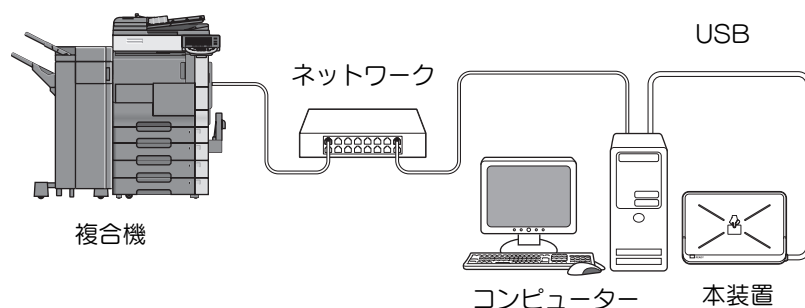
16

「完了」をクリックします。



Data Administrator IC Card Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

## ユーザー登録



## 詳しく説明します

Data Administrator でユーザー登録するには、本装置がコンピューターの USB ポートに接続され、コンピューターと複合機がネットワークで接続されている必要があります。

1

本装置が複合機に接続されている場合は、複合機の主電源を OFF にして本装置を取外します。

- 本装置がコンピューターに接続されている場合は、手順 4 に進みます。

2

複合機の主電源を ON にします。

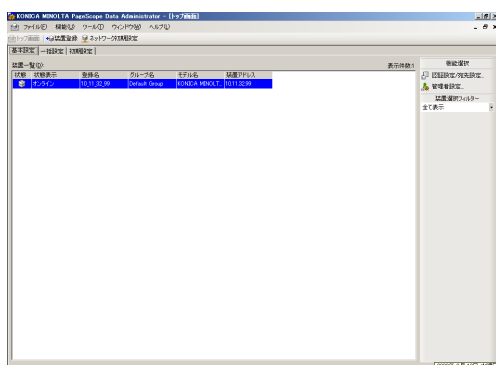
3

Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、本装置を接続します。

- Data Administrator の読み込みが完了している場合は、手順 7 に進みます。

4

装置を選び、ダブルクリックする。



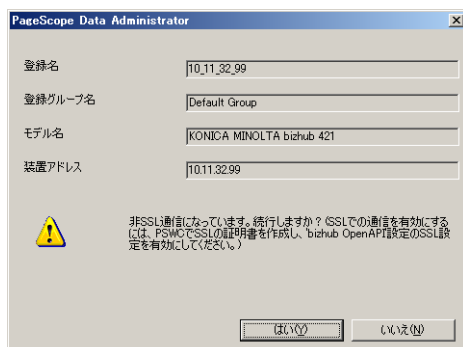
5

[読み込み] を押します。



6

[はい] を選択します。



### ひとこと

- ・ 複合機の主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・ USB ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

### 必ず守ってください

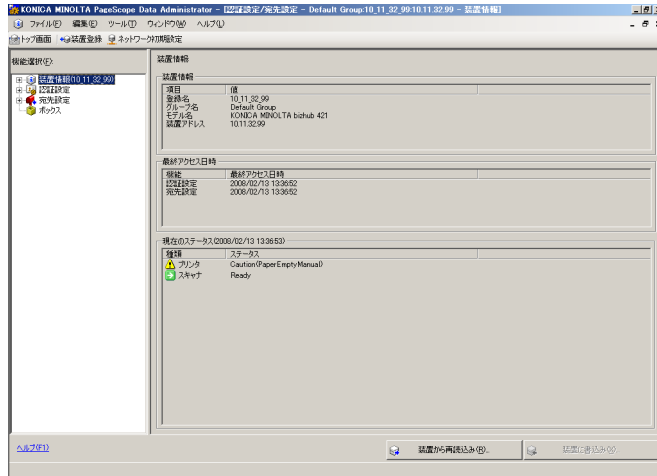
- ・ 本装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないでください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。
- ・ USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。
- ・ 本装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

7

Data Administrator を起動させ、複合機の装置情報を読み込みます。

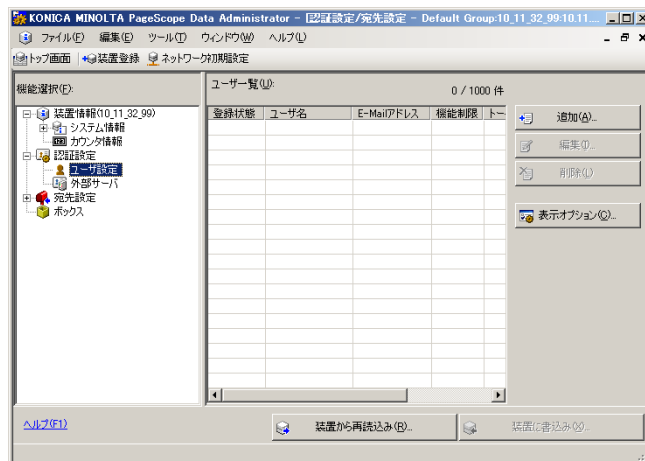
- 装置情報の読み込みについては、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

装置情報画面が表示されます。



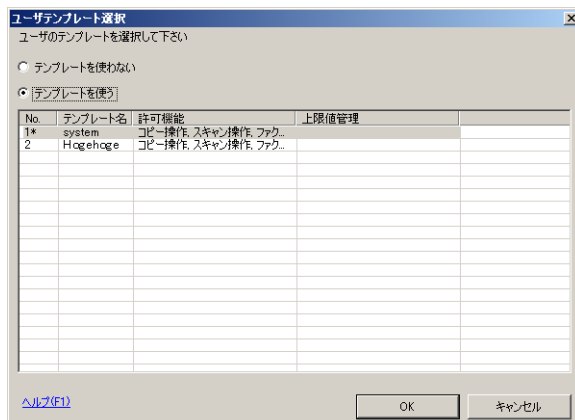
8

機能選択から「ユーザ設定」を選択し、[追加] をクリックします。



9

テンプレートを選択し、[OK] をクリックします。



ユーザの登録画面が表示されます。

10

ユーザ名、パスワードを入力し、「IC カード認証」タブを選択します。

- 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。

11

本装置に IC カードを置いて、[読取開始] をクリックします。

- 「カード ID の直接入力」を選択して、カード ID を登録することもできます。

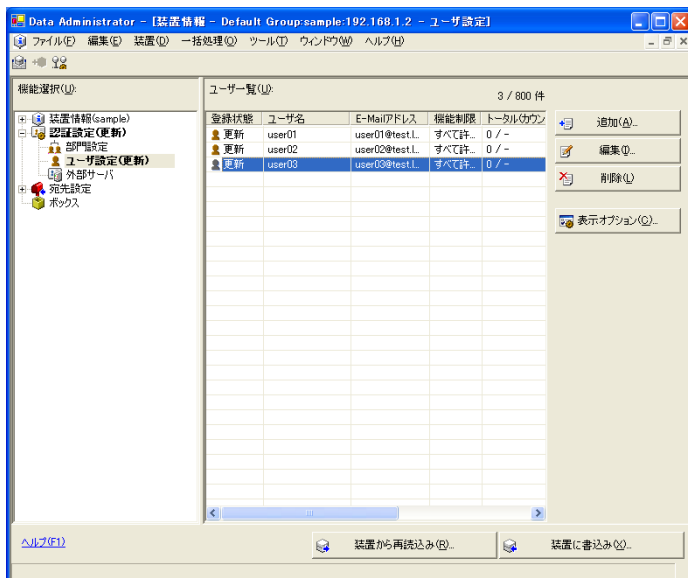
12

[OK] をクリックします。

- 手順 8 ～ 12 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。

13

「装置に書き込み」をクリックします。



- ユーザ名を選択して「編集」をクリックすると、登録したデータを変更できます。

14

「書き込み」をクリックします。



登録したユーザーデータが複合機に設定されます。

15

「OK」をクリックします。



16

コンピュータのUSB ポートから本装置を取外します。

17

複合機の主電源を OFF にして本装置を接続し、複合機の主電源を ON にします。

#### 詳しく説明します

Data Administrator には一括コピー機能があり、本装置の使用が設定された複数の複合機に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

#### ひとこと

- ・ 複合機の主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・ USB ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

### 13.4.3 複合機へのログイン

カード ID による認証で、複合機にログインする方法を説明します。

#### ■ IC カード認証が設定されている場合

➡ 本装置に登録した IC カードを置きます。



ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。



#### ■ IC カード認証 + パスワード認証が設定されている場合

1

本装置に登録した IC カードを置き、パスワードを入力します。



2

【ログイン】または【ID】を押します。

ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。



### ひとこと

- ・通知音が鳴りますが読み中の通知音となります。【ログイン】または【ID】を押し認証することで解除されますが、装置としては正常に動作しています。
- ・認証失敗が多く発生する場合は、認証用データがうまく登録されていない可能性がありますので、ユーザー登録をしておいてください。

## 13.4.4 認証＆プリント機能

コンピュータから送信されたプリントジョブは、複合機の認証＆プリントボックスに保存され、カード ID による認証で印刷されます。これを認証＆プリント機能と呼びます。

また、複合機の操作パネルで認証＆プリントボックスに保存された文書を確認し、文書を指定して印刷することもできます。

認証＆プリント機能に対応しているプリンタードライバーとコンピュータの OS は以下の通りです。

### 詳しく説明します

複合機の「動作設定」で「IC カード認証」を選択し、「認証＆プリント設定」を「使用する」に設定した場合に、認証＆プリント機能を使用できます。

### ひとこと

プリンタードライバーの設定やボックス機能については、複合機に付属のユーザースガイドをご覧ください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PCL ドライバー	PCL6	Windows NT4.0 (SP6a)、 Windows 2000 Professional (SP4 以降)、 Windows XP Home Edition/Professional (SP2 以降)、 Windows XP Professional x64、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 x64
PostScript ドライバー (PS ドライバー)	PostScript3 Emulation	Windows 2000 Professional (SP4 以降)、 Windows XP Home Edition/Professional (SP2 以降)、 Windows XP Professional x64、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 x64 Windows Vista (全バージョン) Windows Vista x64
PostScript PPD ドライバー (PS-PPD)		Macintosh OS X 10.2/10.3/10.4

## ■ 認証 & プリント（Windows の場合）

### 装置情報タブの設定

1

Windows 2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」－「プリンター」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタとFAX」をクリックします。  
Windows Vista の場合は、[スタート] をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

2

インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3

「装置情報」タブをクリックします。



4

「装置オプション」で「ユーザー認証」を選択します。

5

「設定値の変更」のドロップダウンリストで「本体装置認証」を選択します。

6

[適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

### プリントジョブの印刷

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」（または「プリント」）をクリックします。

#### ひとこと

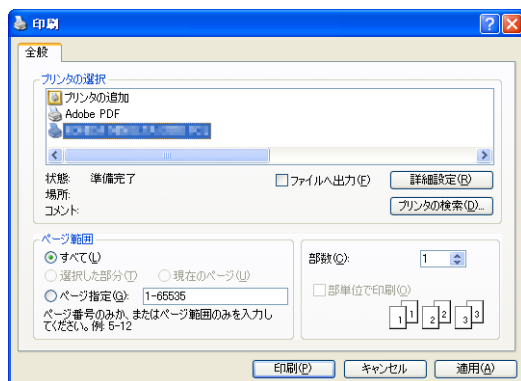
[スタート] メニューに「プリンタとFAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタとFAX」を選びます。

Windows Vista で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

2

「プリンター名」（または「プリンタの選択」）でプリントしたいプリンター名が選択されているか確認します。

目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。

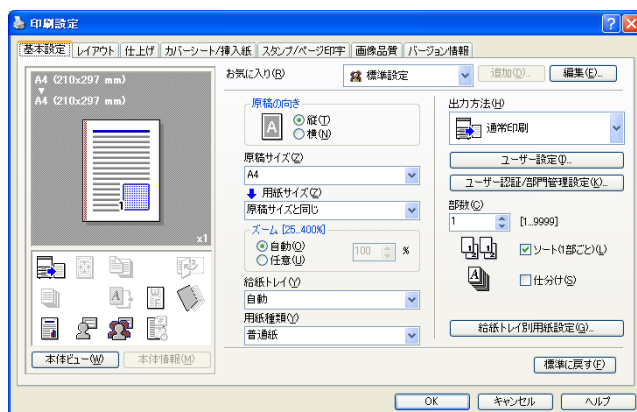


3

「プロパティ」（または「詳細設定」）をクリックします。

4

「基本設定」タブをクリックします。



5

「出力方法」のドロップダウンリストで、「通常印刷」を選択します。

6

「ユーザー認証 / 部門管理設定」をクリックします。

### ひとこと

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

7

「登録ユーザー」を ON にし、ユーザー名とパスワードを入力します。



8

「検証」をクリックし、ユーザー ID を確認します。

9

「OK」をクリックします。

- ユーザー名やパスワードが正しくない場合は、入力しなおします。



10

「OK」をクリックします。

11

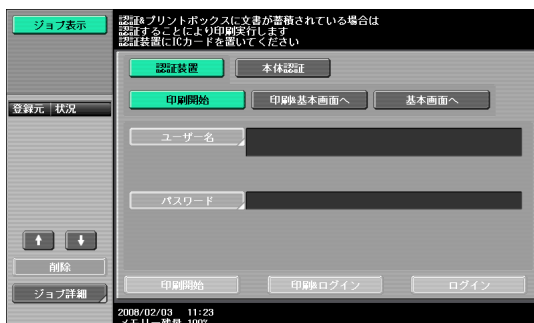
必要に応じて設定し、「OK」をクリックします。

12

「適用」をクリックし、「印刷」をクリックします。

13

プリントジョブが送信されます。  
本装置に登録した IC カードを置きます。



ユーザー認証が行われ、プリントジョブが印刷されます。

#### ひとこと

「印刷開始」が選択されていることを確認してください。

#### 詳しく説明します

「画面操作」を選択し、プリントジョブを選択して印刷することもできます。「[操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する](#)」(p. 13-24) をご覧ください。

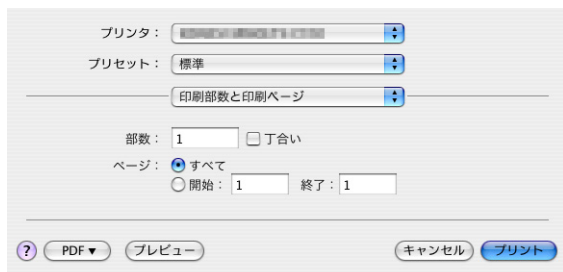
## ■ 認証 & プリント（Macintosh の場合）

1

アプリケーションでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「プリント」（または「印刷」）をクリックします。

2

「プリンタ」でプリントしたいプリンター名が選択されているか確認します。

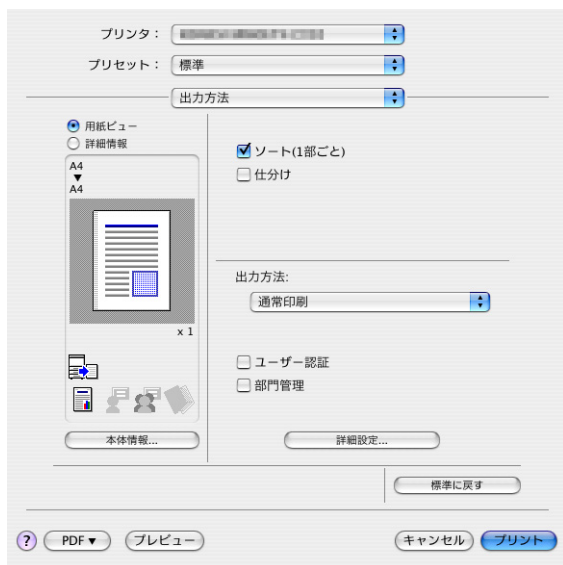


3

メニューのドロップダウンリストで、「出力方法」を選択します。

4

「出力方法」のドロップダウンリストで、「通常印刷」を選択します。



5

「ユーザー認証」のチェックボックスを ON にします。  
「ユーザー認証」ダイアログが表示されます。

### ひとこと

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

6

「登録ユーザー」を ON にし、ユーザー名とパスワードを入力します。

7

[OK] をクリックします。

8

必要に応じて設定し、[プリント] をクリックします。

9

プリントジョブが送信されます。  
本装置に登録した IC カードを置きます。

ユーザー認証が行われ、プリントジョブが印刷されます。

## ■ 操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する

認証 & プリントボックスに保存された文書を指定して印刷する方法を説明します。

1

[画面操作] を押します。

### ひとこと

「印刷開始」が選択されていることを確認してください。

### 詳しく説明します

「画面操作」を選択し、プリントジョブを選択して印刷することもできます。「[操作パネルでプリントジョブを選択して印刷する](#)」(p. 13-24) をご覧ください。

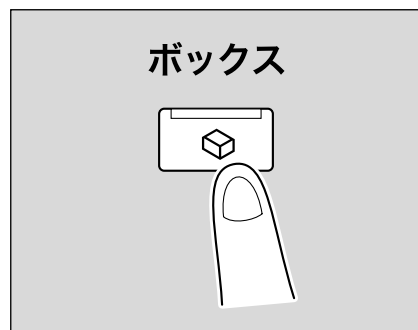
2

本装置に登録した IC カードを置きます。  
ユーザー認証が行われ、基本設定画面が表示されます。



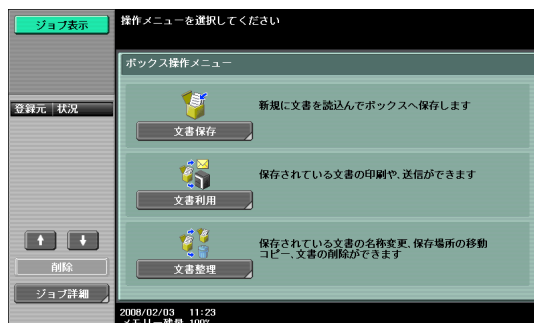
3

操作パネルの【ボックス】を押します。



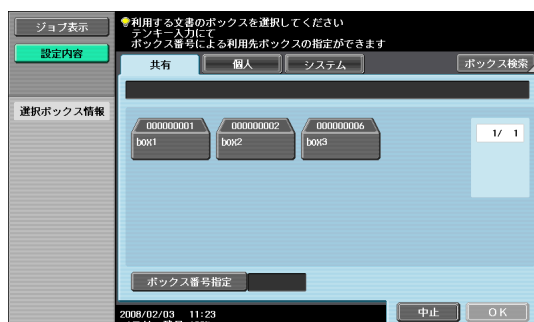
4

【文書利用】を押します。



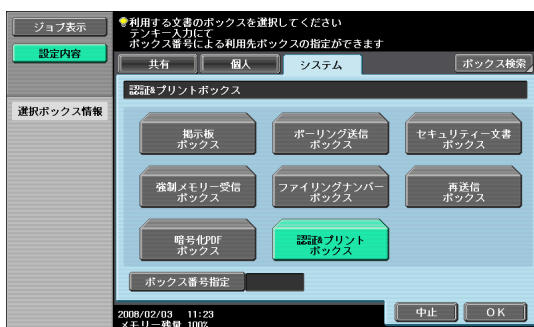
5

【システム】を押します。



6

「認証&プリントボックス」を選択し、[OK] を押します。

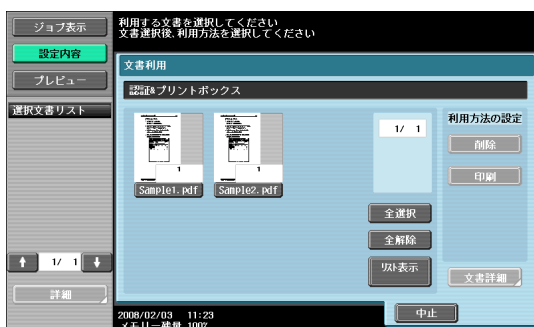


ログインしたユーザーが送信した文書の一覧が表示されます。

7

印刷する文書を選択します。

- 複数の文書を選択することができます。
- すべての文書を選択する場合は「全選択」を押します。
- すべての文書の選択を解除する場合は「全解除」を押します。
- 登録時刻や文書名などを確認する場合は「リスト表示」を押します。



8

「利用方法の設定」から「印刷」を選択し、[OK] を押します。

- 文書を削除する場合は「削除」を選択します。
  - 文書の詳細を確認する場合は、「文書詳細」を押します。
- 指定した文書が印刷されます。

#### ひとこと

認証失敗が多く発生する場合は、認証用データがうまく登録されていない可能性がありますので、ユーザー登録をなおしてください。

## 13.5 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 のお手入れ

頻度：1ヶ月に1回程度、もしくは汚れ具合により随時

柔らかい布で乾拭きをしてください。乾拭きしても汚れが落ちない場合は、中性洗剤をしみこませ、固く絞った布で拭いてください。汚れが落ちたら、水に浸して固く絞った布で中性洗剤を拭き取ってください。



- ・お手入れの前に本装置を複合機から取外してください。USBポートに負荷がかかると故障の原因になります。
- ・本装置のお手入れの際、本装置内部に水が入らないようにしてください。本装置内部に水が入ると、システムの故障の原因となります。
- ・ベンゼン・アルコールなど有機溶剤を使用して清掃を行わないでください。故障の原因となります。

### ひとこと

- ・本装置の取外しおよび接続は、複合機の主電源を OFF にしてから行い、10 秒以上経過してから複合機の主電源を ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・USB ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

## 13.6 仕様


製品名		認証装置 (IC カード認証タイプ) AU-201
寸法 (mm)		約 92 (W) × 64 (D) × 16 (H)
質量 (g)		約 120
電源		USB ポートより受電
環境条件 (動作時)	周辺温度 (°C)	0 ~ 40
	湿度 (%)	20 ~ 85 (ただし結露しないこと)
環境条件 (非動作時)	周辺温度 (°C)	-20 ~ 50
	湿度 (%)	20 ~ 85 (ただし結露しないこと)
電波法区分		誘導式読み書き通信設備
適用カード		ISO 14443 TypeA、Felica 準拠非 接触 IC カード、SSFC、FCF
取得規格		VCCI クラス B
対応コンピュー ター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、16 ビットカ ラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1) 以降 Microsoft .NET Framework (SP1) 以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional (SP4) Windows XP Professional Edi- tion (SP2)

## 13.7 トラブルシューティング

システムの運用中に何らかのトラブルが発生した場合には、下記をごらんください。

状態	チェックポイント	処理のしかた
登録に失敗する 複合機に「登録に失敗しました。」の メッセージが表示される場合	本装置の読取り時間は 10 秒に制限されています。制限時間内に読取れなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。	制限時間内に読取りが終わるように、すぐに使える操作ガイド 認証装置 (IC カード認証タイプ AU-201) を参照し、IC カードの置き方を確認してください。
登録に失敗する コンピューターにメッセージが表示される場合		
ログインに失敗する 複合機に「認証に失敗しました。」の メッセージが表示される場合	IC カード認証 + パスワード認証が設定されている場合 正しいパスワードを入力しましたか？	パスワードを確認し、正しいパスワードを入力してください。
読取りが開始されない	本装置を複合機に接続後、複合機を再起動しましたか？	複合機の主電源を OFF にし、複合機または本装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから複合機の主電源を ON にしてください。
本装置をコンピューターに接続するとハードウェアインストールウィザードが起動する	本装置を接続した USB ポートは、ドライバインストール時と同じものですか？	ドライバをインストールしたときと異なる USB ポートに本装置を接続した場合は、ハードウェアインストールウィザードが起動することがあります。ドライバをインストールしたときと同じ USB ポートを使用してください。

上記処置を行ってもトラブルがなおらない場合は、サービス技術者にご連絡ください。



# 第 14 章

## 付録

---

文字入力のしかたの説明と用語集について書いてあります。

14.1	文字を入力するには .....	14-2
14.2	入力文字一覧 .....	14-7
14.3	用語集 .....	14-14

## 14.1 文字を入力するには

ユーザー登録や不定形紙の登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

ユーザー名入力画面：



不定形紙名称変更画面：



### 14.1.1 キーボードの拡大表示

キーボードを拡大して見やすく表示することができます。

1

キーボードの表示中に、[拡大 ON] を押します。  
キーボードが拡大表示されます。



2

拡大表示中に [拡大 OFF] を押すと、拡大表示を解除して通常の表示に戻ります。

#### ひとこと

ユーザー名、プログラム名、ボックス名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「〜」を使用した場合、コンピューターから参照すると文字化けをおこすことがあります。

#### ひとこと

拡大表示した状態でも、キーボードの操作方法は同じです。

## 14.1.2 英数字を入力する



表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 大文字、記号を入力する場合は、[Shift] を押します。
- 全角の英数字を入力する場合は[全角]を押します。
- 半角数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

## ひとこと

- ・[元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

## 14.1.3 ひらがなを入力する

1

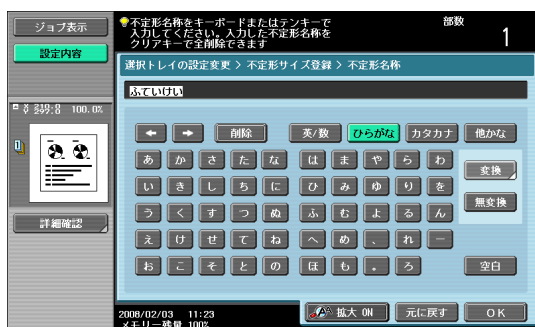
[ひらがな] を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、[他かな] を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

## ひとこと

一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

3

[無変換] を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

## ひとこと

[元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。

## 14.1.4 カタカナを入力する

1

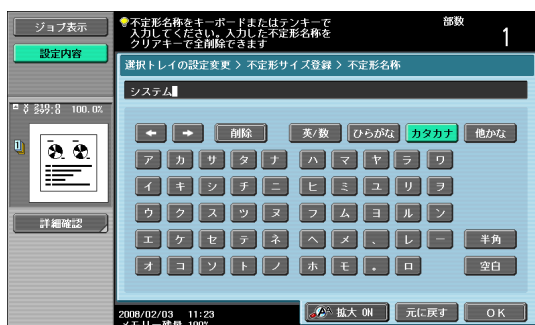
「カタカナ」を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、「他かな」を押します。
- 半角のカタカナを入力する場合は「半角」を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



詳しく説明します

- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

## ひとこと

- ・ [元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・ 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

## 14.1.5 漢字を入力する

1

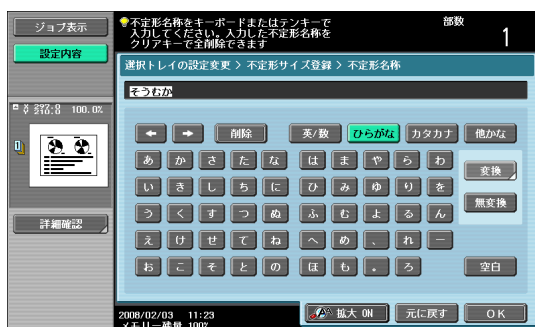
「ひらがな」を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、「他かな」を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



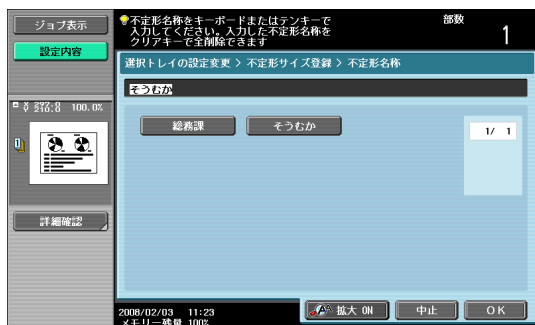
3

〔変換〕を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4

表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



5

〔OK〕を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

#### 詳しく説明します

- ・熟語単位で変換できます。
- ・入力した文字が、変換の対象になります。
- ・変換を中止するときは、〔中止〕を押します。

#### 詳しく説明します

候補が 18 個以上ある場合に、〔↑〕または〔↓〕のキーが現れます。

- ・〔↑〕を押すと前候補が表示されます。
- ・〔↓〕を押すと次候補が表示されます。

#### 詳しく説明します

- ・入力した文字や数字を修正する場合は、〔←〕、〔→〕で修正する文字にカーソルを合わせ、〔削除〕を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、〔C〕を押します。

#### ひとこと

- ・〔元に戻す〕を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

### 14.1.6 文字コードで入力する

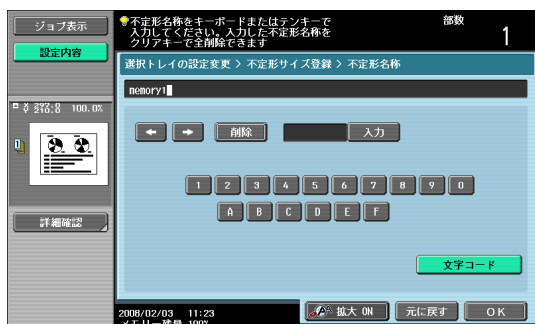
16進数（1～0、A～Fの組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

1

「文字コード」を押します。

2

表示されているキーボードから、文字コードを入力し、「入力」を押します。



文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

#### 詳しく説明します

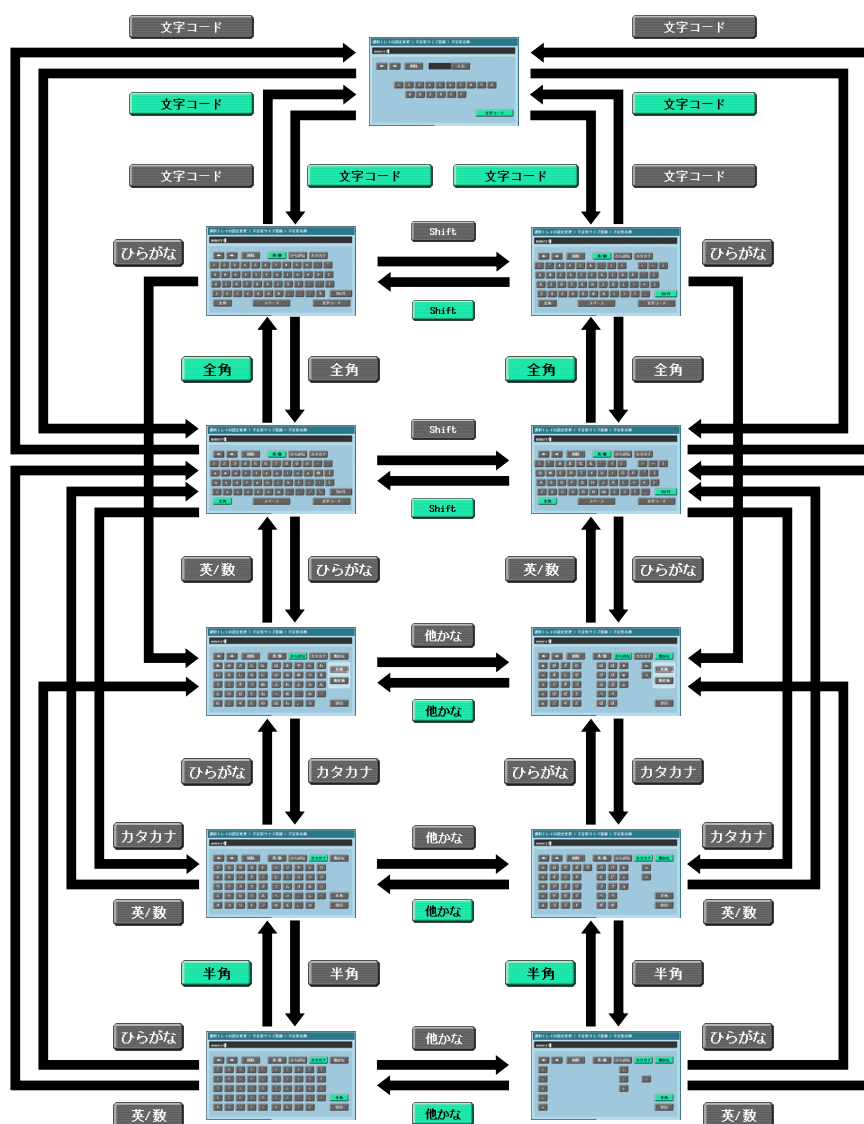
- ・本機の文字コードは Shift-JIS コードです。文字コードと文字の対応については、Shift-JIS コード表 (p. 14-8 ~) をご覧ください。
- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- ・設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

#### ひとこと

- ・[元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

## 14.2 入力文字一覧

### 入力画面



ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよりるれろわんがぎくげごさじずせそだちづでどばびぶべぼ ばびぶべぼ あいうえおやゆよわっ ー、。
カタカナ(全角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワワンガギグゲゴザジズゼゾダヂツデトバビブベボ バビブベボウ アイウエオヤユヨワツ ー、。
カタカナ(半角)	アイエオカキクケコサシスセソタチツテトニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワ アイウエオヤユヨワ -°°
英数字／記号 (全角)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz ！"#\$%&'()*+,-./\ : ; <=>?@ [ \ ] ^ _ ` {   } ~ * 0123456789
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz ！"#\$%&'()*+,-./\ : ; <=>?@ [ \ ] ^ _ ` {   } ~ * 0123456789

(一部入力できないものもあります)

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
82B0	げごござさしじすずせぜそぞたち
82C0	ちつつつてでとどなにぬねのはばぱ
82D0	ひびびふぶふうへべほぼまみむめ
82E0	もややゆゅよよりるれろわわぬゑ
82F0	をん
8340	アアイイウエエオカキギクグ
8350	ケゲコゴサザシジズセゼソゾタダ
8360	チッツツツテトドナニヌネノハバ
8370	パヒビピフブヘベホボマミ
8380	ムメモヤユヨヨラリルレロフ
8390	ヰヱヲンヴカケ A
83A0	B Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ
83B0	S T Υ Φ Χ Ψ Ω α
83C0	β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ
83D0	σ τ υ φ χ ψ ω
83E0	
83F0	
8440	A B В Г Д Е Є Ж З И Й К Л М Н О
8450	П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
8460	Я

	0123456789 ABCDEF
8690	
86A0	
86B0	
86C0	
86D0	
86E0	
86F0	
8740	
8750	
8760	
8780	
8790	
87A0	
87B0	
87C0	
87D0	
87E0	
87F0	
8840	
8850	
8860	
8870	
8880	
8890	

⌘

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
88A0	嘩娃阿哀愛挨始逢榮菴庵惡握渥旭葦
88B0	芦蓼梓庄鈞扱宛姐虻鮒綫鮎或粟裕
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉毘夷委
88D0	威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
88E0	謂違遺医井亥域育郁磯一壹溢逸稻茨
88F0	芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭
8940	院陰隱韻吋右宇烏羽迂雨卯鵠窺丑碓
8950	臼渦墟唄蔚蔚鱧姥厥浦瓜閑罇云運雲
8960	茈餌齏嘗嬰影映曳米永泳洩瑛盈穎穎
8970	英衛詠銳液疫益駢悅謁越閱樓廡円
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焰煙燕猿緣
8990	艷苑園遠鉛篇塹於汚甥凹央央往忡押
89A0	旺橫歐毆王翁嶺嶺鷗黃岡冲狄億屋億
89B0	臚桶壯乙掩卸恩溫穩苔下化飯何伽伽
89C0	佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苛茄荷華菓嶸課嘩貨迦過
89E0	霞蚊俄峨我牙面臥芽蟻贅雅駭駕介会
89F0	解回塊壞迴快怪侮恢懷戒拐改
8A40	魁晦械海灰灰界皆絃芥蟹閑階貝凱効外
8A50	咳害崖慨慨涯碍蓋街該鎡骸淫馨蛙垣
8A60	柿鈎鈎劃劃各鄺扞攢核核殺獲確獲覺

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8A70	角赫較郭闊隔革学岳榮額額掛笠檜
8A80	檀梔鰈淵割喝恰括活渴滑葛褐轄日鯉
8A90	叶杞樺鞫株兜毫蒲釜鎌啞鴨袴茅萱粥
8AA0	刈苴瓦乾侃冠寒刊勛勛卷喚堪姦完官
8AB0	寬干幹患感憤憾換敢柑柜棺款歎汗漢
8AC0	澗淮環甘監看竿管簡緩迂翕肝騰莞觀
8AD0	諫貴選遙間閑閑閑韓館館丸含岸巖玩
8AE0	癌眼岩翫鷹雁頑頑願企危喜器墨奇
8AF0	孺寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄
8B40	機鼎穀氣汽畿祈季稀紀微規記貴起軌
8B50	輝飢騎鬼龜偽儀妓宜戲技擬欺機疑祇
8B60	義議詛議擣菊鞠吉吃喫枯橘詰詰杵黍
8B70	却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急急救
8B80	朽求汲汲灸球究窮笈級糾糾給旧牛去居
8B90	巨拒拋拳渠虛許距鋸漁禦魚亨享京供
8BA0	俠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峽強強怯
8BB0	恐恭挾救橘況狂狹狹胸胸齋齋鄉鏡響
8BC0	囊驚仰凝堯曉業局曲極玉桐杆僅勤均
8BD0	巾錦斤欣欽琴禁筋筋繁斤菌衿襟謹近
8BE0	金吟銀九俱句区狗玖矩苦軀軀駟駒具
8BF0	愚虞喰喰空偶寓遇隅串櫛櫛屑屈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8C40	掘窟沓靴轡窪熊隈采栗縲桑繳黝君薰
8C50	訓群軍郡卦袞袞係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形徑患慶慧懇揭携敬景桂溪畦稽系經
8C70	繼繫罪莖荊蚩計詣驚輕頸鷄芸迎鯨
8C80	劇戟擊激隙析傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	俟倦健兼券劓啗圈堅嫌建憲懸拳捲揆
8CA0	權牽犬獻研硯絹絹肩兇謙賢軒遣鍵險
8CB0	頸驗饒元原嚴幻絃減源玄現絃絃言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫孤尸故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡孤虎誇誇銘顧顧鼓互互伍午
8CE0	吳吾娛後御悟梧檣瑚暮語誤護餽乞鯉
8CF0	交佼侯候倖光公功効勾厚口向
8D40	后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘
8D50	恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇硬槁糠紅紅絞綱耕耆肯肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊鉅鉅鉅鋼閭降
8D80	頃香高鴻剛劫弓合壕拷豪豪轟翹克刻
8D90	告國穀酷鵠黑獄澀腰慇慇惚惚拍込込
8DA0	頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8DB0	魂些佐又唆嵯左差查沙瑳砂詐鎖坐坐
8DC0	座挫債催再最哉妻宰彩才採裁歲濟
8DD0	災采屋碎砦祭齋細菜裁載際劑在材罪
8DE0	財牙坂阪堺堺肴咲崎崎崎驚作削昨搾
8DF0	昨朔欄欄策策錯錯銑銑銑匙匙冊冊
8E40	察拶撮擦札殺薩薩韋鯖捌捌鋸血晒三
8E50	傘參山慘撒散棧燦珊產算纂蚕讚贊酸
8E60	贅斬斬殘什什伺使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿子屍市師志思指支攷斯施旨枝止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	詔資賜賜餉餉事似侍兒寺寺慈持時次
8EA0	滋治爾璽痔磁示而耳自時薛夕鹿式識
8EB0	鷓竺軸穴零七叱執執嫉至悉濕漆疾質
8EC0	寔部篠僂柴芝屢蕊縞舍射捨捨斜煮
8ED0	社紗者謝車遲蛇邪借勺尺杓灼酌酌
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊殊殊種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綴需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繕習臬舟菟衆
8F50	襲襲蹻蹻蹻過酉醜集醜什什充十從戎柔

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8F60	汁洪獸縱重銃叔夙宿淑祝縮肅塾熟出
8F70	術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬樞殉淳
8F80	準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒
8F90	署書薯諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝
8FA0	匠升召哨商唱嘗獎娵宵蔣小少尚庄
8FB0	床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樵樵
8FC0	沼消涉湘燒焦照症省硝礁祥称章笑粧
8FD0	紹肖嘗蔣蕉衝裳訟証詔詳象賞醬鉦鍾
8FE0	鐘障鞘上丈丞乘冗刺城場壞娘常情擾
8FF0	条杖淨狀置裨蒸讓釵鋸囑飾
9040	拭植殖燭織職色蝕食蝕辱尻伸信侵唇
9050	娠覆審心慎振新晉森榛浸深申疹真神
9060	秦紳臣苾薪親診身辛進針震人仁刃塵
9070	壬尋甚尽腎訊迅陣鞫筍譴須酢厨厨
9080	逗吹垂帥推水炊睡粹衰遂釐醢鍾隨
9090	瑞髓崇膏數枢趨難据杉柑管頤雀裾澄
90A0	摺寸世瀨畝是凄制勢姓征性成政整星
90B0	晴棲栖正清性生盛精聖声製西誠誓請
90C0	逝醒青靜齊稅脆隼席借戚斥昔析石積
90D0	籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摺折設劓劓
90E0	說雪絕舌蟬仙先千占宣專尖川戰扇撰

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
90F0	栓柗泉淺洗染潛煎燻旋穿箭線
9140	纖羨腺舛舩船詮詮踐踐選選錢錢閃閃鮮鮮
9150	善漸然全禪繕膳嚙嚙塑塑岨岨措措曾曾楚狙
9160	疏疎礎礎祖祖粗粗素素組組蘇訴阻阻遯遯創創双
9170	叢倉喪壯奏爽宋屠匠忽忽想想搜搜掃掃搔搔
9180	操早曹巢槍槽槽槽槽爭瘦相恐槽槽綜綜聰聰
9190	草莊蒼蒼藻藻走送遭鎗鎗鎗像像憎憎臟臟
91A0	藏贈造促側則則即息掟束測測定速俗厲厲賊
91B0	族統統卒袖其掬存孫孫孫損村遜他多太太
91C0	訖唾墮妥情打舵舵舵陀駝駝駝堆堆對對耐耐
91D0	岱岱待待怠怠戴戴替泰滯滯胎腿苔袋貸退逮
91E0	隊黛鯛代台大第醒題鷹淹淹卓啄宅托托
91F0	挾拓沃濯琢託鐸濁諾苴苴銷只
9240	叩但達辰奪駭翼豎豎棚谷理鱗鱗誰誰丹
9250	單嘆坦担探旦歎淡湛炭短端筆綻耽耽胆
9260	蛋誕鍛回墻彈彈斷暖檀檀段男談談知知地地
9270	恥智池痴稚置致蠅遲馳馳棄棄竹筑畜畜
9280	逐株壑茶嬌着中仲宙忠拙晷柱注虫衷
9290	註耐銑銑樁樁猪猪苦苦貯貯兆洵喋寵帖
92A0	帳厅帛張彫微慙挑朝朝潮潮瞞瞞眈眈聽聽脹
92B0	腸蝶調調諜超跳跳長頂烏勅抄直朕沈珍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
92C0	賃鎮陳津墜椎槌追鎚痛通塚桐搥機佃
92D0	漬柢辻薦綴鏗椿渾坪壺蠅絀爪吊鈞鶴
92E0	亭低倜倜剝貞呈堤定帝底庭廷弟悌悌抵
92F0	挺提梯汀碇禎程絛絛訂諦蹄通
9340	邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鐫溺哲徹
9350	撤轍迭鉄典填天展店添繕甜貼軫軫点
9360	佻殿澱田電兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登
9370	菟睹途都鍍砥斫度土奴怒倒党冬
9380	凍刀唐塔塘套宕宕島嶋悼投搭東桃栲棟
9390	盜淘湯燙灯燈当痘禱等答筒糖統到董
93A0	蕩藤討騰豆踏逃透透陶頭騰鬪鬪動同
93B0	堂導懂擢洞瞳童桐萄道銅峠鴉鴉得德
93C0	洩特督禿雉雉獨詆詆禿禿怱怱突楸屈薦苴
93D0	寅酉潯噸屯惇敦沌豚遁頓吞墨鈍奈那
93E0	內乍卮薤謎灘捺鍋櫛馴繩嚙南楠軟難
93F0	汝二尼忒忒勾脈肉虹廿日乳入
9440	如尿菲任妊忍認濡襦苾苾惹猫熟年念
9450	捻燃燃粘乃迺之堊囊惱濃納能腦膿農
9460	覗蚤巴把播霸杷波派琶破婆芭芭馬俳
9470	癢痒排敗杯盃牌背肺輩輩倍培媒梅
9480	煤煤猥猥壳賂陪這蠅秤矧秋伯剝博拍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9490	柏泊白箔粕舶迫曝曝爆縛縛莫駭麦函
94A0	箱谿箸箸箸櫛櫛肌肌舄舄八鉢洩洩醜髮
94B0	伐罰拔伐伐閏閏嗚嗚嗚蛤蜊倅判半反叛帆
94C0	搬斑板汜汎版版班班畔畔繫繫藩藩販販範範煩
94D0	頒飯飯挽挽番番盤盤蕃蕃匪匪卑卑妃妃悲悲
94E0	扉批披斐斐比必疲疲皮碑碑秘秘罷罷肥肥排排費
94F0	避非飛馱馱備備尾尾微批毘毘眉眉美
9540	鼻柸裨匹匹疍疍彥彥膝膝粥粥必畢畢逼逼檢
9550	姬媛紐百繆繆依依標標冰漂瓢票表評豹廟
9560	描病秒苗鉤鉤鉤鉤蛭蛭品品彬斌浜濱貧貧賁
9570	頻敏瓶不付埠夫婦富富富布府佈扶敷
9580	芹菩浮父符腐腐芙芙譜負賦赴阜附侮撫
9590	武舞葡葡葡部封楓風葦葦葦伏副復幅服福
95A0	腹複覆淵弗弗弘弘仏物鮒分吻噴墳墳扮
95B0	焚奮粉糞紛雰雰文聞丙併井摒幣平弊柄
95C0	並蔽閉陞米貢僻壁癖碧碧碧警驚驚驚偏姿
95D0	片篇編編返返便勉婉娩弁鞭保鋪鋪鋪捕
95E0	步甫補輔穗穗募募募戍戍暮母簿菩倣倣包
95F0	呆報奉宝峰峯峯崩崩抱捧放方朋
9640	法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂喪訪豐訪鋒鋒飽
9650	鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某樺

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9660	冒紡肪膨謀貌貿鉞防伏類北僕卜墨撲
9670	朴牧睦穆鈞勃沒殆堀幌奔本翻凡盆
9680	摩磨魔麻埋妹昧枚每哩縻幕膜枕鮪枉
9690	鱗樹亦僕又抹末沫迄尽繭磨万慢滿漫
96A0	蔓昧末魅已貫岬密蜜湊袁縈脈妙耗民
96B0	眠務夢無牟矛霧鷄棕嬌娘冥名命明盟
96C0	迷銘鳴姪牝滅免綿綿緬面麵摸模茂妄
96D0	孟毛猛盲網耗蒙儲木默目圭勿餅尤戾
96E0	粉貢問悶紋門刃也冶夜爺耶野弥矢厄
96F0	役約葉詛躍靖柳莖鏹偷愈油癒
9740	諭輸唯佑優勇友有幽悠憂損有柚湧涌
9750	猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕予余与營
9760	輿預傭幼妖容庸揚搖擁穠楊樣洋溶熔
9770	用羶羊耀葉蓉要謠蹕遙陽蕘慾抑欲
9780	沃沃翌翼淀羅蝶裸來萊賴雷洛絡落酪
9790	乱卵嵐欄濫藍蘭覽利史履李梨理璃璃
97A0	裏裡里離陸律率立律掠略劉溜琉琉留
97B0	硫粒隆菴龍侶慮旅虜了亮僚兩凌寮料
97C0	梁涼涼療瞭稜糧良諒遑量陵鎖力綠倫
97D0	厘林淋淋臨臨麟麟璿璿璽璽累類令
97E0	伶例冷勵嶺伶玲礼苓鈴錄零靈麗齡曆

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
97F0	歷列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯
9840	蓮連鍊呂魯櫓炉路露勞婁廊弄朗樓
9850	榔浪漏牢狼耄老聾鏘郎六麓祿肋錄論
9860	倭和話歪賄脇惑粹驚互巨鸛託藁藪槐
9870	灣碗腕
9880	
9890	式
98A0	巧丕个丩、井ノ又乖乘亂」豫爭舒式
98B0	于亞亟一亢京毫量从仍仄仆仍仗仍仍
98C0	仟价伋伋估佛佻佻佻佻佻佻佻佻佻
98D0	侑佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻
98E0	倨倨倪倨倨倨倨倨倨倨倨倨倨倨倨
98F0	會偕偕偕偕偕偕偕偕偕偕偕偕偕偕
9940	僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉
9950	儕儕儕儕儕儕儕儕儕儕儕儕儕儕儕
9960	兪兮龔門回冊冉岡青萬冕一冤冠冢寫
9970	幕」決互冲冰況冽涸凉凜几處凜凜
9980	凰」囑刃刊刳刳刳刳刳刳刳刳刳刳
9990	劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓
99A0	劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓
99B0	勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
99C0	卅卉卅準卞口卮卮卮卮卮卮卮卮卮
99D0	廠」參纂雙雙雙雙叮叨叨叨叨叨叨
99E0	吭吭吮吮吮吮吮吮吮吮吮吮吮吮吮吮
99F0	咀咀咀咀咀咀咀咀咀咀咀咀咀咀咀咀
9A40	咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫
9A50	唯唯唯唯唯唯唯唯唯唯唯唯唯唯唯
9A60	莖莖莖莖莖莖莖莖莖莖莖莖莖莖莖
9A70	嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖
9A80	噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫
9A90	囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁
9AA0	國國國國國國國國國國國國國國國
9AB0	垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚
9AC0	坵坵坵坵坵坵坵坵坵坵坵坵坵坵坵坵
9AD0	墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟
9AE0	壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘
9AF0	夸夸夸夸夸夸夸夸夸夸夸夸夸夸夸
9B40	奸奸姦姦姦姦姦姦姦姦姦姦姦姦姦姦
9B50	娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜
9B60	媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽
9B70	嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖
9B80	它它宸宸冠冠冠冠寔寔寔寔寔寔寔寔

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9B90	寔寔將專對尔黔九彪尸尹屈屈屈屈屈
9BA0	屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏
9BB0	峴峴峴峴峴峴峴峴峴峴峴峴峴峴峴峴
9BC0	崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑
9BD0	嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢
9BE0	厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝
9BF0	幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣
9C40	廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖
9C50	弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃
9C60	冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢
9C70	俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳
9C80	估估估估估估估估估估估估估估估
9C90	協協協協協協協協協協協協協協協
9CA0	倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭
9CB0	慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍
9CC0	慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍
9CD0	慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍
9CE0	憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫
9CF0	懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺
9D40	憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂
9D50	抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9EF0	橈橈橙橙槌槌樨樨樨樨槩槩檣檣
9F40	槩槩樨樨樨樨樨樨槩槩樨樨樨樨樨樨
9F50	槩槩樨樨樨樨樨樨欬欬欬欬欬欬欬欬
9F60	欬欬欬欬歸夕殳殳殳殳殳殳殳殳殳
9F70	殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳
9F80	氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈氈
9F90	汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜
9FA0	汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜汜
9FB0	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
9FC0	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
9FD0	渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙
9FE0	渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙渙
9FF0	溟溟溟溟溟溟溟溟溟溟溟溟溟溟溟溟
E040	濠濠濠濠濠濠濠濠濠濠濠濠濠濠濠濠
E050	滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌
E060	滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌滌
E070	瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾瀾
E080	炆炆炆炆炆炆炆炆炆炆炆炆炆炆炆炆炆
E090	熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇
E0A0	熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇熇
E0B0	牴牴犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E290	竦踈踈笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2A0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2B0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2C0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2D0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2E0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2F0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E340	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E350	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E360	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E370	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E380	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E390	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E3A0	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E3B0	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E3C0	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E3D0	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E3E0	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E3F0	綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉綉
E440	腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓
E450	腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓


[illegible]

## 14.3 用語集

本体コピー機能に使われる用語について説明します。

	用語	説明
アルファベット	ADF	自動原稿送り装置のことです。原稿を自動で読込ませることができます。 (ADF = Automatic Document Feeder)
	ADU	自動的に用紙の画面にプリントする装置です。 (ADU = Automatic Duplex Unit)
	AE レベル調整	原稿の下地を調節する機能です。設定値が大きくなるほど、原稿の下地が強調されます。(AE = Auto Exposure)
	APS	自動用紙機能のことです。(APS = Auto Paper Select)
	ATS	自動トレイ切替え機能のことです。(ATS=Auto Tray Switch)
	LCT	大量の用紙を収納し、コピー機本体に用紙を送り込む装置です。 (LCT = Large Capacity Tray)
	OHP 合紙	OHP フィルムを 1 枚コピーすること、白紙を OHP フィルムの間に合紙として挿入する機能です。OHP フィルムどうしが密着するのを防ぐ機能です。
あ行	厚紙原稿	厚紙原稿や張り合わせた原稿を ADF で使用するときを設定する機能です。厚みのある原稿を ADF で読込んでも、紙づまりを起こしにくくなります。
か行	カバーシート	指定した給紙トレイの用紙を表紙としてつける機能です。
	確認コピー	大量部数のコピーをするとき、1 部数のみを仕上げていったん停止させる機能です。大量のミスコピーを未然に防止できます。
	グループ (コピー / 仕上り)	コピーをページ単位で出力する機能です。1 ページ目が指定した部数分出力されたあと、2 ページ目が指定した部数分出力されます。
	グループ (参照許可)	各ユーザーの参照できる宛先を制限し、セキュリティーを管理するための機能です。
	原稿画質	原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整できる機能です。
	原稿セット方向	ADF や原稿ガラス上にセットした原稿のセット方向を設定する機能です。
	原稿のとじしろ	セットした原稿の、片側の余白位置を指定する機能です。片面原稿を両面コピーする場合や、両面原稿を片面コピーする場合に、コピーの上下が逆にならないように設定できます。
	コピープロテクト	不正コピー防止用の隠し文字を印字する機能です。コピープロテクトが印字された文書をコピーすると、隠し文字が原稿よりはっきりと全ページの用紙全体に繰返し現れ、コピー文書であることが分かるようになります。
	混載原稿	異なるサイズが混じった原稿を、自動両面原稿装置にセットしても、原稿ごとに原稿サイズを検知し、適正な用紙にコピーされる機能です。

	用語	説明
さ行	仕上り	コピーを排紙トレイに出力するときの仕分け方法や仕上り方法を設定できます。
	仕上りプレビュー	印刷する前に、仕上り状態をプレビュー画像で確認することができる機能です。
	仕分け	コピーを仕分けして出力する機能です。
	下地調整	下地に色がついている原稿の下地濃度を 9 段階に設定してコピーする機能です。
	自動倍率	ADF や原稿ガラス上に原稿をセットし、用紙のサイズを選択すると、適正な倍率を自動で選択する機能です。
	自動用紙	ADF や原稿ガラス上にセットされた原稿サイズを検知し、等倍のときは同じサイズの用紙を、変倍のときは倍率に対応したサイズの用紙を自動で選択する機能です。
	集約	1 枚の用紙に、複数の原稿を縮小し並べてコピーする機能です。集約する枚数により 2in1、4in1、8in1 の機能を選択できます。
	ステープル	コピー書類を止め金でとじる機能です。
	ズーム	セットした原稿をテンキーで指定した倍率で拡大／縮小し、用紙にコピーする機能です。
	選択トレイの設定変更	給紙トレイにセットされていない用紙サイズや、普通紙以外の用紙にコピーする設定ができます。
	ソート	コピーを部数単位で出力する機能です。1 部目が出力されたあと、2 部目のコピーが出力されます。
た行	小さめ	原稿の画像をわずかに縮小しコピーする機能です。
な行	中とじ	用紙を半分に折り、中央にステープルでとじて出力する機能です。
	ネガポジ反転	原稿の濃淡および色（階調）を反転してコピーする機能です。
	濃度	印刷画像濃度を 9 段階で設定してコピーする機能です。
は行	倍率	コピー倍率を変更できます。
	パンチ	コピーにファイリング用のパンチ穴をあける機能です。
	ページ編集	コピーの目的に合わせて編集機能を設定できます。
	ボックス保存	ジョブをいったんハードディスクに保存しておき、あとから呼出して再利用できる機能です。
や行	用紙	印刷する用紙の種類とサイズを設定できます。
ら行	両面 / ページ集約	原稿の読み面と用紙の印刷したい面を片面にするか、両面にするか指定する機能です。
	連続読み設定	原稿の枚数が ADF にセットできる最大枚数（100 枚）を超える場合に、原稿をいくつかに分けて読み込む機能です。原稿を読みませ、ひとつのコピージョブとして一括してコピーできます。また、途中で原稿ガラス上にセットして読みませたり、ADF に切替えることもできます。



# 第 15 章

## 索引

---

15.1 使用別索引 .....	15-2
15.2 項目別索引 .....	15-6

## 15.1 使用別索引

### ■ あ行

#### 合わせる

原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方） ..... 7-33

#### 印字する

日付 / 時刻、ページ、管理番号を印字してコピーする（スタンプ / ページ印字） ..... 7-40

#### 選ぶ

宛先登録を選択する ..... 11-6  
紙折り機能を選ぶ ..... 2-60  
仕上り機能を選ぶ ..... 2-51  
ページ集約を選ぶ ..... 2-42  
ユーザー設定を選択する ..... 11-13

### ■ か行

#### 確認する

1 部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー） ..... 3-4  
カウントを確認する（セールスカウンター） ..... 9-5  
コピー条件を確認する（設定内容） ..... 3-2  
ジョブの詳細確認をする ..... 10-7  
ジョブの設定内容を確認する ..... 10-7  
設定メニュー ..... 11-2  
蓄積ジョブを 1 部印刷して確認する ..... 10-10  
プレビュー画像でコピーの仕上りを確認する（仕上りプレビュー） ..... 3-7  
用語集 ..... 14-14

#### 繰り返す

指定した範囲を繰り返しコピーする（リピート） ..... 7-24

#### 消す

ジョブを削除する ..... 10-6  
不要部分を消してコピーする（消去） ..... 7-36

#### 原稿

ADF にセットする原稿 ..... 6-17  
折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿） ..... 2-19  
原稿と用紙の表示について ..... 17  
原稿の画質を選ぶ ..... 2-46  
原稿をセットする ..... 2-6  
原稿 > コピー機能を選ぶ ..... 2-38  
サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿） ..... 2-18  
複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする ..... 2-12

#### 交換する

トナーカートリッジを交換する ..... 8-2

### ■ さ行

#### 自動

自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット） ..... 1-30  
自動的に設定を取消す（オートリセット） ..... 1-30  
用紙サイズを自動で検出させる（自動検出） ..... 6-9

#### セキュリティ

参照許可設定 ..... 11-6

認証装置（IC カード認証タイプ）を使って本機の利用者を制限する .....	1-41
認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使って本機の利用者を制限する .....	1-39
認証方式 .....	11-49
部門管理設定 .....	11-62
部門ごとに本機の利用者を制限する（部門認証） .....	1-36
ユーザーごとに本機の利用者を制限する（ユーザー認証） .....	1-34
ユーザー認証設定 .....	11-54

## 設定する

原稿ごとに異なる設定で読み込みまとめてコピーする（プログラムジョブ） .....	7-15
操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定） .....	3-22
不定形紙をセットする（不定形） .....	6-10
ヘッダー / フッターを設定する .....	11-46
優先出力の設定をする .....	10-12

## 節電

自動的に節電状態にする（スリープ） .....	1-31
自動的に節電状態にする（低電力） .....	1-31
手動で節電状態にする .....	1-32

## セットする

折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿） .....	2-19
--------------------------------	------

## 挿入する

OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙） .....	7-2
追加原稿を指定したページに差込む（差込みページ） .....	7-10
別の用紙を挿入してコピーする（インターシート） .....	7-7

## ■ た行

### 調整する

タッチパネルの調整をする .....	3-22
フィニッシャー調整 .....	11-38

### つける

表紙をつける（カバーシート） .....	7-4
----------------------	-----

### 停止

読み込み・印刷を一時停止する .....	2-66
----------------------	------

### 点検

「装置の定期点検時期です」と表示されたら .....	9-6
----------------------------	-----

### 電源

自動的に電源を OFF / ON する（ウィークリータイマー） .....	1-32
電源の入れかた .....	1-28
電源の切りかた .....	1-30

### 登録する

コピー条件を登録する（プログラム登録） .....	3-13
登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し） .....	3-16
目的の倍率を登録する .....	2-36
目的の用紙サイズを登録する（不定形） .....	6-11

### とじ

とじしろをつくってコピーする（とじしろ） .....	7-30
----------------------------	------

### トラブル

「トラブルです」と表示されたら（サービスコール） .....	4-2
--------------------------------	-----

## ■ な行

### 名前とはたらきを確認する

各部の名称とはたらき ..... 1-2

### 入力する

濃度を選ぶ ..... 2-48  
文字を入力するには ..... 14-2

## ■ は行

### 配置する

雑誌や週刊誌のようなページレイアウトでコピーする（小冊子） ..... 7-34  
指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け） ..... 7-12  
見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写） ..... 7-20

### 倍率

倍率を選ぶ ..... 2-29

### 反転する

原稿画像の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転） ..... 7-19

### 表示させる

宛先登録画面を表示させる ..... 11-12  
管理者設定画面を表示させる ..... 11-35  
管理者設定を選択する ..... 11-21  
機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能） ..... 3-18  
実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する ..... 10-9  
ヘルプ基本画面を表示させる ..... 3-20  
ユーザー設定画面を表示させる ..... 11-20  
履歴リストを表示する ..... 10-9

### 分割する

ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる（ページ連写） ..... 7-28  
原稿を分割して読込む（連続読込み設定） ..... 2-9

### 保管する

用紙の保管 ..... 6-8

### 保存する

読込んだ原稿をボックスに保存する（ボックス保存） ..... 7-66

## ■ や行

### 用紙

原稿と用紙の表示について ..... x-17  
手差しトレイへ用紙をセットする ..... 1-50  
トレイ 1/2/3/4 へ用紙をセットする ..... 1-43  
用紙使用上の注意 ..... 6-8  
用紙の保管 ..... 6-8  
用紙を選ぶ ..... 2-27

### 読込み

ウォームアップ中に読込みする ..... 1-29

### 予約する

印刷中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約） ..... 2-65

## ■ わ行

### 割込む

割込んでコピーする（割込み） ..... 3-12

## 15.2 項目別索引

### Numerics

2 in 1 .....	2-42
4 in 1 .....	2-42
8 in 1 .....	2-43

### A

ADF .....	2-6, 6-17
-----------	-----------

### I

IC カード認証 .....	1-41
----------------	------

### O

OHP 合紙 .....	7-2
--------------	-----

### Z

Z 折れ原稿 .....	2-19
--------------	------

### あ行

アイコン .....	1-25
アイコン変更 .....	11-19
宛先 / ボックス登録 .....	11-26
宛先登録 .....	11-6, 11-26
一時停止 .....	2-66
インターシート .....	7-7
ウィークリータイマー .....	1-32, 11-37
ウォームアップ .....	1-29
オートリセット .....	1-30
オートリセット設定解除確認 .....	3-27
音設定 .....	3-31
オプション .....	1-2

### か行

拡大表示切換え確認 .....	3-28
確認コピー .....	3-4
各部の名称 .....	1-2
画像の収め方 .....	7-33
片面コピー .....	2-39
カバーシート .....	7-4
紙折り機能 .....	2-60
画面カスタマイズ設定 .....	11-15
環境設定 .....	11-13, 11-21
管理者 / 本体登録 .....	11-26
管理者設定 .....	11-21
キーリピート開始 / 間隔時間 .....	3-23
基本設定画面 .....	1-23
基本（一括）画面 .....	1-23
給紙 .....	1-43, 1-50
給紙キャビネット PC-206 .....	1-10
給紙キャビネット PC-407 .....	1-10
グループ .....	2-51, 2-54

原稿 .....	6-17
原稿画質 .....	2-46, 14-14
原稿ガラス .....	2-7
原稿セット方向 .....	2-20, 14-14
原稿セット方法 .....	2-6
原稿のとじしろ .....	2-22, 14-14
原稿の向き .....	17
原稿 > コピー機能 .....	2-38
固定倍率 .....	2-33
コピー設定 .....	11-16, 11-30
コピープログラム呼出し .....	3-16
コピー予約 .....	2-65
混載原稿 .....	2-18, 14-14

### さ行

差し込みページ .....	7-10
参照許可設定 .....	11-6
仕上り機能 .....	2-51
システムオートリセット .....	1-30
システムオートリセット設定解除確認 .....	3-25
システム連携 .....	11-32
下地調整 .....	2-48, 2-50
実行中リスト .....	10-9
自動倍率 .....	2-29
自動用紙 .....	2-27
自動両面ユニット .....	1-4
主電源スイッチ .....	1-28
消去 .....	7-36
小冊子 .....	7-34
消耗品 .....	8-2
章分け .....	7-12
ジョブの削除 .....	10-6
ジョブ表示画面 .....	10-2
仕分け .....	2-51
ズーム .....	2-31
スタンプ / ページ印字 .....	7-40
ステープル .....	2-52, 2-56
スリープモード .....	1-31
清掃 .....	9-2
生体認証 .....	1-39
セールスカウンター .....	9-5
セキュリティ設定 .....	11-32
設定内容 .....	3-2
設定メニュー .....	11-2
節電 .....	1-31, 1-32
センターステープル位置調整 .....	11-40
操作パネル .....	1-21
ソート .....	2-51, 2-53

### た行

大容量給紙ユニット LU-201 .....	1-12
タッチパネル .....	1-23, 3-22
小さめ .....	2-32

蓄積ジョブ .....	10-10, 10-11
中継搬送ユニット RU-507 .....	1-18
定期点検 .....	9-6
定着部 .....	1-8
低電力モード .....	1-31
手差しトレイ .....	1-4, 1-50
等倍 .....	2-30
独立ズーム .....	2-34
とじしろ .....	7-30
トナーカートリッジ .....	8-2
トラブルの処理 .....	4-42
トレイ 1 .....	1-4, 1-43
トレイ 2 .....	1-4

## な行

中折り .....	2-60
中折り位置調整 .....	11-38
中とじ .....	2-62
中綴じ機 SD-507 .....	1-16
認証装置 .....	1-39, 1-41
認証方式 .....	11-49
ネガポジ反転 .....	7-19
ネットワーク設定 .....	11-30
濃度 .....	2-48, 2-49

## は行

排紙トレイ OT-602 .....	1-14
倍率登録 .....	2-36
パスワード規約 .....	11-67
パワーセーブ .....	1-31, 1-32
パンチ .....	2-52, 2-58
パンチユニット PU-501 .....	1-14
パンチ横位置調整 .....	11-42
パンチレジストループ量調整 .....	11-44
左エリアジョブリスト .....	10-5
ファクス / スキャン宛先登録 .....	11-6
ファクス / スキャン設定 .....	11-18
ファクス設定 .....	11-31
フィニッシャー FS-522 .....	1-14
フィニッシャー FS-523 .....	1-18
フィニッシャー調整 .....	11-38
副電源スイッチ .....	1-28
ブック連写 .....	7-20
不定形紙 .....	6-10
部門管理 .....	1-36
部門管理設定 .....	11-62
部門認証 .....	1-36
プリンター設定 .....	11-19, 11-31
プログラムジョブ .....	7-15
プログラム登録 .....	3-13
ページ集約 .....	2-42
ヘッダー / フッター .....	11-46
ヘルプ機能 .....	3-18
ボックス登録 .....	11-6

ボックス保存 .....	7-66
本体内部 .....	1-8

## ま行

メールピンキット MT-502 .....	1-16
メッセージ .....	4-44, 9-6
メッセージ表示時間 .....	3-30
メンテナンス .....	9-2

## や行

ユーザー設定 .....	11-13
ユーザー認証 .....	1-34
ユーザー認証 / 部門管理 .....	11-27
ユーザー認証設定 .....	11-54
優先出力 .....	10-12
ユニバーサル .....	3-22
用紙エンプティールンプ .....	1-4
用紙セット .....	1-43, 1-50
用紙の保管 .....	6-8

## ら行

ライセンス管理設定 .....	11-35
リピート .....	7-24
両面コピー .....	2-40
履歴リスト .....	10-9
連続読み込み .....	2-9

## わ行

割込み .....	3-12
-----------	------

# お問い合わせは

---

## ■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

## ■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

---

## コニカミルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。  
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元  
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元  
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング